令和６年度第３回袖ケ浦市総合計画審議会　会議録

１　開催日時　　令和７年１月２８日（火）午前１０時００分開会

２　開催場所　　市役所北庁舎３階会議室

３　出席委員

会　長	石戸　光	委　員	越路　武史
副会長	田島　則行	委　員	西田　隆司
委　員	江野澤　吉克	委　員	長沼　眞
委　員	陣野　正美	委　員	若林　和秀
委　員	金井　要	委　員	葛田　加奈恵
委　員	中村　伸子	委　員	髙橋　明
委　員	会田　恵一	委　員	伊豆　和代

（欠席委員）

委　員	太田　信之	委　員	岩本　巧
委　員	松井　洋美	委　員	阿子島　祐子
委　員	立原　勇	委　員	早川　智

４　出席職員

市　長	粕谷　智浩	副主幹	對馬　宗久
企画政策部長	千田　和也	副主査	戸田　直斗
企画政策部次長	平野　剛志	副主査	石井　麻美
企画政策課副参事	長谷川　操		

５　傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	３人
傍聴人数	０人

６　議　題

(1) 袖ケ浦市総合計画後期基本計画基礎調査の結果について
(2) 袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定方針（案）について
(3) 袖ケ浦市総合計画第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について
(4) その他

７　議　事

事務局（長谷川副参事）

本日はご多用の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから令和６年度第３回袖ケ浦市総合計画審議会を開催いたします。

初めに会議開催にあたりまして、粕谷市長よりご挨拶を申し上げます。

粕谷市長

（市長挨拶）

事務局（長谷川副参事）

続きまして、石戸会長よりご挨拶をお願いいたします。

石戸会長

（石戸会長挨拶）

事務局（長谷川副参事）

市長でございますが、この後、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

事務局（長谷川副参事）

それでは、会議に先立ちまして、資料の確認をいたします。

事前に送付した資料については、４点の資料を郵送しております。

また、本日机上に配付しております資料については、２点の資料を配付しております。

本日の会議の成立についてご報告いたします。

本日の審議会は、委員２０名中１４名のご出席をいただいております。

袖ケ浦市総合計画条例第１４条第２項の規定により、出席者数が委員の過半数の定足数に達しておりますので、本審議会が成立しておりますことをご報告させていただきます。

また、本日は、後期基本計画基礎調査の受託者である、株式会社ちばぎん総合研究所高城様にご出席いただいております。

高城様には、本日会議の内容について場合によっては、質疑の中でご説明等をいただくこともあると考え、本日ご出席いただいておりますので、ご了承願いま

す。

それでは、ここからの進行は、袖ケ浦市総合計画条例第１４条第１項の規定により、会長が議長となりますので、石戸会長よろしくお願いいたします。

石戸会長
それでは、総合計画条例に基づき議長を務めさせていただきます。
皆さんのご協力をお願いいたします。
議題１　袖ケ浦市総合計画後期基本計画基礎調査の結果についてを議題とします。
事務局より説明をお願いします。

事務局（長谷川副参事）
（議題１　資料に基づき説明）

石戸会長
ありがとうございました。
それでは、質疑等をお受けしたいと思います。
ただいまの事務局からの説明について、ご質問、ご意見がありましたら挙手をお願いいたします。

金井委員
この調査報告書は、非常に詳細な調査結果を基にしっかりと作成されていますが、市民にはどのような形で公表されるのでしょうか。
また、概要版は作成されるのでしょうか。

事務局（平野次長）
基礎調査報告書について、市民の方に公表する際に概要版を作成する考えは今のところありません。
２１２ページからこの調査結果を要約した一覧があり、行政評価欄に令和７年度施策評価、令和７年度事務事業評価という欄があります。
こちらには、令和７年度に実施する事務事業評価と、令和８年度から始まる第３期実施計画の施策の方向性を検討するための施策評価の結果をこの欄に盛り込み、議題２で説明する後期基本計画策定方針にこちらを取りまとめ、市民の方に説明をしていく資料としたいと考えています。

金井委員
　この基礎調査結果を説明する際は、対比するものや重要となる部分をあらかじめ整理しておくと良いかと思います。
　前回の議論でもありましたが、袖ケ浦市が観光に力を入れていることや、子育て支援に力を入れていることは、ＰＲポイントであると考えます。袖ケ浦市の知名度を上げるため、また、住みやすいまちであることをＰＲできるよう、見やすくまとめた資料を作成できれば良いと思います。

事務局（平野次長）
　この基礎調査報告書は、今の時代の潮流について行政に求められる内容から始まり、これまで本市が進めてきた事業等に係る評価も併せてまとめています。
　今後、この報告書に記載された施策の視点をもとに、後期基本計画等を策定していく中で、本市にとって重要なものを明確にしていく予定です。
　この報告書は、計画を策定するための資料という位置づけであり、令和７年度以降、後期基本計画を策定していく中で、施策の方向性や順位付けをしていく予定であり、そこで示していくように考えています。

石戸会長
　他に、意見はございますか。

越路委員
　丁寧な説明ありがとうございます。非常によくわかりましたし、まとまっていると感じたのが率直な印象です。
　指摘ではなく感想ですが、４市の比較で色々なアンケートを取られており、その中で先ほどの話と関連しますが、袖ケ浦市の取組についてもう一度整理いただきたいと思います。私も観光協会に携わっていますが、ＰＲの必要性を感じました。
　また、資料の中で、他市との比較で松戸市がありましたが、松戸市を選んだ理由は何かあるのでしょうか。

事務局（平野次長）
　千葉県内で、市原市、松戸市、木更津市の３市が内閣府の SDGs 未来都市に選定されており、SDGs の達成に向けて特に力を入れて事業を進めています。
　今後、後期基本計画を策定していく上で、この SDGs の取組みや先進事例を参考にするため資料の２６ページ、２７ページに載せています。

越路委員
　ありがとうございます。
　今後は、４市の中での袖ケ浦市らしさを前面に出して推進してもらいたいと感じました。

石戸会長
　他に、意見はございますか。

田島副会長
　この区分けは、前期基本計画の施策体系に基づいて体系化することでわかりやすくなり、とても良いと思います。しかし、一方で、個別に分けた項目を横断するような課題もあると考えます。
　このような課題は見つけにくくなったり、省かれてしまったりする懸念があります。
　例えば、まちづくりは市民活動に分類されていますが、空家は住宅に分類されています。この場合、まちづくりは市民活動に限定されてしまい、市民活動でないまちづくりや、住宅でない空家はどうするかという課題が生じます。
　そのため、体系化することは大切ですが、最近では大学でも分野に跨る課題を扱うために、学際的な学問分野として、あえて領域横断型のカテゴリーを設けます。体系化により、必ず見落とされるものがあります。今後は横断的に解決策を考える必要があるため、もう一つ章を増やして横断型を追加すると良いと考えます。

石戸会長
　他に、意見はございますか。
　では、議題１　袖ケ浦市総合計画後期基本計画基礎調査の結果についてをこの資料として承認されます委員の皆様は挙手をお願いいたします。
　賛成多数ということで、こちら議題１袖ケ浦市総合計画後期基本計画基礎調査の結果について承認とさせていたます。
　次に、議題２袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定方針（案）についてを議題とします。
　事務局より説明をお願いします。

事務局（平野次長）
　（議題２　資料に基づき説明）

石戸会長
　ありがとうございました。
　それでは、質疑等をお受けしたいと思います。
　ただいまの事務局からの説明について、ご質問、ご意見がありましたら挙手をお願いいたします。

田島副会長
　繰り返しになりますが、現在、第６章まである施策体系に第７章の追加を提案します。
　先ほど、まちづくりや空家について述べましたが、例えば、子育て支援をＤＸで解決しようとする時や、様々な分野に跨って何かをしようとする時に、ＤＸはこの章に含まれないからできないという発想になってしまうことが懸念されます。
　今後、分野横断的に対応しなければならないケースが増えることを見据え、迷った際には、追加した第７章を基に、分野を横断して取り組むと良いと考えます。

事務局（平野次長）
　現在、今までの縦割り行政では対応できないような事案も増えています。
　特に福祉の分野は、組織横断的に取り組んでいるような実態があります。
　また、ＤＸに関しましても、各分野でＤＸ化を進める国の方針が出ているので、それらについても取組を進めていきます。
　ＤＸについては、第６章の中に情報共有化・発信といった施策に取り組んでいるため、そこに盛り込むか又は第７章を追加するかについては今後検討していきます。

石戸会長
　他に、意見はございますか。

中村委員
　策定スケジュールによると、令和７年度にパブリックコメントが予定されています。パブリックコメントで意見を募ることは重要ですが、実際にはほとんど意見が集まらないのが現状ではないでしょうか。
　後期基本計画等に関しても同様の状況が生じる可能性があるのではないかと考えます。
　多様な視点や意見を集めることは重要だと考えます。事前に実施した意見聴取ワークショップでは、１５歳から２４歳までの若い世代のグループも取り入

れたことは評価できると思います。
　パブリックコメントについても、例えば、袖ケ浦市の公式ＬＩＮＥを使って、パブリックコメントページにアクセスできたり、意見提出用のフォームを掲載したり、若い世代の方の意見を取り入れる方法の検討をお願いしたいと考えます。

事務局（平野次長）
　パブリックコメントについて、なかなか意見がいただけないというところは市としても課題です。
　交流センター等にポスターを貼るなどして周知を図っていますが、もっと意見がもらえるように工夫していきます。
　また、若い方の意見ということですが、今年度、袖ケ浦高校から高校生がまちづくりについて考えたいという依頼を受け、総合計画の出前講座を実施しました。その他、関連する個別計画でも様々なアンケート調査を実施しており、その結果も後期基本計画に反映していきたいと考えています。
　引き続き、多くのご意見をいただけるよう工夫をしていきます。

金井委員
　今までワークショップ等で協力していただいた方々に直接聞いてみてはいかがでしょうか。

事務局（平野次長）
　そういった試みも考えてみたいと思います。
　ただ、決まった方だけから意見をいただくのも支障があるかもしれないので、組織や団体等に属している方などにも意見などを伺ってみたいと思います。

石戸会長
　他に、意見はございますか。

長沼委員
　パブリックコメントを開催した時に、一つの会場に何名ぐらいの参加者が集まるのでしょうか。
　かずさ水道の説明会に出席したことがありますが、ほとんど参加者がいませんでした。
　これから行われるパブリックコメントは、どのくらいの人数を集めようかという計画はあるのでしょうか。

事務局（平野次長）
　パブリックコメントは、市のホームページ等で意見を伺いたい内容を公表し、それをご覧になった市民の方が書面やインターネットメールを使って意見を募集するもので、どこかの会場に一堂に会して説明をするというものではありません。

長沼委員
　どのぐらいの意見が集まるのでしょうか。

事務局（平野次長）
　パブリックコメント手続きを終了した案件については、提出された意見等の件数を公表しています。
　案件により異なりますが、令和５年６月２４日から７月２３日まで実施した袖ケ浦市都市計画マスタープランの改定（案）については、１人の方から１件の意見がありました。
　また、令和５年９月１日から９月３０日まで実施した袖ケ浦市交流センターの設置及び管理に関する条例（案）については、１２人の方から３８件の意見がありました。

石戸会長
　他に、意見はございますか。

越路委員
　先ほど、ＤＸの意見があり、必須だと思っていますが、一方で、全世帯網羅的に行政サービスを提供しなければならないためバランスが必要だと思います。
　しかし、これだけ素晴らしい庁舎があるため、ＤＸは進めるべきだと思います。
　袖ケ浦の行政の拠点に限らず、教育委員会や小学校等のネットワークを含めて進められるというところがやはり重要ではないかと感じています。
石戸会長
　他に、意見はございますか。
　では、議題２　袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定方針（案）についてを承認されます委員の皆様は挙手をお願いいたします。
　賛成多数ということで、こちら議題２　袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定方針（案）について承認とさせていたます。
　次に、議題３　袖ケ浦市総合計画第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更についてを議題とします。

事務局より説明をお願いします。

事務局（平野次長）
（議題３　資料に基づき説明）

田島副会長
№２７地域づくり官学連携事業について、県内大学とのまちづくりを協働で進めるという計画であった事業が、計画内容が変更されています。大学の事務方と調整が行われているように思われます。
事務の方は主に大学の運営をしており、研究内容は把握していません。
実際のテーマや解決策を見出すのは各教員や研究室で行っているため、事務方に話をすると誰に繋げていいか分からず「分野をはっきりしてください」という返事になると思います。
具体的に関係がありそうな教員に直接話をすることで、教員や研究室の提案をもらえ、そこから、大学内での調整が進むと考えます。
これは推測であり、実情は違うかもしれませんが、意見として伝えておきます。

事務局（平野次長）
以前のこの会議の場でも、この事業について指摘を受けており、もう少し学部等を調べることや、他市での同様の取組事例を参考にしながら進めるようにとの意見がありました。
そのため、他市の取組等を調査しながら事業を進めています。
現在、２校とどのような取り組みができるのか打合わせを進めている状況であります。
また、まちづくりというとテーマが大きかったり、漠然としたりしているところもあります。
市では企業と包括連携協定を結び、様々な分野で取組を進めているため、企業や大学と一緒に事業が進められる可能性を含め、広く考えて工夫をしていきます。

石戸会長
他に、意見はございますか。

長沼委員
№４雨水幹線管渠建設改良事業の事業内容に内水ハザードマップを作成とありますが、変更後になぜ内水ハザードマップが作成できないのでしょうか。

特に今、袖ケ浦駅の海側の開発が進んでいる中で、一番心配するのが内水氾濫です。住んでいる方も最重要で見ているのではないかと思いますが、なぜ遅らせるのでしょうか。

まずは内水ハザードマップの作成を優先して進めていただきたいのですがいかがでしょうか。

事務局（平野次長）

資料の事業内容をご覧ください。変更後事業内容に雨水浸水想定区域図策定委託と奈良輪第一排水区雨水排水基本設計委託という２つの事業がございます。

内水ハザードマップに関わる事業については、雨水浸水想定区域図策定委託であり、当初の計画どおり令和７年度に行う予定です。

こちらは、内水ハザードマップの作成にあたり、基礎データとなる浸水の想定区域の地図の策定を委託するものです。

地図ができあがりましたら、ハザードマップとして作成し、市民に周知を図るというような流れになっていますので、実際のハザードマップの作成は、第３期実施計画の中に盛り込まれる内容になると考えています。

長沼委員

先の話ということですね。

事務局（平野次長）

雨水浸水想定区域図策定委託については、計画どおりに進んでいます。

奈良輪第一排水雨水管整備工事については、事業の計画内容を変更しています。理由としては、国の補助金の減額に伴い、実施時期を延期したものです。

補助金の減額理由については、国からの具体的な説明はありませんが、おそらく震災等に予算が回り、補助事業に対して補助金が満額下りてこないような状況となっています。このようなことから、工事の部分について計画内容の変更をしています。

石戸会長

他に、意見はございますか。

では、議題３　袖ケ浦市総合計画第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更についてを承認されます委員の皆様は挙手をお願いいたします。

賛成多数ということで、こちら議題３　袖ケ浦市総合計画第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について承認とさせていたます。

石戸会長

次の議題は、その他となっておりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

特にないようですので、以上で、本日予定された議事は、すべて終了しました。ご協力ありがとうございました。

進行を事務局にお返しします。

事務局（長谷川副参事）

事務局から連絡事項は２点ございます。

１点目は、会議の始めに説明いたしましたが、本日の審議会は、公開となります。会議録でございますが、発言者の氏名を記載、要点筆記により作成いたします。

つきましては、会議録の作成にお時間をいただきますが、会議録ができ次第、郵送いたしますので、確認をお願いいたします。

なお、委員の皆様にご確認いただいた後、市のホームページ及び市政情報室で公開いたします。

２点目です。

令和６年度の総合計画審議会は本日で終了となります。

令和７年度の総合計画審議会の開催予定でございますが、来年度、後期基本計画及び第３期実施計画を策定していくため、４回の会議を予定しております。

１回目の会議を６月の上旬で予定を調整しているところです。それ以降、２回目は８月の上旬、３回目は１０月の下旬、４回目は１月の下旬というところで予定をさせていただいているところでございます。開催の通知また資料は改めてご送付させていただきますので、また来年度もよろしくお願いいたします。

それでは、委員の皆様、本日は、長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。以上をもちまして、令和６年度第３回袖ケ浦市総合計画審議会を閉会いたします。

令和６年度 第３回袖ケ浦市総合計画審議会
次　　第

日　時：令和７年１月２８日（火）
午前１０時から
場　所：袖ケ浦市役所
北庁舎３階中会議室

１　開　会

２　市長あいさつ

３　会長あいさつ

４　議　題
（１）袖ケ浦市総合計画後期基本計画基礎調査の結果について
（２）袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定方針（案）について
（３）袖ケ浦市総合計画第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について
（４）その他

５　閉　会

議題１

袖ケ浦市総合計画後期基本計画
策定に係る基礎調査報告書

令和●年●月

袖ケ浦市

目　次

序章　調査概要 1
　１．　調査の趣旨 1
　２．　調査の内容 1
第１章　時代の潮流 2
第２章　本市の特徴（指標分析） 28
　１．　分野構成及び県内自治体間比較部分の使用データ 28
　２．　調査結果 30
第３章　まちづくりアンケート調査 57
　１．　調査目的 57
　２．　調査概要 57
　３．　主な回答者属性 57
　４．　調査結果の概要 58
第４章　各種団体別アンケート調査 65
　１．　調査実施概要 65
　２．　回答団体の活動分野 66
　３．　調査結果 67
第５章　市民・団体意見聴取（ワークショップ） 73
　１．　市民ワークショップ 73
　２．　分野別ワークショップ 102
　３．　袖ケ浦市工場連絡会ワークショップ 139
第６章　市外ＷＥＢアンケート調査 149
　１．　調査の概要 149
　２．　調査結果 150
第７章　人口動向の分析と将来推計 182
　１．　人口動向 182
　２．　将来人口推計 193
第８章　現行計画の評価・検証（令和 4 年度施策評価・令和 6 年度事務
　　事業評価） 200
　１．　令和 4 年度　施策評価 200
　２．　令和 6 年度　事務事業評価 202
第９章　後期基本計画の策定にあたり留意する視点 211

序章　調査概要

１．調査の趣旨

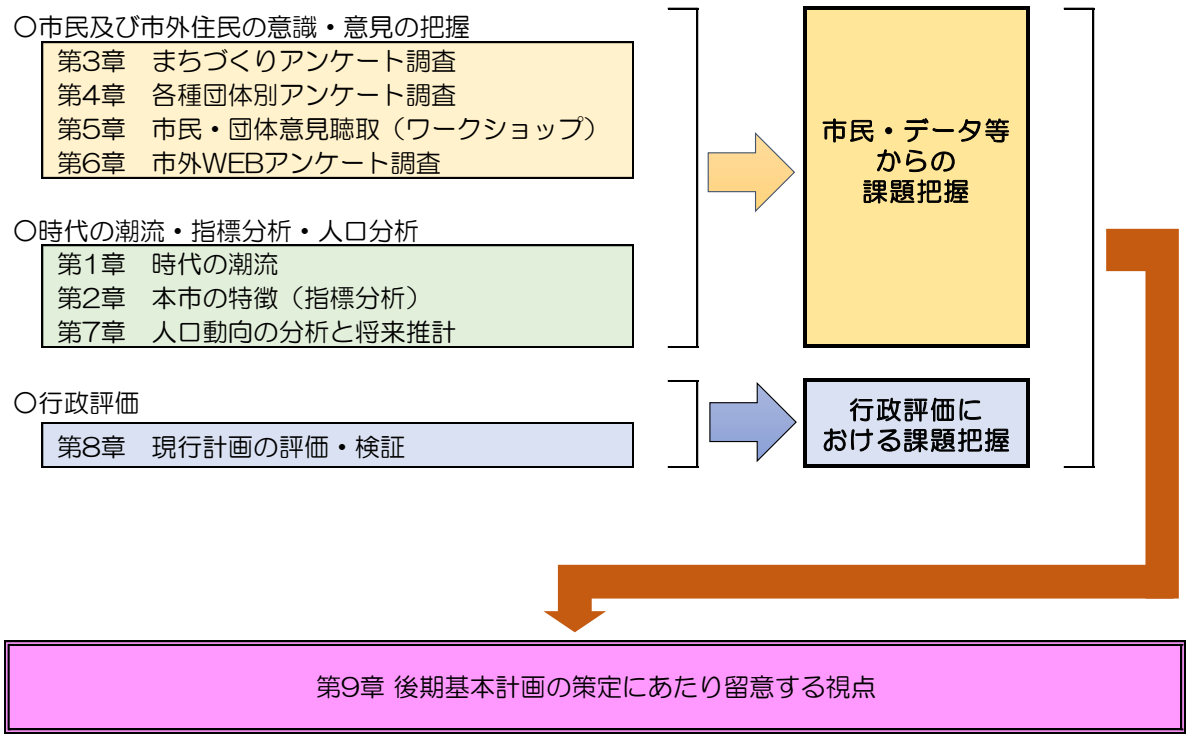
現行の前期基本計画の計画期間が令和７年度に満了するため、令和８年度を始期とする後期基本計画の策定に際し、市民の意見や各種データ等に基づき本市の現状や課題等を整理し、計画策定にあたっての基礎資料とする。

２．調査の内容

本調査では、次の第１章～第９章の項目を実施している。

第１章　時代の潮流
第２章　本市の特徴（指標分析）
第３章　まちづくりアンケート調査
第４章　各種団体別アンケート調査
第５章　市民・団体意見聴取（ワークショップ）
第６章　市外 WEB アンケート調査
第７章　人口動向の分析と将来推計
第８章　現行計画の評価・検証（令和４年度施策評価・令和６年度事務事業評価）
第９章　後期基本計画の策定にあたり留意する視点

図表1　　基礎調査の全体像



第１章　時代の潮流

本章では、本市の外部環境の分析として、社会経済動向の変化を整理した。また、脱炭素、ＤＸ、地方創生、ＳＤＧｓについては、個別テーマを設定し、千葉県の動向、本市が受ける影響等を整理した。

（１）　社会経済動向の変化

①人口減少・少子高齢化の進行

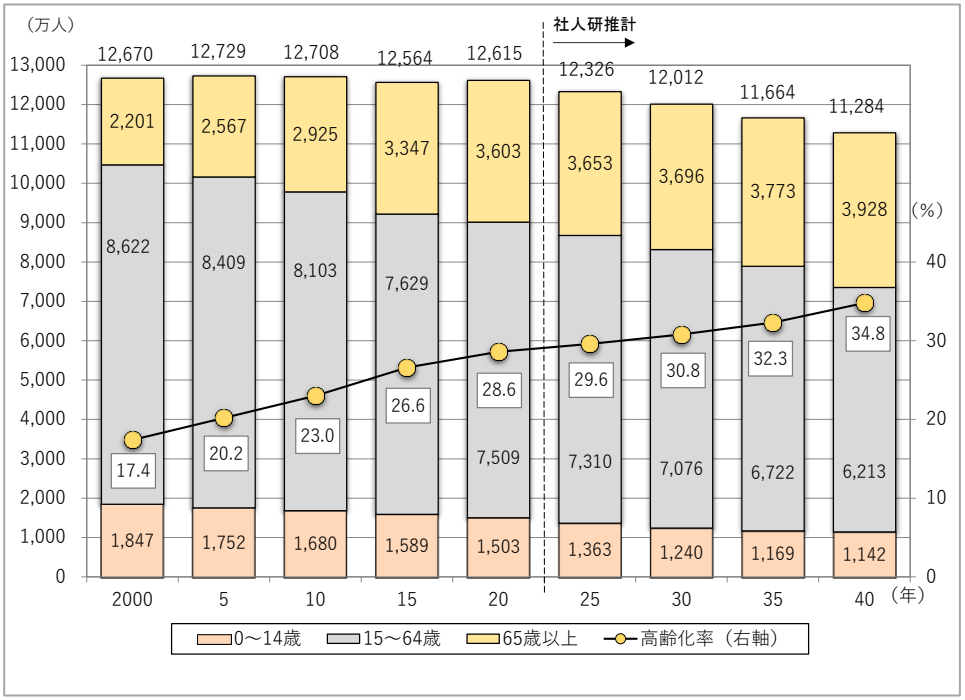
日本の人口は、2005 年の 1 億 2,729 万人をピークに減少を始め、2020 年には 1 億 2,615 万人となった。高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の人口割合）は 2020 年時点で 28.6%となり、2040 年には 34.8%（2020 年比＋6.2 ポイント）と急速に高齢化が進行する見込みである（図表 2）。

一方、生産年齢人口（15～64 歳）は減少が続き、2020 年には 7,509 万人（2000 年比▲1,113 万人）となり、2040 年には 6,213 万人（2020 年比▲1,296 万人）まで減少する見込みである。

また、近年の出生数・合計特殊出生率の推移をみると、過去 10 年間の出生数は 2014 年:1,003,609 人 → 2023 年:727,277 人（2014 年比▲27.5%）、合計特殊出生率は 2014 年:1.42 → 2023 年:1.20（2014 年比▲0.22 ポイント）まで減少し、2023 年はいずれも統計開始以来最少の値となった（図表 3）。

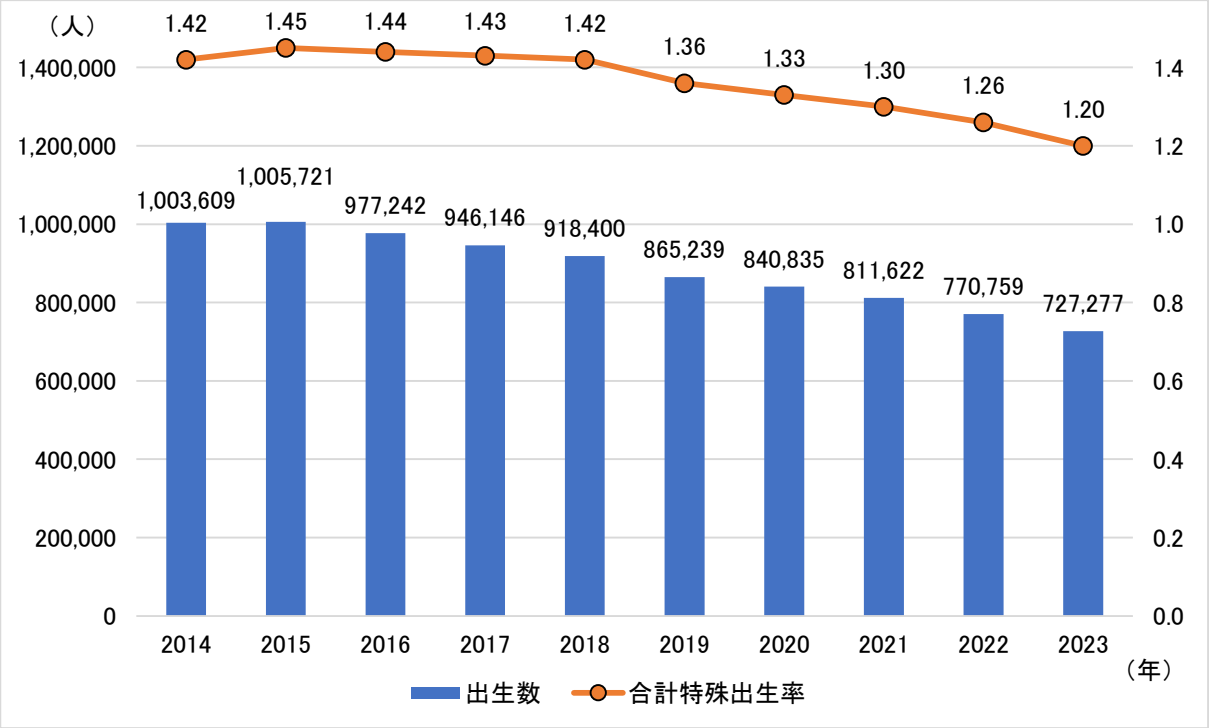
こうした我が国の人口減少や少子高齢化の進行は、医療・介護ニーズの増加や消費マーケットの縮小、労働力人口の減少による人手不足の深刻化、財政運営への影響など、多面的な影響をもたらすことが想定される。

図表2　日本の人口と高齢化率の推移



（出所）2020 年までは総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）、2025 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和 5 年推計)」における中位推計

図表3　近年の我が国の出生数と合計特殊出生率の推移



（出所）厚生労働省「人口動態統計」（2023 年は概数）

今後の社会経済環境の変化例	・　一層の少子高齢化の進展 ・　医療・介護ニーズの増加 ・　消費マーケットの縮小 ・　労働力人口の減少による人手不足の深刻化
行政に求められる対応例	・　子育て支援や結婚支援の充実 ・　さらなる少子化を見越した保育園の適正な配置 ・　さらなる高齢化を見越した介護サービス・施設の適切な提供 ・　在宅医療を柱とする地域包括ケアシステム構築への対応 ・　認知症の人を含めたすべての人が共生する共生社会の実現 ・　ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり ・　公共交通の維持・確保（交通弱者対策） ・　農業の担い手確保 ・　人手不足に対応した外国人材の活用 ・　自治会など地域の活力維持

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

②自然災害の発生と激甚化

我が国は、その自然的条件から地震や台風等の被害を受けやすい特性を有しており、特に近年は気候変動に伴う風水害の激甚化が指摘されている。

近年発生した災害をみると、九州北部豪雨（2019 年 8 月）、令和元年房総半島台風（同年 9 月）、令和元年東日本台風（同年 10 月）、令和 2 年 7 月豪雨（2020 年 7 月）、福島県沖地震（2021 年 2 月）、2021 年 7 月 1 日からの大雨（2021 年 7 月）、2021 年 8 月の大雨（同年 8 月）、福島県沖地震（2022 年 3 月）、令和 6 年能登半島地震（2024 年 1 月）など、毎年のように水害・土砂災害、地震等の自然災害が発生している（図表 4）。

国では、令和元年東日本台風を教訓としたワーキンググループでの議論を踏まえ、2021 年 5 月に「災害対策基本法等の一部を改正する法律」を施行した。本改正により、従来の避難勧告・避難指示が避難指示へ一本化され、住民にとって避難すべきタイミングがより分かりやすくなったほか、市町村には、避難行動要支援者ごとの「個別避難計画」の作成が努力義務化された。

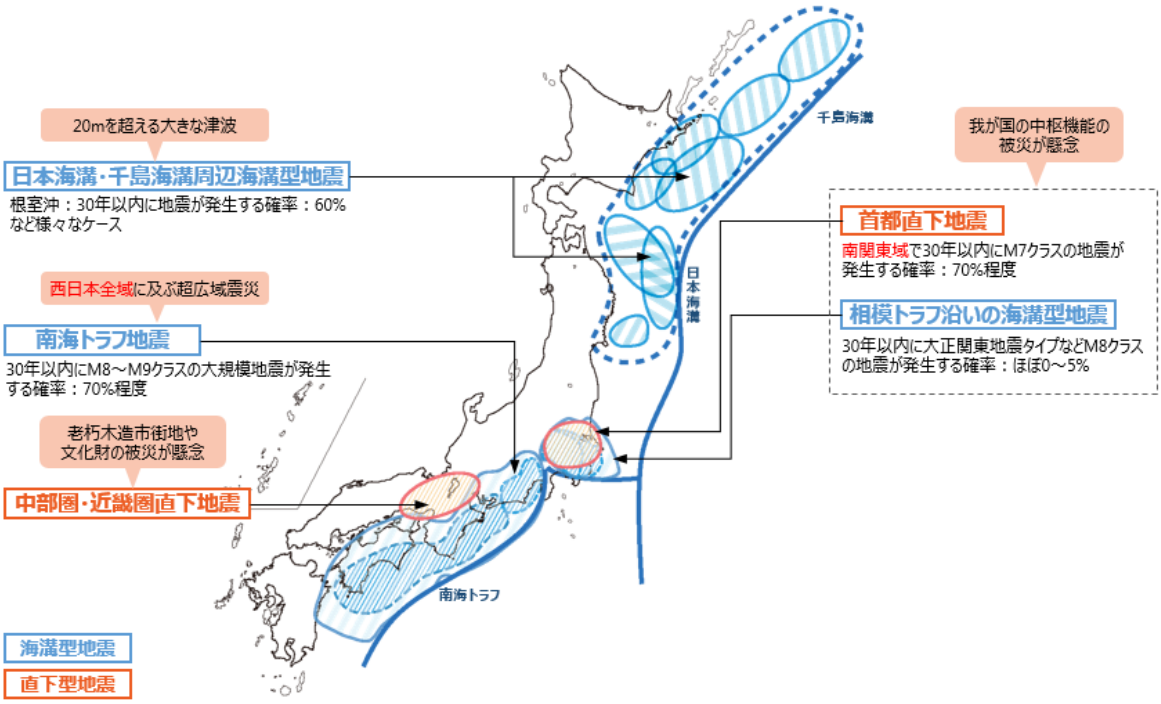
今後も、気候変動によりさらなる豪雨災害の発生が懸念されているほか、30 年以内にマグニチュード 7 クラスの首都直下地震が約 70%の確率、南海トラフ地震が約 70～80%で発生する可能性が指摘されている（図表 5）。2024 年 8 月には、宮崎県で最大震度 6 弱を観測した地震の発生を受け、気象庁が南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を初めて発表した。国民の間では、自然災害に対する懸念が高まっており、防災・減災対策や避難体制の構築が喫緊の課題となっている。

図表4　近年発生した主な災害

災害	発生年月日	主な被災地域	最大震度
令和元年8月の前線に伴う大雨（九州北部豪雨）	2019年8月26～28日	佐賀県、福岡県	–
令和元年台風15号（令和元年房総半島台風 ）	2019年9月7～9日	千葉県、茨城県、神奈川県、東京都	–
令和元年台風19号（令和元年東日本台風）等	2019年10月12日～13日、24日～26日	福島県、岩手県、栃木県、茨城県、長野県	–
令和2年7月豪雨	2020年7月3日～28日	熊本県、大分県、福岡県、山形県、岐阜県	–
令和3年2月福島県沖地震	2021年2月13日	福島県	6強（宮城県）
令和3年7月1日からの大雨	2021年7月1日～12日	静岡県、神奈川県、島根県、広島県、鳥取県、鹿児島県、秋田県	–
令和3年8月の大雨	2021年8月11日～22日	福岡県、佐賀県、広島県、長野県、岐阜県	–
福島県沖地震	2022年3月16日	宮城県、福島県	6強（宮城県）
令和6年能登半島地震	2024年1月1日	新潟県、富山県、石川県、福井県	7（石川県）
令和6年9月20日からの大雨（令和6年（2024年）奥能登豪雨）	2024年9月20日～23日	石川県	–

（出所）内閣府の防災情報等をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

図表5　想定される大規模地震



（出所）内閣府ホームページ

今後の社会経済環境の変化例	・　台風・集中豪雨など風水害の激甚化 ・　首都直下地震や南海トラフ地震の発生懸念 ・　国民の安全・安心を求める意識の一層の高まり ・　企業におけるＢＣＰ[1]の一層の強化
行政に求められる対応例	・　高齢者や要支援・要介護者を含む市民の避難体制の整備・構築（災害対策基本法に基づく避難行動要支援者ごとの個別避難計画の作成推進） ・　公助の限界を踏まえた自助・共助体制の一層の強化 ・　発災時におけるスムーズな避難誘導、避難所運営に向けた庁内体制の整備と備蓄の実施 ・　国・県との連携強化（リエゾン[2]との平時からの情報共有と発災に向けた準備等） ・　民間企業との連携強化（災害時応援協定の締結と継続的な情報交換等） ・　地元企業の災害時における事業継続体制の構築支援

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

[1] BCP とは、災害等が発生した場合において、損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続を可能とするために、事業継続のための方法などを取り決めておく計画を指す。

[2] リエゾンとは、県や国から災害が発生又は災害が発生するおそれのある自治体へ派遣され、被災自治体の被災状況の収集や支援ニーズを積極的に実施し、被災自治体との太いパイプ役を果たす情報連絡員を指す。

③環境意識の高まりと脱炭素・循環型社会の実現

2015 年に採択された「パリ協定[3]」において、世界の平均気温の上昇幅を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を追及することが目標とされた。その後、2018 年に気候変動に関する政府間パネル（ＩＰＣＣ）による報告書の中で、気温上昇を 1.5℃程度に抑えるためには、世界全体で 2050 年ごろにカーボンニュートラルとすることが必要と公表された。

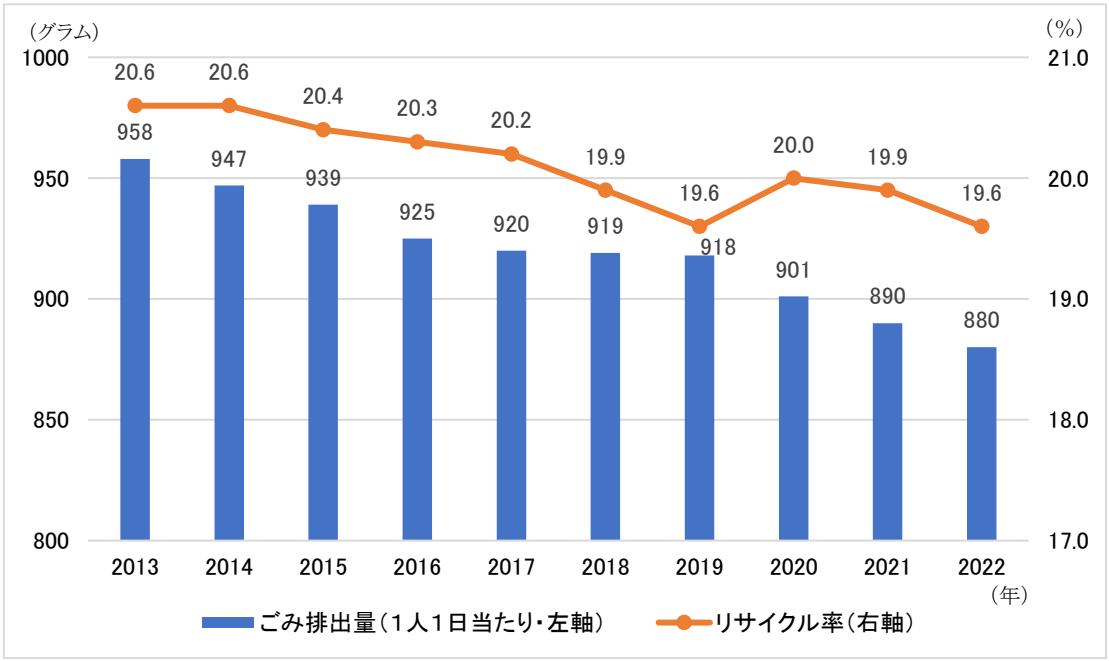
国内の脱炭素化の動きは、2020 年 10 月に政府が「2050 年カーボンニュートラルの実現を目指す」ことを宣言してから、急速に推進機運が高まりつつある。日本は、2021 年 4 月に開催された気候サミットにおいて、2030 年までに温室効果ガスを 2013 年度比 46%削減させることを表明するなど積極的な目標を設定した。

2021 年 8 月に気候変動に関する政府間パネル（ＩＰＣＣ）から、温室効果ガスの影響による世界の気温上昇は、2021 年から 2040 年に+1.5℃に達するとのレポートが発表されるなど、地球温暖化はさらに進むとみられており、脱炭素社会への取り組みは世界的な大きな潮流となっている。

また、日常生活における大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動は、気候変動や天然資源の枯渇、大規模な資源採取による生物多様性の破壊など様々な環境問題につながる。

日本の近年のごみ排出量（1 人 1 日当たり）をみると、環境意識の高まりを背景に減少傾向をたどっているが、一方でリサイクル率はやや低下している（図表 6）。引続き持続可能な形で資源を利用する循環型社会を構築することが求められている。

図表6　日本のごみ排出量（1 人 1 日当たり）とリサイクル率の推移



（出所）環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

[3] パリ協定とは、2015 年に 12 月にパリで開催された「COP21（国連気候変動枠組み条約締約国会議）」で決められた、温室効果ガス（GHG）削減に関する条約を指す。

今後の社会経済環境の変化例	・ さらなる気候変動に伴う地球温暖化対策推進への機運の高まり ・ 脱炭素に向けた技術開発促進や企業間連携の活発化、それに伴う経済活性化 ・ 運輸・交通関連事業や観光関連産業等における脱炭素の取り組みに対する要請の高まり ・ プラスチック、バイオマス（食品、木など）、金属、土石・建設材料などより広範な分野での資源循環の一層の促進
行政に求められる対応例	・ 市民や事業者に向けた気候変動に関する情報発信 ・ 各種施策における気候変動適応の視点の組み込み ・ リサイクルの推進・廃棄物の抑制による循環型社会の構築、これによる温室効果ガスの発生防止

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

④個人の価値観やライフスタイルの多様化

社会の成熟化に伴い、女性の社会進出が促進し、従来の「男は仕事、女は家庭」という価値観の変化が進んでいる。男性のみが雇用者である世帯（いわゆる専業主婦世帯）の数をみると、2003年:870万世帯 →2022年:539万世帯（2003年比▲38.0%）と大幅に減少する一方、雇用者の共働き世帯数は、2003年:949万世帯 →2022年:1,262万世帯（2003年比＋33.0%）と大幅に増えている（図表7）。

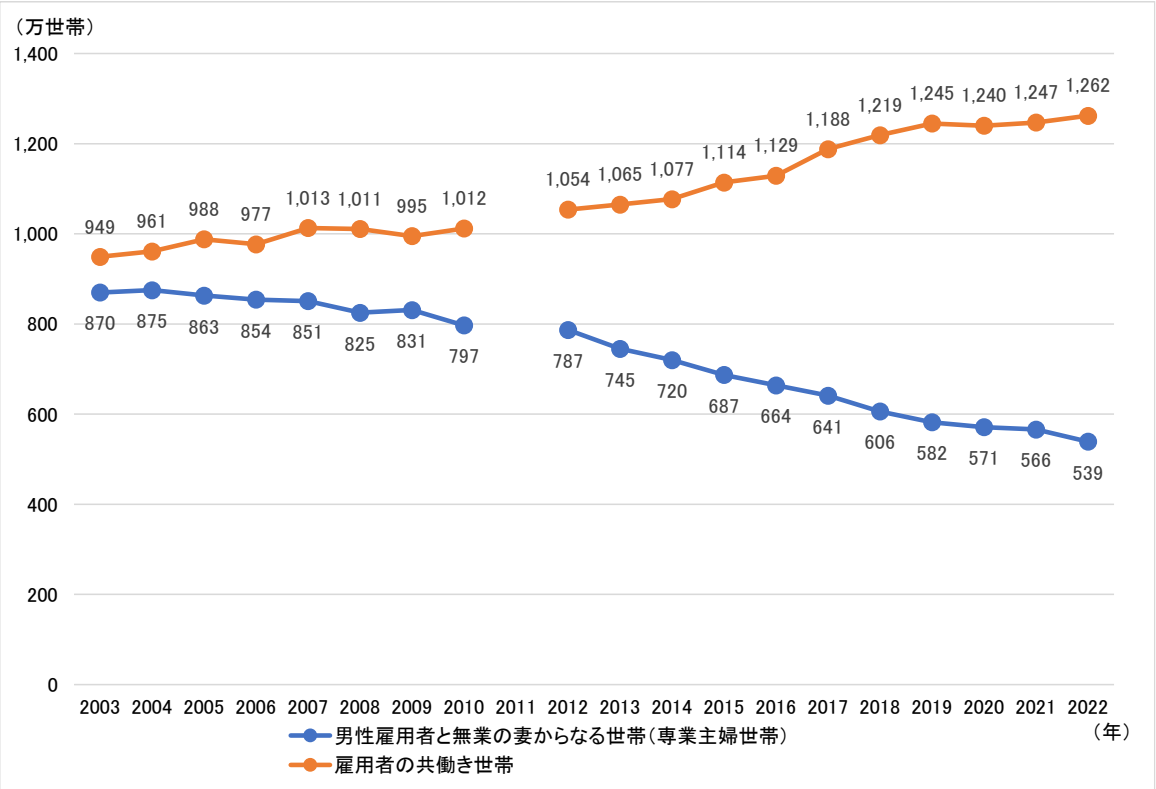
また、価値観の変化や女性の社会進出に伴って未婚率も上昇し、男性、女性とも未婚率が上昇傾向にあり、特に女性の未婚率の上昇幅は男性に比べ大きくなっている（図表8，9）。

このほか、平均寿命の延伸に伴って高齢者の老後の生きがい創出、長生きリスクへの懸念なども注目されるようになった。こうした背景により、高齢者の就業が進んでいる（図表10）。

コロナ禍を契機にテレワークや時差出勤が普及し、会社員であっても毎日全員が同じ時間に出社することが必ずしも当たり前ではなくなった。テレワークを活用し、地方に移住する動きも見られ始めている。

こうした価値観やライフスタイルの変化は、個人を尊重する風潮や情報通信技術の発達等により、今後も拡大していくことが想定される。

図表7　専業主婦世帯数と共働き世帯数の推移



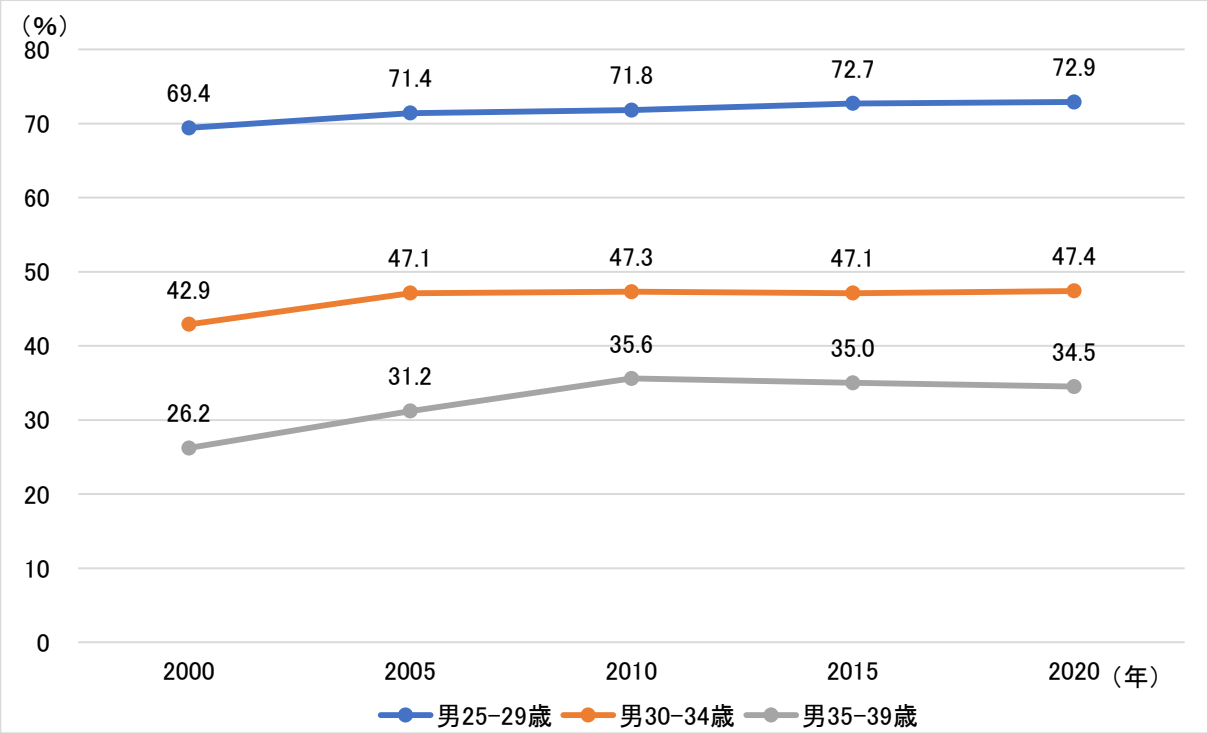
（出所）総務省「労働力調査」

（注）1.「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、2017年までは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。2018年以降は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯。

2.「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。

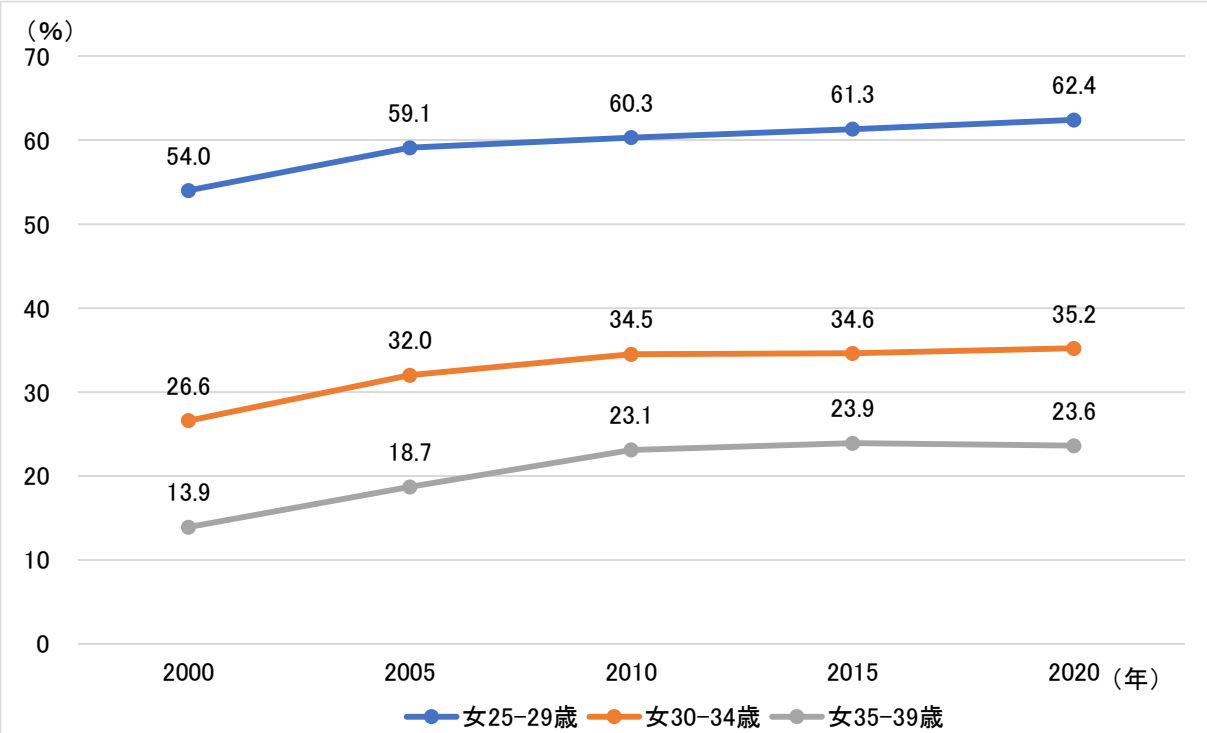
3.2011年の数値は、東日本大震災の発生によりデータがない。

図表8　男性の年齢階級別未婚率の推移



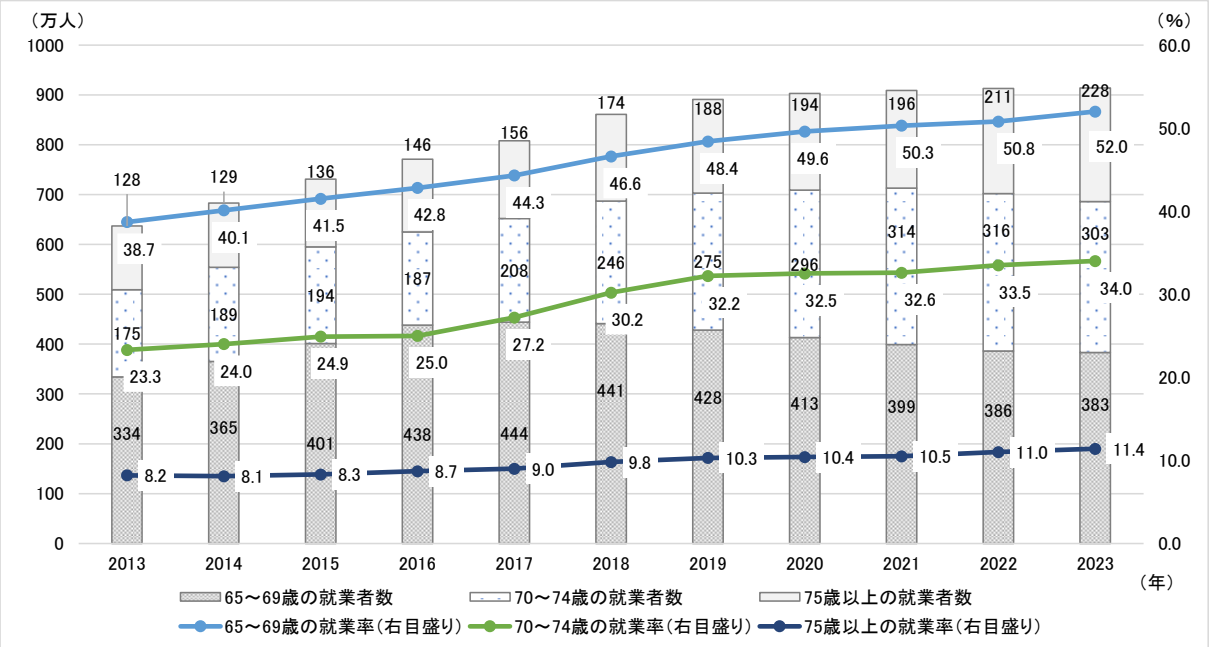
(出所)内閣府「令和４年版　少子化社会対策白書」のデータをもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

図表9　女性の年齢階級別未婚率の推移



(出所)内閣府「令和４年版　少子化社会対策白書」のデータをもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

図表10 高齢者の就業者数及び就業率の推移



（出所）内閣府「令和６年版高齢社会白書」のデータをもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

今後の社会経済環境の変化例	・ 女性や高齢者のさらなる活躍の進展 ・ 核家族化や単身世帯の一層の増加 ・ 未婚率のさらなる上昇 ・ テレワークを活用した移住例の増加 ・ 企業における従業員の育児・介護休暇取得促進
行政に求められる対応例	・ 高齢者の就業機会確保 ・ 生涯学習・文化活動の機会提供 ・ 企業における育休取得や女性活躍、ハラスメント防止、定年延長に向けた支援 ・ テレワークを活用した移住者の取込み

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

⑤ＤＸ[4]の進展

近年、ＩｏＴ[5]、ビッグデータ[6]、ＡＩ[7]といった、社会におけるデジタル技術の進化が急速に進んでいる。こうした技術は、市民の日常生活にも様々な場面で恩恵をもたらしており、将来を見据えると、行政も含めた社会のデジタル化に向けて、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）を推進することが求められる。

政府は、コロナ禍を契機にデジタル化の遅れが露見したこともあって、2020 年に「デジタル・ガバメント実行計画」や「自治体デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）推進計画」を相次いで策定し、2021 年には「デジタル庁」を発足させ、「デジタル田園都市国家構想」を始動させた。同構想は、「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず、すべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」ための構想であり、新たなサービスの創出や地域社会の持続可能性の向上、心豊かな暮らし(Well-being)の実現を目指している。

図表11 デジタル田園都市国家構想



（出所）デジタル庁ホームページ

[4] DX とは、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す。
[5] IoT とは、Internet of Things の略。「モノのインターネット」という意味で使われており、従来インターネットに接続されていなかった様々なモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みである。
[6] ビッグデータとは、人間では全体を把握することが困難な巨大なデータ群のことである。
[7] AI とは、人工知能のことで、人間の知的な推論・判断をするコンピュータープログラムを指す。

今後の社会経済環境の変化例	・　ＤＸの進展、ＡＩやビッグデータ等の活用拡大 ・　国民における情報リテラシー[8]の格差拡大 ・　デジタル人材の不足
行政に求められる対応例	・　自治体フロントヤード改革（ＤＸによる行政と住民との接点）の推進 ・　デジタル人材の確保・育成 ・　ｅＬＴＡＸを活用した公金収納の取組の推進 ・　電子申請などデジタル技術を活用した行政サービスの拡充 ・　教育現場での情報端末の活用推進 ・　市民のデジタルに関する理解促進

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

[8] 情報リテラシーとは、情報と識字(リテラシー)を合わせた言葉で、情報を自己の目的に適合するように使用できる能力を指す。

⑥地方創生

東京への一極集中が進み、地方の少子高齢化が深刻化する中、国は 2014 年に地方創生法を定め、内閣にまち・ひと・しごと創生本部を設置した。2021 年に発表された「まち・ひと・しごと創生基本方針 2021」では、「ヒューマン」「デジタル」「グリーン」という新たな観点が取り入れられた。

特にデジタル分野においては、2021 年に策定したデジタル田園都市国家構想の実現に向け、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化すべく、2022 年に第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、2023 年度を初年度とする 5 か年の新たな「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。同戦略では、施策の方向性として、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる、の 4 つを掲げ、これをデジタルの力を活用して解決する方針を掲げている。

国は、同戦略の実現に向け、地方部におけるデジタルを活用した自主的な取り組みを支援すべく、2021 年度に「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を創設した。

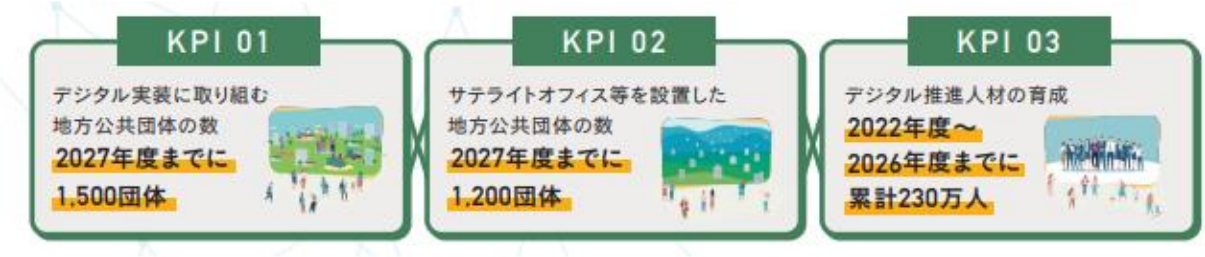
同交付金は、①デジタル実装タイプ、②地方創生推進タイプ、③地方創生拠点整備タイプ、④地域産業構造転換インフラ整備推進タイプの 4 タイプに分かれ、各タイプに対応した取り組みにつき採択された事業に交付金が交付される。

図表12　デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023 改訂版）の全体像



（出所）内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局リーフレット

図表13　主な重要業績評価指標（KPI）



（出所）内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局リーフレット

図表14　デジタル田園都市国家構想推進交付金



（出所）内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局資料

今後の社会経済環境の変化例	• 地方におけるデジタル実装事例の増加 • 全国の自治体におけるデジタル田園都市国家構想推進交付金の活用拡大
行政に求められる対応例	• 総合戦略の策定・改訂（デジタル田園都市国家構想総合戦略の勘案） • デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえた自治体サービスにおけるデジタル化の推進（デジタル田園都市国家構想交付金の活用）

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

⑦ＳＤＧｓの取組みの広がり

「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ：Sustainable Development Goals)」は、2015 年 9 月に国連サミットにて採択された、2030 年を期限とする社会全体の普遍的な国際目標である。「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットから構成され、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に対して総合的な取り組みを求めている。

国際研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」（ＳＤＳＮ）が発表した日本のＳＤＧｓ達成度は世界 167 カ国中 18 位（2024 年）であった。17 の目標のうちジェンダー平等や気候変動対策など 5 つの目標が前年に続いて「最低評価」となっている。

国内では、行政、民間事業者、市民等の間で持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取り組みが進められており、ＳＤＧｓを原動力とした地方創生（地方創生ＳＤＧｓ）を推進されている。

国は、「ＳＤＧｓ未来都市・自治体ＳＤＧｓモデル事業等」の選定、「地方創生ＳＤＧｓ官民連携プラットフォーム」の運営、「地方創生ＳＤＧｓ金融」の推進等により、ＳＤＧｓ達成に向けた後押しをしている。

さらに、2018 年度から、地方創生ＳＤＧｓの達成に向け、優れたＳＤＧｓの取組を提案する地方自治体を「ＳＤＧｓ未来都市」として選定し、その中で特に優れた先導的な取組を「自治体ＳＤＧｓモデル事業」として選定して支援し、成功事例の普及を促進している。2024 年度までに全国 207 自治体が「ＳＤＧｓ未来都市」に選定されている。

図表15　日本のＳＤＧｓに関する主な出来事

年月		出来事
2016年	5月	SDGs推進本部の設置
	12月	「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」の策定
2017年	6月	ジャパンSDGsアワード設置
	7月	自発的国家レビュー1回目（VNR）発表
	12月	SDGsアクションプラン公表
2018年	3月	SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業選定開始
	6月	「ジャパンSDGsアクション・プラットフォーム」を創設
2019年	12月	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に地方創生 SDGs の実現などを明記
2020年	10月	「地方公共団体のための地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン」発表
2021年	6月	VNR2回目発表
2023年	3月	SDGsアクションプラン2023公表
	12月	「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」改定

（出所）各種資料に基づき㈱ちばぎん総合研究所が作成

図表16　ＳＤＧｓアクションプラン 2023 における日本が重点的に取り組む 8 つの優先課題

「2030アジェンダ」に掲げられている5つのＰ		8つの優先課題
People	1	あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
人間：多様性ある包摂社会の実現とウィズ・コロナの下での取組	2	健康・長寿の達成
Prosperity	3	成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
繁栄：成長と分配の好循環	4	持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備
Planet	5	省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会
地球：人類の未来への貢献	6	生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
Peace	7	平和と安全・安心社会の実現
平和：普遍的価値の順守		
Partnership	8	SDGs実施推進の体制と手段
官民連携：国際連携の強化		

（出所）日本政府SDGs推進本部「SDGsアクションプラン 2023」をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

今後の社会経済環境の変化例	・ 社会でのＳＤＧｓを重視する機運のさらなる高まり ・ 基礎自治体におけるＳＤＧｓの取組みの推進（環境保全、都市形成、多様性確保等）
行政に求められる対応例	・ ＳＤＧｓのゴールと各施策との紐付け ・ 各取組みにおけるＳＤＧｓの視点の反映 ・ ＳＤＧｓの達成に向けた庁内及び住民の理解醸成

※社会経済動向を踏まえ、行政に共通して求められる対応例を整理しています。なお、記載されている順番は優先順位を示すものではありません。

（２） 個別テーマ

①脱炭素

a. 千葉県の動向

千葉県は国の掲げる目標の達成に向けて、環境保全と経済成長の好循環をもたらす地球温暖化対策を県民や事業者、市町村と協力して推進することを目的に、2021 年 2 月に「2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」を行い、また、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、環境保全と経済成長の好循環をもたらす地球温暖化対策を中長期的なビジョンをもって推進するため、2050 年に向けた目指す姿や、千葉県が有する特色やポテンシャルを活用した取組みの方向性を示す基本方針として、2023 年 5 月、「千葉県カーボンニュートラル推進方針」を策定した。

図表17　千葉県カーボンニュートラル推進方針で示された取組の方向性

①立地環境を最大限に生かした再生可能エネルギーの導入促進	太陽光発電の導入促進／風力発電の導入促進／バイオマス発電等の導入促進
②京葉臨海コンビナートにおける脱炭素化の促進	各産業の脱炭素化（鉄鋼、石油精製・石油化学、エネルギー）／水素・アンモニアの利活用など企業間連携促進
③成田空港・千葉港等の広域物流拠点・ネットワークにおける脱炭素化の促進	カーボンニュートラルエアポート形成促進／グリーン物流への転換
④全国屈指の農林水産県としての強みを活かした先駆的取組の促進	農業・農地の脱炭素化／林業・森林の脱炭素化／水産業・海洋の脱炭素化
⑤県民の意識改革や行動変容を通じた脱炭素型ライフスタイルへの転換	住宅・建築物の省エネルギー化／次世代自動車の普及／コンパクトなまちづくりへの転換／サーキュラーエコノミーへの移行／ビジネススタイルの転換
⑥先進的・優良な市町村の取組みの県内全域への横展開と全国への波及	スマートシティの構築／地域新電力の導入促進／地域マイクログリッド構築／シェアリングエコノミーの普及

（千葉県カーボンニュートラル推進方針をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成）

b. 本市の動向

本市は2024年3月にカーボンニュートラルの実現を図るため、温室効果ガス排出量の削減に向け、あらゆる主体が一体となって全力で取り組む「袖ケ浦市カーボンニュートラル宣言」を表明し、同年6月に2050年カーボンニュートラルを目指し、施策の方向性や温室効果ガスの排出量削減目標などを定めた「袖ケ浦市地球温暖化対策実行計画」を策定した。

同計画では、温室効果ガス排出量を削減する「緩和策」と、気候変動による被害を軽減する「適応策」の両面から地球温暖化対策を推進し、産業部門・家庭部門における温室効果ガス排出量の合計を2030年度までに2013年度比で47%以上削減すること、及び市の事務事業に伴い排出される温室効果ガス排出量を2013年度比で47%以上削減することを目指すとしており、目標達成に向けて、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担いながら連携して取り組んでいく必要があるとしている。

図表18　袖ケ浦市地球温暖化対策実行計画に示されている各主体の役割

市民	・ 日常生活における省エネ行動や再エネ導入に取り組むなど、脱炭素ライフスタイルへの転換に積極的に努める。 ・ 行政などが提供する防災情報や熱中症等の情報を収集し、自らの生命・財産を守るための「自助」の行動につなげるとともに、地域のつながりを生かした「共助」の取組を進める。
事業者	・ 職場における環境教育の推進。 ・ 自主性、創造性を発揮し、温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組む。 ・ 災害時における被害軽減や事業継続計画（BCP）の策定等を推進する。 ・ 将来の気候変動の影響を見据えた事業リスク評価、適応策の検討・実施を行う。
行政	・ 国・県・関係自治体、事業者、市民との連携を図りながら総合的かつ計画的な対策を推進し、計画の進捗管理を行う。 ・ 地球温暖化に関する情報を市民や事業者に幅広く、分かりやすく発信するとともに、普及啓発・環境教育を推進し、市民・事業者の取組の促進などを図る。 ・ 市の事務事業において、省エネの徹底や再エネ導入等に率先して取り組む。 ・ 気候変動に関する情報収集・発信等の推進や、市における各種施策において気候変動適応の視点を組み込み、現在及び将来における気候変動影響へ対応していく。

（出所）袖ケ浦市地球温暖化対策実行計画をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

c. 本市が受ける影響

本市の地域特性を踏まえ、脱炭素をめぐる社会の動きによる影響として想定される事項のうち主なものを以下にまとめた。

地域特性	影響・期待されること
臨海コンビナートの一角が立地	・ 臨海企業の脱炭素に向けた技術開発促進や企業間連携の活発化、及びそれに伴う経済活性化への期待
内陸部を中心に農地・森林が広がる	・ スマート農業への転換促進への期待 ・ 二酸化炭素吸収源である森林管理の重要性の高まり

②ＤＸ

a. 千葉県の動向

千葉県は県民や事業者の視点で、大きな可能性を持つデジタル技術を効果的に活用して、県を取り巻く課題等に対応するとともに、あらゆる分野でより良い変革を起こし、

・安全・安心で便利な千葉の暮らしをつくる
・個性と能力を十分に発揮できる環境をつくる
・千葉らしさを伸ばし、地域に活力を生み出す

をねらいとした「デジタル・トランスフォーメーション推進戦略」を 2023 年 3 月に策定した。同戦略では、目指す姿として「デジタルのチカラで創る県民の心豊かな暮らしと活力ある千葉」を掲げ、概ね 10 年後の具体像として、「あらゆる人が暮らしやすい社会」、「誰もがどこでも能力を発揮できる社会」、「地域経済が活性化している社会」、「スマート自治体が実現した社会」を挙げている。

図表19　「千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略」が示すＤＸ推進により目指す姿

目指す姿の具体像	具体像の関連分野	具体例
あらゆる人が暮らしやすい社会	危機管理	被害予測、危機発生時の迅速・的確な状況把握、被災者・患者支援の迅速化、スムーズな情報共有による多様な主体の連携強化などにより県全体の危機管理能力が向上。
	安全・安心	サイバー空間を含む犯罪情報や防犯・交通安全に必要な情報を県民がタイムリーに知り、犯罪や交通事故が起こりにくい環境が充実。
	医療・福祉	デジタル技術による業務効率化により質の高い医療や福祉サービスが充実。
	子育て	スマートフォン等で簡単に情報の受け取りや相談、コミュニティへの参加ができ、希望通りに妊娠・出産・子育てをできる環境が充実。
	社会資本・まちづくり	道路・河川等の効率的な整備・維持管理による社会資本の長寿命化、多様な交通サービスの連携による快適な移動環境が実現。
	環境保全	効率的な環境モニタリングや廃棄物の適正処理・再資源化が進む。
誰もがどこでも能力を発揮できる社会	働き方	テレワーク、ワーケーションなど働く場所や時間を自由に選択できる働き方が広がり、豊かな自然に恵まれた千葉で暮らす価値が高まる。
	社会参画	デジタル化の恩恵をあらゆる人が享受でき、一人ひとりが個性・能力を発揮し、誰もが社会参画し、社会全体の活力が向上。
	学習機会	誰もが時間と場所を選ばず学びたいときに学べ、知識を習得できる生涯学習社会が実現。
	文化芸術・スポーツ	デジタル技術も活用して、自己表現の場が広がり、能力の発揮や社会参加が促進されるとともに、あらゆる人々が、より気軽に、より身近に文化芸術・スポーツに親しめる環境が整備されている。
地域経済が活性化している社会	産業振興・中小企業	新たな技術やアイデアを生かしたイノベーションが進み、活発な起業・創業や新事業への挑戦を通じた新産業の創出が盛んになるとともに、デジタル化など環境変化に的確に対応した中小企業の経営基盤の強化が図られ、千葉県経済が活性化。

	農林水産業	生産者の省力化やノウハウ等の見える化、生産・出荷管理の最適化、効率化等が進み、全国屈指の千葉の農林水産業が更に発展。
	建設産業	労働人口の減少などの環境変化に的確に対応した、安全かつ生産性の高い建設現場等の環境が充実。
	観光	観光客が、その人の言語やニーズに合った情報をストレスなくスムーズに入手でき、今まで知らなかった魅力にも触れることができるとともに、観光事業者間の連携により新たな魅力が創出。
	物流・交通網	社会インフラの整備や混雑情報などの利活用により、成田空港や港湾、鉄道・道路網など、充実した物流・交通インフラという千葉の強みが最大限活用される。
	カーボンニュートラル	デジタル化による効率的なエネルギー利用が進むとともに、エネルギー消費量の可視化等により需給バランスが管理され、エネルギー利用の最適化が図られる。
スマート自治体が実現した社会	行政サービス	自分に合った情報を漏れなく入手して、簡単に使えることで、行政手続にかかる時間が最小化されるとともに、いつでもどこでも、それぞれのニーズに合ったきめ細かい行政サービスを受けられる。
	データ利活用	行政をはじめとした産学官民の保有するデータが分野横断的に共有され、効果的に利活用される環境が整っている。

（出所） 千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成

b. 本市の動向

本市は、国の自治体ＤＸ推進計画を踏まえ、2021 年度から 2025 年度までの 5 年間を適用期間とする「袖ケ浦市デジタル・トランスフォーメーション推進方針」を策定した。同方針において以下の 3 つの基本方針を掲げ、また、本市の第 7 次行政改革大綱アクションプランに掲げた取組の推進によりＤＸへの対応を進めていくとしている。

図表20　「袖ケ浦市デジタル・トランスフォーメーション推進方針」の 3 つの基本方針

基本方針①	デジタル・ガバメントの実現に向けた行政事務における情報技術の活用促進
基本方針②	市民の利便性向上のためのデジタル技術の活用促進
基本方針③	デジタル技術を用いた社会課題の解決、新たな価値の創出

図表21　「袖ケ浦市第 7 次行政改革大綱」の取組項目

新しい技術を活用した事務改善	・ ＲＰＡ、ＡＩ、民間委託の導入を見据えた事務フロー見直し ・ マイナンバー制度の推進 ・ システム導入におけるルール整備
時代の要請に応える業務改善	・ 地域におけるビッグデータの利活用の推進 ・ 地域課題を解決する官民連携での新しい技術の活用
ワークスタイルの変革	・ ペーパーレス化の推進 ・ オフィス改革の推進

c. 本市が受ける影響

2024 年 4 月、検討会議の議論を経て、「自治体ＤＸ推進計画【第 3.0 版】」が示された。以下の点が主な改定として挙げられており、各自治体における取組推進が求められている。

図表22　「自治体ＤＸ推進計画【第 3.0 版】」における主な改定事項

①自治体フロントヤード改革	・ 行政手続きのオンライン化に限らず、住民との接点の多様化・充実化を念頭に、「自治体フロントヤード改革の推進」を重点取組事項に位置付け。
②デジタル人材の確保・育成等	・ 人事担当部局とＤＸ担当部局の緊密な連携のもとにデジタル人材の確保・育成に係る方針の策定を求める。 ・ 都道府県と市区町村の連携による推進体制構築に関する記述を充実。
③公金収納におけるｅＬＴＡＸの活用	・ ｅＬＴＡＸを活用した公金収納の取組の推進。

一方、市民のデジタルに関する理解度や利用範囲にはばらつきがあり、特に高齢者等のデジタルツールを使い慣れていない市民へのサポートやデジタルデバイド対策、セキュリティ対策の徹底がＤＸを推進するうえでの重要課題として対応が求められている。

③地方創生

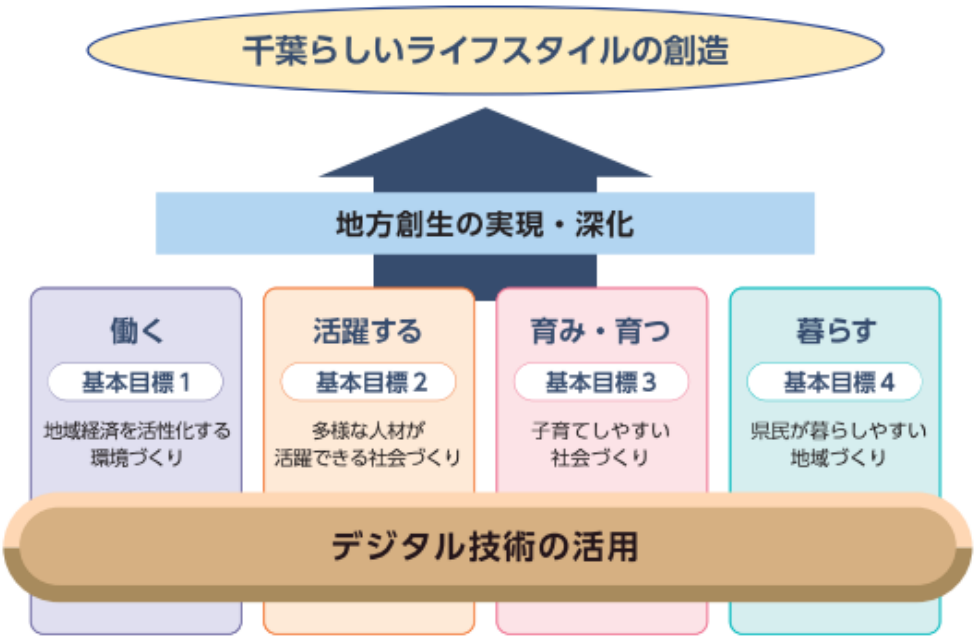
a. 千葉県の動向

地方においては、まち・ひと・しごと創生法第 9 条及び第 10 条に基づき、国の総合戦略を勘案し、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するよう努めることとされている。

千葉県では、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」策定を踏まえ、2024 年 3 月、2027 年度までの 4 年間を計画期間とする「第 3 千葉県地方創生総合戦略～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」を策定した。

ここでは、「千葉らしいライフスタイルの創造」を地域ビジョンとし、これを実現するための 4 つの基本目標をデジタル技術の活用により推進することとしている。

図表23　「第 3 期千葉県地方創生総合戦略～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」における地域ビジョンと基本方針



（出所）「第 3 千葉県地方創生総合戦略～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」

図表24　「第 3 期千葉県地方創生総合戦略」で掲げる地方創生におけるデジタルの活用

基本目標との対応	デジタルの活用方針	取り組み
1 地域経済を活性化する環境づくり(働く)	1 デジタルで「働く」を次のステージへ	・ 中小企業の DX の推進 ・ スマート農林水産業の加速化 ・ デジタルを活用した観光振興
2 多様な人材が活躍できる社会づくり(活躍する)	2 デジタルは「活躍する」を広げる	・ テレワーク・ワーケーション等の推進
3 子育てしやすい社会づくり(育み・育つ)	3 デジタルが「育み・育つ」を変える	・ デジタル技術を活用した教育の質の向上
4 県民が暮らしやすい地域づくり(暮らす)	4 デジタルで「暮らす」を安全で楽しく	・ デジタルを活用した安全な地域づくりの推進 ・ 医療・福祉・介護分野でのデジタル化の推進 ・ インフラ DX ・ まちづくり分野での DX 推進 ・ 県行政の DX の加速化 ・ 市町村 DX の推進に向けた連携・支援

(出所)「第 3 期千葉県地方創生総合戦略～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」より㈱ちばぎん総合研究所が作成

b. 本市の動向

本市では、2015 年度に「袖ケ浦市人口ビジョン」「第 1 期袖ケ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少への対応を主眼として様々な施策を実施してきた。

また、2019 年 12 月には、国における「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定を受け、人口減少・地域経済・地域社会の様々な課題に対して、分野横断的・総合的な取組みにより地方創生への課題解決を図るため、「第 2 期袖ケ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。当該戦略は、総合計画前期基本計画と整合を図るため、前期基本計画と同じ 2019 年度から 2025 年度までの 6 か年を計画期間とし、各種施策を展開している。

図表25　＜第２期 袖ケ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略における
４つの「基本目標」と２つの「共通の目標」＞

基本目標 1　～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ケ浦～

国や県と連携しながら、結婚、出産、子育てに関する希望や理想実現を支援するとともに、子どもが欲しいと考える市民を後押しすることで、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。

基本目標 2　～いきいきと働くことができるまち 袖ケ浦～

本市の基盤産業である工業や農業の持続的発展を図り、市内産業で多くの働く場・機会を確保するとともに、さまざまな業種・業態の「しごと」によって多くの人を惹きつけ、市民がいきいきと安定的・長期的に働くことができるまちを目指します。

基本目標 3　～訪れる人も満足できるまち 袖ケ浦～

豊かな自然や観光資源などを最大限に活かし、地域の活性化と魅力向上を図り、本市に住むことの魅力を高め、家族や友人などに誇れるまちとすることで、転入促進と転出抑制につなげるとともに、県内外から袖ケ浦市に人を呼び込み、訪れる観光客が満足できるまちを目指します。

基本目標 4　～安心して暮らせるまち 袖ケ浦～

必要な機能を一定の地域にコンパクトに集約し、各拠点間の交通ネットワークの充実に努めるとともに、既存の公共施設等の計画的・効果的な活用を図るなど、ストックマネジメントに取り組むことで、質の高い暮らしのための都市づくりを推進します。

また、地域における保健・福祉環境の整備や、防災・防犯、交通安全の取組を進め、安心して暮らせるまちを目指します。

共通の目標 1
～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～

地域内のコミュニティを活性化させるため、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として積極的に地域活動に参加し、地域の実情に応じた、地域で支え合う体制づくりを推進します。

また、女性、高齢者、若者などが交流し、誰もが役割を持ち、多様な人材が活躍できる地域づくりを推進します。

共通の目標 2
～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～

Society5.0 の実現に向けた技術（未来技術）の進展は、人口減少や少子高齢化の課題に対処することや、モノやサービスの生産性や利便性を飛躍的に高め、産業や生活等の質を大きく変化させるものと期待されているところであり、本市においても取組を推進していきます。

また、持続可能な開発目標（SDGｓ）の理念（「誰一人取り残さない」社会の実現）を踏まえ、地方創生の推進を通じて、SDGｓの達成に貢献していきます。

c. 本市が受ける影響

本市の総合戦略においても、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した内容へと改訂することが求められる（実務面では、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和４年12月版）」に沿うことが要請されている）。

当該戦略及び「袖ケ浦市デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）推進方針」に沿って、デジタル田園都市国家構想交付金の活用を検討しつつ、総合計画と緊密に連携して総合的かつ効率的に施策を推進し、本市の持続的な発展を目指すことが求められる。

④ＳＤＧｓ

a. 千葉県の動向

千葉県は県内企業等におけるＳＤＧｓ推進の機運醸成と具体的な取組を後押しすることを目的として、2021 年 11 月に「ちばＳＤＧｓパートナー登録制度」を創設し、ＳＤＧｓに積極的に取り組む県内企業等を登録し、その取組を県のホームページ等で広く発信している。2024 年 9 月 13 日現在、同制度の登録企業数は 2,233 団体に達している。また、同制度の申請受付開始にあわせて千葉県、地域金融機関、各経済団体の 12 企業・団体がＳＤＧｓの普及啓発及びＳＤＧｓに取り組む企業への支援を目的に「ちばＳＤＧｓ推進ネットワーク」を立ち上げた。同ネットワークでは、構成団体の会議による情報共有、セミナー開催、登録企業への金融支援・非金融支援など、ＳＤＧｓに積極的な企業の成長を官民連携で後押ししている。

図表26　ちばＳＤＧｓ推進ネットワークの概要



（出所）内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局、内閣府地方創生推進事務局公表資料より抜粋

なお、千葉県内では、市原市、松戸市、木更津市の3市が内閣府の「ＳＤＧｓ未来都市」選定されている。

図表27　千葉県内のSDGｓ未来都市

都市名	選定年度	提案タイトル	事業概要
市原市	2021年度	SDGsのシンボルとなるまちへの挑戦	国内有数の石油化学コンビナートを擁する都市としてカーボンニュートラルと持続的発展を両立させる市原市サーキュラーエコノミーを実現させるとともに、里山環境を活かしたまちづくり、子ども・若者の貧困対策に取り組む。
松戸市	2022年度	「やさシティ、まつど。」の進化と深化～多様な人材が奏でるSDGs未来都市の実現～	少子高齢化が進む常盤平団地エリアでZ世代がまちづくりに主体的に関わる仕組みを構築し、エリアのリブランディングを進める。
木更津市	2023年度	ORGANICCITYPROJECT～木更津SDGs推進モデル	経済循環を高める「食×農プロジェクト」、支え合いによる「防災・減災プロジェクト」、「木更津発　脱炭素化プロジェクト」の3つのプロジェクトを連携して進める。

（出所）内閣府ホームページをもとにちばぎん総合研究所が作成

b. 本市の動向

本市は令和2年度に策定した総合計画（前期基本計画）及び「第2次袖ケ浦市環境基本計画」において、各施策に関連するＳＤＧｓのゴールを明確化し、各施策の推進を通じて、ＳＤＧｓの達成に貢献していく方針を明らかにしている。

c. 本市が受ける影響

ＳＤＧｓの指標は世界全体をカバーするように設定されており、必ずしも日本の国レベルや自治体レベルにおけるＳＤＧｓの取り組みに適しているわけではないため、国連統計委員会が提案している約230の指標に対し、内閣府地方創生推進事務局に設置された自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会が「地方創生ＳＤＧｓローカル指標リスト」を公開している。ＳＤＧｓへの取り組みがその有無のみを問われる段階を過ぎ、取り組み成果についても問われるフェーズにある今、本市が直面する課題に即した的確な指標を設定するとともに、より効果的な取組と評価が求められる。

第２章　本市の特徴（指標分析）

１．分野構成及び県内自治体間比較部分の使用データ

章	番号	施策分野	県内自治体間比較部分の使用データ	
			調査指標	出所（指標のデータ年）
第１章　子育て・教育・文化	①	1-1　子ども・子育て	合計特殊出生率	千葉県「市町村別5歳階級合計特殊出生率」（2023年）
			15～49歳女性人口1千人あたり出生数	総務省「国勢調査」（2020年）
			人口1千人あたり保育所定員	千葉県統計年鑑（2023年） 総務省「国勢調査」（2020年）
	②	1-2　教育	市町村比較データは非掲載（小学校・中学校の図書館における1人当たりの貸出冊数（年間）を掲載）	
	③	1-3　生涯学習	人口1万人あたり公民館数	総務省「統計でみる市区町村のすがた」（2018年）
			人口1万人あたり図書館数	総務省「国勢調査」（2020年）
	④	1-4　スポーツ	人口1万人あたり社会体育施設数	千葉県統計年鑑（2023年） 総務省「国勢調査」（2020年）
第２章　健康・医療・福祉	①	2-1　健康づくり・医療	人口1万人あたり病院数	厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（2023年） 総務省「国勢調査」（2020年）
			人口1万人あたり病院病床数	
			人口1万人あたり医師数	千葉県衛生統計年報（医師・歯科医師・薬剤師統計）（2022年） 総務省「国勢調査」（2020年）
			特定健康診査受診率	千葉県「特定健診・特定保健指導のデータ集計結果」（2020年度）
	②	2-2　地域福祉	高齢夫婦世帯数比率	総務省「国勢調査」（2020年）
			高齢単身世帯数比率	
		2-3　高齢者福祉	要介護（要支援）認定比率	厚生労働省「介護保険事業状況報告月報」（2024年4月）
			65歳以上人口1万人あたり介護老人福祉施設定員数	千葉県衛生統計年報（2022年） 総務省「国勢調査」（2020年）
			65歳以上人口1万人あたり認知症サポーター数	特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構ホームページ（2024年9月） 総務省「国勢調査」（2020年）
第３章　環境・防犯・防災・	①	3-2　防犯・交通安全	人口1千人あたり犯罪発生件数	千葉県警察本部「犯罪の概要」（2023年）
			人口1千人あたり交通事故発生件数	千葉県警察本部「交通事故統計ちば」（2023年）
			人口1千人あたり交通事故死傷者数	千葉県警察本部「交通事故統計ちば」（2023年）
		3-3　消防・救急	人口1万人あたり火災発生件数	千葉県「令和5年版消防防災年報」（2022年） 千葉県常住人口（2022年）
	②	3-6　廃棄物・リサイクル	1人・1日あたりごみ総排出量	千葉県「清掃事業の現況と実績」（2022年度）
			ごみリサイクル率	

章	番号	施策分野	県内自治体間比較部分の使用データ	
			調査指標	出所（指標のデータ年）
第４章　都市形成・都市基盤	①	4-1　市街地形成	可住地面積1k㎡あたり人口密度	総務省「統計でみる市区町村のすがた」（2021年）
			人口1千人あたり小売店数	
			人口1千人あたり飲食店数	
			人口10万人あたり大型小売店数	
		4-2　公園・緑地	1人あたり都市公園面積	千葉県「市町村別都市公園整備状況」（2021年）
	②	4-3　道路	市町村道改良率	指標で知る千葉県（2020年）
		4-4　下水道	下水道普及率	千葉県統計年鑑（2022年）
		4-6　住宅	住宅地価格	千葉県地価調査（2024年）
			空き家率	総務省「住宅・土地統計調査」（2024年）
第５章　産業	①	5-1　農林業	販売農家数あたり農業産出額	農林水産省「市町村別農業産出額」（2022年） 農林水産省「農林業センサス」（2020年）
	②	5-2　商工業	人口1千人あたり事業所数	総務省「経済センサス活動調査」（2021年）
			製造業事業所あたり製造品出荷額	
			1事業所あたり年間商品販売額	
	③	5-3　観光	観光入込客数	千葉県観光入込調査（2022年）
			宿泊客数	
	④	5-4　雇用・就業	就業率	総務省「国勢調査」（2020年）
			第1次産業就業者比率	
			第2次産業就業者比率	
			第3次産業就業者比率	
			女性就業率	
			高齢者就業率	
第６章　市民活動・行財政	①	6-5　財政運営	財政力指数	総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」（2023年度）
			実質公債費比率	
			経常収支比率	
			実質収支比率	千葉県「市町村の財政状況について」（2022年度）

（注）1.本項における偏差値は、県内 54 市町村の平均値と一致する場合を 50 とし、そこからどの程度差があるか示した数値である。

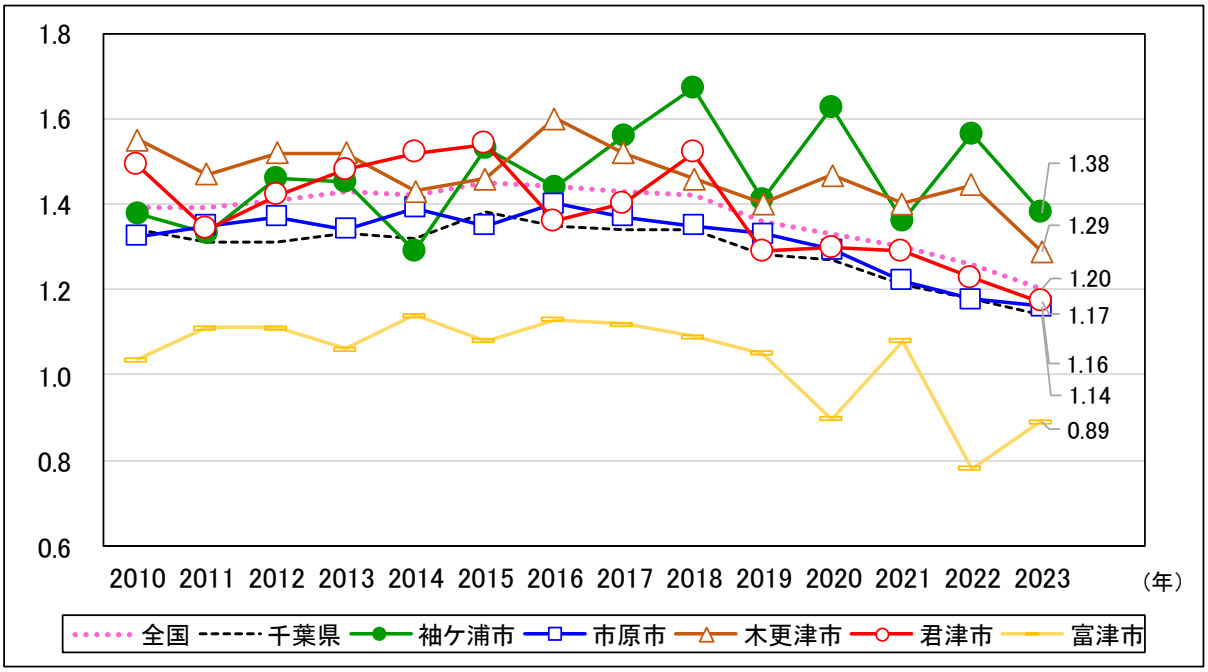
2.値が低いほど偏差値及び順位が高位になる項目（値が高いほど偏差値及び順位が低位になる項目）には、順位に下線を付している。

２．調査結果

（１）　子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むまちづくり【子育て・教育・文化】

①子育て支援

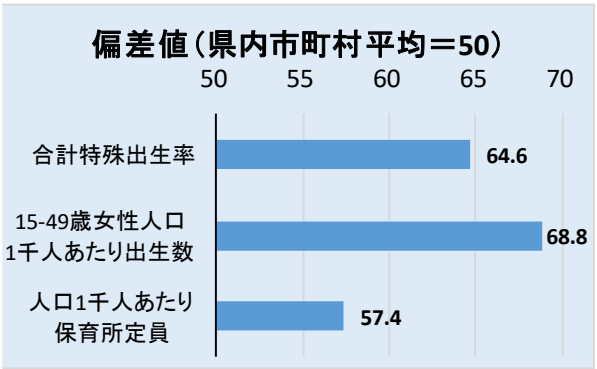
a.　合計特殊出生率の推移

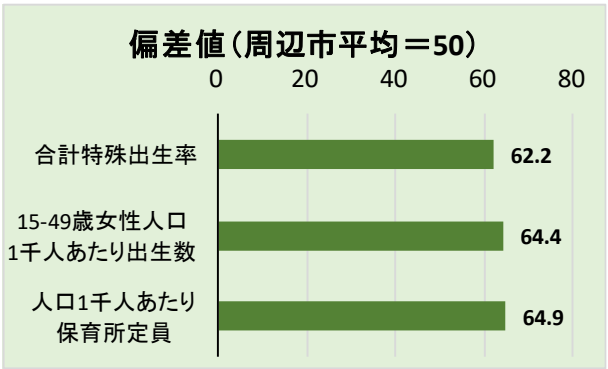


（出所）千葉県「市町村別5歳階級合計特殊出生率」

b.　県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
合計特殊出生率	1.38	1.0	1.2	3位　/54	1位　/5
15-49歳女性人口1千人あたり出生数（人）	38.1	24.6	29.5	3位　/54	1位　/5
人口1千人あたり保育所定員（人）	23.7	16.5	15.0	15位　/54	1位　/5



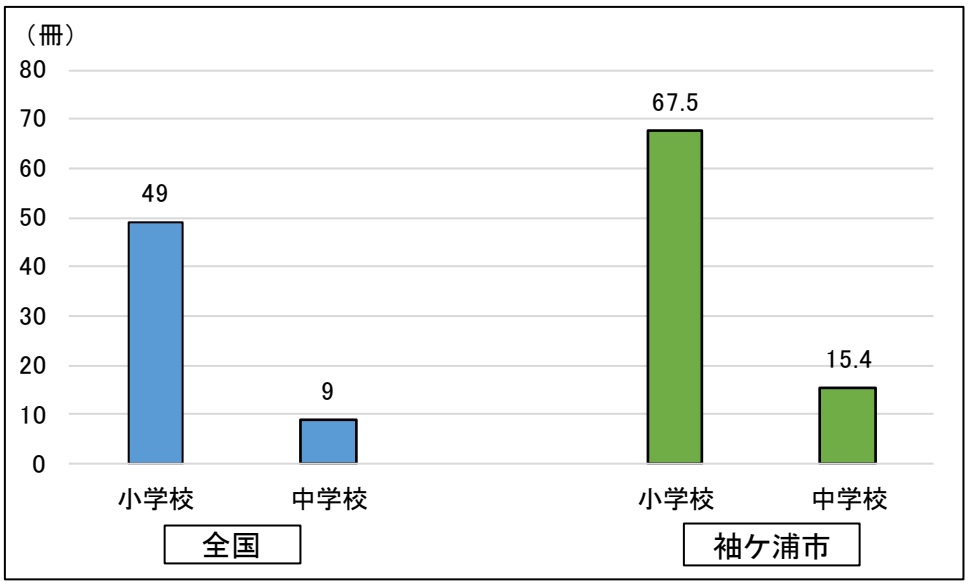


c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 合計特殊出生率と 15-49 歳女性人口 1 千人あたり出生数が県内 3 位で、極めて高い水準。 ・ アクアラインを通じた利便性や地価の相対的な安さ、各種子育て支援施策等が寄与し、子育て世帯に選ばれるまちになっているといえる。
弱み	・ 指標上は特になし。

②学校教育

a. 小学校・中学校の図書館における１人当たりの貸出冊数（年間）



（出所）文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」（2019年度）

b. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 本市の小学校・中学校の図書館における１人当たりの貸出冊数（年間）は、小学校 67.5 冊、中学校 15.4 冊と、全国水準（小学校 49 冊、中学校 9 冊）を上回っており、学校図書館から本を借りて読書や学習を行っている児童・生徒が多い。 ・ 令和６年度における千葉県の優良・優秀学校図書館認定事業において、市内の全小中学校の図書館が優秀学校図書館に認定されている。
弱み	・ 指標上は特になし。

③生涯学習

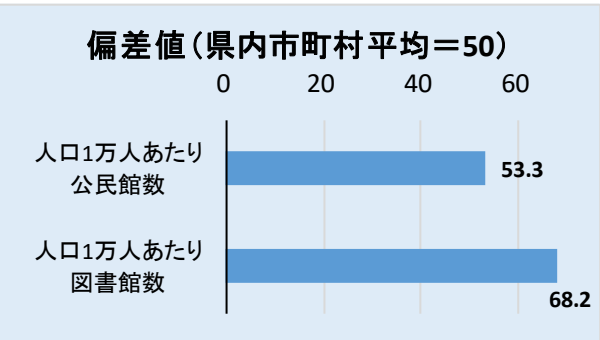
a. 本市の社会教育施設

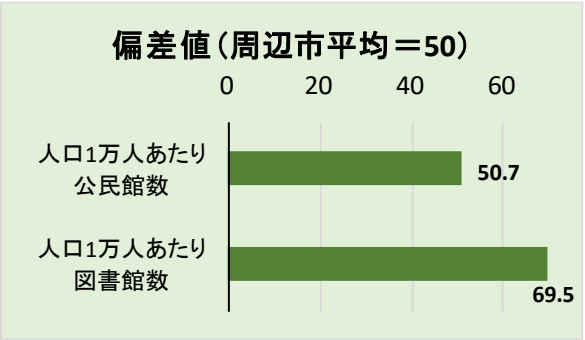
施設名称	建築年	延床面積（㎡）
市民会館（昭和交流センター）	1974（昭和 49）	4,124.00
平川交流センター（平川公民館）	1979（昭和 54）	3,226.74
富岡サブセンター（富岡分館）	1991（平成 3）	739.44
長浦交流センター（長浦公民館）	1986（昭和 61）	2,031.00
根形交流センター（根形公民館）	1987（昭和 62）	1,786.00
平岡交流センター（平岡公民館）	1989（平成元）	1,932.30
中央図書館	1986（昭和 61）	2,260.00
長浦おかのうえ図書館	1997（平成 9）	3,907.00
郷土博物館	1982（昭和 57）	2,918.24

（出所）袖ケ浦市公共施設等総合管理計画（令和 4 年 3 月改訂）

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
人口1万人あたり公民館数（館）	0.98	0.75	0.96	16位 /54	3位 /5
人口1万人あたり図書館数（館）	0.49	0.24	0.14	9位 /54	1位 /5





c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 人口 1 万人あたり公民館数は 0.98 館（県内 16 位）と比較的高水準。 ・ 人口 1 万人あたり図書館数は 0.49 館（県内 9 位）で高位。周辺市の平均（0.14 館）を大幅に上回っている。
弱み	・ 施設の老朽化が進んでいる（最も古い市民会館は 1974 年に建築され築 50 年が経過）。 ・ 施設数の充実の裏返しとして、維持費の負担が大きい。

④スポーツ

a. 周辺市の現有公立社会体育施設の内訳（令和３年９月１日現在）

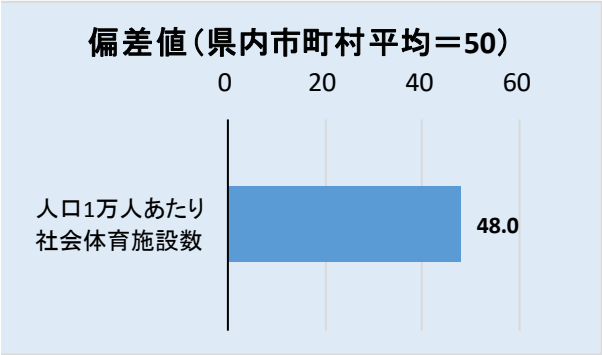
（単位：施設）

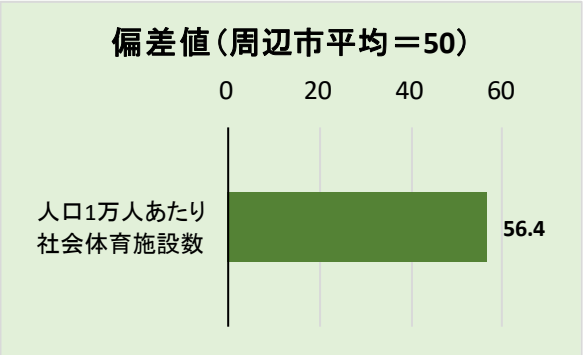
	陸上競技場	野球場	球技場	運動広場	屋内プール	屋外プール	庭球場	卓球場	柔道場	剣道場	柔剣道場	相撲場	弓道場	体育館	トレーニング場	海水浴場	ランニングコース	サイクリングコース	キャンプ場	ゲートボール場	ハイキングコース	冒険遊具コース	オリエンテーリングコース	射撃場	ゴルフ場	グラウンドゴルフ場	艇庫	フィットネススタジオ	パークゴルフ場	その他	合計
袖ケ浦市	1	4	1	4	0	1	4	0	1	1	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
市原市	1	8	7	7	1	3	11	0	0	0	2	1	1	14	3	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	68
木更津市	1	3	0	4	1	0	5	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21
君津市	1	6	2	0	0	1	4	1	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	28
富津市	1	3	3	2	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22

（出所）千葉県「千葉県公立社会体育施設（市町村別）現有数（令和5年4月1日現在）」

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
人口1万人あたり社会体育施設数	3.94	4.71	3.21	26位 /54	2位 /5





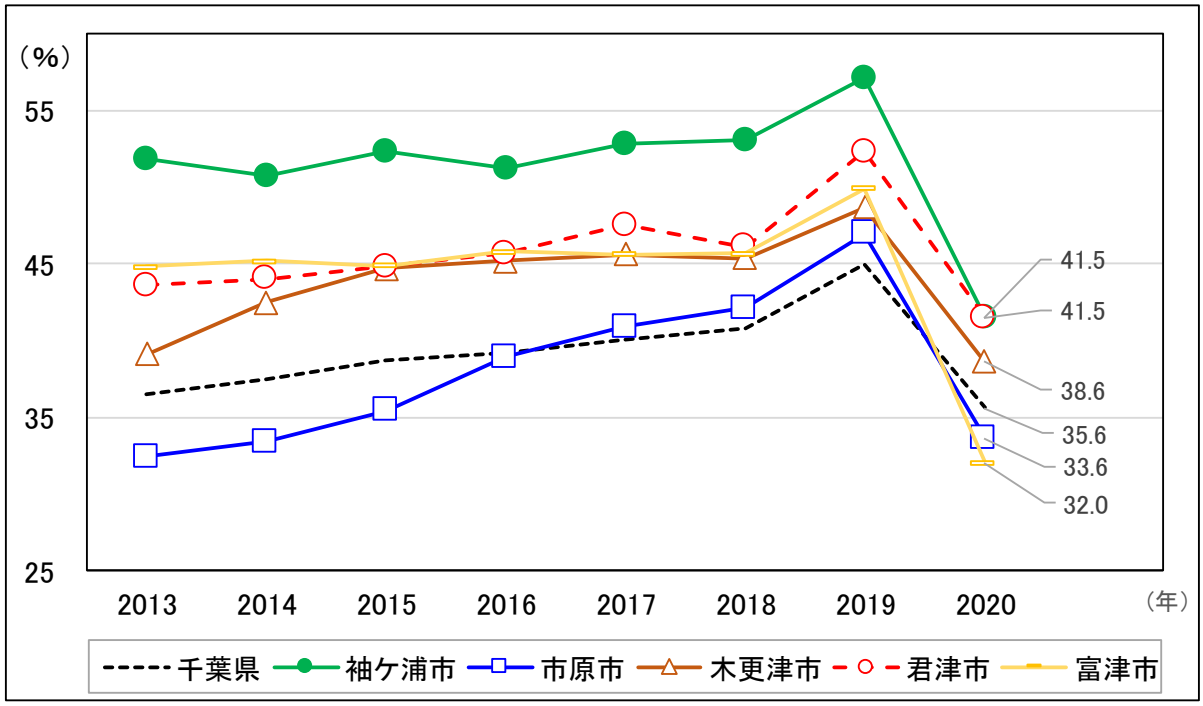
c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 総合運動場や臨海スポーツセンターなど大規模なスポーツ施設の立地。 ・ 質の高い民間ゴルフ場の立地。 ・ 地元でのちばアクアラインマラソンの開催。
弱み	・ 施設の老朽化が進んでいる。

（２）　支え合いと支援のもとで健やかに暮らせるまちづくり【健康・医療・福祉】

①健康づくり・医療

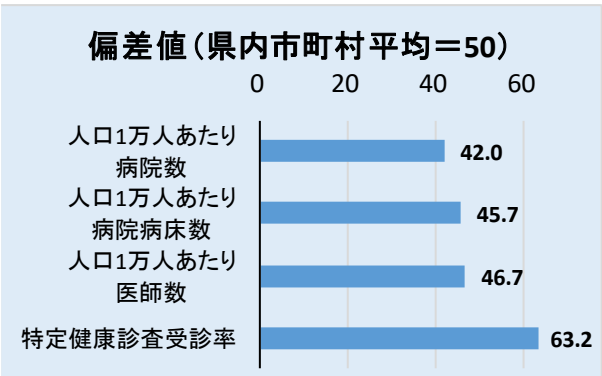
a.　特定健康診査受診率の推移

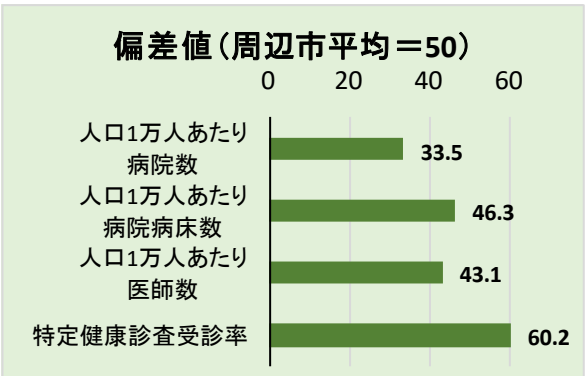


（出所）千葉県「特定健診・特定保健指導のデータ集計結果」

b.　県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
人口1万人あたり病院数（施設）	0.2	0.6	0.5	47位　/54	5位　/5
人口1万人あたり病院病床数（床）	64.0	109.9	78.4	38位　/54	4位　/5
人口1万人あたり医師数（人）	11.1	18.1	15.3	31位　/54	3位　/5
特定健康診査受診率（%）	41.5	33.8	37.4	5位　/54	2位　/5



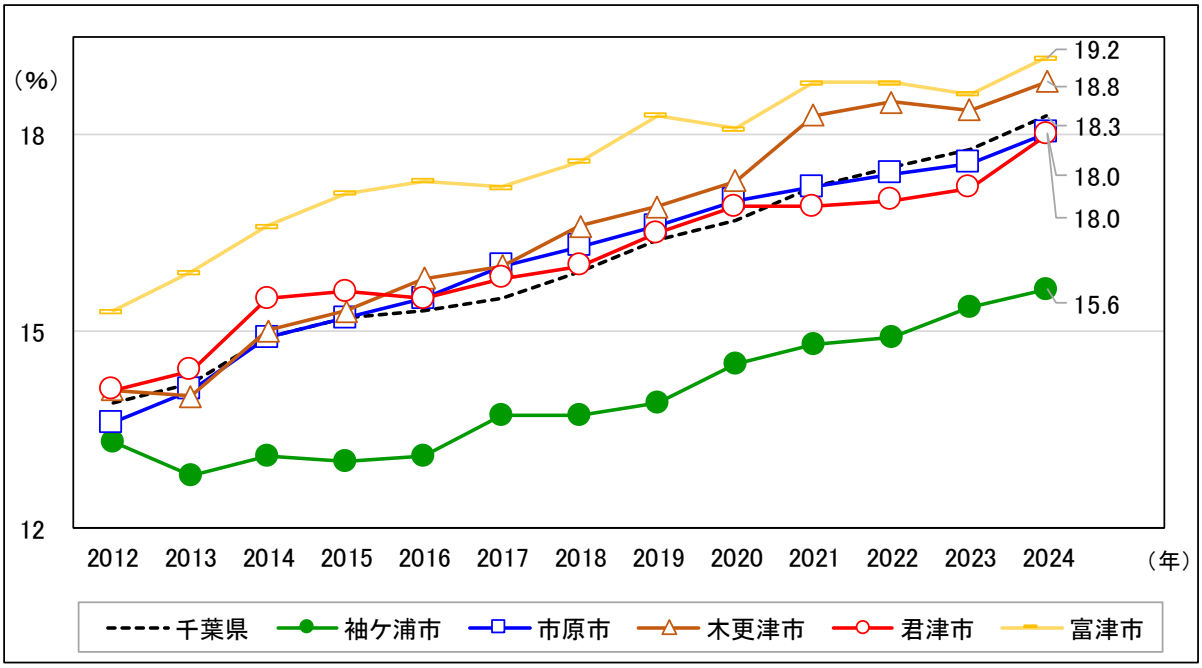


c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 特定健康診断受診率が 2013 年から 2019 年まで 50%以上を維持しており、周辺市と比較して高水準（2020 年は 41.47%で木更津市に次いで 2 位)。
弱み	・ 人口 1 万人あたり病院数は 0.2 施設（県内 47 位)、同病院病床数は 64.0 床（県内 38 位）で低位となっている。

②地域福祉・高齢者福祉

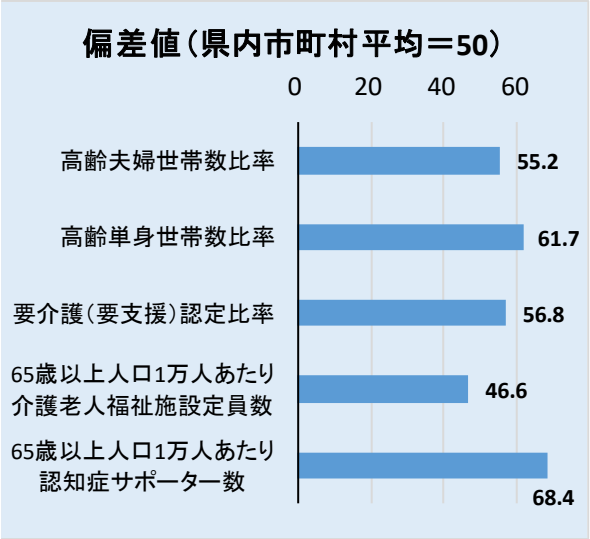
a. 要介護（要支援）認定比率の推移

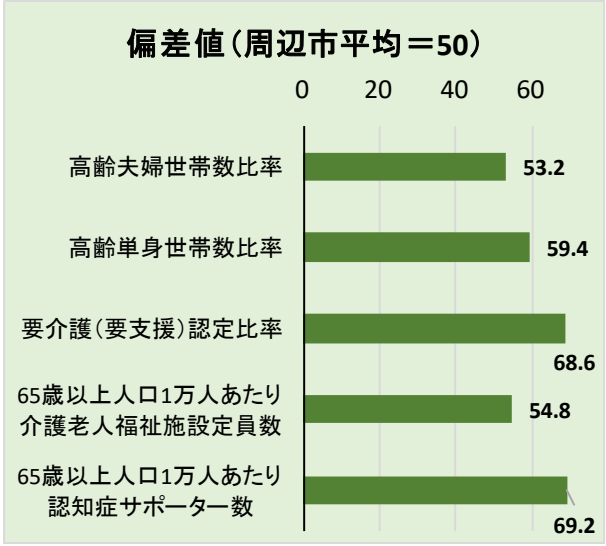


（出所）厚生労働省「介護保険事業状況報告月報」（各年4月末時点）

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
高齢夫婦世帯数比率（%）	12.8	14.5	13.8	17位 /54	3位 /5
高齢単身世帯数比率（%）	8.9	12.9	13.2	27位 /54	1位 /5
要介護（要支援）認定比率（%）	15.6	17.2	17.9	15位 /54	1位 /5
65歳以上人口1万人あたり介護老人福祉施設定員数（人）	172.9	209.2	164.1	30位 /54	2位 /5
65歳以上人口1万人あたり認知症サポーター数（人）	5,907.8	3,231.2	3,346.7	4位 /54	1位 /5





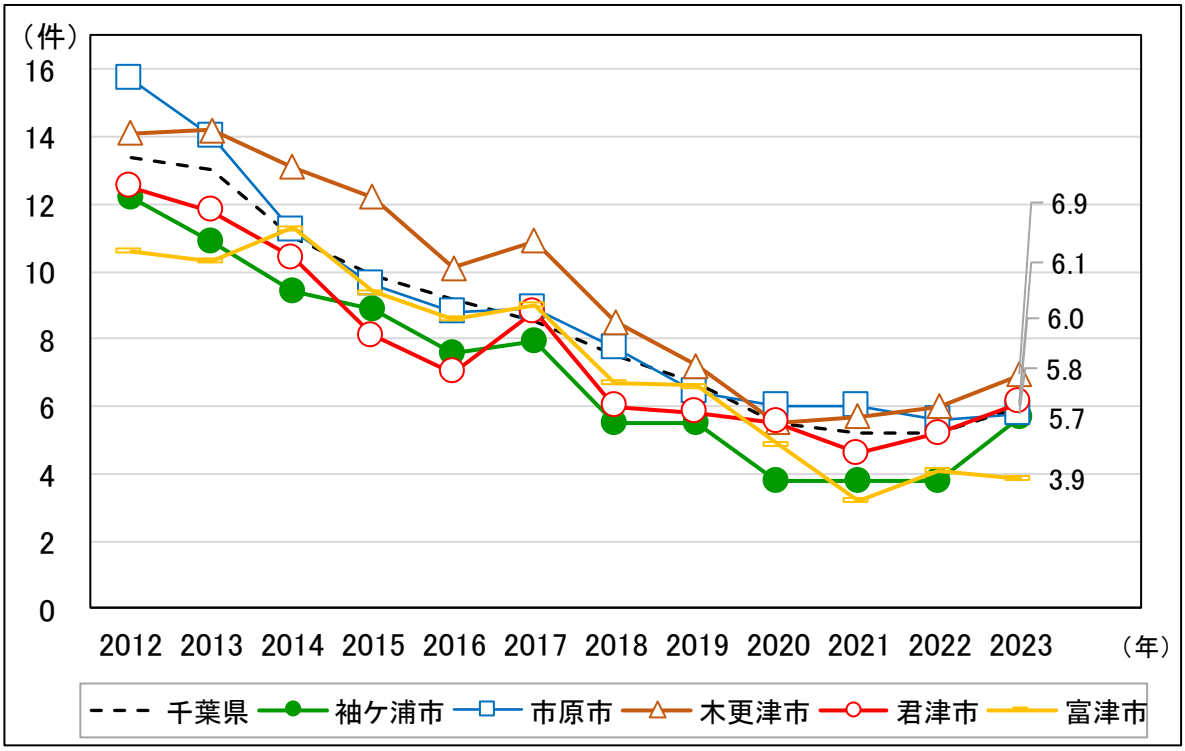
c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 高齢夫婦世帯数比率が 12.8%（県内偏差値：55.2）、高齢単身者世帯数比率が 8.9%（同 61.7）と県内でも低い（高偏差値）。要介護（要支援）認定比率が 15.6%（県内偏差値：56.8）と低水準（高偏差値）。 ・ 65 歳以上人口 1 万人あたり認知症サポーター数は、県内 4 位、周辺市 1 位と高水準。
弱み	・ 指標上は特に無し。

（３）　安全・安心で環境にやさしいまちづくり【防災・防犯・環境】

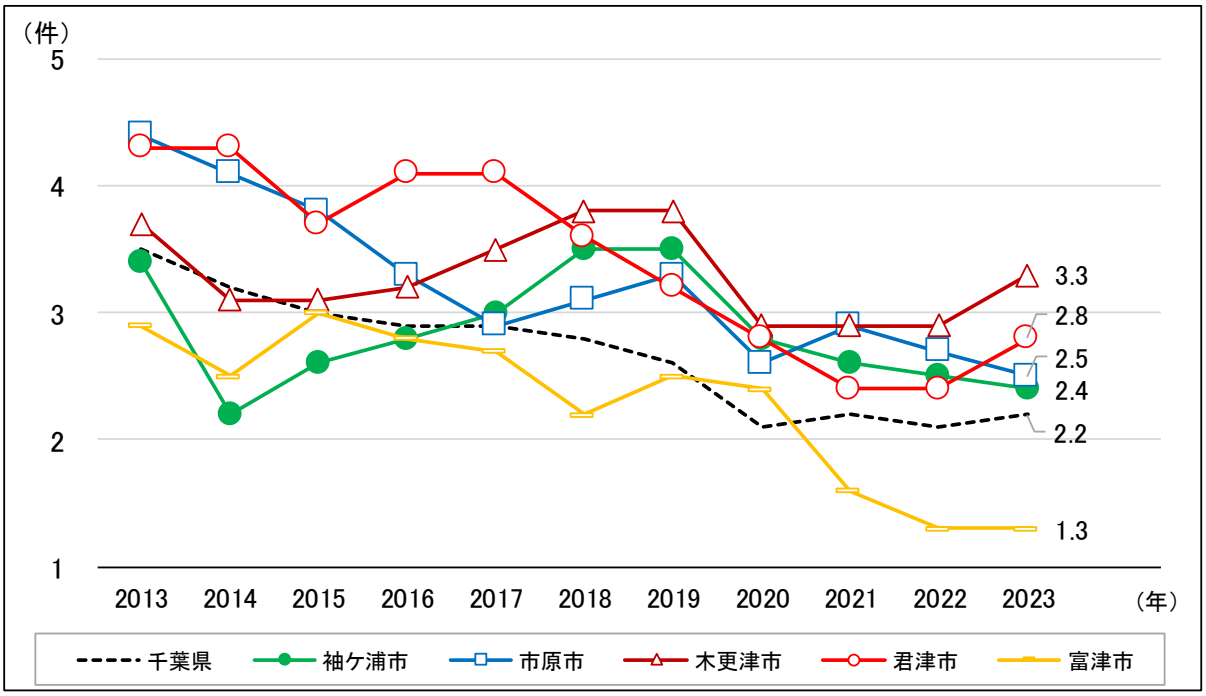
①防犯・交通安全・消防

a.　人口１千人あたり犯罪発生件数の推移



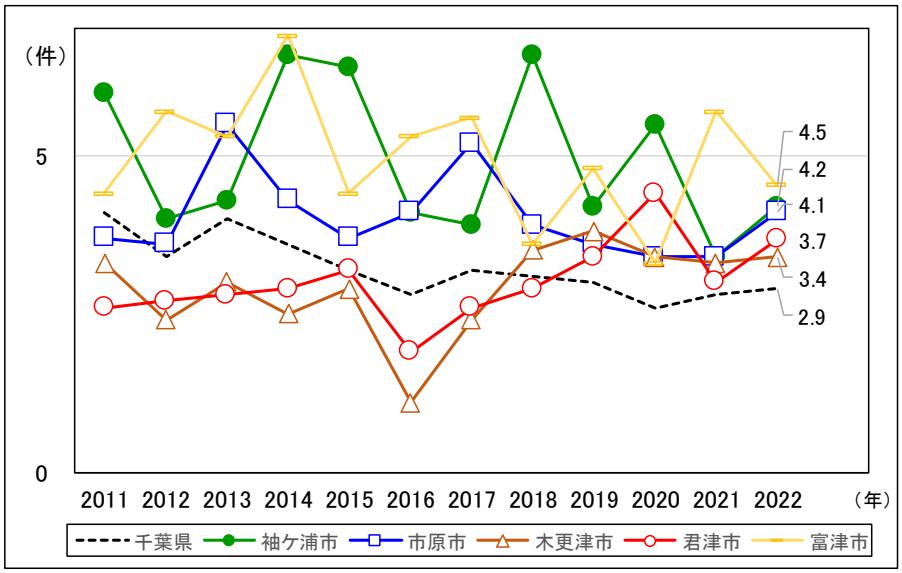
（出所）千葉県警察本部「犯罪の概要」

b.　人口１千人あたり交通事故発生件数の推移



（出所）千葉県警察本部「交通事故統計ちば」

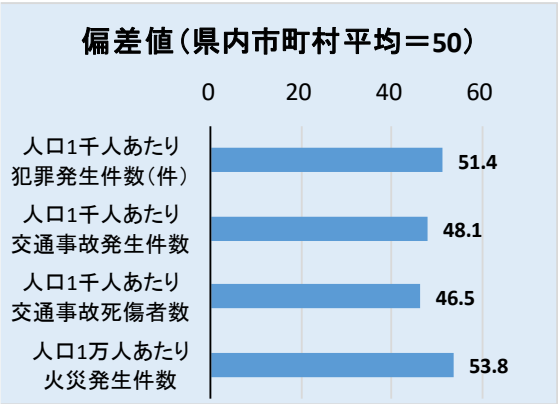
c. 人口 1 万人あたり火災発生件数の推移

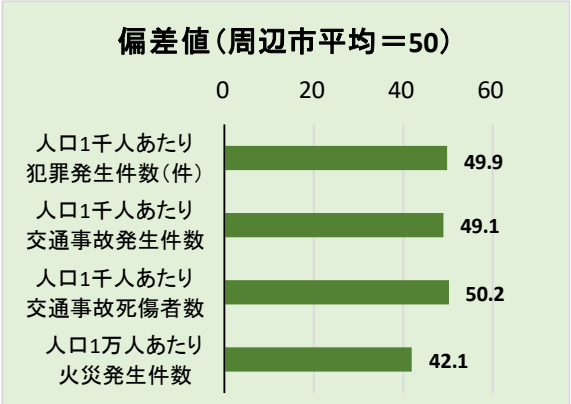


（出所）千葉県「指標で知る千葉県」（～2021年）、千葉県「令和5年版消防防災年報」（2022年）

d. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
人口1千人あたり犯罪発生件数（件）	5.7	5.9	5.7	26位 /54	2位 /5
人口1千人あたり交通事故発生件数（件）	2.4	2.3	2.5	32位 /54	4位 /5
人口1千人あたり交通事故死傷者数（人）	3.2	2.9	3.2	33位 /54	3位 /5
人口1万人あたり火災発生件数（件）	4.2	5.8	3.9	29位 /54	4位 /5



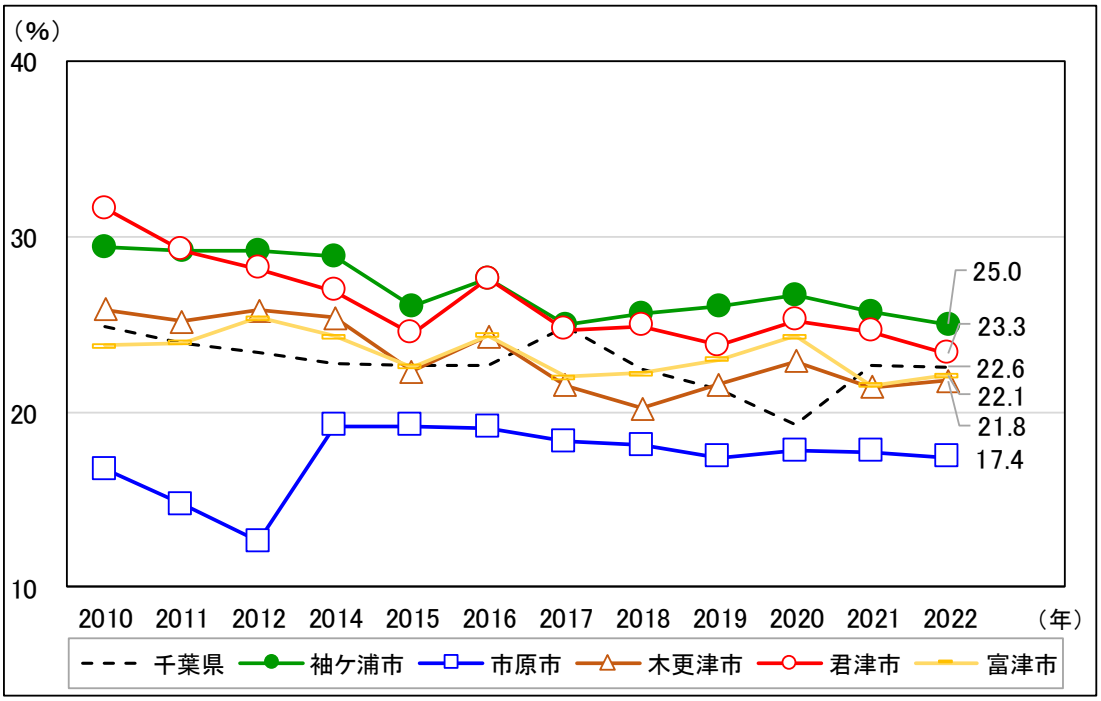


e. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 人口 1 千人あたりの犯罪発生件数は、5.7 件（県内偏差値：51.4）で、周辺市中 2 番目に少ない。 ・ 人口 1 万人あたり火災発生件数は、4.2 件と県内平均（5.8 件）を下回っている（高偏差値）。
弱み	・ 人口 1 千人あたり交通事故発生件数が 2.4 件（県内偏差値 48.1）、交通事故死傷者数が 3.2 人（同 46.5）と県内で高位（低偏差値）。

②廃棄物・リサイクル

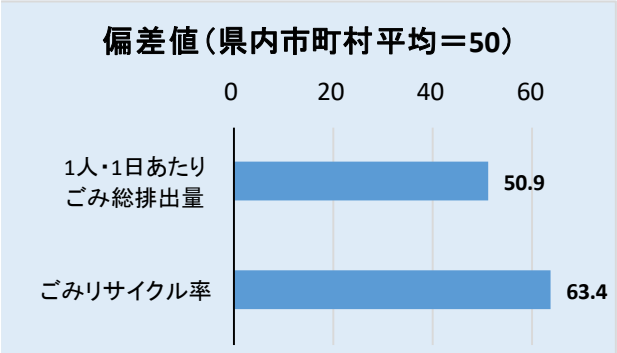
a. ごみリサイクル率の推移

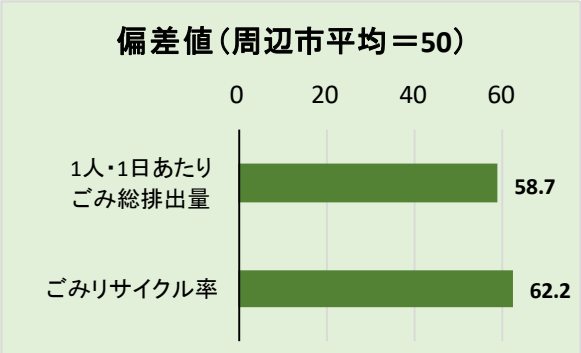


（出所）千葉県「指標で知る千葉県」（～2021年）、千葉県「清掃事業の現況と実績」（2022年）

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
1人・1日あたりごみ総排出量（g/人・日）	892	906	966	28位 /54	1位 /5
ごみリサイクル率（%）	25.0	18.4	21.9	5位 /54	1位 /5





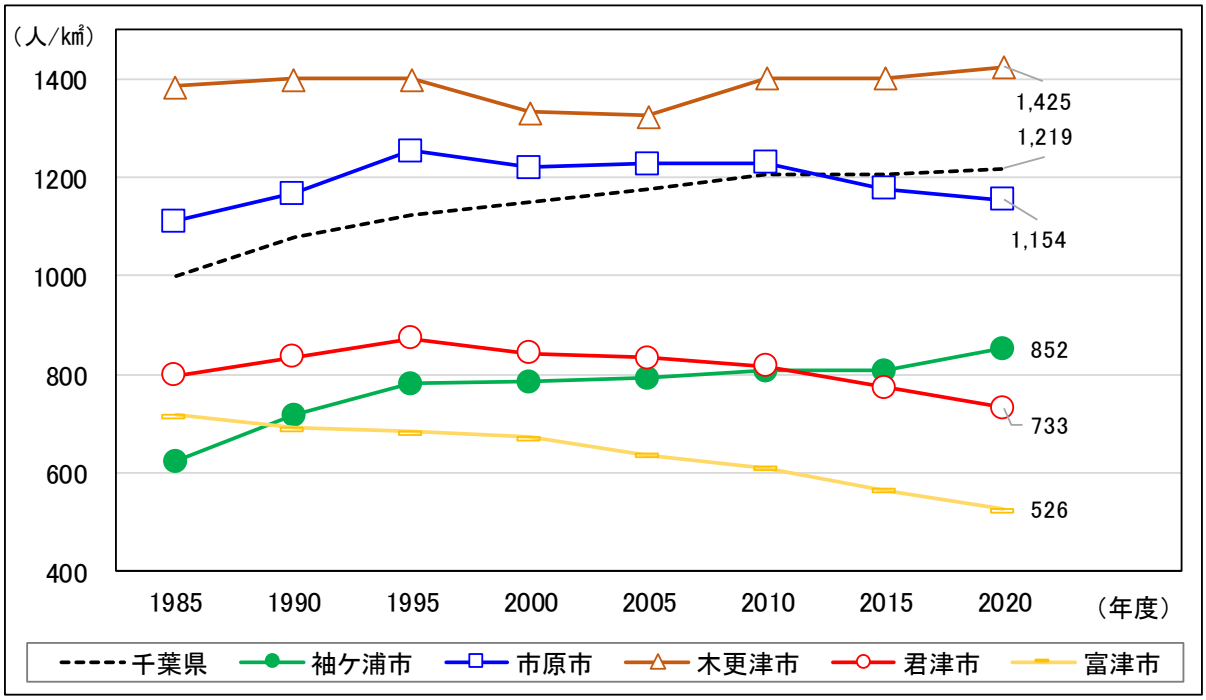
c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ ごみリサイクル率が県内５位、周辺市１位と高水準。 ・ １人１日あたりごみ総排出量が周辺市で最も少ない（高偏差値）。
弱み	・ ごみリサイクル率がやや低下傾向にある。

（４） 都市と自然が調和した住みやすいまちづくり【都市形成・都市基盤】

①市街地形成・公園・緑地

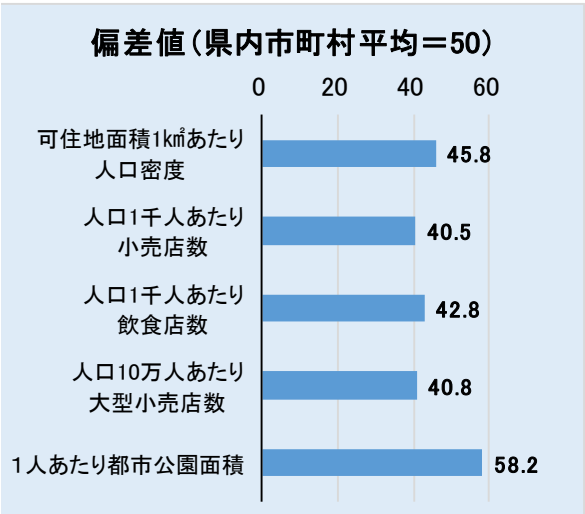
a. 可住地面積１㎢あたり人口密度の推移

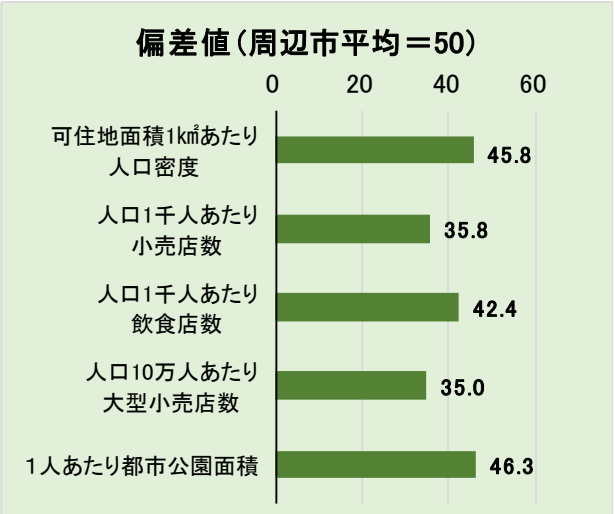


（出所）総務省「統計でみる市区町村のすがた」

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
可住地面積1㎢あたり人口密度（人/㎢）	852	1,935	938	24位 /54	3位 /5
人口1千人あたり小売店数（事業所）	4.3	6.7	6.2	44位 /54	5位 /5
人口1千人あたり飲食店数（事業所）	2.3	3.4	3.2	42位 /54	4位 /5
人口10万人あたり大型小売店数（事業所）	7.8	14.8	13.1	48位 /54	5位 /5
１人あたり都市公園面積（㎡/人）	12.7	6.4	18.8	4位 /54	2位 /5



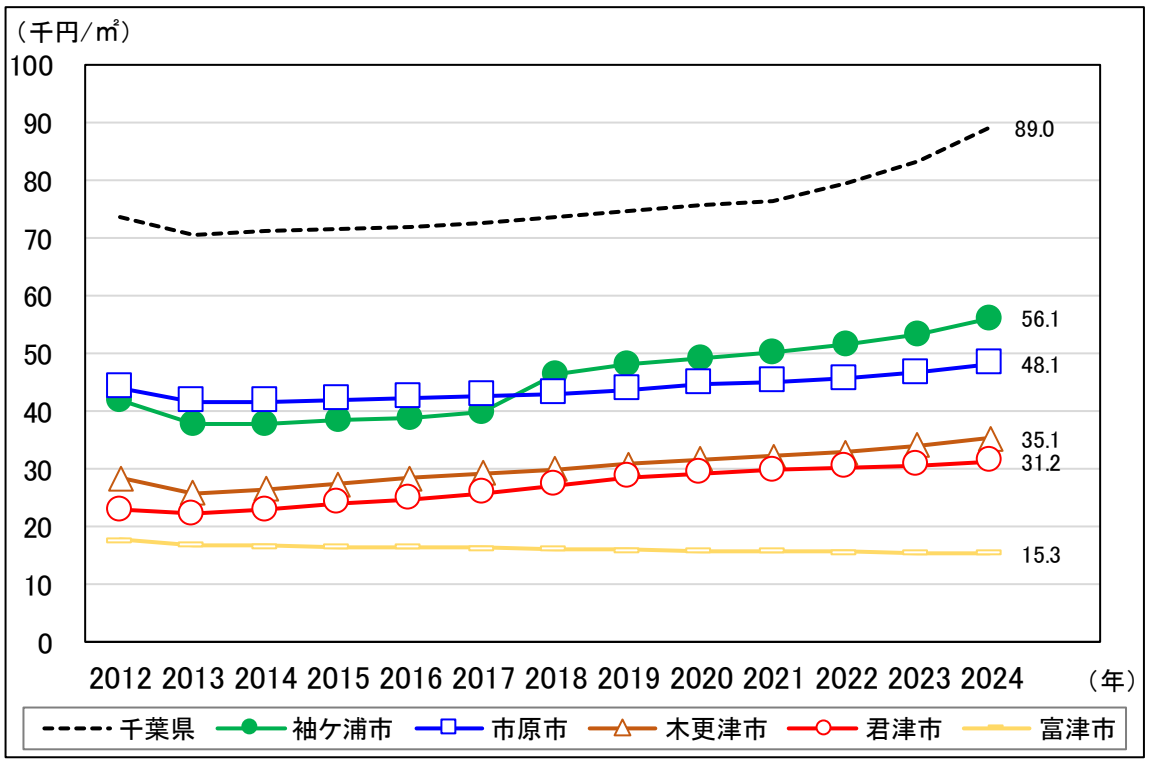


c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 可住地面積 1 ㎢あたり人口密度は 852 人（県内偏差値：45.8）で県内 24 位と中位。過密でも過疎でもなく、比較的バランスの取れた密度となっている。周辺市との比較では、木更津市、市原市に次ぐ人口密度となっており、土地区画整理の進捗に伴い、緩やかな上昇傾向が続いている。 ・ 1 人あたり都市公園面積は、12.7 ㎡と県内 4 位。
弱み	・ 人口あたりの小売店数・飲食店数・大型小売店数は、県内及び周辺市で低位にとどまっており、買い物利便性の確保が課題と言える。

②道路・下水道・住宅

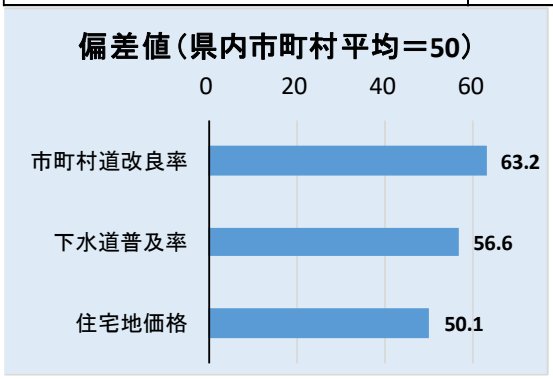
a. 住宅地価格（基準地価）の推移

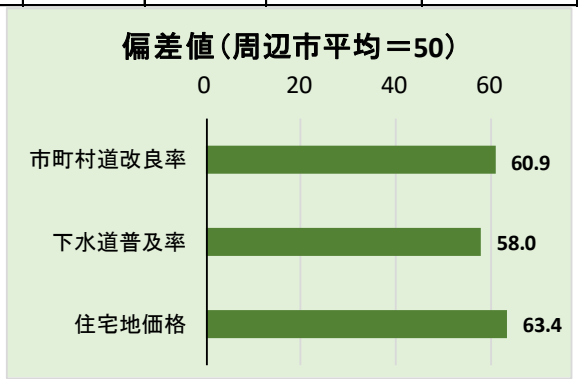


（出所）千葉県「指標で知る千葉県」（～2021年）、千葉県「地価調査」（2022年～）

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
市町村道改良率（%）（※1）	81.5	59.5	67.6	5位 /54	1位 /5
下水道普及率（%）	68.8	43.4	54.6	20位 /54	1位 /5
住宅地価格（千円/㎡）	56.1	55.5	37.2	14位 /54	1位 /5
空き家率（%）（※2）	3.9	5.0	14.1	26位 /40	1位 /5





※1「市町村道改良率」は道路の整備状況を示す基本的指標のひとつであり、改良率が高いほど、道路の交通量等に応じた整備が進んでおり、安全、円滑な交通の確保ができる。
※2空き家率は、住宅総数に対する、賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家数の割合を表記。市町村ごとの公表は、人口1万5000人以上の市町村のみであるため、県内順位は公表のある40市町での順位。なお、偏差値は算出不能につき記載していない。

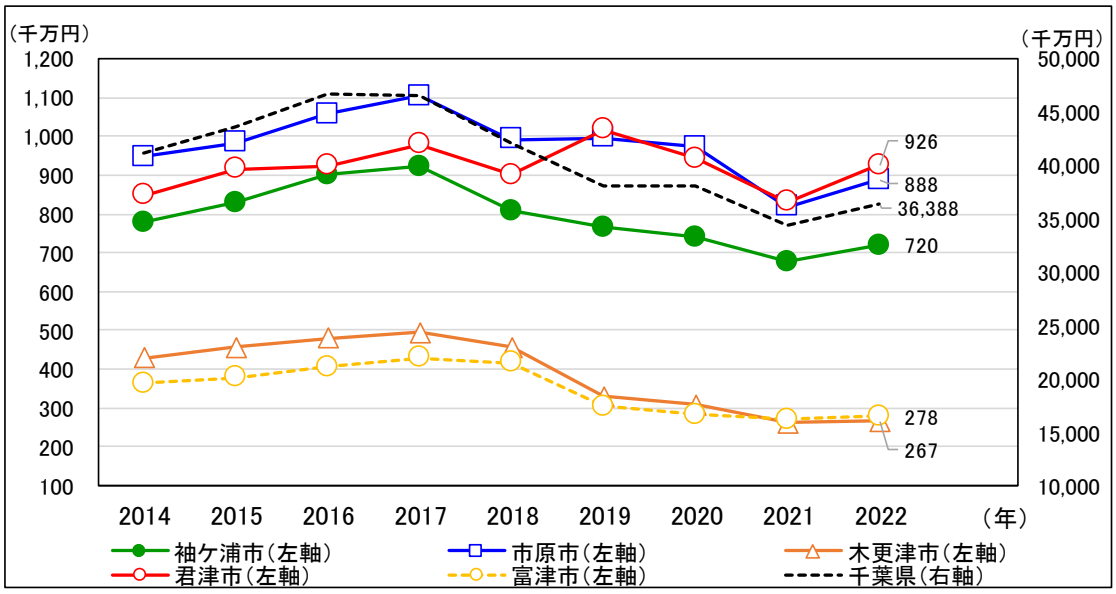
c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 本市の市町村道改良率は 81.5％で千葉県平均（59.5％）及び周辺市平均（67.6％）を大きく上回っている。 ・ 住宅地価格は、県内 14 位、周辺市 1 位と高位。生活環境や東京湾アクアラインを通じた利便性が評価されている。一方、偏差値は 50.1 で、県北西部に比べ手頃な価格水準である。 ・ 空き家率（賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き数率）は 3.9％で、県平均（5.0％）、周辺市平均（14.1％）を下回っている（高偏差値）。
弱み	・ 指標上は特になし。

（５） 地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり【産業】

①農林業

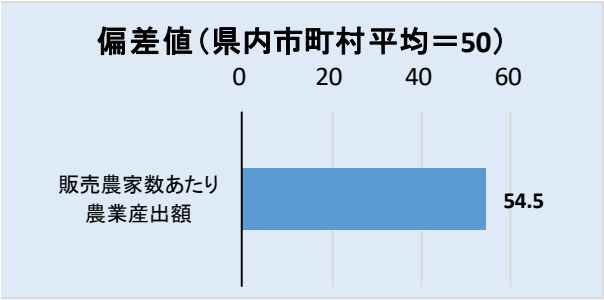
a. 農業産出額の推移

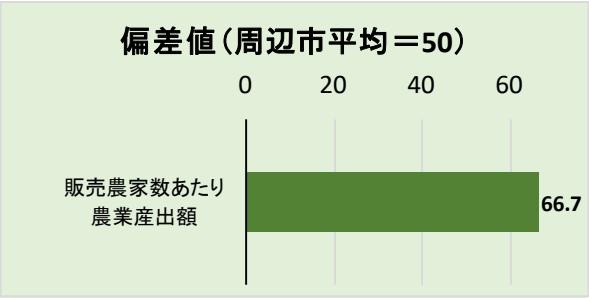


（出所）農林水産省「市町村別農業産出額」

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較

項　　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
販売農家数あたり農業産出額（百万円）	12	9	7	10位　/54	1位　/5





c. 農業経営体数・経営耕地面積の推移

		2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	00年比（%）
農業経営体数（経営体）	袖ケ浦市	1,415	1,227	1,076	871	627	▲ 55.7
	千葉県	76,042	63,746	54,688	44,985	35,420	▲ 53.4
経営耕地面積（ha）	袖ケ浦市	1,999	1,834	1,869	1,654	1,552	▲ 22.4
	千葉県	96,942	91,878	90,321	82,713	76,592	▲ 21.0

（出所）農林水産省「農林業センサス」

d. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 販売農家数あたり農業産出額は 12 百万円で、県内 10 位、周辺 5 市 1 位となっており、生産性の高い営農が行われている。
弱み	・ 農業産出額（2022 年の推計値）は、2018 年以降漸減傾向にあり、2022 年は 720 千万円となっている（2017 年＜923 千万円＞比▲22.0%））。 ・ 農業経営体数は、過去 20 年間で▲55.7%、経営耕地面積は同▲22.4%減少している。

②商工業

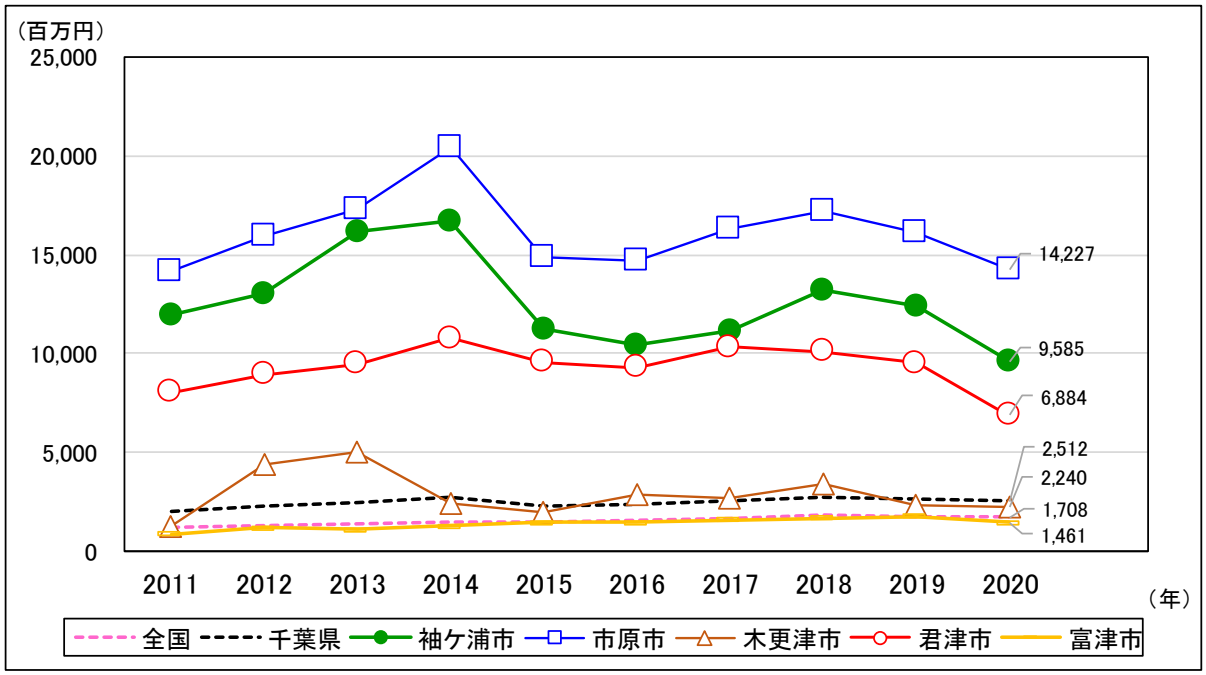
a. 小売業・卸売業の１事業所あたり年間商品販売額（売上金額）

（単位：百万円）

	2012年	2016年	2021年	増加率（%） 2021年/2016年
袖ケ浦市	183	224	226	0.9
市原市	218	240	273	13.8
木更津市	255	272	334	22.8
君津市	224	255	266	4.3
富津市	108	130	130	0.0
千葉県	287	316	374	18.5

（出所）総務省「経済センサス活動調査」

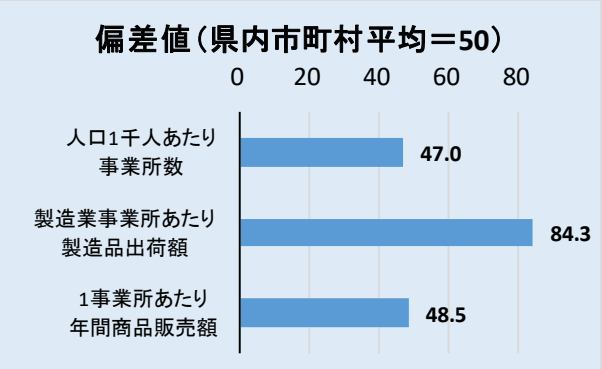
b. 製造事業所あたり製造品出荷額の推移

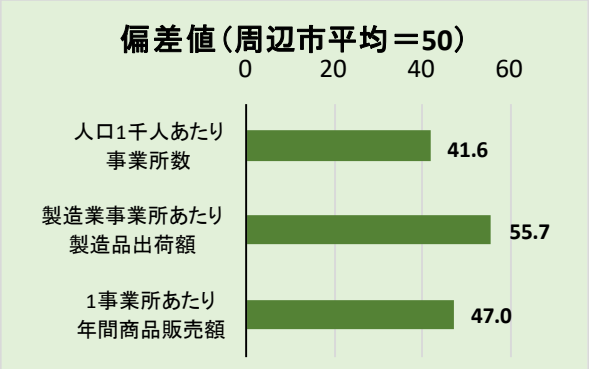


（出所）総務省「工業統計」

c. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
人口1千人あたり事業所数（事業所）	32	35	34	31位　/54	4位　/5
製造業事業所あたり製造品出荷額（百万円）	9,585	1,747	6,879	2位　/54	2位　/5
1事業所あたり年間商品販売額（百万円）	226	248	246	27位　/54	4位　/5



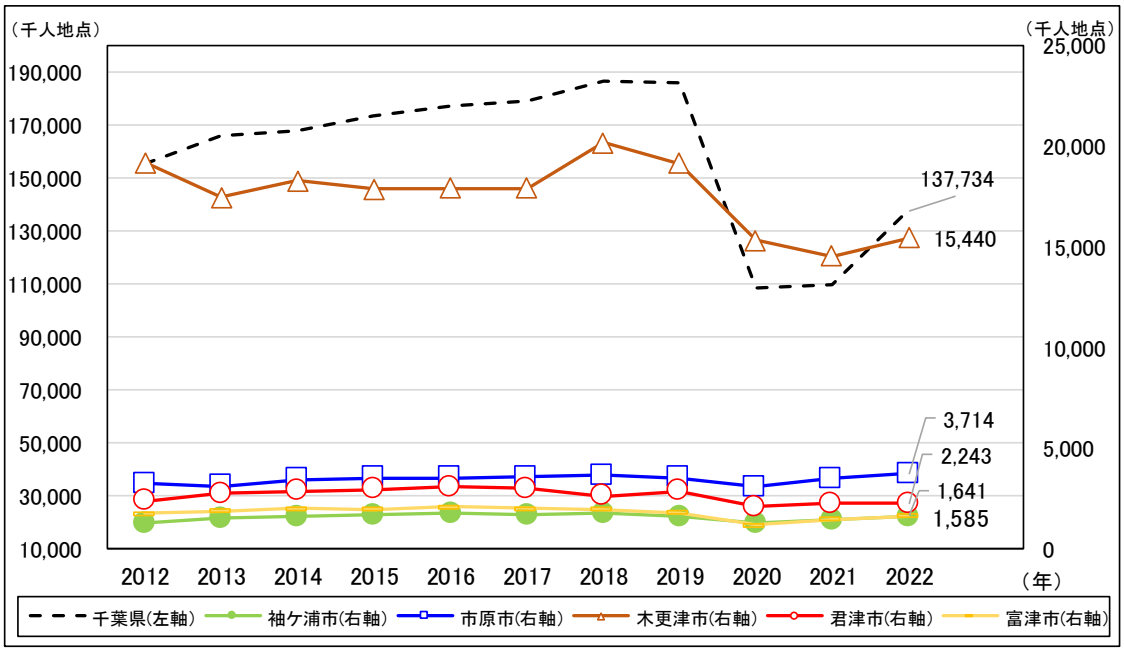


d. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 製造業事業所あたり製造品出荷額は、千葉県の中で市原市に次ぐ 2 位（偏差値 84.3）で、極めて高位となっている。
弱み	・ 人口 1 千人あたり事業所数（32 事業所）は、県内順位 31 位、周辺市順位 4 位と低位となっている。 ・ 小売業・卸売業の 1 事業所あたり年間商品販売額は、県内順位 27 位、周辺市順位 4 位と低位となっている（5 位は富津市）。2012 年から 2021 年にかけての増加率は+0.9%にとどまっており、木更津市（+22.8%）、市原市（+13.8%）に劣後している。

③観光

a. 観光入込客数の推移



（出所）千葉県「観光入込調査」

b. 袖ケ浦市の主な観光地等への観光入込客

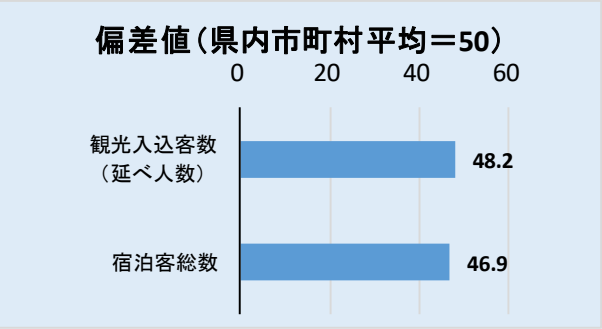
（単位：万人地点）

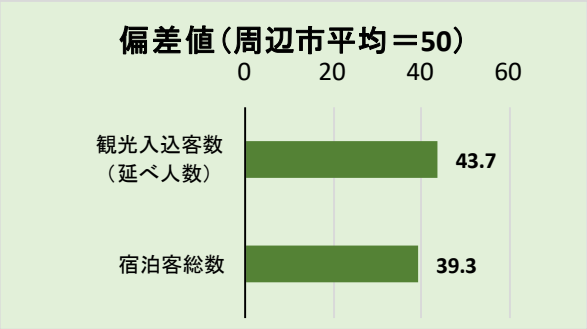
	2021年	2022年
観光入込客数（延べ人数）	147	158
東京ドイツ村	76	78
袖ケ浦公園	23	23
百目木公園	7	8
袖ケ浦郷土博物館	3	4

（出所）千葉県「観光入込調査」

c. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
観光入込客数（延べ人数）（人地点）	1,584,761	2,550,623	4,924,503	18位 /54	5位 /5
宿泊客総数（人泊）	28,429	262,988	248,756	37位 /54	5位 /5



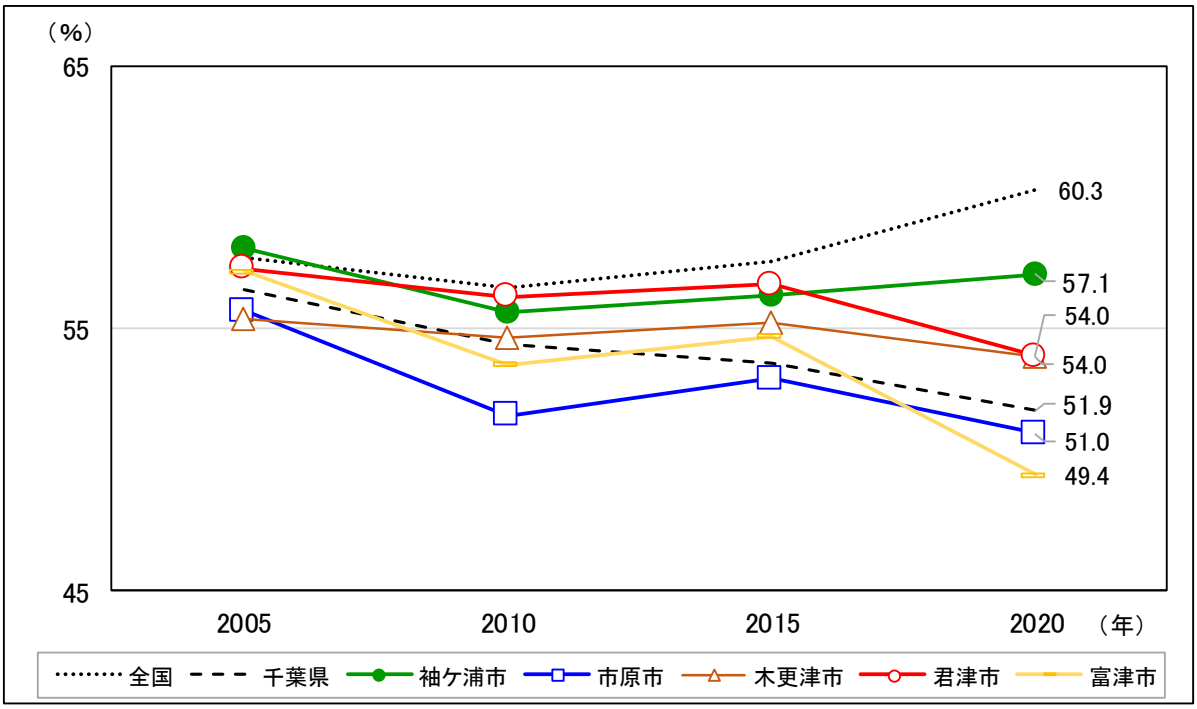


d. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 観光入込客数（2022 年）は、158 万人地点で、県内では 18 位とやや優位性がある。東京湾アクアラインの利便性が背景にあると推察される。ただし、周辺市では 5 位と劣後している。 ・ 東京ドイツ村の観光入込客数が 78 万人地点と突出している。また、袖ケ浦公園も 23 万人と本市の中で高い水準となっている。 ・ イチゴやブルーベリーなどの観光農園が人気を集めている。
弱み	・ 本市の宿泊客総数は、2.8 万人で、県内 37 位、周辺市 5 位と低位にとどまっている。 ・ 本市の観光入込客数の推移を見ると、2018 年に 17.7 万人であったが、2020 年にコロナウイルスの影響で 12.6 万人に減少した。2022 年には 15.9 万人まで回復したが、コロナ禍前のレベルにはまだ達していない。

④雇用・就業

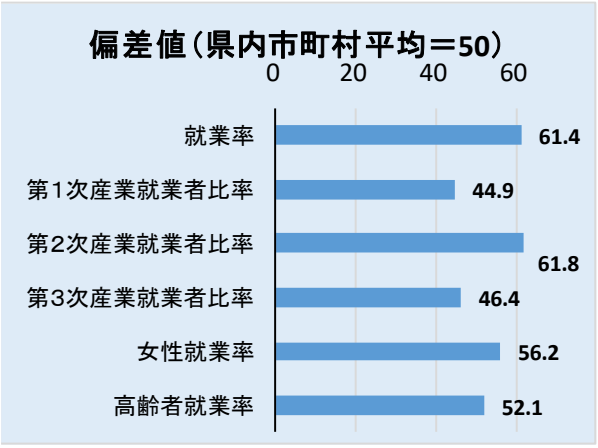
a. 就業率の推移

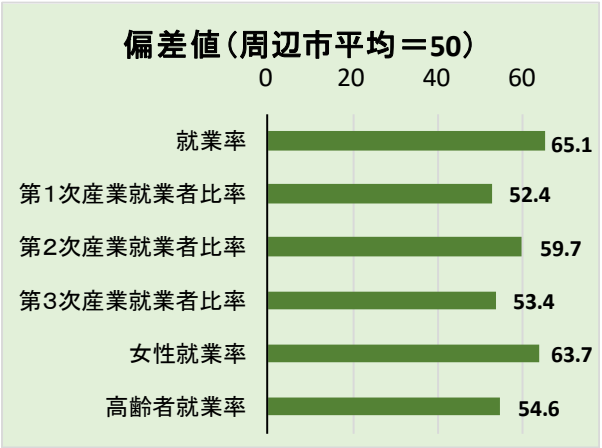


（出所）総務省「国勢調査」

b. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
就業率（%）	57.1	51.9	53.1	8位　/54	1位　/5
第1次産業就業者比率（%）	3.7	6.3	3.4	33位　/54	2位　/5
第2次産業就業者比率（%）	26.5	20.7	17.2	9位　/54	1位　/5
第3次産業就業者比率（%）	67.0	69.9	66.1	33位　/54	2位　/5
女性就業率（%）	47.6	45.8	45.8	14位　/54	1位　/5
高齢者就業率（%）	26.5	25.7	25.9	19位　/54	2位　/5





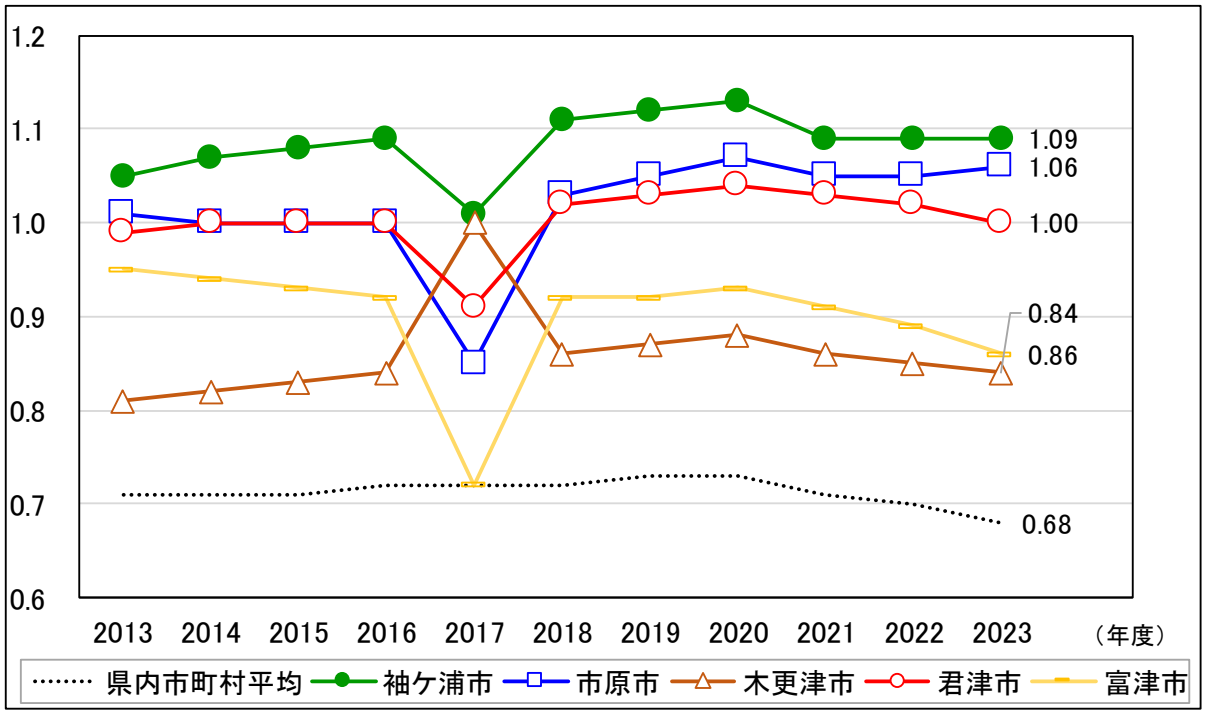
c. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 本市の就業率（57.1%）は、県内順位 8 位、周辺市 1 位と高位にある。 ・ 産業 3 部門別に就業者比率をみると、第 2 次産業就業者比率（26.5%）が、県内 9 位、周辺市 1 位と高位にある。 ・ 女性就業率は 47.6%で、県内平均（45.8%）を上回り県内 14 位、周辺市ではトップとなっている。 ・ 高齢者就業率は 26.5%で、県内平均（25.7%）を上回り県内 19 位、周辺市では 2 位となっている。
弱み	・ 第 1 次産業就業者比率は 3.7%（県内 33 位）、第 3 次産業就業者比率は 67.0%（県内 33 位）でいずれも県内平均を下回る。ただし、いずれも周辺市では 2 位となっている。

（６）　みんながつながり参加する持続可能なまちづくり【市民活動・行財政】

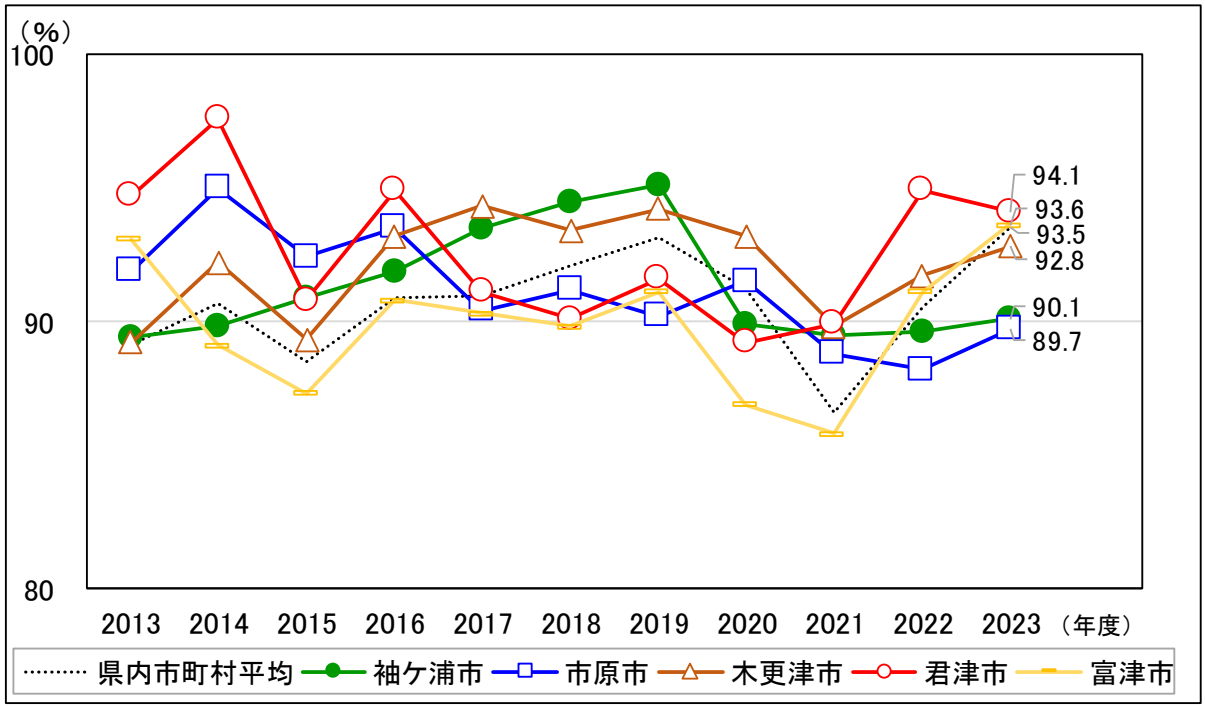
①財政運営

a.　財政力指数の推移



（出所）総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」
（注）各年度の数値は、過去3か年平均

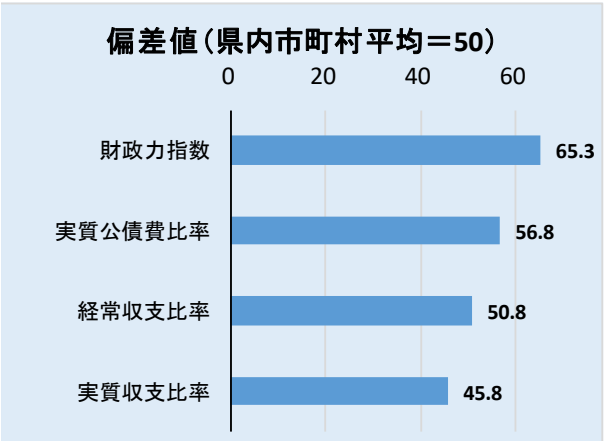
b.　経常収支比率の推移

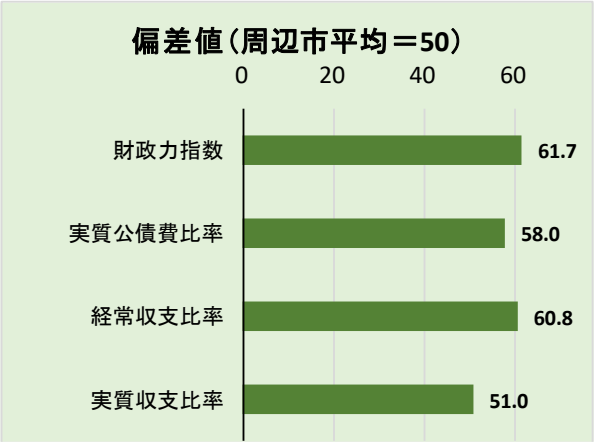


（出所）総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

c. 県内自治体間比較～県平均・周辺市平均との比較～

項　目	袖ケ浦市	県内54市町村平均	周辺市平均	県内順位	周辺市順位
財政力指数（2021～2023年度平均）	1.09	0.69	0.97	3位 /54	1位 /5
実質公債費比率（%・2023年度）	4.1	6.0	5.2	13位 /54	1位 /5
経常収支比率（%・2023年度）	90.1	90.5	92.1	17位 /54	2位 /5
実質収支比率（%・2022年度）	6.8	8.1	6.7	35位 /54	2位 /5





d. 本分野における袖ケ浦市の指標上の強み・弱み

強み	・ 財政力指数は、1.09（県内偏差値 65.3）と 1 を上回っており、一定の財政力を確保している。 ・ 実質公債費比率は 4.1%で、県内市町村平均（6.0%）、周辺市平均（5.2%）を下回っている（高偏差値）。 ・ 経常収支比率は、2020 年度:95.1 → 2021 年度:89.9 → 2022 年度:89.5→2023 年度：90.1 と推移しており、2021 年度以降、財政硬直化が改善している。
弱み	・ 指標上は特になし。

第３章　まちづくりアンケート調査

１．調査目的

袖ケ浦市の財政状況が厳しさを増しているなか、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来など、社会情勢の変化や市民ニーズへ適格に対応するにあたり、施策や事業の進捗を適切に管理する必要がある。このため、ＰＤＣＡサイクルに基づき必要な改善を図りながら、計画的な行政運営を推進するため、その基礎的な資料として、施策に対する市民の満足度、重要度等を測ることを目的として実施した。

今回は、平成 14、17、20、23、26、29 年度、令和 3 年度の調査に続き 8 回目となる。

２．調査概要

① 調査対象：袖ケ浦市に住所を有する満 18 歳以上の男女
② 標本数：2,000 人
③ 抽出方法：住民基本台帳を用いた無作為抽出
④ 実施方法：郵送による調査票の配布・回収及び LoGo フォーム（WEB アンケート）
⑤ 調査期間：令和 6 年 8 月
⑥ 回収数：655 票（回収率 32.75%）
⑦ 調査項目：

・袖ケ浦市に対する意識
・普段の暮らしで感じていること
（50 項目について「はい」または「いいえ」で回答）
・まちづくりにおける満足度・重要度
（総合計画による 6 分類・47 項目の施策について、5 段階で回答）
・回答者属性

３．主な回答者属性

①性別

	件数	構成比（%）
男性	268	40.9
女性	357	54.5
答えない	21	3.2
（無回答）	9	1.4
合計	655	100.0

②年齢

	件数	構成比（%）
１０・２０歳台	47	7.2
３０歳台	92	14.0
４０歳台	117	17.9
５０歳台	131	20.0
６０～６４歳	57	8.7
６５～６９歳	69	10.5
７０歳以上	133	20.3
（無回答）	9	1.4
合計	655	100.0

③居住地区

	件数	構成比（%）
昭和地区	226	34.5
長浦地区	237	36.2
根形地区	63	9.6
平岡地区	47	7.2
中川地区	49	7.5
富岡地区	19	2.9
（無回答）	14	2.1
合計	655	100.0

④居住年数

	件数	構成比（%）
３年未満	30	4.6
３年以上５年未満	28	4.3
５年以上１０年未満	53	8.1
１０年以上２０年未満	100	15.3
２０年以上	432	66.0
（無回答）	12	1.8
合計	655	100.0

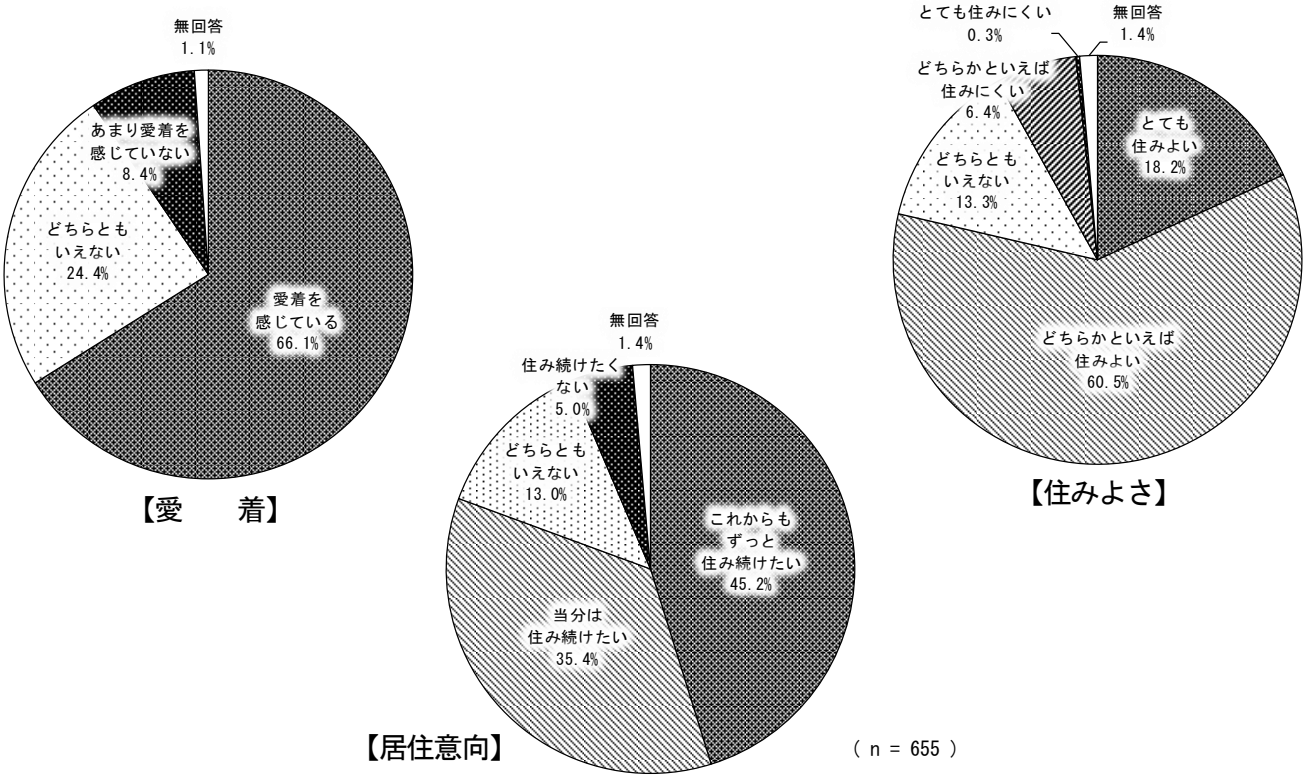
４．調査結果の概要

（１） 袖ケ浦市に対する意識

袖ケ浦市に対して、「愛着を感じている」割合は６割台で、前回調査と比べて若干の上昇傾向がみられるが、「無回答」が大幅に減った影響を考慮する必要がある。

「住みよいと思っている」割合は７割台、「住み続けたいと思っている」割合は８割強で、前回調査と比べて大きな変化はみられないが、「とても住みよい」、「これからもずっと住み続けたい」の割合は低下している。

図表28　愛着・居住意向・住みよさ



（ n = 655 ）

（２） 普段の暮らしで感じていること

下表は、「はい」と回答した人の割合の上位・下位の各５項目を示した順位表である。

属性別にみると、年齢別・居住地区別・居住年数別などで差がある項目があり、年齢別でみると、「車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか」などの障がい者福祉については、40 歳台以下の評価が高くなっている。また、居住地区別では、「買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか」については、「根形地区、富岡地区」での評価が低くなっている。

図表29　普段の暮らしで感じていること

順位	「はい」の割合が高い	
	項目	構成比
1	商品やサービスを購入する際、詐欺などのトラブルにあわないよう日ごろから心掛けていますか	94.2%
2	お住まいの地域に緑が多いと感じますか	87.9%
3	災害時の避難所や避難場所を知っていますか	87.3%
4	あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか	84.3%
5	安心して子育てができると思いますか	82.6%

順位	「はい」の割合が低い	
	項目	構成比
1	買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか	20.9%
2	車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか	24.3%
3	まちが観光客や市外からの来訪者で賑わっていると思いますか	26.3%
4	市内の路線バス交通に満足していますか	28.4%
5	市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか	29.9%

（3） まちづくりにおける満足度・重要度

下表は、満足度と重要度をスコア化（「満足」～「不満」、「重要」～「重要でない」に5～1の点数を与えた平均値）した上位・下位5位までを示した順位表である。

①満足度

上位4項目は前回調査と同じであるが、5位が「消防・救急」から前回6位の「下水道」に代わっている。一方、下位項目の内4つは前回調査と同じですが、前回43位の「ＩＣＴ化」に代わって「交通安全」が44位に加わっている。

前回調査と比べて、満足度スコアが上昇した上位3項目は「火葬場」、「ＩＣＴ化」、「財政運営」である一方、満足度スコアが低下した上位3項目は「工業」、「医療」、「農業」となっている。

②重要度

上位4項目は前回調査と同じですが、5位が「健康づくり」から前回8位の「上水道」に代わっている。一方、下位5つは順位は異なりますが同じ項目となっている。

前回調査と比べて、重要度スコアが大きく上昇した項目はなかった。一方、重要度スコアが低下した上位3項目は「高齢者福祉」、「多文化共生」、「障がい者福祉」となっている。

なお、重要度とは別に、特に重要だと思っている項目をそれぞれ3項目選んでもらった選択率の上位3項目は、「子育て支援」、「学校教育」、「高速バス」となっている。

図表30　まちづくりにおける満足度・重要度

今回順位	前回順位	満足度	
		項目	スコア
1	1	健康づくり	3.982
2	2	上水道	3.898
3	3	高速バス	3.864
4	4	ごみ処理	3.801
5	6	下水道	3.732
…	…	…	…
43	45	雇用・就業	2.894
44	42	交通安全	2.893
45	44	観光	2.729
46	46	商業	2.605
47	47	路線バス	2.477

今回順位	前回順位	重要度	
		項目	スコア
1	1	医療	4.718
2	2	防災	4.683
3	3	消防・救急	4.681
4	4	防犯	4.671
5	8	上水道	4.670
…	…	…	…
43	44	シティプロモーション	3.843
44	43	観光	3.821
45	45	市民参加	3.806
46	47	コミュニティ	3.801
47	46	文化芸術・文化財	3.757

③ニーズ度

下表は、「重要度スコア」から「満足度スコア」を引いた差を「ニーズ度」として、上位・下位5位までを示した順位表である。

上位項目の内4つは前回調査と同じですが、前回5位の「防災」に代わって「環境保全」が4位に加わっている。

ニーズ度は、重要度が高いが満足度が低い項目が上位に現れやすくなる。

図表31　ニーズ度

今回順位	前回順位	ニーズ度（上位5位）	
		項目	スコア
1	2	路線バス	1.817
2	1	交通安全	1.680
3	3	商業	1.611
4	11	環境保全	1.493
5	4	雇用・就業	1.492

今回順位	前回順位	ニーズ度（下位5位）	
		項目	スコア
43	44	コミュニティ	0.633
44	40	スポーツ・レクリエーション	0.602
45	41	健康づくり	0.599
46	38	多文化共生	0.565
47	47	高速バス	0.540

④市政へのニーズ

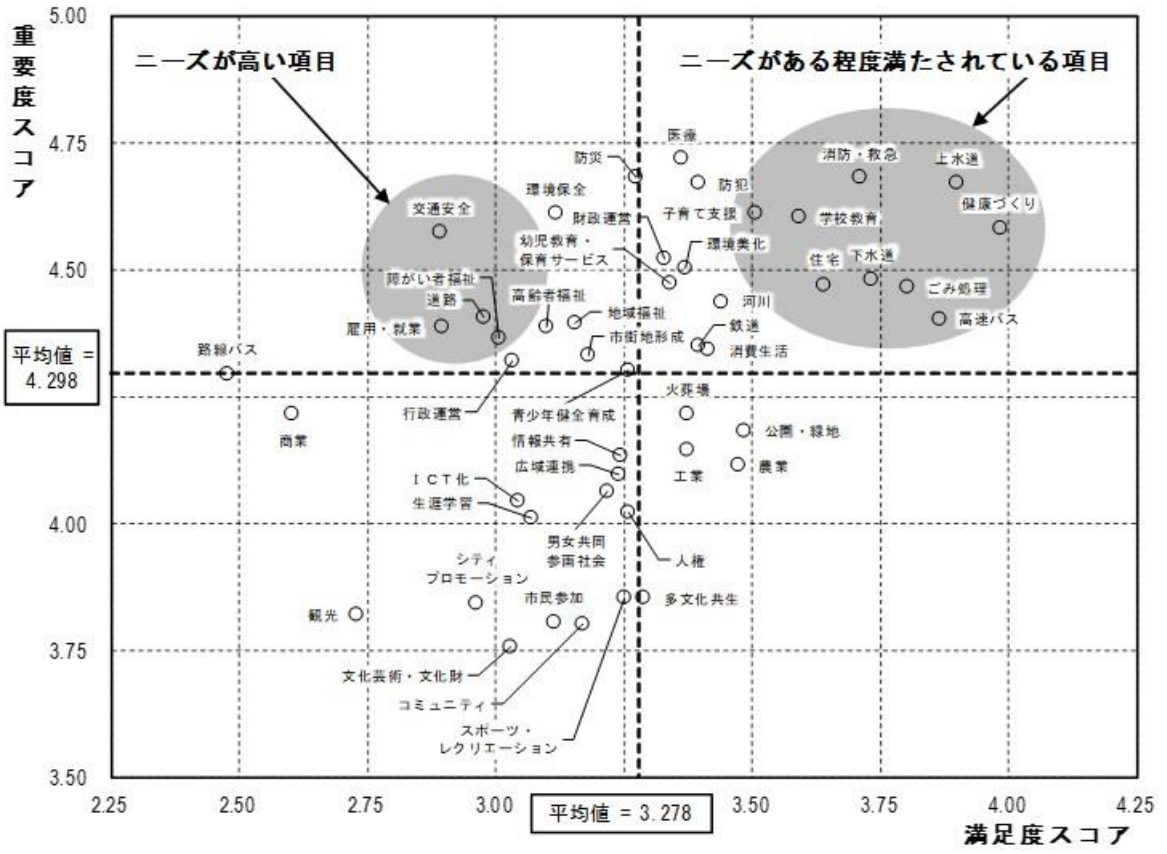
下図は、市民が市政に求める施策対象を探るための散布図（満足度スコア×重要度スコア）である。

右上にプロットされる、満足度スコアと重要度スコアが共に高い「学校教育」、「消防・救急」、「上水道」、「ごみ処理」、「健康づくり」などの項目は、重要度が高いと考えられている施策であると同時に満足度もある程度の水準に達している「ニーズがある程度満たされている項目」だと考えられる。

一方、左上にプロットされる、重要度スコアは高いが満足度スコアが低い「交通安全」、「雇用・就業」、「道路」、「障がい者福祉」の項目は、重要度が高いが評価は十分とは言えず、対応・対策が望まれる「ニーズが高い項目」だと考えられる。

なお、「ニーズが高い項目」は前回調査と同じ項目となっているが、「障がい者福祉」の重要度スコアは大きく低下している。

図表32　市政へのニーズ



⑤ニーズ度の経年変化（参考）

a. 平成 29 年度と令和 3 年度との比較

「重要度スコア」から「満足度スコア」を引いた差と定義した「ニーズ度」について、平成 29 年度と令和 3 年度との間で変化がみられた項目について比較した。

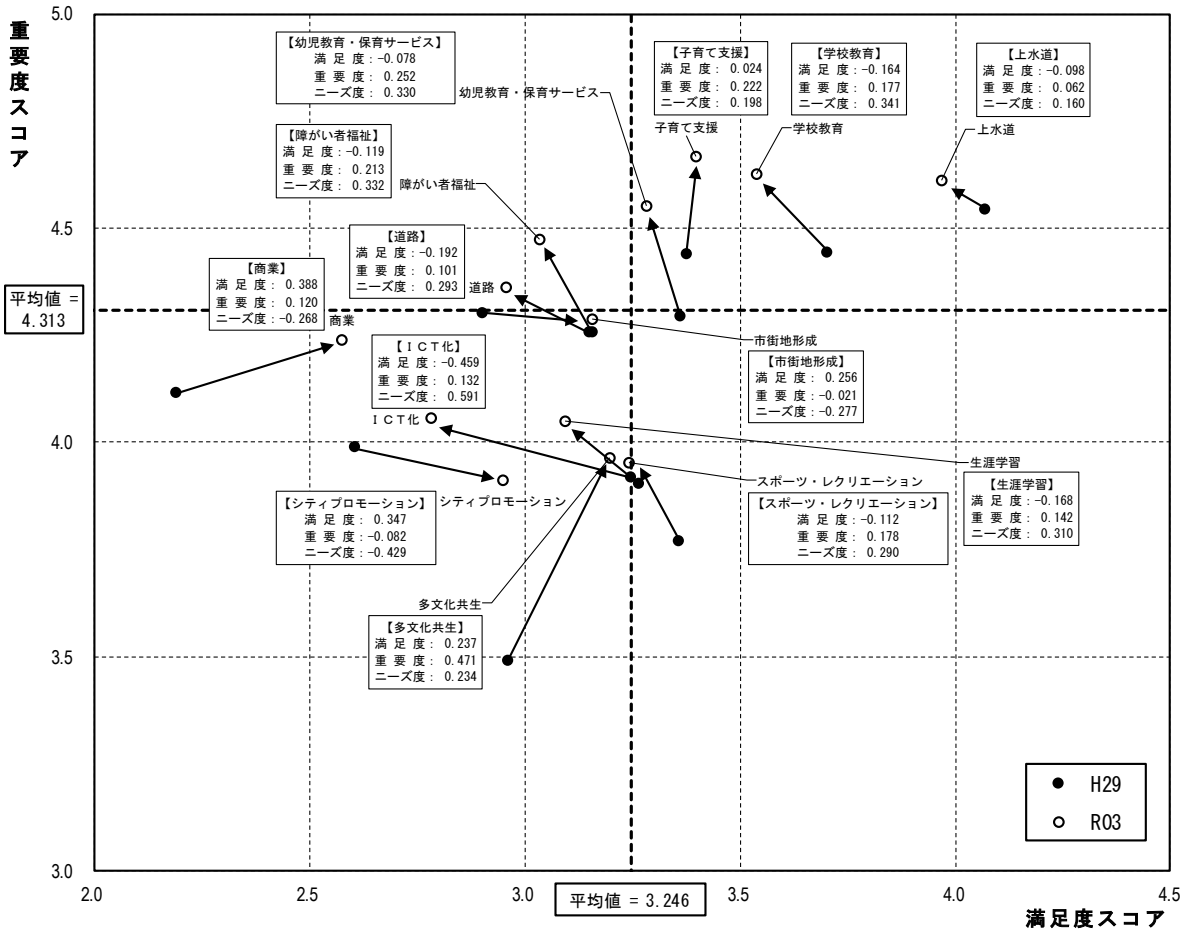
散布図は、ニーズ度の変化でスコア差の大きな項目（0.15 以上の差、「スコア差増減状況」が「↗」もしくは「↘」）について、「満足度スコア」を横軸、「重要度スコア」を縦軸にとり図化したものである。なお、散布図中の平均値は、プロットされている全 47 項目の算術平均です。

「ニーズ度」の差が最も上昇した項目（括弧内に「ニーズ度」の差、平成 29 年度から令和 3 年度の変動順位を示す）は「ＩＣＴ化（+0.591、14←36 位）」であり、これは「満足度スコア」が大きく低下したことによるものである。

一方、「ニーズ度」の差が最も低下した項目は「シティプロモーション（-0.429、25←7 位）」であり、これは、「満足度スコア」が大きく上昇したことによるものである。

プロットされている中で、令和 3 年度調査の「ニーズ度」の順位が最も高い項目は「商業（-0.268、3←1 位）」ですが、「満足度スコア」が大きく上昇したものの 2.00 台に留まっている。

図表33　散布図（満足度スコア×重要度スコア）
【ニーズ度の変移（平成 29 年度と令和 3 年度の比較）】



図表34　ニーズ度の変化（平成 29 年度と令和 3 年度の比較）

番号	項目	R03年度		H29年度		順位増減状況	ニーズ度のスコア差(R03－H29)	ニーズ度のスコア差増減状況
		ニーズ度	順位	ニーズ度	順位			
1	子育て支援	1.270	15	1.072	21	↗	0.198	↗
2	幼児教育・保育サービス	1.269	16	0.939	24	↗	0.330	↗
3	学校教育	1.090	22	0.749	32	↗	0.341	↗
4	生涯学習	0.958	26	0.648	40	↗	0.310	↗
5	青少年健全育成	0.999	24	0.956	23	―	0.043	―
6	スポーツ・レクリエーション	0.711	39	0.421	46	↗	0.290	↗
7	文化芸術・文化財	0.809	33	0.697	34	―	0.112	―
8	健康づくり	0.695	40	0.572	42	―	0.123	―
9	医療	1.259	17	1.193	17	―	0.066	―
10	地域福祉	1.323	12	1.247	13	―	0.076	―
11	高齢者福祉	1.378	9	1.255	12	―	0.123	―
12	障がい者福祉	1.441	6	1.109	19	↗	0.332	↗
13	防災	1.486	5	1.553	5	―	-0.067	―
14	防犯	1.364	10	1.367	8	―	-0.003	―
15	交通安全	1.742	1	1.702	2	―	0.040	―
16	消防・救急	1.026	23	1.076	20	―	-0.050	―
17	消費生活	0.938	28	0.790	29	―	0.148	―
18	環境保全	1.326	11	1.350	9	―	-0.024	―
19	環境美化	1.247	18	1.203	16	―	0.044	―
20	ごみ処理	0.769	36	0.711	33	―	0.058	―
21	市街地形成	1.132	21	1.409	6	↘	-0.277	↘
22	公園・緑地	0.676	41	0.697	34	↘	-0.021	―
23	道路	1.408	8	1.115	18	↗	0.293	↗
24	河川	1.107		項目なし				
25	下水道	0.785	35	0.655	39	―	0.130	―
26	住宅	0.796	34	0.764	31	―	0.032	―
27	鉄道	0.918	29	1.044	22	↘	-0.126	―
28	高速バス	0.426	46	0.485	44	―	-0.059	―
29	路線バス	1.720	2	1.694	3	―	0.026	―
30	農業	0.502	45	0.588	41	―	-0.086	―
31	商業	1.665	3	1.933	1	―	-0.268	↘
32	工業	0.597	44	0.677	37	↘	-0.080	―
33	観光	1.149	20	1.227	15	↘	-0.078	―
34	雇用・就業	1.602	4	1.659	4	―	-0.057	―
35	コミュニティ	0.640	43	0.669	38	↘	-0.029	―
36	市民参加	0.753	38	0.778	30	↘	-0.025	―
37	人権	0.864	32	0.849	27	↘	0.015	―
38	男女共同参画社会	0.893	31	0.794	28	―	0.099	―
39	多文化共生	0.768	37	0.534	43	↗	0.234	↗
40	情報共有	0.953	27	0.890	26	―	0.063	―
41	シティプロモーション	0.962	25	1.391	7	↘	-0.429	↘
42	ＩＣＴ化	1.272	14	0.681	36	↗	0.591	↗
43	行政運営	1.303	13	1.318	10	―	-0.015	―
44	広域連携	0.910	30	0.895	25	↘	0.015	―
45	上水道	0.645	42	0.485	44	―	0.160	↗
46	火葬場	1.219	19	1.244	14	↘	-0.025	―
47	財政運営	1.418	7	1.311	11	―	0.107	―

※　【順位】R03の47項目の内、H29に該当する項目がない「24：河川」を除く46項目を対象とした順位

※　【順位増減状況】－：R03とH29の順位差が±5位未満、↗：順位差が＋5位以上、↘：順位差が－5位以下

※　【スコア差増減状況】－：スコア差が±0.15未満、↗：スコア差が＋0.15以上、↘：スコア差が－0.15以下

b. 令和 3 年度と令和 6 年度との比較

「重要度スコア」から「満足度スコア」を引いた差と定義した「ニーズ度」について、令和 3 年度と令和 6 年度との間で変化がみられた項目について比較した。

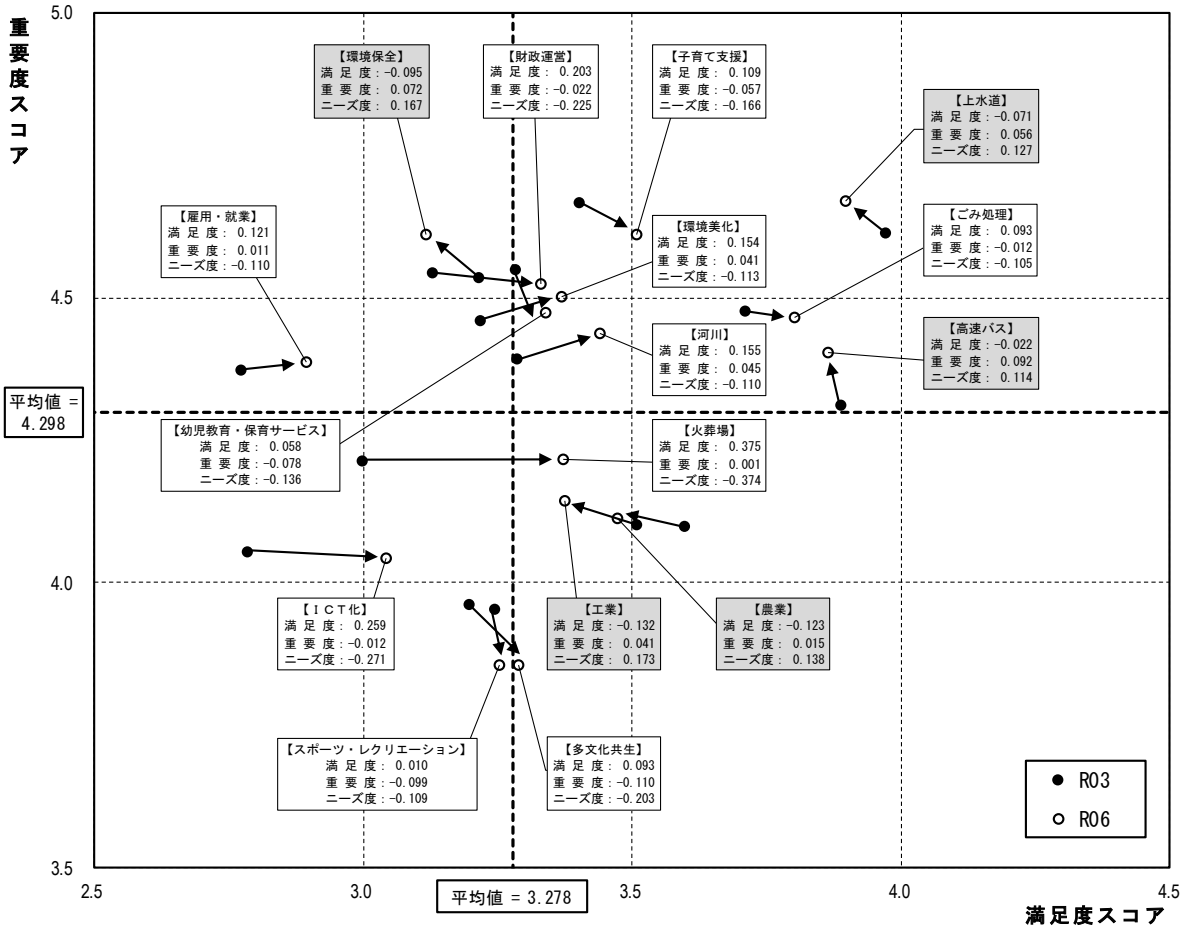
散布図は、ニーズ度の変化でスコア差の大きな項目（0.15 以上の差、「スコア差増減状況」が「↗」もしくは「↘」）について、「満足度スコア」を横軸、「重要度スコア」を縦軸にとり図化したものである。なお、散布図中の平均値は、プロットされている全 47 項目の算術平均である。

「ニーズ度」の差が最も上昇した項目（括弧内に「ニーズ度」の差、令和 3 年度から令和 6 年度の変動順位を示す）は「工業（+0.173、35←45 位）」であり、これは「満足度スコア」が低下したことによるものである。

一方、最も低下した項目は「火葬場（-0.374、32←19 位）」ですが、これは「満足度スコア」が大きく上昇したためであり、同時に最も順位の変動があった項目でもある。

プロットされている中で、令和 6 年度調査の「ニーズ度」の順位が最も高い項目は「環境保全（+0.167、4←11 位）」であり、「ニーズが高い項目」としてみることができる。

図表35　散布図（満足度スコア×重要度スコア）
【ニーズ度の変移（令和 3 年度と令和 6 年度の比較）】



図表36　ニーズ度の変化（令和３年度と令和６年度の比較）

番号	項目	R06年度		R03年度		順位増減状況	ニーズ度のスコア差(R06－R03)	ニーズ度のスコア差増減状況
		ニーズ度	順位	ニーズ度	順位			
1	子育て支援	1.104	18	1.270	15	―	-0.166	↘
2	幼児教育・保育サービス	1.133	17	1.269	16	―	-0.136	↘
3	学校教育	1.014	21	1.090	23	―	-0.076	―
4	生涯学習	0.941	26	0.958	27	―	-0.017	―
5	青少年健全育成	1.043	20	0.999	25	↗	0.044	―
6	スポーツ・レクリエーション	0.602	44	0.711	40	―	-0.109	↘
7	文化芸術・文化財	0.727	38	0.809	34	―	-0.082	―
8	健康づくり	0.599	45	0.695	41	―	-0.096	―
9	医療	1.356	9	1.259	17	↗	0.097	―
10	地域福祉	1.244	13	1.323	12	―	-0.079	―
11	高齢者福祉	1.288	11	1.378	9	―	-0.090	―
12	障がい者福祉	1.360	8	1.441	6	―	-0.081	―
13	防災	1.410	7	1.486	5	―	-0.076	―
14	防犯	1.275	12	1.364	10	―	-0.089	―
15	交通安全	1.680	2	1.742	1	―	-0.062	―
16	消防・救急	0.973	24	1.026	24	―	-0.053	―
17	消費生活	0.928	27	0.938	29	―	-0.010	―
18	環境保全	1.493	4	1.326	11	↗	0.167	↗
19	環境美化	1.134	16	1.247	18	―	-0.113	↘
20	ごみ処理	0.664	41	0.769	37	―	-0.105	↘
21	市街地形成	1.153	15	1.132	21	↗	0.021	―
22	公園・緑地	0.698	39	0.676	42	―	0.022	―
23	道路	1.427	6	1.408	8	―	0.019	―
24	河川	0.997	23	1.107	22	―	-0.110	↘
25	下水道	0.750	37	0.785	36	―	-0.035	―
26	住宅	0.831	33	0.796	35	―	0.035	―
27	鉄道	0.957	25	0.918	30	↗	0.039	―
28	高速バス	0.540	47	0.426	47	―	0.114	↗
29	路線バス	1.817	1	1.720	2	―	0.097	―
30	農業	0.640	42	0.502	46	―	0.138	↗
31	商業	1.611	3	1.665	3	―	-0.054	―
32	工業	0.770	35	0.597	45	↗	0.173	↗
33	観光	1.092	19	1.149	20	―	-0.057	―
34	雇用・就業	1.492	5	1.602	4	―	-0.110	↘
35	コミュニティ	0.633	43	0.640	44	―	-0.007	―
36	市民参加	0.693	40	0.753	39	―	-0.060	―
37	人権	0.765	36	0.864	33	―	-0.099	―
38	男女共同参画社会	0.846	31	0.893	32	―	-0.047	―
39	多文化共生	0.565	46	0.768	38	↘	-0.203	↘
40	情報共有	0.893	28	0.953	28	―	-0.060	―
41	シティプロモーション	0.880	29	0.962	26	―	-0.082	―
42	ＩＣＴ化	1.001	22	1.272	14	↘	-0.271	↘
43	行政運営	1.289	10	1.303	13	―	-0.014	―
44	広域連携	0.858	30	0.910	31	―	-0.052	―
45	上水道	0.772	34	0.645	43	↗	0.127	↗
46	火葬場	0.845	32	1.219	19	↘	-0.374	↘
47	財政運営	1.193	14	1.418	7	↘	-0.225	↘

※　【順位増減状況】↑：順位差が＋5位以上、↓：順位差が－5位以下
※　【スコア差増減状況】↑：スコア差が＋0.1以上、↓：スコア差が－0.1以下

第４章　各種団体別アンケート調査

１．調査実施概要

（１）　調査の目的

地域コミュニティの活性化と市民協働の推進にあたって、地域活動を担う各種団体の役割が重要であるため、市内で活動する各種団体から意見を収集し、総合計画後期基本計画に反映させることを目的とするもの。

（２）　調査方法・対象者・調査時期等

・調査方法：郵送による調査票の配布・回収及びLogoフォーム（WEBアンケート）
・調査対象：市内で活動する各分野の団体
（市民活動、防犯・防災、保健・医療・福祉、学校教育・生涯学習、環境・産業振興、都市形成・都市基盤）
・調査時期：令和6年10月17日（月）～11月11日（月）
・配布数：68票
・回収数：45サンプル
・回収率：66.17%

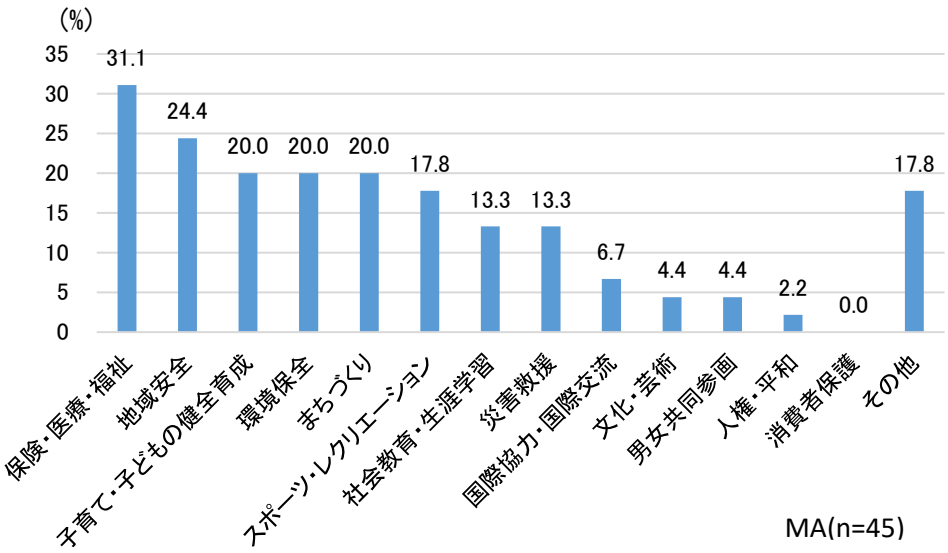
（３）　報告書を読む際の注意事項

・調査結果の数値は、原則として回答率を構成比（%）として表記してあり、小数点第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合(99.9%、100.1%)がある。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問＜複数回答＞では、一般的に回答率は100.0%を上回る。
・本文やグラフ、数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
・本文中の「n」はその設問の有効回答数を示す。

２．回答団体の活動分野

回答団体の活動分野は、次のとおりであった。

図表37　回答団体の活動分野（MA）

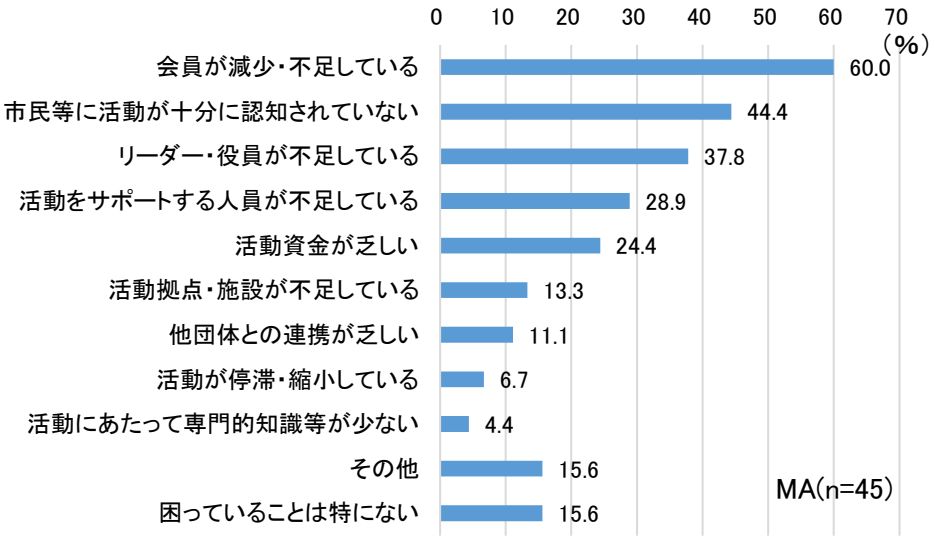


３．調査結果

（１）　活動において困っていること

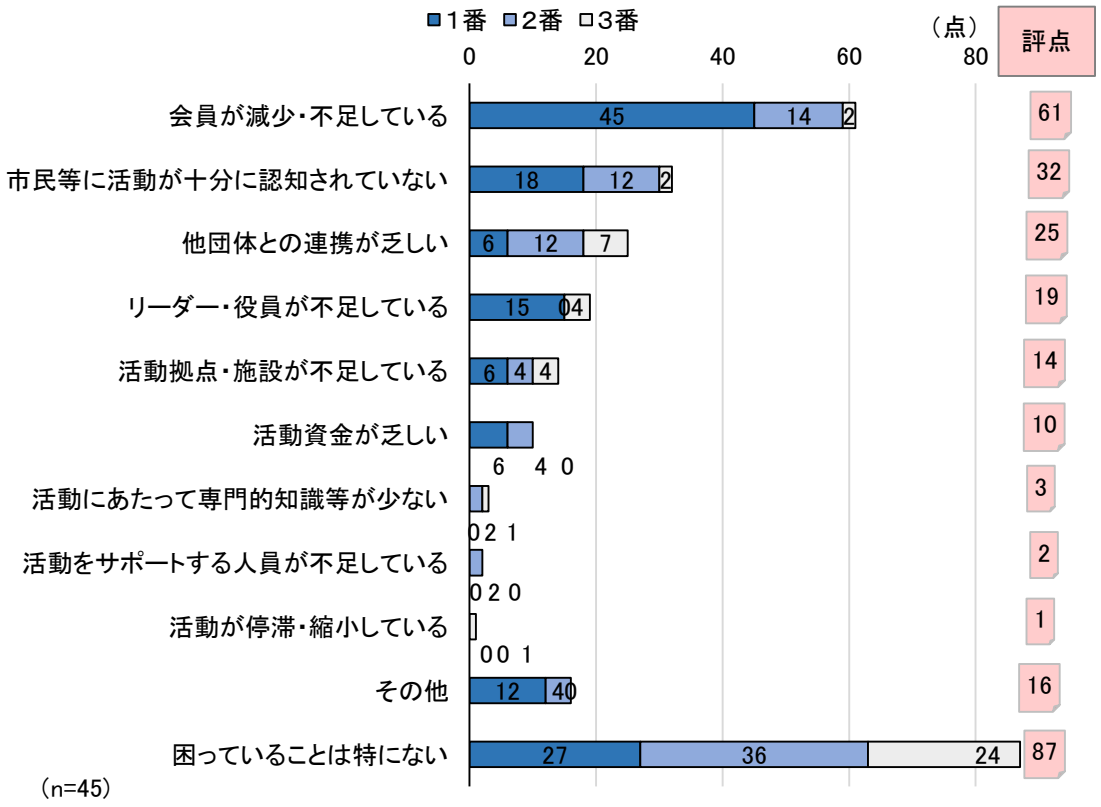
活動において困っていることは、「会員が減少・不足している」が 60.0%と最も多く、以下「市民等に活動が十分に認知されていない（44.4%）」、「リーダー・役員が不足している（37.8%）」となっている。

図表38　活動において困っていること（MA）



評点順には、「会員が減少・不足している」が 61 点と最も多く、以下、「市民等に活動が十分に認知されていない（32 点）」、「他団体との連携が乏しい（25 点）」となっている。なお、「困っていることは特にない」を除く。

図表39　活動において困っていること（MA・順位別）

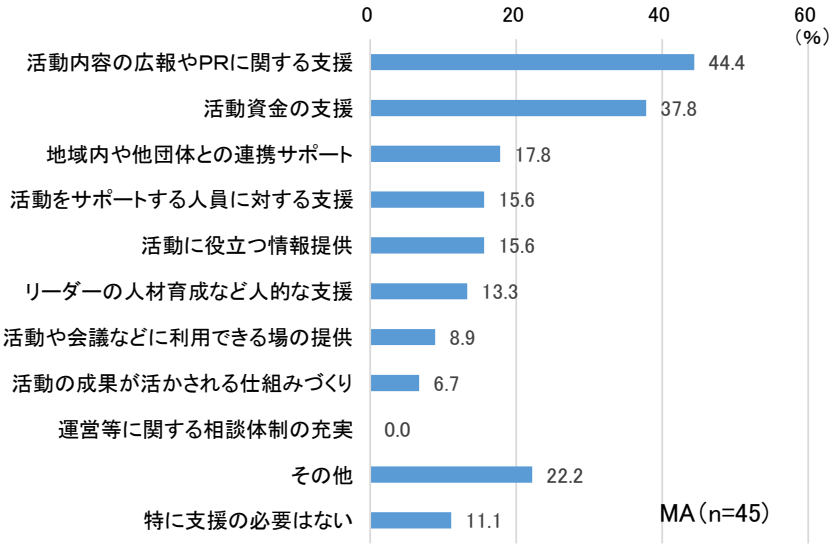


（注）評点は、困っている順に選択された３つのうち、優先順位１位＝3 点、優先順位２位＝2 点、優先順位３位＝１点とし、各選択肢の回答数に得点を乗じて算出。

（２） 行政に望む支援

行政に望む支援は、「活動内容の広報やＰＲに関する支援」が 44.4%と最も多く、以下「活動資金の支援（37.8%）」、「地域内や他団体との連携サポート（17.8%）」となっている。

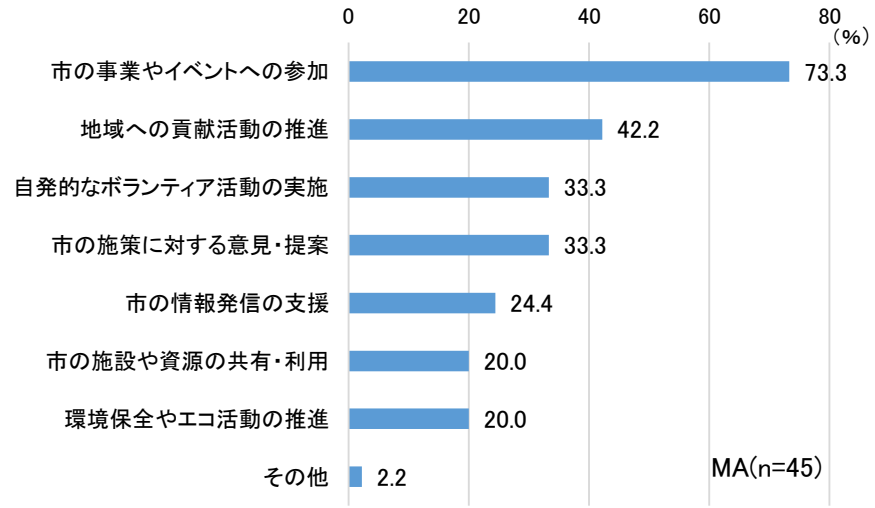
図表40 行政に望む支援（MA）



（３） 市と協働推進をするために団体ができること

市と協働推進するために団体ができることは、「市の事業やイベントへの参加」が 73.3%と最も多く、以下「地域への貢献活動の推進（42.2%）」、「自発的なボランティア活動の実施（33.3%）」、「市の施策に対する意見・提案（33.3%）」となっている。

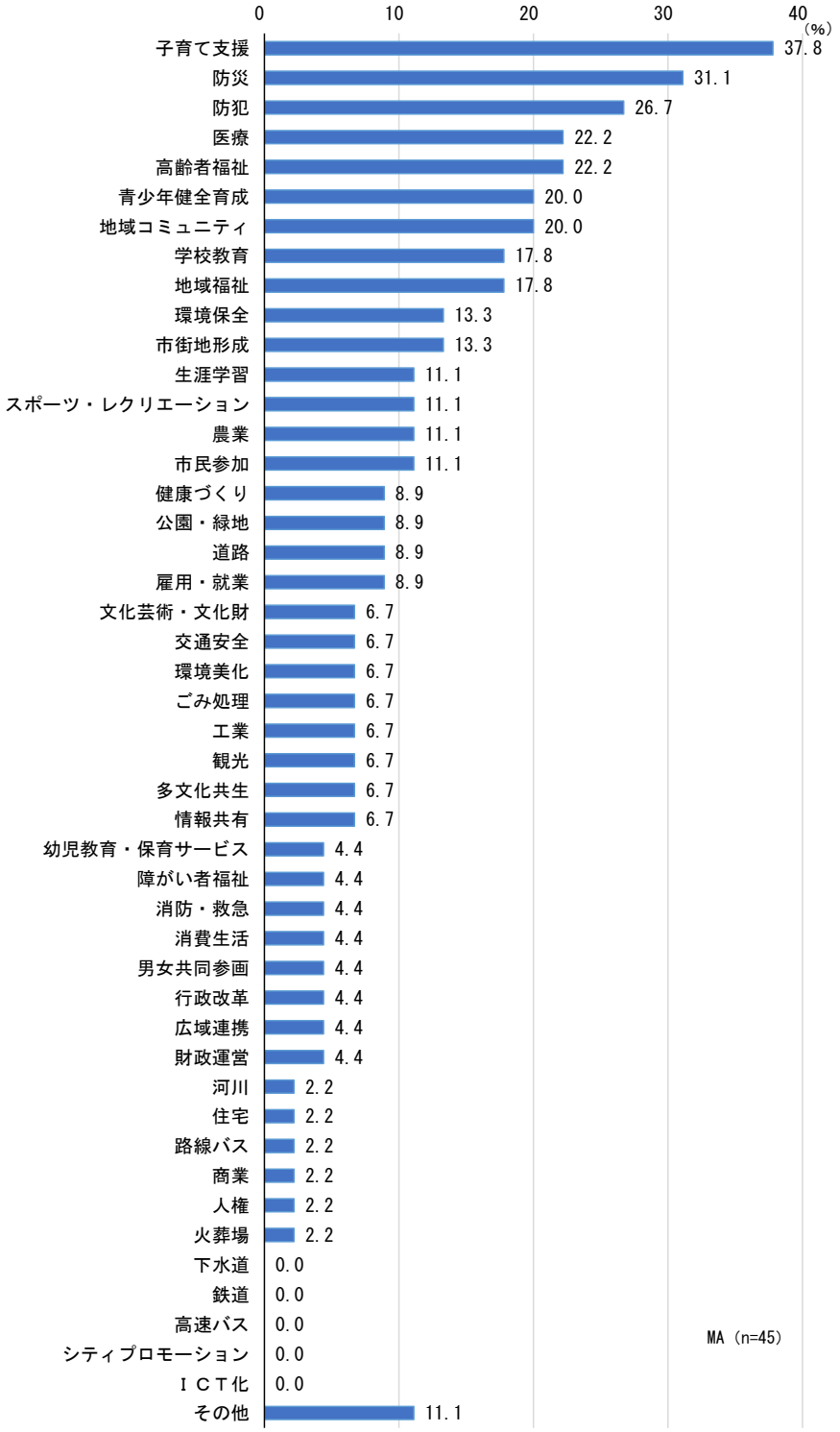
図表41 市と協働推進するために団体ができること



（４）　今後市が力を入れて取り組むべき施策

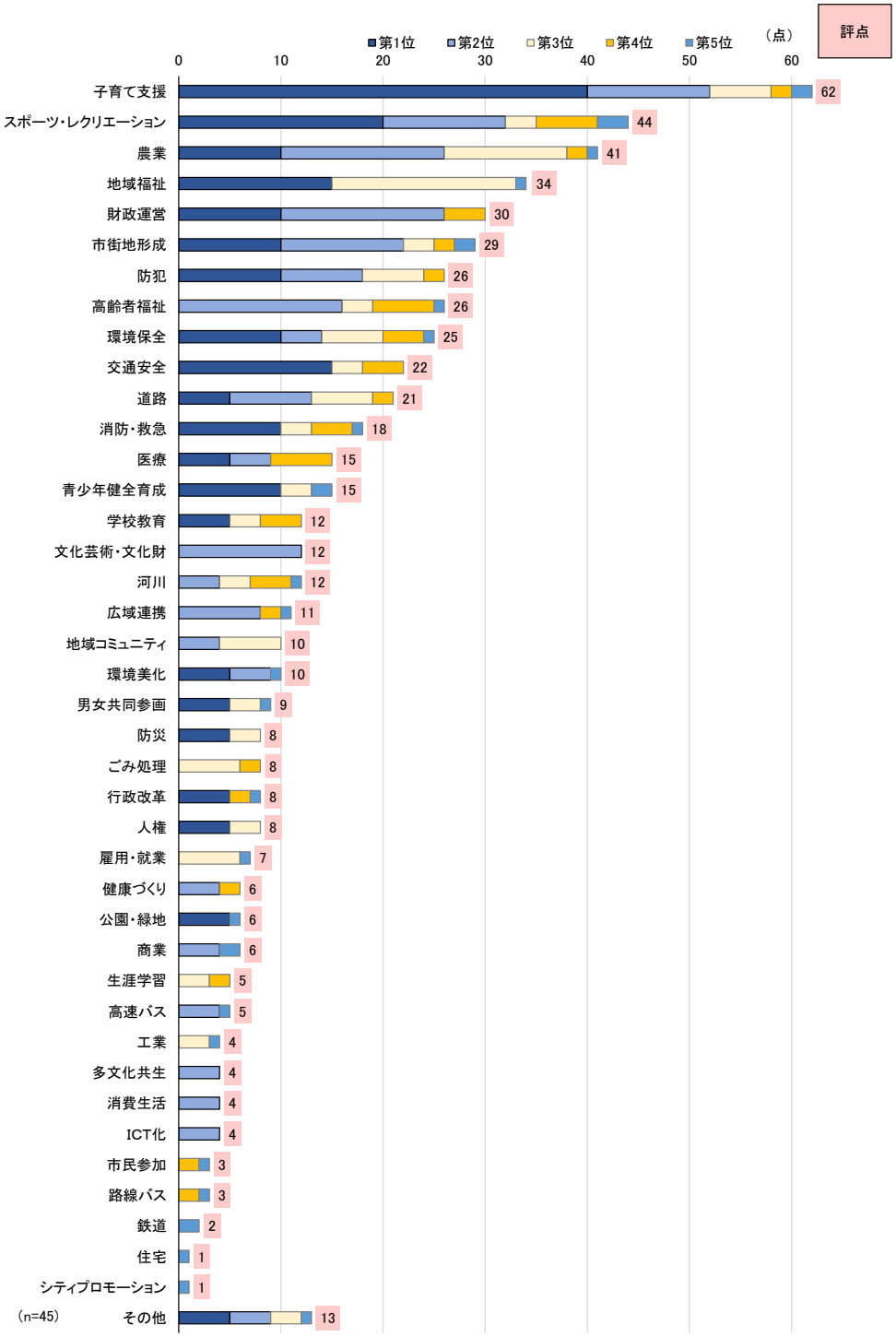
今後市が力を入れて取り組むべき施策は、「子育て支援」が 37.8%と最も多く、以下「防災（31.1%）」、「防犯（26.7%）」となっている。

図表42　今後市が力を入れて取り組むべき施策



評点別には、「子育て支援」が 62 点と最も多く、以下「スポーツ・レクリエーション（44 点）」、「農業（41 点）」となっている。

図表43　今後市が力を入れて取り組むべき施策（評点）



（注）評点は、優先順位 1 位＝5 点、優先順位 2 位＝4 点、優先順位 3 位＝3 点、優先順位 4 位＝2 点、優先順位 5 位＝1 点とし、各選択肢の回答数に得点を乗じて算出。
観光、情報共有、幼児教育・保育サービス、障がい者福祉、火葬場、下水道は、回答なし。

図表44　各項目における優先順位ごとの件数

（単位：件、点）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	評点
子育て支援	8	3	2	1	2	62
スポーツ・レクリエーション	4	3	1	3	3	44
農業	2	4	4	1	1	41
地域福祉	3	0	6	0	1	34
財政運営	2	4	0	2	0	30
市街地形成	2	3	1	1	2	29
防犯	2	2	2	1	0	26
高齢者福祉	0	4	1	3	1	26
環境保全	2	1	2	2	1	25
交通安全	3	0	1	2	0	22
道路	1	2	2	1	0	21
消防・救急	2	0	1	2	1	18
医療	1	1	0	3	0	15
青少年健全育成	2	0	1	0	2	15
学校教育	1	0	1	2	0	12
文化芸術・文化財	0	3	0	0	0	12
河川	0	1	1	2	1	12
広域連携	0	2	0	1	1	11
地域コミュニティ	0	1	2	0	0	10
環境美化	1	1	0	0	1	10
男女共同参画	1	0	1	0	1	9
防災	1	0	1	0	0	8
ごみ処理	0	0	2	1	0	8
行政改革	1	0	0	1	1	8
人権	1	0	1	0	0	8
雇用・就業	0	0	2	0	1	7
健康づくり	0	1	0	1	0	6
公園・緑地	1	0	0	0	1	6
商業	0	1	0	0	2	6
生涯学習	0	0	1	1	0	5
高速バス	0	1	0	0	1	5
工業	0	0	1	0	1	4
多文化共生	0	1	0	0	0	4
消費生活	0	1	0	0	0	4
ICT化	0	1	0	0	0	4
市民参加	0	0	0	1	1	3
路線バス	0	0	0	1	1	3
鉄道	0	0	0	0	2	2
住宅	0	0	0	0	1	1
シティプロモーション	0	0	0	0	1	1
その他	1	1	1	0	1	13

第５章　市民・団体意見聴取（ワークショップ）

１．市民ワークショップ

（１）　開催目的

袖ケ浦市総合計画後期基本計画の策定に際し、市民の市政への関心・興味を高めるとともに、市民から市政に対する意見・要望やまちづくりに対する課題・提案を幅広く引き出し、計画策定の参考とするために実施した。

（２）　開催概要

①対象

袖ケ浦市の市政やまちづくりに関心がある市民

②開催日時・グループ・場所

日時	グループ	場所
10 月 14 日（月・祝） 9:30 ～12:00	①15 歳から 24 歳までの方 ②子育て中の方	袖ケ浦市役所 北庁舎３階　災害対策室
10 月 14 日（月・祝） 13:30～16:00	①近年の転入者 ②65 歳以上の方	袖ケ浦市役所 北庁舎３階　災害対策室

（３）　ワークショップの実施方法

①テーマ

各回の検討テーマは下表のとおり。

グループ	テーマ	参加人数
15 歳から 24 歳までの方	【ワーク①】 ・袖ケ浦市の良いところ、悪いところ 【ワーク②】 ・行政に望むこと ・私たち（市民）ができること	4 名
子育て中の方	【ワーク①】 ・子育てにおいて、袖ケ浦市の良いところ、悪いところ（苦労したこと） 【ワーク②】 ・行政に望むこと ・私たち（市民）ができること	7 名
近年の転入者	【ワーク①】 ・袖ケ浦市に転入して良いと感じたところ、悪いと感じたところ 【ワーク②】 ・行政に望むこと ・私たち（市民）ができること	7 名
65 歳以上の方	【ワーク①】 ・袖ケ浦市の良いところ、悪いところ 【ワーク②】 ・行政に望むこと ・私たち（市民）ができること	7 名

②プログラム

時間		内容	所要時間
午前グループ	午後グループ		
9:30～ 9:32	13:30～ 13:32	開会	2 分
9:32～ 9:40	13:32～ 13:40	市挨拶・総合計画の概要説明	8 分
9:40～ 9:50	13:40～ 13:50	袖ケ浦市の現状・アンケートの説明	10 分
9:50～ 10:40	13:50～ 14:40	自己紹介・グループワーク① ・自己紹介（住んでいる地域とお名前） ・本市の強み（良いところ）・弱み（良くないところ）を付箋に記載 ・順番に付箋を貼付（強み、弱み、その他似たテーマは近くに） ・一人一人時計回りに、理由や意見を発表 ➤他の方の意見を聞きながら、追加で思いついたことがあれば、自由に付箋に書いて貼付 ・グルーピング（ファシリテーター主体）	50 分
10:40～ 10:50	14:40～ 14:50	休憩	10 分
10:50～ 11:40	14:50～ 15:40	グループワーク② ・強み・弱みを踏まえ、（ⅰ）行政に望むこと（またはどんな点がよくなるとよいか）、（ⅱ）私たち（市民）ができること、を付箋に記載（10 分） ・順番に付箋を貼付（似たテーマは近くに） ・一人一人時計回りに理由や意見を発表 ➤他の方の意見を聞きながら、追加で思いついたことがあれば、自由に付箋に書いて貼付 ・グルーピング（ファシリテーター主体）	50 分
11:40～ 11:50	15:40～ 15:50	グループごとに発表	10 分
11:50～ 11:53	15:50～ 15:53	市挨拶	3 分
11:53	15:53	閉会・アンケート・解散	-

※進行方法や所要時間は、ファシリテーターがグループのメンバーの様子を見ながら、適宜修正

（4） 実施結果

市民ワークショップで出された主な意見を以下のとおり整理した。色分けは次のとおり。ワークショップ時に用いた付箋の色と対応している。

なお、ワークショップ参加者の意見は、それぞれの声を尊重し、多様な意見を正確に反映させるため、可能な限りそのままの形式で取りまとめた。

色	内容
ピンク色	良いところ（魅力・強み）
水色	悪いところ（課題・問題点）
黄色	行政に望むこと（どんな点がよくなるとよいか）
緑色	私たち（市民）ができること

①15 歳から 24 歳までの方

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

15 歳から 24 歳までの方からみた本市の魅力・強みとして、都心へのアクセスが良好であること、地域コミュニティが活発であること、東京ドイツ村などの観光名所が多いこと、市役所や駅近くに商業施設が充実していること、海をはじめとする自然環境や工場夜景等の風景がきれいなことなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、バスの本数が不十分であったり、久留里線の運行本数が限られるなど、交通手段に難があること、地域ごとにごみステーションや子どもの数に差があること、公園の遊具が老朽化していること、コンビニやスーパーが少ないことなどが挙げられた。

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
交通	○		アクアラインが近い
	○		自然豊か。交通面が良く、色んな場所へアクセスできる
	○		チョイソコがうらができた
	○		鉄道でのアクセスがしやすい
		○	バスなどが少ない
		○	交通手段が少ない（バスの時間が少ない）
		○	久留里線の数が少なく行きたいところに行きづらい
		○	交通手段に難がある（特に奥側、ドイツ村やバスターミナルの方）
		○	旧道に歩道がないところがある
		○	長浦や市役所周辺は店舗があるが、横田近辺はあまりなくて少し不便

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
コミュニティ	○		近所の方同士でお話ができる
	○		交通量が少ない道でゆっくり人と話せる
	○		高齢の方と仲良くなりやすい
	○		子どもからお年寄りの方まで年齢関係なく、自由に運動できる公園がある
	○		治安が良い
	○		様々なサークルがある（小学生からお年寄りまで）
		○	地域別のゴミステーションの格差
		○	地域ごとで子供の数に偏りがある
		○	公園の遊具が老朽化で撤去され遊ぶものがないところが増えている
施設	○		袖ケ浦駅がきれい
	○		観光名所や場所が多い（ドイツ村など）
	○		市役所や駅近くに商業施設がたくさんある
	○		東京ドイツ村がある
		○	観光の情報発信の不足（ガウラーメンや山野貝塚など）
		○	エンターテインメント施設が少ない
		○	内陸部だとコンビニが少ない
		○	少し遠出しないとスーパーがない
環境	○		海が見える
	○		自然な風景が多く、とてもきれい
	○		夜、長浦の工業地帯の明かりがとてもきれい（夜景）
	○		工場の夜景がきれい
		○	野良猫が増えてきている
		○	川の近くの家などは災害時に不安がある
イベント	○		定期的なイベントを行っている
	○		アレワイサノサがある

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（市民）ができること）

(ア)行政に望むこと

15 歳から 24 歳までの方が行政に望むこととして、バスの増便、娯楽施設の充実、ゴミのポイ捨て禁止に関する周知、災害対策などの意見が挙げられた。

行政に望むこと	
分類	**意見**
交通	バスの増便をしてほしい（鉄道も）
	バスの本数を増やしてほしい
	交通手段（バス）を増やす
	久留里線（横田～木更津）をもう少し増やしてほしい（大体30分に1本くらい）
	欲しい時間にバスが欲しい（今ある路線）
娯楽・レクリエーション	カラオケ、カフェなどの充実
	娯楽施設の充実
	ボーリング場が欲しい
	もう少し横田などの地域に目を向けて欲しい（食事処などを作って欲しい）
	少人数・友人でふらっと遊べる施設を増やしてほしい
	学生が行きやすい施設を増やしてほしい
法律・条例	ゴミのポイ捨て禁止看板を増やす（条例違反だということを知ってもらうため）
	ゴミのポイ捨て禁止条例の厳格化　周知の徹底
	ゴミのポイ捨て禁止条例違反の罰則の周知
	各家庭にゴミのポイ捨て禁止条例などを書いた紙や冊子を配布してほしい
環境・災害対策	土地（宅地造成）の規制をしてほしい（災害対策に）
	川の増水対策をしてほしい
	用水路の蓋をしてほしい
教育・学校	学校の洋式トイレを増やしてほしい
整備	ゴミステーションを新しくしてほしい

(イ)私たち（市民）ができること

15 歳から 24 歳までの方が考える、私たち（市民）ができることとして、各種マナーを守ること（ゴミのポイ捨てをしない等)、交通機関を自ら使うこと、地域で情報共有することなどの意見が挙げられた。

私たち（市民）ができること	
分類	**意見**
環境	ゴミのポイ捨てをしない
	市民たちで注意喚起をする（野良猫、環境汚染など）
	最低限マナーを守り生活をする
交通	交通機関を使用した時にマナーを守って利用する
	交通機関をどんどん使う
情報共有	地域の情報の共有
	新しくできた制度などを使ってみる
安全	見回りの強化（事故や事件防止のために）

②子育て中の方

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

子育て中の方からみた本市の魅力・強みとして、豊かな自然環境や公園の充実、祭りの開催、図書館の充実、都心へのアクセスなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、学校や習い事の選択肢が少ないこと、通学路の整備が不十分で危険を感じること、公園遊具が老朽化していること、商業施設や娯楽施設が少ないこと、産婦人科がなく小児科も少ないことなどが挙げられた。

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
自然・環境・農業	○		自然豊かなエリアも残っている。椎の森や坂戸の森など
	○		街と自然のバランスが良い
	○		自然豊か（景色、ザリガニ、体験）
	○		自然が多い
	○		自然が残っている
	○		緑が多い
	○		海が近い
	○		自然豊かで、自然に触れながら子育てできる
	○		野菜がおいしい
	○		静か
		○	工業地帯からケミカルなにおいがする
		○	自然が教育に有効活用されていない。椎の森が知られていない
		○	フードロスのため、子育て世代のためにも、野菜の市場に出せないものの量を把握できないだろうか

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
教育		○	教育の選択肢が少ない。公共以外の学校、オルタナティブスクール
		○	大学・専門教育の不足
		○	通学路の整備（草刈りなど）
		○	通学路危ない
		○	学童に入れない
		○	児童数が多く教育面での不安（目が行き届くか？）
		○	人口の減少不安（幼稚園閉園、小学校の人数の不安）。中川
		○	夏季限定でもスクールバスが欲しい
		○	習い事の選択肢の選びにくさ（情報が少ない）
		○	通学路が心配。大型トラック、事故、浸水。
		○	中学校校舎が心配。教室、設備
公園	○		公園が多い
	○		百目木公園
	○		公園が充実
	○		袖ケ浦公園
	○		公園がたくさんあり小さい子どもも親としても嬉しい
		○	使用できない遊具が多くなっている
		○	公園で遊べるようになるまでの子どもを遊ばせられるところが少ない
		○	公園遊具の老朽化

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
商業		○	学生などが楽しめる娯楽が少ない
		○	美術館がない（Artやデザイン弱い）
		○	良いところのPRが弱い（知らない、気づけない、情報が少ない。デザインの力？）
		○	商業施設が少ない
		○	のぞみ野にスーパー（書店）がない
		○	魅力的なお店少ない
		○	魅力的なお土産品少ない
		○	週末楽しめる場所が少ない
子育て環境	○		図書館の充実（施設多い、カード１枚でどこで返却してもOK、お話し会）
	○		色々チャレンジされているママが多い
	○		現役世帯とベテラン世代のどちらもいる。バランス良い
		○	子育て支援センターのあり方
		○	市民会館のプロジェクタースクリーンが利用できるものがない。映画やセミナーの機会損失
		○	双子出産に対しての出産応援交付金が一人出産と変わらない
		○	定期年齢検診の時の相談が出来ない
祭り・イベント	○		お祭りなどイベントが良かった。ゴミ拾いまでできている点
	○		祭りがたくさんある
	○		季節ごとに楽しめるイベントがある
	○		地元のお月見どろぼうが楽しい
		○	市民主催のイベントでは保育ボランティアが利用できない
		○	クラフトフェアなどのイベントがない（蚤の市、手作り市）
		○	子育て世代へのコミュニティイベントなどの開催情報をもっと分かりやすく示してほしい

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
アクセス	○		駅（袖ケ浦、長浦）がきれい
	○		駅前徒歩で完結
	○		都心部へのアクセスのしやすさ
	○		車で都心へのアクセスが良い
	○		進学時（大学等）のアクセスが良い
	○		都心へのアクセスが良い
医療	○		子供医療費助成は助かっている
	○		財政は一安心（？）
		○	小児科で受診できる病院の少なさ（土・日とか）
		○	子ども同士が遊べるところが少ない（放課後、土日など）
		○	産婦人科がない
		○	病院（小児科）少ない

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（市民）ができること）

(ア)行政に望むこと

子育て中の方が行政に望むこととして、通学路の整備、イベントや地域情報のＰＲ強化、病院の充実、市民の要望調査（アンケートやワークショップ）、農業体験の実施などが挙げられた。

行政に望むこと	
分類	**意見**
子育て・教育	根形小、中学校の送迎者の駐車スペースの確保
	通学路の整備。早急に！
	校舎の整備
	このワークショップを小中学校でも授業でやってほしい
	フリースクール等の選択肢を増やす（教育の幅を広げる）
	思春期世代にも魅力的な設備をつくる
	少子化に伴い手当てを増やす
	通学路へのガードレール整備
	時代にあった教育の見直し
	オルタナティブスクール（※）を人口少ない自然豊かなエリアに
	習い事の（個別）場所、アピール。市が把握し情報発信
	特別支援の進学相談窓口。コミュニティなどサポート
	子どもたちが放課後、土日に遊べるところ（公民館の開放など）
	公園、通学路の整備（ボランティアは難しい？）
	ICTより自然教育に力を入れてほしい。生きる力を身に着ける。自己肯定感、自分で考える
	宿題、通知表の見直し
	大学、高校の誘致
	教員の増加。負担軽減などの取り組み
	夢パークをつくる。川崎夢パークのような自然を使った遊び場
	自然と触れ合える子育て支援センター

（※）オルタナティブスクールとは、現在の公教育（一般的な公立や私立の学校）とは異なる、独自の教育理念・方針により運営されている学校の総称を指す。

行政に望むこと	
分類	意見
PR・イベント	情報発信に魅力を（デザイン、写真、フォント、レイアウト）
	子育てイベント。ここを見れば分かるというオンライン上のページが欲しい
	ホームページリニューアル（楽しい情報、メリットなど）
	個人単位でPRしたい人の窓口をつくる
	PRさせてほしい
	イベントなどの情報発信を分かりやすく（市民がどこに注目するか）
	袖ケ浦市ブランド力UP
	情報発信の見直し。市報以外。SNS活用
	市民主催のイベントにも保育ボランティアの活用ができるようにしてほしい。息抜きにもつながる
	イベントの企画。人が集まるクラフトフェアなど（佐倉市のにわのわのような）
	博物館をもっとアピール。もっと有効活用
	美術館、娯楽など楽しめる施設の運営
医療	産婦人科の創設、呼びかけ
	検診での助言。親身になってくれる体制を整える
	病院の充実。産婦人科、小児科
	妊婦タクシー欲しかった
農業・農業体験	農家さんが少しでも潤うよう考える（農業体験など）
	子供食堂を増やす。フードロスの活用。親子で手軽に栄養の考えられた食事がとれる場
	子供（小学生、中学生）の農家体験
	オーガニック給食（地元の）
要望・相談	市民への要望などを調査、アンケート
	住民の要望の吸い上げ（今日のワークショップのような）
	相談がしやすい場所・方法の選択肢を増やしてほしい
移動手段	移動手段を増やしてほしい（子どもたちも使用できる）

(イ)私たち（市民）ができること

子育て中の方が考える、私たち（市民）ができることとして、情報発信（ＰＲ）に協力すること、イベントに参加すること、通学路や部活の見守りをすること、地元野菜を購入することなどが挙げられた。

私たち（市民）ができること	
分離	**意見**
市政・PR	市政への関心を高める
	PRへの協力
	PR活動への協力
	情報発信
	SNSでの情報拡散
	アイディア提案（今日のワークショップのような場で意見してみたり）
	袖ケ浦市のことを好きになる
	要望があればお手伝いできることはしたい
	リサーチ（市の魅力をもっと探す）
イベントへの参加・つながり	イベントに行ってみる
	イベントに積極的に参加する
	知人とのつながりを広げる
教育	通学路の見守り
	教員の負担軽減。登下校見守りボランティア、部活の見守り
自然・農業	地元野菜を積極的に購入する
	自然や動物を守っていく（環境に配慮して生活）

③近年の転入者

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

近年の転入者の方からみた本市の魅力・強みとして、駅周辺の商業施設が充実していること、人がやさしく近所づきあいしやすいこと、自然や公園が充実していること、都心へのアクセスが良いこと、子育てしやすい環境であること（保育園や公園が多い、学校の校庭が広い、安くて楽しいイベントがある等）、駐車場が多いこと、治安が良いことが挙げられた。

一方、課題・問題点として、本屋がなく飲食店も少ないこと、市内を移動する公共交通機関が弱いこと、千葉フォルニアが活用できていないこと、道路の雑草が多いこと、医療機関が少ないことなどが挙げられた。

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
商業	○		ゆりの里があり便利
	○		生活圏内に全て揃っている
	○		駅前の発展ぶりは本当に助かっている
	○		駅前に一人で入れるカフェがある（夕食もとれる）
	○		駅周辺ですべてが賄える（スーパー、飲食）
	○		商業施設は十分である
		○	本屋が欲しい
		○	本屋がない
		○	駅前商業施設の駐車場が有料になったのは良いが、結局買い物で困っている（停められない）
		○	飲食店が少ない
		○	ミスド、KFC、31など飲食店を誘致してほしい
		○	竹岡式ラーメン屋ばかり
		○	近隣エリアの方が発達している
		○	IKEAを誘致してほしい
		○	空き店舗が多く寂しいので新しいお店ができてほしい
		○	買い物が市内で完結できない

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
市民生活	○		ゴミの回収が多くて助かる
	○		駅周辺がきれい
	○		LINEで情報が入ってくる
	○		ボランティア活動、講座が盛んである
	○		公民館の習い事がたくさんある
	○		ご近所づきあいがしやすい
	○		人がやさしい
	○		子育て世代以外も住みやすい
		○	現状、町内会がない
		○	回覧板頻度多すぎ
		○	袖ケ浦駅前（周辺以外）の市の様子が分からない（行く機会もない）
		○	住む以外では、他市、他県へ出なければならない
		○	税務署、法務局などは木更津頼りなところ
		○	公園以外にも子供と一緒に楽しめる施設がほしい
自然・公園	○		海や山など自然が近い
	○		公園が多い
	○		大きい公園がたくさんある
	○		自然と触れ合える場が多い
	○		海が近く公園も多い
	○		駅近なのに鳥や虫の声があって心地良い
	○		空が広い！高い建物がないのが嬉しい
	○		空気が良いと感じる
		○	海浜公園の活用（イベント多数やるとか）
		○	公園の雑草は誰が管理するのか
		○	公園の駐車場が少ない
		○	海浜公園に子供の遊具が欲しい

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
交通	○		都内にアクセスしやすい
	○		都会に出やすい（駅前だとＪＲもＯＫ）
	○		都心へのアクセスが良い
	○		袖ケ浦ＢＴ、金田ＢＴが近い
	○		都内、横浜、鴨川、館山だいたい１時間あれば行ける
	○		都心へのアクセスが良い
		○	特急がとまらない
		○	袖ケ浦バスターミナルのロータリーが狭い
		○	内房線の電車の本数が増えてほしい
		○	車がないと生活が成り立たない
		○	市内移動する公共交通機関が弱い
子育て	○		子育てしやすい
	○		公民館のイベントが安くて楽しい
	○		アレワイサノサ楽しかった
	○		保育園がたくさんある
	○		以前住んでいたところと比べて学校が広い！
	○		子供が遊ぶ公園が多い、広い
	○		学校の校庭が広い
		○	児童館がもっとできてほしい
		○	通学路で暗く狭い道がある

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
観光		○	市原や木更津にあるのに袖ケ浦にはない、みたいなことがちょいちょいある
		○	袖ケ浦と言えばこれ！という目玉はきっとたくさんあるのだろうけど、それが届いてこない
		○	千葉フォルニアを観光資源にできないものか。あれはもったいない
		○	千葉フォルにアを観光地としても良い気がする。ただし、治安は良くした方がよい
		○	魅力的なところをもっと宣伝する
		○	市としてハブステーションとなる場がない（散らばっている）
		○	素通りされるまちのイメージがある
道路	○		道路が広い
		○	車道が狭い
		○	雑草が伸びて道路をふさいでいる
		○	道路の雑草が多い
		○	歩道にまで草がはみだしているところが多い
		○	渋滞がひどい
医療	○		医療機関が充実している
		○	医療機関が少ない（偏っている？）
		○	小児科、婦人科がない
駐車場	○		駐車場無料が多くて助かる
	○		駐車場が広い
	○		どこに行っても広い駐車場がある。とても助かる
治安	○		住宅街の夜間照明が多い
	○		袖ケ浦駅前エリアは夜も明るく歩ける
	○		治安がよい
防災	○		発災時の情報伝達は早い
		○	海側は地震の時不安

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（市民）ができること）

(ア)行政に望むこと

近年の転入者が行政に望むこととして、情報発信の強化（ホームページの活性化やＳＮＳの活用）、道路環境の整備、周辺市との連携、イベントの開催などが挙げられた。

行政に望むこと	
分類	意見
情報発信	ホームページの活性化。みやすくしてほしい
	SNSで袖ケ浦の魅力を発信し続ける
	防災情報の提供
	都内から休日に来ている来訪者の行先、目的を分析する
	情報発信。買・食・楽など
道路・駐車場	駅前商業施設に行くのに満車状態になっていては入れない。料金上げるとか・・・
	道路環境の整備
	旧道の整備
	公園、歩道の整備（植物含む）の頻度を多くする
	駅海側から16号方面に向かう道路の拡充
行政	市役所に「なんでも窓口」。相談しやすいと良いのでは（どこに聞いたらよいか分かりにくいので）
	「すぐやる課」みたいなちょっとしたことを相談できる場がほしい
	少子高齢化を見据えた保育・教育環境の整備
	若者流出しない施策（高校、大学で他市・他県へ）
	老朽化した施設の改修

行政に望むこと	
分類	意見
連携	周辺の市と協力して行政サービスを充実
	近隣の市と観光地も含め、WEBサイトを作る。アクアラインマラソンの送付物に入っていた
	木更津と協力して、アウトレット来訪者のニーズをヒアリングし、ニーズがあれば宿泊施設を作る
	近隣の市（木更津、市原）と協力し、観光客を呼ぶ。例：100年後の芸術祭のようなイベント
公共交通	ハブステーションの設置（市内、都心）
	駅と各バスターミナルの路線を増やすか、タクシーを呼びやすくしてほしい
	車文化の町なので、代行業者を分かりやすくしてほしい
	都心に行くバス・・・駅に寄ってほしい・・・
イベント	アクセスのよい海浜公園、もっとイベントがあったら集客できるのでは
	イベント開催
	ガウラもゆるキャライベントに出てほしい
	「アレワイサノサ」のように市を代表するようなお祭りがたくさんあるとよいですね
誘致	袖ケ浦BTにコンビニを誘致してほしい
	飲食店誘致
	医療の誘致
特産品	ふるさと納税の品の改善
	袖ケ浦市ならではの特産品の開発
水道	水道事業の外資への委託はやめてほしい
	水道水がまずい
雇用	働き場所の提供

(イ)私たち（市民）ができること

近年の転入者の方が考える、私たち（市民）ができることとして、選挙やイベントへの参加、地産地消の推進、ＳＮＳを通じた情報発信、ボランティアへの参加、市についてもっと知ることなどが挙げられた。

私たち（市民）ができること	
分類	**意見**
参加	選挙への参加
	イベントへ参加する
	市民アンケートへの参加
	防災訓練への参加
	地域イベントへの積極的な参加
	今回のワークショップのような交流会等への参加
地産地消	地産地消。なるべく地元のものを食べる
	地元飲食店での食事、買い物
	個人のお店を利用する（チェーン店ばかりではなく）
	地産地消への意識
	袖ケ浦市内でお金を使う
	バス事業者への寄付（でもどうしたら良いのか分からない）
情報発信	SNSを通じた情報発信
	SNSを通じた情報発信で袖ケ浦の魅力を発信
	SNSで住みよい町という発信
	近所の人から情報をもらう
	袖ケ浦市の良さを友人に話す
ボランティア	清掃ボランティア
	子供110番
	絵を描くことに関するう子供向けのワークショップ等
	公園の自主的な掃除
	ボランティア活動に参加しています
学び	市について学ぶ。歴史とか
	行ったことのない場所へ行ってみる
	自分の仕事で袖ケ浦を取り入れていく
	広報を読む
公共施設	公共施設を大切に利用する

④65 歳以上の方

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

65 歳以上の方からみた本市の魅力・強みとして、道路が整備されていること、都心へのアクセスが良いこと、駅がきれいであること、ガウランドがあること、憩いの場（ゆりの里、袖ケ浦公園、東京ドイツ村等）があることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点としては、車がないと移動できないこと、道路の雑草や樹木が多いこと、自治会の参加者が少ないこと、医療機関が少ないことなどが挙げられた。

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
交通・移動	○		道路のルートが充実（運転しやすい）
	○		道路が整備されている
	○		交通の便が良い（高速道）
	○		東京への便は良い
		○	交通の便が悪い
		○	タクシーが駅前に少ない
		○	高齢者の移動支援が足りない
		○	買物などの便が悪い
		○	チョイソコがうらの普及、説明がまだ足りない
		○	車がないと移動ができない
		○	遅くなるとバスがない
		○	車がないと生活できない

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
環境	○		駅トイレのゴミ入れがきれいに使われている
	○		駅がきれいになった
		○	ゴミステーションでのカラス被害
		○	公園の維持管理のボランティアが少ない
		○	空き家が放置されている　草ぼうぼう
		○	道路の雑草が多く見苦しい
		○	県道ぞいの歩道が草が伸びすぎ
		○	県道287号線の架線に覆いかぶる樹木が多い
		○	道路での木の枝が道路半分程度まで出ている
生活・施設	○		JAゆりの里、袖ケ浦公園、東京ドイツ村など憩いの場がある
	○		ウォーキングする場所が多い
	○		袖ケ浦公園が無料で入れる
	○		ゆりの里が近いので新鮮な野菜が買いやすい
	○		ガウランドがあること
	○		ガウランドなどの運動施設がいい
		○	ガウランドの利用時間が短い
自然・農業	○		緑が多い（自然が豊か）
	○		気候が良い
		○	農業人口が減っている
		○	自然災害や停電が多い
		○	イノシシ等害獣が多い

分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
政治・行政	○		市議会議員の改選で新入9人が応募している
		○	まちづくり総合計画の目標値の設定が低い
		○	協働まちづくり推進計画へのパブリックコメントが非常に少ない
		○	小中学校の学校役員の成り手がいない
		○	都市部とのギャップ
地域コミュニティ・自治会	○		コミュニケーションが取れている
		○	自治会の役員の成り手がいない
		○	自治会加入率の減少
		○	自治会への参加者が少ない
医療	○		がん検診などが手厚い方だと思う
		○	相談できる病院が少ない
		○	産婦人科がない
		○	産婦人科の病院がない
税金・財政	○		税金が安い
	○		ゴミ袋が安い
空き家		○	空き屋が多くなった
		○	荒地が放置されている
災害		○	災害に弱い
		○	水害に対する不安

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（市民）ができること）

(ア)行政に望むこと

65 歳以上の方がみた行政に望むこととして、自治会への参加促進、道路や空き地の草刈り、市の計画や考え方の明確化、災害対策、公共交通の利便性向上や移動手段の確保などが挙げられた。

行政に望むこと	
分類	意見
環境・地域活動	自治会への参加促進
	市が主導で実施できることを考える（中に入り込むことが必要）
	管理している県への改善を働きかける（所有者へも）
	道路の草刈の頻度を上げる
	道の歩道整備
	自転車道を増加させる
	イベントを増やす（気志團、ブロ野球祭）
	音楽会など定期的に開催する（市原、君津並み）
	残土禁止条例の締結
	書類がそろっているからと行って残土の認可を安易にしない
地域環境	草刈りは良くしているが高齢者だと頻繁に出来ない
	土地の所有者に空き地の草刈りを依頼する
	公園のネコを減少させる（去勢）
	遊休農地の家庭菜園への貸し出し
	ゴミステーションの整備
まちづくり・計画策定	各計画の目標値設定の考え方を明確にしてほしい
	年度計画を具体的にする（実施計画の詳細が見えない）
	具体的な取組の計画を明確にする
災害対策	地震に強い水道管の完備
	水道管のプラスチックパイプの使用
	水害対策（監視カメラの設置等）
	災害で「避難して下さい」と言うが場所がない
交通・移動	交通の便を良くしてほしい
	定期バスの運行を増やす（補助金）
	チョイソコがうらの周知説明（もっと）
	移送支援の全体的普及
農業・就業	新規就農者の受入れ「しくみ」をつくる
	市内企業に就職する人の奨学金の肩代わりする企業を増す

(イ)私たち（市民）ができること

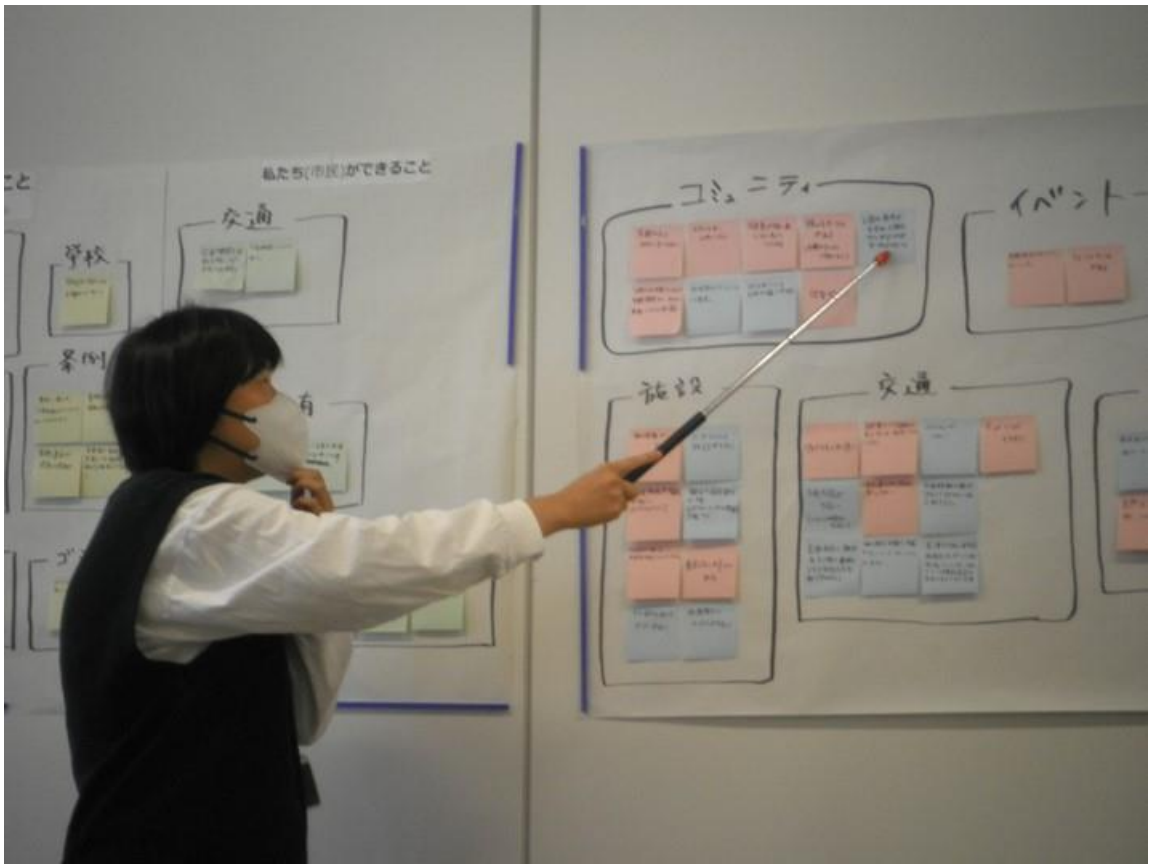
65 歳以上の方が考える、私たち（市民）ができることとして、ボランティアへの参加、自治会への参加や運営の見直し、健康診断の受診、リサイクル活動への協力などが挙げられた。

私たち（市民）ができること	
分類	**意見**
ボランティア活動	種々行事への参加
	ボランティアの参加に協力する
	ボランティア活動の実施（各丁目区分で）
	移送ボランティアへの参加
	研修参加者より手に入れる
	高齢者サロンへの参加
地域活動・自治会	さわやかなあいさつを心がける
	自治会の参加率を増やす
	自治会運営の見直しをする(旧態依存の脱却)
	検討のWG作る(自治会)
健康・福祉	健康診断を受ける
	ガウランドへ最低週1回行く
環境配慮	リサイクルへの協力をする
	草苅り等により農地を荒らさない

（５）　実施の様子

①15 歳から 24 歳までの方





②子育て中の方





③近年の転入者





④65 歳以上の方





２．分野別ワークショップ

（１） 開催目的

袖ケ浦市総合計画後期基本計画の策定に際し、各種団体から市政に対する意見・要望やまちづくりに対する課題・提案を幅広く引き出し、計画策定の参考とするために実施した。

（２） 開催概要

①対象

袖ケ浦市の市政運営に関わりのある各種団体の構成員

②開催日時・対象・場所

日時	グループ	場所
10 月 16 日（水） 13:30～16:00	①子育て・教育・文化 ②保健・医療・福祉	袖ケ浦市役所 北庁舎 3 階 小会議室
10 月 21 日（月） 13:30～16:00	①防災・防犯・環境 ②産業	袖ケ浦市役所 北庁舎 3 階 小会議室

（３） ワークショップの実施方法

①テーマ

各回の検討テーマは下表のとおり。

グループ	テーマ	参加人数
子育て・教育・文化分野	【ワーク①】 ・各団体の活動分野において感じる、袖ケ浦市の良いところ・悪いところ、活動にあたっての問題点・課題 【ワーク②】 ・行政に望むこと ・私たち（団体）ができること	11 名 （うち職員 3 名）
保健・医療・福祉分野		11 名 （うち職員 3 名）
防災・防犯・環境分野		11 名 （うち職員 3 名）
産業分野		10 名 （うち職員 2 名）

②プログラム

時間	内容	所要時間
13:30～ 13:32	開会	2 分
13:32～ 13:40	市挨拶・総合計画の概要説明	8 分
13:40～ 13:50	袖ケ浦市の現状・アンケートの説明	10 分
13:50～ 14:40	自己紹介・グループワーク① ・自己紹介（所属と名前） ・各団体の活動分野において感じる、袖ケ浦市の良いところ・悪いところ、活動にあたっての問題点・課題を付箋に記載 ・順番に付箋を貼付（良いところ、悪いところ、課題、その他似たテーマは近くに） ・一人一人時計回りに、理由や意見を発表 ➢他の方の意見を聞きながら、追加で思いついたことがあれば、自由に付箋に書いて貼付 ・グルーピング（ファシリテーター主体）	50 分
14:40～ 14:50	休憩	10 分
14:50～ 15:40	グループワーク② ・グループワーク①を踏まえ、（ⅰ）行政に望むこと、（ⅱ）私たち（団体）ができること、を付箋に記載 ・順番に付箋を貼付（似たテーマは近くに） ・一人一人時計回りに理由や意見を発表 ➢他の方の意見を聞きながら、追加で思いついたことがあれば、自由に付箋に書いて貼付 ・グルーピング（ファシリテーター主体）	50 分
15:40～ 15:50	グループごとに発表	10 分
15:50～ 15:53	市挨拶	3 分
15:53	閉会・アンケート・解散	-

※進行方法や所要時間は、ファシリテーターがグループのメンバーの様子を見ながら、適宜修正

（４） 実施結果

分野別ワークショップで出された主な意見を以下のとおり整理した。色分けは次のとおり。ワークショップ時に用いた付箋の色と対応している。

なお、ワークショップ参加者の意見は、それぞれの声を尊重し、多様な意見を正確に反映させるため、可能な限りそのままの形式で取りまとめた。

色	内容
ピンク色	良いところ（魅力・強み）
水色	悪いところ（課題・問題点）
黄色	行政に望むこと（どんな点がよくなるとよいか）
緑色	私たち（団体）ができること

①子育て・教育・文化分野

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

子育て・教育・文化分野の方からみた本市の子育て・教育・文化の魅力・強み・課題・問題点について、以下の意見が挙げられた。

子育ての魅力・強みとして、保育所の整備が進んだこと、子育て支援センターが充実していること、緑が多く子育てしやすい環境であること、公園等が整備されていること、住民のつながりがあることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、放課後に子どもが過ごせる場所が少ないこと、利便性の良い地域に人が集中すること、子育て世帯に広報（情報）が届いていないことなどが挙げられた。

教育の魅力・強みとして、公民館の講座や図書館が充実していること、児童・生徒に１人１台のタブレットが配布されていること、オンライン授業への参加が可能であることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、タブレットの使用により漢字が書けなくなったり視力や姿勢が悪くなったりすることに対する懸念、不登校児の増加とその支援の不足（フリースクール等）、発達支援分野の人材不足、地域間の交流の少なさなどが挙げられた。

スポーツ・文化の魅力・強みとして、スポーツ施設が充実していること、公民館やガウランドで多くの活動が行われていること、郷土博物館や国史跡（山野貝塚）が存在すること、市の担当課と身近な関係が築けていることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、スポーツやサークル活動に関する情報発信が弱いこと、スポーツ施設が老朽化していること、文化に対する関心が低いと感じられることなどが挙げられた。

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
子育て	子どもの遊び場		○	屋内の子どもの遊場が少ない
			○	プレーパーク等外遊びできる場所が少ない(ボール遊びできない等)
			○	休日に子供を預けられる施設が少ない
			○	集う場所が少ない
			○	小学生以上の子ども達の第3の居場所が少ない
			○	放課後に子供達が過ごす居場所が少ない
			○	放課後に安心して過ごせる場所が少ない
			○	放課後児童クラブが不足気味
	保育・福祉	○		公立保育所があること
		○		保育士に保育や発達支援の力がある
		○		保育所の整備が進んだ
		○		福祉施設が充実している
		○		子育て支援センターが充実している
		○		相談窓口が充実（こども家庭センター）
			○	子どもに関する課がバラバラで連携がとりにくい
	家庭・生活		○	家族で楽しむ時間難しい?
			○	家庭経営を学ぶところ少ない
			○	共働き家庭の情報共有、分担がうまくいかない?
			○	木津市の施策の影響を受ける所が大きい
			○	利便性の良い地域に人が集中する
			○	既存の団体に入りにくい
			○	ボランティア組織がまだ(拠点、考え方、活動)

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
子育て	自然・公園	○		袖ケ浦公園がある
		○		緑が多く、子育てをしやすい
		○		公園、遊具が多い
		○		公園等がきちんと整備されている
		○		適度に自然がある
		○		緑や自然が多い
			○	一部草が伸び放題になっているところがある
	情報・広報		○	福祉リソースを活用しきれていない
			○	子育て世代に広報が届いていない
			○	子どもの福祉について広報が少ない(発達相談)
			○	3歳児検診と年長児言語検査の内容が同じ
			○	情報交換ができていない
	地域コミュニティ	○		住民のつながりがある
		○		住環境がよく転入者が多い
		○		子どもの(習い事)に熱心な親が多い
			○	地域のコミュニティが減少してきている（子ども会.PTA活動）
	医療	○		長浦地区で診療科が豊富
		○		子育ての支援(医療費等)が手厚い
			○	助産院はあるが出産できる医院が市内にはない

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
教育	学習環境	○		公民館の講座が充実している
		○		図書館を使った調べ学習コンクールのレベルが高い
		○		調べ学習が盛んである
		○		学校と図書館の物流システムがすばらい!!
		○		図書館が充実している（各地区にある）
		○		学校、郷土博物館の関係が他地域より近い（出前授業）
		○		図書館が充実している（学校図書館を含め）
		○		子どもたちに学ぶ機会が多い
			○	本や文房具のお店が少ない
			○	学校行事が短縮化されたりしている
	デジタル教材	○		ドリルソフト等でタブレットを使った家庭学習が可能
		○		児童・生徒1人1台タブレットを配布
		○		オンラインで自宅からも授業に参加出来る
		○		管理がしやすい
			○	タブレットばかり使っていると漢字が読めるけど書けない子供が増える
			○	インターネットでの調べ学習が増え本離れがおきる
			○	タブレット使用が多くなると目や姿勢が悪くなる
			○	いたずらな書き込み
	不登校支援	○		小さな学校で手厚く支援、指導
			○	民間のフリースクールがない
			○	不登校支援が少ない（適応指導教室、フリースクール）
			○	不登校者が増加している
			○	フリースクールがない
			○	特認校の設置がない
			○	不登校児童生徒の増加
			○	教育支援センターが手狭である。今後不足する可能性有

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
教育	発達支援	○		良い悪いに関わらず、児童発達支援がある
		○		幼児期の特別支援保育はもっと向上できると思う(専門知識)
			○	学校教育は就学に関する窓口の先生が少ない。
			○	発達に支援が必要な子を発達支援に薦める傾向が出ている
			○	就学について学校との連携や情報交換しにくい
			○	支援できる先生が少ない
			○	保育士や教員の支援が少ない
	人材	○		教育の支援員が充実している（学校の先生方、保育士さん）
			○	子どもに関わる方々の仕事がハード
			○	数員が足りない
	地域		○	地域間の交流が少ない
			○	海側と山側の児童・生徒数の傾りがある

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
文化	スポーツ	○		スポーツ施設が充実している
		○		スポーツ施設が地域的にバランス良く設けている
		○		スポーツ施設の使用料が安い・自由度も高い
		○		スポーツする機会、各地区にクラブがあり、自由に参加できる
		○		多くのサークル活動がある（公民館、ガウランド）
			○	スポーツ機会の情報発信が弱い
			○	スポーツ人口の少子高齢化現象
			○	サークル活動のアクセス方法がわかりにくい
			○	スポーツ施設全体が老朽化している
			○	スポーツ施設の予防的修繕に応じない
	文化・歴史	○		郷土博物館、ゆりの里、袖ケ浦公園、ガウランドなどの施設がまとまっていて、その近くに山野貝塚を初めとする文化財がある
		○		総合的な博物館がある
		○		遺跡がたくさんある
		○		国史跡がある（山野貝塚）
		○		興味深い歴史がある
			○	国史跡山野貝塚を周知しきれていない
			○	文化に対する関心が低いように感じる
			○	山野貝塚の環境整備
			○	草刈りがおいつかない。機械の導入・追加
	生涯学習	○		郷土博物館を利用しながら生涯学習を充実させることができる
		○		生涯学習課（文化班）と身近な関係づくりができている
		○		史跡を活用したイベントのお手伝いをしながら、保護活動に参加できる

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（団体）ができること）

(ア)行政に望むこと

子育て・教育・文化分野の方が行政に望むこととして、子育て分野では、子育て相談窓口の充実や専門家の常駐、子ども（小学生以上の子）の居場所確保、子育てアプリやHP（子育て情報専用コーナー）を通じた情報提供、発達相談に関する市主導の研修などが挙げられた。

教育分野では、教育 DX の推進や情報モラル学習の場の提供、公民館でのインターネット環境整備、学校での ICT 機器の充実、教員に対する支援などが挙げられた。

文化分野では、教育プログラムやイベントの実施（子ども向けの縄文生活体験や芸術体験、市内周遊デジタルスタンプラリー、若者向けのイベント等）、パンフレット・リーフレットの配布、市内各地にある遺跡を活用した地域振興、スポーツ施設の適正管理などが挙げられた。

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
子育て	窓口	子育ての相談窓口の充実
		窓口対応の連携・効率化（庁舎整備）
		専門家が常駐する子育て相談窓口の充実（不登校・いじめ等）
	情報発信	ホームページの子育て情報専用コーナーの新設
		子育て情報の統一的な提供（子育てアプリ）
		広報そでがうらを小中学校配布
	居場所づくり	子どもの居場所の確保
		小学生以上の子どもたちが集まれる場所づくり
	発達相談	発達相談保護者支援のための市が主導のペアトレ研修
		発達相談等に関するニーズや問題点・不足点の整理と公表
	開発（子育て世帯の流入）	土地利用制限の緩和
		農業を保護しながら内陸部の開発
	その他	少子化、人口減少に伴う保育施設の調整
		三世帯同居の促進

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
教育	ICT・DX	教育DXの更なる推進
		スマホやタブレットなどの情報モラル学習の場
		公民館などでインターネットを使える環境を整える
		ICT機器の充実（学校）
		学校に音声機能付き電話の設置（働き方改革）
		市の行事など広報だけでなく学校メールでのお知らせ
	児童支援	特認校の設置
		不登校児童生徒の支援
		児童発達支援についての調査
	教員支援	先生方へのアクション
		教員ニーズに応じて教員への支援
	就学相談	就学相談の充実
		相談員を増やす
	地域支援	地域でおおらかに子どもを見守る施策
		学校ボランティア支援員の推進
	教育施設	教育支援センターの整備
	情操教育	情操教育→共感する心
	保育士研修	保育士の研修

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
文化	施設管理・整備	スポーツ施設の適正管理
		施設の修繕（プール、学校）
		山野貝塚現地の整備
	文化活動・地域振興	文化を身近に感じられる文化活動に参加しやすくなるような施策
		子どもたち向けの芸術体験ができる機会
		市内各地にある遺跡を活用した地域振興
	教育プログラム	「サークル作ってみよう講座」（公民館活用講座）
		教育として子ども対象の縄文生活体験の企画
	デジタル活用	市内周遊デジタルスタンプラリー
	若者向けイベント	若い世代を引き付けるイベント企画（音楽）
	広報活動	広報活動のパンフレット・リーフレットの配布
	集う場所づくり	集う場所づくり（施設内での常設）

(イ)私たち（団体）ができること

子育て・教育・文化分野の方が考える、私たち（団体）ができることとして、子育て分野では、当番制による休日保育の提供や０・１・２歳向けの親子体験の場づくり、発達障がいに関する相談や支援、保育所の訪問・巡回相談の実施、情報交換や発信などが挙げられた。

教育分野では、講師としての手伝い、芸術体験の実施、企業・団体の紹介が挙げられた。

文化分野では、イベントの手伝い（ボランティア）や山野貝塚の整備・復元の手伝い、草刈り、市民主体の山野貝塚の周知活動などが挙げられた。

分野	私たち（団体）ができること	
	分類	意見
子育て	場所づくり	当番制による休日保育の提供
		０・１・２歳向けの親子体験の場づくり
		発達障がい相談、親子教室
	支援	発達障がいの子をもつ保護者支援
		保育士支援
		保育所の訪問・巡回相談の実施
	情報発信	情報交換
		子育てについての情報発信
教育	その他	講師としての手伝い
		芸術体験の支援
		企業・団体の紹介
文化	イベントの手伝い・ボランティア活動	イベントの手伝い
		イベントの事前の手伝い（案内版・貝集め）
		講演会の手伝い
		スポーツ関係イベントへのボランティア活動の参加
		チョイボラ（ボランティア）チャレンジ
		スポーツクラブ（自主活動）への協働
		史跡ガイドの検討会への参加
		山野貝塚の整備、復元の手伝い
		草刈り
		市民主体の山野貝塚の周知活動

②保健・医療・福祉分野

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

保健・医療・福祉分野の方からみた本市の魅力・強み・課題・問題点について、以下の意見が挙げられた。

保健・医療の魅力・強みとして、かかりつけ医・かかりつけ薬局の意識が高いこと、医療・介護の連携（交流）の場があること、健診受診率や保健指導率が高いことなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、地域により医療資源の偏りがあること、小児医療が不足していること、産婦人科がないこと、薬局間の連携が不足していること（重複投与、手帳などの活用不足）、在宅医療・在宅サービス（看護・介護など）が遅れていること、全体的な医療資源が不足していることなどが挙げられた。

福祉の魅力・強みとして、障がい者の地域生活を支援する事業所が比較的多いこと、介護に関する情報をまとめた冊子（おたすけ手帳）があり情報が分かりやすいこと、百歳体操の自主グループが多くあり盛んであること、介護予防事業が多く実施されており参加率も高いことなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、地域に住む障がい者等に対する大規模災害への備えが不足していること、担い手（専門職、ボランティア）の不足、市民同士の交流の少なさなどが挙げられた。

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
保健・医療	病院	○		医療機関がみな優しく対応。市との関係も良好
		○		かかりつけ医、かかりつけ薬局の意識が高い
		○		障がい者に理解がある病院がある
			○	地域により医療資源の偏りがある
			○	病院の場所が偏っている
			○	小児医療が不足している
			○	小児科専門の病院がない。耳鼻科など
			○	産婦人科の病院がない
			○	大規模災害時の医療体制が組まれていない
	連携	○		医療・介護の連携（交流）の場がある
			○	薬局間の連携不足（重複投与、手帳などの活用不足）
			○	ケアマネジャーとの連携が取れているようで取れていない
			○	（医・介連携はあるものの・・・）薬剤師とケアマネとの顔のみえる関係づくりをもう少し進めたい
			○	単身高齢者や高齢者世帯の情報共有がされていない
	在宅	○		在宅復帰に向けたより良いリハビリがすすめられる病院がある
			○	薬局、薬剤師の在宅分野への参入が少ない
			○	在宅医療、在宅サービス（看護・介護など）が遅れている
	その他	○		健診受診率や保健指導率が高い
			○	救急医療が不十分（特に障がい者に対して）
			○	医療資源の不足、人材の不足、救急体制の不足

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
福祉	障がい者福祉	○		障がい福祉サービス事業所が比較的多い
		○		障がい者の地域生活を支援する事業所が比較的多い
		○		警察の障がい者に対する理解が進んできた
			○	障がいのある方が増えている
			○	障がい者の高齢化、重度化に対応できていない
			○	障がい者福祉政策の方向が理念に走りすぎていて、障害者を見ていない
			○	障がい者の相談員が足りない。サービスを受けられない人がいる
			○	地域に住む障がい者に対する大規模災害時の対応が皆無
			○	単身高齢者で何らかの障がいを合わせ持っている方が多い
			○	サービスが受けられない発達・若年者の就労支援
			○	介護認定が受けられない人たちの集う場が少ない（精神・知的障がい有りの方）
	行政	○		介護に関する情報をまとめた冊子（おたすけ手帳）があり、情報が分かりやすい
		○		市民に優しい手厚いサービス（行政）
		○		相談窓口が複数ある
		○		ホームページで公開されていることが多く便利
		○		市職員の皆様の対応がよい
		○		市役所が新しくなって行きやすい
			○	事業を増やすよりも、どう減らすかを考える必要があるかも
			○	高齢者向け施策が少ない
			○	地域に根差した事業が不足
			○	財源不足
	介護予防	○		介護予防の取り組みが地域住民により進められている
		○		高齢者のフレイル予防事業が進んでいる
		○		いきいき百歳体操の自主グループがたくさんある
		○		いきいき百歳体操が盛んに行われている
		○		介護予防事業への参加率が高い
		○		介護予防事業がたくさん実施されている
		○		介護予防に関心が高い高齢者が多い

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
福祉	人手不足		○	ボランティアの不足
			○	専門職の不足
			○	担い手不足
			○	職員が集まらない
			○	福祉分野の人手不足
			○	人材不足が激しい
			○	ボランティアが不足しており人選に苦労している
	交流	○		重なっていても色々な集まりがあるのが良い
		○		各地区にサロン活動がある
			○	町内会とのつながりが薄い
			○	地域の小さい集まりが分からない
			○	市民同士の「互助活動」が少ない
			○	老若男女の交流機会が少ない
	認知症	○		認知症の人に対する対応が進んでいる（認知症対策チーム）
		○		認知症疾患医療センターがある
	施設	○		県営住宅、市営住宅、無料低額宿泊所など施設が充実している
			○	施設の老朽化
	その他	○		福祉関係者が向き合っている
		○		成年後見の相談が増えた
			○	生涯現役で活躍できる場が少ない
			○	認知症や障害を持った方との接し方や見守りが分からない方がいる
			○	人口減少を甘く見ていないか？
			○	警察との連携が薄い
			○	孤独老人（あるいは孤独家族）への見守りが未発達

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
その他	交通	○		高速バスがあり都内へ通勤しやすい
		○		都心へのアクセスが良好
			○	内陸の方は車がないと生活が不便。買い物、通院
			○	公共交通が不十分
	子供	○		外で遊んでいる子供が多い
		○		保育園の待機児童が少ない
	商業		○	大きな商業施設がない
			○	スーパーなどが少ない
	その他	○		公民館、自治会館など、公共施設が充実している
			○	行政に依存しがちな傾向がある（市民）
			○	地域での高齢化率の偏りが大きい
			○	災害に対する意識が低い（全体的に）

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（団体）ができること）

(ア)行政に望むこと

保健・医療・福祉分野の方が行政に望むこととして、保健・医療分野では、小児科専門医の招へいや医師・看護師が住みやすい環境の整備、健診の推進などが挙げられた。

福祉分野では、災害時の協力体制の整備、認知症に対する地域の理解醸成、相談員など専門職員の増加などが挙げられた。

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
保健・医療	人材確保支援	小児科専門医の招へい
		看護師に定着してもらう支援
		医師の就職協力
		医師、医療従事者を行政として住みやすくする
		看護師が住みやすい環境
	健診	健診の推進（薬剤師会との連携を続ける）
		大人の体力測定実施（生産年齢以降対象）
	その他	平岡、中川地区の医療の拡充
		医療機関の維持のための財政支援
		在宅医療の体制の強化
		小児医療の充実
		自治会の加入、自治会館の有効活用（オンライン診療のサテライト化）
		必要時の個人情報共有

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
福祉	災害	災害時の協力体制の整備（障がい者）
		災害時の計画見直し
		コミュニティツールの無い方々への災害時の対応
		災害時医療。一時救護所設置の物的、財的支援
		二次救急医療への財的支援。「全国的に病院は赤字！」
		災害時対策、計画。医・介連携
		災害時の救護体制を関係機関と整える
	理解醸成	認知症の人などに対する警察の人の理解
		認知症になっても地域で暮らせるよう地域の人への理解
	その他	相談員等の専門職員の増
		福祉教育の推進
		ボランティアに参加しやすい体制
		施設老朽化に対する支援（移転も含め）
		フリースクール開校
		高齢者など交通弱者に対する通院支援
		自助・互助力を育成するための働きかけ
		中学生や高校生を巻き込んだボランティアや見守りの強化
		介護予防事業の継続、推進
		介護認定のスピード化
		チョイソコがうらエリアの拡大

(イ)私たち（団体）ができること

保健・医療・福祉分野の方が考える、私たち（団体）ができることとして、保健・医療分野では、医療人材確保の強化、薬局によるオンラインや訪問での服薬指導の実施、食育や減塩の啓発活動、災害時医療の実施などが挙げられた。

福祉分野では、認知症や障がい者に対する知識の習得（レクチャー）、災害時のマニュアル策定・提供、災害時に自分たちができることの自治体単位での検討などが挙げられた。

分野	私たち（団体）ができること	
	分類	意見
保健・医療	人材確保	地域医療に関心の高い医療者を集める
		訪問看護の充実
		看護師のリクルート
		総合診療のできる医師と緩和ケアの医師を採用する
		医師、医療者を強化する
	薬	オンライン服薬指導実施薬局を増やす（DX化）
		自治会（サロン）でのおくすり相談会実施
		訪問薬剤指導の推進（薬局の参画）
		「元気千葉！健康チャレンジ事業」への薬局の参画（健診ポイントの有効活用）
	食育	減塩の取り組み。市役所庁舎ロビーなどでの試飲
		子どもから高齢者までの食育活動の取り組みの実施
		食育の日。食育の啓発活動。毎月19日など日にちを決め、家族での食事をする
	災害	災害時医療。一時救護所を設営する（医師会員の協力）
		災害時対策本部の設置。マニュアル作成＋訓練の実施
	その他	二次医療圏への協力を強化
		看取り

分野	私たち（団体）ができること	
	分類	意見
福祉	教育・研修	市内在勤の方にも認知症に対しての知識習得
		職員向けの研修会の実施
		認知症や障がい者に対する知識の習得
		認知症の対応方法についてレクチャー
		地域の人や警察の人に対する認知症への理解を進める（サポーター養成講座）
		福祉教育の出前講座
	災害	災害時のマニュアル作成・提供
		災害時に自分たちができることを自治体単位で自ら考える
	その他	高齢者に関する相談窓口や各機関との連携
		認知症患者の家族のケアを充実する
		介護職の確保（2040年）
		障がい者の安否確認、緊急支援、緊急入居、緊急居場所
		介護予防事業を継続するための支援

③防災・防犯・環境分野

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

防災・防犯・環境分野の方からみた本市の魅力・強み・課題・問題点について、以下の意見が挙げられた。

防災分野の魅力・強みとして、災害に対する意識の高い人が多いこと、発災時に備えた資機材が充実していること、災害が少ない地域であることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、自治会加入者や消防団員が減少していること、若年層が地域活動や消防団に参加しないことなどが挙げられた。

防犯・交通安全分野の魅力・強みとして、交差点で児童の見守りが行われていること、各地区の住民協力が得られていること、防犯灯や防犯カメラが増えていることが挙げられた。

一方、課題・問題点として、住民のコミュニケーション不足、ボランティアの減少、防犯カメラが依然として少ないこと、防犯意識の低さなどが挙げられた。

環境分野の魅力・強みとして、ごみの収集が多くリサイクル率も高いこと、生物多様性のポテンシャルが高いこと（臨海、住宅、里山、森林など多様な生態系の存在）、公園がきれいに整備されていることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、ごみのリサイクル率が横ばいで推移していること（上昇していない）、プラスチックリサイクルがペットボトルのみであること、イノシシやアライグマなどの有害鳥獣が増えていること、雑木林に不法投棄があることなどが挙げられた。

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
防災	自治会員・消防団員		○	自治会加入者の減少
			○	活動する人が同じ団体で活動している
			○	自治会全体が高齢化している
			○	活動できる自治会役員、班長が減少
			○	退職者の地域帰属意識が低い
			○	若者が地域活動に参加しない
			○	自治会加入率が減少している
			○	消防団員の減少（若年層）
			○	災害ボランティア協力や災害対策コーディネーターの市民の意識が低い
			○	消防団員の高齢化。活動年数が長期になってしまっている
	防災意識	○		災害に対する意識が高い人が多い
		○		活動に積極的に参加している方が多い
		○		防災意識の高い地区がある
			○	防災意識が低い
			○	防災意識が低い地区がある
			○	地区による違いが多い
			○	若年層の防災意識が低い
	防災対策	○		災害時、対応する資機材等が充実している
		○		災害時の情報が分かりやすい（デジタル無線の充実）
			○	内陸部の防災対策の充実を考える必要がある
			○	高齢者、要支援者の情報が不明
	災害が少ない	○		災害が少なく安心して暮らせる
		○		大きな災害がない
		○		安心・安全な地域に住んでいる
	交流センター	○		交流センターが５か所ある
		○		交流センターが多い

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
防犯	自治会・団体・ボランティア	○		交差点での児童の見守りがされていて安全
		○		各地区（住民）の協力を得られるようになった
			○	団地内住民のコミュニケーションが不足
			○	自治会の減少が気になる
			○	各地区からのメンバーが集まりにくい
			○	団体のメンバー高齢化
			○	各地区のメンバー（役員）の任期が短い
			○	ボランティアが減少している
			○	ボランティアが減っているような気がする。仕事が忙しいと・・・
	防犯灯・防犯カメラ	○		防犯灯や防犯カメラが少しずつ増えている
			○	防犯カメラが少ない
	その他		○	防犯意識は高くないと思う。
			○	ここ数年、犯罪が増えている（種類による増減で減ってはいるが）
環境	ごみ・リサイクル	○		ごみの収集が多い
		○		ごみのリサイクル率が県内で上位。６位。R4年度
		○		資源・ごみの分別が優れている
		○		ペーパーレス化が進んでいる
			○	祝日のごみ収集がない
			○	ごみのリサイクル率が横ばい。25%。R4年度
			○	自販機横のリサイクルボックスの不設置が改善されない
			○	自販機容器内にゴミが入れられている
			○	プラスチックリサイクルがPETしかない
	生き物	○		生物多様性のポテンシャルが高い（臨海、住宅、里山、森林）
			○	イノシシの生息拡大
			○	アライグマの増加。生活・農作物被害
			○	侵入する外来生物が増えている（種類、数）
	美化	○		公園等がきれいに整備
			○	雑木林に不法投棄がある
			○	道路わきに雑草が多い
			○	コンビニ等の駐車場のゴミが目立つ
	その他		○	カーボンニュートラルが求められている
			○	市民レベルの温暖化対策の実行計画が乏しい
			○	合理化が求められている（集約）

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
その他	市民活動	○		市の中心部に発表活動ができる豊かなスペースあり
		○		先進的な市民活動ができる
		○		優れた教育支援
			○	先進的な市民活動をしても、広がり、活用ができていない
			○	市民活動センターがない
	住みやすさ	○		市の広さがちょうど良い
		○		住みやすい
		○		暮らしやすい
			○	神納～袖ケ浦バスターミナルの都市計画ができていない、未着手
	アクセス	○		県外へのアクセスが良い
			○	住民のニーズに合った移動サービスがない
			○	バスターミナルがあっても周辺が活用できていない
			○	路線バスが少ないので車になる。故にバスに乗らない。→減るの悪循環
	企業	○		臨海部にコンビナートがある（企業が多い）。税収
		○		社宅、量がある（人口確保）。税収
		○		企業間のつながりがある（協議会がある）。ゴミ拾い
	駅前	○		駅前（袖ケ浦駅）が広くなり使いやすくなった
			○	長浦駅前の送迎等がしにくい
	その他		○	都市部と農村の差が大きくなった
			○	高齢化が進んでいる

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（団体）ができること）

(ア)行政に望むこと

防災・防犯・環境分野の方が行政に望むこととして、防災分野では、災害ボランティア・災害対策コーディネーターの活用（共助の推進）、自治会加入の推進や消防団員の確保、若年者への消防団のＰＲ、備蓄や避難所の充実などが挙げられた。

防犯分野では、防犯カメラの増設が挙げられた。

環境分野では、温暖化対策の周知や環境フェアの開催、市民への啓発の強化、環境教育の推進（幼児、児童・生徒向け）などが挙げられた。

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
防災	ボランティア・自治会	ボランティアによる移送サービス推進
		ボランティア等の共助の部分を強化させる
		災害ボランティア、災害対策コーディネーターの活用（共助の推進）
		自治会加入の推進
		自主防災組織の立ち上げ
		消防団員の確保
	PR・啓発	防災意識を高める施策
		市民への災害意識・対応周知
		若年者向けのPR、消防団PR
	事前準備	市の防災訓練が5か所に分かれているが、年に1回全体訓練が必要
		防災関係の予算を多くして、備蓄倉庫の内容を充実させる
		避難所の充実、パーテーション、段ボールベッド
防犯	防犯カメラ	防犯カメラの情報提供による地域防犯への寄与
		予算がもう少しあればカメラが増やせるかも・・・
環境	周知・教育	温暖化対策の周知の機会を増やす
		環境フェアの開催、市民への啓発、市民活動の活性化
		市内にどんな生物がいるのか示す
		環境教育の推進（幼児、児童・生徒へ）
	その他	市民、事業者が参加する地球温暖化対策実行計画（R6.6策定）
		条例などの活用
		プラスチックリサイクルをしないこと。発電に使うのが一番
		生ごみや選定枝のごみステーションからの長距離運搬

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
その他	交通	デマンドタクシー
		金田地区へのアクセスの改善
		バスターミナル周辺の活用
		バスターミナルと平川地区のアクセス改良
		農業道路の延伸
		神納とバスターミナル間の都市計画道路整備
	自治会	自治会の立ち上げに市職員の努力を希望
		住宅販売会社に自治会を作ることを位置づける
		各自治会での役員の推薦方法を考えてほしい
	市民活動	市民活動センターの設置と活用
		活動への協力・企画（開催）
		活動への助成（補助金）
	その他	人口減少を見据えた施策を考える（人口キープを前提にしない）

(イ)私たち（団体）ができること

防災・防犯・環境分野の方が考える、私たち（団体）ができることとして、防災分野では、顔のみえる関係性づくり、消防団のＰＲ、地域防災訓練への参加・協力などが挙げられた。

防犯分野では、犯罪防止の声掛け（啓発）回数の増加などが挙げられた。

環境分野では、自治会の資源回収への協力やプラスチックリサイクルの推進、ゴミ拾いや清掃活動等への参加、環境教育の支援などが挙げられた。

分野	私たち（団体）ができること	
	分類	意見
防災	自治会・消防団・ボランティア	災害時に活動できる自主防災組織に変える
		若い人が活動できる自治会に改変する
		消防団と自治会の連携
		顔のみえる関係性作り
		有償ボランティアによる移住サービス事例の展開
		消防団PR
	防災訓練	地域防災訓練への協力
		地域防災訓練への参加、協力
		各地区、自治会への防災訓練の支援
防犯	その他	パトロールの強化（危ないところ等について防犯指導員に遠慮なく声掛けを）
		犯罪防止の声掛け（啓発）の回数を増やす
環境	ごみ	自治会資源回収の協力
		プラスチック実証事業への協力
		プラスチックリサイクルの推進・協力
		紙ごみの分別
		生ごみ肥料化容器の推進
		生ごみ削減の普及支援・協力
		資源・ごみの分別、PR、指導
	参加・協力	活動への参加（ゴミ拾い、清掃、審議会）
		活動への強力（寄付、募金）
		活動への助言
		施策への助言
	エコ	太陽光発電設備の普及（住宅用）
		市内事業者対象の省エネ診断
		うちエコ診断の実施
	教育	水辺の生き物しらべの実施による生物多様性教育
		小中学校、成人対象の環境教育の支援
	その他	イベント、講座などへの参加・出展
		食品ロス削減・普及の推進
		SDGs普及の推進
		市民対象の温暖化対策の実行計画の策定協力

④産業分野

a. グループワーク①（魅力・強み・課題・問題点）

産業分野の方からみた本市の魅力・強みとして、農業が盛んであること、住みやすいこと、都心へのアクセスが良好であること、工業が盛んであること、自然が豊かであることなどが挙げられた。

一方、課題・問題点として、有害鳥獣による農作物被害が増えていること、農家の減少と高齢化、市の知名度の低さ、観光地・商店街・レジャー施設の少なさなどが挙げられた。

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
産業	農業	○		野菜が新鮮
		○		農業が盛んである
		○		多種多様な農作物を栽培できる
			○	有害鳥獣が増えている（農作物に被害）
			○	田んぼの老朽化が多く発生しており耕作できない囲い場が増えている
			○	農家の高齢化
			○	人が少ない
			○	農家に独身者が多い
			○	生産者の減少
			○	高齢化
			○	農業従事者の高齢化が進んでいる
			○	農業者担い手の減少（若い農業者）

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
産業	住環境	○		住むには良い
		○		となりの人の顔がわかる環境
		○		土地が安い
		○		住みやすい　災害が少ない
		○		犯罪が少ない
		○		住宅地が整備されていること
		○		大きい公園が多い
			○	海と山と住宅にばらつきがある
			○	袖ケ浦駅北口などの新規住民との融合が進んでいない
	知名度・特産品	○		隠れた産地
		○		何もないところ（適度に）
		○		ピーナッツ全国の8%を生産 1,000t以上
			○	知名度低い
			○	市の知名度が低い
			○	名物といわれるものが少ない
			○	特化した農作物がない
			○	目玉となる名物グルメがない
			○	市の産物のイメージリーダーが分からない
	レジャー・観光	○		東京ドイツ村、アウトレットモールにJRの駅が最寄りにある
		○		ゴルフ場が多い
			○	プール等が少ない
			○	観光地が少ない
			○	商店街（ロード的)がない
			○	レジャー施設が少ない
			○	千葉フォルニアの規制
			○	店が少ないので買い物は近隣市へ行く必要がある

分野	分類	良いところ（魅力・強み）	悪いところ（課題・問題点）	意見
産業	交通・アクセス	○		市内が10km位でどこへでも行ける
		○		都心に近い
		○		アクアラインによりアクセスが良い
		○		東京が近い
		○		都市部から近いところにあり、アクセスが良い
		○		アクアラインで都心が近くなった
		○		アクアラインバスによる都心への通勤が更に便利になる予定(京急蒲蒲線)
	環境	○		環境が整備されている(田んぼ、畑)
		○		都心に近いのに自然が残されている
		○		工業地帯、住空間、田園空間のバランスが取れている
		○		臨海部や椎の森など工業が盛んである
		○		自然が豊かである
		○		緑が多くゴミゴミしていない
	人口・地域	○		コンパクト
		○		人が少ない
		○		消費地が近い
		○		人口が6万5000人位いて良いと思う
			○	海側と山側に開きがある
	財政・経済	○		市の財政が良いからやる気があれば相当できる
			○	ふるさと納税の収支が2023年でマイナス1億64万円
	その他	○		発電所が出来る　200万kW
		○		酪農が盛んである
			○	工業系人材不足

b. グループワーク②（行政に望むこと・私たち（団体）ができること）

(ア)行政に望むこと

産業分野の方が行政に望むこととして、スマート農業の推進、担い手や人材支援、市と企業のコミュニケーション強化、有害鳥獣対策、市の知名度の向上などが挙げられた。

分野	行政に望むこと	
	分類	意見
産業	農業	RTK（GPS）基地局の整備
		スマート農業の推進を図る
		土地の集積
		たい肥の耕畜連携
		バイオマス発電の取組み
		水路やパイプラインの整備
	人材	農業従事者の婚活
		人手不足対策に工業系専門学校の誘致（地元でインターンシップ）
		過疎地区に若者オンリーの転入促進市営住宅を作る（バス路線上）
		ITに強みを持つ方の活用
		商品開発までの人材派遣
	行政運営	部署異動までの期間を長くしてほしい
		女性の部長の登用
		近隣市との協力
		現場に来てコミュニケーションをとってほしい
産業	有害鳥獣対策	防犯カメラの整備
		有害鳥獣対策
		罠、箱罠をより増やす
		市の箱罠の数の増強（貸し出し用）
	観光	海浜公園周辺の安全整備
		ガイドマップ等の活用
		生活と観光の導線（２次交通）
	ブランド	逸品への支援
		農産物の１ジャンルで全国１位になる
	PR	開発した商品のPR
		知名度向上
	計画	計画を策定、計画と目標の公表
	補助金	設備投資に関する補助（つなぎとめ）

(イ)私たち（団体）ができること

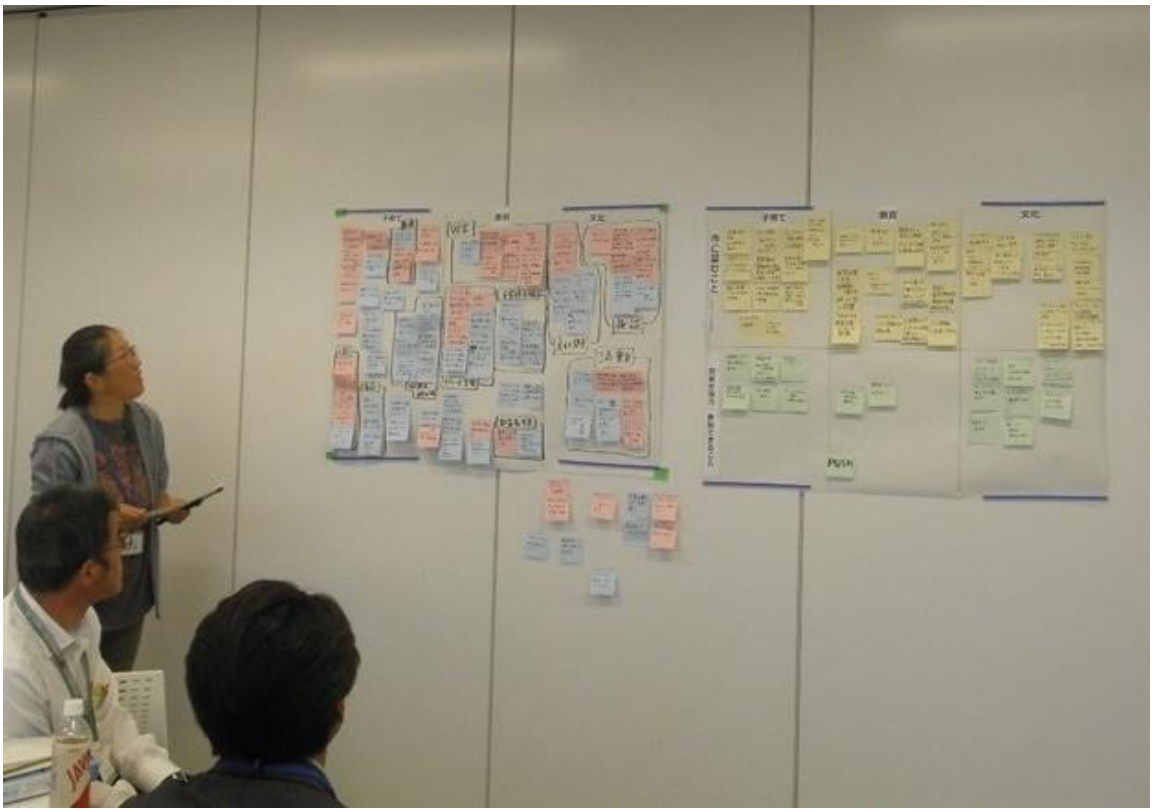
産業分野の方が考える、私たち（団体）ができることとして、罠の見回りなどの有害鳥獣対策、特産物の開発やＰＲ、市のＰＲやＳＮＳでの発信、イベントへの積極的な参加等が挙げられた。

分野	私たち（団体）ができること	
	分類	意見
産業	鳥獣対策・美化	有害鳥獣対策
		罠の見回り
		耕作放棄地の解消
		たい肥の生産供給
		市内の美化
		イノシシの生存を1年で半減させる
	ブランド化	ホワイトガウラーメンの認知度UP
		一次産品でブランドさせる→いきなり六次産業化しない
		共通の作物を使った商品の開発
		多くの店でイメージリーダーの活用
	PR	市のPR
		SNSの発信
		観光協会やHP、SNSを使用した情報発信
	イベント企画・参加	袖ケ浦駅前の人の各事業への参加
		近隣地域の方々への生活の一部となる企画
		イベントなどに積極的に参加

（５）　実施の様子

①子育て・教育・文化分野





②保健・医療・福祉分野





③防災・防犯・環境分野





④産業分野





３．袖ケ浦市工場連絡会ワークショップ

（１） 開催目的

袖ケ浦市総合計画後期基本計画の策定に際し、袖ケ浦市工場連絡会会員企業から袖ケ浦市の工業における強み・弱み（不安）を幅広く引き出し、計画策定の参考とするために実施した。

（２） 開催概要

①対象

袖ケ浦市工場連絡会会員企業（59 名）
8 グループ（A～H）を編成　※7～8 人／グループ

②開催日

2024 年 7 月 4 日（木）

③場所

市民会館（昭和交流センター）中ホール

④プログラム

	内容	所要時間
1	開会・総合計画後期基本計画の策定について	7 分
2	ワークショップ ①ワークショップの進め方 ②ワークショップ ★テーマ「袖ケ浦市の工業における強み・弱み（不安）」 ※弱みについては、現在や将来において不安に感じていることを含む。 ・役割決め ・グループ内での意見出し ・意見のまとめ ・まとめの発表 ・次長あいさつ	59 分

（３） 実施結果

ワークショップで出された主な意見を以下のとおり整理した。

本ワークショップでは、「ヒト」「場所」「モノ」「その他」ごとに、強みと弱み（不安）について意見交換を行った。

なお、ワークショップ参加者の意見は、それぞれの声を尊重し、多様な意見を正確に反映させるため、可能な限りそのままの形式で取りまとめた。

①グループＡ

強みでは、「場所」についての意見が多くみられた（4 件）。内容として、「大型船舶の港があり物流の拠点である」、「都内・川崎地区へのアクセス性」などが挙げられた。

弱みでは、「ヒト」についての意見が多くみられた（4 件）。内容として、「従業員全体の中で地元の人が少ない」、「乗務員の確保」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト		○	従業員全体の中で地元の人が少ない
		○	乗務員の確保
		○	少子高齢化で労働力の減少
		○	近隣地域からの雇用が乏しい（希望レベルの人材確保できない）
場所	○		京葉臨海工業地域の中核であり、物流を含めた、コンビナートとしての立地の良さ（原料・燃料等の融通のしやすさ）
	○		京葉シーバース石油陸揚げ基地
	○		大型船舶の港があるため流通の拠点となっている
	○		都内・川崎地区へのアクセス性
		○	地震による被害、特に南袖地区は避難場所がない
その他	○		エネルギー製造業者があること
	○		社会インフラ素材の製造業があること
	○		多業種企業の複合体である
	○		多くの業種の企業がある
		○	環境意識の高まりによる工業活動の制約

②グループＢ

強みでは、「場所」についての意見が多くみられた（4 件）。内容として、「工場用地に余裕がある」、「都心へのアクセスが良い」などが挙げられた。

弱みでは、「ヒト」についての意見が多くみられた（2 件）。内容として、「雇用への不安」、「工場で働く人材の高齢化」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		企業間の交流が非常に活発
		○	雇用への不安
		○	工場で働く人材の高齢化
場所	○		工場用地に余裕がある
	○		都心へのアクセスが良い
	○		工場地帯がごみごみしていない
	○		海に面した用地が多い
		○	半島になっているので東京方面の物流が限られている
モノ		○	工場の老朽化
その他	○		椎の森工業団地は千葉県有数の団地に指定されている

③グループＣ

強みでは、「場所」についての意見が多くみられた（5件）。内容として、「高速ICなど利便性が良いこと」、「東京湾に面していてアクセスが良好」などが挙げられた。

弱みでは、「場所」についての意見が多くみられた（8件）。内容として、「道路事情が悪い（渋滞がひどい）」、「新規事業の用地がない」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		企業・行政との連携増、安定した財政
	○		同業が集っていて、情報交換ができている
	○		多様な企業が有る
	○		企業の数・種類が多い
		○	働き手の不足
		○	地元若年層の雇用少
		○	人材確保、アクセス
		○	高齢者の問題
場所	○		袖ケ浦は東京湾に面していてアクセスが良好
	○		高速ICなど利便性ヨシ
	○		高速（インターも近く）も交通の便が良い
	○		石油コンビナートをはじめとする工業地帯が形成されており、関連産業の発展に寄与している・技術力専門力の労働力が高い
	○		東京に近い、地理的に便利・近隣企業の団結力が強い
		○	工場へのアクセス不足
		○	道路事情が悪い（渋滞がひどい）
		○	事業拡大をしたいが、袖ケ浦市内に土地がない
		○	新規事業の用地がない
		○	高齢化、道路整備
		○	工業用地がない
		○	アクセスが悪い
		○	道路の渋滞が多い。R16、アクアライン
モノ		○	商業とのコラボが少ない
		○	工場が古い・環境への配慮が強く求められている

④グループD

強みでは、「場所」についての意見が多くみられた（4件）。内容として、「港が近いので原材料の調達がしやすい」、「大手企業（全国的な）が多く進出している」などが挙げられた。

弱みでは、「ヒト」と「場所」についての意見が多くみられた（各3件）。「ヒト」の内容として、「地元採用が少ない」、「人材確保が厳しい」などが挙げられた。「場所」の内容として、「災害に弱い」、「道路環境が悪い」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		地元の理解が強い
		○	人の採用難しい、地元採用が少ない、寄せ集め的
		○	賃金水準が大手に合わない（採用）
		○	大企業が多いので、人材確保が厳しい
場所	○		港が近いので、原材料の調達がしやすい
	○		敷地が必要な大きな企業がある。（スペース的に提供できる）
	○		交通の便がいい、工業地帯として他企業と連携がとれている
	○		大手企業（全国的な）が多く進出している
		○	災害に弱い、大雨・停電・技能講習の場所がなく他地区に行かないといけない
		○	通勤手段が少ない、交通が不便
		○	道路がボコボコ、臨海鉄道を含めて大型車が通行多い
モノ	○		インフラがそろっている（ガス・電気）
		○	老朽化、更新が進まない
その他	○		色々が業種の企業がある
		○	制約が厳しい、制限が厳しい、工場希望だったが倉庫に

⑤グループＥ

強みでは、「情報交換会のつながりが強い」、「物流が安定している」、「企業設備投資の奨励金がある」などが挙げられた。

弱みでは、「場所」についての意見が多くみられた（6件）。内容として、「アクアラインから袖ケ浦市に流れるような動線の道路が必要」、「土地の有効活用化による活性化」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		各企業間（各協議）自治会、情報交換会のつながりが強い
		○	車通勤のため退社後や会社帰りに制限がある・バスの本数が少ない
場所	○		海・湾に囲まれていて物流が安定している
		○	アクラインからの道路整備を強化してほしい（動線）、袖ケ浦市に流れるような道路が必要
		○	市道の除草作業が不足している通勤の安全面も踏まえて人員増、日程増等での対応計画を立てて頂きたい
		○	中袖通りの外灯が少なく、徒歩、自転車通勤では危険
		○	土地の有効活用化による活性化
		○	長浦駅から袖ケ浦駅前の飲食店が少ない
		○	大型商業施設が少なく人が他に流れてしまう
モノ	○		企業設備投資に関する奨励金制度がある

⑥グループＦ

強みでは、「場所」についての意見が多くみられた（4 件）。内容として、「利便性が高い」、「高速道路が近くて便利」などが挙げられた。

弱みでは、「場所」についての意見が多くみられた（4 件）。内容として、「緑地が活用されていない」、「インフラが悪い」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		医療福祉　中高無料化
		○	高卒の人が集まる要素が少ない、大企業はあるけれど
		○	人が増えていない
場所	○		利便性が高い
	○		海側が栄えている
	○		高速道路が近く便利
	○		工業団地種類が多い
		○	市原と木更津と比較してしまう
		○	緑地が活用されていない
		○	中袖工業用水下水が無い
		○	インフラが悪い
モノ		○	名産品が無い
その他		○	これが「袖ケ浦だ」がない

⑦グループG

強みでは、「場所」についての意見が多くみられた（2件）。内容として、「地理的環境が良い」、「アクセス性の良さ（アクアライン）」が挙げられた。

弱みでは、「場所」と「モノ」についての意見が多くみられた（各3件）。「場所」の内容として、「アクアライン等の渋滞」、「自然災害への不安」などが挙げられた。「モノ」の内容として、「従業者の住宅が無い（悪い）」、「設備の老朽化」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		人口増（首都に近い）
		○	若者の減少
		○	高齢化
場所	○		地理的環境が良い
	○		アクセス性の良さ（アクアライン）
		○	アクラインの渋滞
		○	自然災害の不安
		○	定修渋滞がひどい（インフラ整備）
モノ		○	袖ヶ浦に住宅ない
		○	転勤者の住宅事情が悪い
		○	設備の老朽化
その他		○	夜の接待が出来る場所がない
		○	市としてPRが足りない
		○	若者が魅力を感じない

⑧グループH

強みでは、「ヒト」と「場所」についての意見が多くみられた（各2件）。内容として、「袖ケ浦工場連絡会のつながり」、「物流の安定性」などが挙げられた。

弱みでは、「場所」についての意見が多くみられた（3件）。内容として、「懇親や商談をする機会の喪失」、「駅周辺の飲食店の少なさ」などが挙げられた。

分類	強み	弱み（不安）	意見
ヒト	○		市民としては住みやすい
	○		袖ケ浦市工場連絡会のつながり
		○	地元の人間が就職してくれない
場所	○		物流の安定性
	○		アクアライン港湾に近い
		○	懇親や商談をする機会の喪失
		○	駅周辺の飲食店の少なさ
		○	交通・タクシーの弱さ
モノ	○		多くの業種工場が集積
		○	工業面で拡張余地が小さい（港湾→山の方へ）
その他		○	化学メーカー多く集積（危険性も）

（４） 実施の様子




④まとめの発表
テーマ
「袖ケ浦市の工業における強み・弱み（不安）」
時間：１グループあたり約３分
・発表役は、③で決定した内容を発表します。
（選んだ理由なども説明してください。）

第６章　市外ＷＥＢアンケート調査

１．調査の概要

（１）　調査の目的

本市の移住・定住促進や観光振興の施策を検討するにあたり、一都三県における袖ケ浦市以外の住民にとっての、本市の認知度や来訪経験、移住意向、観光地への興味などを探り、定住人口・交流人口の増加に向けた取組を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

（２）　調査方法・対象者・調査時期

・調 査 方 法 ：ＷＥＢアンケートによる調査（実施業者：㈱クロス・マーケティング）
・調 査 対 象 ：袖ケ浦市を除く一都三県（千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県）の住民
・調 査 時 期 ：2024 年 9 月 3 日（火）～9 月 4 日（水）
・回　収　数：1,000 サンプル

２．調査結果

（１） 回答者の属性

回収したサンプルの属性は、次のとおりであった。

図表45 回答者の属性

		回答数（件）	割合（%）
全体		1000	100.0
性別	男	524	52.4
	女	476	47.6
年齢	１５歳～１９歳	59	5.9
	２０歳～２９歳	161	16.1
	３０歳～３９歳	181	18.1
	４０歳～４９歳	221	22.1
	５０歳～５９歳	217	21.7
	６０歳以上	161	16.1
職業	自営業・自由業	53	5.3
	会社員（正社員）	375	37.5
	公務員、団体職員	51	5.1
	パート・アルバイト・派遣社員	207	20.7
	専業主婦（主夫）	118	11.8
	無職	108	10.8
	学生	69	6.9
	その他	19	1.9
家族構成	ひとり暮らし	214	21.4
	夫婦のみ	209	20.9
	親子	484	48.4
	三世代同居（夫婦とその親、子）	63	6.3
	その他	30	3.0

		回答数（件）	割合（%）
居住地	千葉県	500	50.0
	東京湾岸	100	10.0
	アクアライン・圏央道沿線	100	10.0
	成田空港周辺・印旛	100	10.0
	常磐・つくばエクスプレス沿線	100	10.0
	銚子・九十九里・南房総	100	10.0
	東京都	200	20.0
	23区	100	10.0
	23区以外	100	10.0
	神奈川県	200	20.0
	横浜市、川崎市	100	10.0
	横浜市・川崎市以外	100	10.0
	埼玉県	100	10.0
勤務地・通学地	千葉県	281	37.2
	東京都	265	35.1
	23区	217	28.7
	23区以外	48	6.4
	神奈川県	134	17.8
	横浜市・川崎市	70	9.3
	横浜市・川崎市以外	64	8.5
	埼玉県	64	8.5
	その他	11	1.5

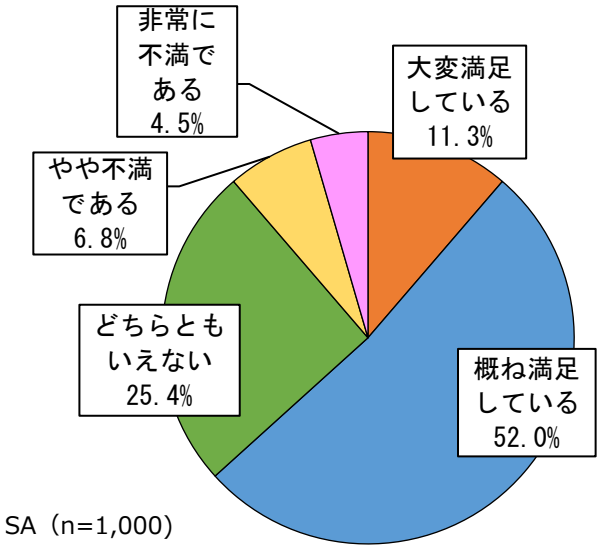
（２） 居住地の満足度と将来の希望

①お住まいの地域の住み心地の満足度

【問 1】あなたのお住まいの地域の住み心地の満足度について、あてはまるものをお選び下さい。（SA）

居住地域の住み心地の満足度は、「概ね満足している」が 52.0％と半数以上を占めて最も多くなっており、「大変満足している（11.3％）」を加えると、6 割以上が満足している。

図表46 居住地の住み心地の満足度（SA）



属性別には、『満足（「大変満足している」と「概ね満足している」の合計）』が比較的高いのは、性別では「男性（64.1％）」、年齢別では「15～19 歳（72.8％）」、家族構成別では「親子（67.8％）」、居住地別では「23 区以外（72.0％）」と「横浜市、川崎市（72.0％）」、勤務地別では「東京都（70.5％）」となっている。

図表47　居住地の住み心地の満足度（SA・属性別）

（単位：%）

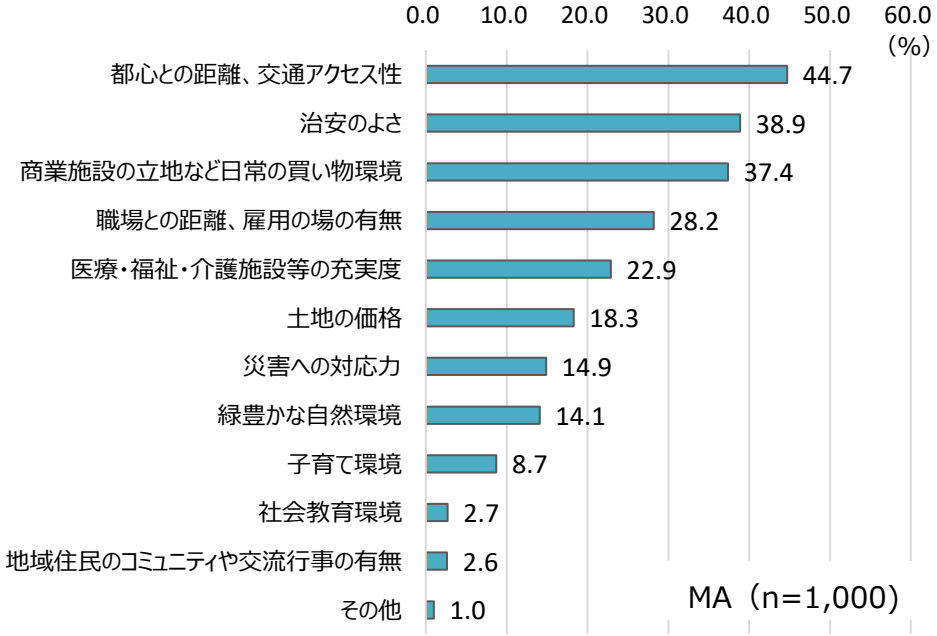
			回答数（件）	満足	大変満足している	概ね満足している	どちらともいえない	不満	やや不満である	非常に不満である
全体			1,000	63.3	11.3	52.0	25.4	11.3	6.8	4.5
性別	男		524	64.1	12.6	51.5	26.0	9.9	5.7	4.2
	女		476	62.4	9.9	52.5	24.8	12.8	8.0	4.8
年代	15歳～19歳		59	72.8	16.9	55.9	16.9	10.2	5.1	5.1
	20歳～29歳		161	59.0	13.7	45.3	29.2	11.8	6.2	5.6
	30歳～39歳		181	55.8	11.6	44.2	29.3	14.9	8.3	6.6
	40歳～49歳		221	65.6	10.4	55.2	23.1	11.3	8.1	3.2
	50歳～59歳		217	62.7	8.3	54.4	25.3	12.0	7.4	4.6
	60歳以上		161	70.2	11.8	58.4	23.6	6.2	3.7	2.5
家族構成	ひとり暮らし		214	52.8	5.6	47.2	32.2	15.0	7.5	7.5
	夫婦のみ		209	63.1	10.0	53.1	26.8	10.1	7.7	2.4
	親子		484	67.8	12.8	55.0	22.9	9.3	5.6	3.7
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	66.7	15.9	50.8	17.5	15.9	11.1	4.8
	その他		30	60.0	26.7	33.3	23.3	16.7	6.7	10.0
居住地	千葉県	東京湾岸	100	69.0	13.0	56.0	23.0	8.0	5.0	3.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	56.0	3.0	53.0	32.0	12.0	10.0	2.0
		成田空港周辺・印旛	100	61.0	10.0	51.0	27.0	12.0	5.0	7.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	67.0	12.0	55.0	24.0	9.0	4.0	5.0
		銚子・九十九里・南房総	100	37.0	5.0	32.0	37.0	26.0	14.0	12.0
	東京都	23区	100	69.0	25.0	44.0	19.0	12.0	7.0	5.0
		23区以外	100	72.0	10.0	62.0	19.0	9.0	6.0	3.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	72.0	16.0	56.0	23.0	5.0	2.0	3.0
		横浜市・川崎市以外	100	67.0	10.0	57.0	20.0	13.0	9.0	4.0
	埼玉県		100	63.0	9.0	54.0	30.0	7.0	6.0	1.0
勤務地・就学地	千葉県		281	56.9	8.9	48.0	28.5	14.5	8.5	6.0
	東京都		265	70.5	14.7	55.8	20.8	8.7	5.7	3.0
	神奈川県		134	69.4	14.2	55.2	23.9	6.7	5.2	1.5
	埼玉県		64	56.2	10.9	45.3	37.5	6.3	4.7	1.6
	その他		11	63.6	9.1	54.5	27.3	9.1	0.0	9.1

②新しい居住地を選ぶ際に重視すること

【問 2】現在の住居から移転すると仮定した場合、新しい居住地を選ぶ際に特に重視することは何ですか。あてはまるものをお選び下さい。（MA3 つまで）

新しい居住地を選ぶ際に重視することは、「都心との距離、交通アクセス性」が 44.7%で最も多く、次いで、「治安のよさ（38.9%）」、「商業施設の立地など日常の買い物環境（37.4%）」の順となっている。

図表48 新しい居住地を選ぶ際に重視すること（MA3 つまで）



属性別には、「都心との距離、交通アクセス性」が比較的高いのは、性別では「男性（46.8%）」、年齢別では「15～19 歳（62.7%）」、家族構成別では「その他（50.0%）」、居住地別では「23 区（62.0%）」、勤務地別では「東京都（59.6%）」となっている。

「治安のよさ」が比較的高いのは、性別では「女性（40.8%）」、年齢別では「15～19 歳（45.8%）」、家族構成別では「三世代同居（夫婦とその親、子）（42.9%）」、居住地別では「東京湾岸（46.0%）」、勤務地別では「その他（45.5%）」となっている。

「商業施設の立地など日常の買い物環境」が比較的高いのは、性別では「女性（42.6%）」、年齢別では「60 歳以上（50.9%）」、家族構成別では「夫婦のみ（48.8%）」、居住地別では「23 区以外（43.0%）」、勤務地別では「その他（36.4%）」となっている。

図表49 新しい居住地を選ぶ際に重視すること（MA3 つまで・属性別）

（単位：%）

			回答数（件）	都心との距離、交通アクセス性	治安のよさ	商業施設の立地など日常の買い物環境	職場との距離、雇用の場の有無	医療・福祉・介護施設等の充実度	土地の価格	災害への対応力	緑豊かな自然環境	子育て環境	社会教育環境	地域住民のコミュニティや交流行事の有無	その他
全体			1,000	44.7	38.9	37.4	28.2	22.9	18.3	14.9	14.1	8.7	2.7	2.6	1.0
性別	男		524	46.8	37.2	32.6	31.3	17.6	18.9	14.1	16.8	6.5	2.9	2.7	0.8
	女		476	42.4	40.8	42.6	24.8	28.8	17.6	15.8	11.1	11.1	2.5	2.5	1.3
年代	15歳～19歳		59	62.7	45.8	16.9	18.6	6.8	39.0	23.7	16.9	5.1	1.7	0.0	3.4
	20歳～29歳		161	50.3	31.7	24.8	28.0	9.3	19.3	6.2	11.2	8.1	8.1	2.5	0.6
	30歳～39歳		181	39.2	35.9	32.0	38.1	10.5	17.1	12.7	14.4	21.0	3.3	6.1	0.6
	40歳～49歳		221	46.6	39.8	39.4	33.9	18.6	17.6	12.7	12.7	10.0	1.4	1.8	0.9
	50歳～59歳		217	45.2	39.6	44.7	30.0	28.6	13.4	18.9	15.2	3.7	0.9	0.9	0.5
	60歳以上		161	35.4	44.7	50.9	10.6	54.7	18.6	20.5	16.1	1.9	1.2	3.1	1.9
家族構成	ひとり暮らし		214	43.9	33.6	28.5	29.9	15.0	14.0	10.3	13.6	2.8	6.1	3.3	0.9
	夫婦のみ		209	39.2	37.8	48.8	28.2	34.9	15.3	18.2	16.7	6.2	1.4	2.4	0.5
	親子		484	48.6	41.7	37.8	27.5	19.8	21.7	15.5	13.6	11.4	1.4	1.9	1.2
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	33.3	42.9	31.7	27.0	27.0	19.0	15.9	12.7	20.6	1.6	6.3	0.0
	その他		30	50.0	30.0	26.7	30.0	36.7	13.3	13.3	10.0	0.0	10.0	3.3	3.3
居住地	千葉県	東京湾岸	100	43.0	46.0	42.0	27.0	26.0	16.0	11.0	10.0	9.0	5.0	3.0	0.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	32.0	44.0	33.0	31.0	18.0	14.0	18.0	17.0	8.0	4.0	4.0	1.0
		成田空港周辺・印旛	100	37.0	39.0	41.0	28.0	32.0	26.0	14.0	18.0	10.0	0.0	3.0	2.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	51.0	40.0	37.0	34.0	20.0	17.0	12.0	14.0	11.0	3.0	2.0	1.0
		銚子・九十九里・南房総	100	26.0	40.0	42.0	24.0	37.0	20.0	15.0	16.0	11.0	2.0	4.0	1.0
	東京都	23区	100	62.0	31.0	31.0	28.0	19.0	15.0	16.0	8.0	4.0	5.0	3.0	1.0
		23区以外	100	46.0	37.0	43.0	23.0	22.0	25.0	14.0	22.0	8.0	2.0	4.0	0.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	59.0	39.0	37.0	31.0	19.0	16.0	12.0	16.0	5.0	1.0	0.0	1.0
		横浜市・川崎市以外	100	44.0	38.0	36.0	25.0	16.0	18.0	20.0	14.0	10.0	4.0	3.0	1.0
	埼玉県		100	47.0	35.0	32.0	31.0	20.0	16.0	17.0	6.0	11.0	1.0	0.0	2.0
勤務地・就学地	千葉県		281	33.8	38.1	36.3	38.4	22.8	19.9	11.4	14.6	8.5	1.8	4.6	0.7
	東京都		265	59.6	39.6	31.7	32.8	12.1	20.4	13.2	15.5	10.2	3.0	1.1	0.4
	神奈川県		134	53.7	35.8	32.8	32.1	13.4	16.4	14.9	15.7	6.7	2.2	0.0	0.7
	埼玉県		64	45.3	31.3	25.0	35.9	15.6	20.3	15.6	9.4	6.3	1.6	0.0	1.6
	その他		11	27.3	45.5	36.4	9.1	36.4	9.1	9.1	27.3	27.3	9.1	0.0	9.1

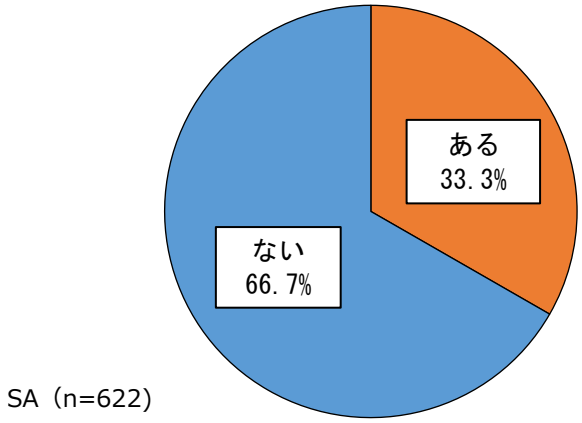
③転居の可能性

（50 歳未満の方が対象）

【問 3】あなたは、概ね 50 歳までに転居する可能性があると思いますか。（SA）

概ね 50 歳までに転居の可能性が「ある」は、33.3%であり、3 人のうちに 1 人が転居の可能性がある。

図表50　転居の可能性（SA）



SA（n=622）

属性別には、「ある」が比較的高いのは、性別では「女性（34.8%）」、年齢別では「15～19 歳（54.2%）」、家族構成別では「ひとり暮らし（43.0%）」、居住地別では「横浜市、川崎市（42.4%）」、勤務地別では「東京都（40.6%）」となっている。

図表51　転居の可能性（SA・属性別）

（単位：%）

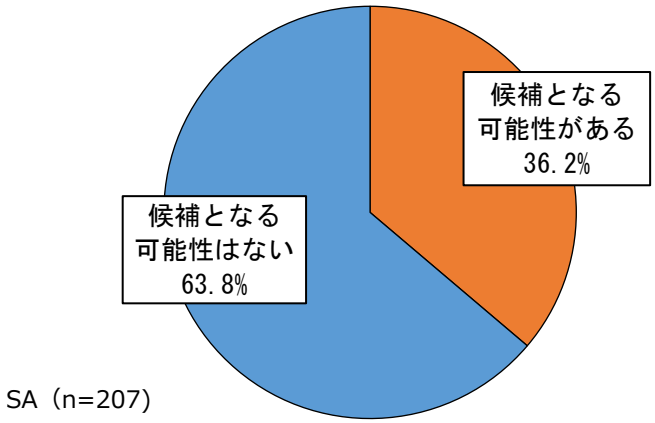
			回答数（件）	ある	ない
全体			622	33.3	66.7
性別	男		346	32.1	67.9
	女		276	34.8	65.2
年代	15歳～19歳		59	54.2	45.8
	20歳～29歳		161	47.2	52.8
	30歳～39歳		181	36.5	63.5
	40歳～49歳		221	14.9	85.1
家族構成	ひとり暮らし		149	43.0	57.0
	夫婦のみ		70	37.1	62.9
	親子		340	29.7	70.3
	三世代同居（夫婦とその親、子）		47	23.4	76.6
	その他		16	31.3	68.8
居住地	千葉県	東京湾岸	60	36.7	63.3
		アクアライン・圏央道沿線	60	28.3	71.7
		成田空港周辺・印旛	66	33.3	66.7
		常磐・つくばエクスプレス沿線	58	32.8	67.2
		銚子・九十九里・南房総	51	33.3	66.7
	東京都	23区	64	40.6	59.4
		23区以外	64	37.5	62.5
	神奈川県	横浜市、川崎市	66	42.4	57.6
		横浜市・川崎市以外	65	23.1	76.9
	埼玉県		68	25.0	75.0
勤務地・就学地	千葉県		183	33.9	66.1
	東京都		187	40.6	59.4
	神奈川県		96	34.4	65.6
	埼玉県		47	25.5	74.5
	その他		7	0.0	100.0

④袖ケ浦市が転居先の候補となる可能性

（問 3 で「1.（概ね 50 歳までに転居する可能性が）ある」と回答した方が対象）
【問 4】転居先として、袖ケ浦市が候補となる可能性はありますか。あてはまるものをお選び下さい。（SA）

袖ケ浦市が転居先の「候補地となる可能性がある」は、36.2％で、「候補地となる可能性がない（63.8％）」を 27.6 ポイント下回る。

図表52　袖ケ浦市が転居先の候補地となる可能性（SA）



属性別には、「候補地となる可能性がある」が比較的高いのは、性別では「男性（40.5％）」、年齢別では「15～19 歳（43.8％）」、家族構成別では「三世代同居（夫婦とその親、子）（90.9％）」、居住地別では「アクアライン・圏央道沿線（58.8％）」、勤務地別では「埼玉県（50.0％）」となっている。

図表53　袖ケ浦市が転居先の候補地となる可能性（SA・属性別）

（単位：%）

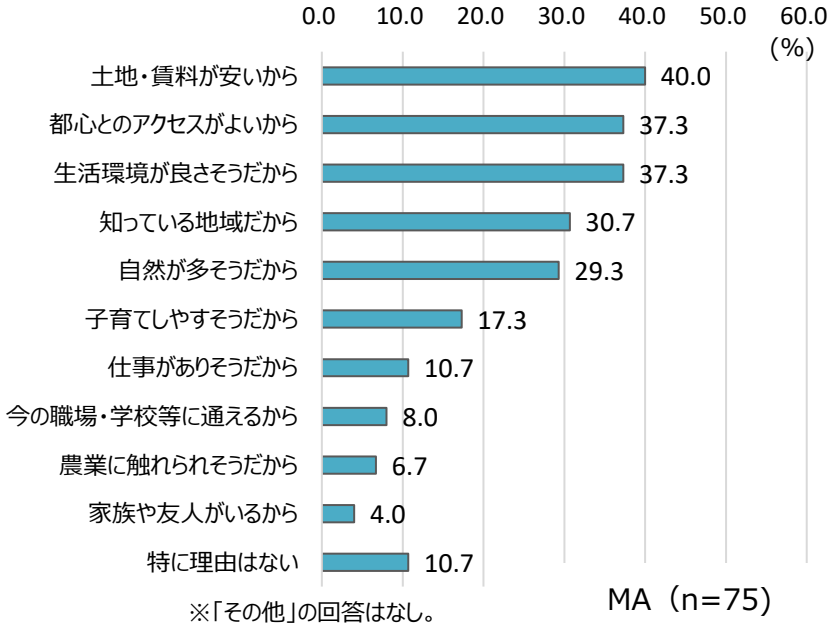
			回答数（件）	候補となる可能性がある	候補となる可能性はない
全体			207	36.2	63.8
性別	男		111	40.5	59.5
	女		96	31.3	68.8
年代	15歳～19歳		32	43.8	56.3
	20歳～29歳		76	34.2	65.8
	30歳～39歳		66	36.4	63.6
	40歳～49歳		33	33.3	66.7
家族構成	ひとり暮らし		64	34.4	65.6
	夫婦のみ		26	23.1	76.9
	親子		101	36.6	63.4
	三世代同居（夫婦とその親、子）		11	90.9	9.1
	その他		5	0.0	100.0
居住地	千葉県	東京湾岸	22	40.9	59.1
		アクアライン・圏央道沿線	17	58.8	41.2
		成田空港周辺・印旛	22	22.7	77.3
		常磐・つくばエクスプレス沿線	19	42.1	57.9
		銚子・九十九里・南房総	17	35.3	64.7
	東京都	23区	26	34.6	65.4
		23区以外	24	41.7	58.3
	神奈川県	横浜市、川崎市	28	21.4	78.6
		横浜市・川崎市以外	15	33.3	66.7
	埼玉県		17	41.2	58.8
勤務地・就学地	千葉県		62	40.3	59.7
	東京都		76	34.2	65.8
	神奈川県		33	33.3	66.7
	埼玉県		12	50.0	50.0
	その他		0	0.0	0.0

⑤袖ケ浦市が候補地となり得る理由

（問 4 で「1. 袖ケ浦市が転居先の「候補地となる可能性がある」と回答した方が対象）
【問 5】袖ケ浦市が候補となり得る理由について、あてはまるものをお選び下さい。（MA3 つまで）

袖ケ浦市が候補地となり得る理由は、「土地・賃料が安いから」が 40.0%と最も多く、次いで「都心とのアクセスがよいから（37.3%）」と「生活環境が良さそうだから（37.3%）」、「知っている地域だから（30.7%）」の順となっている。

図表54 袖ケ浦市が候補地となり得る理由（MA3 つまで）



※「その他」の回答はなし。

属性別には、「土地・賃料が安いから」が比較的高いのは、性別では「男性（44.4%）」、年齢別では「15～19 歳（42.9%）」、家族構成別では「親子（51.4%）」、居住地別では「成田空港周辺・印旛（80.0%）」、勤務地別では「埼玉県（50.0%）」となっている。

「都心とのアクセスがよいから」が比較的高いのは、性別では「男性（42.2%）」、年齢別では「40～49 歳（63.6%）」、家族構成別では「ひとり暮らし（50.0%）」、居住地別では「東京湾岸（66.7%）」、勤務地別では「千葉県（44.0%）」となっている。

「生活環境が良さそうだから」が比較的高いのは、性別では「女性（43.3%）」、年齢別では「40～49 歳（45.5%）」、家族構成別では「三世代同居（夫婦とその親、子）（60.0%）」、居住地別では「成田空港周辺・印旛（60.0%）」、勤務地別では「東京都（50.0%）」となっている。

図表55 袖ケ浦市が候補地となり得る理由（MA3 つまで・属性別）

（単位：%）

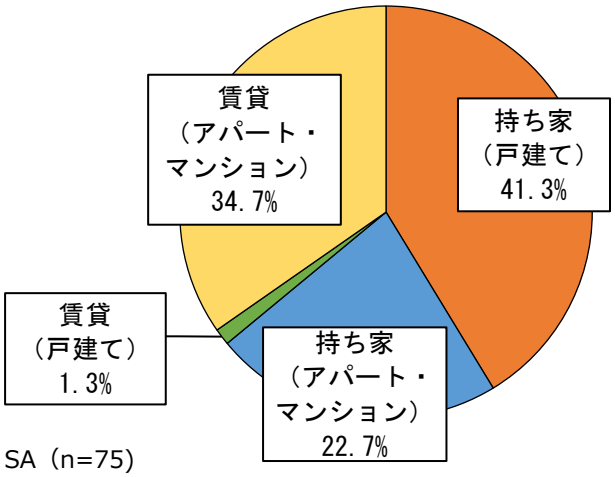
			回答数（件）	土地・賃料が安いから	都心とのアクセスがよいから	生活環境が良さそうだから	知っている地域だから	自然が多そうだから	子育てしやすそうだから	仕事がありそうだから	今の職場・学校等に通えるから	農業に触れられそうだから	家族や友人がいるから	その他	特に理由はない
全体			75	40.0	37.3	37.3	30.7	29.3	17.3	10.7	8.0	6.7	4.0	0.0	10.7
性別	男		45	44.4	42.2	33.3	35.6	28.9	17.8	8.9	8.9	8.9	6.7	0.0	6.7
	女		30	33.3	30.0	43.3	23.3	30.0	16.7	13.3	6.7	3.3	0.0	0.0	16.7
年代	15歳～19歳		14	42.9	35.7	35.7	50.0	50.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳		26	42.3	34.6	34.6	26.9	30.8	19.2	11.5	11.5	7.7	3.8	0.0	7.7
	30歳～39歳		24	41.7	29.2	37.5	20.8	25.0	25.0	12.5	8.3	4.2	8.3	0.0	16.7
	40歳～49歳		11	27.3	63.6	45.5	36.4	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2
家族構成	ひとり暮らし		22	40.9	50.0	31.8	31.8	27.3	18.2	13.6	9.1	9.1	4.5	0.0	9.1
	夫婦のみ		6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3
	親子		37	51.4	32.4	37.8	32.4	32.4	18.9	8.1	10.8	2.7	5.4	0.0	8.1
	三世代同居（夫婦とその親、子）		10	0.0	40.0	60.0	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地	千葉県	東京湾岸	9	55.6	66.7	22.2	66.7	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
		アクアライン・圏央道沿線	10	30.0	30.0	30.0	50.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0
		成田空港周辺・印旛	5	80.0	0.0	60.0	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	8	25.0	37.5	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
		銚子・九十九里・南房総	6	16.7	33.3	50.0	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
	東京都	23区	9	22.2	55.6	44.4	0.0	44.4	44.4	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0
		23区以外	10	60.0	30.0	50.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	6	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3
		横浜市・川崎市以外	5	60.0	40.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	埼玉県		7	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
勤務地・就学地	千葉県		25	40.0	44.0	32.0	60.0	20.0	16.0	16.0	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0
	東京都		26	46.2	34.6	50.0	15.4	50.0	19.2	7.7	3.8	7.7	7.7	0.0	7.7
	神奈川県		11	36.4	36.4	36.4	9.1	36.4	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1
	埼玉県		6	50.0	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥転居後に希望する住居形態

（問 4 で「1. 袖ケ浦市が転居先の「候補地となる可能性がある」と回答した方が対象）
【問 6】転居後に希望する住居の形態は何ですか。（SA）

転居後に希望する住居の形態は、「持ち家（戸建て）」が 41.3%で最も多く、次いで、「賃貸（アパート・マンション）（34.7%）」、「持ち家（アパート・マンション）（22.7%）」の順となっている。

図表56 転居後に希望する住居形態（SA）



SA（n=75）

※「二世帯住宅」、「その他」の回答はなし。

属性別には、「持ち家（戸建て）」が比較的高いのは、性別では「男性（46.7%）」、年齢別では「20～29 歳（50.0%）」、家族構成別では「親子（54.1%）」、居住地別では「成田空港周辺・印旛（80.0%）」、勤務地別では「埼玉県（66.7%）」となっている。
「賃貸（アパート・マンション）」が比較的高いのは、性別では「女性（43.3%）」、年齢別では「30～39 歳（45.8%）」、家族構成別では「ひとり暮らし（59.1%）」、居住地別では「横浜市、川崎市（83.3%）」、勤務地別では「神奈川県（45.5%）」となっている。

図表57　転居後に希望する住居形態（SA・属性別）

（単位：%）

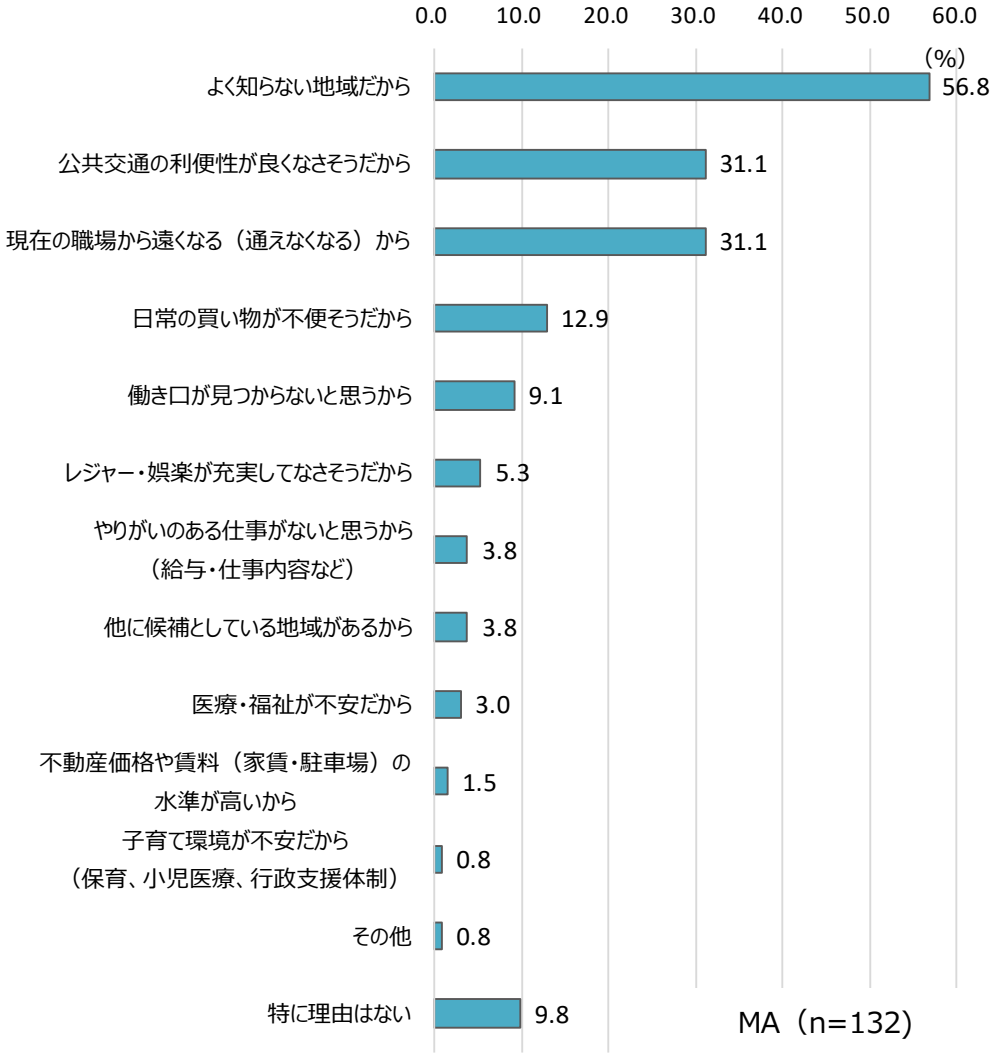
			回答数（件）	持ち家（戸建て）	持ち家（アパート・マンション）	賃貸（戸建て）	賃貸（アパート・マンション）	二世帯住宅	その他
全体			75	41.3	22.7	1.3	34.7	0.0	0.0
性別	男		45	46.7	24.4	0.0	28.9	0.0	0.0
	女		30	33.3	20.0	3.3	43.3	0.0	0.0
年代	15歳～19歳		14	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0
	20歳～29歳		26	50.0	23.1	0.0	26.9	0.0	0.0
	30歳～39歳		24	37.5	16.7	0.0	45.8	0.0	0.0
	40歳～49歳		11	27.3	27.3	9.1	36.4	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし		22	18.2	22.7	0.0	59.1	0.0	0.0
	夫婦のみ		6	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	親子		37	54.1	24.3	0.0	21.6	0.0	0.0
	三世代同居（夫婦とその親、子）		10	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地	千葉県	東京湾岸	9	11.1	22.2	0.0	66.7	0.0	0.0
		アクアライン・圏央道沿線	10	60.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0
		成田空港周辺・印旛	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	8	37.5	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0
		銚子・九十九里・南房総	6	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	東京都	23区	9	44.4	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0
		23区以外	10	50.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	6	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0
		横浜市・川崎市以外	5	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	埼玉県		7	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
勤務地・就学地	千葉県		25	44.0	24.0	0.0	32.0	0.0	0.0
	東京都		26	50.0	19.2	0.0	30.8	0.0	0.0
	神奈川県		11	18.2	36.4	0.0	45.5	0.0	0.0
	埼玉県		6	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦袖ケ浦市が転居先の候補地として考えられない理由

（問 4 で「2. 袖ケ浦市が転居先の「候補地となる可能性はない」と回答した方が対象）
【問 7】袖ケ浦市を候補として考えられない理由について、あてはまるものをお選び下さい。（MA3 つまで）

袖ケ浦市を転居先の「候補として考えられない」理由は、「よく知らない地域だから」が 56.8％で最も多く、次いで、「公共交通の利便性が良くなさそうだから（31.1％）」と「現在の職場から遠くなる（通えなくなる）から（31.1％）」、「日常の買い物が不便そうだから（12.9％）」の順となっている。

図表58 候補地として考えられない理由（MA3 つまで）



※「教育環境が不安だから（私学の充実・高等教育・教育サービス面など）」の回答はなし。

属性別には、「よく知らない地域だから」が比較的高いのは、性別では「女性（66.7％）」、年齢別では「15～19 歳（66.7％）」、家族構成別では「三世代同居（夫婦とその親、子）（100.0％）」、居住地別では「横浜市、川崎市以外（80.0％）」、勤務地別では「埼玉県（83.3％）」となっている。

図表59 候補地として考えられない理由（MA3 つまで・属性別）

（単位：%）

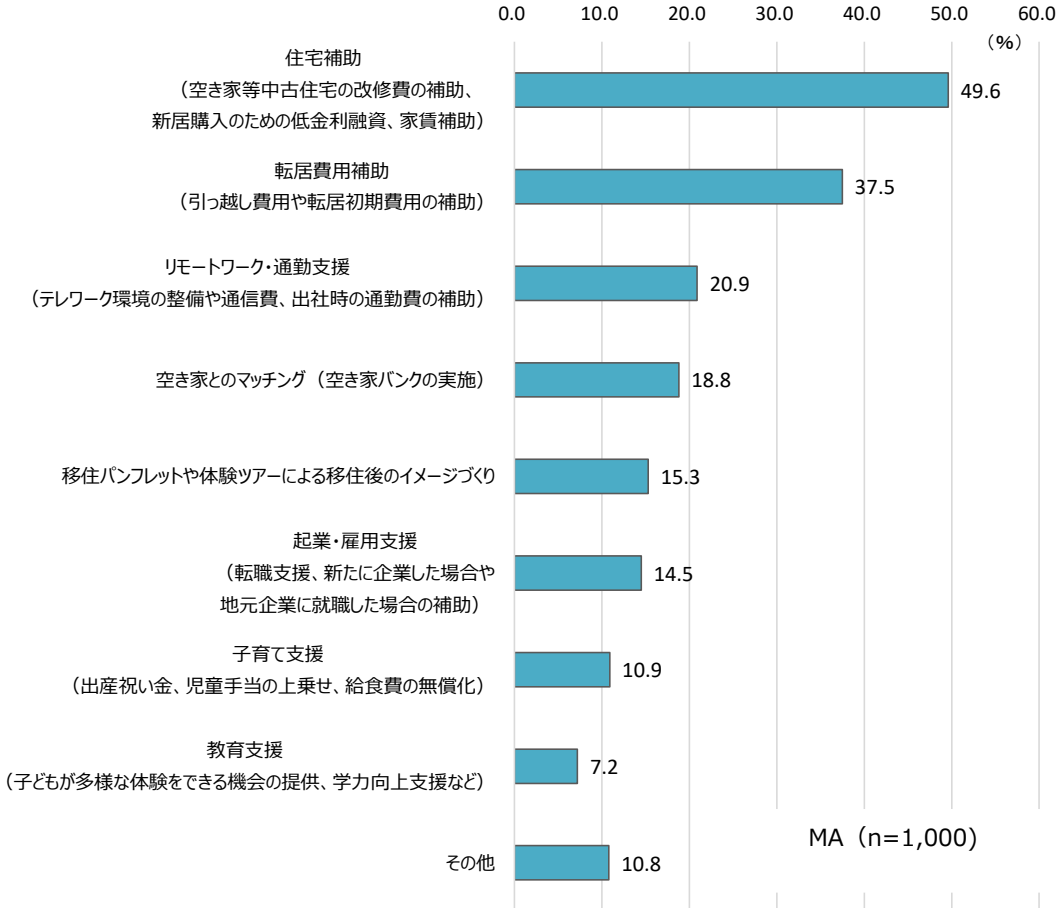
			回答数（件）	よく知らない地域だから	公共交通の利便性が良くなさそうだから	現在の職場から遠くなる（通えなくなる）から	日常の買い物が不便そうだから	働き口が見つからないと思うから	レジャー・娯楽が充実してなさそうだから	やりがいのある仕事がないと思うから（給与・仕事内容など）	他に候補としている地域があるから	医療・福祉が不安だから	不動産価格や賃料（家賃・駐車場）の水準が高いから	子育て環境が不安だから（保育、小児医療、行政支援体制）	教育環境が不安だから（私学の充実・高等教育・教育サービス面など）	その他	特に理由はない
全体			132	56.8	31.1	31.1	12.9	9.1	5.3	3.8	3.8	3.0	1.5	0.8	0.0	0.8	9.8
性別	男		66	47.0	36.4	31.8	16.7	16.7	4.5	3.0	6.1	4.5	1.5	0.0	0.0	0.0	12.1
	女		66	66.7	25.8	30.3	9.1	1.5	6.1	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	7.6
年代	15歳～19歳		18	66.7	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	20歳～29歳		50	62.0	20.0	26.0	8.0	6.0	8.0	4.0	6.0	0.0	4.0	2.0	0.0	2.0	12.0
	30歳～39歳		42	47.6	42.9	40.5	9.5	9.5	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9
	40歳～49歳		22	54.5	40.9	45.5	36.4	13.6	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし		42	40.5	35.7	42.9	14.3	7.1	4.8	2.4	4.8	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	11.9
	夫婦のみ		20	50.0	30.0	55.0	0.0	10.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	親子		64	68.8	28.1	14.1	17.2	10.9	7.8	3.1	3.1	4.7	3.1	0.0	0.0	0.0	10.9
	三世代同居（夫婦とその親、子）		1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他		5	60.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
居住地	千葉県	東京湾岸	13	53.8	61.5	38.5	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		アクアライン・圏央道沿線	7	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
		成田空港周辺・印旛	17	70.6	23.5	11.8	23.5	0.0	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6
		常磐・つくばエクスプレス沿線	11	54.5	36.4	72.7	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
		銚子・九十九里・南房総	11	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3
	東京都	23区	17	58.8	47.1	29.4	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
		23区以外	14	50.0	14.3	35.7	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	神奈川県	横浜市、川崎市	22	63.6	31.8	31.8	13.6	13.6	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
		横浜市・川崎市以外	10	80.0	10.0	30.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埼玉県		10	70.0	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
勤務地・就学地	千葉県		37	51.4	29.7	18.9	16.2	5.4	10.8	8.1	10.8	8.1	2.7	0.0	0.0	0.0	10.8
	東京都		50	60.0	46.0	52.0	14.0	10.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
	神奈川県		22	63.6	13.6	22.7	4.5	18.2	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5
	埼玉県		6	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑧袖ケ浦市に期待する移住（転居）の支援策

【問 8】どのような支援があれば、袖ケ浦市への移住（転居）の決め手になりますか。（MA3 つまで）

袖ケ浦市を移住（転居）先とするために期待される支援策は、「住宅補助（空き家等中古住宅の改修費の補助、新居購入のための低金利融資、家賃補助）」が 49.6%で最も多く、次いで、「転居費用補助（引っ越し費用や転居初期費用の補助）（37.5%）」、「リモートワーク・通勤支援（テレワーク環境の整備や通信費、出社時の通勤費の補助）（20.9%）」の順となっている。

図表60 期待する移住（転居）の支援策（MA3 つまで）



属性別には、「住宅補助」が比較的高いのは、性別では「女性（49.8%）」、年齢別では「50～59歳（62.2%）」、家族構成別では「夫婦のみ（59.8%）」、居住地別では「成田空港周辺、印旛（58.0%）」、勤務地別では「千葉県（51.6%）」となっている。

「転居費用補助」が比較的高いのは、性別では「女性（41.0%）」、年齢別では「60 歳以上（44.7%）」、家族構成別では「夫婦のみ（47.4%）」、居住地別では「成田空港周辺、印旛（47.0%）」、勤務地別では「その他（54.5%）」となっている。

図表61 期待する移住（転居）の支援策（MA3 つまで・属性別）

（単位：%）

			回答数（件）	住宅補助（空き家等中古住宅の改修費の補助、新居購入のための低金利融資、家賃補助）	転居費用補助（引っ越し費用や転居初期費用の補助）	リモートワーク・通勤支援（テレワーク環境の整備や通信費、出社時の通勤費の補助）	空き家とのマッチング（空き家バンクの実施）	移住パンフレットや体験ツアーによる移住後のイメージづくり	起業・雇用支援（転職支援、新たに企業した場合や地元企業に就職した場合の補助）	子育て支援（出産祝い金、児童手当の上乗せ、給食費の無償化）	教育支援（子どもが多様な体験をできる機会の提供、学力向上支援など）	その他
全体			1,000	49.6	37.5	20.9	18.8	15.3	14.5	10.9	7.2	10.8
性別	男		524	49.4	34.4	21.4	22.1	13.4	15.1	9.9	6.9	11.3
	女		476	49.8	41.0	20.4	15.1	17.4	13.9	12.0	7.6	10.3
年代	15歳～19歳		59	45.8	35.6	27.1	15.3	11.9	10.2	18.6	18.6	10.2
	20歳～29歳		161	39.8	32.9	22.4	15.5	18.6	11.2	11.8	6.2	9.3
	30歳～39歳		181	42.0	30.9	24.9	18.2	16.6	12.2	21.0	12.2	9.4
	40歳～49歳		221	48.0	35.7	23.1	17.2	11.8	17.6	13.6	8.6	11.3
	50歳～59歳		217	62.2	43.3	18.9	19.8	15.7	19.8	3.7	2.8	8.3
	60歳以上		161	54.7	44.7	12.4	24.8	16.1	10.6	1.9	2.5	16.8
家族構成	ひとり暮らし		214	38.8	31.8	17.3	19.6	21.0	13.6	4.7	3.7	11.7
	夫婦のみ		209	59.8	47.4	22.0	17.7	14.4	12.9	6.7	3.3	10.0
	親子		484	50.4	36.8	22.5	19.0	13.2	16.3	14.0	11.0	10.5
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	52.4	31.7	19.0	19.0	11.1	14.3	23.8	6.3	9.5
	その他		30	36.7	33.3	16.7	16.7	23.3	3.3	6.7	0.0	16.7
居住地	千葉県	東京湾岸	100	51.0	46.0	29.0	17.0	13.0	12.0	7.0	6.0	10.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	47.0	30.0	6.0	21.0	17.0	17.0	12.0	7.0	7.0
		成田空港周辺・印旛	100	58.0	47.0	19.0	22.0	16.0	16.0	11.0	9.0	7.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	47.0	34.0	29.0	21.0	13.0	8.0	8.0	4.0	10.0
		銚子・九十九里・南房総	100	48.0	45.0	12.0	21.0	20.0	16.0	10.0	5.0	11.0
	東京都	23区	100	46.0	31.0	25.0	22.0	16.0	13.0	7.0	8.0	15.0
		23区以外	100	49.0	36.0	21.0	17.0	17.0	19.0	12.0	8.0	14.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	51.0	30.0	23.0	18.0	13.0	18.0	14.0	7.0	11.0
		横浜市・川崎市以外	100	49.0	39.0	23.0	10.0	15.0	17.0	15.0	10.0	11.0
	埼玉県		100	50.0	37.0	22.0	19.0	13.0	9.0	13.0	8.0	12.0
勤務地・就学地	千葉県		281	51.6	38.8	12.8	19.2	16.0	19.9	11.7	7.1	6.4
	東京都		265	50.9	32.8	38.1	18.9	11.3	13.2	10.2	9.8	10.6
	神奈川県		134	48.5	35.1	20.9	15.7	8.2	20.1	14.9	7.5	11.2
	埼玉県		64	45.3	29.7	21.9	20.3	9.4	10.9	14.1	4.7	12.5
	その他		11	45.5	54.5	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	0.0	9.1

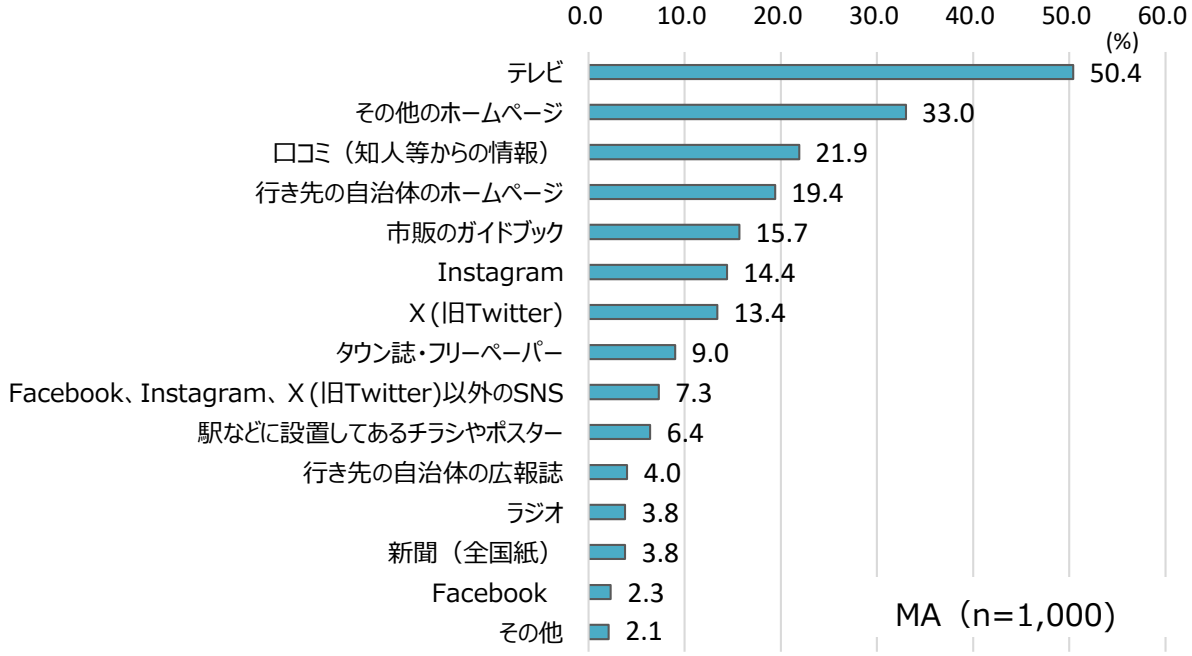
（３） 観光に関する認知度・来訪経験

①観光・レジャーに出かける際の情報源

【問 9】観光・レジャーに出かける場合、どのような情報をもとに行き先を決めますか。（MA3 つまで）

観光・レジャーに出かける際の情報源は、「テレビ」が 50.4％で最も多く、次いで、「その他（行先の自治体のホームページ以外）のホームページ（33.0％）」、「口コミ（知人等からの情報）（21.9％」の順となっている。

図表62 観光・レジャーに出かける際の情報源（MA3 つまで）



属性別には、「テレビ」が比較的高いのは、性別では「男性（51.9％）」、年齢別では「40～49 歳（56.1％）」、家族構成別では「夫婦のみ（56.0％）」、居住地別では「常磐・つくばエクスプレス沿線（57.0％）」、勤務地別では「千葉県（53.7％）」となっている。

「その他のホームページ」が比較的高いのは、性別では「男性（36.1％）」、年齢別では「50 歳～59 歳（41.0％）」、家族構成別では「夫婦のみ（34.9％）」、居住地別では「東京湾岸（42.0％）」、勤務地別では「東京都（34.7％）」となっている。

図表63　観光・レジャーに出かける際の情報源（MA3 つまで・属性別）

（単位：%）

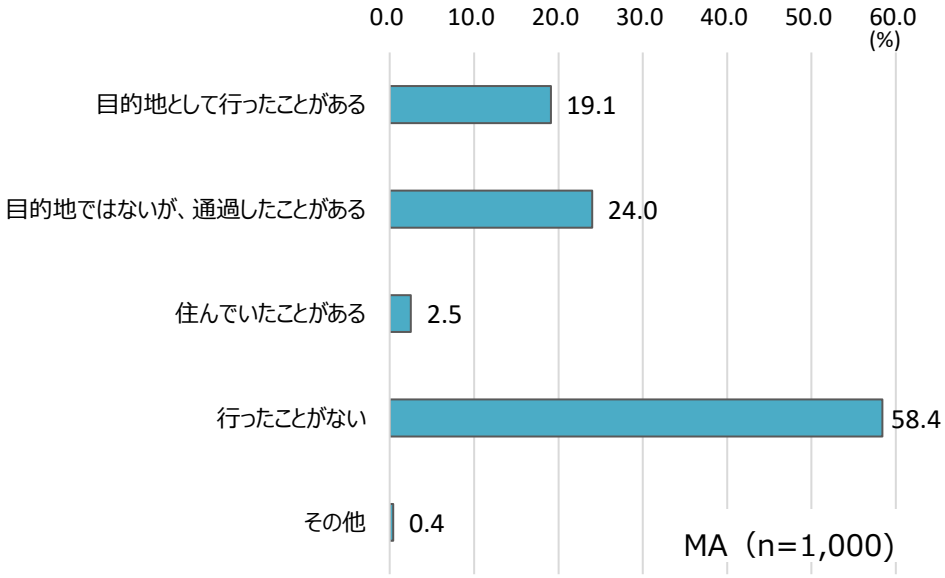
			回答数（件）	テレビ	その他のホームページ	口コミ（知人等からの情報）	行き先の自治体のホームページ	市販のガイドブック	Instagram	X（旧Twitter）	タウン誌・フリーペーパー	Facebook、Instagram、X（旧Twitter）以外のSNS	駅などに設置してあるチラシやポスター	行き先の自治体の広報誌	ラジオ	新聞（全国紙）	Facebook	その他
全体			1,000	50.4	33.0	21.9	19.4	15.7	14.4	13.4	9.0	7.3	6.4	4.0	3.8	3.8	2.3	2.1
性別	男		524	51.9	36.1	18.9	20.8	14.5	9.0	13.2	9.0	6.9	5.9	3.6	5.5	4.6	3.2	2.7
	女		476	48.7	29.6	25.2	17.9	17.0	20.4	13.7	9.0	7.8	6.9	4.4	1.9	2.9	1.3	1.5
年代	15歳～19歳		59	49.2	13.6	16.9	22.0	10.2	30.5	22.0	11.9	16.9	6.8	5.1	3.4	1.7	3.4	6.8
	20歳～29歳		161	34.8	20.5	26.7	13.0	7.5	28.6	31.1	4.3	12.4	5.0	3.1	1.9	0.6	2.5	1.2
	30歳～39歳		181	49.7	35.4	18.8	17.7	14.9	22.1	16.0	4.4	5.0	6.1	5.0	5.5	2.2	1.7	1.1
	40歳～49歳		221	56.1	35.7	21.7	19.0	14.9	8.6	10.0	10.0	7.2	5.9	4.1	4.5	4.5	1.8	3.2
	50歳～59歳		217	54.4	41.0	24.4	22.6	18.4	5.1	6.5	11.5	4.1	5.1	3.2	3.7	3.7	2.3	0.9
	60歳以上		161	54.0	35.4	19.3	23.0	24.2	6.2	3.7	13.0	5.6	10.6	4.3	3.1	8.7	3.1	2.5
家族構成	ひとり暮らし		214	40.2	29.4	23.4	17.8	11.2	13.6	17.8	10.7	4.7	5.6	2.8	5.1	1.4	2.8	3.3
	夫婦のみ		209	56.0	34.9	22.0	15.3	19.1	12.9	8.6	10.0	8.6	7.7	4.3	2.9	5.3	2.4	1.0
	親子		484	54.3	34.7	20.9	20.9	16.1	14.9	13.6	6.8	7.4	6.0	3.9	3.9	3.9	2.1	2.1
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	44.4	28.6	19.0	23.8	17.5	17.5	12.7	15.9	9.5	6.3	9.5	1.6	6.3	3.2	1.6
	その他		30	33.3	26.7	33.3	26.7	13.3	16.7	13.3	10.0	10.0	10.0	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3
居住地	千葉県	東京湾岸	100	49.0	42.0	20.0	24.0	14.0	13.0	11.0	9.0	6.0	9.0	3.0	6.0	3.0	1.0	0.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	55.0	26.0	28.0	20.0	14.0	9.0	5.0	17.0	8.0	8.0	5.0	8.0	3.0	2.0	3.0
		成田空港周辺・印旛	100	52.0	39.0	18.0	28.0	19.0	17.0	13.0	12.0	7.0	7.0	2.0	2.0	2.0	1.0	0.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	57.0	33.0	27.0	15.0	14.0	11.0	14.0	6.0	4.0	7.0	2.0	4.0	5.0	1.0	3.0
		銚子・九十九里・南房総	100	47.0	33.0	22.0	15.0	12.0	14.0	11.0	11.0	7.0	3.0	5.0	3.0	4.0	3.0	1.0
	東京都	23区	100	42.0	27.0	22.0	21.0	15.0	21.0	15.0	9.0	8.0	4.0	8.0	2.0	4.0	3.0	2.0
		23区以外	100	41.0	41.0	21.0	21.0	26.0	20.0	15.0	8.0	10.0	4.0	3.0	1.0	3.0	2.0	1.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	52.0	31.0	26.0	21.0	15.0	13.0	13.0	4.0	6.0	7.0	2.0	1.0	5.0	2.0	4.0
		横浜市・川崎市以外	100	53.0	34.0	15.0	17.0	15.0	13.0	15.0	8.0	12.0	7.0	3.0	6.0	3.0	4.0	4.0
	埼玉県		100	56.0	24.0	20.0	12.0	13.0	13.0	22.0	6.0	5.0	8.0	7.0	5.0	6.0	4.0	3.0
勤務地・就学地	千葉県		281	53.7	31.3	21.0	20.6	12.5	14.2	12.8	13.5	6.4	6.8	4.3	4.3	2.8	3.2	1.8
	東京都		265	50.9	34.7	21.9	18.1	16.6	20.8	17.4	6.0	8.3	4.9	3.4	2.6	4.5	2.6	3.0
	神奈川県		134	50.7	32.8	20.9	20.1	15.7	11.9	13.4	6.7	8.2	6.0	3.7	4.5	3.0	2.2	2.2
	埼玉県		64	50.0	25.0	10.9	14.1	15.6	9.4	21.9	9.4	7.8	10.9	6.3	4.7	7.8	1.6	3.1
	その他		11	36.4	27.3	54.5	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0

②袖ケ浦市への来訪経験

【問 10】あなたは、袖ケ浦市に来訪した経験がありますか。あてはまるものをお選びください。（MA）

袖ケ浦市への来訪経験は、「行ったことがない」が 58.4%と最も多く、次いで、「目的地ではないが、通過したことがある（24.0%）」、「目的地として行ったことがある（19.1%）」の順となっている。

図表64 袖ケ浦市への来訪経験（MA）



属性別には、「目的地として行ったことがある」が比較的高いのは、性別では「男性（22.5%）」、年齢別では「40～49 歳（22.6%）」、家族構成別では「三世代同居（夫婦とその親、子）（28.6%）」、居住地別では「アクアライン・圏央道沿線（56.0%）」、勤務地別では「その他（36.4%）」となっている。

図表65　袖ケ浦市への来訪経験（MA・属性別）

（単位：%）

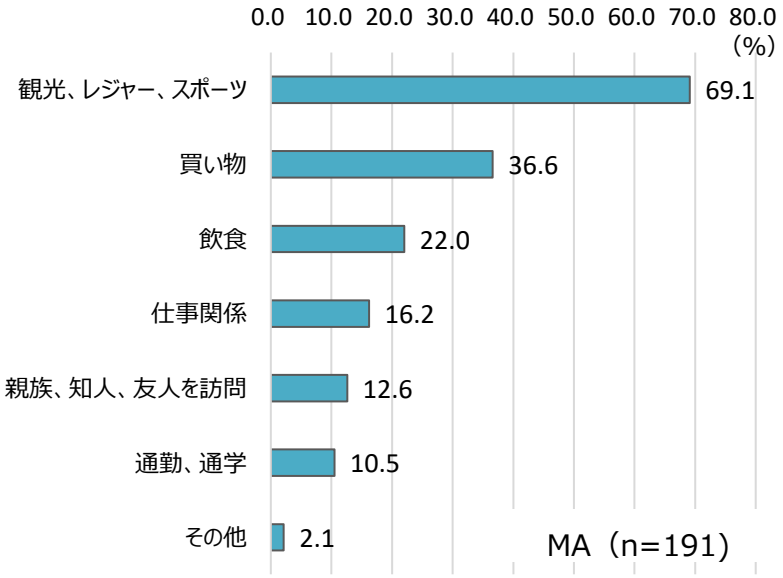
			回答数（件）	目的地として行ったことがある	目的地ではないが、通過したことがある	住んでいたことがある	行ったことがない	その他
全体			1,000	19.1	24.0	2.5	58.4	0.4
性別	男		524	22.5	25.0	2.5	55.2	0.6
	女		476	15.3	22.9	2.5	62.0	0.2
年代	15歳～19歳		59	15.3	25.4	6.8	59.3	1.7
	20歳～29歳		161	16.1	11.8	5.0	70.8	0.6
	30歳～39歳		181	17.7	20.4	3.9	62.4	0.0
	40歳～49歳		221	22.6	22.6	0.9	55.7	0.5
	50歳～59歳		217	20.7	30.4	0.9	53.5	0.5
	60歳以上		161	18.0	32.9	1.2	51.6	0.0
家族構成	ひとり暮らし		214	18.7	18.2	5.6	60.7	0.5
	夫婦のみ		209	19.1	29.7	1.0	54.1	0.0
	親子		484	18.2	24.4	1.7	60.1	0.6
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	28.6	27.0	4.8	46.0	0.0
	その他		30	16.7	13.3	0.0	70.0	0.0
居住地	千葉県	東京湾岸	100	21.0	37.0	0.0	48.0	2.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	56.0	31.0	8.0	23.0	0.0
		成田空港周辺・印旛	100	15.0	40.0	0.0	48.0	0.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	18.0	27.0	1.0	57.0	0.0
		銚子・九十九里・南房総	100	27.0	27.0	2.0	46.0	1.0
	東京都	23区	100	13.0	15.0	6.0	70.0	0.0
		23区以外	100	10.0	17.0	2.0	71.0	0.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	10.0	17.0	3.0	69.0	1.0
		横浜市・川崎市以外	100	9.0	15.0	2.0	77.0	0.0
	埼玉県		100	12.0	14.0	1.0	75.0	0.0
勤務地・就学地	千葉県		281	31.3	31.0	3.9	40.9	1.1
	東京都		265	15.1	24.5	1.9	61.9	0.0
	神奈川県		134	11.9	14.9	3.0	70.9	0.7
	埼玉県		64	10.9	12.5	1.6	76.6	0.0
	その他		11	36.4	27.3	0.0	45.5	0.0

③袖ケ浦市への来訪目的

（問 10 で「1. 目的地として行ったことがある」を選択した人が対象）
【問 11】袖ケ浦市を来訪した主な目的は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。
（MA）

袖ケ浦市への来訪目的は、「観光、レジャー、スポーツ」が 69.1％で最も多く、次いで、「買い物（36.6％）」、「飲食（22. 0％）」の順となっている。

図表66 袖ケ浦市への来訪目的（MA）



属性別には、「観光、レジャー、スポーツ」が比較的高いのは、性別では「女性（72.6％）」、年齢別では「30～39 歳（78.1％）」、家族構成別では「三世代同居（夫婦とその親、子）（83.3％）」、居住地別では「横浜市・川崎市以外（88.9％）」、勤務地別では「その他（100.0％）」となっている。
「買い物」が比較的高いのは、性別では「女性（37.0％）」、年齢別では「15～19 歳（66.7％）」、家族構成別では「その他（60.0％）」、居住地別では「アクアライン・圏央道沿線（50.0％）」、勤務地別では「千葉県（47.7％）」となっている。

図表67 袖ケ浦市への来訪目的（MA・属性別）

（単位：%）

			回答数（件）	観光、レジャー、スポーツ	買い物	飲食	仕事関係	親族、知人、友人を訪問	通勤、通学	その他
全体			191	69.1	36.6	22.0	16.2	12.6	10.5	2.1
性別	男		118	66.9	36.4	20.3	22.9	10.2	13.6	1.7
	女		73	72.6	37.0	24.7	5.5	16.4	5.5	2.7
年代	15歳～19歳		9	55.6	66.7	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0
	20歳～29歳		26	73.1	46.2	30.8	3.8	15.4	23.1	3.8
	30歳～39歳		32	78.1	40.6	28.1	12.5	6.3	21.9	0.0
	40歳～49歳		50	70.0	36.0	20.0	14.0	10.0	2.0	2.0
	50歳～59歳		45	68.9	31.1	20.0	15.6	15.6	11.1	0.0
	60歳以上		29	58.6	24.1	10.3	37.9	17.2	3.4	6.9
家族構成	ひとり暮らし		40	55.0	27.5	20.0	22.5	15.0	10.0	0.0
	夫婦のみ		40	65.0	25.0	17.5	20.0	15.0	15.0	2.5
	親子		88	73.9	42.0	22.7	14.8	12.5	11.4	2.3
	三世代同居（夫婦とその親、子）		18	83.3	50.0	22.2	5.6	0.0	0.0	5.6
	その他		5	80.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
居住地	千葉県	東京湾岸	21	66.7	42.9	4.8	14.3	9.5	9.5	0.0
		アクアライン・圏央道沿線	56	58.9	50.0	41.1	19.6	23.2	16.1	3.6
		成田空港周辺・印旛	15	80.0	20.0	13.3	0.0	6.7	13.3	0.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	18	83.3	38.9	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6
		銚子・九十九里・南房総	27	55.6	37.0	18.5	22.2	11.1	7.4	3.7
	東京都	23区	13	76.9	23.1	7.7	23.1	15.4	15.4	0.0
		23区以外	10	80.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	10	70.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		横浜市・川崎市以外	9	88.9	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0
	埼玉県		12	83.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0
勤務地・就学地	千葉県		88	54.5	47.7	27.3	21.6	15.9	14.8	2.3
	東京都		40	85.0	32.5	15.0	12.5	5.0	7.5	0.0
	神奈川県		16	81.3	37.5	25.0	18.8	6.3	6.3	0.0
	埼玉県		7	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	その他		4	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

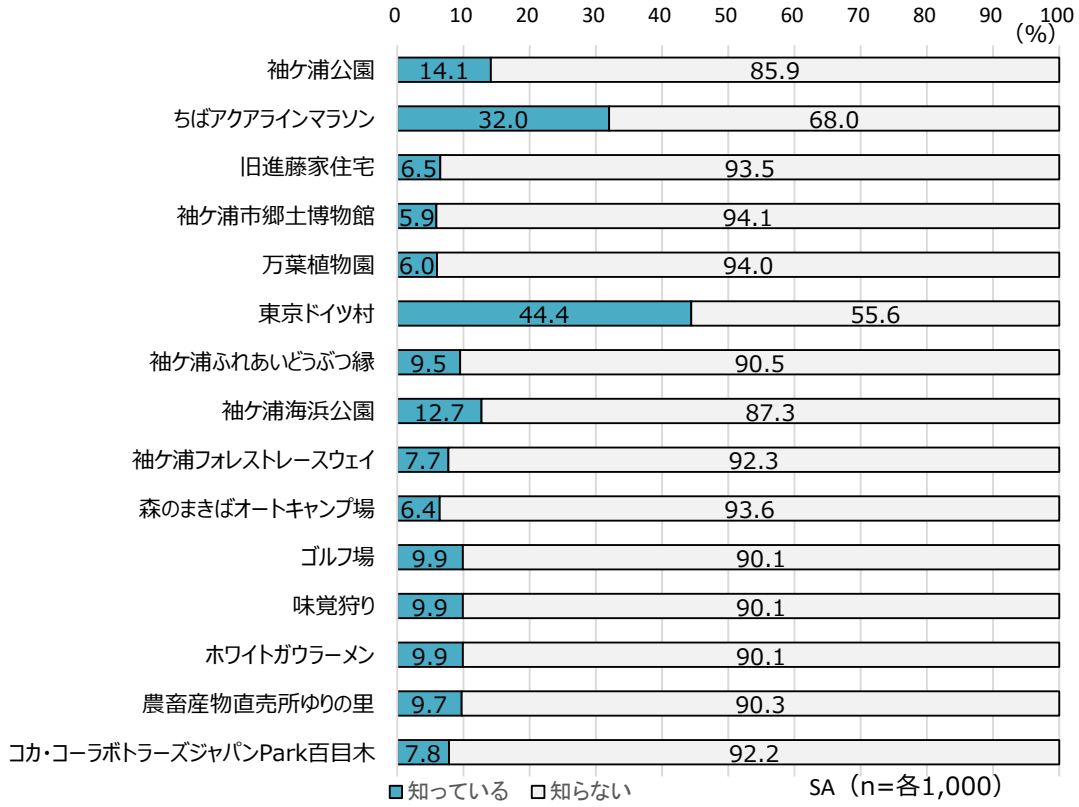
④袖ケ浦市の観光資源の認知度・興味

【問 12】袖ケ浦市には以下のような観光資源があります。それぞれについて、知っているか、興味を引かれるかをそれぞれ選んでください。【認知・興味それぞれについてSA】

【認知度】

調査で挙げた全 15 の観光資源のうち、認知度(「知っている」の割合)が最も高いものは、「東京ドイツ村」の 44.4%となっており、次いで、「ちばアクアラインマラソン(32.0%)」、「袖ケ浦公園(14.1%)」の順となっている。一方、認知度が最も低いものは、「袖ケ浦市郷土博物館(5.9%)」、「万葉植物園(6.0%)」の順となっている。

図表68 袖ケ浦市の観光資源の認知度(各 SA)



属性別には、「東京ドイツ村」の認知度が比較的高いのは、性別では「女性(46.2%)」、年齢別では「60 歳以上(54.7%)」、家族構成別では「三世代同居(夫婦とその親、子)(54.0%)」、居住地別では「アクアライン・圏央道沿線(73.0%)」、勤務地別では「千葉県(60.5%)」となっている。「ちばアクアラインマラソン」が比較的高いのは、性別では「男性(35.3%)」、年齢別では「60 歳以上(41.0%)」、家族構成別では「三世代同居(夫婦とその親、子)(83.3%)」、居住地別では「アクアライン・圏央道沿線(64.0%)」、勤務地別では「千葉県(52.0%)」となっている。

図表69 袖ケ浦市の観光資源の認知度（「知っている」・属性別①）

（単位：%）

			回答数（件）	袖ケ浦公園	ちばアクアラインマラソン	旧進藤家住宅	袖ケ浦市郷土博物館	万葉植物園	東京ドイツ村	袖ケ浦ふれあいどうぶつ縁	袖ケ浦海浜公園
全体			1,000	14.1	32.0	6.5	5.9	6.0	44.4	9.5	12.7
性別	男		524	16.4	35.3	9.0	8.8	8.6	42.7	10.5	14.3
	女		476	11.6	28.4	3.8	2.7	3.2	46.2	8.4	10.9
年代	15歳～19歳		59	13.6	33.9	6.8	11.9	15.3	42.4	11.9	13.6
	20歳～29歳		161	14.3	21.1	10.6	10.6	8.7	38.5	9.3	15.5
	30歳～39歳		181	15.5	28.7	8.8	5.0	7.2	42.5	13.3	10.5
	40歳～49歳		221	12.7	33.0	6.3	5.9	5.4	43.4	9.5	14.0
	50歳～59歳		217	14.3	34.6	4.1	2.3	3.2	44.2	7.8	12.4
	60歳以上		161	14.3	41.0	3.1	5.0	3.1	54.7	6.8	10.6
家族構成	ひとり暮らし		214	14.5	28.5	7.5	3.3	5.6	36.0	8.4	15.9
	夫婦のみ		209	14.4	35.9	6.2	7.2	5.3	51.2	9.6	12.4
	親子		484	13.4	30.6	6.4	6.0	6.2	44.8	9.3	11.8
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	17.5	42.9	6.3	7.9	11.1	54.0	12.7	11.1
	その他		30	13.3	30.0	3.3	10.0	0.0	30.0	13.3	10.0
居住地	千葉県	東京湾岸	100	14.0	39.0	8.0	7.0	7.0	47.0	10.0	11.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	47.0	64.0	18.0	20.0	11.0	73.0	24.0	40.0
		成田空港周辺・印旛	100	10.0	49.0	5.0	3.0	3.0	63.0	10.0	12.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	11.0	28.0	5.0	2.0	5.0	47.0	3.0	7.0
		銚子・九十九里・南房総	100	16.0	59.0	1.0	2.0	3.0	60.0	11.0	12.0
	東京都	23区	100	10.0	16.0	7.0	7.0	10.0	36.0	9.0	8.0
		23区以外	100	8.0	20.0	5.0	6.0	6.0	28.0	6.0	9.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	8.0	13.0	3.0	1.0	5.0	41.0	7.0	10.0
		横浜市・川崎市以外	100	7.0	14.0	7.0	5.0	5.0	20.0	8.0	8.0
	埼玉県		100	10.0	18.0	6.0	6.0	5.0	29.0	7.0	10.0
勤務地・就学地	千葉県		281	22.8	52.0	7.5	7.8	7.1	60.5	14.2	19.6
	東京都		265	12.1	24.5	8.3	6.8	9.4	40.4	10.2	12.5
	神奈川県		134	10.4	15.7	6.0	4.5	4.5	25.4	7.5	7.5
	埼玉県		64	12.5	17.2	4.7	4.7	4.7	20.3	4.7	7.8
	その他		11	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0	45.5	18.2	9.1

図表70 袖ケ浦市の観光資源の認知度（「知っている」・属性別②）

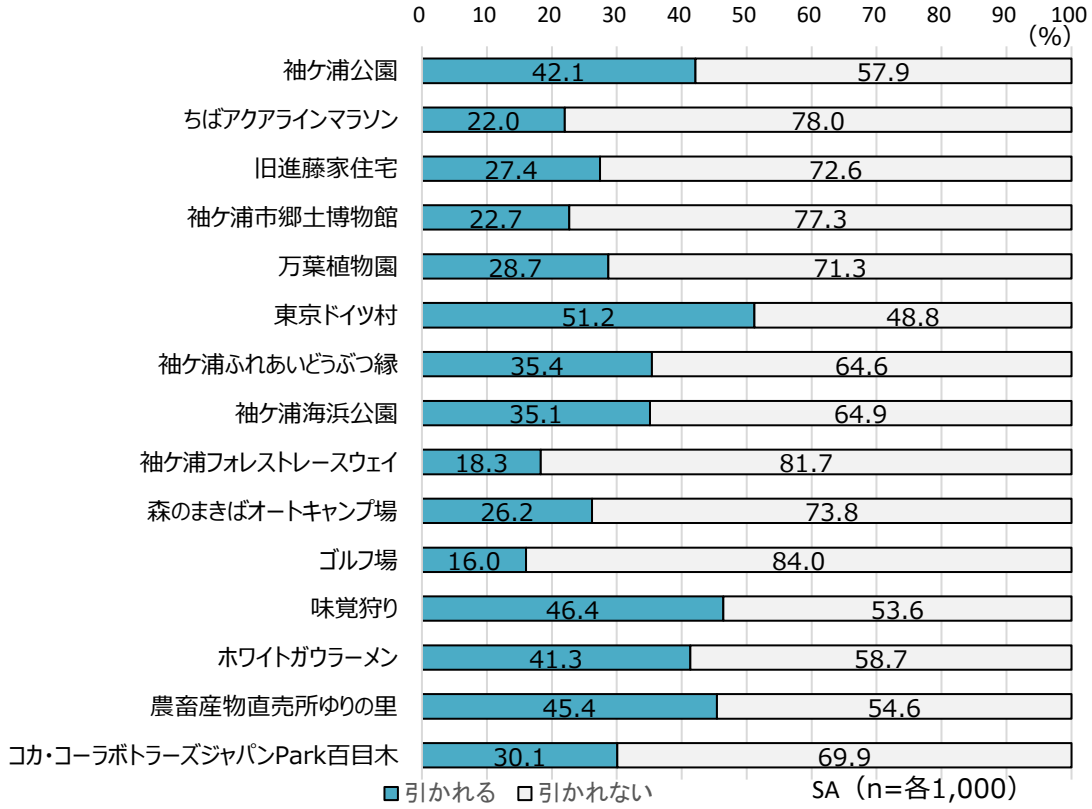
（単位：%）

			回答数（件）	袖ケ浦フォレストレースウェイ	森のまきばオートキャンプ場	ゴルフ場	味覚狩り	ホワイトガウラーメン	農畜産物直売所ゆりの里	コカ・コーラボトラーズジャパンPark百目木
全体			1,000	7.7	6.4	9.9	9.9	9.9	9.7	7.8
性別	男		524	10.5	9.2	13.2	10.9	11.5	11.6	9.7
	女		476	4.6	3.4	6.3	8.8	8.2	7.6	5.7
年代	15歳～19歳		59	8.5	15.3	11.9	10.2	6.8	10.2	11.9
	20歳～29歳		161	10.6	9.3	13.0	9.9	12.4	11.2	8.1
	30歳～39歳		181	8.8	7.7	9.9	9.9	12.7	8.3	10.5
	40歳～49歳		221	5.4	5.4	8.6	9.0	8.6	9.0	6.8
	50歳～59歳		217	7.8	4.1	7.8	9.7	6.9	9.2	6.5
	60歳以上		161	6.2	3.1	10.6	11.2	11.2	11.2	6.2
家族構成	ひとり暮らし		214	9.8	5.6	9.8	7.0	10.3	9.8	7.9
	夫婦のみ		209	6.7	4.3	11.0	9.6	10.0	9.1	4.8
	親子		484	7.6	7.2	9.5	11.2	8.9	8.9	8.5
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	6.3	9.5	9.5	9.5	14.3	19.0	12.7
	その他		30	3.3	6.7	10.0	13.3	13.3	6.7	6.7
居住地	千葉県	東京湾岸	100	9.0	11.0	12.0	11.0	9.0	9.0	7.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	15.0	16.0	25.0	30.0	34.0	37.0	30.0
		成田空港周辺・印旛	100	9.0	3.0	10.0	10.0	7.0	4.0	4.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	7.0	3.0	10.0	8.0	8.0	4.0	5.0
		銚子・九十九里・南房総	100	5.0	7.0	7.0	5.0	11.0	8.0	6.0
	東京都	23区	100	7.0	6.0	10.0	7.0	9.0	8.0	8.0
		23区以外	100	5.0	4.0	7.0	10.0	4.0	6.0	6.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	5.0	3.0	4.0	6.0	3.0	5.0	3.0
		横浜市・川崎市以外	100	8.0	5.0	6.0	5.0	4.0	7.0	4.0
	埼玉県		100	7.0	6.0	8.0	7.0	10.0	9.0	5.0
勤務地・就学地	千葉県		281	11.4	10.0	13.2	14.6	16.0	15.7	13.9
	東京都		265	9.1	7.2	10.2	11.7	9.1	7.9	7.5
	神奈川県		134	6.0	6.0	6.7	5.2	4.5	7.5	6.7
	埼玉県		64	6.3	4.7	9.4	6.3	10.9	10.9	3.1
	その他		11	9.1	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0

【興味を引かれるか】

調査で挙げた全 15 の観光資源のうち、「(興味を)引かれる」の割合が最も高いものは、「東京ドイツ村」の 51.2％となっており、次いで、「味覚狩り(46.4％)」、「農畜産物直売所ゆりの里(45.4％)」の順となっている。一方、「(興味を)引かれない」の割合が最も低いものは、「ゴルフ場」の 16.0％となっており、次いで、「袖ケ浦フォレスト・レースウェイ(18.3％)」、「ちばアクアラインマラソン(22.0％)」の順となっている。

図表71 袖ケ浦市の観光資源の興味（各 SA）



属性別には、「東京ドイツ村」の興味が比較的高いのは、性別では「女性(59.2％)」、年齢別では「60 歳以上(59.0％)」、家族構成別では「三世代同居(夫婦とその親、子)(61.9％)」、居住地別では「成田空港周辺・印旛地域(64.0％)」、勤務地別では「千葉県(57.7％)」となっている。「味覚狩り」が比較的高いのは、性別では「女性(53.8％)」、年齢別では「60 歳以上(53.4％)」、家族構成別では「三世代同居(夫婦とその親、子)(54.0％)」、居住地別では成田空港周辺・印旛地域(55.0％)」、勤務地別では「千葉県(50.2％)」となっている。

図表72　袖ケ浦市の観光資源の興味（「興味を引かれる」・属性別①）

（単位：%）

			回答数（件）	袖ケ浦公園	ちばアクアラインマラソン	旧進藤家住宅	袖ケ浦市郷土博物館	万葉植物園	東京ドイツ村	袖ケ浦ふれあいどうぶつ縁	袖ケ浦海浜公園
全体			1,000	42.1	22.0	27.4	22.7	28.7	51.2	35.4	35.1
性別	男		524	36.6	23.1	26.5	22.9	27.5	43.9	33.2	34.7
	女		476	48.1	20.8	28.4	22.5	30.0	59.2	37.8	35.5
年代	15歳～19歳		59	47.5	33.9	28.8	25.4	32.2	40.7	37.3	35.6
	20歳～29歳		161	38.5	18.6	24.2	24.2	21.7	52.2	36.6	28.0
	30歳～39歳		181	34.8	25.4	22.7	22.7	25.4	47.0	39.2	28.2
	40歳～49歳		221	39.8	23.5	29.4	20.4	30.3	48.4	38.0	33.9
	50歳～59歳		217	40.1	20.7	26.7	22.6	28.1	53.9	31.3	39.6
	60歳以上		161	57.8	16.8	33.5	23.6	36.6	59.0	31.1	45.3
家族構成	ひとり暮らし		214	29.9	19.2	24.3	18.2	25.2	40.2	26.6	30.4
	夫婦のみ		209	53.1	20.1	30.6	25.4	32.1	60.8	39.2	41.1
	親子		484	40.9	23.3	26.0	21.5	26.4	51.2	37.0	34.3
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	52.4	27.0	34.9	33.3	42.9	61.9	38.1	36.5
	その他		30	50.0	23.3	33.3	33.3	36.7	40.0	40.0	36.7
居住地	千葉県	東京湾岸	100	41.0	27.0	37.0	22.0	29.0	57.0	31.0	37.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	51.0	27.0	31.0	23.0	33.0	56.0	39.0	37.0
		成田空港周辺・印旛	100	46.0	23.0	27.0	33.0	38.0	64.0	48.0	39.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	42.0	24.0	25.0	20.0	25.0	54.0	31.0	33.0
		銚子・九十九里・南房総	100	39.0	20.0	23.0	23.0	27.0	52.0	36.0	33.0
	東京都	23区	100	40.0	20.0	28.0	23.0	34.0	44.0	34.0	32.0
		23区以外	100	46.0	24.0	30.0	18.0	24.0	52.0	36.0	34.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	41.0	15.0	23.0	20.0	27.0	47.0	32.0	31.0
		横浜市・川崎市以外	100	36.0	18.0	26.0	24.0	25.0	41.0	33.0	33.0
	埼玉県		100	39.0	22.0	24.0	21.0	25.0	45.0	34.0	42.0
勤務地・就学地	千葉県		281	45.6	26.7	29.5	24.9	29.5	57.7	39.9	35.9
	東京都		265	41.5	23.0	30.6	21.1	29.1	50.6	35.5	35.8
	神奈川県		134	37.3	17.9	20.9	21.6	23.1	40.3	29.9	30.6
	埼玉県		64	35.9	23.4	21.9	20.3	28.1	42.2	29.7	40.6
	その他		11	45.5	27.3	27.3	27.3	36.4	54.5	45.5	36.4

図表73 袖ケ浦市の観光資源の興味（「興味を引かれる」・属性別②）

（単位：%）

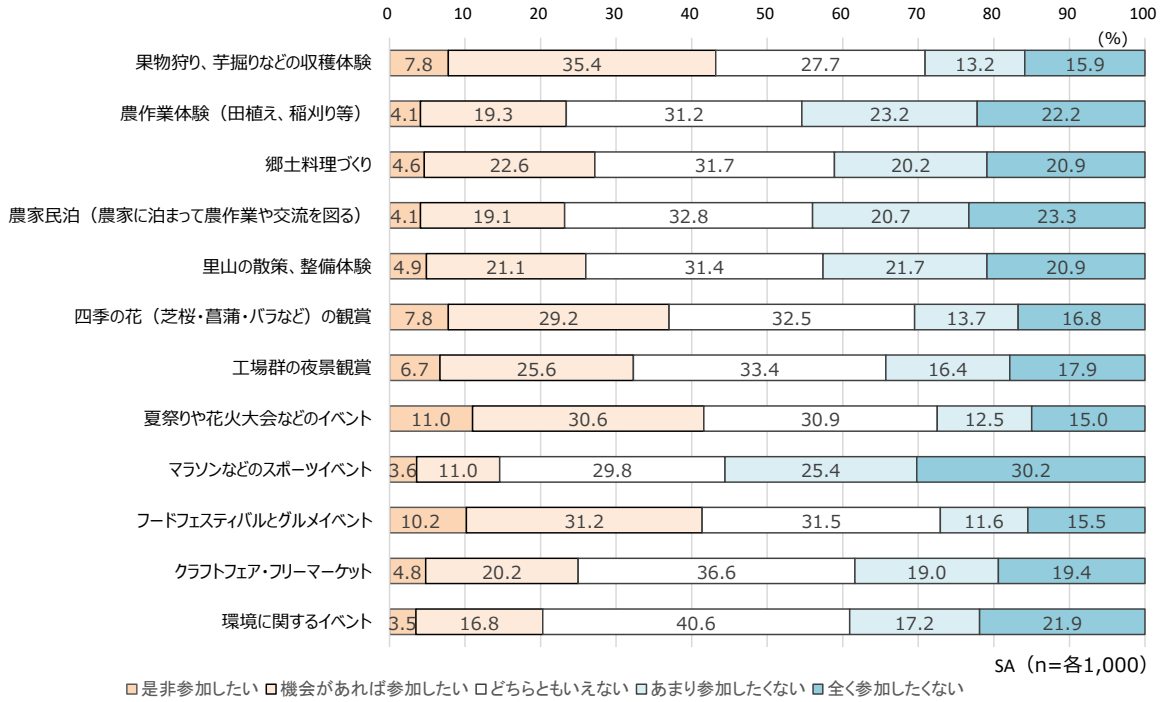
			回答数（件）	袖ケ浦フォレストレースウェイ	森のまきばオートキャンプ場	ゴルフ場	味覚狩り	ホワイトガウラーメン	農畜産物直売所ゆりの里	コカ・コーラボトラーズジャパンPark百目木
全体			1,000	18.3	26.2	16.0	46.4	41.3	45.4	30.1
性別	男		524	24.6	26.7	18.7	39.7	39.3	39.3	28.2
	女		476	11.3	25.6	13.0	53.8	43.5	52.1	32.1
年代	15歳～19歳		59	20.3	37.3	18.6	49.2	40.7	35.6	30.5
	20歳～29歳		161	18.6	27.3	19.3	41.6	44.1	35.4	29.8
	30歳～39歳		181	17.7	27.1	16.6	35.9	37.6	37.6	29.3
	40歳～49歳		221	19.5	27.1	16.3	51.1	40.7	46.6	33.9
	50歳～59歳		217	18.4	25.3	12.9	47.9	44.2	49.3	28.6
	60歳以上		161	16.1	19.9	14.9	53.4	39.8	60.9	28.0
家族構成	ひとり暮らし		214	22.4	21.0	15.9	33.2	36.9	32.7	21.0
	夫婦のみ		209	17.7	24.4	16.7	49.8	50.2	55.5	31.1
	親子		484	16.5	27.7	15.3	49.6	39.7	45.5	30.8
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	22.2	36.5	20.6	54.0	46.0	55.6	50.8
	その他		30	13.3	30.0	13.3	50.0	26.7	43.3	33.3
居住地	千葉県	東京湾岸	100	19.0	23.0	17.0	49.0	49.0	51.0	29.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	18.0	26.0	17.0	47.0	37.0	45.0	38.0
		成田空港周辺・印旛	100	21.0	30.0	19.0	55.0	50.0	58.0	39.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	19.0	28.0	19.0	51.0	50.0	51.0	30.0
		銚子・九十九里・南房総	100	17.0	25.0	12.0	39.0	37.0	44.0	29.0
	東京都	23区	100	17.0	25.0	18.0	44.0	34.0	34.0	23.0
		23区以外	100	17.0	24.0	13.0	49.0	39.0	45.0	28.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	16.0	24.0	7.0	43.0	32.0	41.0	23.0
		横浜市・川崎市以外	100	22.0	25.0	16.0	45.0	45.0	44.0	30.0
	埼玉県		100	17.0	32.0	22.0	42.0	40.0	41.0	32.0
勤務地・就学地	千葉県		281	21.0	31.3	17.1	50.2	43.4	49.1	33.8
	東京都		265	20.8	29.1	18.5	47.5	44.2	43.8	30.2
	神奈川県		134	17.9	26.1	10.4	41.0	35.8	32.8	23.9
	埼玉県		64	15.6	28.1	25.0	42.2	37.5	35.9	35.9
	その他		11	27.3	18.2	27.3	45.5	45.5	45.5	45.5

⑤袖ケ浦市でのイベント等の参加意向

【問 13】袖ケ浦市で以下のイベントが開催された場合、参加したいと思いますか。あてはまるものをそれぞれお選び下さい。【それぞれについてSA】

全 12 項目のうち、『参加したい(「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計)』の割合が最も高いものは、「果物狩り、芋掘りなどの収穫体験」の計 43.2%となっており、次いで、「夏祭りや花火大会などのイベント(計 41.6%)」、「フードフェスティバルとグルメイベント(計 41.4%)」の順となっている。一方、『参加したくない(「あまり参加したくない」と「全く参加したくない」の合計)』の割合が最も高いものは、「マラソンなどのスポーツイベント」の計 55.6%となっており、次いで、「農作業体験(田植え、稲刈り等)(計 45.4%)」、「農家民泊(農家に泊まって農作業や交流を図る)(計 44.0%)」の順となっている。

図表74 袖ケ浦市でのイベントの参加意向(各 SA)



属性別には、「果物狩り、芋掘りなどの収穫体験」の『参加したい』が比較的高いのは、性別では「女性(48.7%)」、年齢別では「15 歳～19 歳(47.5%)」、家族構成別では「夫婦のみ(50.7%)」、居住地別では「成田空港周辺・印旛地域(51.0%)」、勤務地別では「その他(63.7%)」となっている。「夏祭りや花火大会などのイベント」の『参加したい』が比較的高いのは、性別では「女性(47.9%)」、年齢別では「15 歳～19 歳(49.1%)」、家族構成別では「三世代同居(夫婦とその親、子)(49.2%)」、居住地別では「東京湾岸(52.0%)」、勤務地別では「その他(63.6%)」となっている。

図表75 袖ケ浦市でのイベントの参加意向（『参加したい』・属性別①）

（単位：%）

			回答数（件）	果物狩り、芋掘りなどの収穫体験	農作業体験（田植え、稲刈り等）	郷土料理づくり	農家民泊（農家に泊まって農作業や交流を図る）	里山の散策、整備体験	四季の花（芝桜・菖蒲・バラなど）の観賞
全体			1,000	43.2	23.4	27.2	23.2	26.0	37.0
性別	男		524	38.2	25.0	24.8	23.8	26.7	30.8
	女		476	48.7	21.7	29.8	22.4	25.2	43.9
年代	15歳～19歳		59	47.5	32.2	33.9	32.2	27.1	39.0
	20歳～29歳		161	39.2	24.2	30.5	24.2	19.3	33.6
	30歳～39歳		181	38.7	24.8	26.0	20.5	23.2	31.5
	40歳～49歳		221	45.7	28.1	29.0	26.2	28.9	35.3
	50歳～59歳		217	45.6	23.1	26.7	25.4	28.1	37.4
	60歳以上		161	44.1	11.8	21.1	14.9	28.6	47.8
家族構成	ひとり暮らし		214	33.2	21.9	24.3	23.9	25.3	29.0
	夫婦のみ		209	50.7	20.1	27.7	19.1	29.6	45.4
	親子		484	44.7	24.6	27.9	24.1	24.8	35.5
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	46.1	30.1	28.6	25.4	28.5	50.8
	その他		30	33.4	23.3	30.0	26.6	20.0	30.0
居住地	千葉県	東京湾岸	100	45.0	30.0	34.0	30.0	33.0	42.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	42.0	21.0	26.0	22.0	23.0	40.0
		成田空港周辺・印旛	100	51.0	22.0	29.0	18.0	25.0	41.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	47.0	28.0	24.0	26.0	32.0	42.0
		銚子・九十九里・南房総	100	40.0	15.0	19.0	20.0	20.0	30.0
	東京都	23区	100	45.0	28.0	30.0	28.0	26.0	38.0
		23区以外	100	45.0	27.0	32.0	28.0	31.0	40.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	39.0	19.0	25.0	22.0	22.0	37.0
		横浜市・川崎市以外	100	41.0	21.0	27.0	15.0	27.0	32.0
	埼玉県		100	37.0	23.0	26.0	23.0	21.0	28.0
勤務地・就学地	千葉県		281	45.2	22.4	24.9	23.8	24.5	37.7
	東京都		265	50.5	33.5	35.8	30.6	31.0	38.5
	神奈川県		134	37.4	20.2	23.9	20.9	23.8	30.6
	埼玉県		64	34.4	15.6	25.0	21.9	17.2	25.0
	その他		11	63.7	63.6	54.5	54.5	27.3	45.5

図表76 袖ケ浦市でのイベントの参加意向（『参加したい』・属性別②）

（単位：%）

			回答数（件）	工場群の夜景観賞	夏祭りや花火大会などのイベント	マラソンなどのスポーツイベント	フードフェスティバルとグルメイベント	クラフトフェア・フリーマーケット	環境に関するイベント
全体			1,000	32.3	41.6	14.6	41.4	25.0	20.3
性別	男		524	31.1	35.9	18.5	37.8	23.5	20.9
	女		476	33.7	47.9	10.3	45.4	26.7	19.6
年代	15歳～19歳		59	28.8	49.1	23.7	39.0	30.5	32.2
	20歳～29歳		161	29.2	42.2	16.2	41.0	25.5	22.4
	30歳～39歳		181	29.3	36.5	18.3	38.6	25.9	19.9
	40歳～49歳		221	36.2	43.4	16.3	43.4	23.6	21.7
	50歳～59歳		217	33.2	39.7	11.0	42.4	23.5	16.1
	60歳以上		161	33.5	44.1	8.1	41.6	25.5	18.0
家族構成	ひとり暮らし		214	30.9	34.6	17.3	35.1	20.6	21.5
	夫婦のみ		209	34.5	44.9	13.4	45.4	27.7	20.1
	親子		484	32.4	42.8	14.0	42.2	24.8	19.2
	三世代同居（夫婦とその親、子）		63	31.7	49.2	17.5	46.0	31.7	25.4
	その他		30	26.6	33.3	6.6	36.7	26.7	20.0
居住地	千葉県	東京湾岸	100	41.0	52.0	19.0	46.0	26.0	30.0
		アクアライン・圏央道沿線	100	37.0	40.0	12.0	37.0	27.0	22.0
		成田空港周辺・印旛	100	42.0	47.0	12.0	57.0	26.0	21.0
		常磐・つくばエクスプレス沿線	100	32.0	43.0	20.0	45.0	29.0	20.0
		銚子・九十九里・南房総	100	23.0	35.0	12.0	39.0	23.0	16.0
	東京都	23区	100	30.0	37.0	20.0	38.0	29.0	25.0
		23区以外	100	32.0	42.0	17.0	38.0	20.0	16.0
	神奈川県	横浜市、川崎市	100	29.0	43.0	11.0	36.0	22.0	21.0
		横浜市・川崎市以外	100	25.0	37.0	13.0	37.0	21.0	16.0
	埼玉県		100	32.0	40.0	10.0	41.0	27.0	16.0
勤務地・就学地	千葉県		281	32.8	42.4	16.8	45.9	26.3	21.0
	東京都		265	38.5	46.4	20.8	44.2	28.7	25.6
	神奈川県		134	23.9	36.6	13.4	32.8	20.2	16.4
	埼玉県		64	25.0	34.4	9.4	39.1	26.6	15.6
	その他		11	54.6	63.6	27.3	54.6	36.4	27.3

第７章　人口動向の分析と将来推計

１．人口動向

（１）　総人口と年齢３区分別人口の推移

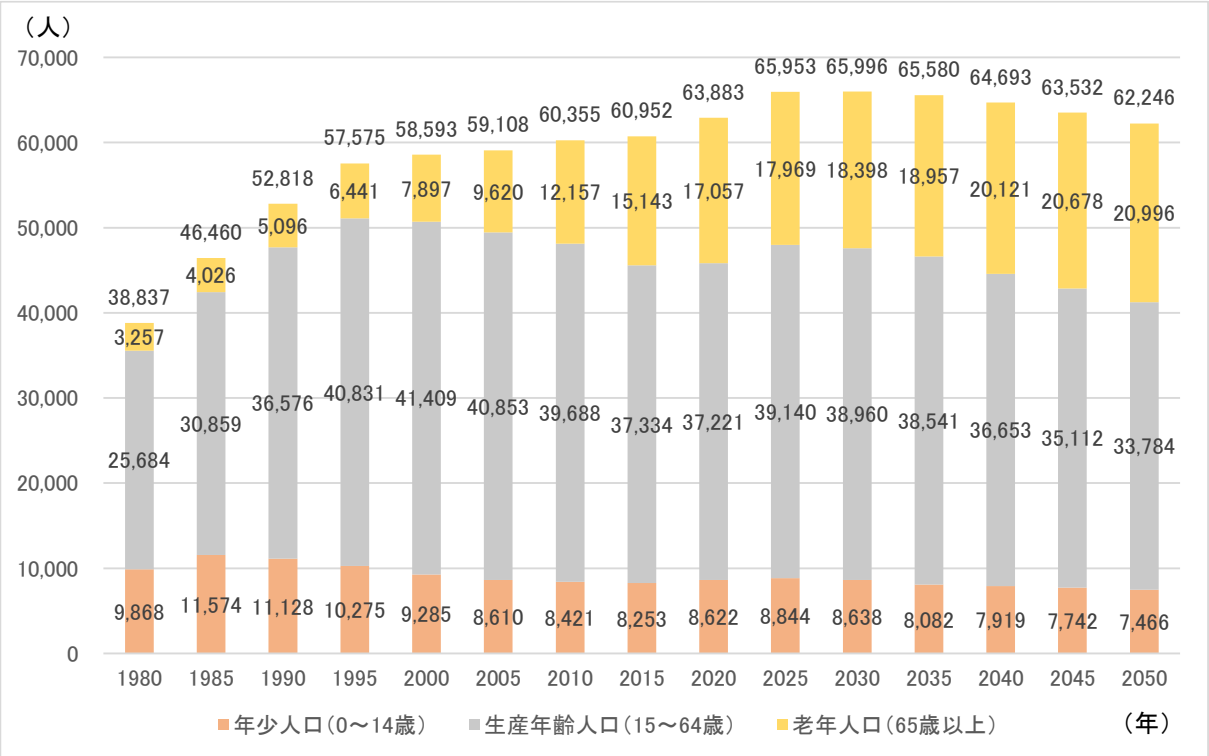
本市の人口推移をみると、京葉臨海コンビナートの形成とこれに伴う宅地造成を背景に、右肩上がりの増加を続け、1995 年に 57,575 人となった。その後も緩やかな増加が続き、直近の 2020 年に 63,883 人となっている。

2025 年以降の国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の人口推計によれば、本市の人口は 2030 年に 65,996 人となった後、減少に転じ、2050 年に 62,246 人となると見込まれている。

この間、生産年齢人口は 2000 年の 41,409 人をピークに緩やかに減少し、2020 年に 37,221 人（20 年比▲10.1%）と約１割減少している。今後も減少が続き、2050 年には 33,784 人（20 年比▲9.2%）となることが見込まれている。

一方、老年人口は一貫して上昇が続いており、1980 年の 3,257 人から、2020 年に 17,057 人（1980 年比+423.7%）となった。今後も増加が続き、2050 年には 20,996 人（20 年比+23.1%）となることが見込まれている。

図表77　本市の人口推移と将来推計（社人研）



（注）2020 年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025 年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総数には年齢不詳を含む。

（出所）内閣府・経済産業省「RESAS」のデータをもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成。

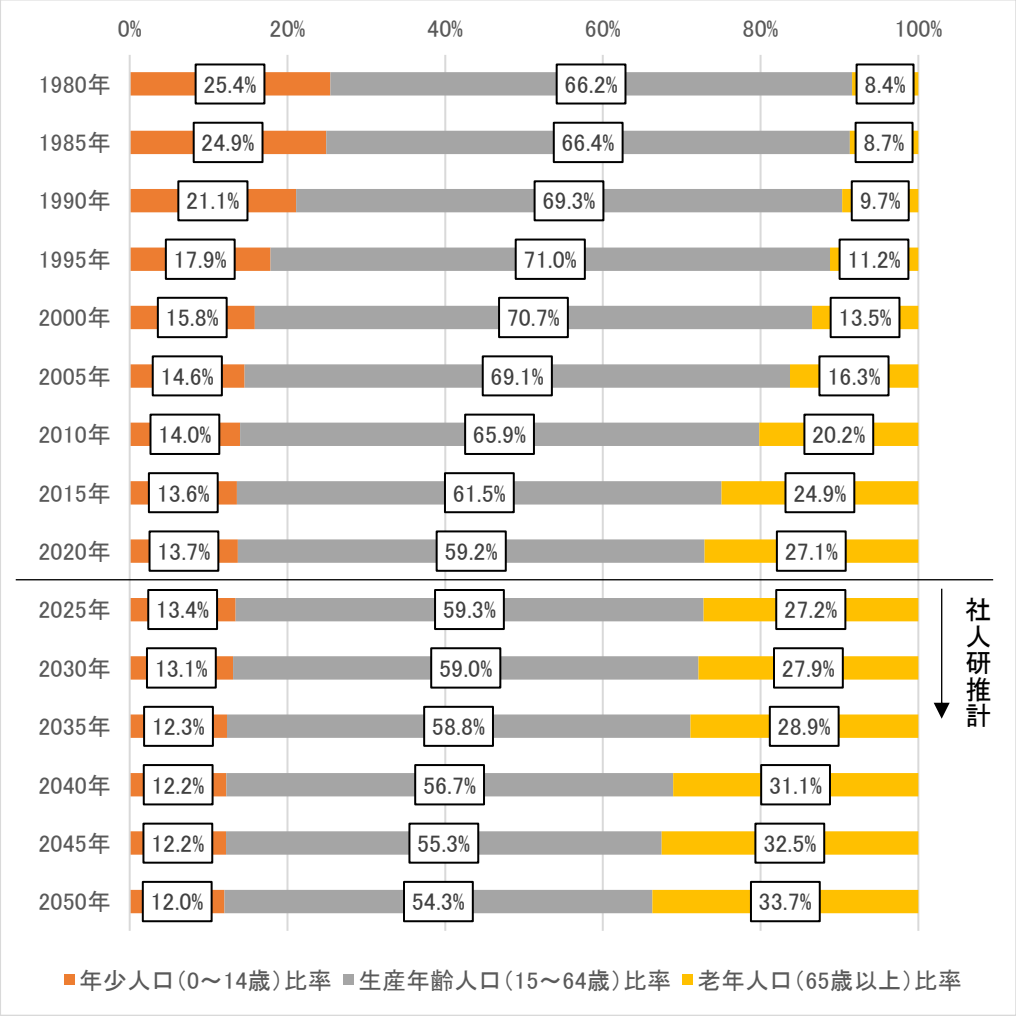
（２） 年齢３区分人口比率（時系列）

年齢 3 区分別構成比をみると、年少人口比率は、1980 年の 25.4%から一貫して下落傾向が続き、2020 年に 13.7%となった。今後も 2050 年に 12.0%まで下落することが見込まれている。

生産年齢人口比率は、1980 年の 66.2%から 1995 年に 71.0%まで上昇したが、その後減少に転じ、2020 年に 59.2%となった。今後も 2050 年に 54.3%となることが見込まれている。

一方、老年人口比率は、1980 年の 8.4%から上昇が続き、2020 年に 27.1%となった。2050 年には 33.7%になると見込まれている。

図表78　年齢３区分別構成比



（注）2020 年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025 年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。

（出所）内閣府提供資料に基づき㈱ちばぎん総合研究所が作成。

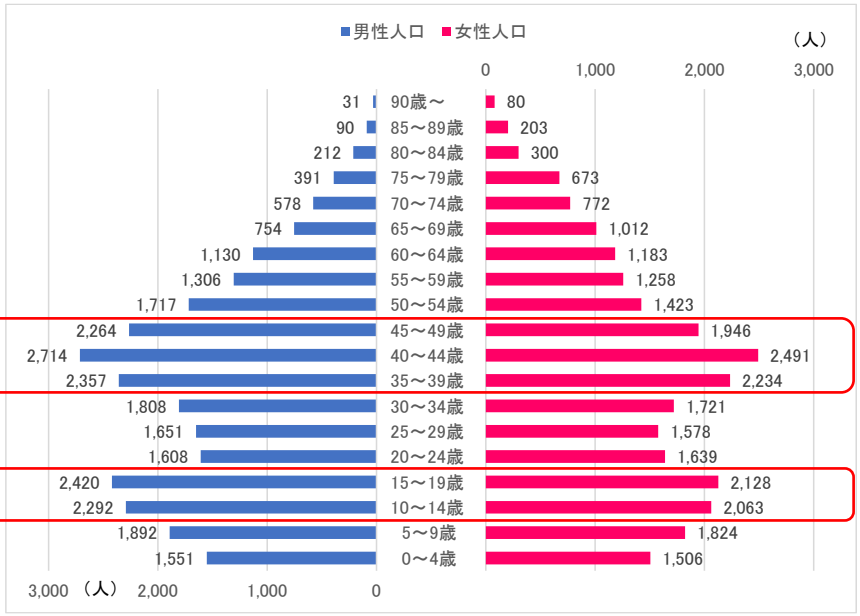
（３） 男女・年齢５歳階級別人口

本市の男女・年齢５歳階級別人口をみると、男女とも、1990 年には、団塊世代を含む 30 歳代後半から 40 歳代と、団塊ジュニア世代を含む 10 歳代がボリュームゾーンであった。

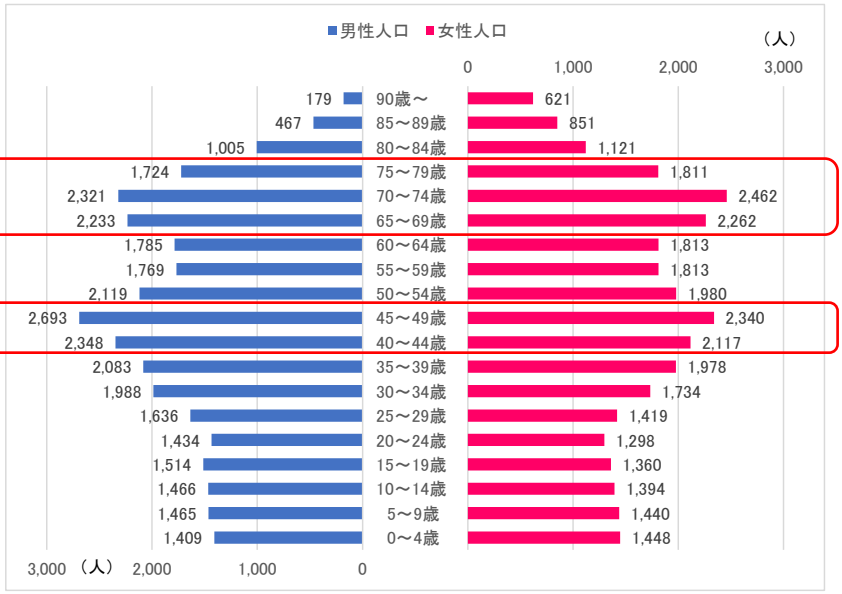
2020 年には、このボリュームゾーンのうち当時 30 歳代後半から 40 歳代であった年代が、60 歳代後半から 70 歳代になり、一部は後期高齢者となっている。今後も、後期高齢者の割合はさらに増加が見込まれる。

図表79　男女・年齢５歳階級別人口

1990 年



2020 年



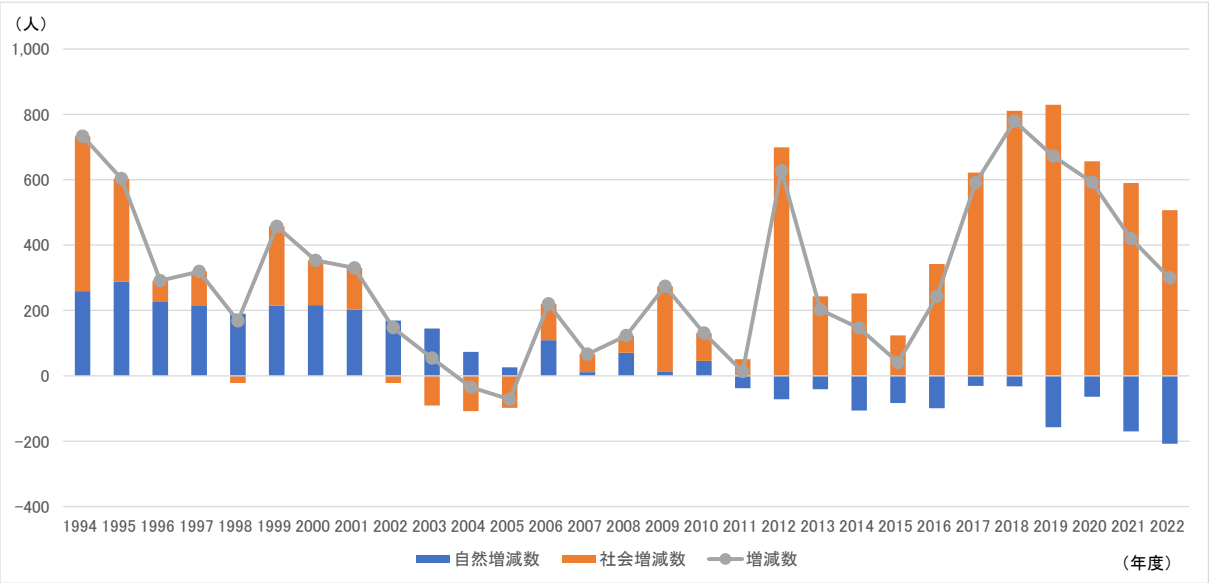
（出所）内閣府・経済産業省「RESAS」のデータ（出典元は総務省「国勢調査」）をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成。

（４） 自然増減数[9]と社会増減数[10]の推移

本市人口の自然増減数と社会増減数の推移をみると、2004 年度と 2005 年度を除き、いずれの年度も人口は増加している。

近年は、特に 2017 年度頃からの社会増が顕著であり（2017 年度:622 人 →2018 年度:811 人 → 2019 年度:829 人 → 2020 年度:656 人 → 2021 年度:590 人 → 2022 年度:507 人）、袖ケ浦駅海側の土地区画整理が寄与していると考えられる。

図表80　自然増減数と社会増減数



（人）

	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
自然増減数	259	288	226	214	190	215	216	202	169	145	73	26	109	11	71
社会増減数	474	315	65	105	−22	242	137	128	−22	−91	−108	−98	111	55	52
増減数	733	603	291	319	168	457	353	330	147	54	−35	−72	220	66	123

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
自然増減数	12	46	−38	−72	−41	−106	−83	−99	−31	−32	−157	−64	−170	−208
社会増減数	262	85	51	699	243	252	124	342	622	811	829	656	590	507
増減数	274	131	13	627	202	146	41	243	591	779	672	592	420	299

（出所）内閣府提供資料（出典元は各年住民基本台帳人口データ）に基づき㈱ちばぎん総合研究所が作成。

[9] 自然増減数：出生数から死亡数を減じた数

[10] 社会増減数：転入数から転出数を減じた数。純移動数と同じ意味で用いられる。

（５） 出生・死亡数・転入・転出数の推移

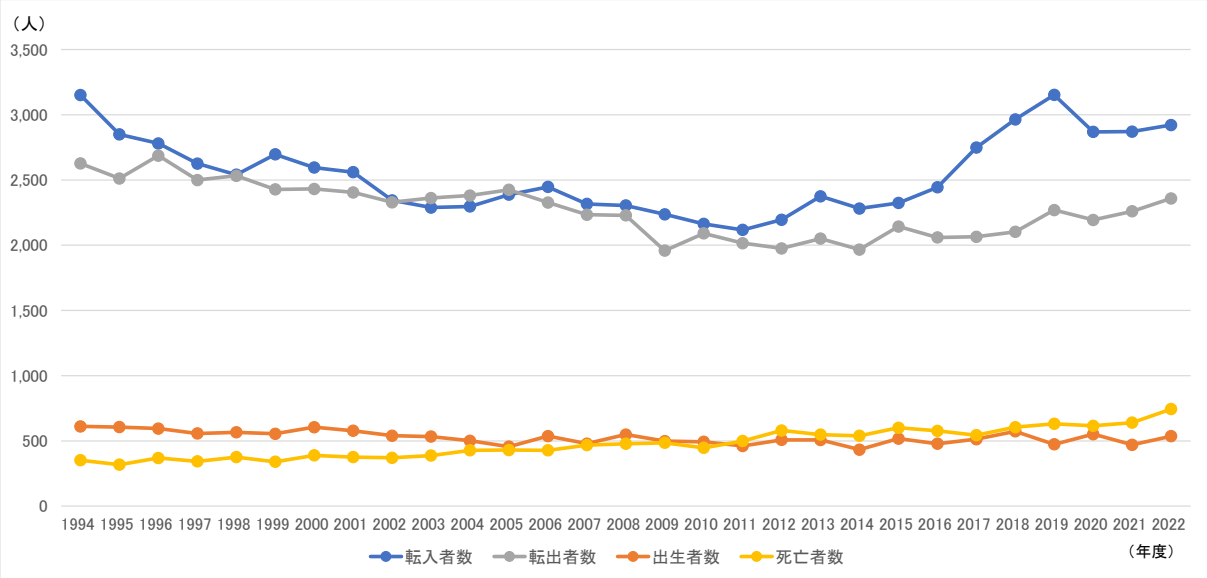
本市の出生者数は、2000 年代以降、概ね 400～600 人の範囲で横ばいに推移している。

死亡数は、2000 年度に 389 人であったが、緩やかな増加が続き、2022 年度に 744 人となっている。

転入者数は、1990 年代から 2000 年代にかけて緩やかに減少してきたが、2011 年度（2,118 人）に底打ちした後増加傾向に転じ、2019 年度には 3,153 人に達した。2020～2022 年度にかけても転入者数は 2,900 人前後で推移している。

転出者数は、1990 年代から 2000 年代にかけて減少傾向が続いた後、2010 年代は概ね 2,000～2,200 人前後の横ばいで推移した。その後、2020 年度:2,194 人 → 2021 年度:2,260 人 → 2022 年度:2,359 人とやや増加している。

図表81 出生・死亡数・転入・転出数の推移



（人）

	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
出生者数	611	606	595	557	566	555	605	578	540	533	501	456	537	479	549
死亡者数	352	318	369	343	376	340	389	376	371	388	428	430	428	468	478
転入者数	3,151	2,850	2,781	2,626	2,541	2,697	2,596	2,560	2,344	2,289	2,297	2,388	2,447	2,317	2,305
転出者数	2,627	2,512	2,687	2,500	2,533	2,428	2,432	2,405	2,329	2,362	2,381	2,425	2,328	2,234	2,229

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
出生者数	498	493	461	508	507	433	518	478	513	573	474	552	470	536
死亡者数	486	447	499	580	548	539	601	577	544	605	631	616	640	744
転入者数	2,237	2,164	2,118	2,196	2,375	2,282	2,324	2,444	2,749	2,965	3,153	2,869	2,871	2,922
転出者数	1,959	2,091	2,016	1,976	2,051	1,967	2,144	2,060	2,065	2,103	2,270	2,194	2,260	2,359

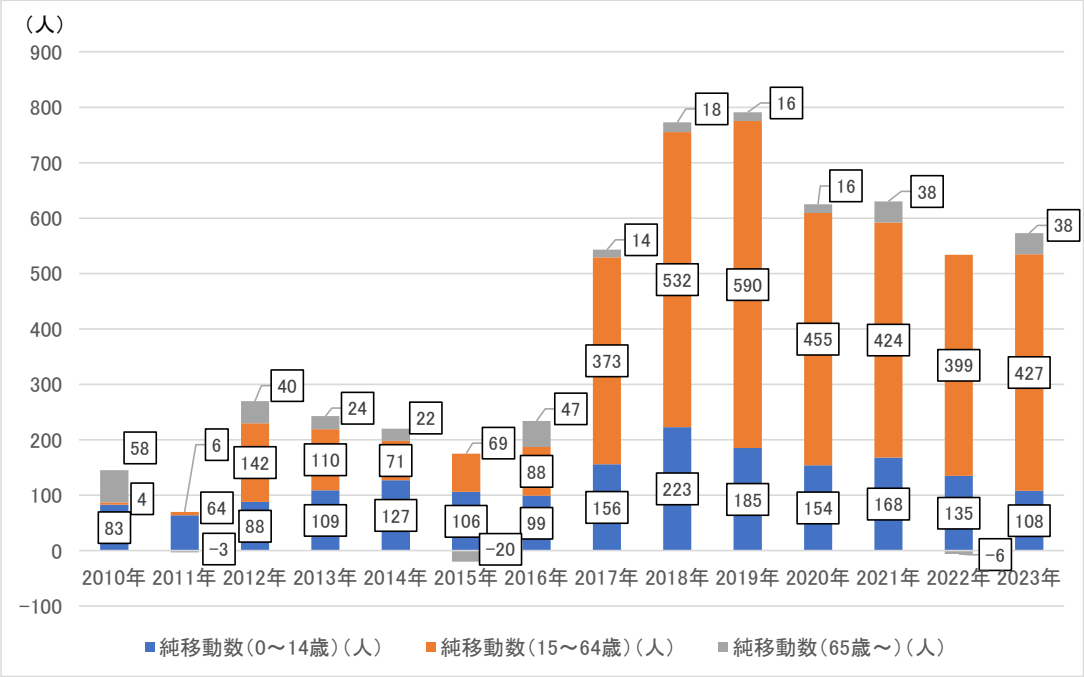
（出所）内閣府提供資料（出典元は各年住民基本台帳人口データ）に基づき㈱ちばぎん総合研究所が作成。

（６） 純移動数[11]の推移

①年齢３区分別

年齢３区分別の純移動数をみると、2017 年以降、純移動数が顕著に増加しており、特に生産年齢人口の純移動数が大幅に増加している。

図表82　純移動数の推移（年齢３区分別）



（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
純移動数（0〜14歳）	83	64	88	109	127	106	99
純移動数（15〜64歳）	4	6	142	110	71	69	88
純移動数（65歳〜）	58	−3	40	24	22	−20	47
純移動数（合計）	145	67	270	243	220	155	234

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
純移動数（0〜14歳）	156	223	185	154	168	135	108
純移動数（15〜64歳）	373	532	590	455	424	399	427
純移動数（65歳〜）	14	18	16	16	38	−6	38
純移動数（合計）	543	773	791	625	630	528	573

（注）2017 年までは日本人のみ、2018 年からは外国人を含む移動者数を表示している。

（出所）内閣府・経済産業省「RESAS」のデータ（出典元は総務省「住民基本台帳人口移動報告」）をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成。

[11] 純移動数：転入数から転出数を減じた数。社会増減数と同じ意味で用いられる。この推移をみることで、どの時期にどの年代の転入超過が多かったのかを把握することができる。

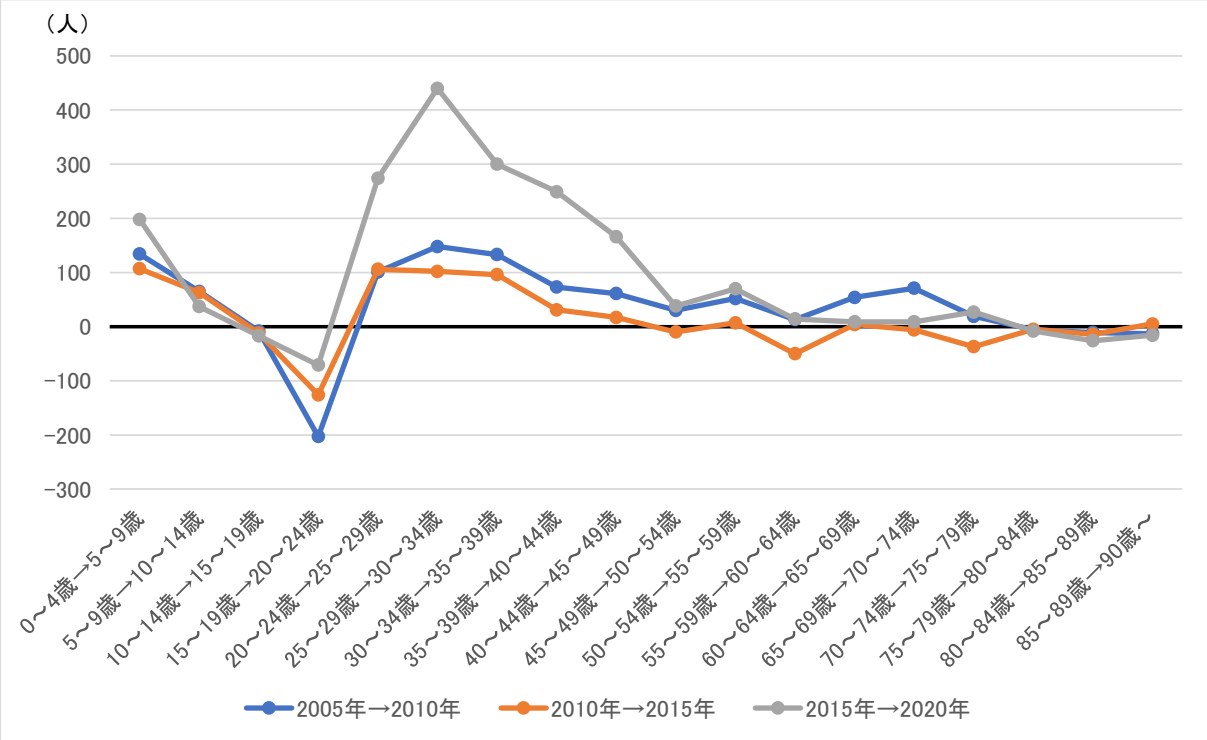
②純移動数の推移（男女、年齢 5 歳階級別）

純移動数の推移を男女、年齢 5 歳階級別にみると、男女とも、15～19 歳から 20～24 歳になる際の純移動数のマイナス幅が最も大きくなっている。ただし、年代が進むにつれて、マイナス幅は縮小している。

一方、純移動数のプラス幅がピークとなる年代をみると、男性は、直近の 2015 年から 2020 年においては、25～29 歳から 30～34 歳になる年代のプラス幅が最も大きくなっている。女性も同様の傾向であるが、女性（次頁）は、2000 年から 2005 年、及び 2005 年から 2010 年において、30～34 歳から 35～39 歳になる年代の純移動数が最も大きかった。しかし、直近の 2015 年から 2020 年では、より若い年代（20～24 歳から 25～29 歳、及び 25～29 歳から 30～34 歳となる年代）の流入が多いことが特徴である。

図表83　純移動数の推移（男女、年齢 5 歳階級別）

（男性）

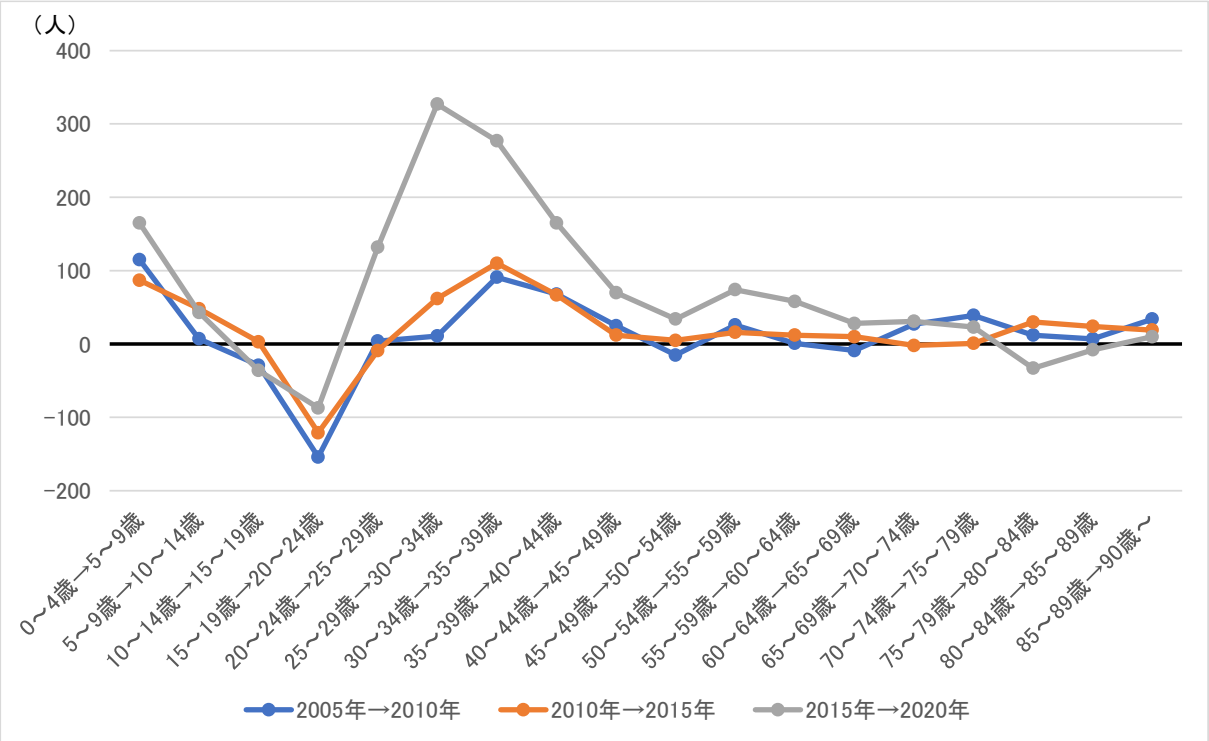


（人）

年齢範囲	0～4歳 →5～9歳	5～9歳 →10～14歳	10～14歳 →15～19歳	15～19歳 →20～24歳	20～24歳 →25～29歳	25～29歳 →30～34歳	30～34歳 →35～39歳	35～39歳 →40～44歳	40～44歳 →45～49歳
2005年→2010年	134	65	-8	-203	101	148	133	73	61
2010年→2015年	107	63	-12	-126	106	102	96	31	17
2015年→2020年	198	37	-17	-71	274	440	300	249	166

年齢範囲	45～49歳 →50～54歳	50～54歳 →55～59歳	55～59歳 →60～64歳	60～64歳 →65～69歳	65～69歳 →70～74歳	70～74歳 →75～79歳	75～79歳 →80～84歳	80～84歳 →85～89歳	85～89歳 →90歳～
2005年→2010年	30	52	13	54	71	19	-6	-11	-13
2010年→2015年	-10	7	-50	4	-6	-37	-5	-14	5
2015年→2020年	38	70	14	9	9	27	-8	-26	-16

（女性）



（人）

年齢範囲	0～4歳 →5～9歳	5～9歳 →10～14歳	10～14歳 →15～19歳	15～19歳 →20～24歳	20～24歳 →25～29歳	25～29歳 →30～34歳	30～34歳 →35～39歳	35～39歳 →40～44歳	40～44歳 →45～49歳
2005年→2010年	115	7	−29	−154	4	11	91	68	25
2010年→2015年	87	48	3	−121	−9	62	110	67	12
2015年→2020年	165	43	−36	−87	132	327	277	165	70

年齢範囲	45～49歳 →50～54歳	50～54歳 →55～59歳	55～59歳 →60～64歳	60～64歳 →65～69歳	65～69歳 →70～74歳	70～74歳 →75～79歳	75～79歳 →80～84歳	80～84歳 →85～89歳	85～89歳 →90歳～
2005年→2010年	−15	26	1	−9	27	39	12	7	34
2010年→2015年	5	16	12	10	−2	1	30	24	19
2015年→2020年	34	74	58	28	31	23	−33	−8	10

（出所）内閣府・経済産業省「RESAS」のデータ（出典元は総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づく算定値）をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成。

（７） 転入数・転出数の上位市区町村

本市への転入数の上位市区町村をみると、木更津市、市原市、君津市の 3 市が上位で、転入者のうち概ね 3～4 割を占めている。また、千葉市中央区、富津市からの転入も比較的多くみられる。都内からは、大田区や江戸川区が転入数の上位となっている。

本市からの転出数の上位市区町村をみると、木更津市、市原市、君津市、千葉市中央区が上位となっている。このほか、船橋市、市川市、千葉市稲毛区、千葉市緑区、千葉市若葉区などへも転出が多くみられる。

図表84　転入数・転出数の上位市区町村

（転入数上位市区町村）

（人）

2019年			2020年			2021年			2022年			2023年		
市町村	転入数	割合	市町村	転入数	割合	市町村	転入数	割合	市町村	転入数	割合	市町村	転入数	割合
市原市	520	17.6%	木更津市	540	19.6%	木更津市	459	16.5%	木更津市	473	17.3%	木更津市	411	14.8%
木更津市	508	17.2%	市原市	430	15.6%	市原市	383	13.8%	市原市	365	13.3%	市原市	391	14.1%
君津市	227	7.7%	君津市	133	4.8%	君津市	168	6.0%	君津市	171	6.2%	君津市	134	4.8%
千葉市中央区	90	3.0%	千葉市中央区	80	2.9%	千葉市中央区	79	2.8%	千葉市中央区	88	3.2%	千葉市中央区	83	3.0%
富津市	62	2.1%	富津市	66	2.4%	富津市	70	2.5%	市川市	48	1.8%	船橋市	52	1.9%
大田区	43	1.5%	大田区	50	1.8%	大田区	57	2.0%	富津市	46	1.7%	富津市	51	1.8%
千葉市緑区	41	1.4%	市川市	40	1.5%	船橋市	57	2.0%	船橋市	45	1.6%	大田区	50	1.8%
船橋市	30	1.0%	千葉市緑区	40	1.5%	市川市	42	1.5%	大田区	39	1.4%	柏市	34	1.2%
館山市	28	0.9%	船橋市	31	1.1%	千葉市若葉区	41	1.5%	江戸川区	34	1.2%	江戸川区	30	1.1%
千葉市稲毛区	27	0.9%	横浜市鶴見区	26	0.9%	川崎市川崎区	35	1.3%	松戸市	32	1.2%	世田谷区	30	1.1%
転入数	2,957	100.0%	転入数	2,753	100.0%	転入数	2,781	100.0%	転入数	2,741	100.0%	転入数	2,780	100.0%

（転出数上位市区町村）

（人）

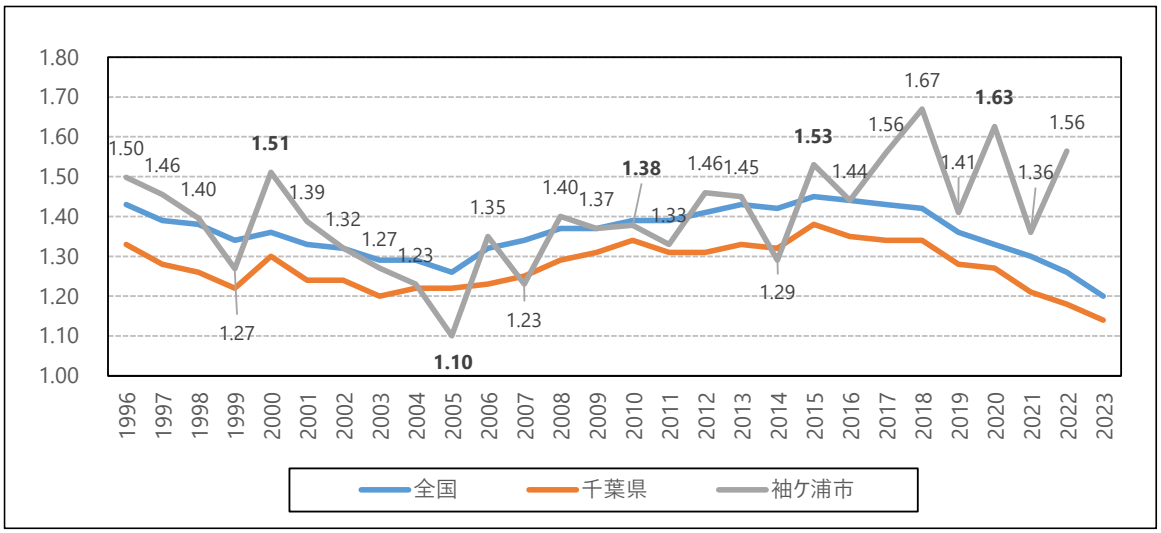
2019年			2020年			2021年			2022年			2023年		
市町村	転出数	割合	市町村	転出数	割合	市町村	転出数	割合	市町村	転出数	割合	市町村	転出数	割合
木更津市	379	17.5%	木更津市	400	18.8%	木更津市	372	17.3%	木更津市	411	18.6%	木更津市	369	16.7%
市原市	292	13.5%	市原市	298	14.0%	市原市	313	14.6%	市原市	289	13.1%	市原市	298	13.5%
千葉市中央区	140	6.5%	君津市	112	5.3%	千葉市中央区	108	5.0%	千葉市中央区	92	4.2%	君津市	98	4.4%
君津市	111	5.1%	千葉市中央区	93	4.4%	君津市	91	4.2%	君津市	84	3.8%	千葉市中央区	88	4.0%
船橋市	46	2.1%	船橋市	47	2.2%	船橋市	41	1.9%	船橋市	68	3.1%	船橋市	46	2.1%
市川市	35	1.6%	千葉市若葉区	38	1.8%	千葉市緑区	32	1.5%	市川市	40	1.8%	市川市	42	1.9%
富津市	33	1.5%	千葉市緑区	37	1.7%	千葉市稲毛区	29	1.3%	千葉市緑区	31	1.4%	富津市	40	1.8%
千葉市若葉区	29	1.3%	市川市	29	1.4%	市川市	27	1.3%	大田区	28	1.3%	千葉市稲毛区	29	1.3%
千葉市緑区	24	1.1%	千葉市稲毛区	27	1.3%	富津市	26	1.2%	千葉市花見川区	26	1.2%	千葉市若葉区	25	1.1%
千葉市稲毛区	23	1.1%	八千代市	25	1.2%	大田区	25	1.2%	千葉市若葉区	22	1.0%	千葉市緑区	25	1.1%
転出数	2,166	100.0%	転出数	2,128	100.0%	転出数	2,151	100.0%	転出数	2,213	100.0%	転出数	2,207	100.0%

（出所）内閣府・経済産業省「RESAS」のデータ（出典元は総務省「住民基本台帳人口移動報告」）をもとに㈱ちばぎん総合研究所が作成。

（８） 出生率について

本市の出生率は、2005 年に 1.10 で底打ちした後、緩やかに回復を続け、2018 年に 1.67 を記録した。その後は低下傾向にあるが、全国や千葉県と比べると高い水準を維持している。

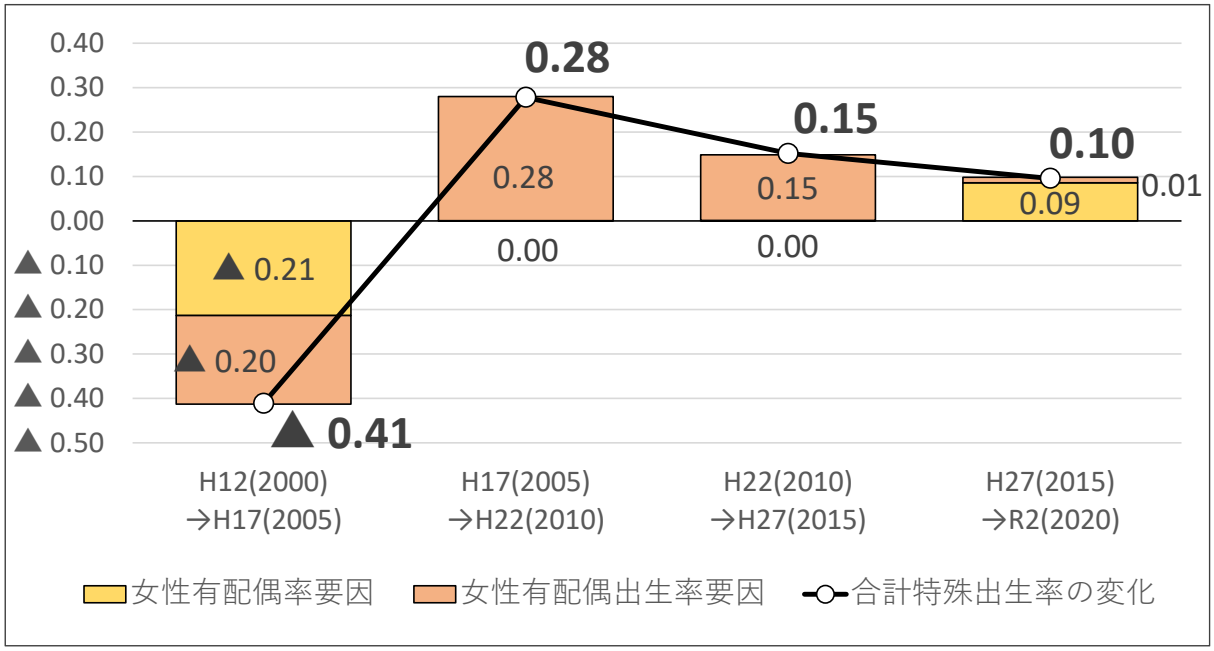
図表85　全国・千葉県・袖ケ浦市の合計特殊出生率



（出所）千葉県「市町村別 5 歳階級合計特殊出生率」より㈱ちばぎん総合研究所が作成。

2005 年以前は、未婚率の上昇や有配偶女性の出生率低下が合計特殊出生率を押し下げる要因となっていた。しかし、2005 年以降、有配偶者の出生が増加し、合計特殊出生率が改善している。2015 年から 2020 年は有配偶率の上昇も出生率を高める要因となっている。

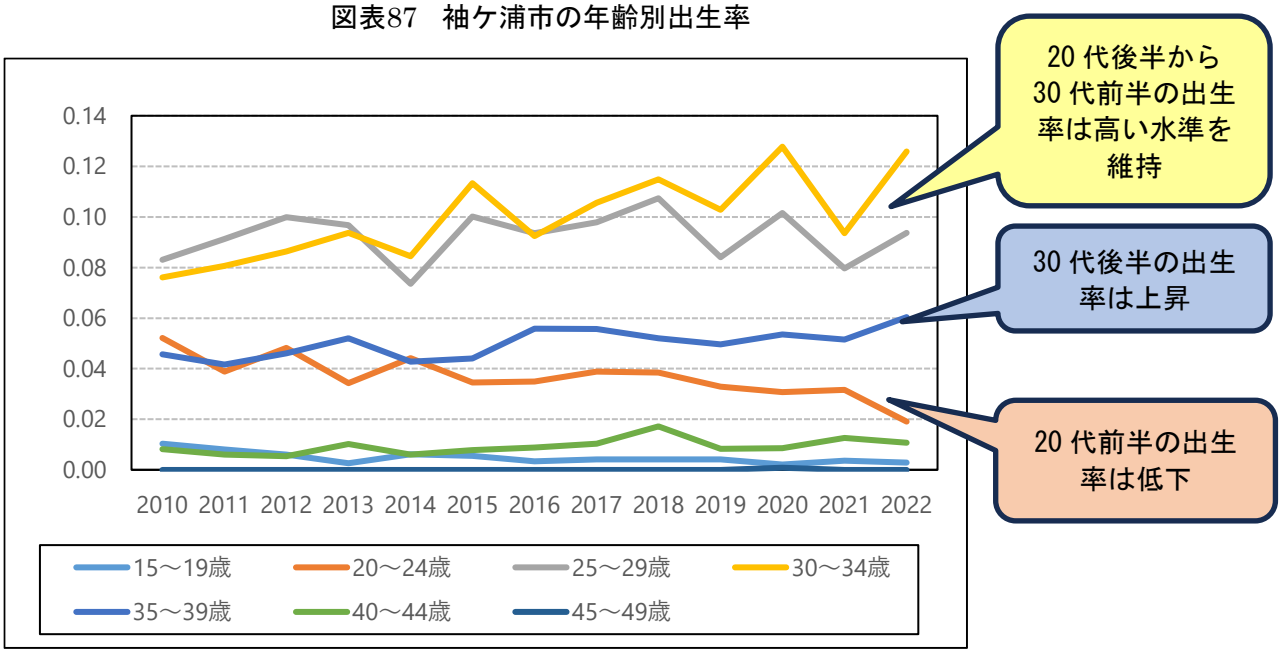
図表86　本市の合計特殊出生率の変動要因分解



（出所）千葉県「市町村別 5 歳階級合計特殊出生率」より㈱ちばぎん総合研究所が作成。

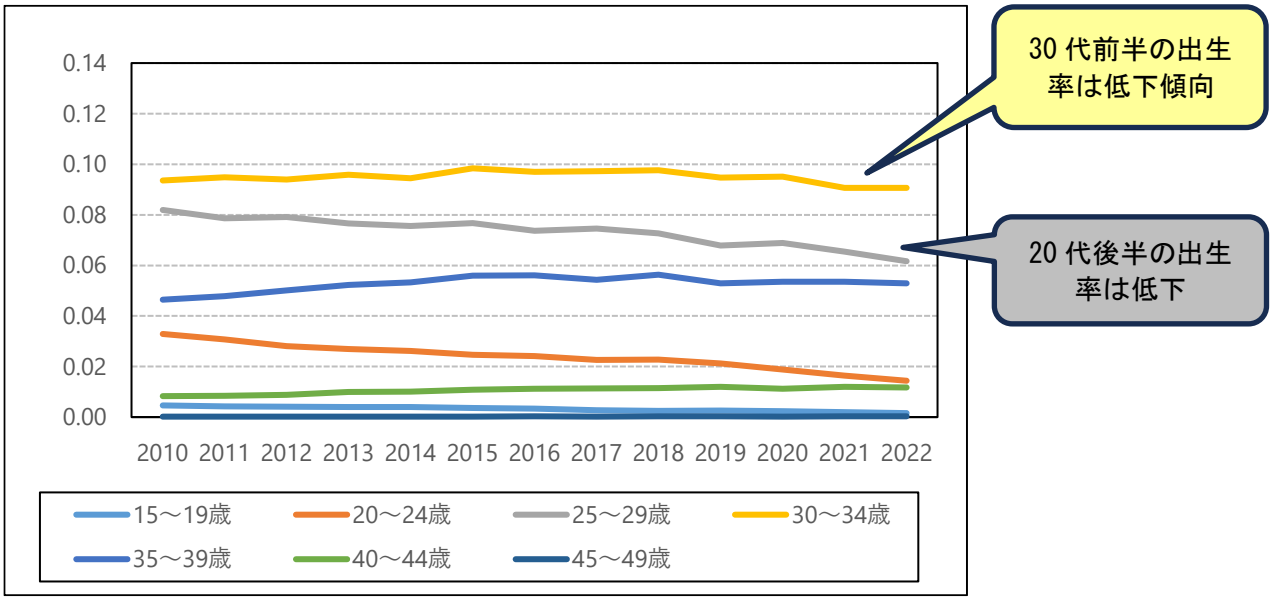
千葉県と比べると、20 歳代後半から 30 歳代前半の出生率が高水準となっており、この年代で子どもを産む方が多くなっている。

図表87　袖ケ浦市の年齢別出生率



（出所）千葉県「市町村別 5 歳階級合計特殊出生率」より㈱ちばぎん総合研究所が作成。

図表88　千葉県の年齢別出生率（吹き出し内は袖ケ浦市との違い）



（出所）千葉県「市町村別 5 歳階級合計特殊出生率」より㈱ちばぎん総合研究所が作成。

２．将来人口推計

（１） 直近の移動率を考慮した検討

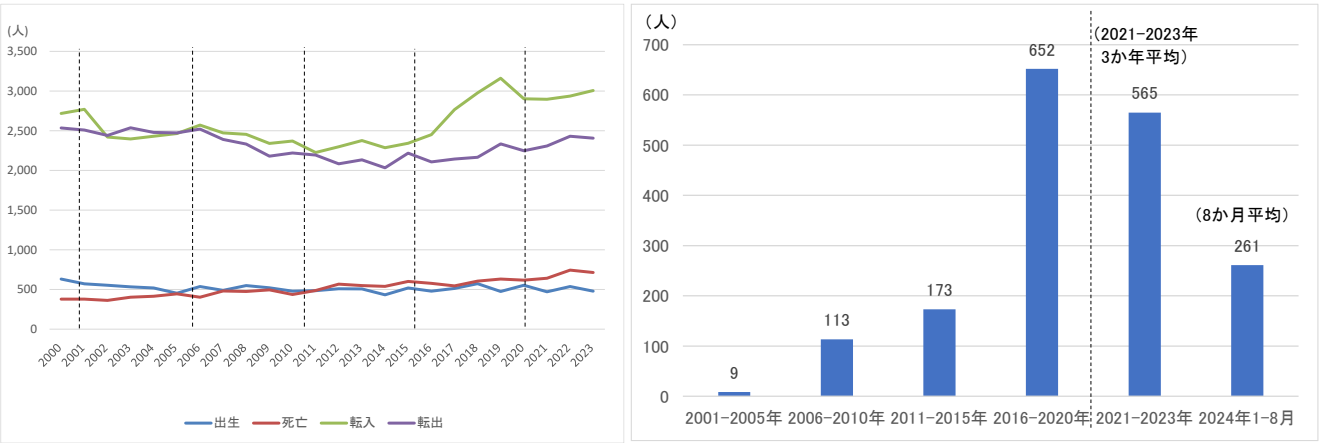
前回社人研推計（2018 年推計）では、将来の移動率について、2010～2015 年の移動率が将来に続くものと仮定して推計が行われた[12]。この前提では、袖ケ浦駅海側区画整理事業の進捗による人口流入の移動率が反映されず、将来の推計人口が著しく少なくなる可能性があるため、前回人口ビジョンの推計では、年齢別純移動率について、「社人研が推計（平成 30（2018）年推計）で利用している移動率をもとに、2020 年以降はプラスの移動率は 1.2 倍に増加、マイナスの移動率は 0.8 倍で縮小すると設定する」という措置（以下「前回措置」という）をとった。

一方、今回の社人研推計（2023 年推計）では、直近 3 期（2005～2010 年、2010～2015 年、2015～2020 年）の移動率が将来も続くものと仮定して推計が行われている[13]。これに基づく推計では、原則として前回措置をとる必要はないと考える。理由は以下の 3 点のとおり。

①今回の社人研推計には、既に袖ケ浦駅海側区画整理事業による人口移動が一定程度加味されており（2020 年まで）、この人口移動が将来も続くという前提で移動率が算定されていること。そのため、この移動率に対してさらに前回措置をとると、推計が過大となる蓋然性が高い。

②直近の純移動数は下記のとおり減少傾向にあること。よって、前回措置により移動率をさらに大きくすることは合理性が乏しい。

図表89　近年の人口動態（各年）（左）と近年の純移動数の推移（右）



③今後想定されている袖ケ浦海側西地区の区画整理事業は、住宅地利用としてのインパクトが不明であること。また、市内の市街化調整区域におけるミニ開発は、従来も行われてきたことから、既に将来の純移動数に反映されていること。

[12] 社人研「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）P. 3 参照
[13] 社人研「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）P. 3 参照

（２） 直近の住民基本台帳人口（2024 年 10 月）からみた 2025 年人口について

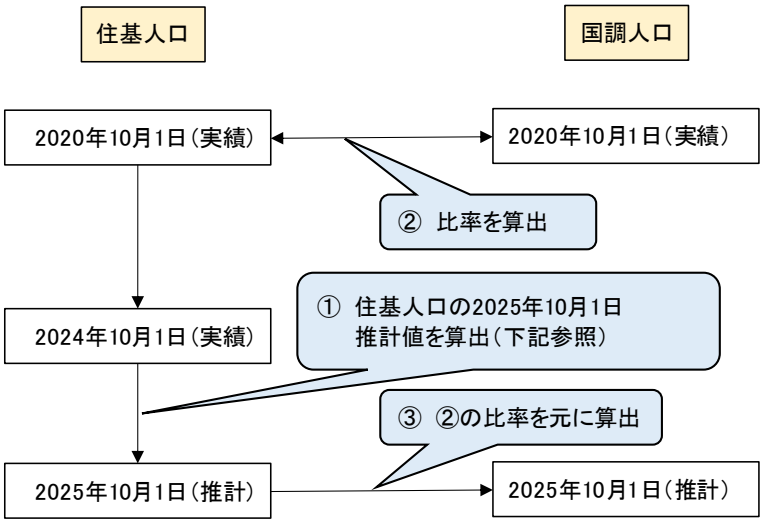
本稿執筆時点で、2024 年 10 月時点の住民基本台帳人口の実績値が判明している。これをもとに、2025 年の推計値についてある程度蓋然性の高い数値が算定可能なものと考え、次の手順で試算した。

【手順】

ア．近年の住民基本台帳人口の対前年増減率を踏まえ、2024 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口（66,109 人）に直近の増減率（+0.28%）を反映し、2025 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口（推計値）を算出（66,293 人。図表 90 の①、図表 91）。

イ．2020 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口と国勢調査人口の比率（約 0.98457。図表 90 の②、図表 92）を、上記ア．の数値に乗じることで、2025 年 10 月 1 日の国勢調査人口（推計値）を算出（図表 90 の③、図表 92）。

図表90　2025 年 10 月 1 日国勢調査人口（推計値）の算定プロセス



図表91　2025 年 10 月 1 日住民基本台帳人口（推計値）の検討プロセス

年		住基人口	対前年増減率
2020/10/1	R2	64,884	－
2021/10/1	R3	65,254	0.57025%
2022/10/1	R4	65,619	0.55935%
2023/10/1	R5	65,926	0.46785%
2024/10/1	R6	66,109	0.27758%
2025/10/1	R7	***66,293***	0.27758%（推計値）

縮小傾向

直近の増減率を採用

結果をみると、2025 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口は、66,293 人と推計される。これに、2020 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口と国勢調査人口の比率（約 0.98457）を乗じることで、2025 年 10 月 1 日の国勢調査人口は、65,270 人と推計される（図表 92）。

図表92　2025 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口と国勢調査人口の推計値

	住民基本台帳人口（A）（人）	国勢調査人口（B）（人）	比率（B/A）
2020年10月1日	64,884	63,883	0.98457
2024年10月1日	66,109	－	－
2025年10月1日（推計値）	66,293	65,270	－

【結論】

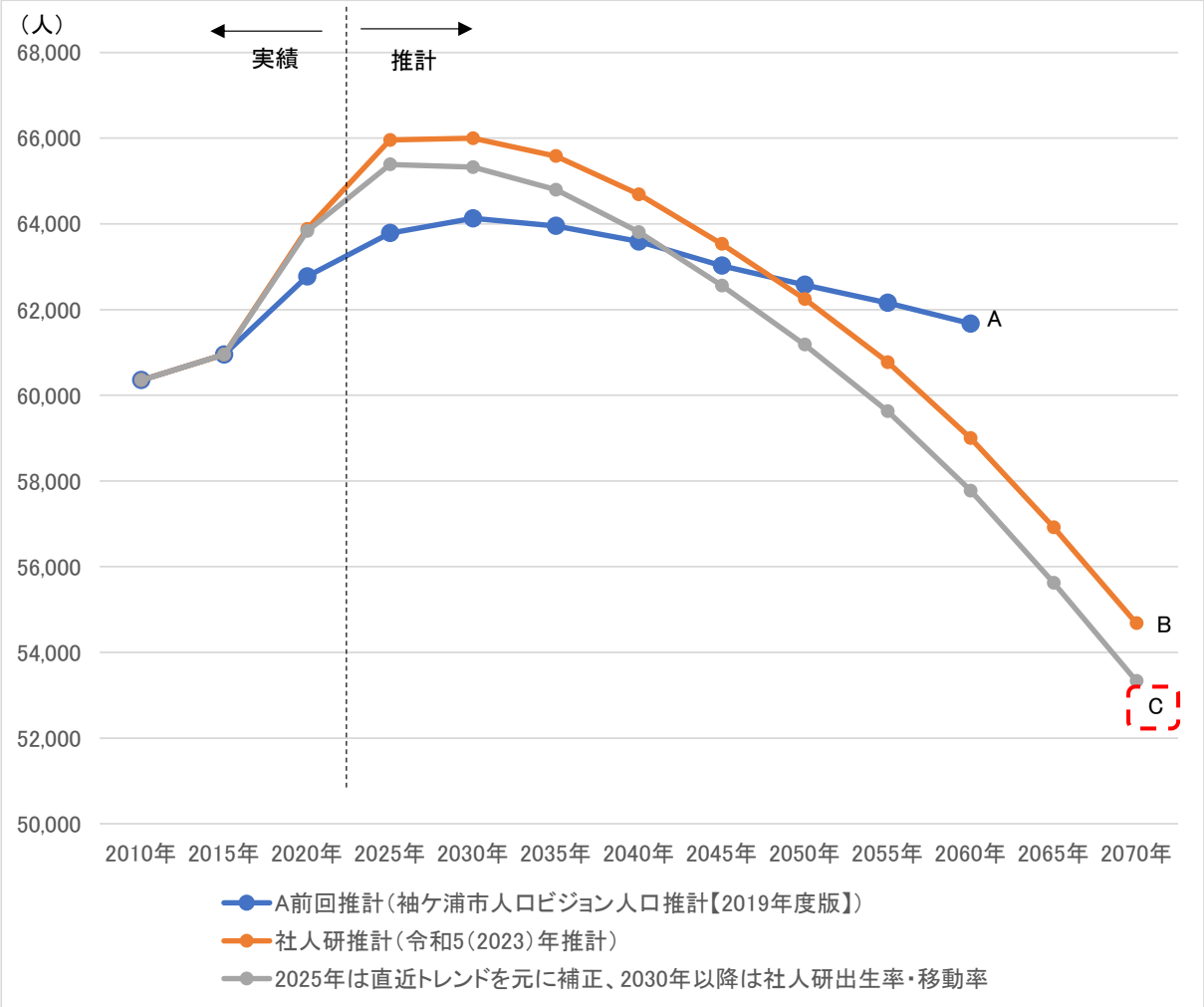
2025 年の社人研推計（65,953 人）は、上記 2025 年 10 月 1 日の国勢調査人口の推計値（65,270 人）よりも高い数値となっている。要因は、直近（2020 年→2025 年）の純移動率の仮定値が高いこと（後記【参考】に掲載）と推察される。そこで、2025 年の国勢調査人口の推計値は、上記 65,270 人を採用する。

2030 年以降は、社人研移動率を採用する。

出生率も、社人研の推計値を採用する。

結果は図表 93 のとおり。

図表93　（A）袖ケ浦市人口ビジョン人口推計【2019 年度版】及び
（B）社人研推計及び（C）今回推計の比較



（人）

		区分	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
A	前回推計（袖ケ浦市人口ビジョン人口推計【2019年度版】）	国勢調査人口	60,355	60,952	62,774	63,784	64,130	63,952	63,589	63,025	62,576	62,156	61,672	–	–
B	社人研推計（令和5（2023）年推計）（※）	国勢調査人口	60,355	60,952	63,883	65,953	65,996	65,580	64,693	63,532	62,246	60,772	59,000	56,919	54,679
C	C2025年は直近トレンドを元に補正、2030年以降は社人研出生率・移動率	国勢調査人口	60,355	60,952	63,883	65,270	65,253	64,800	63,905	62,742	61,442	59,953	58,168	56,094	53,880

（※）2055年以降は2050年までの仮定値を採用し㈱ちばぎん総合研究所が推計したもの

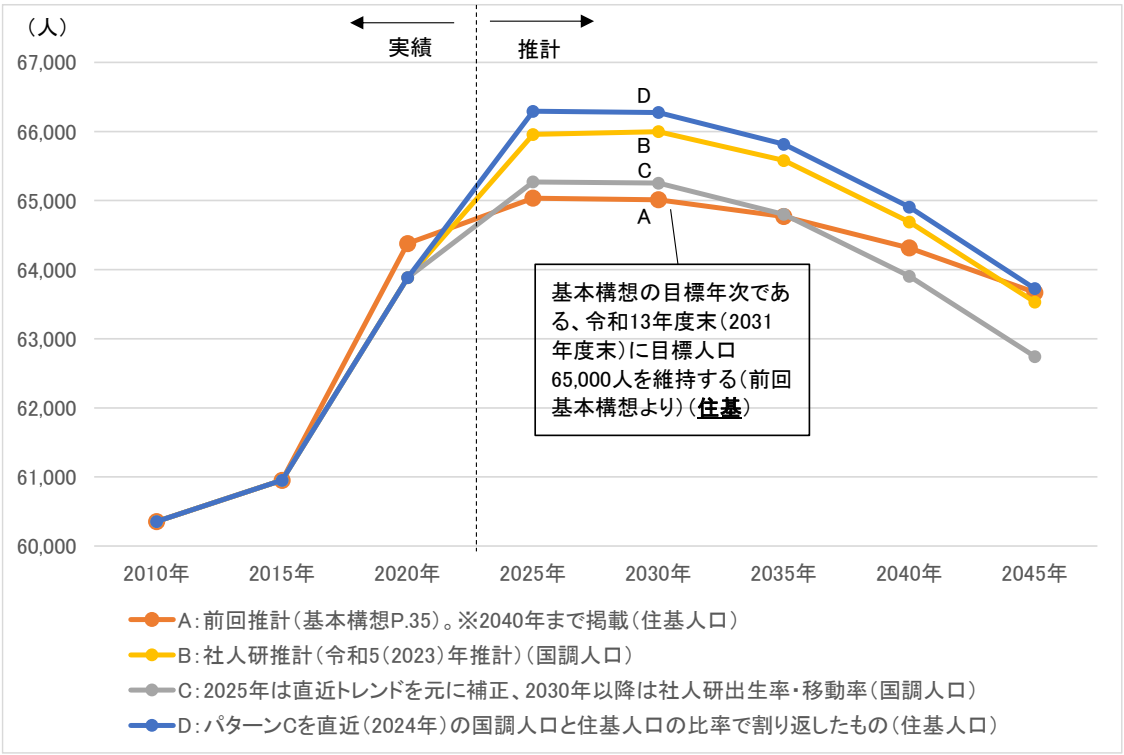
（３） 基本構想における「（参考）将来人口推計」との比較

本市の将来人口推計は、国勢調査のデータを基礎として、住民基本台帳人口（以下、「住基人口」という）を参考に推計しており、目標年次である令和 13 年度末（2031 年度末）に、目標人口 65,000 人を維持する（住基人口・図表 94 パターンA）としている。

そして、2023 年 12 月に公表された社人研による 2030 年の本市の推計人口は、65,996 人とされている（国勢調査人口・図表 94 パターンB）。

しかし、この推計については袖ケ浦駅海側の土地区画整理による人口増の影響が強く反映されていたため、2025 年の数値を補正した独自推計を行い、2030 年の推計人口を 65,253 人（国勢調査人口・図表 94 パターン C）とし、住基人口にて補正した 2030 年の推計人口 66,276 人（2024 年の住基人口/国調人口の比率で割り返したもの・図表 94 パターンD）を、最終的な本市の将来人口推計とする。

図表94　将来人口推計

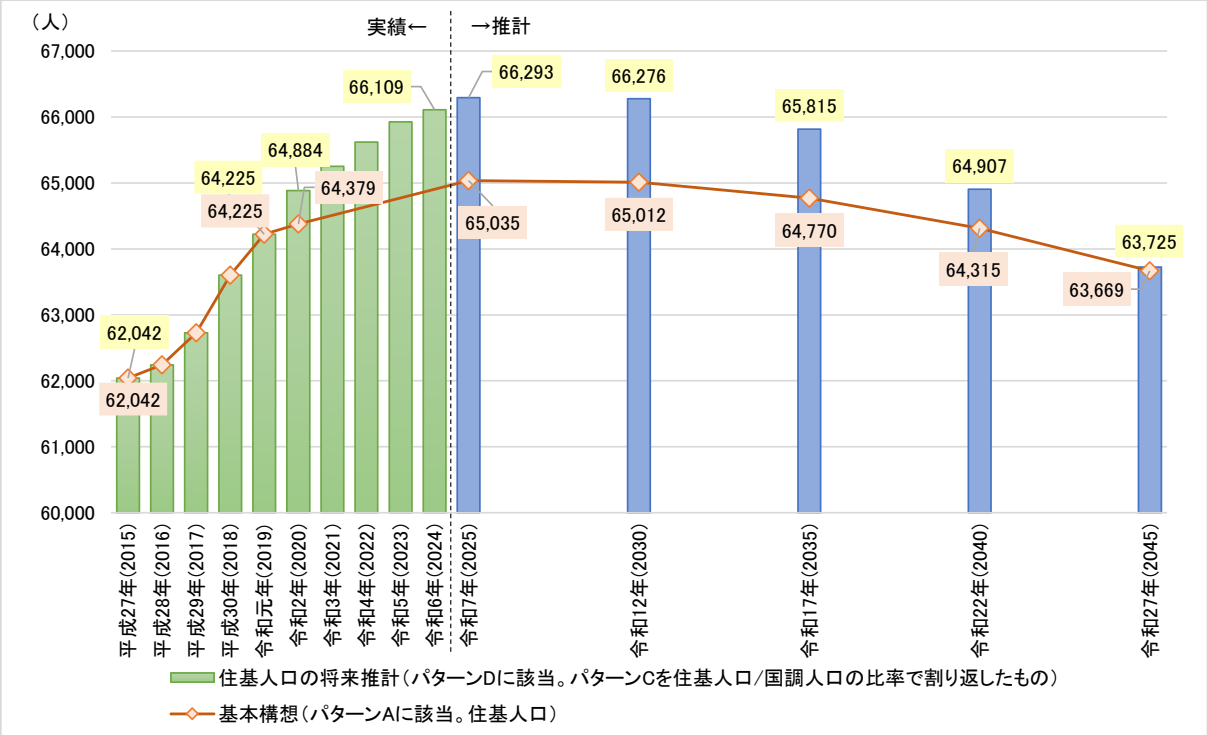


（各年 10 月 1 日人口）

（人）

		区分	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
A	前回推計（基本構想P.35）※計画書には2040年まで掲載	住基人口	61,445	62,042	64,379	65,035	65,012	64,770	64,315	63,669
B	社人研推計（令和5（2023）年推計）	国勢調査人口	60,355	60,952	63,883	65,953	65,996	65,580	64,693	63,532
C	2025年は直近トレンドを元に補正、2030年以降は社人研出生率・移動率	国勢調査人口	60,355	60,952	63,883	65,270	65,253	64,800	63,905	62,742
D	2025年は直近トレンドを元に補正、2030年以降は社人研出生率・移動率（Cを直近（2024年）の国調人口と住基人口の比率で割り返したもの）	住基人口	61,445	62,042	64,884	66,293	66,276	65,815	64,907	63,725

図表95　パターンA（基本構想 P.35 の住基人口）とDの比較



（各年 10 月 1 日人口）

【参考】社人研推計（令和 5（2023）年推計）仮定値

純移動率・男

	2020年→2025年	2025年→2030年	2030年→2035年	2035年→2040年	2040年→2045年	2045年→2050年
0～4歳→5～9歳	0.15543	0.05805	0.06261	0.06725	0.06710	0.06490
5～9歳→10～14歳	0.03090	0.01804	0.01973	0.02097	0.02218	0.02197
10～14歳→15～19歳	-0.02087	-0.01789	-0.03041	-0.02948	-0.02934	-0.02903
15～19歳→20～24歳	-0.02935	-0.05715	-0.07290	-0.10731	-0.10511	-0.10482
20～24歳→25～29歳	0.16942	0.11815	0.14473	0.13013	0.07605	0.08234
25～29歳→30～34歳	0.29811	0.10776	0.11332	0.13075	0.12109	0.08980
30～34歳→35～39歳	0.11343	0.02659	0.05901	0.06157	0.06928	0.06541
35～39歳→40～44歳	0.09976	0.01746	0.01669	0.03213	0.03339	0.03701
40～44歳→45～49歳	0.05270	0.01346	0.00728	0.00651	0.01635	0.01728
45～49歳→50～54歳	0.02921	-0.00492	-0.00706	-0.01139	-0.01188	-0.00504
50～54歳→55～59歳	0.00791	0.01559	0.01309	0.01155	0.00830	0.00851
55～59歳→60～64歳	-0.01870	0.00337	-0.00436	-0.00648	-0.00737	-0.00958
60～64歳→65～69歳	-0.00240	0.00480	0.00728	0.00676	0.00534	0.00495
65～69歳→70～74歳	0.00053	0.00724	0.00909	0.01135	0.00884	0.00763
70～74歳→75～79歳	-0.00222	-0.00584	-0.00440	-0.00330	-0.00169	-0.00424
75～79歳→80～84歳	0.00138	0.00158	-0.00266	0.00104	0.00470	0.00419
80～84歳→85～89歳	-0.01613	-0.00767	-0.00330	-0.01007	-0.00570	-0.00143
85～89歳→90～94歳	-0.00774	0.01103	0.00336	0.01022	0.00103	0.00692
90歳～→95歳～	-0.01191	0.01198	0.00904	0.00366	0.00749	0.00277

純移動率・女

	2020年→2025年	2025年→2030年	2030年→2035年	2035年→2040年	2040年→2045年	2045年→2050年
0～4歳→5～9歳	0.11140	0.04835	0.05305	0.05776	0.05763	0.05534
5～9歳→10～14歳	0.00514	0.00533	0.00889	0.01005	0.01116	0.01095
10～14歳→15～19歳	-0.02901	-0.02142	-0.03040	-0.02808	-0.02805	-0.02787
15～19歳→20～24歳	-0.06166	-0.06094	-0.07678	-0.10606	-0.09858	-0.09826
20～24歳→25～29歳	0.04847	0.07413	0.07276	0.05049	-0.00253	0.01323
25～29歳→30～34歳	0.26026	0.11274	0.10647	0.09958	0.08718	0.05235
30～34歳→35～39歳	0.12400	0.04360	0.08586	0.08337	0.08084	0.07616
35～39歳→40～44歳	0.05360	0.02359	0.02627	0.04383	0.04287	0.04189
40～44歳→45～49歳	0.04848	0.00668	0.00304	0.00401	0.01252	0.01211
45～49歳→50～54歳	0.00292	-0.00401	-0.00511	-0.00750	-0.00669	-0.00097
50～54歳→55～59歳	0.03853	0.02016	0.01544	0.01445	0.01250	0.01381
55～59歳→60～64歳	0.03609	0.01197	0.01154	0.00771	0.00703	0.00569
60～64歳→65～69歳	0.01490	0.00129	0.00333	0.00382	0.00253	0.00201
65～69歳→70～74歳	0.01233	0.00801	0.00867	0.01048	0.01081	0.00819
70～74歳→75～79歳	0.00519	0.00257	0.00477	0.00580	0.00702	0.00620
75～79歳→80～84歳	-0.01468	-0.00629	-0.01144	-0.00867	-0.00716	-0.00553
80～84歳→85～89歳	0.01145	0.00898	0.00847	0.00158	0.00489	0.00718
85～89歳→90～94歳	0.03749	0.02590	0.01813	0.02103	0.01047	0.01562
90歳～→95歳～	0.00284	0.00871	0.00819	0.00241	0.00486	-0.00152

0～4歳性比

2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
105.1	105.1	105.1	105.1	105.1	105.1

第８章　現行計画の評価・検証（令和 4 年度施策評価・令和 6 年度事務事業評価）

１．令和 4 年度　施策評価

総括評価

令和１３年度を目標年次とする袖ケ浦市総合計画では、市が目指す将来の姿である「みんなでつくる　人つどい　緑かがやく　安心のまち　袖ケ浦」を実現するための取組を６つの分野（章）に分けて整理し、各分野に対応した３２施策を基本計画に位置付けました。

基本計画における施策分野の現状と課題、具体的な事務事業の実施結果、指標の達成状況などから、今後の方向性を明確にして、適切な事務事業の見直しや改善、評価結果の次期実施計画への反映に取り組むため、実施計画の２年度目が終了した時点における各施策の評価を行いました。

評価結果は、全３２施策のうち、目標を達成した（十分に達成できる見込みである）（◎評価）が１施策、目標を概ね達成した（達成できる見込みである）（○評価）が２８施策、目標をあまり達成できていない（やや未達成の見込みである）（△評価）が３施策、目標をほとんど達成できていない（達成には程遠い見込みである）（□評価）はなく、各施策において新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、多くの施策において成果がみられました。

今後は、今回の評価において整理した、達成できなかった事項や今後の主な課題について、次期実施計画において、解決、改善に取り組んでまいります。

全体評価　全 32 施策

評 価 結 果	施策数
◎：目標を達成した（十分に達成できる見込みである）	1
○：目標を概ね達成した（達成できる見込みである）	28
△：目標をあまり達成できていない（やや未達成の見込みである）	3
□：目標をほとんど達成できていない（達成には程遠い見込みである）	0

令和４年度　施策評価　評価一覧

章	施策	施策名	一次評価	二次評価
1	1	子育て支援	○	○
1	2	学校教育	○	○
1	3	生涯学習	○	○
1	4	スポーツ	○	○
1	5	文化芸術・文化財	○	○
2	1	健康づくり・医療	○	○
2	2	地域福祉	○	○
2	3	高齢者福祉	○	○
2	4	障がい者福祉	◎	○
3	1	防災	○	○
3	2	防犯・交通安全	○	○
3	3	消防・救急	○	○
3	4	消費生活	○	○
3	5	環境保全	○	○
3	6	廃棄物・リサイクル	○	○
4	1	市街地形成	◎	○
4	2	公園・緑地	○	○
4	3	道路	○	○
4	4	河川	◎	○
4	5	下水道	○	○
4	6	住宅	○	○
4	7	公共交通	○	○
5	1	農林業	○	○
5	2	商工業	○	○
5	3	観光	△	△
5	4	雇用・就業	△	△
6	1	市民活動	△	△
6	2	人権・男女共同参画	○	○
6	3	多文化共生	△	○
6	4	情報共有・発信	◎	○
6	5	行政運営	○	○
6	6	財政運営	◎	◎

（評価区分）

◎：（「施策の方向性」に掲げている）目標を達成した（十分に達成できる見込みである）

○：（「施策の方向性」に掲げている）目標を概ね達成した（達成できる見込みである）

△：（「施策の方向性」に掲げている）目標をあまり達成できていない（やや未達成の見込みである）

□：（「施策の方向性」に掲げている）目標をほとんど達成できていない（達成には程遠い見込みである）

２．令和６年度　事務事業評価

総括評価

１　概要

第２期実施計画は、令和２年度を初年度とし、目標年次を令和１３年度とする袖ケ浦市総合計画に掲げた各施策分野における有効な事業を、令和５年度から令和７年度までの３年間の計画にまとめ、事業の具体的な取組内容を明らかにしています。

事務事業評価事後評価は、実施計画事業の進捗を把握するために、取組の効果や指標の達成度などの観点から客観的に評価し、事務事業の効率化等、今後の取組の方向性を示し、評価結果について次期実施計画及び基本計画へ反映を図るものです。

２　評価方法

第２期実施計画における掲載事業全１５５事業について、令和５年度の事業実績や投入コスト、評価指標など様々な観点から担当課において評価案を作成し、評価案について行政評価委員会、政策会議における意見を反映させて評価を確定しました。評価は、総合評価としてＡ～Ｅで評価し、また、併せて、今後の方向性についても検討しました。

３　評価結果

全体の評価結果は、Ａ評価が１４３事業（92.3%）、Ｂ評価が９事業（5.8%）、Ｃ評価が１事業（0.6%）、Ｅ評価が２事業（1.3%）となっています。

今後の方向性については、拡大・充実が１０事業（6.5%）、継続が１３３事業（85.7%）、改善が１０事業（6.5%）、完了が２事業（1.3%）となっています。

大きな改善が必要な事業はほとんどありませんが、Ｂ評価とした事業が９事業、Ｃ評価とした事業が１事業あるため、事業を進捗させるために、課題の整理や、事業内容や手法について検討し、一層の効果的・効率的な行政運営に取り組んでまいります。

評価　全 155 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
143	9	1	0	2	0

評価の内容

Ａ　：現状どおり事業を進めることが妥当
Ｂ　：事業内容や事業手法に改善を行う余地あり
Ｃ　：事業内容や事業手法の一部見直しが必要
Ｄ　：事業の廃止や休止など、事業のあり方について抜本的に検討する必要あり
Ｅ　：事業の終了

今後の方向性　全 155 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
10	133	10	0	0	0	0	2

今後の方向性の内容

拡大・充実：社会経済情勢などの需要増加等に伴い、内容を拡充する
継続：必要性、有効性、効率性から判断して、改善する余地のない最適な状態であり、今後も現状を維持する
改善：現在の手法等を見直し、改善する
縮小：環境変化や有効性の観点から期待した成果を得られていないため、縮小する又は廃止を検討する
統合：対象や目的など類似性の高い他の事業と統合させ、業務の効率化を図る
廃止：事業開始当初と社会経済情勢等が変化し、事務事業の必要性、有効性が薄れ、又は行政が実施する必要性がなくなったため廃止する
休止：環境変化や有効性の観点から休止する
完了：事業計画終了により完了する

第１章　子育て・教育・文化

第１章の子育て・教育・文化の分野では、子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むためのまちづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 子育て支援施策では、私立保育施設等整備助成事業において、増加する保育ニーズに対応するため、昭和地区及び長浦地区における認可保育所の整備及び開設を支援しました。
- 学校教育施設では、蔵波小学校校舎増築事業において、蔵波小学校に通学する児童数の増加に伴い不足する教室等を整備するため、増築校舎の工事を進め、令和６年３月に完成しました。
- 生涯学習施策では、電子図書館サービス事業において、来館しなくても利用できる電子図書館サービスを提供し、利用の少ない学生や勤労世代の市民に対する読書普及及び図書館利用率の向上を図りました。
- スポーツ施策では、総合型地域スポーツクラブ活性化事業において、ウォーキングフェスタの参加者数が過去最多人数を更新し、地域スポーツ・レクリエーションへの市民参加を促しました。
- 文化芸術・文化財施策では、芸術活動普及事業において、ギャラリートークや体験教室を開催し、文化芸術活動の活性化と振興を図りました。

改善等を必要とした主な取組

- Ｂ評価は３事業となりました。生涯学習施策の放課後子供教室推進事業において、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症に変更されたことから活動を再開したものの、雨天や熱中症警戒アラートが発表されたことにより中止とすることがありました。子どもの安全・安心な活動場所を提供し、異学年活動、地域住民との世代間交流などを実施し、心豊かで健やかな児童を育成するため、運営スタッフや学校と連携し、活動内容を検討してまいります。

評価　全 39 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
35	3	0	0	1	0

今後の方向性　39 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
4	31	3	0	0	0	0	1

第２章　健康・医療・福祉

第２章の健康・医療・福祉の分野では、支え合いと支援のもとで健やかに暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 健康づくり・医療施策では、幼児・児童生徒歯科指導事業において、むし歯や歯周疾患を減少させ、健全な永久歯列の発育を促すため、市内全施設の３歳児、小学校１年生、中学校１年生を対象に歯科指導を実施しました。
- 地域福祉施策では、重層的支援体制整備事業において、地域生活課題を抱えた市民を支えるため、自立相談支援員が積極的なアウトリーチを実施し、関係機関を招集しての重層的支援会議を開催する体制を整備しました。
- 高齢者福祉施策では、介護保険サービス事業所整備事業において、要介護認定者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするため、認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）及び地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（地域密着型特別養護老人ホーム）の施設整備を行い、３月に開所しました。
- 障がい者福祉施策では、相談支援事業において、障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、相談支援事業所等と連携し制度に関する周知を図るとともに、その後の支援につながるよう相談支援を行いました。

改善等を必要とした取組

- Ｂ評価は１事業となりました。高齢者福祉施策の介護人材確保育成支援事業において、市内介護サービス事業所等に従事する介護人材の確保と育成を支援するため、研修受講費用や資格取得費用の補助を実施したものの、新規入職者が少なかったことから就労者及び補助件数が計画値を下回りました。介護人材の確保は全国的な課題となっていることから、先行事例の調査等を行い、新たな人材確保策について検討を進めてまいります。

評価　21 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
19	1	0	0	1	0

今後の方向性　21 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
1	18	1	0	0	0	0	1

第３章　防災・防犯・環境

第３章の防災・防犯・環境の分野では、安全・安心で環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 防災施策では、避難行動要支援者対策事業において、必要に応じ訪問等を行い、個別避難計画の作成を推進し、安否確認や避難支援などの支援体制の充実を図りました。
- 防犯・交通安全施策では、防犯対策推進事業において、市民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図るため、街頭防犯カメラ及び防犯灯の設置及び維持管理を行いました。
- 消防・救急施策では、応急手当啓発事業において、質の高い応急手当を実施し傷病者の社会復帰に繋げるため、応急手当等の知識と技術の啓発活動を実施しました。
- 消費生活施策では、消費生活相談・消費者意識啓発事業において、複雑・多様化する消費者問題に対応するため、消費者教室及び出前講座を開催し、消費者問題に関する啓発活動を行い、被害を未然に防ぐとともに消費者トラブルの早期解決を図りました。
- 環境保全施策では、公用車電気自動車導入事業において、電気自動車及び外部供給機を購入し、温室効果ガスの排出抑制に向けた取組みを推進しました。
- 廃棄物・リサイクル施策では、ごみ資源化推進事業において、雑がみ回収ボックスの設置や子ども服のリユースイベントを実施しました。

改善等を必要とした取組

- Ｂ評価は１事業となりました。防災施策の災害情報等伝達手段確保事業において、災害時の意思決定や情報伝達を円滑化するため、災害対応支援システム及び被災者支援システムの検討を行い、令和６年度に被災者支援システムの導入を決定しました。災害対応支援システムについては、既存のシステムを活用した運用や新システムの導入の有無を含め引き続き検討してまいります。

評価　28 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
27	1	0	0	0	0

今後の方向性　28 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
2	25	1	0	0	0	0	0

第４章　都市形成・都市基盤

第４章の都市形成・都市基盤の分野では、都市と自然が調和した住みやすいまちづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 市街地形成施策では、市街化調整区域土地利用適正誘導事業において、「市街化調整区域における地区計画ガイドライン」の周知を図るため、出前講座を実施しました。
- 公園・緑地施策では、都市公園交流機会創出事業において、４年ぶりに袖ケ浦公園まつり及び百目木公園まつりを開催し、交流人口の拡大を図りました。
- 道路施策では、三箇横田線建設事業において、横田地区の交通利便性の向上と安全な通学路を確保するため、交差点改良工事を実施しました。
- 河川施策では、水防事業において、河川管理者や消防等の水防活動の円滑化や、市民に注意喚起を行い迅速な避難行動を促すため、奈良輪境川に危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置しました。
- 下水道施策では、下水道施設の適正管理において、処理場の維持管理及び総合地震対策を見据えたストックマネジメント全体計画を策定し、事業を推進しました。
- 住宅施策では、木造住宅耐震化促進事業において、想定される大規模地震の発生による建物の損壊・倒壊被害やそれらに伴う近隣地及び周辺住民への二次的被害を抑制するため、耐震相談会を実施し、耐震診断及び耐震改修に対する補助を行いました。
- 公共交通施策では、地域公共交通づくり事業において、市民の移動手段確保のため、「チョイソコがうら」の実証運行について、令和６年度以降の運行地区拡大に向け、袖ケ浦市地域公共交通活性化協議会をはじめとする関係機関と協議を行いました。

評価　26 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
26	0	0	0	0	0

今後の方向性　26 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
2	24	0	0	0	0	0	0

第５章　産　業

第５章の産業の分野では、地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 農林業施策では、新規就農者支援対策事業において県等の関係機関と連携し、新規就農者の受け入れ体制や新規就農者を募る仕組み作りに取り組みました。
- 商工業施策では、商店街魅力向上事業において、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症に変更され、各商店会や商工会が行う市民交流活動が再開されたことに伴いイベントが開催されたほか、４年ぶりにお店めぐりツアーを再開し、地域での交流が盛んとなりにぎやかな商店街となるよう各個店の魅力向上に努めました。また、内房総アートフェス連携事業として「がうらっこ未来 CANvas～そでジョブ＆アート～」を開催しました。
- 観光施策では、観光情報発信事業において、SNS の活用やデジタル版観光ガイドマップによる情報発信に加え、観光特派員「ガウリポ」を開始し、本市の観光の魅力を発信しました。
- 雇用・就業施策では、コワーキングスペース開設支援事業において、コワーキングスペースの整備支援を行い、時代に応じた働く場所を生み出し、遊休不動産の解消に寄与しました。

評価　21 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
21	0	0	0	0	0

今後の方向性　21 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
0	21	0	0	0	0	0	0

第６章　市民活動・行財政

第６章の市民活動・行財政の分野では、みんながつながり参加する持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 市民活動施策では、地域まちづくり協議会支援事業において、令和４年１０月に設立した長浦地区まちづくり協議会の支援を行いました。また、その他の地区における設立に向けた取組みとして各地区の自治連役員等に説明を行うとともに、根形地区においてまちづくり協議会設立に向けた機運を醸成することを目的とした市主催の交流会を開催しました。
- 人権・男女共同参画施策では、男女共同参画推進事業において、性的マイノリティの方々などが持つ「生きづらさ」を緩和し、「一人ひとりが自分らしく生きることができる社会」の実現を目指すため、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を創設しました。
- 多文化共生施策では、多文化共生推進事業において、転入外国人用チラシの配布やホームページの多言語表示により外国人住民にとって暮らしやすい環境となるよう情報提供を行いました。
- 情報共有・発信施策では、シティプロモーション推進事業において、市内周遊型謎解きイベントやシティプロモーション戦略プロジェクトチームによるシティプロモーション動画企画「袖が裏チャレンジ」を実施し、わがまちへの愛着や誇り（シビックプライド）、定住意向の増加の醸成及び本市の認知度向上等を図りました。
- 行政運営施策では、庁舎整備事業において、中庁舎の耐震補強及び大規模改修工事が令和５年６月に完了し、供用を開始しました。
- 財政運営施策では、教育施設等利活用事業において、旧教育センター跡地の利活用について教育委員会の方針を決定しました。

改善等を必要とした主な取組

- Ｂ評価は４事業となりました。市民活動施策の自治振興対策事業では、協働のまちづくり推進計画に基づき、自治会等活性化事業に取り組むとともに、自治連絡協議会や各地区自治連絡会等の自主活動を支援しているものの、転入世帯の自治会加入が進んでいないことや、高齢化等に伴い自治会から退会する世帯が見受けられることにより、自治会加入率は減少しました。自治会の活動を活性化するため、活動事例等を市広報紙やホームページに掲載するなど、自治会活動への理解と加入促進を図り、自治会役員等の負担軽減について検討するとともに、自治会未結成地域における自治会設立の支援を行ってまいります。
- Ｃ評価は１事業となりました。市民活動施策の地域づくり官学連携事業では、大学との連携による取組について、互いに明確な方向性やメリットを見出した上で調整することができなかったことから地域包括連携の協定に至りませんでした。大学との調整により互いに連携するメリットを見出すことのほか、まちづくりに関する方向性を見直してまいります。

評価　20 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
15	4	1	0	0	0

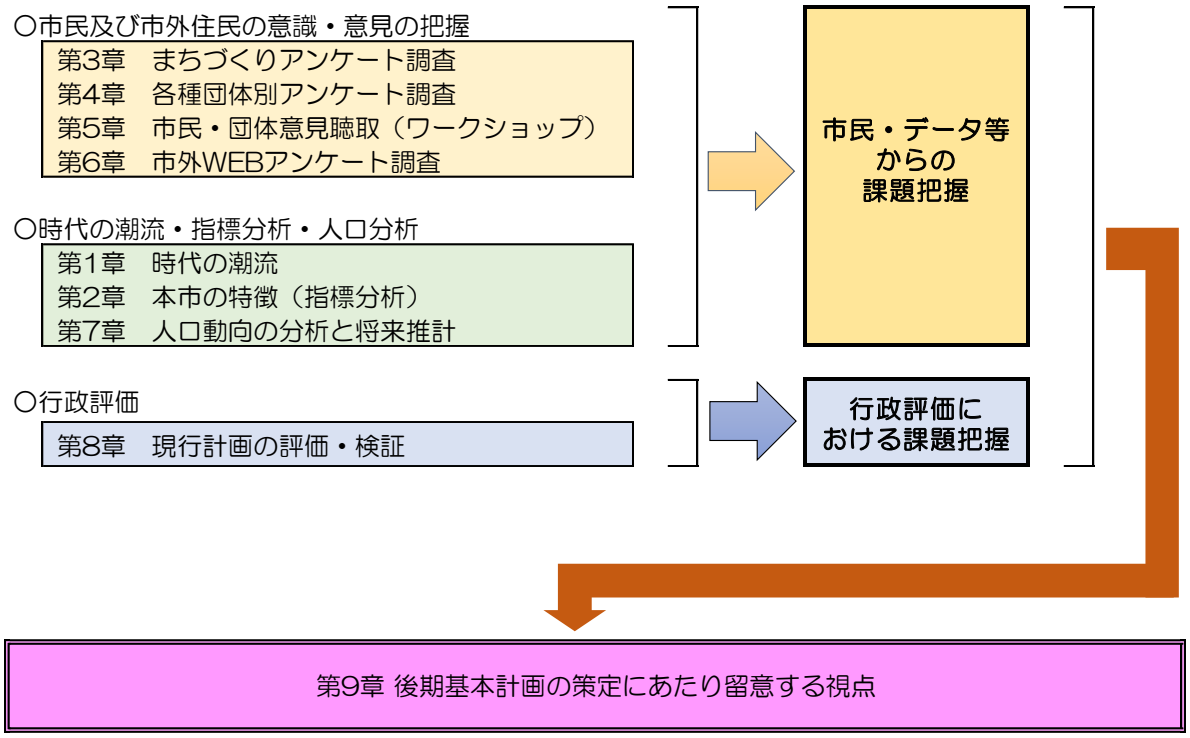
今後の方向性　20 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
1	14	5	0.	0	0	0	0

第９章　後期基本計画の策定にあたり留意する視点

これまで行った基礎調査の各種データ、市民等から示された本市の魅力や課題、提案等を踏まえ、後期基本計画の策定にあたり留意すべき視点を分野別に整理した。

図表96　基礎調査の全体像（再掲）



（１） 子育て・教育・文化

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価		後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ									
					満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問								
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題			●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
1-1	子育て支援	〇一層の少子高齢化の進展 〇ライフスタイルの多様化に伴う未婚率のさらなる上昇 →①②	●合計特殊出生率と15-49歳女性人口1千人あたり出生数が県内3位で、極めて高い水準 ●アクアラインを通じた利便性や地価の相対的な安さ、各種子育て支援施策等が寄与し、子育て世帯に選ばれるまちになっているといえる	●20代後半から30代前半の出生率は高い水準を維持	「子育て支援」 満足度高・重要度高	■安心して子育てができると思う割合は82.6%に上る	◆子どもを健やかに生み育てるために、市に特に期待することは、就学前児童の保護者では、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」が67.7%と最も多く、次いで「小児救急医療体制の充実」が61.6%、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が50.6%。 小学生児童の保護者では、「小児救急医療体制の充実」が 51.7%と最も多く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が 45.3%、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」が42.3%→⑤			●自然豊かで、自然に触れながら子育てできる ●子供医療費助成が助かっている ●LINEで市政情報が入ってくる ▲子育て世代へのコミュニティイベントなどの開催情報が分かりにくい→⑥ ▲子供たちが放課後、土日に遊べるところが少ない→⑤ ▲子育て世代へのコミュニティイベントなどの開催情報をもっと分かりやすく示してほしい→⑥ ▲習い事に関する情報が少ない→⑥ ◆地域の習い事情報の発信→⑥ ◆子どもたちが放課後、土日に遊べるところの確保（公民館の開放など）→⑤ ▲学童に入れない→⑧	●保育所の整備が進んだ ●保育園の待機児童が少ない ●相談窓口が充実している（こども家庭センター） ●子育て支援（医療費等）が手厚い ●公園、遊具が多い ●緑や自然が多い ▲小学生以上の子ども達の第3の居場所（学校、家庭以外）が少ない→⑤ ◆子育ての相談窓口の充実（不登校・いじめ等の専門家の常駐など）→② ◆小学生以上の子どもたちが集まれる場所づくり→⑤		【令和4年度施策評価】 ●結婚や妊娠・出産に向けた支援については、結婚相談事業を実施し、成婚に結び付けることができた。また、不妊治療費助成事業を実施し、不妊治療に取り組みやすい環境整備を図った。 ●子育て世帯の状況に応じた支援については、子育て世代総合サポートセンターにおける児童虐待防止体制の強化や、産前産後ヘルパー事業所の増加など、子育て世帯への支援体制を拡充した。 ●幼児教育・保育サービスの充実については、急増する保育ニーズに対する保育施設整備や、学童保育ニーズの増加に対する放課後児童クラブ整備を推進した。また、保育サービスについて、一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育、病後児保育を実施した。 ●地域における子育て支援施策については、子育て支援センターの運営や、ファミリーサポートセンター事業の推進を図った。 ▲他市と連携した婚活イベントの活動ができなかった。→① ▲私立認可保育所等の整備による保育定員の拡充を図り、待機児童は減少したが解消には至らなかった。→③ ▲身近な場所での交流や、地域での子育て支援について積極的な活動ができなかった。→② ◆コロナ禍により加速している少子化への対策を強化する必要がある。→① ◆待機児童解消に向け、地域別の保育ニーズに応じた供給量の確保を図る必要がある一方で、多様化するニーズに対応するための幼児教育・保育の提供体制を構築する必要がある。→③ 【R6年度事務事業評価】 ●結婚支援事業、不妊治療費等助成事業、子育て世代包括支援事業、子ども医療費助成事業、放課後児童クラブ支援事業、平川地区幼保連携推進事業 、私立保育施設等整備助成事業、多様なニーズに応じた保育サービス事業、保育所入所待ち児童支援事業、 地域子育て支援拠点事業はいずれも評価A。 ◆ファミリーサポートセンター事業は評価B。会員ごとの利用頻度の差が大きく、当初見込んだほど依頼件数に至らなかったことから、援助件数は計画値を下回った。提供会員の確保が課題。→②⑤	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①結婚や妊娠、出産に向けた支援の充実 ②子育て世帯に対する相談体制の充実 ③将来の幼児教育・保育ニーズを見据えた幼児教育・保育施設等の適正な確保 ④子育て世帯の交流促進 ⑤子育て世帯のニーズに応じた多様な支援の実施 ⑥子育て世帯に向けた情報発信の強化 ⑦こどもまんなか社会の実現 ⑧学童の充実 ⑨情操教育の充実
1-2	学校教育	〇一層の少子高齢化の進展 →③ 〇DXの進展 →②	●本市の小学校・中学校の図書館における1人当たりの貸出冊数（年間）は、小学校67.5冊、中学校15.4冊と、全国水準（小学校49冊、中学校9冊）を上回っており、学校図書館から本を借りて読書や学習を行っている児童・生徒が多い。 ●令和6年度における千葉県の優良・優秀学校図書館認定事業において、市内の全小中学校の図書館が優秀学校図書館に認定されている。		「学校教育」 満足度高・重要度高 「幼児教育・保育サービス」 満足度高・重要度高	■家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると思う割合は76.8%に上る				●以前住んでいたところと比べて学校が広い！ ◆学校の洋式トイレの増設 ⇒③ ▲通学路が危ない→④ ▲将来の人口減少による幼稚園閉園や小学校の人数過少等の不安→③ ◆通学路整備（ガードレールの設置等）→④ ◆自然教育の強化（生きる力の涵養）、農業体験の充実	●教育の支援員が充実している（学校の先生方、保育士さん） ●児童・生徒1人1台タブレットを配布している点 ●オンラインで自宅からも授業に参加出来る点 ▲数員が足りない→① ▲不登校支援が少ない(適応指導教室、フリースクール)→① ◆教育DXの更なる推進→② ◆スマホやタブレットなどに関する情報モラル学習の実施→②		【令和4年度施策評価】 ●生きる力を育む学校教育の推進については、きめ細かな学習指導を行うことができる適正な教職員の配置、教職員の指導力の向上、学校体育の充実を図るための取組、教科学習に情報教育機器の積極的活用、児童生徒の情報活用能力の育成、外国語指導助手等の活用による児童生徒に英語でのコミュニケーションができる十分な機会の提供、特別な配慮を必要とする児童生徒への特別支援教育の充実、児童生徒やその対応に悩む保護者が相談できる体制の整備、不登校等の児童生徒への教育支援教室など実態に応じた効果的な支援、スクールカウンセラーの全校配置について取り組むことができた。 ●開かれた学校づくりの推進については、学校ボランティア制度の啓発、学校に関する情報を地域に積極的な発信を行うことができた。 ●教育環境の整備については、普通教室の確保や教育環境の充実、利活用方針の検討等の対策、児童生徒の安全を確保するための取組の推進、校務支援システムの円滑な運用を図ることができた。 ▲自然体験活動の充実、学校支援ボランティア活動及び各校PTA活動を行うことができなかった。→① ◆市独自で雇用する基礎学力向上支援教員や特別支援教員については、個に応じた支援がより求められている情勢を踏まえ、現状を堅持し、さらに大規模校に増員するなど、学校規模に応じた配置の拡大が必要である。→① 【R6年度事務事業評価】 ●小中学校基礎学力向上支援教員配置事業 、小中学校特別支援教員活用事業、小中学校情報教育推進事業、小中学校読書教育推進事業、小学校スクールカウンセラー活用事業、学校ICT教育支援事業、外国語教育支援事業、教育相談事業、教育支援教室運営事業、学校体育推進事業、子どもを育む、学校・家庭・地域連携事業、昭和中学校校舎増築事業、小中学校老朽化対策事業、学校環境整備事業、児童・生徒指導センター運営事業は評価A。 ●蔵波小学校校舎増築事業は完了 ◆小中学校体験活動推進事業は評価B。市内すべての小中学校で、実施することができたが、小学校では、子供の心身への負担、個別対応の増加、同じ宿泊施設を利用した2泊3日体験プログラムの立案の難しさが課題	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①きめ細やかな教育体制の確保（教員確保、支援員の拡充、不登校支援の充実等） ②教育現場での情報端末の活用推進 ③学校施設等の整備・管理 ④通学路の安全確保

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
1-3	生涯学習		●人口1万人あたり公民館数は0.98館（県内16位）と比較的高水準 ●人口1万人あたり図書館数は0.49館（県内9位）で高位。周辺市の平均（0.14館）を大幅に上回っている		「青年健全育成」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目 「生涯学習」 満足度低・重要度低	■身近に、年代に応じて学習ができる場や機会があると思う割合は51.5%。R3年度（46.0%）に比べ改善している ■地域で青少年が健やかに育っていると思う割合は76.0%に上る	●自分の子どもが読書を『好き』と回答した親の割合は、小学生6年生の親で73%、中学3年生の親で72%に上る			●様々なサークルがある（小学生からお年寄りまで） ●公民館の習い事がたくさんある ●図書館が充実している	●公民館の講座が充実している ●図書館が充実している（各地区にある） ●生涯学習課（文化班）と身近な関係づくりができている		【令和4年度施策評価】 ●生涯学習の充実について、新型コロナウイルスの影響で各種事業の多くが中止や延期、縮小となるなか、開催方法を工夫しながら、主に、市民三学大学講座のオンライン開催、公民館等の地域人材育成講座をはじめ各種講座や、図書館の読書普及事業などを開催することができた ●社会教育推進員養成講座やおはなし会ボランティア養成講座を開催するなど、地域における生涯学習の担い手となるボランティアの養成を推進することができた ●社会教育施設の環境整備では、年に1度の利用者懇談会を開き利用者の意向や要望の把握に努めるとともに、必要に応じて施設修繕・改修を行った。また、長浦公民館多目的ホール吊天井等耐震対策工事を行った。 ●青少年健全育成の推進について、市内各地区において地区住民会議を主体とした愛のパトロールを実施し、青少年が問題行動に関わることの未然防止の一助となった ▲青少年健全育成の推進においては、新型コロナウイルスの影響で、放課後子供教室が年間を通してほぼ開催することができなかったほか、わらべうたであそぼうなどの事業が中止となった→④ ◆コロナ禍における生涯学習の充実のためには、新型コロナウイルス感染防止対策を講じるとともに状況に応じてオンラインとオフラインを使い分けるなどの工夫を凝らして事業を進める必要がある→① ◆ボランティアについては高齢化、固定化の傾向が見られることから、新たな人材の確保が必要である→② ◆放課後子供教室については、学校や地域の感染状況を把握し、より多くの参加者の遊び場や居場所を提供できるように、長浦小、昭和小、根形小各校で月1回以上開催できるように準備、計画していく→① ◆地域人材育成講座は、受講者及び地域住民の主体的な学習活動につなげるための支援が必要である→① ◆計画的に社会教育施設の安全対策及び災害時の避難所としての機能強化を図る必要がある 【R6年度事務事業評価】 ●市民三学大学講座、生涯学習ボランティア促進事業、読書普及事業 、電子図書館サービス事業は評価A ◆放課後子供教室推進事業は評価B。昨年度より多く実施することができたが、雨天や熱中症警戒アラートの発令により開催を中止したこともあった。→①④	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①ニーズに合った生涯学習機会の提供 ②生涯学習活動団体の支援 ③社会教育施設の適正管理 ④青少年の健全育成の推進
1-4	スポーツ		●総合運動場や臨海スポーツセンターなど大規模なスポーツ施設の立地 ●カメリアヒルズカントリークラブなど質の高い民間ゴルフ場の立地 ●地元でのちばアクアラインマラソンの開催 ▲施設の老朽化が進んでいる→③		「スポーツ・レクリエーション」 満足度低・重要度低	■身近に、スポーツやレクリエーションをする場や機会があると思う割合は61.1%					●スポーツ施設が地域的にバランス良く設けられている ●スポーツ施設の使用料が安い・自由度も高い ▲サークル活動のアクセス方法がわかりにくい→① ▲スポーツ施設全体が老朽化している→③ ◆スポーツ施設の適正管理→③		【令和4年度施策評価】 ●地域スポーツ・レクリエーション活動の推進については、市内5地区に設立されている総合型地域スポーツクラブの活動を支援した ●スポーツ・レクリエーション施設の環境整備については、市内の社会体育施設について、適正な維持管理を行った ▲市内の社会体育施設の計画的な改修・整備が実施できなかった→③ ▲スポーツツーリズムについて、計画どおりにイベント等を開催することができなかった ◆臨海スポーツセンターのあり方を検討する必要がある ◆コロナ禍でも実施できる大会の開催方法等を検討する必要がある 【R6年度事務事業評価】 ●総合型地域スポーツクラブ活性化事業、スポーツツーリズム推進事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①スポーツ団体の育成・活動支援 ②各種スポーツイベントの開催 ③スポーツ施設の適正管理

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
1-5	文化芸術・文化財				「文化芸術・文化財」 満足度低・重要度低	■この1年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をした割合は39.1%にとどまる。ただし、R3年度（14.9%）に比べ大幅に改善している→① ■袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っている割合は、45.5%				▲美術館がない（アートやデザインが弱い）→①	●遺跡がたくさんある ●国史跡がある（山野貝塚） ●興味深い歴史がある ●史跡を活用したイベントのお手伝いをしながら、保護活動に参加できる→③ ▲国史跡山野貝塚を周知しきれていない→② ▲文化に対する関心が低いように感じる→①		【令和4年度施策評価】 ●文化芸術活動の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業があるが、1回あたりの人数を減らすなど対策を講じ、学校音楽鑑賞、袖ケ浦美術展を実施した ●郷土の歴史と文化財の保存・活用については、山野貝塚は、史跡指定地の公有地化を進めるとともに、発掘調査及び現地説明会等の活用事業の実施、さらにはボランティア組織を結成した ●郷土博物館においては、年4回の企画展や、常設展示を部分更新する等、資料の調査研究成果の公開や情報を提供することができたまた、市民学芸員養成講座やフォローアップ研修を実施した ▲袖ケ浦美術展については、新たな試みである体験教室が計画どおり進まず、市民が芸術に触れる機会を広げられなかった→① ▲博物館ボランティアについては、新たな人材の養成と確保が出来たが、文化財等を活用した新たな事業展開までは広がらなかった→③ ◆文化芸術活動の推進については、市民への文化芸術提供機会について、手法等の検討が必要である→① ◆郷土の歴史と文化財の保存・活用については、山野貝塚の未指定地の指定による史跡の確実な保存と整備基本計画に基づく山野貝塚の整備の実施及び持続可能な維持管理による公開活用を進める必要がある→② ◆市民学芸員の参加意識の向上等に向けた研修の実施や博物館ボランティアが参加できる博物館事業の見直しが必要である→③ 【R6年度事務事業評価】 ●芸術活動普及事業、山野貝塚保存活用事業、総合的な文化財の保存・活用事業、地域資料管理活用事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①文化芸術活動の推進及び育成（イベント開催支援や体験教室の開催等） ②文化財の保存・活用 ③市民ボランティアの育成と主体的な活動の推進

（２） 健康・医療・福祉

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
					満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問									
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題			●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
2-1	**健康づくり・医療**	〇一層の少子高齢化の進展→①②	●特定健康診断受診率が2013年から2019年まで50%以上を維持しており、周辺市と比較して高水準（2020年は41.47%で木更津市に次いで2位） ▲人口１万人あたり病院数は0.2施設（県内47位）、同病院病床数は64.0床（県内38位）で低位となっている→⑦		「健康づくり・医療」満足度高・重要度高	■安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思う割合は、57.9% ▼袖ケ浦市に住み続けたくない理由として、「病院・医療・福祉施設（サービス）が整っていないから（27.3%）」が3位→⑦	●ガウランドが健康づくりに役立っているかについて、『役立っている』とする割合が92.7%に上る（R5利用者アンケート）			●ウォーキングする場所が多い ●ガウランドなどの運動施設がいい ●がん検診などが手厚い ▲ガウランドの利用時間が短い→① ▲小児科が少ない、産婦人科がない→⑦	●医療機関がみな優しく対応。市との関係も良好 ●かかりつけ医、かかりつけ薬局の意識が高い ▲地域により医療資源の偏りがある→⑦ ▲産婦人科がない、小児医療が不足している→⑦ ▲大規模災害時の医療体制が組まれていない→⑥ ◆看護師の定着支援→⑤ ◆小児科専門医の招へい→⑤ ◆在宅医療の体制の強化→⑦ ◆災害時の医療体制の整備→⑥		【令和4年度施策評価】 ●健康相談や訪問指導等感染症対策をとりながら市民の健康づくりに取り組むことができた ●また、健康づくり支援センターにおいて運動動画の配信を行い、自宅でできる健康づくりの取組を推進した ●休日当番医制度や夜間診療所について、医療体制の確保に努めたまた、「救急安心電話相談」などの相談窓口の周知を図った ▲国民健康保険特定健康診査受診率が目標値を達成できなかった→② ▲また、市内における産婦人科の医療機関開設の誘致ができなかった→⑥ ◆健康づくり支援センターについて、公共類似施設の臨海スポーツセンターや民間類似施設（スポーツクラブ、温泉施設）との関係を整理し、施設の統廃合を含めた施設のあり方を検討する→① ◆少子高齢化の状況、医師の働き方改革などを考慮し、地域の医療体制について再検討する→⑥ 【R6年度事務事業評価】 ●健康づくり推進事業、幼児・児童生徒歯科指導事業、特定健康診査等事業・特定保健指導事業、地域医療体制の確保は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①様々な世代への健康習慣の定着や継続支援 ②疾病の予防・早期発見・早期治療に向けた取組の充実 ③感染症予防対策の充実 ④医療人材の確保 ⑤災害時における医療体制の整備（医療機関との連携） ⑥医療提供体制の維持・充実**
2-2	**地域福祉**		●高齢夫婦世帯数比率が12.8%（県内偏差値：55.2）、高齢単身者世帯数比率が8.9%（同61.7）と県内でも低い（高偏差値） ●要介護（要支援）認定比率が15.6%（県内偏差値：56.8）と低水準（高偏差値） ●65歳以上人口1万人あたり認知症サポーター数は、県内4位、周辺市1位と高水準		「地域福祉」満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	■地域で支え合いながら安心して暮らせていると思う割合は、61.4%					▲孤独老人（あるいは孤独家族）への見守りが未発達→①②		【令和4年度施策評価】 ●サロンの開設支援等を行い、地域の連携・交流の場である拠点を整備することができたほか、地区社会福祉協議会やボランティアセンター活動を支援することができた ●また、生活困窮者が生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことができた加えて、生活困窮世帯の子どもが将来自立した生活ができるよう学習支援を行った ▲地域の連携・交流の場である拠点（サロン）の整備地域は広がったが、開催数や参加者数は減少している→① ▲ボランティア参加延べ人数も減少している→④ ◆地域住民の複雑化・複合化したニーズに対応するため、属性ごとの既存事業の隙間を埋める包括的な支援体制を構築する必要性が高まっている→② 【R6年度事務事業評価】 ●重層的支援体制整備事業、成年後見制度利用促進体制整備推進事業、身近な交流の場づくり推進事業、生活困窮者自立支援事業、学習・生活支援事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①地域の連携・交流促進 ②重層的支援等の体制整備 ③地区社会福祉協議会の活動支援 ④ボランティアの育成・活動支援**

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
2-3	高齢者福祉		●65歳以上人口1万人あたり認知症サポーター数は、県内4位、周辺市1位と高水準	▲本市の老年人口は上昇が続き、2050年には33.7%になると見込まれている（社人研推計） ▲2020年には、段階の世代が60歳代後半から70歳代になっており、今後も後期高齢者の割合がさらに増加することが見込まれる。 →①②③④⑤	「高齢者福祉」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	▼袖ケ浦市に住み続けたくない理由として、「病院・医療・福祉施設（サービス）が整っていないから（27.3%）」が3位 →⑤	◆介護に関して今後市に望むこと（第2号被保険者）は、「家族介護負担軽減のための施策・事業の充実」が6割台で第1位を占める。以下、「制度のしくみや利用方法の情報提供の充実」、「ケアマネジャーや事業者に関する情報提供の充実」、「低所得者への負担軽減対策」などが続く→⑤ ◆ 今後、力を入れてほしい高齢者施策（第2号被保険者）は、「介護している家族への支援」が5割台で第1位を占める。以下、「ひとり暮らし高齢者への支援」、「相互に助け合える地域づくりの支援」などが続く→③⑤ ◆認知症について今後力を入れてほしい取り組み（第2号被保険者）は、「認知症が疑われる人やその家族のための相談対応」が6割強で第1位を占める。以下、「認知症や疑いのある人を受診につなげる支援」、「認知症に関する正しい知識の普及」、「認知症の予防に関する普及」などが続く→③⑤ ◆介護事業者の運営上の問題は、「新規職員の確保が難しい」が最も多く46.0%→④				●百歳体操が盛んに行われている ●介護に関する情報をまとめた冊子があり、情報が分かりやすい ●ホームページで公開されていることが多く便利 ●市職員の皆様の対応がよい ●認知症の人に対する対応が進んでいる（認知症対策チーム） ●介護予防事業がたくさん実施されている ▲高齢者向け施策が少ない ▲人材不足（職員、専門職、ボランティア） ◆認知症になっても地域で暮らせるよう地域の人への理解促進→③ ◆相談員等の専門職員の増加→④ ◆介護予防事業の継続、推進→①		【令和4年度施策評価】 ●介護予防の推進については、一般介護予防事業において、住民主体の活動であるいきいき百歳体操の活動の普及、活動支援を行うことにより63団体が活動しており、介護予防の取組を推進することができた ●住み慣れた地域での生活支援については、計画していた小規模多機能型居宅介護事業所（1施設）については応募事業者がなく整備することはできなかったが、看護小規模多機能型居宅介護事業所（1施設）を令和3年4月に開設することができた ●認知症対応型共同生活介護（1施設）と地域密着型介護老人福祉施設（1施設）については、公募により整備運営事業者を決定し、令和5年度中の開設に向けて整備を進めている ●令和2年度から介護職員初任者研修・主任介護支援専門員研修の受講費用と介護支援専門員資格の取得費用に対する補助制度を開始した ●新型コロナウイルス感染症の影響（補助対象となる研修の中止、介護施設における感染対策の強化等）により計画値には届かなかったが、介護人材の確保・定着を図ることができた ●世代間支え合い家族支援事業により、高齢者と子等が世代間でお互いに支え合いながら生活する多世代家族の形成を促進し、家族の絆の再生を図ることができた ●高齢者移動支援事業により、居宅で生活する移動手段を持っていない高齢者世帯に対しタクシー料金を助成することで移動を支援することができた ●地域で支え合う仕組みづくりの推進については、生活支援体制整備事業により、住民主体の支援活動団体数を増やすことができた ▲地域包括支援センターの機能強化については、令和3年度から令和7年度の強化方針を定め、令和4年度に開設するため長浦地区の事業者選定を行ったが選定に至らず達成できなかった→② ◆いきいき百歳体操について、活動自体が浸透してきた反面参加者数は頭打ちとなっており、今後、活動団体数の増加は緩やかになるものと予想される→① ◆地域包括支援センターの体制強化については、当初の方針を一部変更し引き続き取り組む→① ◆新型コロナウイルス感染症の影響により自粛した各種活動等の再開を図る必要がある→①②③④⑤ 【R6年度事務事業評価】 ●一般介護予防事業、介護保険サービス事業所整備事業、介護人材確保育成支援事業、高齢者移動支援事業、地域包括支援センターの体制強化、生活支援体制整備事業、高齢者見守りネットワーク事業、認知症サポーター等養成事業、シルバー人材センター支援事業は評価A ●介護保険サービス事業所整備事業は完了 ◆介護人材確保育成支援事業は評価B。令和2年度から本事業を実施しているところであるが、その実績は芳しくなく、新規入職者が少ないことが要因と考えられる。そのため、先行事例の調査等を行い、新たな人材確保策について検討を進める必要がある。→④	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①介護予防の推進 ②地域包括支援センターにおける相談体制の充実 ③地域の見守り・支え合い体制の構築 ④介護人材の確保・定着に向けた支援（費用助成等） ⑤介護保険サービスの充実
2-4	障がい者福祉					■車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思う割合は、24.3%にとどまる→⑥ ■障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思う割合は、31.0%にとどまる→①②③④⑤⑥	◆障がい者向けの求めるサービスでは、移動支援に関するサービスの充実を求める声が多い→② ◆障がい者に対する虐待をなくすために必要なことは、「養護者が休息や息抜きできる機会」（60.2%）が最も多く、次いで「養護者の不安や不満の相談窓口」（59.2%）、「近隣や親せきなど周囲の人の見守り」（57.1%）、「養護者の苦労などを気軽に話せる場」（53.6%）などが多い→①③				●障がい福祉サービス事業所が比較的多い ●障がい者の地域生活を支援する事業所が比較的多い ▲障がい者の相談支援専門員が足りない。サービスを受けられない人がいる ▲障がい者の高齢化、重度化に対応できていない→②		【令和4年度施策評価】 ●相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した ●障がい児等の自立を支援するため、早期診断や療育支援を実施した ●障がいのある人に対して、日常生活をより円滑に行うために必要となる各種日常生活用具の給付等を行った ●成年後見制度に関する相談窓口の設置や市民後見人の育成などを行う協議会の運営等を行う、地域連携の中核となる機関を設置した ▲障がい児等に対する支援ニーズが急増しており、希望者が十分な療育等を受けることができない状況となっている旨④ ◆今後も障害福祉サービスの利用者数の増加とともに、支援ニーズの多様化が想定されることから、支援ニーズや課題に適切に対応するため、基幹相談支援センターを中核とした地域の相談支援体制の整備やサービスの提供体制の整備を図る必要がある→① ◆低年齢期に療育支援を受けることは療育の効果が高まるとされており、将来的な重度化の防止や支援ニーズの低減に寄与すると考えられることから、障がい児等に対する療育、相談支援体制の充実を図る必要がある→①④ 【R6年度事務事業評価】 ●相談支援事業、発達障害児等療育支援事業、日常生活用具給付等事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①障がい者の相談支援の充実 ②障がい者の生活支援の充実 ③障がいに対する理解促進・権利擁護 ④障がい児支援の充実（療育支援等） ⑤障がい者の就労支援 ⑥まちのバリアフリー化の推進

（３） 防災・防犯・環境

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
3-1	防災	〇自然災害の激甚化、首都直下型地震・南海トラフ地震の発生懸念→①②③④⑤⑥			「防災」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	■災害に強いまちづくりができていると思う割合は、34.2%にとどまる。ただし、R3年度（4.5%）に比べ改善している→①②③④⑤ ■あなたのご家庭では、日ごろから災害に備えている割合は、63.8% ■災害時の避難所や避難場所を知っている割合は、87.3%に上る	障がい者アンケートでは、「火事や地震などの災害時に、ひとりで避難できない」との回答が32.7%に上る→①			▲海側は地震の時に津波が不安→② ▲水害が不安→② ◆地震に強い水道管の完備→4-5下水道	●発災時に対応する資機材等が充実している ▲災害ボランティア協力への意識や、災害対策コーディネーターの市民の意識が低い→⑥ ▲地区により防災意識の差が大きい→⑥ ▲高齢者、要支援者の情報が不明→① ◆災害ボランティア、災害対策コーディネーターの活用→⑥ ◆避難所の充実（パーテーション、段ボールベッド）→② ▲地域に住む障がい者に対する大規模災害時の対応が皆無→①		【令和4年度施策評価】 ●固定系防災行政無線のデジタル化更新や、移動系防災行政無線をIP無線に更新するなど、災害発生時に適切な情報発信ができるような体制を整えた ●洪水、地震、津波等の各ハザードマップを一冊にまとめた総合防災マップを作成し、市内全世帯に配布することで、市民の防災意識の高揚を図ることができた ●自主防災組織の新規設立を促し、78組織が結成済となるとともに、活動の中心となる人材を育成するため、災害対策コーディネーター養成講座を実施し、141名のコーディネーターを養成した ●防災訓練の実施方法について、災害対策本部の運営訓練と各地域避難所運営訓練を同時に開催するなど、より実践的な訓練方法の見直しを図った ●災害時要援護者台帳について、適宜更新を行い、地域の関係者で名簿を共有し、避難支援等ができる体制づくりに努めたまた、各種協定の締結を推進し、防災関係機関や企業等との相互応援体制を構築した ▲災害時要援護者登録台帳の登録者は839名となっており、警察署、消防署、民生委員、自主防災組織、市政協力員に対して名簿の提供を行っているが、要援護者の支援計画における支援者等の登録者は203名にとどまっている→① ◆令和3年5月の災害対策基本法の一部改正により、避難の実効性の確保に課題があることなどから、避難行動の要支援者について、市町村に個別避難計画の作成が努力義務化され、ハザードマップ上で危険な区域に住む方、重度の要介護や障がいの重い方など優先度が高いと判断される者について、概ね5年程度で個別避難計画の作成に取り組むよう国から指針が示された→① ◆今後、地域の実情を踏まえながら、優先度が高い方から個別避難計画の作成に取り組んでいく→① 【令和6年度事務事業評価】 ●震災対策備蓄倉庫管理事業、宅地耐震化推進事業、地域防災力向上事業、防災訓練事業、避難行動要支援者対策事業は評価A ◆災害情報等伝達手段確保事業は評価B。被災者支援システムについて検討を行い、次年度に導入する予定である。県防災無線再整備については千葉県が工事を令和6年度に繰り越したため、令和6年度中に更新する予定である。→③	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①避難行動要支援者の避難体制の整備・構築 ②発災時におけるスムーズな避難誘導、避難所運営に向けた庁内体制の整備、備蓄の実施 ③国・県・他市町村との連携強化 ④民間企業との連携強化 ⑤地元企業の災害時の事業継続体制の構築（BCP）支援 ⑥自助・共助の意識の醸成（防災・減災に向けた住民の意識啓発、災害ボランティア・災害対策コーディネーターの確保・育成等）
3-2	防犯・交通安全		●人口1千人あたりの犯罪発生件数は、5.7件（県内偏差値：51.4）と県内では上位レベル。周辺市と比べても発生件数は少ない ▲人口1千人あたり交通事故発生件数が2.4件（県内偏差値48.1）、交通事故死傷者数が3.2人（同46.5）と県内で高位（低偏差値）→④⑤⑥		「防犯」 満足度高・重要度高 「交通安全」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	■住んでいる地域の治安が良いと思う割合は、80.8%に上る。R3年度（4.9%）に比べ改善している			〇新しい居住地を選ぶ際に重視することは、「治安のよさ（38.9%）」が2位	●治安が良い	●防犯灯や防犯カメラが少しずつ増えている ●交差点での児童の見守りがされていて安全 ▲依然として防犯カメラが少ない→② ▲団体メンバーの高齢化、ボランティアの減少→③		【令和4年度施策評価】 ●防犯対策の推進について、防犯灯や街頭防犯カメラを整備するとともに、生活安全メール等により的確かつ迅速に防犯情報を周知することで、犯罪発生を抑止できた ●地域における防犯体制を強化するため、自主防犯組織に対し、リーダー研修会の開催や防犯装備品の貸与などにより、防犯活動の支援を行った ●交通安全の推進について、警察や交通安全協会などの関係機関と連携し、幼児から高齢者を対象に交通安全教室や啓発活動を実施するとともに、高齢者の交通事故防止対策として運転免許証の自主返納者への助成を行った ▲自主防犯組織の設立数については、令和3年度末で42団体となり、前年度末と比較して2団体減少した→③ロ ◆前述のとおり、防犯活動を担う人材の確保が課題となっている→③ ◆市内における刑法犯認知件数は年々減少しているものの、女性や子どもを標的とした前兆事案は度々発生しているため、今後も引き続き防犯対策の推進及び地域防犯体制の強化により、犯罪の発生抑止を図る必要がある→① ◆交通安全についても、交通安全協会などボランティアの人材確保が課題となっているまた、高齢者の交通事故防止については、運転免許証自主返納助成金事業の継続などを含めた効果的対策の検討が必要である→④⑤⑥ 【令和6年度事務事業評価】 ●防犯対策推進事業 、地域防犯体制強化事業、交通安全対策事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①防犯意識の醸成に向けた啓発・情報提供 ②防犯カメラの計画的な設置・維持管理 ③自主防犯組織の活動・人材確保支援 ④交通安全教室の開催 ⑤交通安全団体の活動・人材確保支援 ⑥高齢者の免許証自主返納の促進

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
3-3	消防・救急		●人口1千人あたりの犯罪発生件数は、5.7件（県内偏差値：51.4）で、周辺市中2番目に少ない。 ●人口1万人あたり火災発生件数は、4.2件と県内平均（5.8件）を下回っている（高偏差値）		「消防・救急」 満足度高・重要度高	■消防・救急体制に安心感をもっている割合は、78.9%に上る。R3年度（7.7%）に比べ改善している ■あなたの家庭では、火災への備えをしている割合は、62.9%。	●住宅火災報知器の設置率は上昇傾向				▲消防団員の減少（若年層）→③ ▲消防団員の高齢化。活動年数が長期になってしまっている→③		【令和4年度施策評価】 ●常備消防車両を計画的に更新することができたまた、令和元年の台風被害があった第14分団詰所を計画どおりに移転のうえ建設し、消防団の活動拠点を整備することができた ●市民等への救命講習については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や規模を縮小することがあったものの、感染防止対策を講じながら講習を実施することができた ●火災予防啓発事業において、出火率の引き下げや住宅用火災警報器の設置率の向上を達成することができた ●消防団協力事業所を30事業所に拡大することができ、また消防団員の労苦に報いるため新たに出動報酬を創設し、処遇改善を図ることができた ▲非常備車両を更新することができなかった。また、消防団員数が年々減少しており、消防団員の確保ができなかった→①③ ◆消防団の存在意義は社会環境が変化しても不変であり、引き続き、消防団員の確保について、市民に存在意義や役割を十分に理解してもらい、入団促進に努める→③ ◆消防庁舎整備検討については、庁内の袖ケ浦市統合消防庁舎整備検討委員会で進捗状況を説明してきた→② ◆地域の実情や行政改革等の視点を踏まえつつ、現消防力を維持できるよう総合的に判断し、2署体制で検討を進める→② ◆今後建設地を選定する上で、統合消防庁舎の規模の見直しや概算建設費の算定等の調査を行う→② ◆消防の広域化について、本市は小規模消防本部に分類されており、県や近隣市等と協議を重ねながら、様々な市との組み合わせについて課題分析を行い、検討を進める→④ 【令和6年度事務事業評価】 ●（仮称）袖ケ浦市統合消防庁舎建設事業、無線県域及び共同指令センター運営事業、常備消防車両整備事業、非常備消防車両整備事業、消防団詰所建設事業、応急手当啓発事業、火災予防啓発事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①消防車両の計画的な更新 ②消防庁舎のあり方の検討 ③消防団の活動・人材確保支援 ④消防の広域化の検討 ⑤防火意識の普及・啓発（住宅用火災報知器の設置促進、消防訓練等） ⑥救急車両・資材の計画的な整備 ⑦救急救命士の確保支援 ⑧適正な救急利用に向けた啓発
3-4	消費生活				「消費生活」 満足度高・重要度高	■商品やサービスを購入する際、詐欺などのトラブルにあわないよう日ごろから心掛けている割合は、94.2%に上る ■安心して商品やサービスを購入することができていると思う割合は、81.1%に上る							【令和4年度施策評価】 ●消費者保護の推進では、平成24年度に消費生活センターを開設して以降、消費生活相談員による適切な指導・助言等により問題の解決を図ってきた ●随時手口が変わる消費者被害に対して対応するため、情報収集や相談員の研修参加等により、相談体制の強化を図った ●消費者意識の向上では、年間を通して随時実施する消費者教室や出前講座により、消費生活に関する啓発活動を公民館等と共催し様々な地域で行った ◆有資格者である消費生活相談員は、市町村単位で人材確保することが難しく、待遇改善等も検討しながら定員を維持できるよう確保する必要がある→① ◆相談内容も巧妙・複雑化していることから対応時間や負担も増加しており、相談に伴う書類整理等の事務のほか、積極的に啓発活動を実施することも困難となりつつあるため、安定した体制を整備する必要がある→①③ ◆加えて成人年齢が18歳となることから、若い世代への啓発がより重要になってくる→③ 【令和6年度事務事業評価】 ●消費生活相談・消費者意識啓発事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①相談体制の充実（受付手法の多様化、相談員の確保・スキルアップ） ②専門家（弁護士等）との連携体制の構築 ③消費者教室の開催・情報提供の充実

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
3-5	環境保全	〇さらなる気候変動に伴う地球温暖化対策推進機運の高まり →②③			「環境保全」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目 「環境美化」 満足度高・重要度高	■空気や水がきれいだと感じる割合は、58.8% ■市内にごみがなく、まちがきれいだと感じる割合は、64.7%。R3年度（8.7%）に比べ改善している ■日ごろから省エネなど環境に配慮した行動に取り組んでいるは、79.8%に上る ▼袖ケ浦市に住み続けたい理由の首位は、「自然環境に恵まれているから（30.5%）	◆地球温暖化防止や気候変動の影響への適応のために、行政が優先的に取り組むべきことの上位は、「ごみの減量化やリサイクルの推進、「公共交通機関の利便性の向上」、「太陽光発電や次世代自動車などの設備等の導入や省エネ家電の買い替えなどに関する支援制度の充実」、などが上位→③ ◆脱炭素のために事業所が行政に期待している施策は、「省エネ機器導入に関する支援」、「事業所に対する情報提供、セミナー等の開催」、「再生可能エネルギー設備導入に関する支援」などが上位→③④			●自然豊かである ▲車からごみをポイ捨てする人がいる ◆ごみのポイ捨てに関する条例の厳格化、罰則の周知→④	●生物多様性のポテンシャルが高い ●自然が豊かである ▲外来生物の増加→① ◆環境教育の推進（幼児、児童・生徒へ）→② ◆バイオマス発電の取組み→③		【令和4年度施策評価】 ●平成20年度に開始した補助事業により、令和3年度末までに、市内の住宅へ太陽光発電システム等合計1,495台を設置することで、再生可能エネルギーの利用などを促進し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んだ ●保存樹木・樹林の指定及び特定外来生物の駆除実施により、生態系の保全に努めた ●椎の森自然環境保全緑地において、月2回のボランティア活動により里山の保全に努めた ●大気測定局での常時監視や河川・海域などでの定点測定、環境保全協定に基づく工場等への立入調査など、継続的な監視を実施した ●環境学習等の講座内容や開催方法、広報手段の充実を図り、概ね目標値は達成した ●市内一斉清掃や、ポイ捨て防止の呼びかけなどの広報啓発活動を、市民等との連携により実施した ◆環境保全緑地の維持保全については、ボランティアの確保に向けた取組みの検討が必要となる→① ◆市外からの来訪者に対してのポイ捨て防止などの啓発活動が必要である→④ ◆再生資源物の屋外保管に関する条例の整備及び運用が必要である（令和5年4月再生資源物屋外保管条例施行）→⑤ 【令和6年度事務事業評価】 ●まちの美化推進事業、自然環境保全事業、公用車電気自動車導入事業、地球温暖化対策事業、大気汚染監視機器整備事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①自然環境・生物多様性の保全に向けた啓発活動・ボランティアの確保支援 ②環境教育の推進 ③地球温暖化対策及び気候変動適応に向けた情報発信 ④環境美化に向けた啓発及び市民等との連携 ⑤良好な生活環境確保のための事業者への指導
3-6	廃棄物・リサイクル		●ごみリサイクル率が県内5位、周辺市1位と高水準 ●1人1日あたりごみ総排出量が周辺市1位 ▲ごみリサイクル率がやや低下傾向にある→①②		「ごみ処理」 満足度高・重要度高	■日ごろからリデュース、リユース、リサイクルの3Rを実践している割合は、75.0%に上る。R3年度（▲8.1%）に比べ悪化している				●ゴミの回収が多くて助かる ●ゴミ袋が安い	●ごみの収集が多い ●ごみのリサイクル率が県内上位 ▲祝日のごみ収集がない ▲ごみのリサイクル率が横ばい→①② ▲雑木林に不法投棄がある→③		●ごみの減量化・再資源化の推進については、広報、HPやSNSを活用した啓発活動、子供服リユース企画や雑がみ回収BOXの設置等の新たな取組を実施した ●ごみ処理体制の整備については、袖ケ浦クリーンセンターのごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の改修工事を実施し、廃棄物処理施設長寿命化総合計画の策定を行った ●次期君津地域広域廃棄物処理においても事業契約を締結し、環境影響評価手続きを行っている 【令和4年度施策評価】 ●し尿処理の適正化については、合併処理浄化槽の設置者への補助金の交付を継続して行い、広報やHPに補助金制度を掲載することで補助金を活用した単独浄化槽からの転換の推進を図った ●廃棄物の不法投棄等の防止については、廃棄物の不法投棄と、土砂等の埋立てによる土壌汚染・災害発生を防止するため、週6日のパトロールと監視カメラの設置による監視活動を行った ▲ごみ総排出量に対するリサイクルの割合や一人あたり1日のごみ排出量においても、目標値を達成していない→② ▲家庭系ごみ処理手数料の見直しについても進捗が遅れている ◆リサイクルの割合や一人あたり1日のごみ排出量の数値目標を達成していないことから、更なるごみの減量化・資源化を取り組まなければならない→② ◆ごみ収集制度全体のあり方についての総合的な見直しは、プラスチック資源循環促進法の施行により、新たにプラスチックリサイクルの取り込みについても検討していく必要がある→① ◆過去に行った盛土に起因する諸問題が発生した 【令和6年度事務事業評価】 ●ごみ減量化推進事業、ごみ資源化推進事業、ごみ処理施設等長寿命化事業、次期広域廃棄物処理事業、合併処理浄化槽設置補助事業、廃棄物・土砂対策事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①プラスチックなどの資源循環の一層の促進 ②ごみの減量・再資源化の意識醸成 ③不法投棄等に対する監視活動の推進

（４） 都市形成・都市基盤

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
4-1	市街地形成		●可住地面積1㎢あたり人口密度は852人（県内偏差値：45.8）で県内24位と中位 ●過密でも過疎でもなく、比較的バランスの取れた密度 ●周辺市との比較では、木更津市、市原市に次ぐ人口密度となっており、土地区画整理の進捗に伴い、緩やかな上昇傾向が続く	●2017年度頃からの社会増が顕著。袖ケ浦駅海側の土地区画整理が寄与しているとみられる	「市街地形成」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	■市街地の整備が適切になされていると思う割合は、53.1% ■市内に良好なまち並みや景観が形成されていると思う割合は、60.8%。R3年度（4.7%）に比べ改善している					●住宅地が整備されている			【令和4年度施策評価】 ●計画的なまちづくりの推進については、令和2年度に袖ケ浦市都市計画マスタープランを策定するとともに、市街化調整区域の地域の活性化や土地利用を図ることを目的として、「市街化調整区域における地区計画ガイドライン」を策定した ●地籍調査事業について、市内初の工区となる坂戸市場1工区（0.12㎢）に着手し、令和4年度末に完了する ●市街地整備の促進については、狭あい道路の拡幅整備に関する制度について、広報誌による周知を2回行った ●良好な景観形成については、景観まちづくりを推進するための各種施策により、良好な景観形成のための意識向上を図った ▲地籍調査事業について、基本計画の調査単位である「坂戸市場1工区約0.26㎢」のうち、0.14㎢が未着手である ◆都市計画決定と事業化見込みに差異が出ている都市計画道路の見直しの実施が課題となっている→② ◆地籍調査事業については、基本計画に基づく調査期間は約79年間とされているが、事業費の関係から、調査面積を更に分割して実施しているため、調査完了が不透明になっている 【令和6年度事務事業評価】 ●市街化調整区域土地利用適正誘導事業、地籍調査事業、市街地内市道等整備事業、景観まちづくり推進事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①計画的な土地利用の誘導 ②都市計画道路の整備促進 ③景観計画や景観条例に基づく規制誘導**
4-2	公園・緑地		●1人あたり都市公園面積は、12.7㎡と県内4位		「公園・緑地」 満足度高・重要度低	■市内の公園が適切に管理されていると思う割合は、62.4%				●公園が多く、親子とも嬉しい ▲公園の遊具が老朽化で撤去され、遊ぶものがない場所が増えている →①			【令和4年度施策評価】 ●公園や緑地の除草や樹木の剪定作業等適正な維持管理を行ったまた、公園施設の定期的な点検を実施し、不具合や老朽化した遊具等の修繕及び更新を行った ●袖ケ浦駅海側地区で最後となっていた近隣公園を整備し供用開始した ▲各公園施設について、老朽化が進んでおり、予防保全型の修繕ができなかった→① ▲老朽化が著しい施設の修繕や撤去を優先したことから、公園施設のバリアフリー化を推進することができなかった→① ▲公園まつり等のイベントが開催できず、交流機会を創出できなかった→②※令和5年度に袖ケ浦公園まつり及び百目木公園まつりを開催 ◆老朽化した公園施設の補修・更新が求められる→① ◆また、公園や緑地の樹木についても、植栽から相当年経過し、枝の張り出しによる電線への接触や落ち葉による道路排水機能の低下が見受けられる→① ◆死角ができることによる犯罪発生のリスクもあり、防犯面においても懸念される→① ◆指定管理者による修繕や樹木の剪定等のみでは、これら対応に限界がある→① 【令和6年度事務事業評価】 ●公園緑地管理事業、都市公園交流機会創出事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①公園・緑地の適正な維持管理・バリアフリー化の推進 ②公園を活用した交流機会の創出（イベントの実施等）**

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
4-3	道路		●本市の市町村道改良率は81.5%で千葉県平均（59.5%）及び周辺市平均（67.6%）を大きく上回っている。		「道路」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	■市内の道路環境は整っていると思う割合は、50.1%				▲道路の雑草が多い→④			【令和4年度施策評価】 ●高須箕和田線の整備については、当初工程に対し、土地購入や河川協議に時間を要したことから遅れているが、令和4年中の供用開始に向け、道路整備を進めた ●西内河根場線の整備については、県事業のため積極的に要望活動を行うとともに、県と協力しながら事業を促進した ●市道の整備については、三箇横田線において、道路拡幅及び歩道新設を行い、交通利便性の向上と安全な通学路を確保することができた ●広域幹線道路等の整備促進については、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面による要望活動に変更となったが、継続して要望活動をおこなった ●法令に基づいた橋梁の定期点検を実施したまた、道路アダプトプログラムの推進を図った ▲高須箕和田線建設事業（南袖延伸）について、供用開始が当初工程から遅れが生じた→① ▲成教橋の耐震補強補修工事や長作橋の橋梁補修工事に遅れが生じた→③ ▲生活道路対策エリア等の交通安全対策について、進捗が無かった→3-2防犯・交通安全 ◆ゾーン30プラスの導入に向けて、地元説明会等を開催し、住民の理解度を高めていく必要がある→② 【令和6年度事務事業評価】 ●西内河根場線建設事業、三箇横田線建設事業、飯富29号線・代宿横田線建設事業、国県道・自動車専用道路等整備促進事業、道路アダプトプログラム事業、道路附属物修繕事業、交通安全施設整備事業、橋梁長寿命化修繕事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①都市計画道路の整備 ②市道の整備（道路拡幅・バリアフリー化・交差点改良等） ③道路・橋梁・歩道橋など施設の適正管理（補修・長寿命化等） ④良好な道路環境の保全（植栽の手入れ・雑草除去等）
4-4	河川				「河川」 満足度高・重要度高	■適切に河川や雨水排水施設が整備されていると思う割合は、63.2%。R3年度（5.6%）に比べ改善している							【令和4年度施策評価】 ●河川施設では、普通河川松川及び準用河川大月川における浸食護岸の整備工事を実施した ●雨水排水施設では、坂戸市場地区の開発に併せて出津排水区雨水幹線整備工事を実施した ●海岸・護岸施設では、防潮機能を有する今井・長浦水門の修繕工事を実施した ●奈良輪雨水ポンプ場は、適正な維持管理を行うことができた ▲河川施設では、普通河川松川の河積阻害土砂や倒木竹の浚渫・撤去工事は令和5年度以降に実施することとなった→①□ ◆近年頻発する豪雨に備え、既存河川の流下能力を最大限確保できるよう維持管理・点検を継続することでトータルコストの縮減と修繕費の平準化を図る→① ◆雨水管の点検について、下水道事業認可との調整により、2期実施計画期間となる→② ◆海岸・護岸施設の各水門は、部分修繕を実施しているが、根本的な大規模改修が必要な時期となっている→③ 【令和6年度事務事業評価】 ●水防事業、河川維持管理費、雨水下水道施設長寿命化修繕事業、雨水幹線管渠建設改良事業、海岸・護岸維持管理事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①河川施設の適正管理 ②雨水排水施設の整備及び適正管理 ③海岸・護岸施設の適正管理

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
4-5	下水道				「下水道」満足度高・重要度高 「上水道」満足度高・重要度高	■生活排水などの汚水が適切に処理されていると思う割合は、80.8%に上る。R3年度（4.9%）に比べ改善している							【令和4年度施策評価】 ●包括的維持管理により、処理施設の効率的な管理を行ったさらに、 マンホール蓋交換工事及びマンホールトイレ整備工事を前倒しで実施した ●下水道事業の業務報告書を作成して公表したほか、下水道事業運営審議会において本市下水道事業の経営状況や県内他団体の状況などを説明し審議した ◆既存の下水道施設は、地震対策事業やストックマネジメント事業を継続し、長寿命化と維持管理コストの平準化を図る維持管理が必要となる→① ◆終末処理場は、「東京湾流域別下水道総合計画」の改定を見据え、高度処理化に向けた、増設の検討が必要である→① 【令和6年度事務事業評価】 ●雨水下水道施設長寿命化修繕事業、雨水幹線管渠建設改良事業、海岸・護岸維持管理事業、下水道施設の適正管理、 下水道事業の経営基盤の強化は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①下水道施設の適正管理 ②下水道事業の健全運営（持続可能性を見据えた使用料の設定、水洗化率の向上）
4-6	住宅	〇コロナ禍を契機としたテレワークを活用した移住例の増加 →①	●住宅地価格は、県内14位、周辺市1位と高位 ●生活環境や東京湾アクアラインを通じた利便性が評価されている一方、偏差値は50.1で、県北西部に比べ手頃な価格水準 ●空き家率（賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き数率）は3.9%で、県平均（5.0%）、周辺市平均（14.1%）を下回る（高偏差値）		「住宅」満足度高・重要度高	■市内にある空き家が適切に管理されていると思う割合は、29.9%にとどまる→④	▲空家バンクについて、「知らない」が54.7%で半数以上（ただし5年前と比べ「知っている」が14.4ポイント上昇） →④ ◆地方移住に関して自治体に期待する支援策として、「住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）」、「就業支援（新規就農者支援、創業資金支援）」、「空き家情報の提供（空き家バンクなどのマッチングシステム）」の順に多く、住宅取得支援への関心が高い →①		〇地方移住に関して自治体に期待する支援策は、「住宅補助（空き家等中古住宅の改修費の補助、新居購入のための低金利融資、家賃補助）（49.6%）が1位、「転居費用補助（引っ越し費用や転居初期費用の補助）（37.5%）」が2位、「リモートワーク・通勤支援（テレワーク環境の整備や通信費、出社時の通勤費の補助）（20.9%）」が3位 →①	▲空き家が放置されている→④ ▲空き屋が多くなった→④			【令和4年度施策評価】 ●木造住宅の耐震化については、これまでに耐震工事を236件実施し、木造住宅の耐震化を促進することができた ●市営住宅については、市営住宅長寿命化計画に基づき、経常修繕を行い、安全な住居を提供することができた ●空家等対策の推進については、空家等対策計画に基づき、空家等所有者への文書、訪問による指導等により、特定空家等を除去することができた ●空家バンク制度の利活用の案内を広く周知することで、空家バンクの物件登録数を増やすことができた ▲空家等対策の推進について、特定空家等に認定した6件のうち、3件が未解決である→④ ◆木造住宅の耐震化は、大規模地震の発生による建物の損壊・倒壊被害に備えるため、継続して耐震化を促進する必要がある→① ◆市営住宅について、上蔵波団地及び飯富団地は、適切な維持管理に努め、住宅困窮者に対して低家賃で安全な住居の提供を継続するとともに、神納谷団地の用途廃止や今後の市営住宅のあり方を検討する必要がある→② ◆空家等対策の推進について、今後も管理が不適切な空家等の増加が予想されることから、空家等対策計画に基づき、空家等所有者への文書、訪問による指導等を行い、また空家バンク制度の利活用の案内を広く周知し、空家等の適切な管理を継続して推進していく必要がある→③ 【令和6年度事務事業評価】 ●木造住宅耐震化促進事業、市営住宅維持管理事業、空家等対策事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①木造住宅の耐震化の促進 ②市営住宅の適正な維持管理 ③空き家等対策の推進（空き家等所有者への指導、空き家バンクの周知・登録促進等）

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
4-7	公共交通	〇一層の少子高齢化の進展→①			「鉄道」満足度高・重要度高 「高速バス」満足度高・重要度高 「路線バス」満足度低・重要度低	■市内の鉄道交通に満足している割合は、51.8% ■市内の高速バス交通に満足している割合は、69.9% ■市内の路線バス交通に満足している割合は、28.4%にとどまる→①②③ ■買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思う割合は、20.9%にとどまる →①②③ ▼袖ケ浦市に住み続けたくない理由として、「通勤・通学などの移動手段が不便だから（42.4%）」が2位→①②③				●アクアラインが近い ●チョイソコがうらの運行 ●鉄道のアクセスがよい ▲バスが少ない→① ▲久留里線の本数が少ない→③ ◆バス・久留里線の増便→①③ ◆都心に行くバスが駅にも寄るようにする→① ◆駅とバスターミナルとの利便性向上（路線バスの増便やタクシーの確保）→① ◆チョイソコがうらのより丁寧な周知・説明→②	●都心へアクアラインによりアクセスが良い ◆生活と観光の導線改善（二次交通の確保）→②		【令和4年度施策評価】 ●都市間交通の利便性確保のうち、高速バスについて、袖ケ浦バスターミナルにおける利便性の向上を図るため、運行事業者と協議を行った ●市内における移動手段の確保のうち、路線バスの一部路線について、利用者層のニーズに沿った運行ダイヤを運行事業者とともに検討し、改正を行った ●併せて、バスの無料お試し乗車や市ホームページ等での利用促進周知を行った ●日常生活の移動手段を確保するための新たな移動支援策について、令和4年10月からデマンド型乗合送迎サービス「チョイソコがうら」の実証運行を開始できるように、関係事業者等と調整を進めることができた ▲地域の実情に応じた路線バスの運行形態・路線の見直しについては、事業者及び利用者への影響が大きいことから、継続して検討する。なお、検討にあたっては、令和4年度末に策定予定の地域公共交通計画と整合を図りながら進めていく→④ ▲地域支え合い活動については、新たな活動を立ち上げることができなかった ◆路線バスを含む市内公共交通ネットワークの再構築を図るため、地域公共交通計画を策定する（令和5年3月策定済） ◆地域内の移動手段について、どの運行形態が本市に適しているのかを検証するため、デマンド型乗合送迎サービスの実証運行の運行区域の拡大を検討していく必要がある→② 【令和6年度事務事業評価】 高速バス利便性向上事業、地域公共交通づくり事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①市内公共交通（路線バス、タクシー）の維持・確保 ②デマンド交通等の地域内移動手段の検討・実証・導入 ③広域幹線公共交通（高速バス、鉄道）の維持・確保 ④市内公共交通（路線バス、タクシー、デマンド交通等の移動手段）のすみわけの検討

（５） 産業

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価		後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	設問・対応ニーズ 満足度・重要度（平均値との比較を事業A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
5-1	農林業	〇一層の少子高齢化の進展→①②	●販売農家数あたり農業産出額は12百万円で、県内10位、周辺5市1位で、生産性の高い営農が行われている ▲農業産出額（2022年の推計値）は、2018年以降漸減傾向にあり、2022年は720千万円→①②③④⑤ ▲農業経営体数は、過去20年間で▲55.7%、経営耕地面積は同▲22.4%減少している→②		「農業」 満足度高・重要度低		▲今後の森林管理について、「自分での管理は困難なため、市等に仲介してもらうなどして、森林の管理を行いたい（33%）」が、「自分で管理し続けていきたい（24%）」を上回る→⑧			●地元の野菜がおいしい ●ゆりの里があり便利	●多種多様な農作物を栽培できる ●ピーナッツの栽培が盛ん ●酪農が盛ん ▲農家の減少・高齢化→② ▲農家に独身者が多い→② ▲有害鳥獣が増えている→④ ◆スマート農業の推進→③ ◆農地の集積→① ◆たい肥の耕畜連携→⑥ ◆水路の整備→① ◆農業従事者の婚活支援→② ◆有害鳥獣対策→④		【令和4年度施策評価】 ●農業経営体制の強化については、新規認定者を確保し、作業の省力化や規模拡大への支援ができた ●農地環境対策の推進については、イノシシやカラス等の駆除を実施したほか防護柵の設置による防除を行った ●高付加価値農業の推進については、6次産業化に補助事業を整備した ●農業と触れ合う機会の拡大については、体験農園についても補助事業を整備し、収穫体験ができる農園の整備を行った ●「ゆりの里」での市内産の農畜産物の割合も年々伸びている ●森林管理の適正化と林業の振興については、市内民有林面積1，870haを対象に全体事業計画を策定した ▲各地域における農業の将来のあり方を明確にする「人・農地プラン」の作成ができなかった ▲森林経営管理に係る意向調査の回答率は40%であった→⑧ ▲ICTや農機具の自動運転等の先端技術の導入ができなかった→③ ◆人・農地プランは、話し合いが行われていない地区に対し、助言や支援を行い、作成に向けた気運を醸成させることが必要となる→① ◆高付加価値の農畜産物の生産及び販路拡大の支援をするほか、貸出できる市民農園のスペースを確保する必要がある→⑦ ◆森林所有者への意向調査の結果、経営、管理の委託を受けることや、経営管理権を取得し、経営に適する森林は林業経営者に再委託、再委託しない森林等は、市町村森林経営管理事業を実施する→⑧ 【令和6年度事務事業評価】 ●担い手育成・支援対策事業、新規就農者支援対策事業、県営経営体育成基盤整備事業（大鳥居地区）、県営経営体育成基盤整備事業（武田川下流地区）、土地改良推進事業、有害鳥獣駆除事業、農地農村環境保全事業、農畜産物の魅力向上事業、観光・直売型農業推進事業、体験農園支援事業、田園空間施設維持管理事業、森林経営管理事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①農業経営基盤の強化の促進に関する計画（地域計画）の策定 ②農業の担い手確保 ③スマート農業の推進 ④有害鳥獣対策 ⑤高付加価値化・販路拡大支援 ⑥有機農業の推進 ⑦都市住民の農業に触れ合う機会の拡大 ⑧森林の適正管理
5-2	商工業	〇労働力人口の減少による人手不足の深刻化→①	●製造業事業所あたり製造品出荷額は、千葉県の中で市原市に次ぐ2位 ▲人口1千人あたり事業所数は、県内順位31位、周辺市順位4位と低位→②④⑥ ▲小売業・卸売業の1事業所あたり年間商品販売額は、県内順位27位、周辺市順位4位と低位→①③⑥ ▲2012年から2021年にかけての増加率は+0.9%で木更津市、市原市に劣後している→①③⑥		「工場」 満足度高・重要度低 「商業」 満足度低・重要度低	■市内の商業環境に満足している割合は、35.7%にとどまる→① ▼袖ケ浦市に住み続けたくない理由の首位は、「買い物に不便だから（48.5%）」→4-7 公共交通			〇新しい居住地を選ぶ際に重視することは、「商業施設の立地など日常の買い物環境（37.4%）」が3位	●市役所や駅近くに商業施設がたくさんある ●駅前の発展ぶりは本当に助かっている ▲娯楽施設や週末楽しめる場所が少ない ▲本屋がない ▲内陸部にコンビニが少ない→②④⑥ ▲商業施設やスーパーが少ない→②④⑥ ◆娯楽施設の充実→②④⑥	●臨海部にコンビナートがある（企業が多い） ●臨海部や椎の森など工業が盛んである ●消費地が近い ▲店が少ないので買い物は近隣市へ行く必要がある ▲本や文房具のお店が少ない→②④⑥ ▲商店街（ロード的なもの）がない→①②③④⑥ ▲工業系の人材が不足している→5-4雇用・就業 ◆そでがうら一店逸品研究会の逸品への支援→① ◆開発した商品のPR→③ ◆設備投資に関する補助（つなぎとめ）→④ ◆市職員に現場に来てコミュニケーションをとってほしい→⑥	●コンビナートとしての立地の良さ（原料・燃料等の融通のしやすさ） ●都内・川崎地区へのアクセス性 ●企業間の交流が非常に活発	【令和4年度施策評価】 ●商業の振興では、商工会活動の支援として一店逸品事業やテイクアウト事業を行った ●工業の振興では、設備投資に対して奨励金の交付を行った ●中小企業支援では、事業者に対して資金融資及び利子補給を行い、また創業希望者に対して創業に係る資金補助を行い、事業承継についても相談体制の確率を図った ▲商業の振興では、コロナ禍以前に行っていた大規模なイベントの実施が出来なかった→① ▲工業の振興については、企業ニーズの把握や規制緩和への働きかけが充分ではなかった→④ ◆商業の振興については、新型コロナウイルス感染症の影響により、駅前周辺を賑わいの中心とすることが出来なかったことから、今後はウィズコロナ・ポストコロナを見据えたイベントのあり方を検討する必要がある→① ◆中小企業支援については、現状融資資金として運転資金に比べ設備資金の件数が圧倒的に少ないため、利子補給の上乗せなどインセンティブが働く事業構造とする必要がある→④ 【令和6年度事務事業評価】 ●商店街魅力向上事業、企業等振興支援事業、中小企業支援事業はA	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①商店街におけるイベント開催、新商品開発、ICT活用支援 ②創業希望者に対する相談体制の充実 ③地元事業者の経営力強化（専門家とのマッチング支援、融資・利子補給等） ④新規立地・設備投資に対する補助 ⑤市職員の現場訪問によるコミュニケーションの継続 ⑥新商品開発やビジネスチャンス創出に向けた異業種（農商工観光）連携の促進

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ										
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
5-3	**観光**		●観光入込客数（2022年）は、158万人地点で、県内では18位とやや優位性がある ●東京ドイツ村の観光入込客数が78万人地点と突出、また、袖ケ浦公園も23万人と本市の中で高い水準 ●イチゴやブルーベリーなどの観光農園が人気を集めている ▲宿泊客総数は、2.8万人で、県内37位、周辺市5位と低位 ▲観光入込客数は、コロナ禍前の水準まで回復していない→①②③		「観光」 満足度低・重要度低	■まちが観光客や市外からの来訪者で賑わっていると思う割合は、26.3%にとどまる→①②③	◆どうしたら袖ケ浦市が目的地になるかについて、「魅力的な観光スポットがあったら（62.7%）」が突出して首位→①		袖ケ浦市の観光資源で認知度が高いものは、「東京ドイツ村（44.4%）」が1位、「ちばアクアラインマラソン（32.0%）」が2位、「袖ケ浦公園（14.1%）」が3位、「袖ケ浦海浜公園（12.7%）」が4位。これ以外の観光資源の認知度は10%未満で低位にとどまる⇒① 参加したいイベントは、「果物狩り、芋掘りなどの収穫体験（43.2%）」が1位、「夏祭りや花火大会などのイベント（41.6%）」、「フードフェスティバルとグルメイベント（41.4%）」が3位⇒②	●観光名所や場所が多い（ドイツ村など） ●工場の夜景がきれい ●自然な風景が多く、とてもきれい ●季節ごとに楽しめるイベントがある ●そでがうらまつり～アレワイサノサ～の開催 ◆千葉フォルニアの観光資源化→①	●東京ドイツ村、アウトレットモールにJRの駅が最寄りにある ●ゴルフ場が多い ▲観光地が少ない→① ▲千葉フォルニアの規制→① ▲レジャー施設が少ない ◆観光ガイドマップの活用→①		【令和4年度施策評価】 ●観光協会の運営を支援するとともに、観光協会に対して補助金を交付し、観光ガイドマップの作成、各種観光キャンペーンへの参加、観光協会ホームページの運営、各種メディア等への観光情報の提供など、観光情報の発信等に努めた ▲ホワイトガウラーメンについて、新たなイベントを企画するなど、活動を強化することができなかった→② ▲南房総市観光協会と連携し、着地型の観光メニューを検討したが、事業が見送りとなった→③ ▲君津管内4市の観光施設等を視察する研修会や、観光PRイベント、スタンプラリー事業ができなかった→③ ◆新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、引き続き観光の振興による地域の活性化に取り組む必要がある→①②③ ◆アクアラインイースト観光連盟の視察研修会等を通じて、君津管内4市の連携を深め、広域的な観光回遊コースの観光メニューづくり、デジタルガイドマップの導入やSNSの利活用により情報発信を推進していくとともに、新たな地域資源の発掘を行う必要がある→③ ◆地域回遊促進事業として、レンタサイクル事業や御城印発行事業に取り組むとともに、新たな商品開発やウィズコロナ、ポストコロナを見据えた取り組みを検討する→③ 【令和6年度事務事業評価】 ●袖ケ浦市観光協会活動支援事業、地域回遊促進事業、観光情報発信事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①地域資源や観光情報の発信・充実 ②イベントの開催や事業者連携に係る活動支援 ③広域的な地域回遊の促進**
5-4	**雇用・就業**	〇平均寿命の伸長→② 〇女性の社会進出→③	●就業率（57.1%）は、県内順位8位、周辺市1位と高位 ●第2次産業就業者比率（26.5%）が、県内9位、周辺市1位と高位 ●女性就業率は47.6%で、県内平均（45.8%）を上回り県内14位、周辺市ではトップ ●高齢者就業率は26.5%で、県内平均（25.7%）を上回り県内19位、周辺市では2位 ▲第1次産業就業者比率は3.7%（県内33位）、第3次産業就業者比率は67.0%（県内33位）でいずれも県内平均を下回る		「雇用・就業」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目	■市内の職場が働きやすい（または、働きやすそう）と感じる割合は、55.0%						▲従業員全体の中で地元の人が少ない→① ▲工場で働く人材の高齢化→②	【令和4年度施策評価】 ●就業希望者に対しては、例年通り近隣市及び関係機関と連携し、各年代に合わせたセミナーや個別相談を開催した ●就労環境の向上に関しては、関係機関から提供される各種制度等について情報発信した ▲市内企業の雇用機会を確保するため行ってきた合同就職説明会等は中止となり、また、民間企業が実施する仕事説明会についても企業側の中止決定により実施できず、マッチング等を図ることができなかった→① ◆雇用促進については、合同就職説明会等の開催を対面以外の方法も検討し、実施に向けて関係機関と具体的に調整する必要がある→① 【令和6年度事務事業評価】 ●雇用促進事業、就労支援事業、コワーキングスペース開設支援事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①地元企業・事業者の人材確保支援（就職希望者に向けたセミナー開催、相談実施等） ②高齢者の就業機会確保、立地企業における定年延長に向けた支援 ③立地企業における育休取得や女性活躍、ハラスメント防止に向けた啓発活動**

（６） 市民活動・行財政

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価			
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
					設問・対応ニーズ										
					満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問									
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題			●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
6-1	市民活動	〇一層の少子高齢化の進展→①			「市民参加」 満足度低・重要度低 「コミュニティ」 満足度低・重要度低	■まちづくりに関心がある割合は、57.7% ■地域活動に参加したことがある割合は、51.5%	▲自治会長の年齢は、60歳代が最も多く、次いで70歳代が多くなっており、全体的に会長職の高齢化が進んでいる→① ▲約7割の市民活動団体がメンバーの高齢化を、約6割の団体が後継者不足を感じている→② ▲「地域内の美化、清掃活動」、「ごみ集積所の管理」は、ほとんどの自治会で行われているが、「祭り、伝統行事」を行う自治会の割合は減っている→③ ◆必要な行政の支援につき、最も多かったのが「活動費の助成」であり、次いで「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」、「地域活動に関する市民の意識啓発」となっている→①③ ◆市が事業者による社会貢献活動を活性化させるために必要な取組は、「事業者による社会貢献活動の事例紹介」、「社会貢献活動の手法などの情報提供」が上位→①	▲活動の問題点は、「会員が減少・不足している（60.0%）」、「市民等に活動が十分に認知されていない（44.4%）」、「リーダー・役員が不足している（37.8%）」などが上位 ◆行政に望む支援は、「活動内容の広報やPRに関する支援（44.4%）」、「活動資金の支援（37.8%）」が特に多い		●ボランティア活動、講座が盛んである ▲自治会の役員の成り手がいない→①② ▲自治会加入率の減少→① ▲自治会への参加者が少ない→① ◆自治会への参加促進→①	●市の中心部に発表活動ができる豊かなスペースがある ▲自治会全体が高齢化している→①② ▲自治会加入率が減少している→① ▲活動できる自治会役員、班長が減少→①② ▲地域のコミュニティが減少してきている（子ども会、PTA活動）→① ▲退職者の地域帰属意識が低い→① ▲若者が地域活動に参加しない→①②		【令和４年度施策評価】 ●自治会等の協力により、まちづくり協議会の設立に向けて地区座談会を行うことができた ●自治会に自治会運営マニュアルを配布し活動を支援するとともに、未設立の地区や自治会未加入世帯に対する加入促進を図ることができた ●協働事業提案制度により、提案を採択した団体が行った事業に補助を行った ▲地域人材活用事業（まちづくり講座）において予定どおりに開催することができず、また、人材活用を図る制度の創設に至っておらず、地域コミュニティで活動する担い手を養成することができなかった→①② ▲自治会未結成地域等への直接の働きかけや支援を行うことができず、自治会への参加促進を図ることができなかった① ▲事例発表会を開催できず、市民が主体的に地域コミュニティに参加しつなげるよう促進することができなかった→① ◆市民の主体的な地域コミュニティ活動への参加や多様な団体が連携した地域活動の活性に向けて取り組む中において、自治会への未加入世帯が増加しており、今後地域活動の低迷が懸念されることから、引き続き自治会加入促進や自治会設立に関する支援を行うとともに、各地区におけるまちづくり協議会設立に向けた支援を行っていく必要がある→②③ ◆市民がまちづくり活動に参加するよう、その参加意識を醸成するものとして、地域人材活用を図っていく必要がある→①② 【令和６年度事務事業評価】 ●地域まちづくり協議会支援事業は評価A ◆まちづくり活動促進事業は評価B。まちづくり講座の受講生に積極的な取組姿勢が見られたが、受講者の人材活用登録がなされるには至っていない→① ◆自治振興対策事業は評価B。自治会加入率の下落や役員のなり手不足、高齢化により、今後の活動に懸念が生じる自治会も見受けられる→①②③ ◆市民協働推進事業は評価B。協働のまちづくり推進委員会及び協働事業審査委員会の開催回数の減少による報酬等の執行残、協働事業提案制度の補助金額の減額等により、計画額を下回った→① ◆地域づくり官学連携事業は評価C。大学との連携による取組みには至っていない	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①市民の地域コミュニティへの参加促進 ②地域活動におけるリーダーの育成 ③各種団体の活動支援（活動場所の提供、活動資金の支援等）
6-2	人権・男女共同参画	〇女性の社会進出のさらなる進展→②			「人権」 満足度高・重要度高 「男女共同参画社会」 満足度低・重要度低	■地域社会の中で男女の地位が平等であると感じる割合は、49.2% ■年齢、性別、障がいの有無、国籍などによる差別があると感じる割合が、38.6%に上る→①	●＜ジェンダー＞＜セクシャル・マイノリティ＞、＜LGBTQ＞＜育児・介護休業法＞＜DV防止法＞の言葉の認知度は、５年前に比べ7.5%増加（合計での比較） ●5年前に比べ、「夫婦ともに仕事・家事・育児を行う」が9.8%増加し、「夫は仕事、妻は家事・育児を行う」が3.9%減少 ▲男女の地位の平等感について「平等になっている」と回答した割合は、５年前に比べ3.2%減少→② ▲ドメスティック・バイオレンスを受けた『経験がある』割合は５年前より約１割増加→②						【令和４年度施策評価】 ●関係行政機関や人権擁護委員と連携し、定例相談を実施するとともに、市内小学生への人権教室の実施及び市内中学生への啓発物資を配布し、人権に関する啓発を行うことができた ●男女共同参画に関するセミナーの開催や情報誌の発行等を行い、男女共同参画の意識づくりを図ることができた ●市制施行30周年記念事業として、『人権・男女共同参画フェスタ』を開催し、市民の意識啓発を図ることができた ▲人権相談や人権教室を予定どおり実施することができず、継続的な啓発活動や意識高揚を図ることができなかった→① ▲男女共同参画推進事業においても、中学生に対する出前講座を実施することができず、青少年に対する啓発活動や意識高揚を図ることができなかった→② ◆教育現場等におけるいじめや差別をはじめとした様々な人権課題に対応することや、男女がともに活躍できる社会の実現のため、ワーク・ライフ・バランスの更なる推進を図り、今後も市民等に向けた継続的な啓発活動を行っていく必要がある→① 【令和６年度事務事業評価】 ●人権擁護事業、男女共同参画推進事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①人権擁護（意識啓発、相談対応）の推進 ②多様性が尊重される社会の推進

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握								行政評価			後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価		
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	設問・対応ニーズ 満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—		
6-3	多文化共生				「多文化共生」 満足度高・重要度低	■本市が、外国人にとって、暮らしやすい環境にあると思う割合は、46.6%							【令和4年度施策評価】 ●音声翻訳機の活用や市ホームページ掲載等における、多言語による行政情報を提供できた ●袖ケ浦市国際交流協会の日本語教室運営支援による日本語学習の支援を行った ●袖ケ浦市国際交流協会の運営支援による国際交流イベントの開催、市民団体等の活動支援を行った ▲多言語による案内標識を整備することができなかった→① ▲袖ケ浦市国際交流協会との連携による国際交流イベントを開催することができず、参加促進による人材育成を行うことができなかった→② ▲外国人の地域コミュニティ参加促進を行うことができなかった→② ◆多文化共生の推進に向けて、引き続き在住外国人への日本語学習機会を提供を行うとともに、地域行事やボランティア活動等への参加を促し暮らしやすい環境を作る必要があるまた、国際交流活動として、袖ケ浦市国際交流協会において会員数の減少に歯止めをかけ市民レベルの国際交流活動を推進する必要がある→②④ 【令和6年度事務事業評価】 ●多文化共生推進事業は評価A ◆国際交流推進事業 は評価B。国際交流協会について、会員数は減少傾向にあるため、その確保が課題である	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①外国人住民への日本語の学習支援 ②地域交流の場への外国人の参加促進 ③市民団体の活動支援
6-4	情報共有・発信	〇コロナ禍を契機としたテレワークを活用した移住例の増加 →①			「シティプロモーション」 満足度低・重要度低 「情報共有」 満足度低・重要度低	■市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいる割合（ホームページやアプリなどを含む）は、71.5%に上る ■市の広報・広聴活動が適切に行われていると思う割合は、64.4% ■これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思う割合は、84.3%に上る。			〇袖ケ浦市が転居先の候補となり得る理由の上位は、土地・賃料が安いから（1位）、都心とのアクセスが良いから（2位）、生活環境が良さそうだから（同率2位） ⇒① 〇転居後に希望する住居の形態は、「持ち家（戸建て）」が41.3%で最も多い ⇒① ■観光・レジャーに出かける際の情報源は、「テレビ（50.4%）」が1位 ⇒②	●LINEで市政情報が入ってくる ▲観光の情報発信の不足（ガウラーメンや山野貝塚など）→5-3観光 ▲子育て世代へのコミュニティイベントなどの開催情報が分かりにくい→1-1子育て支援 ▲習い事に関する情報が少ない ◆地域の習い事情報の発信 ◆市民による地域の魅力PRの機会の提供（個人単位でPRしたい人の窓口をつくる等）→5-3観光	▲子育て世代に広報（情報）が届いていない→③ ◆子育て情報の統一的な提供（子育てアプリ）→③ ◆広報そでがうらを小中学校で配布する→③		【令和4年度施策評価】 ●広報紙のリニューアルを行い、特集などで活躍する市民の方を取り上げるなど、興味・関心が高まる記事を作成した ●ホームページのトップページをリニューアルし、トップページの掲載情報量を整理し、全体の視認性・検索性を高めた ●市の知名度向上を目指し、Web・SNS広告やデジタルサイネージの掲出を行った ●新たな情報発信ツールとして、市公式LINEや広報担当SNS（Instagram）を開設し、幅広い世代へ情報を届けられるように情報配信ツールを整備した ▲各種SNSを活用した情報発信を行ってきたが、媒体によって認知度のバラつきがあるため、開設済みSNSの積極的な周知・PRが今後も必要である→③ ▲広聴業務については、市民の声制度により意見聴取は適宜行うことができたが、市長と一緒にティータイム制度等を活用した市民との直接の意見交換については、十分に開催することができなかった→④ ◆市民の方が興味・関心のある情報を発信を続けること→③ ◆情報発信媒体の周知・PR→②③ ◆市の多彩な魅力を、誰もが思い浮かべることができる明確なまちのイメージの確立を行う→① 【令和6年度事務事業評価】 広報紙・ホームページ等による市政情報の発信、広聴活動の充実 、シティプロモーション推進事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	①市の魅力発信によるシティプロモーションの推進（都心とつながる地理的優位性・快適な生活環境、充実した子育て、安定した多種多様な産業・働く場　等） ②メディアを通じた情報発信の充実 ③市政情報発信の適切な運用 ④多様な手法による市民意見の収集

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価		後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ									
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	―	
6-5	行政運営	〇DXの進展→①②③			「行政運営」 満足度低・重要度高 ニーズが高い項目 「火葬場」 満足度高・重要度低 「ICT化」 満足度低・重要度低 「広域連携」 満足度低・重要度低	■適切に市政運営が行われていると思う割合は、62.3% ■ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると思う割合は、58.0%				◆市役所に「なんでも窓口」がほしい（どこに聞いたらよいか分かりにくいため）→① ◆市役所に「すぐやる課」（松戸市等）のようなちょっとしたことを相談できる窓口がほしい			【令和４年度施策評価】 ●庶務事務システムでは、システムを導入し事務の効率化を図ることができた。 ●職員の人材育成では、人事評価制度の本格的な活用について検討を進めることができた。 ●庁舎整備では、実施設計を完了させ令和3年5月に北庁舎の建設工事に着手している。 ●それに伴う全庁LAN再整備はネットワーク機器を発注し、令和４年７月北庁舎利用開始に向け調整を行っている。 ●新火葬場整備では、令和４年１２月供用開始向け工事を進めている。 ▲職員の人材育成においては、新型コロナの感染拡大により各種研修を中止せざるを得ない状況となった。→③ ▲派遣研修も中止が多く、計画的に進めることが困難だった。→③ ▲RPA・AI導入推進事業においては、RPAの実証実験を実施したが令和２年１２月に国から自治体DX推進計画が示され、計画の変更とした。→①② ◆業績評価結果を賞与に反映することが決定したことから、今後は評価の透明性や公平性を確保しつつ、人材の育成や職員のモチベーション向上のツールとして活用できるよう、スキームのブラッシュアップを図りながら支障なく運用を進めていく。→③ ◆加えて、能力評価も含めた人事評価の更なる活用については、先進事例等も参考にしながら処遇への反映等を検討していく。→③ ◆コロナ禍における職員研修について、計画通りに実施することが困難だったが、オンライン研修や動画研修など、デジタル技術を活用した研修により時間や場所、人数を問わず受講することも可能となったことから、ウィズコロナを見据えた新たな人材育成ツールとして計画に取り込み、実施していく→③ ◆人口減少時代の到来や少子高齢化の一層の進展により、人的資源が限定される中で質の高い公共サービスを継続するため、国が進める基幹系システムの標準化や、自治体DX推進計画によるICTの有効活用を推進していく必要がある→①② ◆庁舎整備事業については、令和6年９月の完成を目指し引き続き事業を進めて行く ◆火葬場整備では供用開始に影響はないが、周辺市道整備の遅れの解消には数年を要するため、関係市の負担金についても数年必要となる。→④ 【令和6年度事務事業評価】 ●全庁LANシステム再整備事業、標準化対応基幹情報システム導入事業、庁舎整備事業、職員の人材育成（職員研修・人事評価）、火葬場整備運営事業、ファシリティマネジメント推進事業、教育施設等利活用事業は評価A	令和７年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒	**①自治体フロントヤード改革（DXによる行政と住民との接点）の推進 ②デジタル技術を活用した、効率的な行政サービスの実現 ③職員の人材育成、デジタル教育 ④広域行政の推進**

番号	施策項目	時代の潮流	データ分析		市民・市外住民の意識・意見の把握							行政評価		後期基本計画の策定にあたり留意する視点（案）
		「時代の潮流」から分かること	「本市の特徴」からわかること	人口動態からわかること	「まちづくりアンケート調査」からわかること		各課が実施したアンケート結果から分かること（主なもの）	「団体アンケート」からわかること	「市外WEBアンケート」からわかること	「市民ワークショップ」の主な内容	「分野別ワークショップ」の主な内容	「工場連絡会ワークショップ」の主な内容	令和4年度施策評価・令和6年度事務事業評価の主な内容	令和7年度施策評価 令和7年度事務事業評価	
					設問・対応ニーズ									
		外部環境の変化による影響	統計データ・県内他自治体との比較 ●強み・魅力 ▲弱み・課題	●強み・魅力 ▲弱み・課題	満足度・重要度（平均値との比較を事象A～Dで記載。Aは重点改善項目）【平均（3.278）・（4.298）】	■普段の暮らしや感じていること ▼その他設問	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆市に望むこと	市外住民のニーズが高い項目 〇移住・定住に関する項目 ■観光に関する項目	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	●強み・魅力 ▲弱み・課題 ◆提案	各分野の主な達成できたこと・課題 ●達成できた事項 ▲達成できなかった事項 ◆今後の主な課題	—	
6-6	財政運営		●財政力指数は、1.09（県内偏差値65.3）と1を上回っており、一定の財政力を確保している ●実質公債費比率は4.1%で、県内市町村平均（6.0%）、周辺市平均（5.2%）を下回っており、低位である（高偏差値） ●経常収支比率は、2020年度:95.1 → 2021年度:89.9 → 2022年度:89.5→ 2023年度：90.1と推移しており、2021年度以降、財政硬直化が改善している		「財政運営」 満足度高・重要度高							【令和4年度施策評価】 ●公共施設等の適正な維持管理を計画的に行っていくための基本方針や目標を定めた袖ケ浦市公共施設等総合管理計画の改定を行った ●袖ケ浦市第7次行政改革大綱に基づく、施策の「選択」と「集中」への取組や、市税収入の堅調な伸びなどにより経常収支比率等の改善が図られた ◆個々の公共施設について方針を定め、更新・統廃合・長寿命化等の具体的な対策を講じる必要がある→① ◆長期化するコロナ禍の影響により、先行きが不透明な状況にあり、市財政に与える影響が見通せない中、社会保障関係費などによる経常経費の更なる増加が見込まれることから、財政の硬直化が進まないよう、引き続き歳入確保や歳出削減に努め、健全な財政運営の維持を図る必要がある→② 【令和6年度事務事業評価】 ●ふるさと納税推進事業は評価A	令和7年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させる	⇒ ①公共施設の適正管理・統廃合・長寿命化 ②持続可能な財政運営

袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定に係る
基礎調査報告書

令和●年●月

袖ケ浦市

発　行　袖ケ浦市企画政策部企画政策課
住　所　袖ケ浦市坂戸市場 1 番地 1
電　話　0438-62-2327

令和６年度
袖ケ浦市まちづくりアンケート

報　告　書

令和６年１１月

目　　次

１．概要 1

１．１ 調査目的 1
１．２ 調査項目 1
１．３ 調査の方法・内容 1
１．４ 回収状況 1
１．５ 本報告書の見方 2
１．６ 調査結果のポイント 4
１．６．１ 今回調査 4
１．６．２ 前回調査（令和３年度調査）との比較 8

２．調査結果 11

２．１ 回答者属性 11
２．２ 袖ケ浦市に対する意識 13
２．２．１ 愛着 13
２．２．２ 住みよさ 19
２．２．３ 居住意向 21
２．３ 普段の暮らしで感じていること 27
２．３．１ 子育て・教育・文化について 27
２．３．２ 安全・安心や生活環境について 30
２．３．３ 都市形成や産業について 37
２．３．４ 市民活動や行政運営について 42
２．４ まちづくりにおける満足度・重要度 50
２．４．１ 満足度と重要度（全体） 50
２．４．２ 満足度と重要度の分析（属性別） 67
２．４．３ 満足度と重要度のクロス分析（項目別・属性別） 81

３．前回調査（令和３年度）との比較 91

３．１ 回答者属性 91
３．２ 袖ケ浦市に対する意識 93
３．２．１ 愛着 93
３．２．２ 住みよさ 94
３．２．３ 居住意向 95
３．３ 普段の暮らしで感じていること 96
３．４ まちづくりにおける満足度・重要度 98
３．４．１ 満足度と重要度の比較分析（全体） 98
３．４．２ ニーズ度の比較分析（全体） 101
３．４．３ 満足度と重要度の比較分析（居住地区別） 104

４．資料編 1

４．１ 調査票 1
４．２ 自由意見 21
４．３ 普段の暮らしで感じていること 41
４．３．１ 属性別クロス集計表 41
４．４ まちづくりにおける満足度・重要度 58
４．４．１ 属性別クロス集計表 67
４．４．２ 満足度スコアと重要度スコアの散布図（項目別・属性別） 85

１．概要

１．１ 調査目的

袖ケ浦市の財政状況が厳しさを増している中、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来など、社会情勢の変化や市民ニーズへ適格に対応するにあたり、施策や事業の進捗を適切に管理する必要がある。このため、PDCA サイクルに基づき必要な改善を図りながら、計画的な行政運営を推進するため、その基礎的な資料として、施策に対する市民の満足度、重要度等を測ることを目的として実施するものである。

１．２ 調査項目

調査項目は、令和５年度（袖ケ浦市市民意識調査）・令和３年度（袖ケ浦市まちづくりアンケート）に実施された過去２回の調査を踏まえ、「袖ケ浦市に対する意識」、「普段の暮らしで感じていること」に対する認否（はい・いいえ）、行政の各分野における生活場面に関する「まちづくりにおける満足度・重要度」を各５段階で問う設問、及び回答者属性を問う「フェイスシート」から構成される。

１．３ 調査の方法・内容

（１）調査地域：袖ケ浦市
（２）調査対象：袖ケ浦市に住所を有する満 18 歳以上の男女
（３）標 本 数：2,000 人
（４）抽出方法：住民基本台帳を用いた無作為抽出
（５）実施方法：郵送による調査票の配布・回収及び LoGo フォーム（WEB アンケート）
（６）調査期間：令和６年８月

１．４ 回収状況

（１）配布数：2,000 票
（２）回収数： 655 票
（３）回収率： 32.75％

１．５ 本報告書の見方

１）全般

（１）集計結果の構成比（回答率）は、小数第２位を四捨五入し、第１位までを表示している。従って合計が 100.0%にならない場合がある。また、複数回答（選択肢からいくつかを選ぶ形式）の質問では回答比率が 100.0%を超える場合がある。

（２）グラフおよび集計表の「n」は、回答数を表している。

（３）構成比は、無回答を選択肢の一つとして扱っていることから、無回答の数により、他の選択肢の比率が影響を受ける。

（４）本文や図表上の選択肢表記は、適宜、語句を簡略化して表すことがある。

２）回答比率の誤差（標本誤差）

本調査の母集団は「袖ケ浦市に住所を有する満 18 歳以上の男女」であるが、無作為抽出された 2,000 人に対して実施した標本調査のため、母集団全体を対象（全数調査）とした結果とは異なる可能性が生じる。

その誤差を標本誤差と言い、一般的に 95%の信頼度で以下の式から得られる数値である。

$$b = \pm 1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \fallingdotseq \pm 1.96\sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、ｂ＝標本誤差
Ｎ＝母集団数（袖ケ浦市に住所を有する満 18 歳以上の男女・人）
ｎ＝サンプル数（人）
Ｐ＝回答の比率

また、Ｎはｎより十分大きいため、$\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ とみなす。

全数調査で得られる結果に対し、標本調査で得られた値をもって表すには、標本誤差を足し引きした範囲で示すことができる。

例えば、ある設問の回答数が 655 であり、「Ａ」と回答した回答比率が 50.00%だった場合、それを調査対象（母集団）全体の結果としてみる際は、95%の信頼度で 46.17（＝50.00－3.83）～53.83（＝50.00＋3.83）%の間と表現できる。

回答比率 (P) / n （人）	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
655	±2.30%	±3.06%	±3.51%	±3.75%	±3.83%
500	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
250	±3.72%	±4.96%	±5.68%	±6.07%	±6.20%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%

3）まちづくりにおける満足度・重要度のスコア化

問５では、「現在の満足度」を「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」、「わからない」、「今後の重要度」を「重要」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」、「わからない」の中から該当するものを選んでもらっている。

このうち、無回答と「わからない」を除き、「現在の満足度」では「満足」から「不満」、「今後の重要度」では「重要」から「重要でない」の５段階の回答に 5～1 の点数を与え、対象ごとに平均した値（算術平均）を、各々『満足度スコア』、『重要度スコア』として定義する。

4）ニーズ度

「重要度スコア」から「満足度スコア」を引いた値（スコア）を『ニーズ度』として定義する。

「ニーズ度」は、「今後の重要度」と「現在の満足度」の乖離を示す指標となり、「重要度スコア」、「満足度スコア」とともにニーズ（需要）の判断基準として用いる。

	ニーズ度	重要度スコア	満足度スコア
ニーズが高い	値が大きい	一定以上の値	一定以下の値
ニーズが満たされている（重要度が高い）	値が小さい	一定以上の値	一定以上の値
ニーズが満たされている（重要度が低い）	値が大きい	一定以下の値	一定以上の値
ニーズが高くない（関心が薄い、優先順位が低い、必要とする人が少ない）	値が小さい	一定以下の値	一定以下の値

１．６ 調査結果のポイント

１．６．１ 今回調査

１．６．１．１ 袖ケ浦市に対する意識

１）愛着：袖ケ浦市に愛着を感じている割合は６割台（P13～18）

袖ケ浦市に「愛着を感じている」の割合は６割台、「あまり愛着を感じていない」は１割に満たない。

属性別にみると、「職業：家族従業者」、「前住居：生まれたときから現在のところ」、「子どもの数：４人」、「通勤、通学場所：その他」は「愛着を感じている」の割合が８割以上で、「性別：答えない」、「前住居：その他」、「就学状況：専門学校・短大・大学（大学院）生」は５割以下である。

２）住みよさ：袖ケ浦市が住みよいと思っている割合は７割台（P19～20）

袖ケ浦市が「とても住みよい」、「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい』の割合は７割台、「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」を合わせた『住みにくい』では１割に満たない。

属性別にみると、「職業：家族従業者」、「就学状況：小学校入学前」は『住みよい』の割合が９割を超える一方、「居住地区：富岡地区」は５割台である。

３）居住意向：袖ケ浦市に住み続けたいと思っている割合は８割強（P21～26）

袖ケ浦市に「これからもずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』の割合は８割強、「住み続けたくない」は１割に満たない。

属性別にみると、「職業：家族従業者」は『住み続けたい』の割合が９割台である一方、「性別：答えない」は５割台である。

１．６．１．２ 普段の暮らしで感じていること

１）若い年代で評価・関心の高い項目は「医療、障がい者の生活環境」（P31、33、34）

「車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか【10】」、「障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思いますか【11】」は、若い年代で評価・関心が高い傾向にあり、同時に「職業：学生」で高い。

また、「安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思いますか【8】」は、「１０・２０歳台」が他の年代より高い。

２）高い年代で評価・関心の高い項目は「地域活動、地域情報」（P44、47）

「地域活動に参加したことがありますか【40】」、「市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいますか（ホームページやアプリなどを含む）【44】」は、高い年代で関心が高い傾向にある。

３）居住地区で差がみられる項目は「道路環境、交通手段、生活環境」（P31、36、38、39、40、41、43）

「市内の道路環境は整っていると思いますか【28】」、「市内の鉄道交通に満足していますか【32】」は、「中川地区」で評価が低い。「昭和地区、長浦地区」では、「市内の鉄道交通に満足していますか【32】」の評価が高い。

「買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか【35】」は、「根形地区、富岡地区」で評価が低く、「市内の路線バス交通に満足していますか【34】」には「平岡地区」が加わる。

「富岡地区」では、「市内にごみがなく、まちがきれいだと感じていますか【22】」、「生活排水などの汚水が適切に処理されていると思いますか【30】」、「市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか【31】」で評価が低い一方、「市内の公園が適切に管理されていると思いますか【27】」、「まちづくりに関心がありますか【39】」で高い。

「中川地区、富岡地区」では、「安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思いますか【8】」の評価が低い。

４）居住年数が長いと評価・関心の高くなる項目は「災害時の避難場所、地域活動」（P35、44）

「災害時の避難所や避難場所を知っていますか【14】」、「地域活動に参加したことがありますか【40】」は、居住年数が長いほど関心が高い傾向にある。

５）前住居で差がみられる項目は「地域の歴史・文化、効率的な行政サービス」（P29、47）

「袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っていますか【7】」は、「生まれたときから現在のところ」で評価・関心が高く、「ＩＣＴ化により効率的な行政サービスが提供されていると思いますか【48】」は、「東京都内」で低い。

６）ＳＤＧｓの認知と実践（P48、49）

「ＳＤＧｓを知っていますか【49】」は、「通勤・通学場所：市原市内、君津市内、通勤、通学はしていない」で低く、「ＳＤＧｓを実践していますか【50】」は、「職業：学生」で高い。

１．６．１．３ まちづくりにおける満足度・重要度

１）満足度と重要度（P50～62）

①満足度の高い項目は「健康づくり、上水道、高速バス」

「満足度スコア」の高い項目は「健康づくり【8】」、「上水道【45】」、「高速バス【28】」である。一方、「満足度スコア」の低い項目は「路線バス【29】」、「商業【31】」、「観光【33】」である。

②重要度の高い項目は「医療、防災、消防・救急」

「重要度スコア」の高い項目は「医療【9】」、「防災【13】」、「消防・救急【16】」である。一方、「重要度スコア」の低い項目は、「文化芸術・文化財【7】」、「コミュニティ【35】」、「市民参加【36】」である。

③特に重要だと思われている項目は「医療、子育て支援、防災」

特に重要だと思われている上位３項目は「医療【9】」、「子育て支援【1】」、「防災【13】」であるが、２位の「子育て支援【1】」は『重要視層（「重要」と「やや重要」を合わせた割合)』での順位が１５位と高くない。

２）市政へのニーズ（P63～66）

①ニーズ度の高い項目は「路線バス、交通安全、商業」

「ニーズ度（「重要度スコア」－「満足度スコア」)」の上位３項目は「路線バス【29】」、「交通安全【15】」、「商業【31】」であり、下位３項目は「高速バス【28】」、「多文化共生【39】」、「健康づくり【8】」である。

②「ニーズが満たされている項目」は「学校教育、消防・救急、上水道、ごみ処理、健康づくり」

散布図（満足度スコア×重要度スコア）から分類できる「ニーズがある程度満たされている項目」は「学校教育【3】」、「消防・救急【16】」、「上水道【45】」、「ごみ処理【20】」、「健康づくり【8】」などである。

③「ニーズが高い項目」は「交通安全、雇用・就業、道路、障がい者福祉」

散布図（満足度スコア×重要度スコア）から分類できる「ニーズが高い項目」は「交通安全【15】」、「雇用・就業【34】」、「道路【23】」、「障がい者福祉【12】」である。

３）満足度と重要度の分析（属性別）（P67～80）

①特定の年代だけ「ニーズが高い項目」がみられる

年代を問わず「交通安全【15】」のニーズが高い。

１０・２０歳台から４０歳台で「道路【23】」へのニーズが高く、日常的に道路を利用している年代であり、安全で利便性の高さが求められていると考えられる。

３０歳台から６０歳前半で「環境保全【18】」、「雇用・就業【34】」へのニーズが高く、働き盛りの現役世代が家庭を守るのに重要視しているのが想定される。

４０歳台以上で「地域福祉【10】」、「高齢者福祉【11】」、「障がい者福祉【12】」へのニーズが高く、自身はもとより親世代に対しても必要とされると考えられる。

②特定の居住地区だけ「ニーズが高い項目」がみられる

居住地区を問わず「交通安全」のニーズが高く、「富岡地区」を除き「道路【23】」、「根形地区」は「鉄道【27】」が加わる。

「長浦地区、根形地区、富岡地区」では「障がい者福祉【12】」と「雇用・就業【34】」、「中川地区、富岡地区」では「医療【9】」と「地域福祉【10】」、「昭和地区、長浦地区」では「環境保全【18】」などのニーズが高い。

4）満足度と重要度のクロス分析（項目別・属性別）（P81～90）

①「地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、交通安全、環境保全、路線バス、商業、雇用・就業」の項目では、年齢別に特徴がみられる

「満足度スコア」は、「交通安全【15】」の「３０歳台」、「地域福祉【10】」、「高齢者福祉【11】」、「障がい者福祉【12】」、「環境保全【18】」、「雇用・就業【34】」の「５０歳台」が最も低い。

「重要度スコア」は、「交通安全【15】」、「環境保全【18】」、「雇用・就業【34】」の「３０歳台」、「高齢者福祉【11】」、「路線バス【29】」、「商業【31】」の「４０歳台」、「地域福祉【10】」、「障がい者福祉【12】」の「５０歳台」が最も高い。

「ニーズが高い項目」をみてみると、「３０歳台」は「交通安全【15】」、「４０歳台」は「路線バス【29】」、「商業【31】」、「５０歳台」は「地域福祉【10】」、「高齢者福祉【11】」、「障がい者福祉【12】」、「環境保全【18】」、「商業【31】」、「雇用・就業【34】」が該当する。

②「地域福祉、障がい者福祉、路線バス、商業、雇用・就業」の項目では、居住地区別に特徴がみられる

「満足度スコア」は、「障がい者福祉【12】」、「路線バス【29】」の「根形地区」、「地域福祉【10】」、「雇用・就業【34】」の「中川地区」、「商業【31】」の「富岡地区」が最も低い。

「重要度スコア」は、「地域福祉【10】」の「平岡地区」、「障がい者福祉【12】」、「路線バス【29】」、「商業【31】」、「雇用・就業【34】」の「富岡地区」が最も高い。

「ニーズが高い項目」をみてみると、「根形地区」は「路線バス【29】」、「富岡地区」は「地域福祉【10】」、「障がい者福祉【12】」、「路線バス【29】」、「商業【31】」、「雇用・就業【34】」が該当する。

１．６．２ 前回調査（令和３年度調査）との比較

１．６．２．１ 袖ケ浦市に対する意識

１）愛着：袖ケ浦市に愛着を感じている割合に上昇傾向（P93）

「愛着を感じている」の割合は、全体では多少増えている。属性別にみて「愛着を感じている」の割合の差が+20 ポイントを上回っているのは「職業：家族従業員」、「居住地区：平岡地区」、「居住年数：３年以上５年未満」、-20 ポイントを下回っているのは「職業：その他」である。

２）住みよさ：袖ケ浦市が住みよいと思っている割合に全体で大きな変化はない（P94）

「とても住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい』の割合は、全体では大きな変化はみられない。属性別にみて『住みよい』の割合の差が+10 ポイントを上回っているのは「職業：家族従業者、学生」、「居住地区：平岡地区」、「居住年数：１０年以上２０年未満」、-10 ポイントを下回っているのは「職業：その他」、「居住地区：富岡地区」である。

３）居住意向：袖ケ浦市に住み続けたいと思っている割合に全体で大きな変化はない（P95）

「これからもずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』の割合は、全体では大きな変化はみられない。属性別にみて『住み続けたい』の割合の差が+10 ポイントを上回るのは「居住地区：平岡地区」、-10 ポイントを下回るのは「居住年数：５年以上１０年未満」である。

１．６．２．２ 普段の暮らしで感じていること

１）「美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞」をしなかった人が増えた（P96）

比較可能な項目について、「はい」と回答された割合の差が+10 ポイントを上回るのは「市内外を問わず、この１年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか【6】」だけで、前回調査（令和３年度）の際、新型コロナウイルス感染症流行の影響によると思われる「はい」の構成比の低下があった項目である。

１．６．２．３ まちづくりにおける満足度・重要度

１）満足度と重要度の比較分析（全体）（P98～100）

①満足度に変化があった項目は１０項目

「満足度スコア」に差がみられる項目（0.1 以上の差）として、上がったものが７項目、下がったものが３項目みられる。

各々上位３項目をみると、上がった項目が「火葬場【46】」、「ＩＣＴ化【42】」、「財政運営【47】」、下がった項目が「工業【32】」、「医療【9】」、「農業【30】」である。

このうち、「火葬場【46】」、「ＩＣＴ化【42】」は 2.00 台から 3.00 台に上昇している。

②重要度に変化があった項目は４項目

「重要度スコア」に差がみられる項目（0.1 以上の差）は、上がったものは無く、下がったものが４項目みられる。

下がった項目は「高齢者福祉【11】」、「多文化共生【39】」、「障がい者福祉【12】」、「観光【33】」である。

２）ニーズ度の比較分析（全体）（P101～103）

ニーズが高い項目になったのは「環境保全」

ニーズ度の差がプラスに大きい項目は、「工業【32】」、「環境保全【18】」、「農業【30】」、マイナスに大きい項目は「火葬場【46】」、「ＩＣＴ化【42】」、「財政運営【47】」などである。

また、順位による変動がプラスに大きい項目は、「工業【32】」、「上水道【45】」、「医療【9】」、マイナスに大きい項目は「火葬場【46】」、「ＩＣＴ化【42】」、「多文化共生【39】」などである。

なお、「環境保全【18】」については、「満足度スコア」が低下し、「重要度スコア」が上昇したことにより、「ニーズが高い項目」に変動している。

３）満足度と重要度の比較分析（居住地区別）（P104～106）

居住地区によって満足度・重要度・ニーズ度に大きな差がみられた項目は「火葬場、商業、コミュニティ、鉄道、医療」

「満足度スコア」が最も上昇した項目：地区は、「火葬場【46】：平岡地区」である。「根形地区」はほぼ同じ、「長浦地区」以外は大きく上昇した。「満足度スコア」が最も低下したのは、「商業【31】：富岡地区」である。

「重要度スコア」が最も上昇した項目：地区は、「コミュニティ【35】：平岡地区」であるが、「中川地区」は低下している。「重要度スコア」が最も低下したのは、「鉄道【27】：富岡地区」であるが、他の地区の変化は小さい。

「ニーズ度」が最も上昇した項目：地区は、「医療【9】：中川地区」であり、「満足度スコア」が低下したことによる。「ニーズ度」が最も低下したものは、「火葬場【46】：平岡地区」である。

２．調査結果

２．１ 回答者属性

本調査での回答者の属性は下表のとおりである。

図表 １　回答者の属性（その１）

①性別

	件数	構成比(%)
男性	268	40.9
女性	357	54.5
答えない	21	3.2
（無回答）	9	1.4
合計	655	100.0

②年齢

	件数	構成比(%)
１０・２０歳台	47	7.2
３０歳台	92	14.0
４０歳台	117	17.9
５０歳台	131	20.0
６０～６４歳	57	8.7
６５～６９歳	69	10.5
７０歳以上	133	20.3
（無回答）	9	1.4
合計	655	100.0

③職業

	件数	構成比(%)
自営業主	31	4.7
家族従業者	12	1.8
会社・団体役員	113	17.3
給与所得者	149	22.7
アルバイト・パートタイム	121	18.5
学生	18	2.7
専業主婦・主夫	97	14.8
その他	13	2.0
無職	90	13.7
（無回答）	11	1.7
合計	655	100.0

④世帯人数

	件数	構成比(%)
１人	56	8.5
２人	208	31.8
３人	173	26.4
４人	135	20.6
５人以上	73	11.1
（無回答）	10	1.5
合計	655	100.0

⑤子どもの数

	件数	構成比(%)
１人	100	15.3
２人	260	39.7
３人	105	16.0
４人	10	1.5
５人以上	2	0.3
子どもはいない	165	25.2
（無回答）	13	2.0
合計	655	100.0

図表 2　回答者の属性（その２）

⑥子どもの就学状況

【複数回答】
（⑤の回答で、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択）

	件数	構成比(%)
小学校入学前	51	10.7
小学生	58	12.2
中学生	36	7.5
高校生	45	9.4
専門学校・短大・大学（大学院）生	38	8.0
その他	287	60.2
（無回答）	11	2.3
回答者数	477	－

⑦居住地区

	件数	構成比(%)
昭和地区	226	34.5
長浦地区	237	36.2
根形地区	63	9.6
平岡地区	47	7.2
中川地区	49	7.5
富岡地区	19	2.9
（無回答）	14	2.1
合計	655	100.0

⑧居住年数

	件数	構成比(%)
３年未満	30	4.6
３年以上５年未満	28	4.3
５年以上１０年未満	53	8.1
１０年以上２０年未満	100	15.3
２０年以上	432	66.0
（無回答）	12	1.8
合計	655	100.0

⑨前住居

	件数	構成比(%)
生まれたときから現在のところ	95	14.5
袖ケ浦市内の別のところ	119	18.2
袖ケ浦市以外の千葉県内	301	46.0
東京都内	43	6.6
神奈川県内	30	4.6
その他	51	7.8
（無回答）	16	2.4
合計	655	100.0

⑩通勤、通学場所

	件数	構成比(%)
袖ケ浦市内	174	26.6
木更津市内	84	12.8
市原市内	64	9.8
君津市内	12	1.8
千葉市内	35	5.3
１～５以外の千葉県内	25	3.8
東京都内	34	5.2
神奈川県内	8	1.2
その他	10	1.5
通勤、通学はしていない	184	28.1
（無回答）	25	3.8
合計	655	100.0

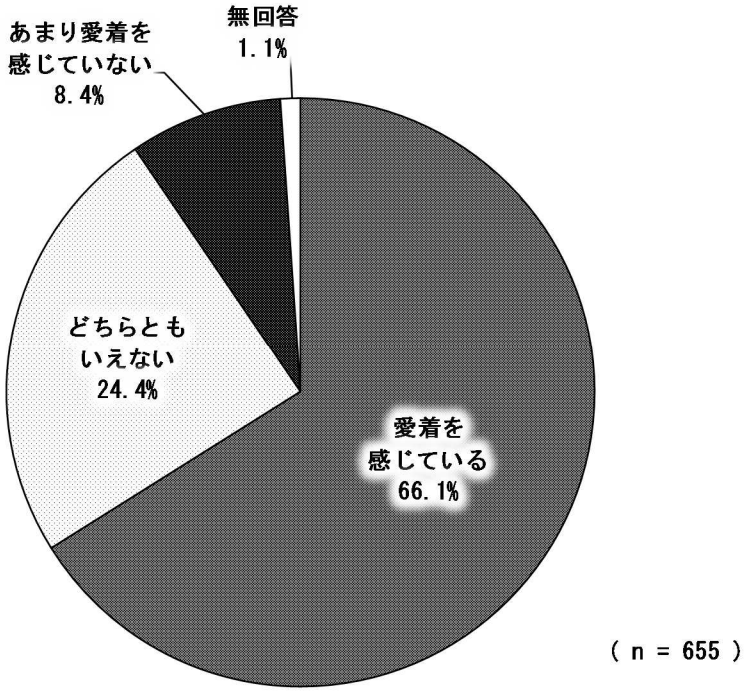
２．２ 袖ケ浦市に対する意識

２．２．１ 愛着

【問１】あなたは、袖ケ浦市に愛着を感じていますか。

袖ケ浦市に「愛着を感じている（66.1%）」の割合は、「あまり愛着を感じていない（8.4%）」より 57.7 ポイント高く６割台、次いで「どちらともいえない（24.4%）」が２割台である。

図表 3　愛着



属性別にみると、件数が 10 以上のもので、「愛着を感じている」の割合が全体より高い属性は「職業：家族従業者（83.3%）」、「前住居：生まれたときから現在のところ（81.1%）」、「子どもの数：４人（80.0%）」、「通勤、通学場所：その他（80.0%）」などである。

一方、全体より低い属性は「性別：答えない（42.9 %）」、「前住居：その他（49.0%）」、「就学状況：専門学校・短大・大学（大学院）生（50.0%）」などである。

また、「あまり愛着を感じていない」の割合が高い属性は「職業：その他（30.8%）」、「前住居：神奈川県内（26.7%）」、「性別：答えない（19.0%）」などである。

図表 4　愛着（属性別）

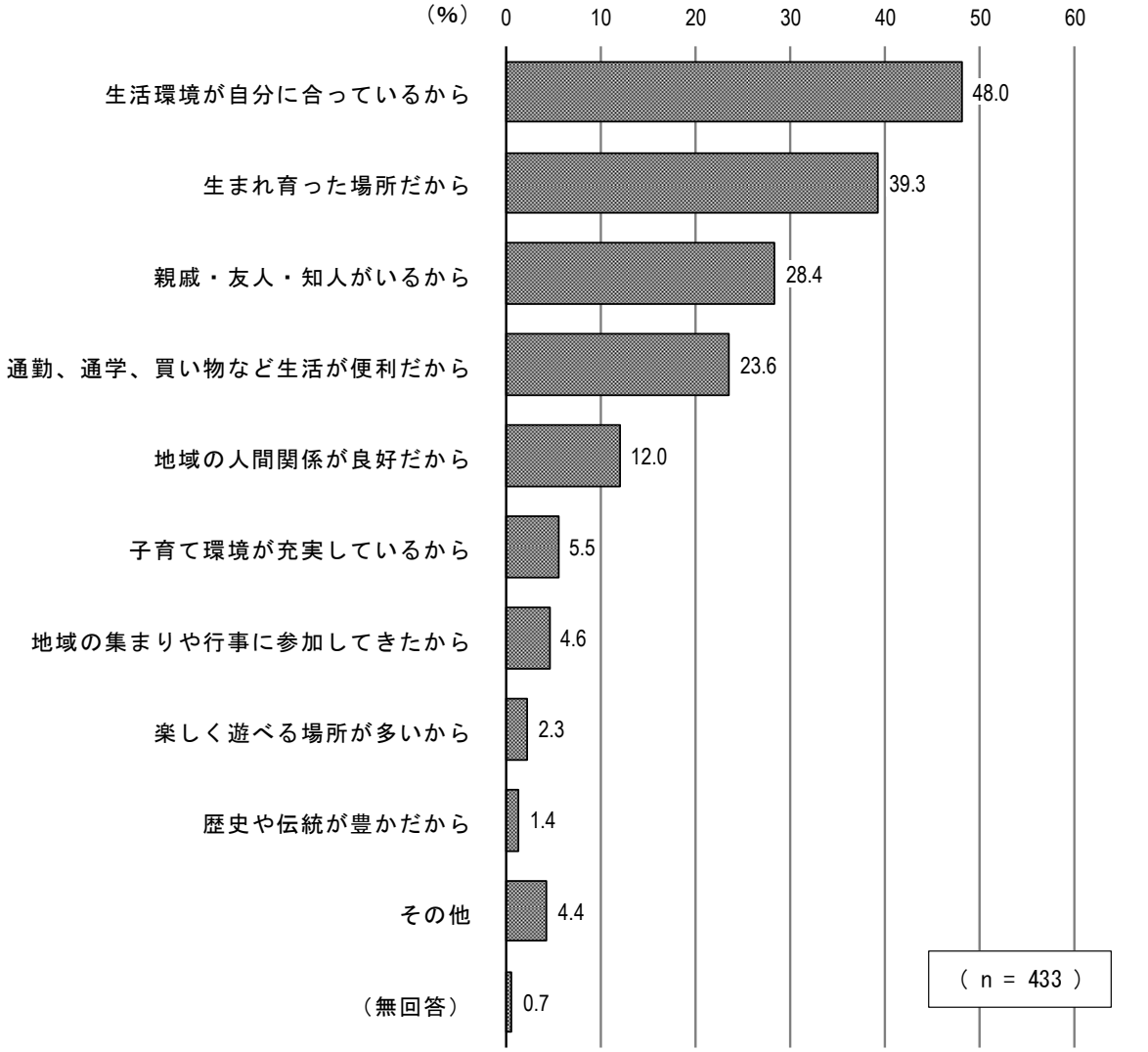
		件数	愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	（無回答）
全体		655	66.1%	24.4%	8.4%	1.1%
性別	男性	268	71.6%	19.8%	8.2%	0.4%
	女性	357	63.6%	27.7%	7.8%	0.8%
	答えない	21	42.9%	38.1%	19.0%	0.0%
年齢	１０・２０歳台	47	61.7%	31.9%	6.4%	0.0%
	３０歳台	92	69.6%	20.7%	9.8%	0.0%
	４０歳台	117	64.1%	28.2%	7.7%	0.0%
	５０歳台	131	61.1%	26.0%	12.2%	0.8%
	６０～６４歳	57	68.4%	21.1%	10.5%	0.0%
	６５～６９歳	69	71.0%	24.6%	4.3%	0.0%
	７０歳以上	133	69.2%	22.6%	6.0%	2.3%
職業	自営業主	31	64.5%	25.8%	9.7%	0.0%
	家族従業者	12	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	会社・団体役員	113	65.5%	23.0%	9.7%	1.8%
	給与所得者	149	71.1%	20.1%	8.7%	0.0%
	アルバイト・パートタイム	121	62.8%	30.6%	6.6%	0.0%
	学生	18	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%
	専業主婦・主夫	97	64.9%	25.8%	9.3%	0.0%
	その他	13	53.8%	15.4%	30.8%	0.0%
	無職	90	65.6%	25.6%	6.7%	2.2%
世帯人数	１人	56	60.7%	26.8%	8.9%	3.6%
	２人	208	63.9%	26.0%	9.1%	1.0%
	３人	173	69.9%	22.0%	8.1%	0.0%
	４人	135	64.4%	27.4%	8.1%	0.0%
	５人以上	73	71.2%	21.9%	6.8%	0.0%
子どもの数	１人	100	59.0%	21.0%	17.0%	3.0%
	２人	260	69.6%	23.1%	7.3%	0.0%
	３人	105	65.7%	28.6%	5.7%	0.0%
	４人	10	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	５人以上	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもはいない	165	63.6%	28.5%	7.3%	0.6%
就学状況※1	小学校入学前	51	72.5%	21.6%	5.9%	0.0%
	小学生	58	72.4%	17.2%	10.3%	0.0%
	中学生	36	58.3%	30.6%	11.1%	0.0%
	高校生	45	68.9%	20.0%	11.1%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	50.0%	39.5%	10.5%	0.0%
	その他	287	67.2%	23.7%	8.4%	0.7%
居住地区	昭和地区	226	70.4%	23.5%	4.9%	1.3%
	長浦地区	237	59.9%	28.3%	11.0%	0.8%
	根形地区	63	68.3%	23.8%	7.9%	0.0%
	平岡地区	47	76.6%	17.0%	6.4%	0.0%
	中川地区	49	67.3%	18.4%	14.3%	0.0%
	富岡地区	19	63.2%	21.1%	15.8%	0.0%
居住年数	３年未満	30	53.3%	33.3%	13.3%	0.0%
	３年以上５年未満	28	67.9%	28.6%	3.6%	0.0%
	５年以上１０年未満	53	60.4%	28.3%	11.3%	0.0%
	１０年以上２０年未満	100	57.0%	34.0%	9.0%	0.0%
	２０年以上	432	69.9%	20.8%	8.1%	1.2%
前住居	生まれたときから現在のところ	95	81.1%	17.9%	1.1%	0.0%
	袖ケ浦市内の別のところ	119	78.2%	17.6%	3.4%	0.8%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	63.1%	27.2%	8.6%	1.0%
	東京都内	43	53.5%	32.6%	14.0%	0.0%
	神奈川県内	30	53.3%	20.0%	26.7%	0.0%
	その他	51	49.0%	33.3%	17.6%	0.0%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	61.5%	30.5%	6.3%	1.7%
	木更津市内	84	69.0%	22.6%	8.3%	0.0%
	市原市内	64	68.8%	21.9%	9.4%	0.0%
	君津市内	12	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%
	千葉市内	35	77.1%	17.1%	5.7%	0.0%
	千葉県内※２	25	60.0%	32.0%	8.0%	0.0%
	東京都内	34	76.5%	11.8%	11.8%	0.0%
	神奈川県内	8	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
	その他	10	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	通勤、通学はしていない	184	64.1%	25.0%	10.3%	0.5%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

問１で１．に○印をつけた理由は何ですか。【複数回答】

袖ケ浦市に愛着を感じている回答者（n=433）が、その理由として挙げたことは、「生活環境が自分に合っているから（48.0%）」の割合が最も高く４割台、次いで「生まれ育った場所だから（39.3%）」、「親戚・友人・知人がいるから（28.4%）」が続いている。

図表 5　袖ケ浦市に愛着を感じている理由



件数が 10 以上のもので、全体で割合が高かった項目を属性別にみると、「生活環境が自分に合っているから」では「居住年数：３年以上５年未満（84.2%）」、「前住居：その他（84.0%）」、「就学状況：専門学校・短大・大学（大学院）生（73.7%）」などの割合が高く、「生まれ育った場所だから」では「前住居：生まれたときから現在のところ（89.6%）」、「職業：学生（76.9%）」、「年齢：１０・２０歳台（72.4%）」、「親戚・友人・知人がいるから」では「職業：家族従業者（50.0%）」、「職業：自営業主（45.0%）」、「子どもの数：３人（40.6%）」などである。

図表 6　袖ケ浦市に愛着を感じている理由（２つまでの重複回答・属性別）

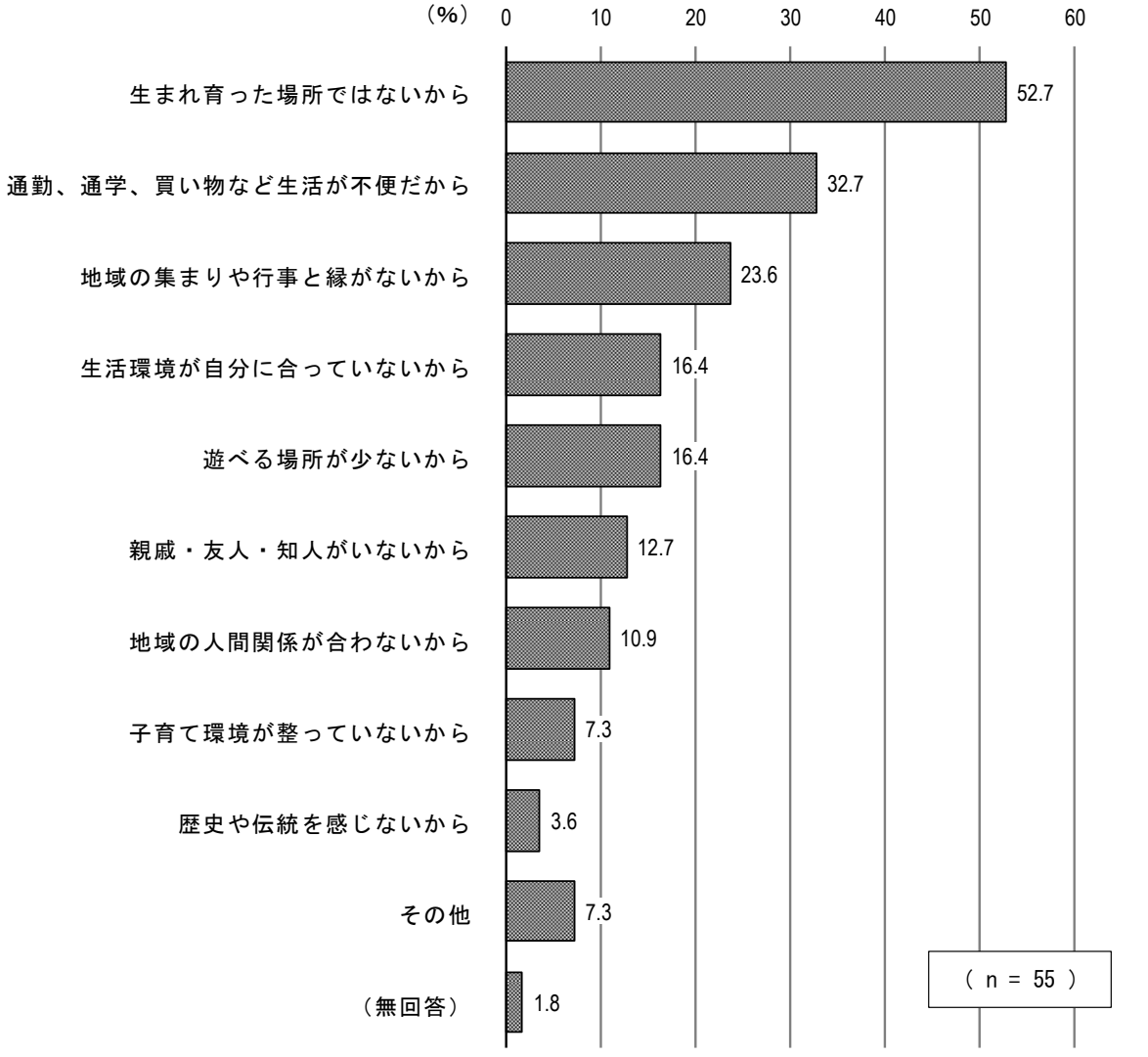
		件数	生まれ育った場所だから	親戚・友人・知人がいるから	生活環境が自分に合っているから	通勤、通学、買い物など生活が便利だから	子育て環境が充実しているから	楽しく遊べる場所が多いから	地域の人間関係が良好だから	地域の集まりや行事に参加してきたから	歴史や伝統が豊かだから	その他	（無回答）
全体		433	39.3%	28.4%	48.0%	23.6%	5.5%	2.3%	12.0%	4.6%	1.4%	4.4%	0.7%
性別	男性	192	42.7%	25.5%	47.4%	27.1%	6.8%	3.6%	8.3%	3.6%	2.1%	3.6%	1.0%
	女性	227	36.1%	31.7%	48.5%	19.4%	4.8%	1.3%	15.4%	5.3%	0.9%	5.3%	0.0%
	答えない	9	55.6%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
年齢	１０・２０歳台	29	72.4%	37.9%	37.9%	17.2%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
	３０歳台	64	40.6%	29.7%	46.9%	18.8%	9.4%	4.7%	10.9%	3.1%	0.0%	3.1%	1.6%
	４０歳台	75	37.3%	25.3%	45.3%	30.7%	9.3%	1.3%	10.7%	2.7%	1.3%	4.0%	0.0%
	５０歳台	80	36.3%	23.8%	51.3%	25.0%	6.3%	3.8%	8.8%	3.8%	0.0%	5.0%	0.0%
	６０～６４歳	39	46.2%	28.2%	43.6%	28.2%	2.6%	2.6%	15.4%	5.1%	0.0%	7.7%	0.0%
	６５～６９歳	49	34.7%	26.5%	59.2%	26.5%	4.1%	2.0%	12.2%	4.1%	2.0%	2.0%	2.0%
	７０歳以上	92	33.7%	33.7%	44.6%	16.3%	2.2%	0.0%	18.5%	9.8%	3.3%	6.5%	1.1%
職業	自営業主	20	55.0%	45.0%	45.0%	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	家族従業者	10	40.0%	50.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社・団体役員	74	37.8%	17.6%	48.6%	31.1%	8.1%	4.1%	12.2%	2.7%	0.0%	4.1%	1.4%
	給与所得者	106	44.3%	27.4%	45.3%	27.4%	8.5%	2.8%	5.7%	1.9%	1.9%	4.7%	0.0%
	アルバイト・パートタイム	76	31.6%	28.9%	57.9%	19.7%	3.9%	1.3%	14.5%	6.6%	0.0%	3.9%	1.3%
	学生	13	76.9%	38.5%	30.8%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
	専業主婦・主夫	63	27.0%	30.2%	54.0%	17.5%	3.2%	1.6%	23.8%	6.3%	1.6%	7.9%	0.0%
	その他	7	28.6%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	59	45.8%	30.5%	40.7%	15.3%	1.7%	0.0%	13.6%	10.2%	3.4%	1.7%	1.7%
世帯人数	１人	34	26.5%	20.6%	52.9%	26.5%	0.0%	0.0%	14.7%	2.9%	0.0%	8.8%	0.0%
	２人	133	30.1%	27.8%	54.9%	25.6%	3.0%	1.5%	13.5%	6.0%	2.3%	5.3%	0.8%
	３人	121	48.8%	30.6%	42.1%	20.7%	5.0%	2.5%	9.9%	3.3%	0.8%	4.1%	0.8%
	４人	87	41.4%	26.4%	44.8%	26.4%	6.9%	4.6%	12.6%	4.6%	1.1%	3.4%	1.1%
	５人以上	52	48.1%	32.7%	44.2%	15.4%	15.4%	1.9%	9.6%	5.8%	1.9%	1.9%	0.0%
子どもの数	１人	59	44.1%	35.6%	44.1%	22.0%	8.5%	3.4%	8.5%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%
	２人	181	31.5%	22.1%	50.3%	26.5%	5.5%	2.2%	17.7%	8.3%	0.0%	6.6%	1.7%
	３人	69	46.4%	40.6%	40.6%	13.0%	10.1%	4.3%	10.1%	2.9%	1.4%	1.4%	0.0%
	４人	8	37.5%	12.5%	62.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	５人以上	2	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもはいない	105	49.5%	26.7%	47.6%	22.9%	1.0%	1.0%	6.7%	1.9%	3.8%	5.7%	0.0%
就学状況※１	小学校入学前	37	37.8%	27.0%	43.2%	24.3%	8.1%	8.1%	8.1%	2.7%	0.0%	2.7%	5.4%
	小学生	42	45.2%	35.7%	31.0%	26.2%	21.4%	2.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学生	21	28.6%	33.3%	38.1%	33.3%	19.0%	0.0%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%
	高校生	31	38.7%	22.6%	58.1%	22.6%	9.7%	0.0%	12.9%	6.5%	0.0%	3.2%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	19	26.3%	15.8%	73.7%	21.1%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
	その他	193	35.8%	28.5%	49.7%	23.8%	4.1%	2.1%	15.5%	7.8%	0.5%	5.7%	0.5%
居住地区	昭和地区	159	36.5%	28.9%	50.3%	30.8%	5.0%	1.3%	7.5%	1.9%	0.0%	4.4%	1.9%
	長浦地区	142	28.2%	27.5%	52.1%	26.1%	7.7%	3.5%	15.5%	4.2%	1.4%	2.8%	0.0%
	根形地区	43	53.5%	16.3%	48.8%	14.0%	2.3%	4.7%	16.3%	9.3%	4.7%	9.3%	0.0%
	平岡地区	36	66.7%	33.3%	33.3%	8.3%	5.6%	0.0%	8.3%	2.8%	2.8%	5.6%	0.0%
	中川地区	33	51.5%	39.4%	36.4%	12.1%	3.0%	3.0%	15.2%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	富岡地区	12	33.3%	33.3%	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%
居住年数	３年未満	16	0.0%	12.5%	62.5%	18.8%	6.3%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%
	３年以上５年未満	19	0.0%	0.0%	84.2%	21.1%	10.5%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
	５年以上１０年未満	32	6.3%	31.3%	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	3.1%	9.4%	0.0%
	１０年以上２０年未満	57	17.5%	28.1%	61.4%	45.6%	12.3%	0.0%	7.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
	２０年以上	302	51.3%	30.8%	41.7%	17.9%	4.0%	1.7%	12.3%	6.0%	1.3%	4.0%	1.0%
前住居	生まれたときから現在のところ	77	89.6%	36.4%	29.9%	5.2%	1.3%	0.0%	6.5%	5.2%	1.3%	0.0%	0.0%
	袖ケ浦市内の別のところ	93	63.4%	36.6%	31.2%	18.3%	3.2%	3.2%	7.5%	3.2%	2.2%	4.3%	1.1%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	190	13.7%	25.8%	58.4%	33.2%	8.9%	2.6%	12.6%	5.8%	1.1%	4.7%	1.1%
	東京都内	23	21.7%	13.0%	47.8%	26.1%	4.3%	4.3%	26.1%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%
	神奈川県内	16	25.0%	25.0%	56.3%	18.8%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
	その他	25	8.0%	12.0%	84.0%	24.0%	8.0%	4.0%	12.0%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	107	42.1%	30.8%	44.9%	26.2%	4.7%	2.8%	8.4%	2.8%	0.0%	3.7%	0.0%
	木更津市内	58	36.2%	19.0%	56.9%	22.4%	13.8%	5.2%	6.9%	5.2%	1.7%	1.7%	1.7%
	市原市内	44	31.8%	20.5%	61.4%	34.1%	6.8%	2.3%	13.6%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%
	君津市内	9	44.4%	22.2%	55.6%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	千葉市内	27	37.0%	25.9%	48.1%	29.6%	3.7%	3.7%	7.4%	3.7%	3.7%	14.8%	0.0%
	千葉県内※２	15	46.7%	26.7%	46.7%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	東京都内	26	53.8%	26.9%	38.5%	19.2%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%
	神奈川県内	6	16.7%	33.3%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	その他	8	50.0%	37.5%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	通勤、通学はしていない	118	37.3%	33.9%	44.1%	13.6%	3.4%	0.8%	21.2%	8.5%	1.7%	5.9%	0.8%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

問１で３．に○印をつけた理由は何ですか。【複数回答】

袖ケ浦市にあまり愛着を感じていない回答者（n=55）が、その理由として挙げたことは、「生まれ育った場所ではないから（52.7%）」の割合が最も高く５割台、次いで「通勤、通学、買い物など生活が不便だから（32.7%）」、「地域の集まりや行事と縁がないから（23.6%）」が続いている。

図表 7　袖ケ浦市にあまり愛着を感じていない理由



件数が 10 以上のもので、全体で割合が高かった項目を属性別にみると、「生まれ育った場所ではないから」では「通勤、通学場所：袖ケ浦市内（72.2%）」などの割合が高く、「通勤、通学、買い物など生活が不便だから」では「就学状況：その他（54.2%）」、「年齢：５０歳台（50.0%）」、「前住居：袖ケ浦市以外の千葉県内（46.2%）」、「地域の集まりや行事と縁がないから」では「通勤、通学場所：袖ケ浦市内：(54.5%)」、「子どもの数：子どもはいない（50.0%）」、「世帯人数：３人（35.7%）」などである。

図表 8　袖ケ浦市にあまり愛着を感じていない理由（２つまでの重複回答・属性別）

		件数	生まれ育った場所ではないから	親戚・友人・知人がいないから	自分に合った生活環境が整っていないから	通勤、通学、買い物など生活が不便だから	子育て環境が整っていないから	遊べる場所が少ないから	地域の人間関係が合わないから	地域の集まりや行事と縁がないから	歴史や伝統を感じないから	その他	（無回答）
全体		55	52.7%	12.7%	16.4%	32.7%	7.3%	16.4%	10.9%	23.6%	3.6%	7.3%	1.8%
性別	男性	22	45.5%	13.6%	22.7%	36.4%	9.1%	22.7%	9.1%	13.6%	4.5%	9.1%	0.0%
	女性	28	60.7%	14.3%	14.3%	32.1%	7.1%	14.3%	10.7%	32.1%	0.0%	3.6%	0.0%
	答えない	4	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
年齢	１０・２０歳台	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	３０歳台	9	44.4%	11.1%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
	４０歳台	9	55.6%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%
	５０歳台	16	50.0%	18.8%	6.3%	50.0%	0.0%	18.8%	18.8%	25.0%	0.0%	6.3%	0.0%
	６０～６４歳	6	66.7%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	６５～６９歳	3	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	７０歳以上	8	50.0%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%
職業	自営業主	3	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	会社・団体役員	11	54.5%	9.1%	0.0%	27.3%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%
	給与所得者	13	53.8%	0.0%	15.4%	38.5%	15.4%	23.1%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%
	アルバイト・パートタイム	8	75.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学生	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	専業主婦・主夫	9	55.6%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	その他	4	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	6	33.3%	33.3%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
世帯人数	１人	5	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	２人	19	52.6%	21.1%	10.5%	36.8%	5.3%	10.5%	21.1%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%
	３人	14	50.0%	14.3%	21.4%	28.6%	14.3%	21.4%	0.0%	35.7%	0.0%	7.1%	0.0%
	４人	11	54.5%	0.0%	36.4%	45.5%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%
	５人以上	5	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの数	１人	17	58.8%	17.6%	11.8%	35.3%	17.6%	23.5%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%
	２人	19	57.9%	5.3%	10.5%	36.8%	0.0%	15.8%	15.8%	26.3%	5.3%	10.5%	0.0%
	３人	6	50.0%	16.7%	33.3%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	４人	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	５人以上	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子どもはいない	12	41.7%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%
就学状況※１	小学校入学前	3	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小学生	6	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学生	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高校生	5	60.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	4	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	24	58.3%	12.5%	12.5%	54.2%	0.0%	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	0.0%
居住地区	昭和地区	11	54.5%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%
	長浦地区	26	50.0%	15.4%	26.9%	23.1%	11.5%	11.5%	3.8%	30.8%	3.8%	7.7%	0.0%
	根形地区	5	60.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	平岡地区	3	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	中川地区	7	57.1%	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	富岡地区	3	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住年数	３年未満	4	100.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	３年以上５年未満	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	５年以上１０年未満	6	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	１０年以上２０年未満	9	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	２０年以上	35	42.9%	11.4%	22.9%	42.9%	5.7%	17.1%	14.3%	14.3%	5.7%	8.6%	2.9%
前住居	生まれたときから現在のところ	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	袖ケ浦市内の別のところ	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	26	53.8%	11.5%	19.2%	46.2%	7.7%	11.5%	11.5%	23.1%	3.8%	3.8%	0.0%
	東京都内	6	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%
	神奈川県内	8	62.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%
	その他	9	66.7%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	11	72.7%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	木更津市内	7	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	市原市内	6	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	君津市内	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	千葉市内	2	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	千葉県内※２	2	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	東京都内	4	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	神奈川県内	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	通勤、通学はしていない	19	42.1%	26.3%	26.3%	36.8%	0.0%	10.5%	5.3%	21.1%	10.5%	10.5%	0.0%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

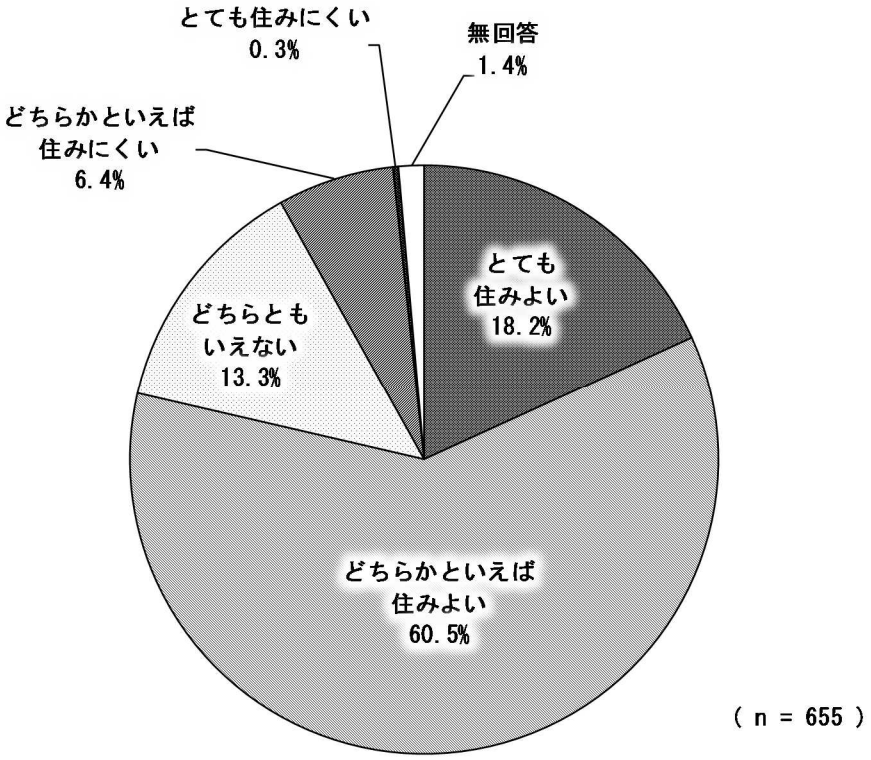
２．２．２ 住みよさ

【問２】あなたは、袖ケ浦市が住みよいまちだと思いますか。

袖ケ浦市の住みよさとして、「とても住みよい（18.2%）」、「どちらかといえば住みよい（60.5%）」を合わせ『住みよい（78.7%）』とすると割合は７割台である。

一方、「どちらかといえば住みにくい（6.4%）」、「とても住みにくい（0.3%）」を合わせ『住みにくい（6.7%）』としても１割に満たず、「住みよい」との差は 72.0 ポイントとなる。

図表 9　住みよさ



属性別にみると、件数が 10 以上のもので、『住みよい』の割合が全体より高い属性は「職業：家族従業者（91.6%）」、「就学状況：小学校入学前（90.2%）」、「職業：学生（88.9%）」、「就学状況：高校生（88.9%）」などであり、「とても住みよい」だけでみると「子どもの数：４人（40.0%）」、「通勤、通学場所：千葉県内※２（32.0%）」、「職業：その他（30.8%）」などである。

一方、『住みよい』の割合が全体より低い属性は「居住地区：富岡地区（57.9%）」、「性別：答えない（61.9%）」、「世帯人数：１人（66.1%）」などである。

また、『住みにくい』の割合が高い属性は「通勤、通学場所：君津市内（16.7%）」などである。

図表 10　住みよさ（属性別）

		件数	とても住みよい	どちらかといえば住みよい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	（無回答）
全体		655	18.2%	60.5%	13.3%	6.4%	0.3%	1.4%
性別	男性	268	21.6%	56.7%	13.1%	7.5%	0.0%	1.1%
	女性	357	16.5%	64.1%	12.3%	5.9%	0.3%	0.8%
	答えない	21	4.8%	57.1%	28.6%	4.8%	4.8%	0.0%
年齢	１０・２０歳台	47	21.3%	59.6%	10.6%	8.5%	0.0%	0.0%
	３０歳台	92	15.2%	65.2%	10.9%	8.7%	0.0%	0.0%
	４０歳台	117	23.1%	61.5%	9.4%	5.1%	0.9%	0.0%
	５０歳台	131	19.1%	57.3%	15.3%	7.6%	0.0%	0.8%
	６０～６４歳	57	15.8%	56.1%	22.8%	5.3%	0.0%	0.0%
	６５～６９歳	69	18.8%	60.9%	11.6%	7.2%	1.4%	0.0%
	７０歳以上	133	15.0%	62.4%	14.3%	4.5%	0.0%	3.8%
職業	自営業主	31	25.8%	58.1%	6.5%	6.5%	0.0%	3.2%
	家族従業者	12	8.3%	83.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社・団体役員	113	18.6%	55.8%	14.2%	10.6%	0.0%	0.9%
	給与所得者	149	20.8%	61.7%	12.1%	4.7%	0.7%	0.0%
	アルバイト・パートタイム	121	19.8%	62.0%	13.2%	4.1%	0.8%	0.0%
	学生	18	27.8%	61.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%
	専業主婦・主夫	97	9.3%	68.0%	14.4%	8.2%	0.0%	0.0%
	その他	13	30.8%	38.5%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
	無職	90	16.7%	56.7%	15.6%	6.7%	0.0%	4.4%
世帯人数	１人	56	23.2%	42.9%	19.6%	10.7%	1.8%	1.8%
	２人	208	17.3%	60.6%	14.4%	5.8%	0.5%	1.4%
	３人	173	19.7%	63.0%	9.8%	6.4%	0.0%	1.2%
	４人	135	16.3%	60.7%	15.6%	7.4%	0.0%	0.0%
	５人以上	73	17.8%	68.5%	9.6%	4.1%	0.0%	0.0%
子どもの数	１人	100	16.0%	61.0%	12.0%	9.0%	0.0%	2.0%
	２人	260	16.5%	65.8%	11.2%	5.4%	0.4%	0.8%
	３人	105	15.2%	59.0%	18.1%	6.7%	0.0%	1.0%
	４人	10	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	５人以上	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもはいない	165	22.4%	54.5%	14.5%	7.3%	0.6%	0.6%
就学状況※１	小学校入学前	51	13.7%	76.5%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%
	小学生	58	25.9%	60.3%	8.6%	5.2%	0.0%	0.0%
	中学生	36	27.8%	52.8%	8.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	高校生	45	20.0%	68.9%	6.7%	4.4%	0.0%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	13.2%	65.8%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%
	その他	287	15.7%	62.0%	13.9%	6.6%	0.3%	1.4%
居住地区	昭和地区	226	23.5%	62.4%	8.4%	4.4%	0.4%	0.9%
	長浦地区	237	16.9%	60.8%	14.3%	6.3%	0.0%	1.7%
	根形地区	63	17.5%	54.0%	17.5%	11.1%	0.0%	0.0%
	平岡地区	47	17.0%	57.4%	17.0%	6.4%	0.0%	2.1%
	中川地区	49	10.2%	67.3%	14.3%	8.2%	0.0%	0.0%
	富岡地区	19	5.3%	52.6%	26.3%	10.5%	5.3%	0.0%
居住年数	３年未満	30	20.0%	60.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	３年以上５年未満	28	17.9%	57.1%	14.3%	10.7%	0.0%	0.0%
	５年以上１０年未満	53	13.2%	64.2%	15.1%	7.5%	0.0%	0.0%
	１０年以上２０年未満	100	29.0%	57.0%	9.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	２０年以上	432	16.4%	61.3%	13.9%	6.3%	0.5%	1.6%
前住居	生まれたときから現在のところ	95	22.1%	58.9%	12.6%	5.3%	0.0%	1.1%
	袖ケ浦市内の別のところ	119	17.6%	65.5%	10.9%	4.2%	0.0%	1.7%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	18.3%	62.5%	11.3%	6.6%	0.3%	1.0%
	東京都内	43	20.9%	51.2%	14.0%	11.6%	2.3%	0.0%
	神奈川県内	30	16.7%	53.3%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	その他	51	13.7%	56.9%	25.5%	3.9%	0.0%	0.0%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	21.3%	55.7%	14.9%	6.9%	0.0%	1.1%
	木更津市内	84	23.8%	63.1%	9.5%	1.2%	2.4%	0.0%
	市原市内	64	15.6%	67.2%	9.4%	7.8%	0.0%	0.0%
	君津市内	12	25.0%	58.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	千葉市内	35	14.3%	62.9%	14.3%	8.6%	0.0%	0.0%
	千葉県内※２	25	32.0%	44.0%	8.0%	16.0%	0.0%	0.0%
	東京都内	34	14.7%	67.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	神奈川県内	8	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	10	20.0%	70.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	通勤、通学はしていない	184	12.0%	63.6%	16.3%	6.5%	0.0%	1.6%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

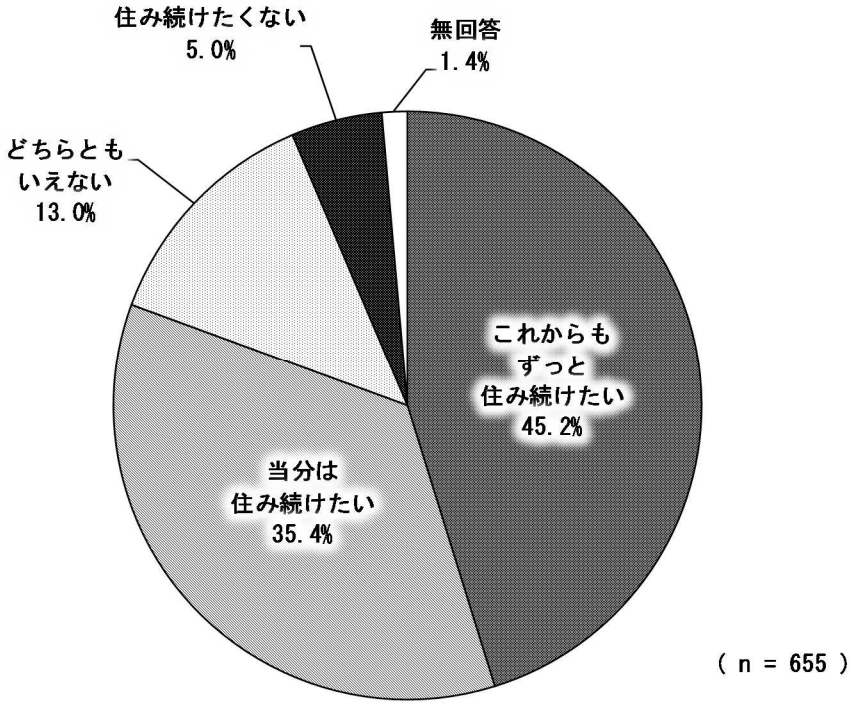
２．２．３ 居住意向

【問３】あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか。

袖ケ浦市に「これからもずっと住み続けたい（45.2%）」の割合は、最も多く４割台であり、「当分は住み続けたい（35.4%）」を合わせ『住み続けたい（80.6%）』とすると８割強である。

一方、「住み続けたくない（5.0%）」は１割に満たず、『住み続けたい』との差は 75.6 ポイントとなる。

図表 11　居住意向



属性別にみると、件数が 10 以上のもので、『住み続けたい』の割合が全体より高い属性は「職業：家族従業者（91.7%）」などであり、「これからもずっと住み続けたい」だけでみると「通勤、通学場所:その他（70.0%）」、「職業:家族従業者（66.7%）」、「年齢:７０歳以上（65.4%）」などである。

一方、全体より低い属性は「性別：答えない（52.4%）」、「職業：学生（66.7%）」、「居住地区：富岡地区（68.4%）」などである。

また、「住み続けたくない」の割合が高い属性は「居住地区：富岡地区（15.8%）」などである。

図表 12　居住意向（属性別）

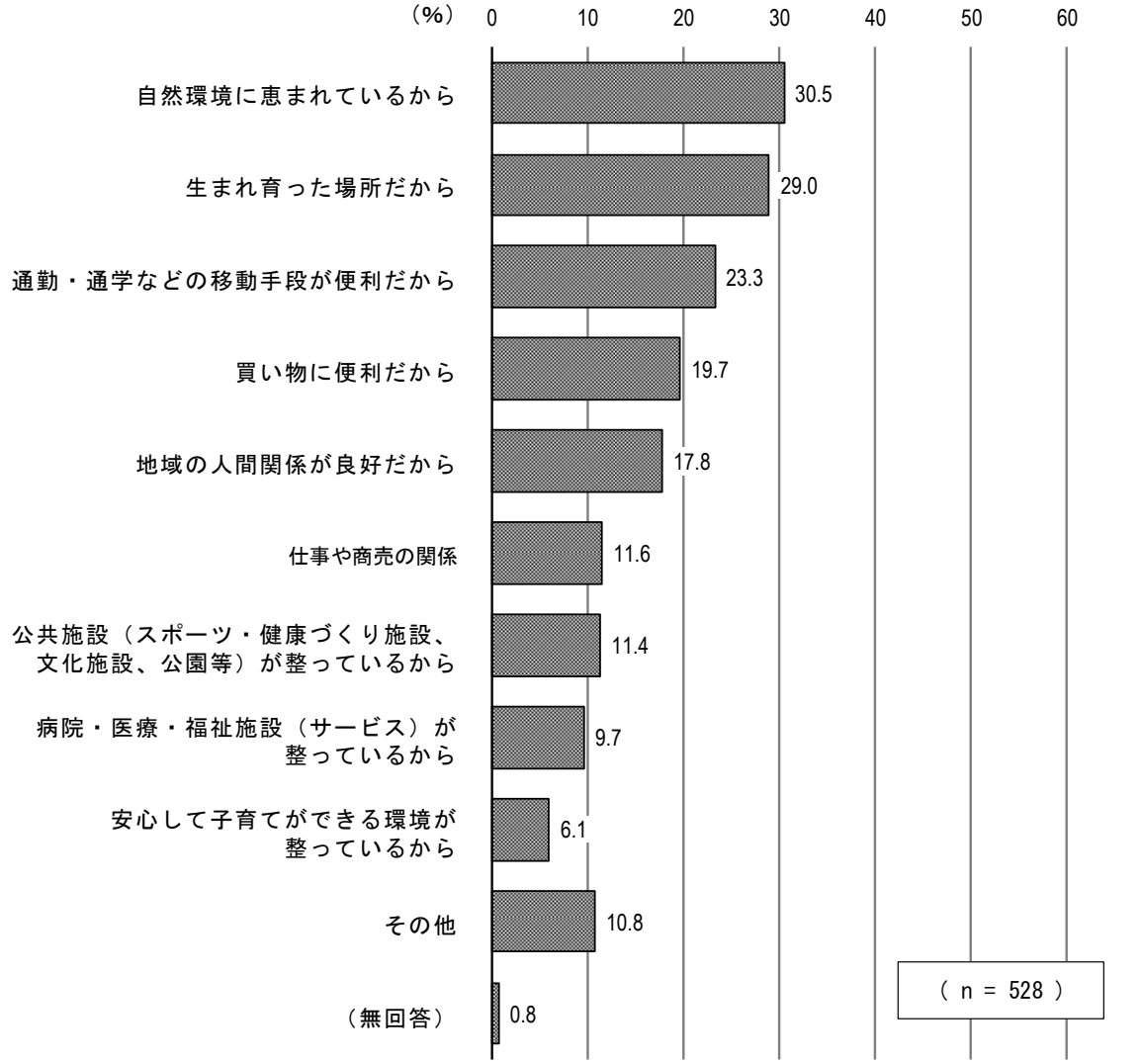
		件数	これからもずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	どちらともいえない	住み続けたくない	（無回答）
全体		655	45.2%	35.4%	13.0%	5.0%	1.4%
性別	男性	268	48.5%	35.8%	10.8%	4.1%	0.7%
	女性	357	45.1%	35.0%	13.4%	5.3%	1.1%
	答えない	21	4.8%	47.6%	38.1%	9.5%	0.0%
年齢	１０・２０歳台	47	19.1%	51.1%	21.3%	8.5%	0.0%
	３０歳台	92	39.1%	42.4%	15.2%	3.3%	0.0%
	４０歳台	117	38.5%	42.7%	15.4%	3.4%	0.0%
	５０歳台	131	39.7%	38.9%	12.2%	8.4%	0.8%
	６０～６４歳	57	50.9%	35.1%	10.5%	3.5%	0.0%
	６５～６９歳	69	49.3%	34.8%	10.1%	4.3%	1.4%
	７０歳以上	133	65.4%	17.3%	10.5%	3.8%	3.0%
職業	自営業主	31	58.1%	22.6%	12.9%	3.2%	3.2%
	家族従業者	12	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	会社・団体役員	113	39.8%	41.6%	12.4%	5.3%	0.9%
	給与所得者	149	41.6%	39.6%	14.1%	4.7%	0.0%
	アルバイト・パートタイム	121	52.1%	31.4%	12.4%	4.1%	0.0%
	学生	18	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%
	専業主婦・主夫	97	44.3%	36.1%	12.4%	5.2%	2.1%
	その他	13	23.1%	61.5%	7.7%	7.7%	0.0%
	無職	90	52.2%	27.8%	12.2%	5.6%	2.2%
世帯人数	１人	56	42.9%	28.6%	17.9%	8.9%	1.8%
	２人	208	49.0%	32.7%	12.0%	4.3%	1.9%
	３人	173	47.4%	34.1%	11.6%	6.4%	0.6%
	４人	135	36.3%	43.0%	15.6%	5.2%	0.0%
	５人以上	73	46.6%	42.5%	11.0%	0.0%	0.0%
子どもの数	１人	100	46.0%	34.0%	9.0%	9.0%	2.0%
	２人	260	52.3%	33.5%	9.2%	3.8%	1.2%
	３人	105	49.5%	27.6%	17.1%	5.7%	0.0%
	４人	10	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	５人以上	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもはいない	165	29.7%	46.7%	18.8%	4.2%	0.6%
就学状況※１	小学校入学前	51	56.9%	31.4%	9.8%	2.0%	0.0%
	小学生	58	48.3%	41.4%	10.3%	0.0%	0.0%
	中学生	36	30.6%	41.7%	16.7%	11.1%	0.0%
	高校生	45	46.7%	37.8%	8.9%	6.7%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	47.4%	31.6%	15.8%	5.3%	0.0%
	その他	287	54.0%	27.9%	10.8%	5.6%	1.7%
居住地区	昭和地区	226	50.0%	35.0%	10.6%	3.1%	1.3%
	長浦地区	237	41.4%	39.2%	12.7%	5.5%	1.3%
	根形地区	63	41.3%	34.9%	17.5%	6.3%	0.0%
	平岡地区	47	53.2%	29.8%	8.5%	6.4%	2.1%
	中川地区	49	40.8%	32.7%	20.4%	6.1%	0.0%
	富岡地区	19	42.1%	26.3%	15.8%	15.8%	0.0%
居住年数	３年未満	30	46.7%	30.0%	13.3%	10.0%	0.0%
	３年以上５年未満	28	39.3%	32.1%	25.0%	3.6%	0.0%
	５年以上１０年未満	53	28.3%	45.3%	22.6%	3.8%	0.0%
	１０年以上２０年未満	100	37.0%	42.0%	16.0%	5.0%	0.0%
	２０年以上	432	49.5%	33.6%	10.2%	5.1%	1.6%
前住居	生まれたときから現在のところ	95	46.3%	32.6%	14.7%	4.2%	2.1%
	袖ケ浦市内の別のところ	119	57.1%	32.8%	8.4%	0.8%	0.8%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	42.9%	39.5%	11.0%	5.6%	1.0%
	東京都内	43	32.6%	39.5%	18.6%	9.3%	0.0%
	神奈川県内	30	43.3%	30.0%	16.7%	10.0%	0.0%
	その他	51	43.1%	27.5%	25.5%	3.9%	0.0%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	44.8%	36.2%	16.7%	1.1%	1.1%
	木更津市内	84	48.8%	33.3%	10.7%	7.1%	0.0%
	市原市内	64	45.3%	37.5%	9.4%	7.8%	0.0%
	君津市内	12	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%
	千葉市内	35	40.0%	34.3%	20.0%	5.7%	0.0%
	千葉県内※２	25	28.0%	52.0%	8.0%	12.0%	0.0%
	東京都内	34	23.5%	61.8%	11.8%	2.9%	0.0%
	神奈川県内	8	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	その他	10	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	通勤、通学はしていない	184	50.0%	31.0%	10.9%	6.5%	1.6%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

問３で１．または２．に○印をつけた理由は何ですか。【複数回答】

袖ケ浦市に住み続けたいと思っている回答者（n=528）が、その理由として挙げたことは、「自然環境に恵まれているから（30.5%）」の割合が最も高く３割台、次いで「生まれ育った場所だから（29.0%）」、「通勤・通学などの移動手段が便利だから（23.3%）」が続いている。

図表 13　袖ケ浦市に住み続けたいと思う理由



件数が 10 以上のもので、全体で割合が高かった項目を属性別にみると、「自然環境に恵まれているから」では「居住年数：３年未満（47.8%）」、「居住地区：平岡地区（46.2%）」、「性別：答えない（45.5%）」、「前住居：神奈川県内（45.5%）」などの割合が高く、「生まれ育った場所だから」では「前住居:生まれたときから現在のところ(85.3%)」、「職業:学生(75.0 %)」、「居住地区：平岡地区（61.5%）」、「通勤・通学などの移動手段が便利だから」では「通勤、通学場所：千葉県内※２（50.0%）」、「居住年数：５年以上１０年未満（41.0%）」、「通勤、通学場所：君津市内（40.0%）」などが高い。

図表 14　袖ケ浦市に住み続けたいと思う理由（２つまでの重複回答・属性別）

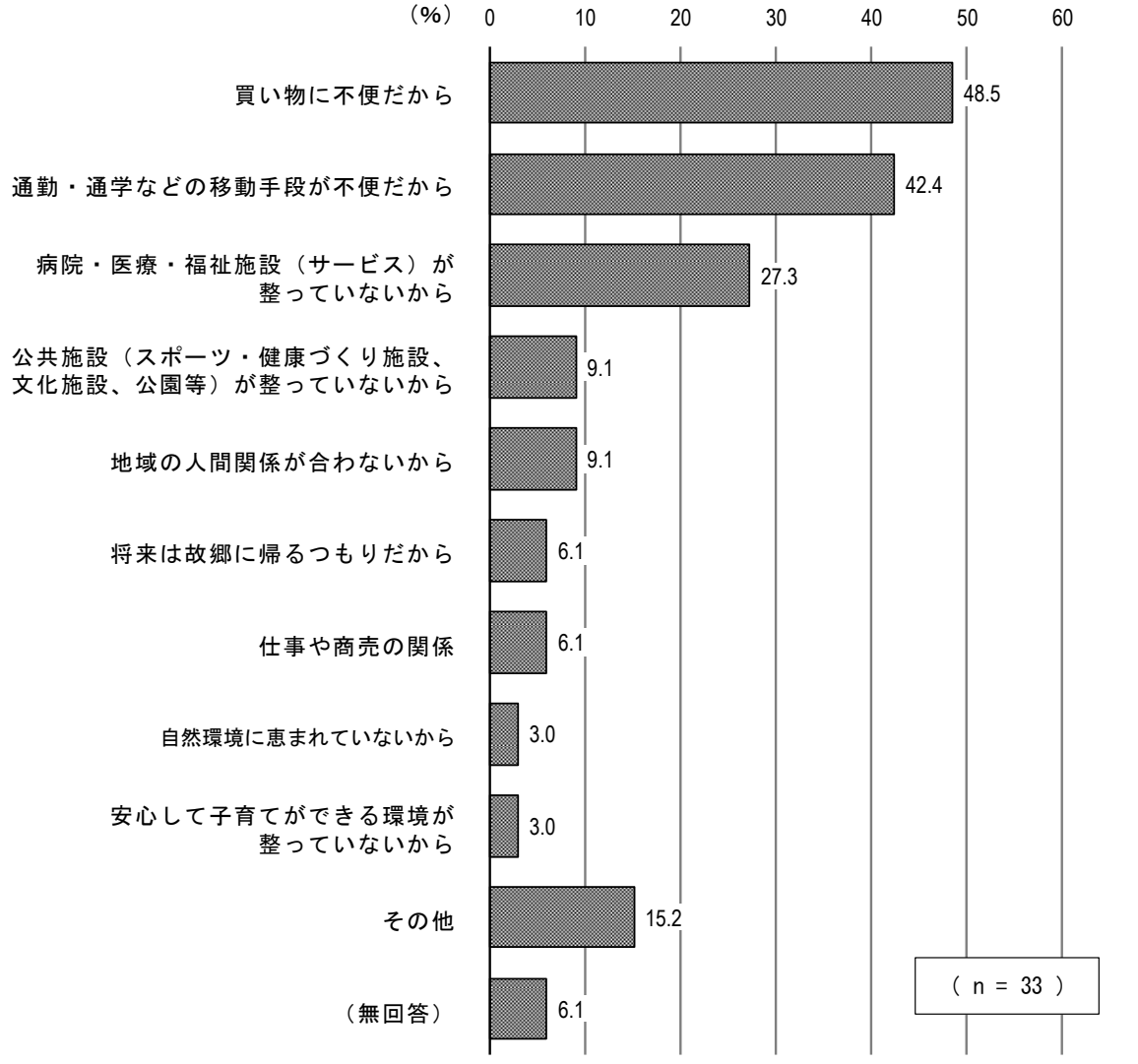
		件数	生まれ育った場所だから	自然環境に恵まれているから	公共施設が整っているから	地域の人間関係が良好だから	通勤・通学などの移動手段が便利だから	買い物に便利だから	安心して子育てができる環境が整っているから	病院・医療・福祉施設が整っているから	仕事や商売の関係	その他	（無回答）
全体		528	29.0%	30.5%	11.4%	17.8%	23.3%	19.7%	6.1%	9.7%	11.6%	10.8%	0.8%
性別	男性	226	33.6%	32.3%	11.1%	15.5%	26.1%	18.6%	4.9%	11.1%	11.9%	8.0%	0.4%
	女性	286	25.9%	28.7%	10.5%	20.3%	21.0%	20.6%	7.0%	8.7%	10.1%	13.6%	1.0%
	答えない	11	18.2%	45.5%	27.3%	0.0%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%
年齢	１０・２０歳台	33	60.6%	36.4%	6.1%	6.1%	18.2%	0.0%	9.1%	3.0%	3.0%	9.1%	3.0%
	３０歳台	75	32.0%	26.7%	8.0%	12.0%	34.7%	13.3%	14.7%	0.0%	18.7%	9.3%	0.0%
	４０歳台	95	25.3%	26.3%	6.3%	15.8%	30.5%	21.1%	9.5%	6.3%	14.7%	13.7%	1.1%
	５０歳台	103	26.2%	27.2%	4.9%	13.6%	31.1%	21.4%	5.8%	8.7%	15.5%	7.8%	0.0%
	６０～６４歳	49	34.7%	28.6%	20.4%	22.4%	14.3%	26.5%	2.0%	8.2%	10.2%	12.2%	0.0%
	６５～６９歳	58	24.1%	32.8%	6.9%	25.9%	15.5%	32.8%	1.7%	13.8%	8.6%	10.3%	0.0%
	７０歳以上	110	24.5%	38.2%	21.8%	24.5%	11.8%	16.4%	0.9%	20.0%	4.5%	12.7%	1.8%
職業	自営業主	25	44.0%	32.0%	8.0%	20.0%	16.0%	8.0%	8.0%	8.0%	24.0%	4.0%	0.0%
	家族従業者	11	36.4%	18.2%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%
	会社・団体役員	92	26.1%	35.9%	6.5%	12.0%	30.4%	16.3%	6.5%	3.3%	19.6%	12.0%	0.0%
	給与所得者	121	32.2%	24.8%	7.4%	12.4%	39.7%	19.8%	7.4%	5.0%	15.7%	6.6%	0.8%
	アルバイト・パートタイム	101	24.8%	27.7%	14.9%	20.8%	20.8%	19.8%	8.9%	4.0%	10.9%	12.9%	2.0%
	学生	12	75.0%	25.0%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	専業主婦・主夫	78	19.2%	33.3%	15.4%	26.9%	10.3%	26.9%	3.8%	17.9%	0.0%	16.7%	0.0%
	その他	11	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	27.3%	0.0%
	無職	72	33.3%	38.9%	15.3%	19.4%	9.7%	23.6%	0.0%	23.6%	1.4%	6.9%	1.4%
世帯人数	１人	40	25.0%	37.5%	7.5%	17.5%	25.0%	20.0%	5.0%	5.0%	15.0%	7.5%	0.0%
	２人	170	20.6%	28.8%	17.6%	23.5%	20.6%	25.9%	0.6%	15.9%	10.6%	12.9%	0.6%
	３人	141	36.2%	30.5%	9.2%	16.3%	23.4%	15.6%	8.5%	4.3%	12.8%	10.6%	1.4%
	４人	107	33.6%	25.2%	6.5%	15.0%	29.0%	18.7%	6.5%	11.2%	10.3%	8.4%	0.9%
	５人以上	65	30.8%	38.5%	7.7%	10.8%	20.0%	13.8%	15.4%	4.6%	10.8%	12.3%	0.0%
子どもの数	１人	80	26.3%	26.3%	11.3%	20.0%	28.8%	16.3%	13.8%	6.3%	12.5%	8.8%	2.5%
	２人	223	24.7%	30.0%	9.9%	20.2%	23.8%	21.5%	4.0%	13.5%	10.8%	12.1%	0.4%
	３人	81	27.2%	34.6%	21.0%	16.0%	17.3%	21.0%	8.6%	6.2%	7.4%	11.1%	0.0%
	４人	8	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	５人以上	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子どもはいない	126	42.1%	29.4%	5.6%	12.7%	23.8%	19.0%	1.6%	7.1%	15.1%	11.1%	0.8%
就学状況※１	小学校入学前	45	24.4%	26.7%	11.1%	11.1%	33.3%	15.6%	20.0%	2.2%	15.6%	11.1%	2.2%
	小学生	52	28.8%	28.8%	7.7%	15.4%	30.8%	15.4%	13.5%	3.8%	9.6%	13.5%	1.9%
	中学生	26	23.1%	15.4%	11.5%	19.2%	34.6%	26.9%	23.1%	7.7%	3.8%	11.5%	0.0%
	高校生	38	28.9%	34.2%	5.3%	18.4%	34.2%	10.5%	13.2%	0.0%	15.8%	7.9%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	30	13.3%	30.0%	16.7%	6.7%	23.3%	13.3%	0.0%	6.7%	16.7%	20.0%	0.0%
	その他	235	25.1%	33.6%	15.3%	21.7%	17.4%	23.0%	3.0%	14.9%	8.5%	11.1%	0.4%
居住地区	昭和地区	192	24.0%	21.4%	9.4%	16.7%	38.5%	23.4%	4.7%	6.3%	8.9%	11.5%	1.6%
	長浦地区	191	20.9%	30.9%	14.7%	19.4%	17.8%	23.6%	8.9%	14.1%	11.0%	11.5%	0.5%
	根形地区	48	43.8%	43.8%	12.5%	29.2%	8.3%	6.3%	2.1%	12.5%	14.6%	8.3%	0.0%
	平岡地区	39	61.5%	46.2%	2.6%	12.8%	5.1%	7.7%	5.1%	2.6%	20.5%	7.7%	0.0%
	中川地区	36	44.4%	41.7%	13.9%	13.9%	13.9%	13.9%	8.3%	0.0%	11.1%	2.8%	0.0%
	富岡地区	13	15.4%	38.5%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%
居住年数	３年未満	23	4.3%	47.8%	13.0%	21.7%	17.4%	21.7%	13.0%	8.7%	8.7%	13.0%	0.0%
	３年以上５年未満	20	0.0%	25.0%	20.0%	25.0%	30.0%	15.0%	20.0%	10.0%	30.0%	5.0%	0.0%
	５年以上１０年未満	39	2.6%	23.1%	5.1%	12.8%	41.0%	20.5%	15.4%	7.7%	17.9%	10.3%	0.0%
	１０年以上２０年未満	79	12.7%	25.3%	6.3%	15.2%	39.2%	31.6%	11.4%	3.8%	12.7%	8.9%	2.5%
	２０年以上	359	38.4%	31.8%	12.5%	18.7%	17.5%	17.3%	2.8%	10.6%	9.5%	11.4%	0.6%
前住居	生まれたときから現在のところ	75	85.3%	29.3%	10.7%	14.7%	17.3%	4.0%	2.7%	2.7%	8.0%	1.3%	0.0%
	袖ケ浦市内の別のところ	107	50.5%	26.2%	5.6%	15.9%	25.2%	15.9%	3.7%	4.7%	10.3%	11.2%	0.0%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	248	9.3%	30.6%	14.1%	19.4%	25.8%	27.0%	7.7%	13.3%	10.5%	10.5%	1.2%
	東京都内	31	12.9%	29.0%	12.9%	22.6%	22.6%	16.1%	6.5%	6.5%	25.8%	12.9%	0.0%
	神奈川県内	22	13.6%	45.5%	9.1%	27.3%	13.6%	13.6%	9.1%	13.6%	9.1%	9.1%	0.0%
	その他	36	2.8%	38.9%	11.1%	13.9%	16.7%	22.2%	8.3%	8.3%	13.9%	30.6%	2.8%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	141	29.1%	27.7%	9.9%	17.7%	27.7%	15.6%	7.1%	4.3%	24.1%	9.9%	0.7%
	木更津市内	69	27.5%	34.8%	17.4%	13.0%	26.1%	20.3%	8.7%	4.3%	13.0%	10.1%	0.0%
	市原市内	53	30.2%	26.4%	13.2%	13.2%	24.5%	20.8%	9.4%	9.4%	13.2%	7.5%	0.0%
	君津市内	10	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	千葉市内	26	30.8%	34.6%	11.5%	11.5%	38.5%	23.1%	3.8%	11.5%	11.5%	3.8%	0.0%
	千葉県内※２	20	30.0%	20.0%	5.0%	25.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	東京都内	29	37.9%	27.6%	0.0%	6.9%	31.0%	10.3%	6.9%	3.4%	3.4%	10.3%	6.9%
	神奈川県内	7	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	その他	9	33.3%	55.6%	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
	通勤、通学はしていない	149	26.8%	32.9%	12.8%	24.8%	8.7%	23.5%	3.4%	18.1%	2.0%	14.1%	0.7%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

問３で４．に○印をつけた理由は何ですか。【複数回答】

袖ケ浦市に住み続けたくないと思っている回答者（n=33）が、その理由として挙げたことは、「買い物に不便だから（48.5%）」の割合が最も高く、次いで「通勤・通学などの移動手段が不便だから（42.4%）」、「病院・医療・福祉施設（サービス）が整っていないから（27.3%）」が続いている。

図表 15　袖ケ浦市に住み続けたくないと思う理由



件数が 10 以上のもので、全体で割合が高かった項目を属性別にみると、「買い物に不便だから」では「就学状況：その他（62.5%）」などの割合が高く、「通勤・通学などの移動手段が不便だから」では「前住居：袖ケ浦市以外の千葉県内（52.9%）」、「病院・医療・福祉施設（サービス）が整っていないから」では「通勤、通学場所：通勤、通学はしていない（50.0%）」、「就学状況：その他（43.8%）」などである。

図表 16　袖ケ浦市に住み続けたくないと思う理由（２つまでの重複回答・属性別）

		件数	将来は故郷に帰るつもりだから	自然環境に恵まれていないから	公共施設が整っていないから	地域の人間関係が合わないから	通勤・通学などの移動手段が不便だから	買い物に不便だから	安心して子育てができる環境が整っていないから	病院・医療・福祉施設が整っていないから	仕事や商売の関係	その他	（無回答）
全体		33	6.1%	3.0%	9.1%	9.1%	42.4%	48.5%	3.0%	27.3%	6.1%	15.2%	6.1%
性別	男性	11	0.0%	0.0%	27.3%	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%
	女性	19	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	42.1%	47.4%	5.3%	36.8%	10.5%	5.3%	10.5%
	答えない	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	１０・２０歳台	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	３０歳台	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	４０歳台	4	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	５０歳台	11	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	45.5%	36.4%	0.0%	18.2%	0.0%	36.4%	0.0%
	６０～６４歳	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	６５～６９歳	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	７０歳以上	5	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業	自営業主	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	会社・団体役員	6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%
	給与所得者	7	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
	アルバイト・パートタイム	5	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学生	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	専業主婦・主夫	5	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	その他	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職	5	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
世帯人数	１人	5	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	２人	9	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	77.8%	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	３人	11	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	27.3%	27.3%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%
	４人	7	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
	５人以上	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
子どもの数	１人	9	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%
	２人	10	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	40.0%	50.0%	0.0%	30.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	３人	6	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	４人	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	５人以上	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	子どもはいない	7	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%
就学状況※１	小学校入学前	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小学生	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	中学生	4	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	高校生	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	専門学校・短大・大学（大学院）生	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	16	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%	43.8%	0.0%	12.5%	6.3%
居住地区	昭和地区	7	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	57.1%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
	長浦地区	13	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	38.5%	38.5%	7.7%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%
	根形地区	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	平岡地区	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	中川地区	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	富岡地区	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
居住年数	３年未満	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	３年以上５年未満	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	５年以上１０年未満	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	１０年以上２０年未満	5	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	２０年以上	22	4.5%	4.5%	9.1%	9.1%	45.5%	54.5%	0.0%	27.3%	9.1%	22.7%	0.0%
前住居	生まれたときから現在のところ	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	袖ケ浦市内の別のところ	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	袖ケ浦市以外の千葉県内	17	5.9%	0.0%	11.8%	11.8%	52.9%	52.9%	5.9%	23.5%	5.9%	11.8%	5.9%
	東京都内	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	神奈川県内	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	その他	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	木更津市内	6	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
	市原市内	5	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	君津市内	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	千葉市内	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	千葉県内※２	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	東京都内	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	神奈川県内	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	通勤、通学はしていない	12	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	41.7%	58.3%	0.0%	50.0%	0.0%	8.3%	8.3%

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

2．3 普段の暮らしで感じていること

【問４】あなたの暮らしについてお聞きしますので、各々の質問について、「はい」または「いいえ」をお選びください。

ここでは、普段の暮らしで感じていることについて、質問した４分類・50 項目が当てはまるか（はい）・当てはまらないか（いいえ）の回答を集計した。

最初に全体の結果を示し、その後に属性別に特徴（注 1）がみられたものを掲載する。

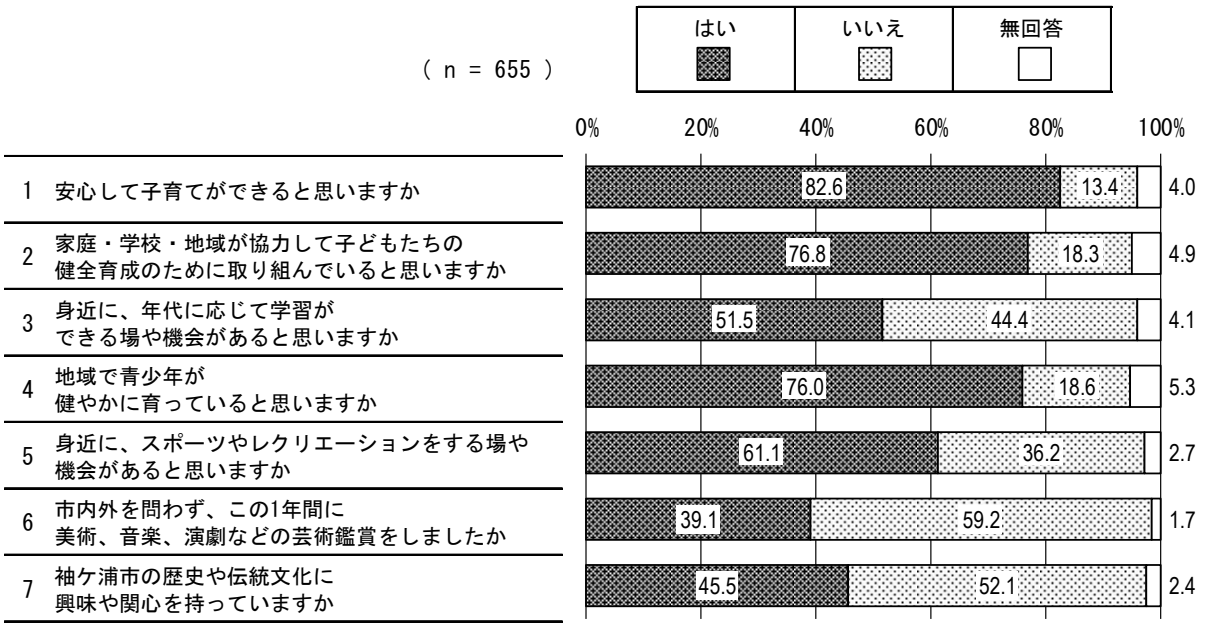
なお、ここで取り上げていない項目、属性については、資料編に集計表を添付している。

注１：
特徴がみられたものとして、件数が「職業」及び「居住地区」の属性については 10 以上、それら以外の属性については 20 以上、かつ、当てはまるか（はい）について全体平均の割合から 15 ポイント以上乖離のある選択肢（「性別／答えない」「その他」、「無回答」を除く）を含む属性を候補とした。

2．3．1 子育て・教育・文化について

「安心して子育てができると思いますか【1】／はい(82.6%)」、「家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると思いますか【2】／はい(76.8%)」、「地域で青少年が健やかに育っていると思いますか【4】／はい(76.0%)」が７割を超える一方、「市内外を問わず、この１年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか【6】／はい(39.1%)」、「袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っていますか【7】／はい(45.5%)」は５割に満たない。

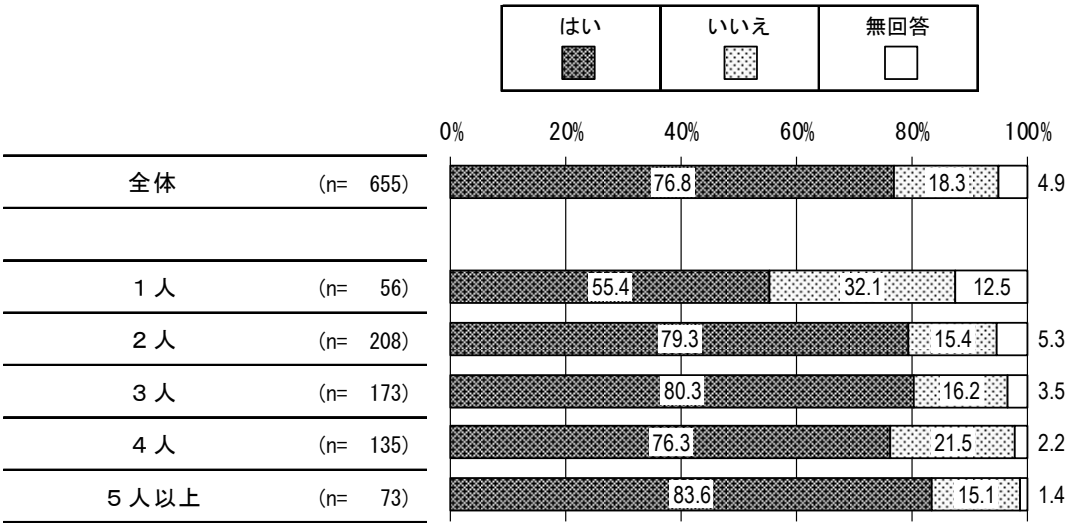
図表 17　普段の暮らしでの感じ（子育て・教育・文化）



1）家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると思いますか【2】

全体での「はい」の割合は 76.8%であるが、「１人（55.4%）」だけが５割台と飛び抜けて低い。

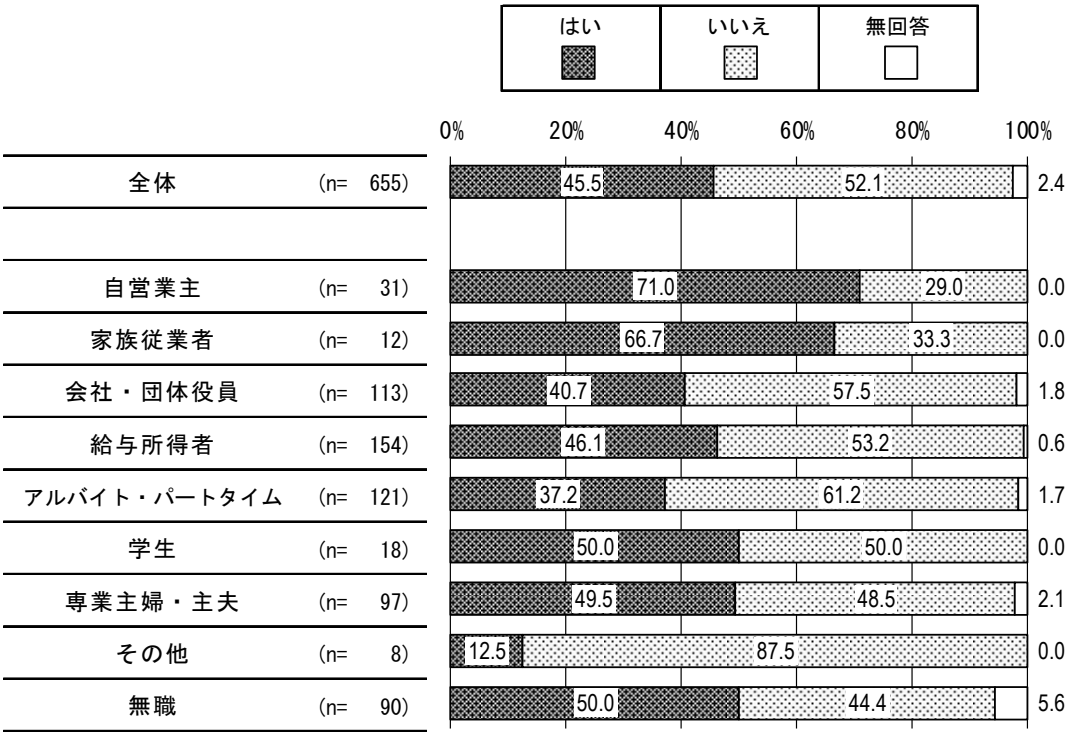
図表 18　属性別割合（世帯人数）



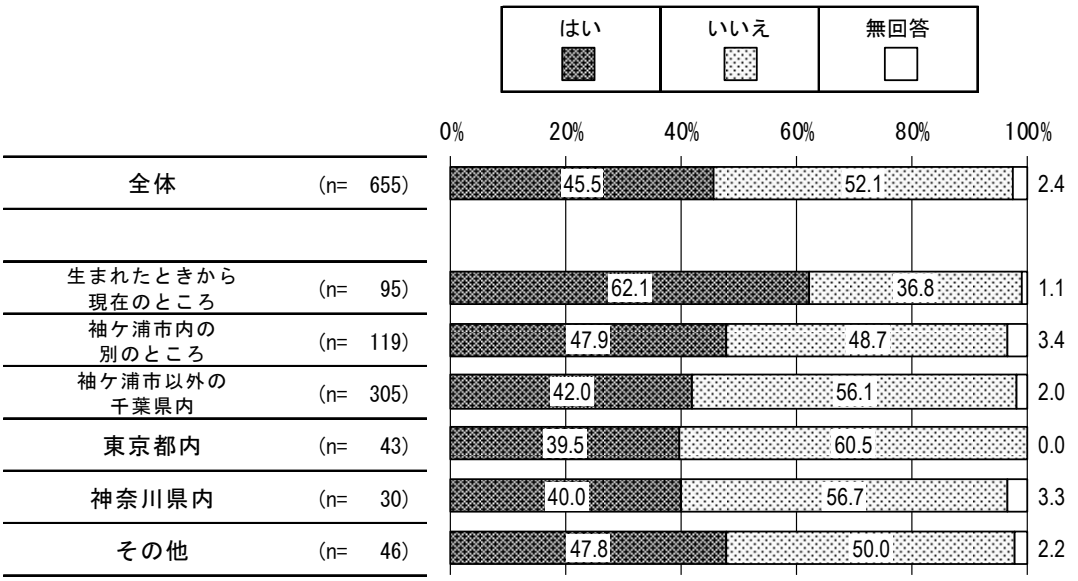
2）袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っていますか【7】

全体での「はい」の割合は 45.5%であるが、職業別では「自営業主（71.0%)」、「家族従業者（66.7%)」が６割以上、前住居別では「生まれたときから現在のところ（62.1%)」が６割台と高い。

図表 19　属性別割合（職業）



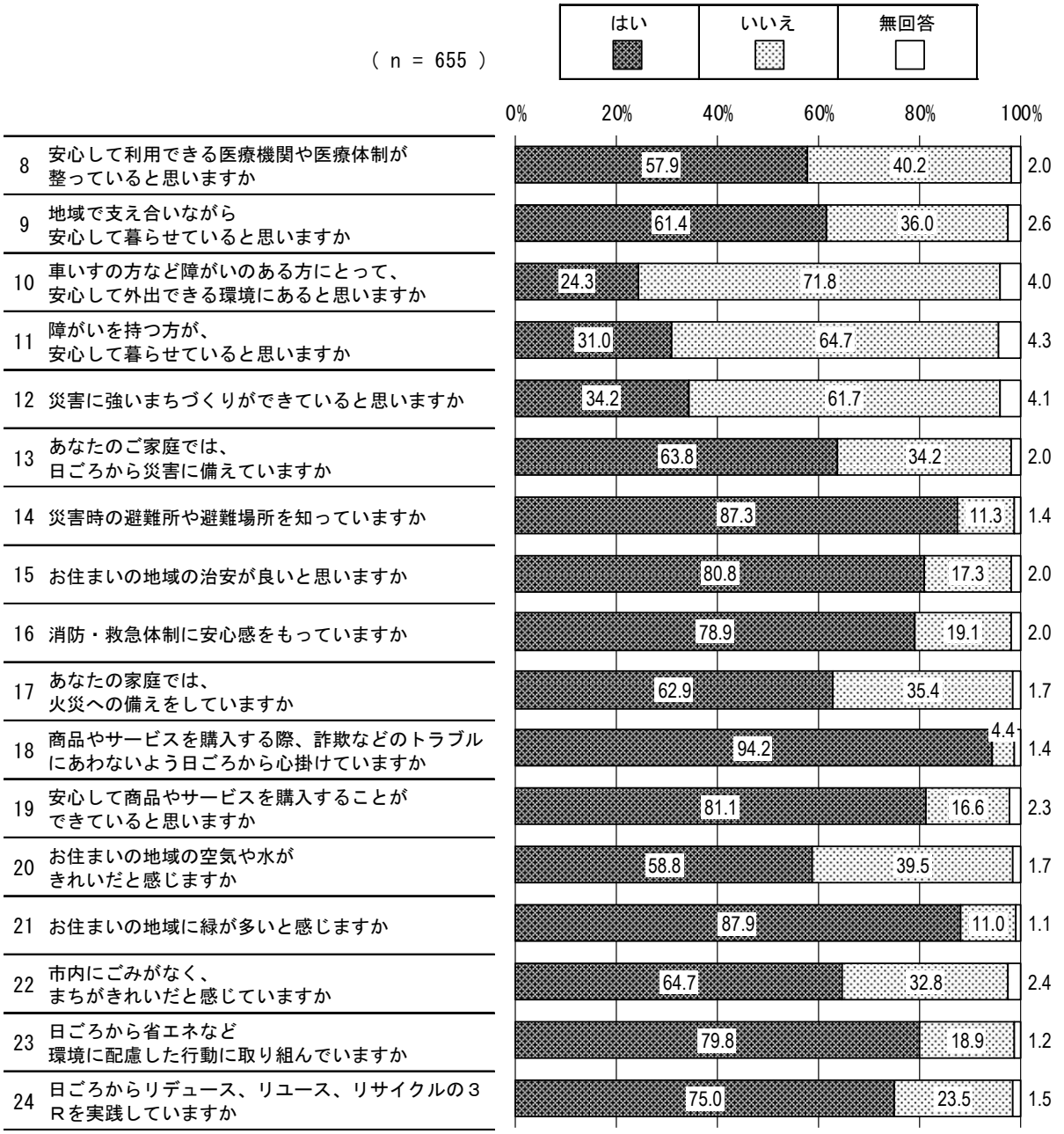
図表 20　属性別割合（前住居）



２．３．２ 安全・安心や生活環境について

「商品やサービスを購入する際、詐欺などのトラブルにあわないよう日ごろから心掛けていますか【18】／はい（94.2%）」の割合が９割台と高い一方、「車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか【10】／はい（24.3%）」、「障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思いますか【11】／はい（31.0%）」、「災害に強いまちづくりができていると思いますか【12】／はい（34.2%）」が４割に満たない。

図表 21　普段の暮らしでの感じ（安全・安心や生活環境）

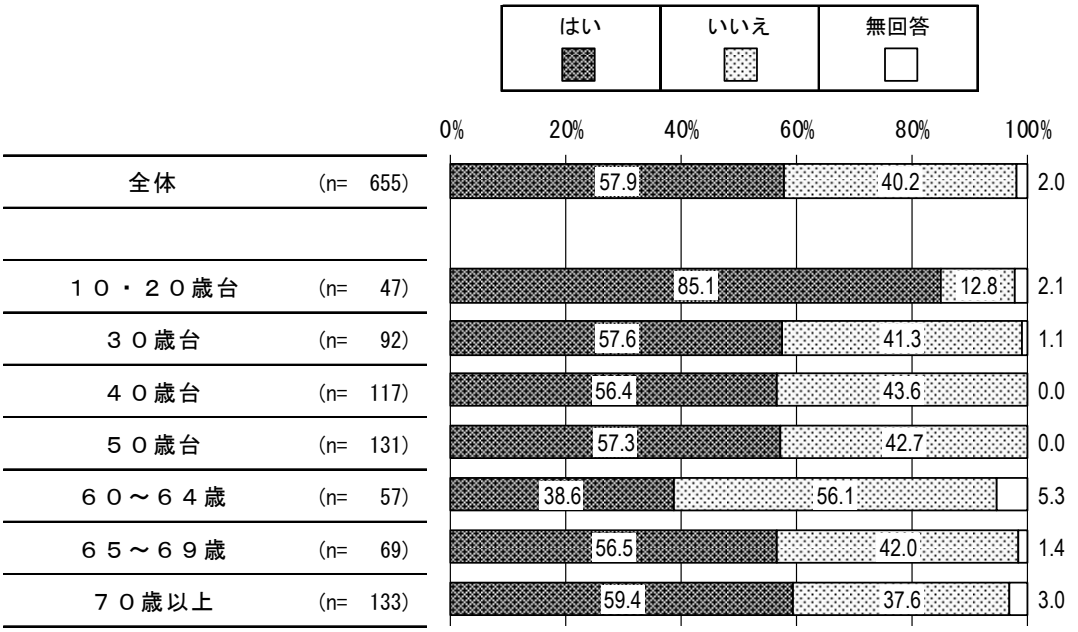


1）安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思いますか【8】

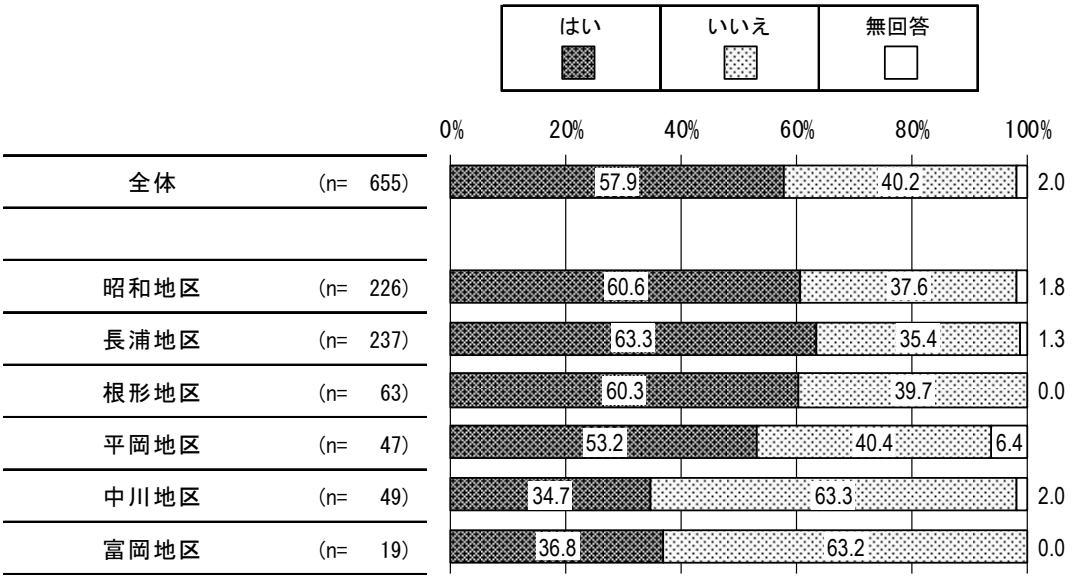
全体での「はい」の割合は57.9%であるが、年齢別では「１０・２０歳台（85.1%)」が飛び抜けて高く８割台、「６０～６４歳（38.6%)」は３割台と低い。

居住地区別では「中川地区（34.7%)」、「富岡地区（36.8%)」が３割台と低く、居住年数別では「３年未満（73.3%)」が７割台と高い。

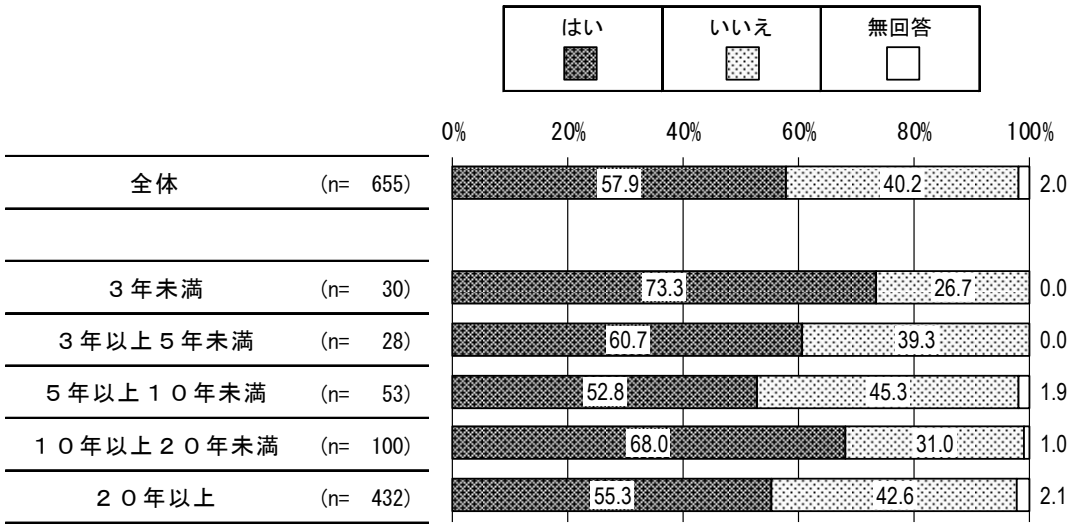
図表 22　属性別割合（年齢）



図表 23　属性別割合（居住地区）



図表 24　属性別割合（居住年数）

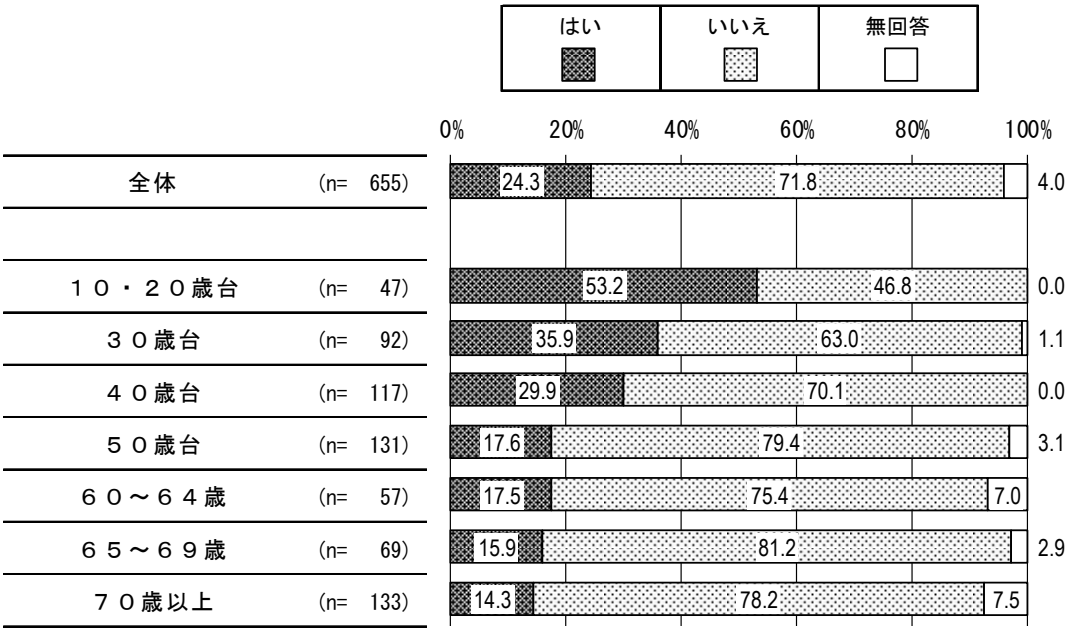


２）車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか【10】

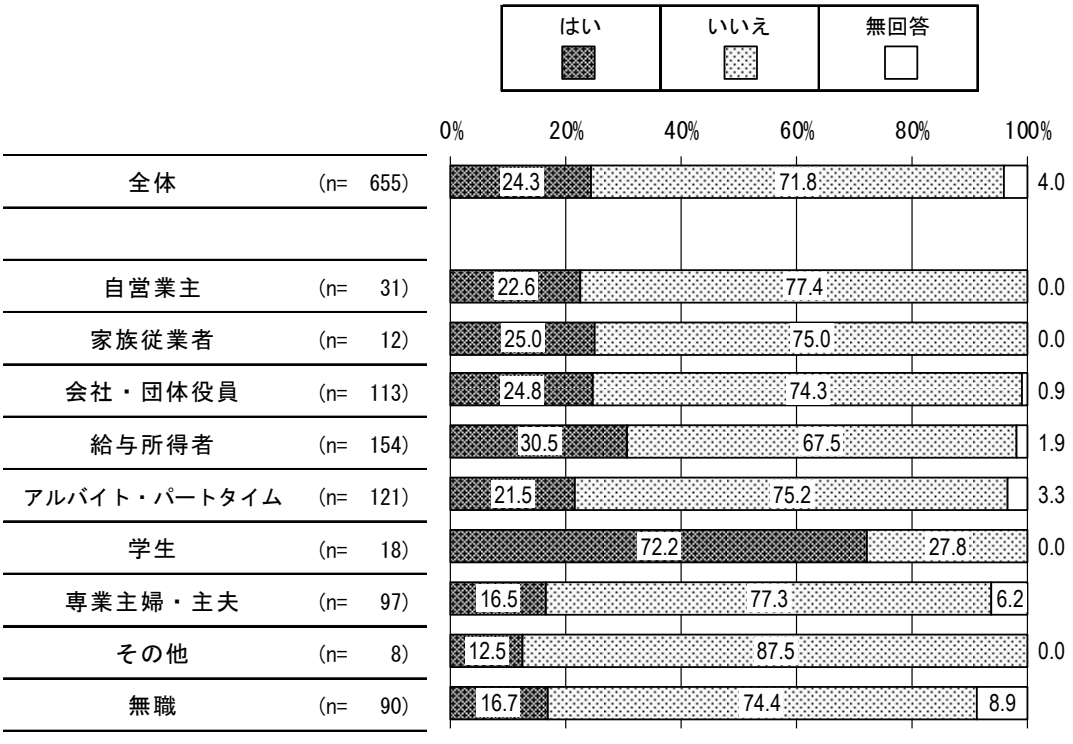
全体での「はい」の割合は24.3%であるが、年齢別では「１０・２０歳台（53.2%）」が５割台と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

また、職業別では「学生（72.2%）」が飛び抜けて高く７割台である。

図表 25　属性別割合（年齢）



図表 26　属性別割合（職業）

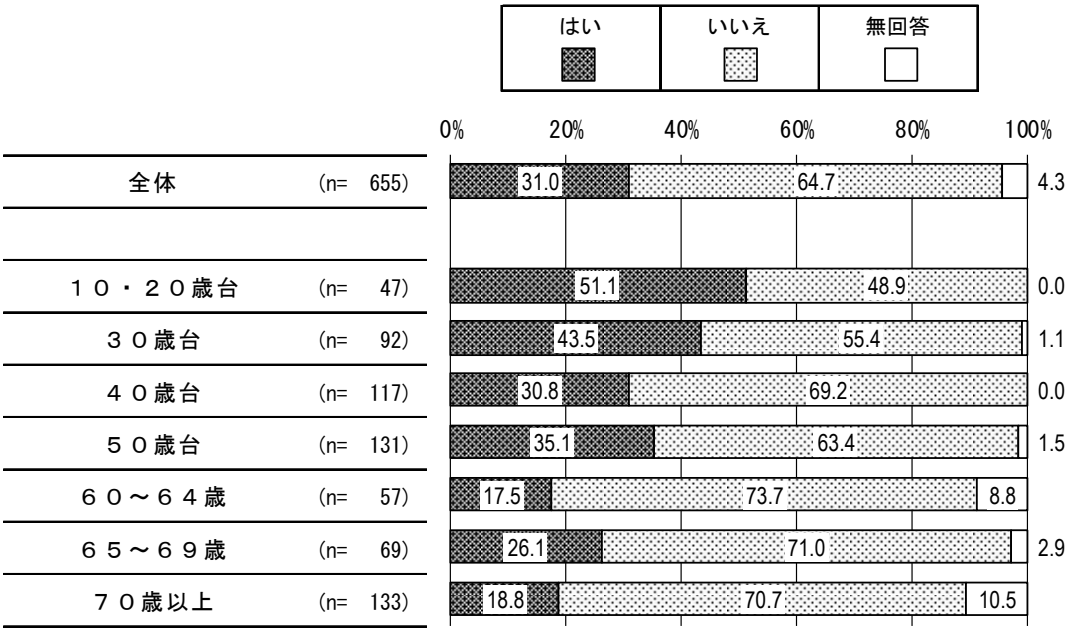


3）障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思いますか【11】

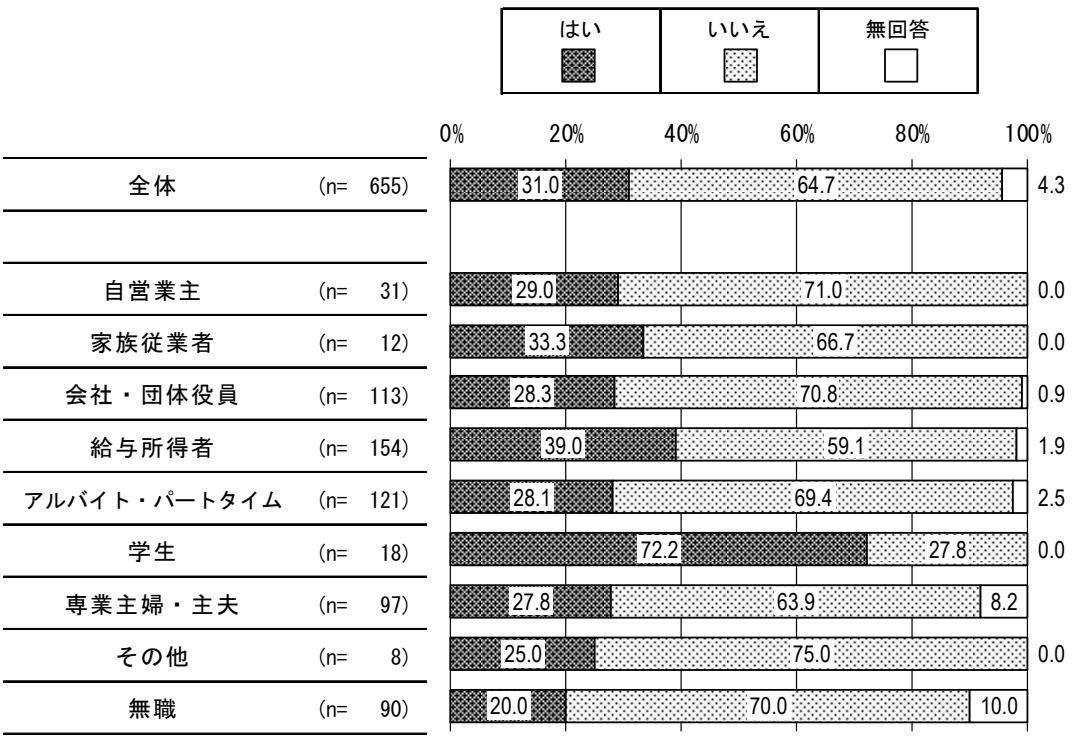
全体での「はい」の割合は31.0%であるが、年齢別では「１０・２０歳台（51.1%）」が５割台と高く、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。

また、職業別では「学生（72.2%）」が飛び抜けて高く７割台である。

図表 27　属性別割合（年齢）



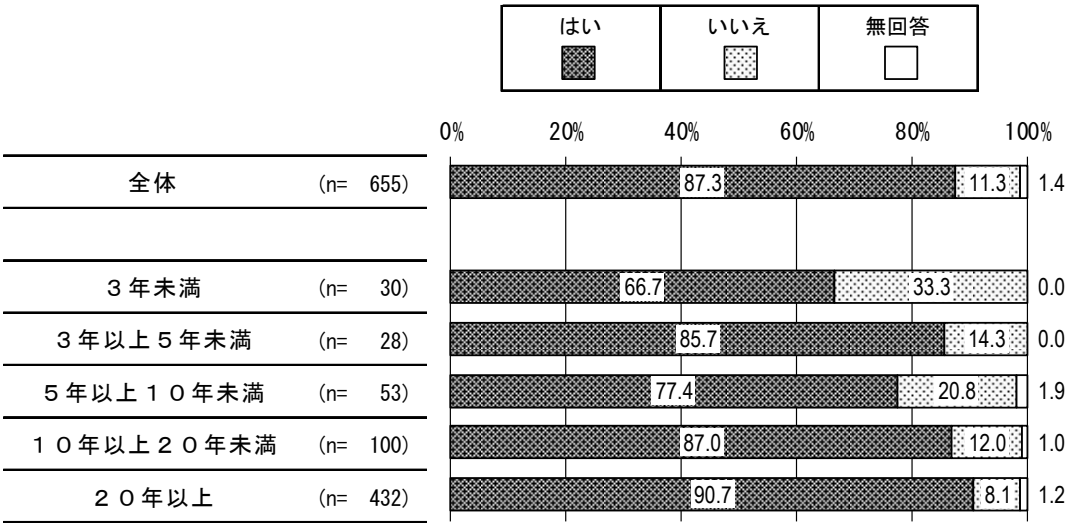
図表 28　属性別割合（職業）



４）災害時の避難所や避難場所を知っていますか【14】

全体での「はい」の割合は87.3%であるが、居住年数別では「２０年以上（90.7%）」だけが全体を超え９割強、「３年未満（66.7%）」は６割台と低く、居住年数が長くなるほど高くなる傾向がみられる。

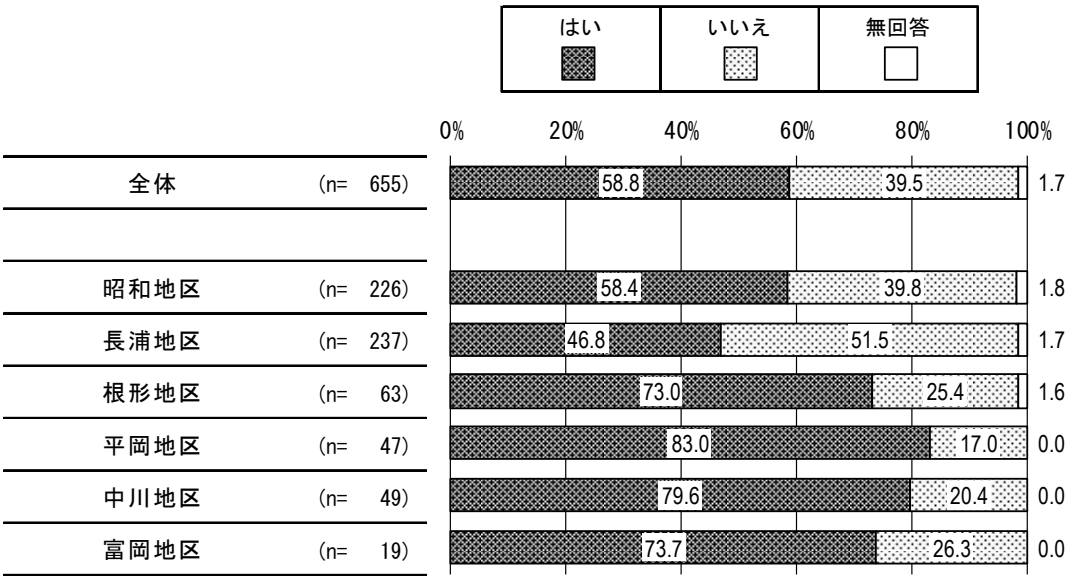
図表 29　属性別割合（居住年数）



５）お住まいの地域の空気や水がきれいだと感じますか【20】

全体での「はい」の割合は58.8%であるが、居住地区別では「長浦地区（46.8%）」が４割台と低く、この地区と「昭和地区（58.4%）」を除く他は７割以上と高い。

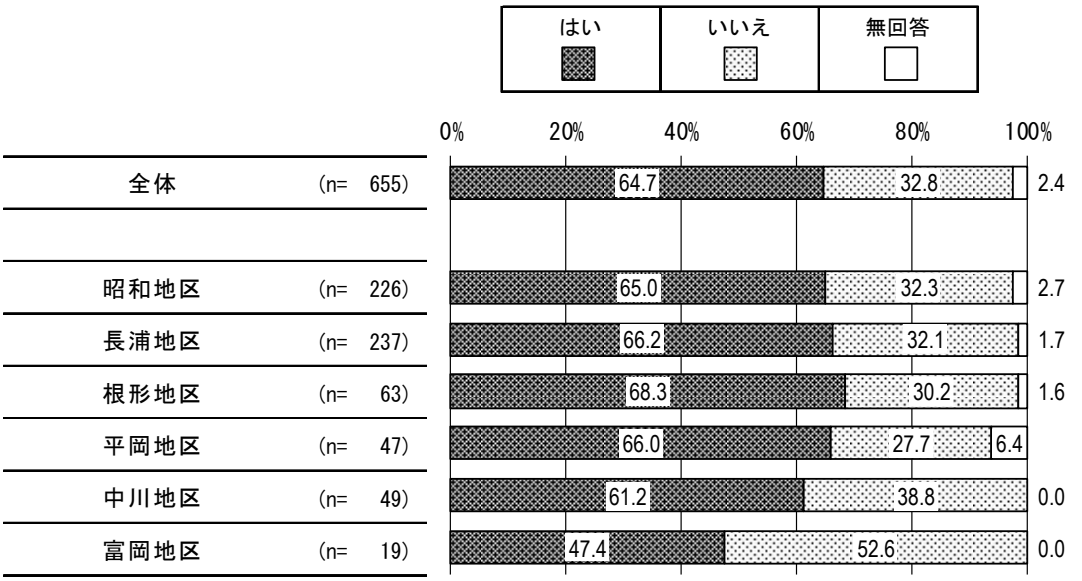
図表 30　属性別割合（居住地区）



６）市内にごみがなく、まちがきれいだと感じていますか【22】

全体での「はい」の割合は64.7%であるが、居住地区別では「富岡地区（47.4%）」が４割台と低く、他の地区は全て６割台である。

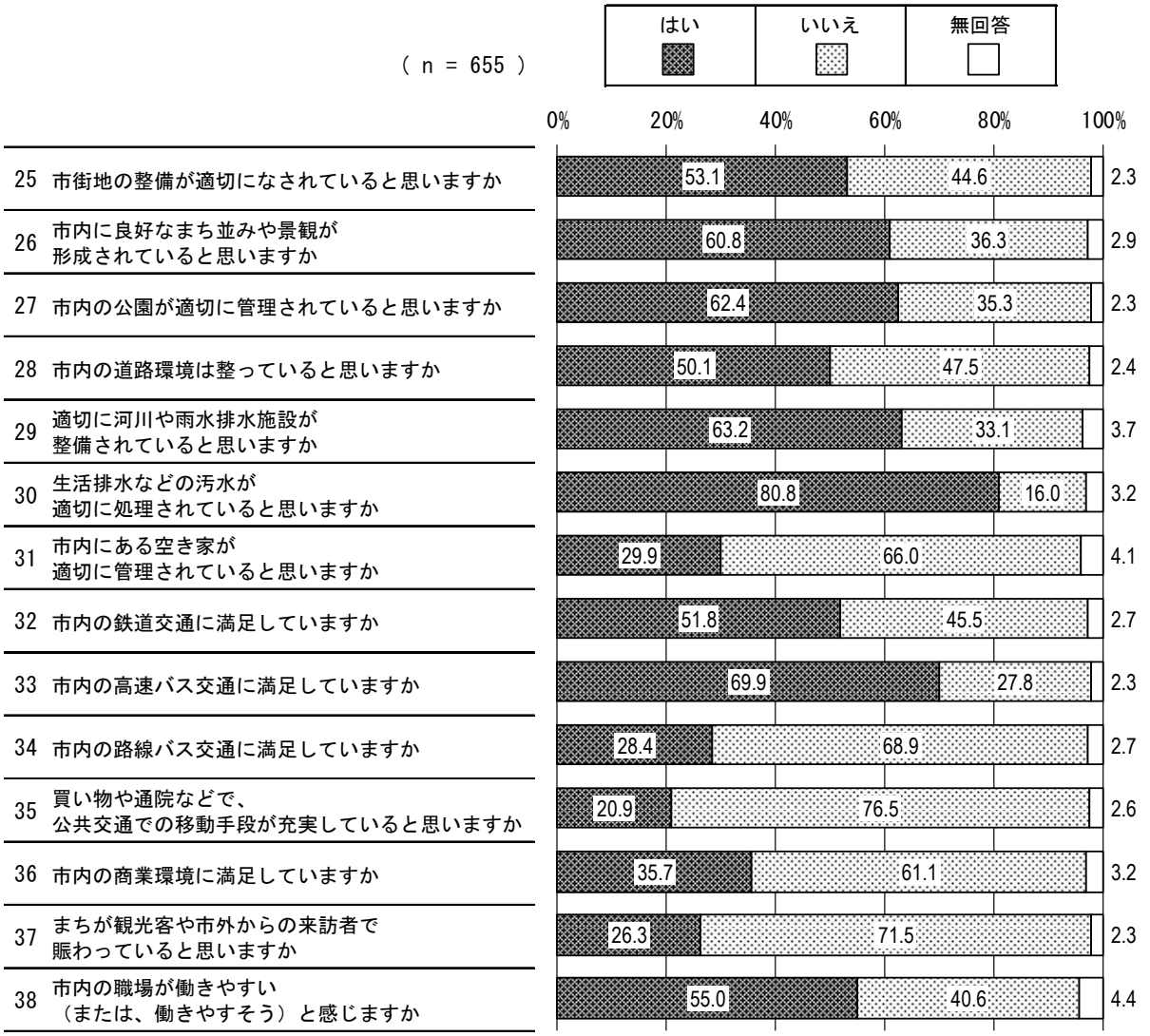
図表 31　属性別割合（居住地区）



２．３．３ 都市形成や産業について

「生活排水などの汚水が適切に処理されていると思いますか【30】／はい（80.8%)」の割合が８割強と高い一方、「買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか【35】／はい（20.9%)」、「まちが観光客や市外からの来訪者で賑わっていると思いますか【37】／はい(26.3%)」、「市内の路線バス交通に満足していますか【34】／はい(28.4%)」、「市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか【31】／はい（29.9%)」が２割台と低い。

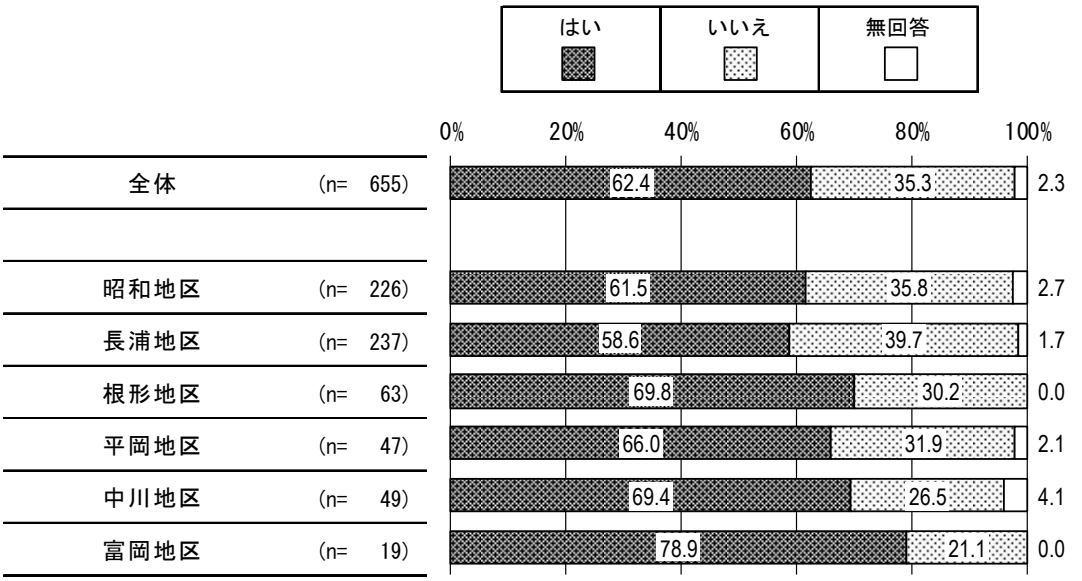
図表 32　普段の暮らしでの感じ（都市形成や産業）



1）市内の公園が適切に管理されていると思いますか【27】

全体での「はい」の割合は62.4%であるが、居住地区別では「富岡地区（78.9%）」が７割台と高い。

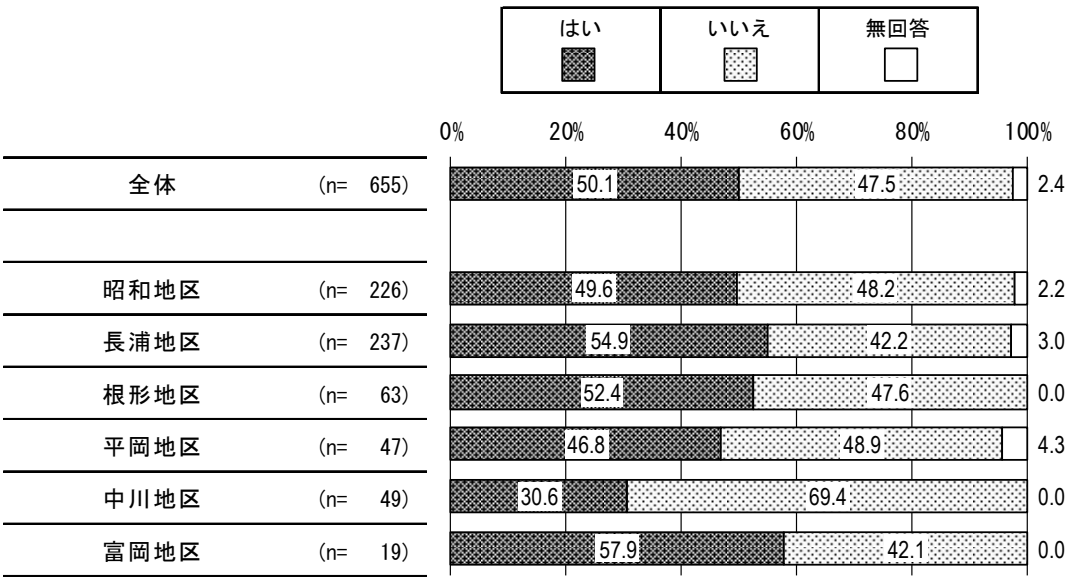
図表 33　属性別割合（居住地区）



2）市内の道路環境は整っていると思いますか【28】

全体での「はい」の割合は50.1%であるが、居住地区別では「中川地区（30.6%）」だけが３割強と飛び抜けて低い。

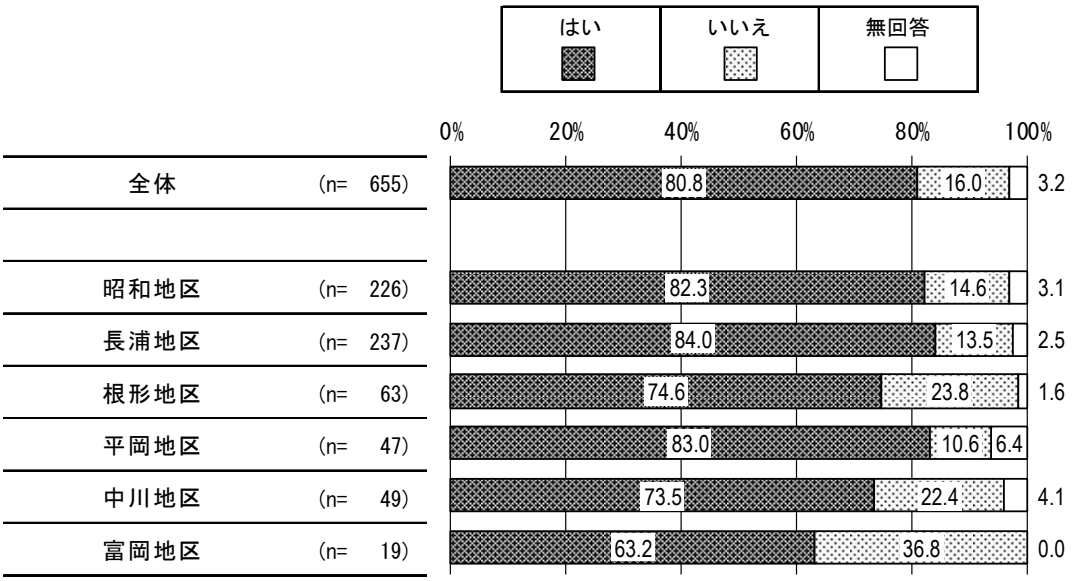
図表 34　属性別割合（居住地区）



3）生活排水などの汚水が適切に処理されていると思いますか【30】

全体での「はい」の割合は80.8%であるが、居住地区別では「富岡地区（63.2%）」が６割台と低く、他の地区は７割以上である。

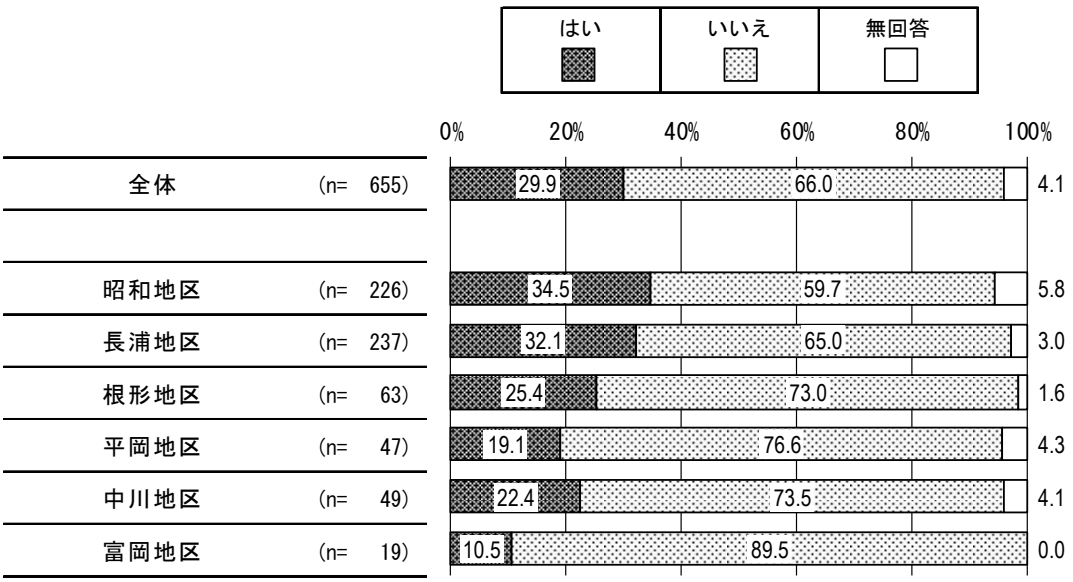
図表 35　属性別割合（居住地区）



4）市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか【31】

全体での「はい」の割合は29.9%であるが、居住地区別では「富岡地区（10.5%）」が１割強と飛び抜けて低く、全体より高いのは「昭和地区（34.5%）」、「長浦地区（32.1%）」が３割台である。

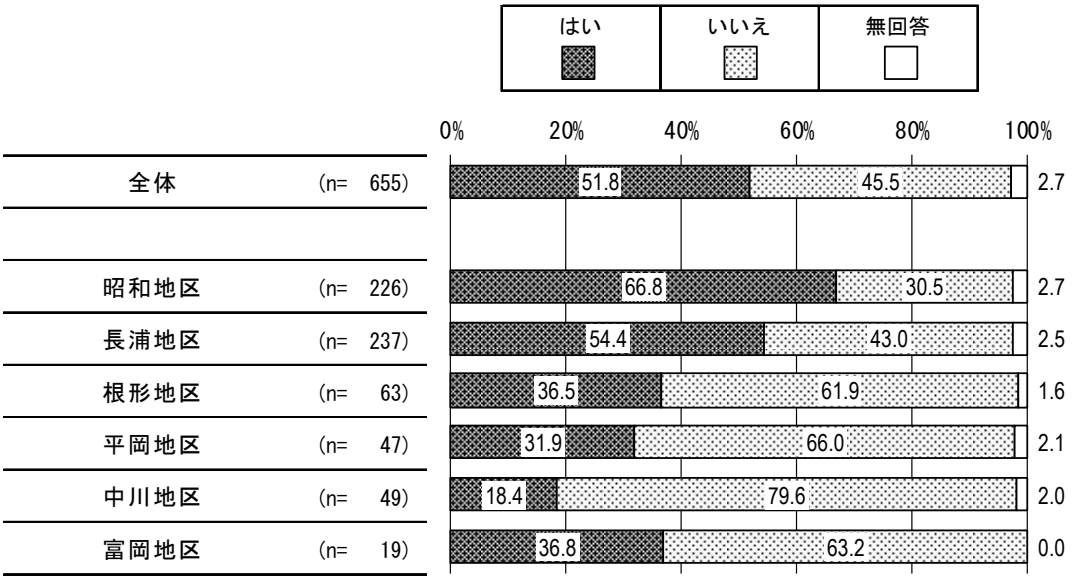
図表 36　属性別割合（居住地区）



５）市内の鉄道交通に満足していますか【32】

全体での「はい」の割合は51.8%であるが、居住地区別では「中川地区（18.4%)」だけが１割台と飛び抜けて低く、全体より高いのは「昭和地区（66.8%)」、「長浦地区（54.4%)」が５割以上である。

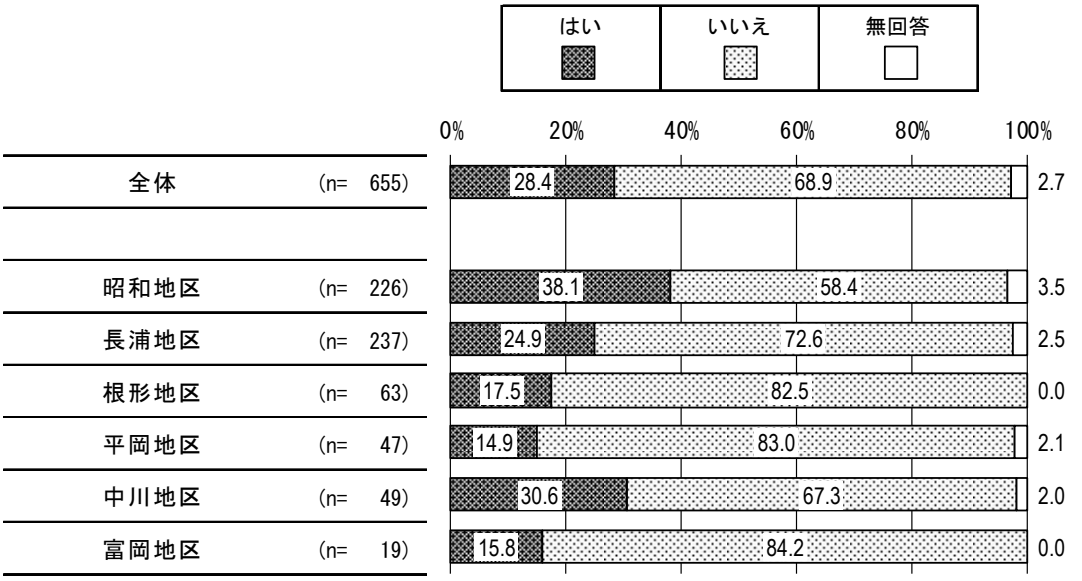
図表 37　属性別割合（居住地区）



６）市内の路線バス交通に満足していますか【34】

全体での「はい」の割合は28.4%であるが、居住地区別では「平岡地区（14.9%)」、「富岡地区(15.8%)」、「根形地区(17.5%)」が１割台と低く、全体より高いのは「昭和地区(38.1%)」、「中川地区（30.6%)」が３割台である。

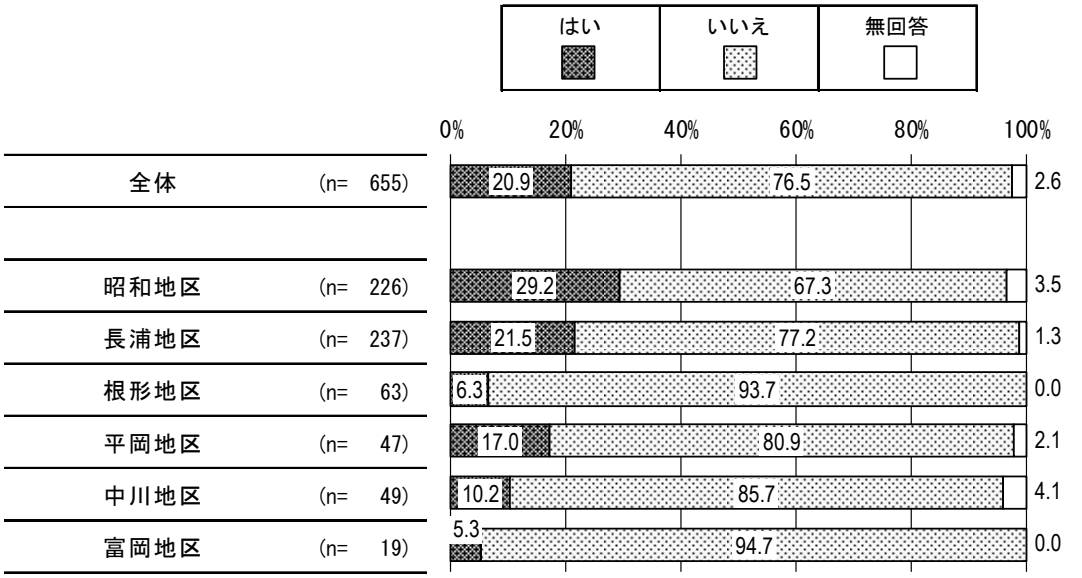
図表 38　属性別割合（居住地区）



7）買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか【35】

全体での「はい」の割合は 20.9%であるが、居住地区別では「富岡地区（5.3%)」、「根形地区(6.3%)」が１割未満と低く、全体より高いのは「昭和地区(29.2%)」、「長浦地区(21.5%)」が２割台である。

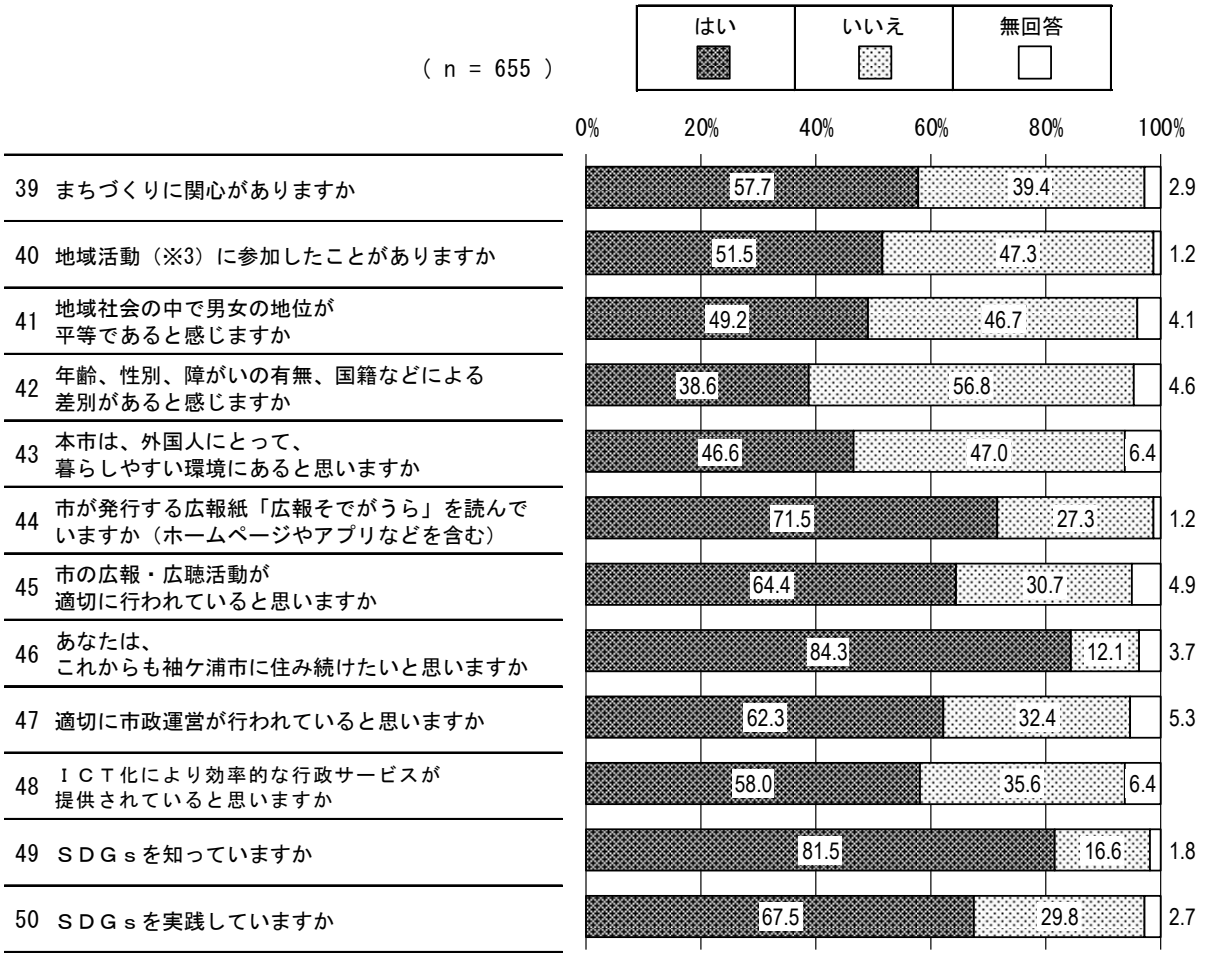
図表 39　属性別割合（居住地区）



２．３．４ 市民活動や行政運営について

「あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか【46】／はい（84.3%）」、「ＳＤＧｓを知っていますか【49】／はい（81.5%）」の割合が８割台、「市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいますか（ホームページやアプリなどを含む）【44】／はい（71.5%）」が７割台と高い一方、「年齢、性別、障がいの有無、国籍などによる差別があると感じますか【42】／はい（38.6%）」が３割台、「本市は、外国人にとって、暮らしやすい環境にあると思いますか【43】／はい（46.6%）」、「地域社会の中で男女の地位が平等であると感じますか【41】／はい（49.2%）」が４割台と低い。

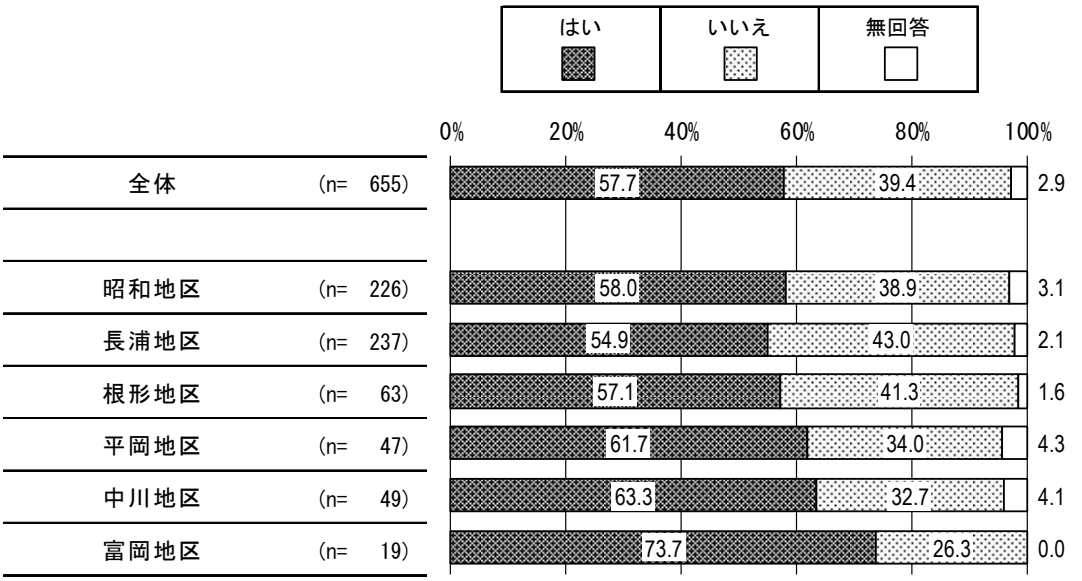
図表 40　普段の暮らしでの感じ（市民活動や行政運営）



1）まちづくりに関心がありますか【39】

全体での「はい」の割合は57.7%であるが、居住地区別では「富岡地区（73.7%)」が７割台と高く、他の地区は５、６割台である。

図表 41　属性別割合（居住地区）



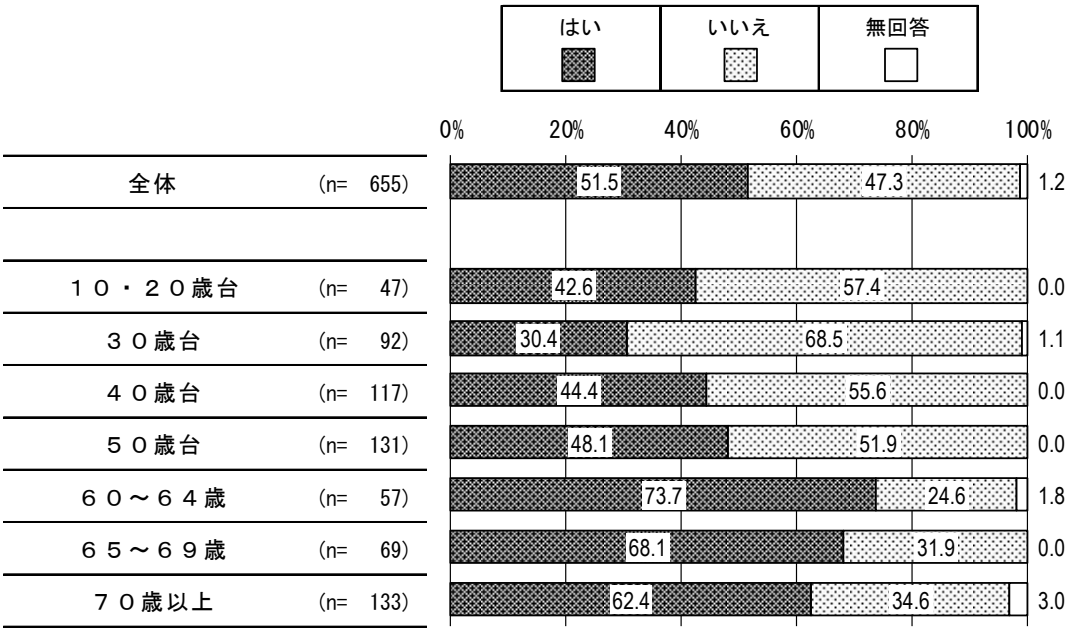
2）地域活動に参加したことがありますか【40】

全体での「はい」の割合は51.5%であるが、年齢別では「６０～６４歳（73.7%）」が７割台と高く、６０歳以上の区分は６割以上、他の年齢は３、４割台と全体を下回る。

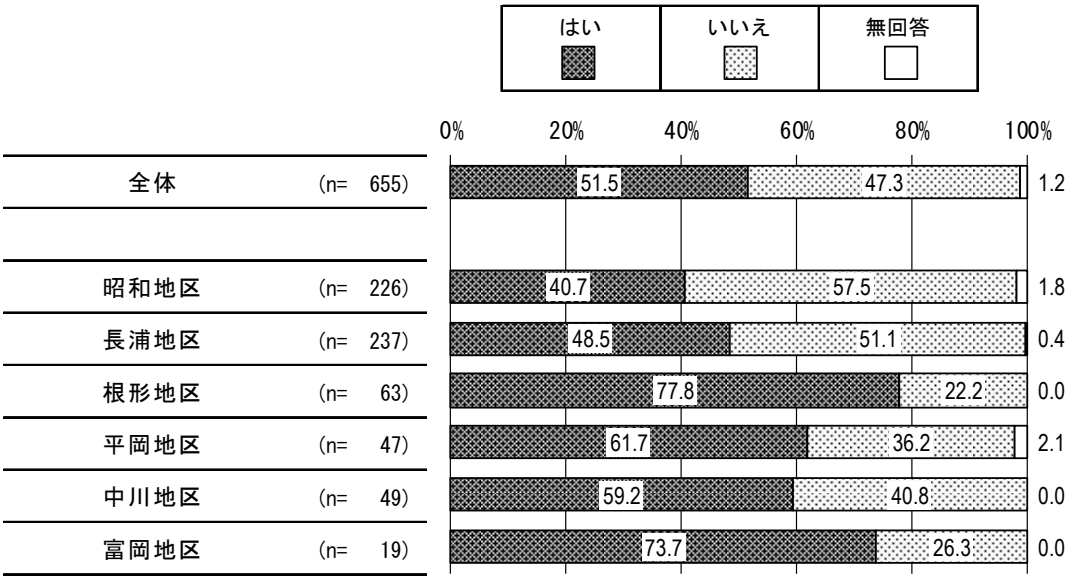
居住地区別では「根形地区（77.8%）」、「富岡地区（73.7%）」が７割台と高く、「昭和地区（40.7%）」、「長浦地区（48.5%）」は４割台で全体を下回る。

居住年数別では「２０年以上（59.3%）」だけが全体を超え６割弱、「３年未満（16.7%）」、「３年以上５年未満(17.9%)」は１割台と低く、居住年数が「１０年以上２０年未満(50.0%)」で５割となり、居住年数が長くなるほど高くなる。

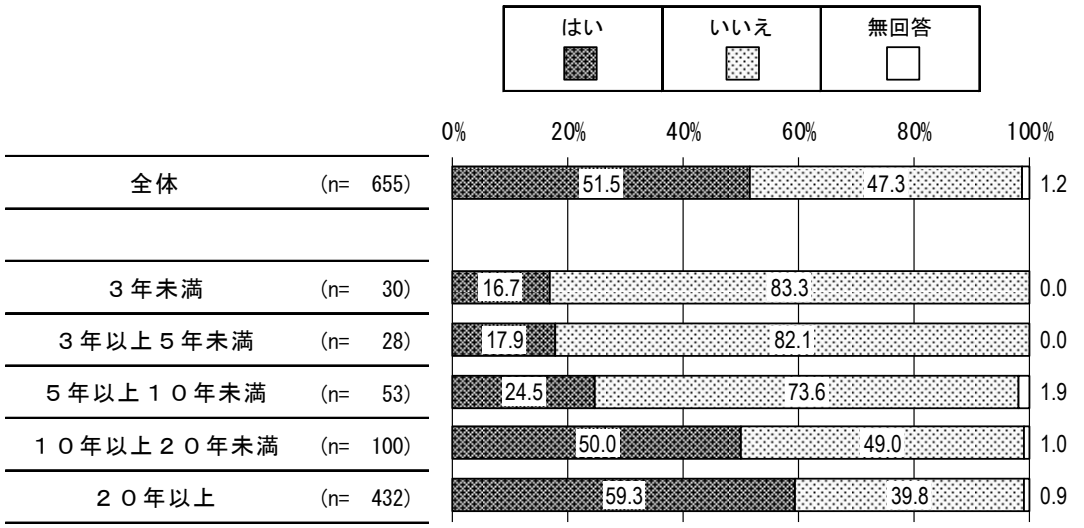
図表 42　属性別割合（年齢）



図表 43　属性別割合（居住地区）



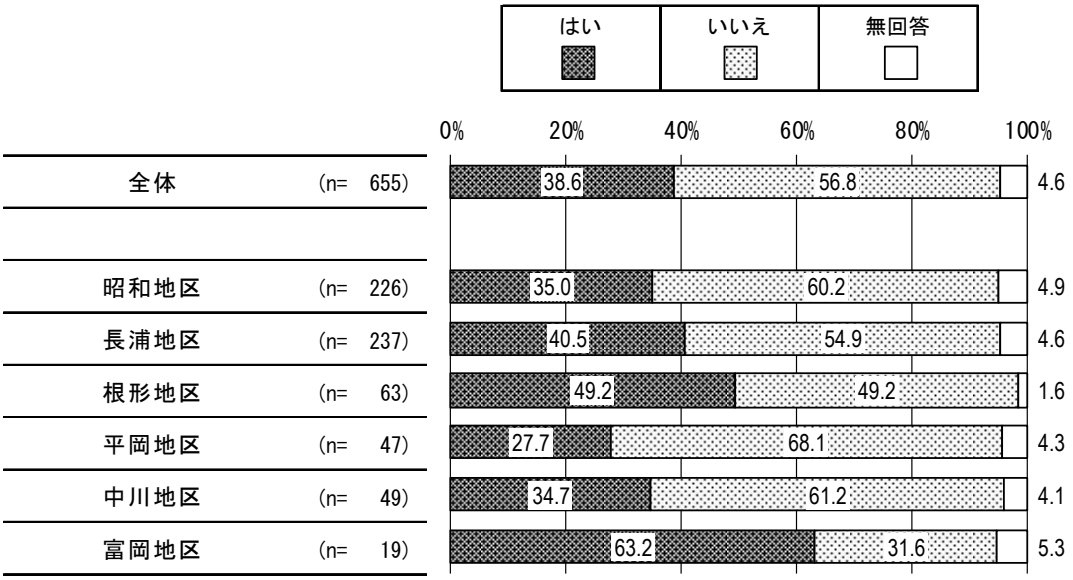
図表 44　属性別割合（居住年数）



3）年齢、性別、障がいの有無、国籍などによる差別があると感じますか【42】

全体での「はい」の割合は38.6%であるが、居住地区別では「富岡地区（63.2%）」だけが６割台と飛び抜けて高く、他に全体より高いのは「根形地区（49.2%）」、「長浦地区（40.5%）」が４割台である。

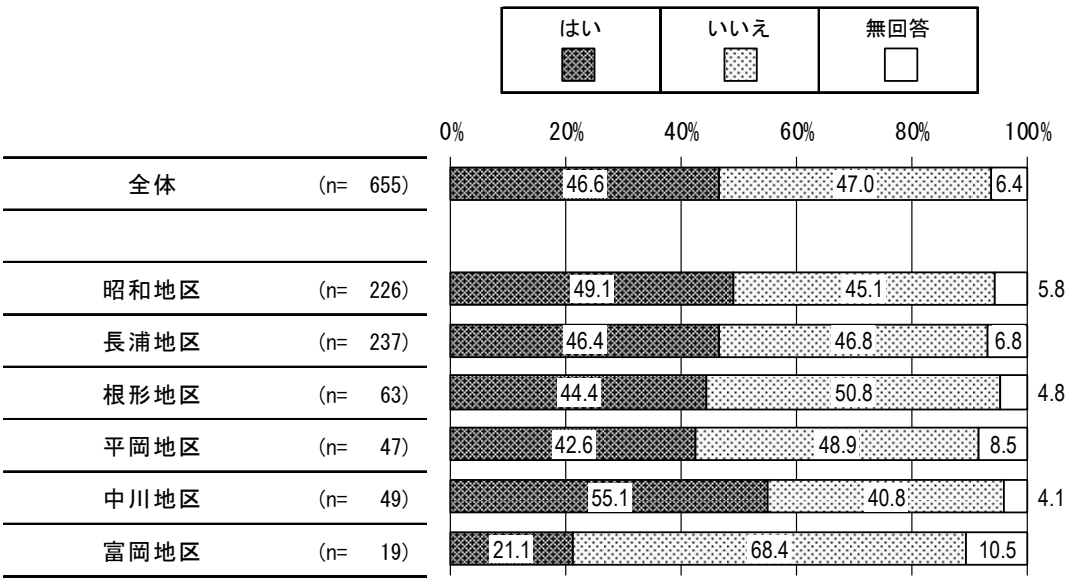
図表 45　属性別割合（居住地区）



4）本市は、外国人にとって、暮らしやすい環境にあると思いますか【43】

全体での「はい」の割合は46.6%であるが、居住地区別では「富岡地区（21.1%）」だけが２割台と飛び抜けて低く、「中川地区（55.1%）」だけが５割と高い。

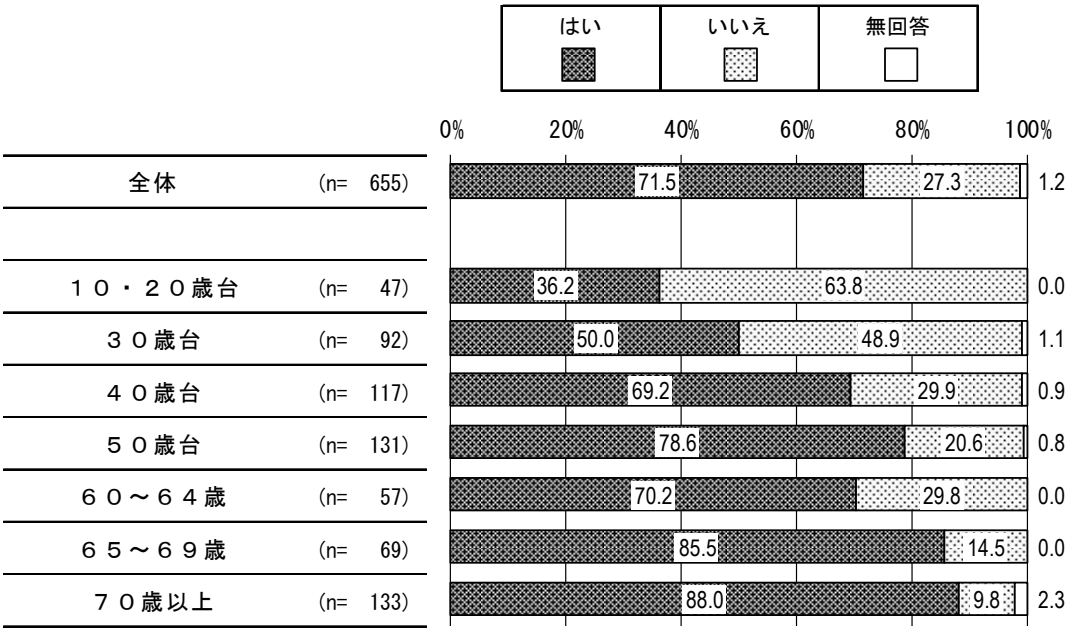
図表 46　属性別割合（居住地区）



5）市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいますか（ホームページやアプリなどを含む）【44】

全体での「はい」の割合は71.5%であるが、年齢別では「１０・２０歳台（36.2%）」だけが３割台と飛び抜けて低く、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、３０歳台で５割、６５歳以上では８割を超える。

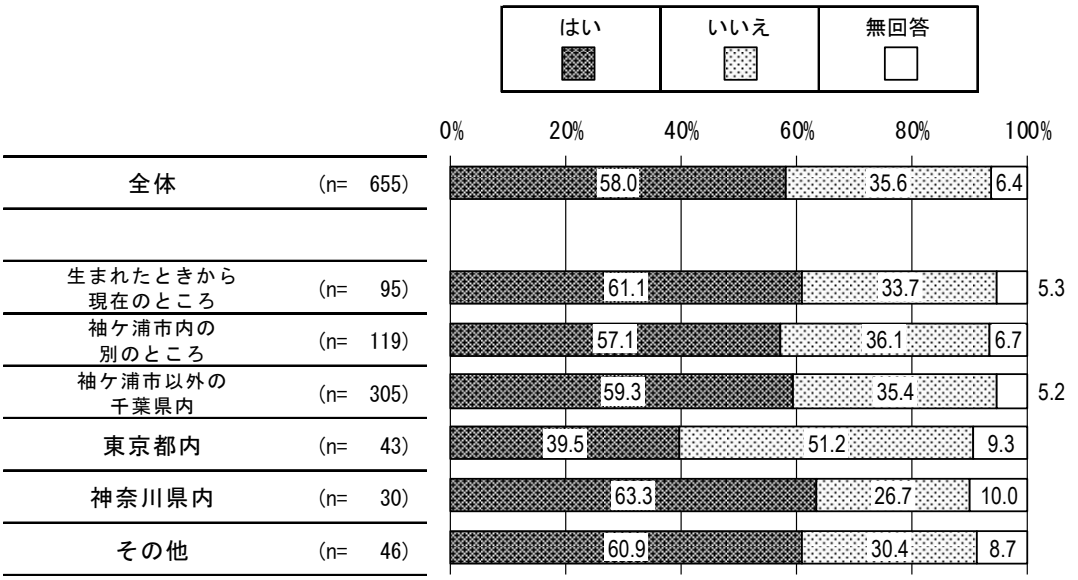
図表 47　属性別割合（年齢）



6）ＩＣＴ化により効率的な行政サービスが提供されていると思いますか【48】

全体での「はい」の割合は58.0%であるが、前住居別では「東京都内（39.5%）」が４割弱と低い。

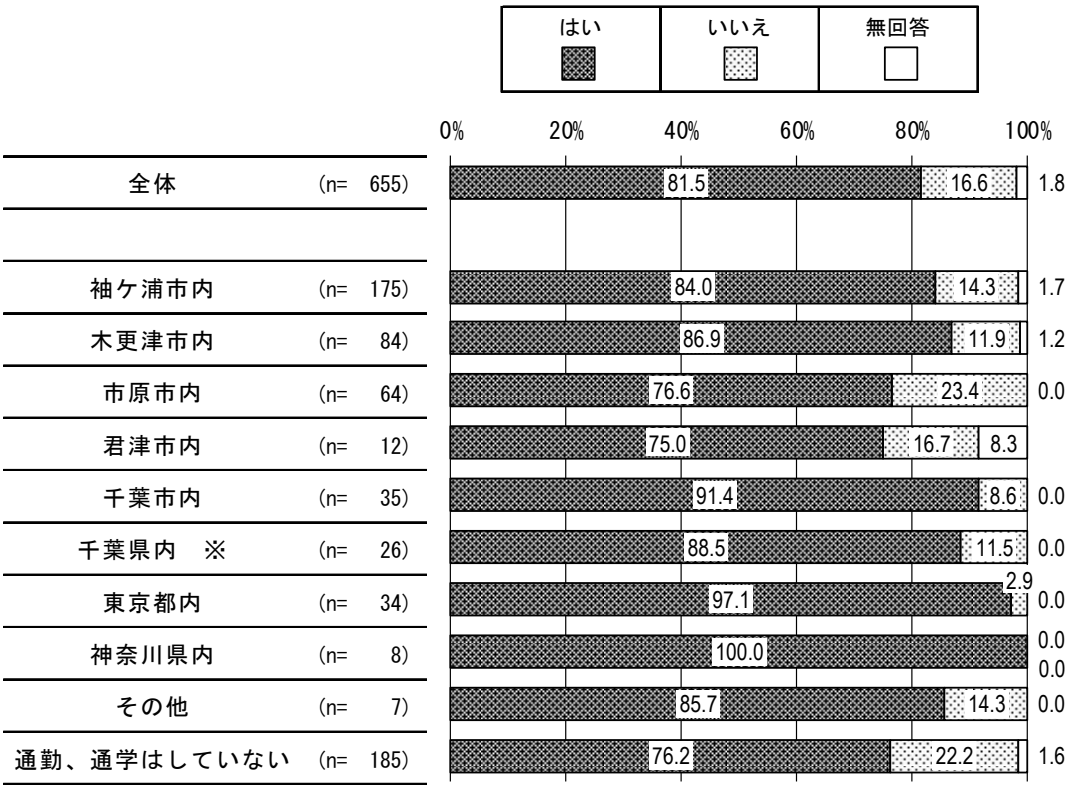
図表 48　属性別割合（前住居）



7）ＳＤＧｓを知っていますか【49】

全体での「はい」の割合は81.5%であるが、通勤・通学場所別では「君津市内（75.0.%)」、「通勤、通学はしていない（76.2%)」、「市原市内（76.6%)」が７割台で全体より多少低い。

図表 49　属性別割合（通勤・通学場所）

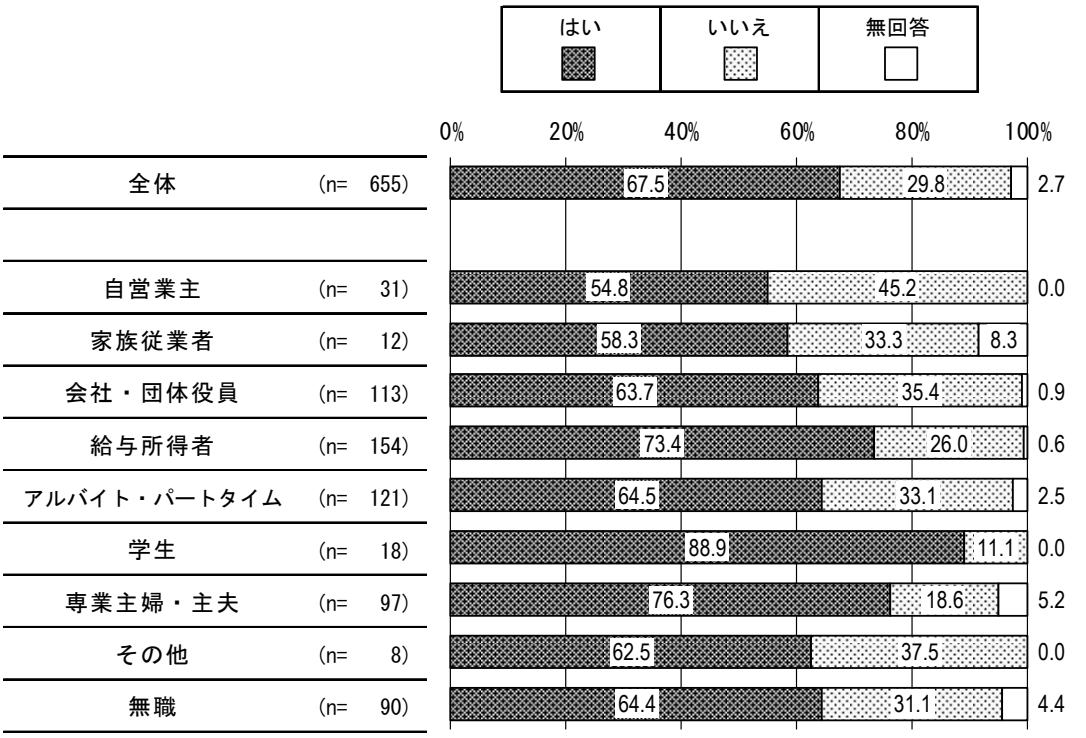


※：「千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

８）ＳＤＧｓを実践していますか【50】

全体での「はい」の割合は67.5％であるが、職業別では「学生（88.9%)」だけが８割台と飛び抜けて高く、「自営業主（54.8%)」、「家族従業者（58.3%)」は５割台と低い。

図表 50　属性別割合（職業）



2．4 まちづくりにおける満足度・重要度

【問５】まちづくりにおける、「現在の満足度」（現在どのように感じているか）と、「今後の重要度」（今後の取組がどのくらい重要と思うか）をお聞きしますので、各々の質問について、それぞれあてはまるものをお選びください。

ここでは、まちづくりにおける 6 分類・47 項目について、「現在の満足度」と、「今後の重要度」の５段階で評価された結果と算出した「満足度スコア」、「重要度スコア」を集計・分析した結果を掲載する。

なお、ここで取り上げていない属性別については、資料編に集計表を掲載している。

2．4．1 満足度と重要度（全体）

2．4．1．1 満足度

1）満足度スコア（図表 51、図表 52、図表 64）

「満足度スコア」は 3.00 が中位となり、質問の選択肢「どちらともいえない」に該当する。

満足度が最も高い項目は「健康づくり（3.982）」（括弧内は「満足度スコア」）であり、次いで「上水道（3.898）」、「高速バス（3.864）」が続いている。

一方、最も低い項目は「路線バス（2.477）」であり、次いで「商業（2.605）」、「観光（2.729）」が続いている。

2）選択肢別の構成比（図表 53、図表 54、図表 55、図表 56）

選択肢別の構成比をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が高い『満足層』は「健康づくり（74.2%）」、「高速バス（69.1%）」、「ごみ処理（67.6%）」、「上水道（66.4%）」までが６割を超えている。

このうち、「高速バス（29.9%）」、「上水道（29.3%）」、「健康づくり（26.9%）」、「ごみ処理（22.1%）」は「満足」の割合でも２割台と高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が高い『不満層』は「路線バス（44.9%）」、「商業（40.4%）」、「道路（34.8%）」、「観光（33.0%）」、「交通安全（30.7%）」までが３割を超えている。

このうち、「路線バス（24.4%）」、「商業（17.3%）」、「観光（13.6%）」、「交通安全（13.0%）」は「不満」だけの割合でも１割を超えている。

ここで「道路」に注目すると、『不満層』では３位だが、『満足層』でみると 18 位であり、評価が分かれている。

また、「わからない」と「無回答」を合わせた、評価がされなかった割合の高い項目は「火葬場（37.2%）」が最も高く、「広域連携（35.7%）」、「財政運営（30.2%）」が３割台で続いている一方、割合が低かった項目は「市街地形成（3.1%）」、「環境美化（3.2%）」、「医療（3.5%）」などとなっており、回答者に身近なこと、興味のある項目の割合は低く、関わりが無かったり、判断ができないような項目の割合が高くなっていると考えられる。

２．４．１．２ 重要度

１）重要度スコア（図表 51、図表 52、図表 64）

「重要度スコア」は 3.00 が中位となり、質問の選択肢「どちらともいえない」に該当する。

重要度が最も高い項目は「医療（4.718)」(括弧内は「重要度スコア」）であり、次いで「防災（4.683)」、「消防・救急（4.681)」が続いている。

一方、最も低い項目は「文化芸術・文化財(3.757)」であり、次いで「コミュニティ(3.801)」、「市民参加（3.806)」が続いている。

２）選択肢別の構成比（図表 57、図表 58、図表 59、図表 60）

選択肢別の構成比をみると、「重要」と「やや重要」を合わせた割合が高い『重要視層』は「医療（91.5%)」が最も高く、「防災（90.9%)」、「防犯（90.9%)」、「消防・救急（90.7%)」、「交通安全（89.8%)」が続いており、全 47 項目中 24 項目が８割を上回っている。

このうち、「重要」だけの割合でも「医療(73.3%)」、「防災(69.8%)」、「消防・救急(68.9%)」、「防犯（68.2%)」の順で高くなっている（３番目に高いのは「上水道（69.6%)」)。

一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた割合が高い『非重視層』は「観光(9.1%)」が最も高く、「スポーツ・レクリエーション(7.2%)」、「文化芸術・文化財(7.2%)」、「コミュニティ（6.3%)」、「多文化共生（6.2%)」が続いている。

「重要でない」だけでみると、最も割合が高い項目でも「多文化共生（2.7%)」、「シティプロモーション（2.7%)」で１割に満たない。

また、「わからない」と「無回答」を合わせた、評価がされなかった割合の高い項目は「広域連携（15.4%)」が最も高く、「シティプロモーション（13.3%)」「行政運営（13.2%)」が続いている一方、割合が低かった項目は「道路（3.9%)」、「市街地形成（4.1%)」、「公園・緑地（4.3%)」などとなっている。

２．４．１．３ 最重要選択率

【問６】問５の表のすべての項目の中（番号１～４７）で、あなたが袖ケ浦市で生活する上で、特に重要だと思うものを３つ選んでください。

選ばれた項目の割合（最重要選択率）をみてみると（図表 61、図表 65)、「医療（32.2%)」が最も高く、「子育て支援(29.6%)」、「防災(20.2%)」、「高齢者福祉(18.0%)」、「防犯(17.1%)」が続いている。

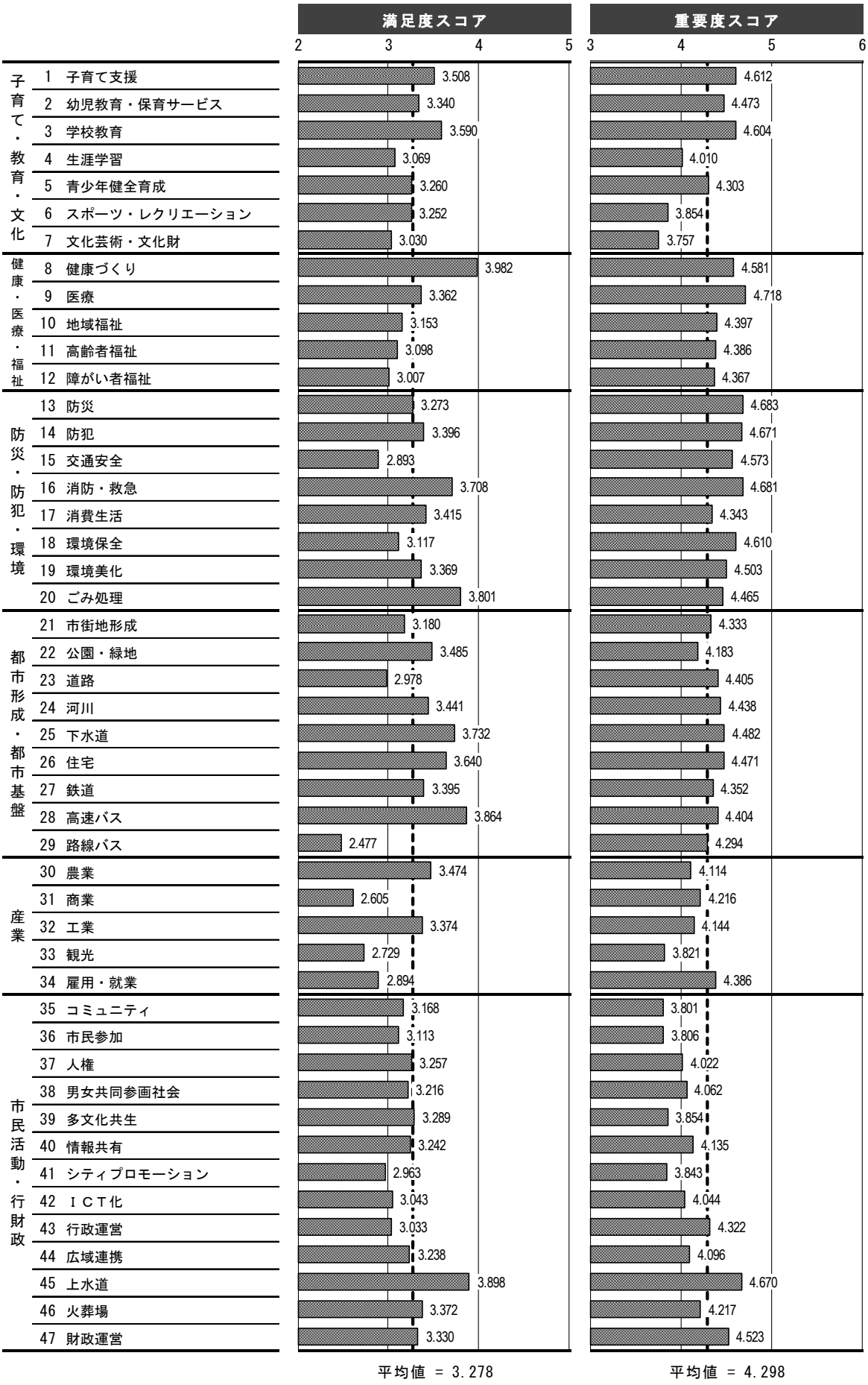
ここで、他の指標で比較してみると、「子育て支援（29.6%)」の順位は２位であるが、『重要視層』では 15 位、重要度スコアは６位と下がる。一方、「消防・救急（5.6%)」の順位は 17 位であるが、『重要視層』では４位、重要度スコアは３位と高くなっている。

他の項目については、順位の違いはあれど、重要度スコア、重要視層ともに上位に位置している。

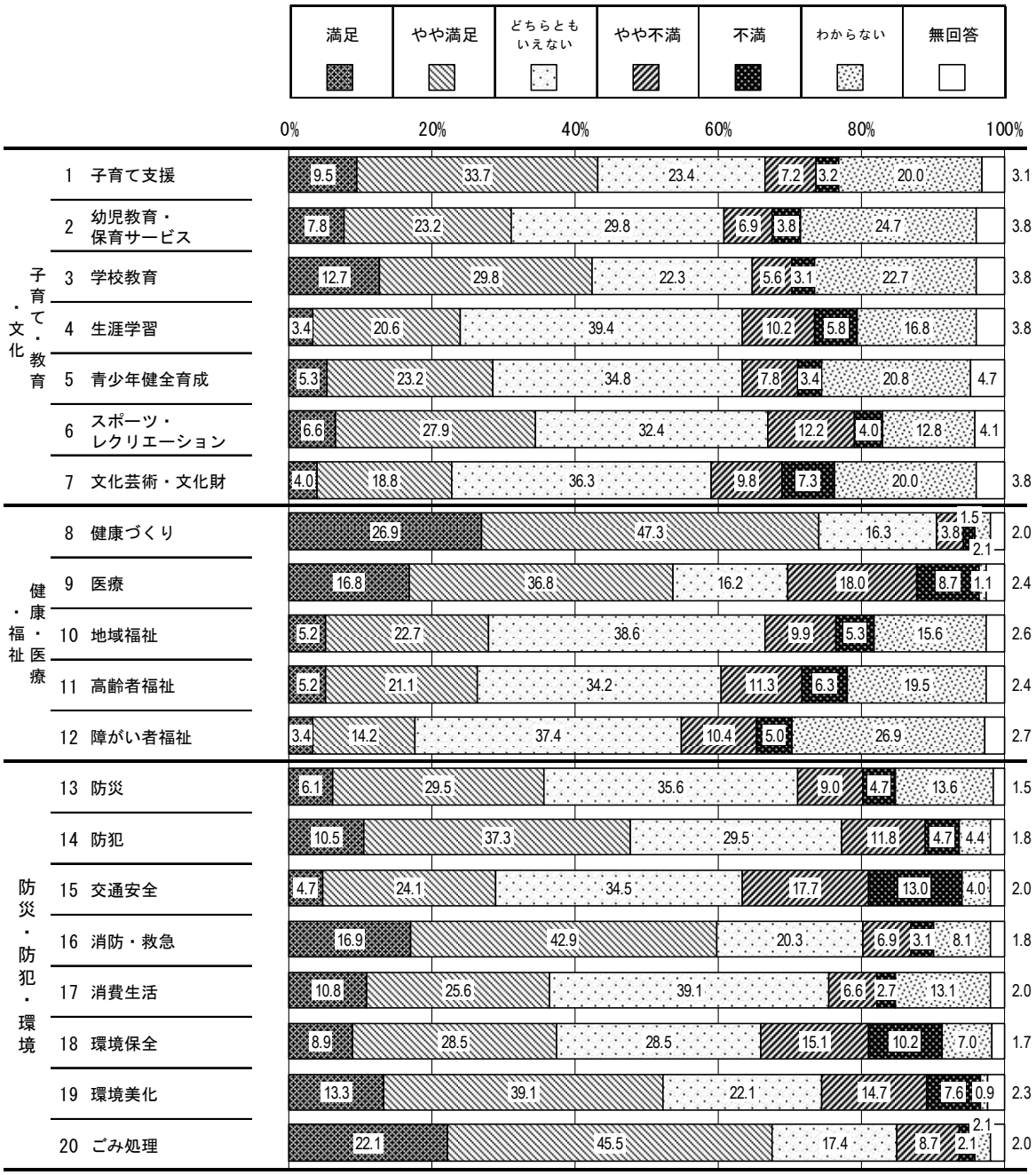
図表 51　満足度と重要度（スコア順：上位 5 項目、下位 5 項目）

順位	満足度			重要度		
	番号	項目	スコア	番号	項目	スコア
1	8	健康づくり	3.982	9	医療	4.718
2	45	上水道	3.898	13	防災	4.683
3	28	高速バス	3.864	16	消防・救急	4.681
4	20	ごみ処理	3.801	14	防犯	4.671
5	25	下水道	3.732	45	上水道	4.670
…	…	…	…	…	…	…
43	34	雇用・就業	2.894	41	シティプロモーション	3.843
44	15	交通安全	2.893	33	観光	3.821
45	33	観光	2.729	36	市民参加	3.806
46	31	商業	2.605	35	コミュニティ	3.801
47	29	路線バス	2.477	7	文化芸術・文化財	3.757

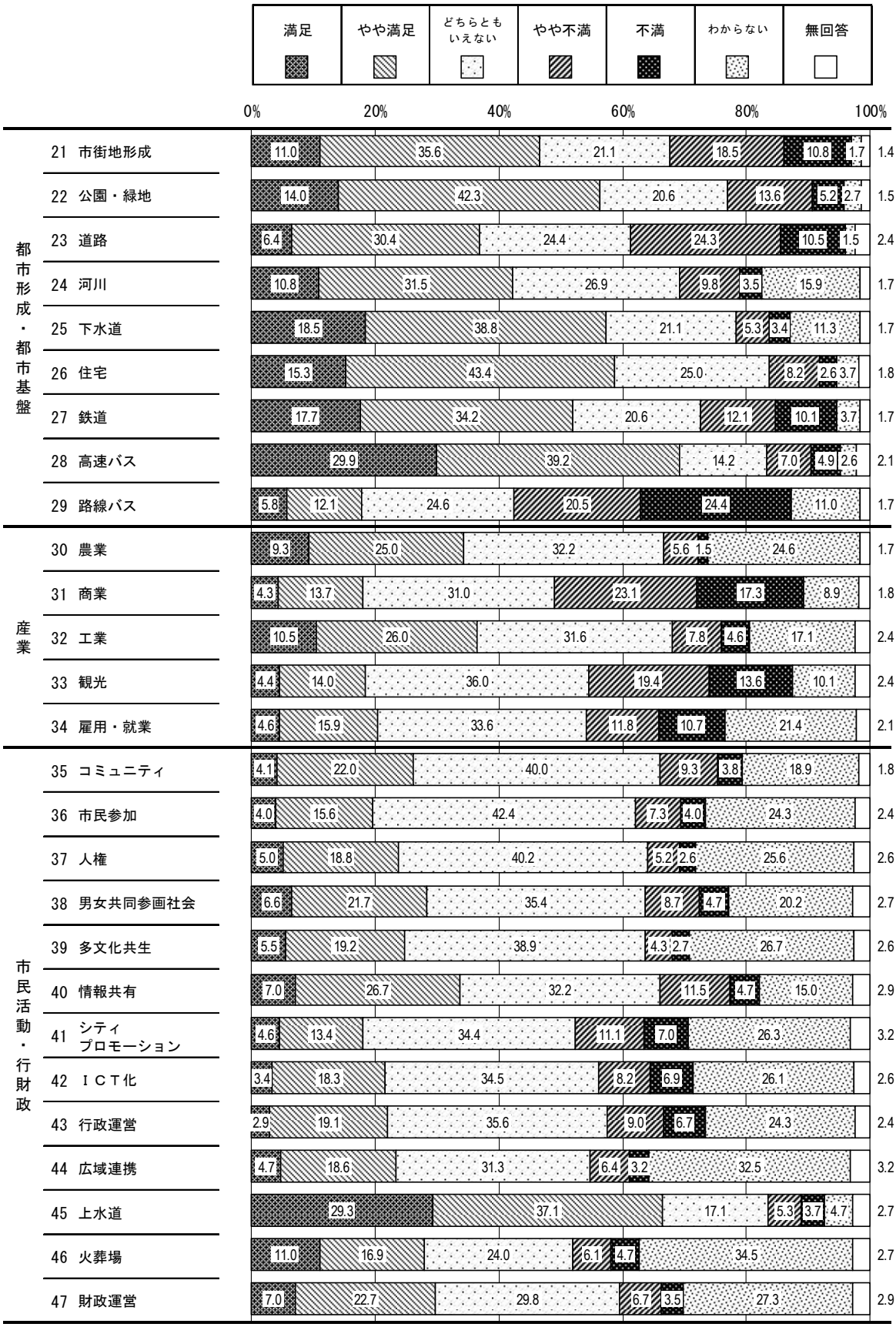
図表 52　満足度と重要度（スコア）



図表 53　満足度の選択肢別回答の割合（１／２）



図表 54　満足度の選択肢別回答の割合（２／２）



図表 55　満足層、不満層の割合（割合順）

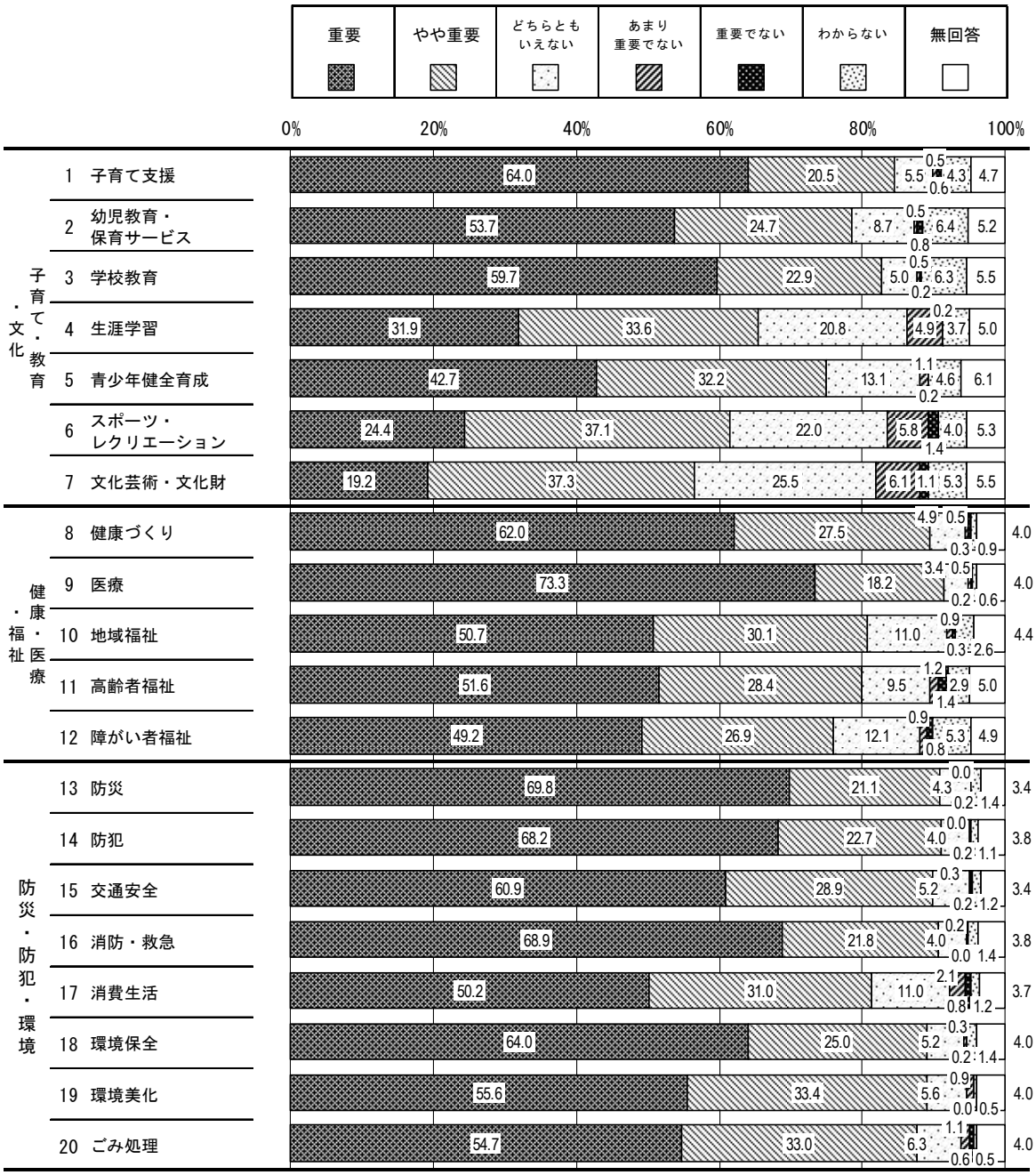
順位	番号	項目	「満足」、「やや満足」の割合（%）
1	8	健康づくり	74.2
2	28	高速バス	69.1
3	20	ごみ処理	67.6
4	45	上水道	66.4
5	16	消防・救急	59.8
6	26	住宅	58.7
7	25	下水道	57.3
8	22	公園・緑地	56.3
9	9	医療	53.6
10	19	環境美化	52.4
11	27	鉄道	51.9
12	14	防犯	47.8
13	21	市街地形成	46.6
14	1	子育て支援	43.2
15	3	学校教育	42.5
16	24	河川	42.3
17	18	環境保全	37.4
18	23	道路	36.8
19	32	工業	36.5
20	17	消費生活	36.4
21	13	防災	35.6
22	6	スポーツ・レクリエーション	34.5
23	30	農業	34.3
24	40	情報共有	33.7
25	2	幼児教育・保育サービス	31.0
26	47	財政運営	29.7
27	15	交通安全	28.8
28	5	青少年健全育成	28.5
29	38	男女共同参画社会	28.3
30	10	地域福祉	27.9
↑	46	火葬場	27.9
32	11	高齢者福祉	26.3
33	35	コミュニティ	26.1
34	39	多文化共生	24.7
35	4	生涯学習	24.0
36	37	人権	23.8
37	44	広域連携	23.3
38	7	文化芸術・文化財	22.8
39	43	行政運営	22.0
40	42	ＩＣＴ化	21.7
41	34	雇用・就業	20.5
42	36	市民参加	19.6
43	33	観光	18.4
44	31	商業	18.0
↑	41	シティプロモーション	18.0
46	29	路線バス	17.9
47	12	障がい者福祉	17.6

順位	番号	項目	「不満」、「やや不満」の割合（%）
1	29	路線バス	44.9
2	31	商業	40.4
3	23	道路	34.8
4	33	観光	33.0
5	15	交通安全	30.7
6	21	市街地形成	29.3
7	9	医療	26.7
8	18	環境保全	25.3
9	34	雇用・就業	22.5
10	19	環境美化	22.3
11	27	鉄道	22.2
12	22	公園・緑地	18.8
13	41	シティプロモーション	18.1
14	11	高齢者福祉	17.6
15	7	文化芸術・文化財	17.1
16	14	防犯	16.5
17	6	スポーツ・レクリエーション	16.2
↑	40	情報共有	16.2
19	4	生涯学習	16.0
20	43	行政運営	15.7
21	12	障がい者福祉	15.4
22	10	地域福祉	15.2
23	42	ＩＣＴ化	15.1
24	13	防災	13.7
25	38	男女共同参画社会	13.4
26	24	河川	13.3
27	35	コミュニティ	13.1
28	32	工業	12.4
29	28	高速バス	11.9
30	36	市民参加	11.3
31	5	青少年健全育成	11.2
32	46	火葬場	10.8
33	20	ごみ処理	10.8
↑	26	住宅	10.8
35	2	幼児教育・保育サービス	10.7
36	1	子育て支援	10.4
37	47	財政運営	10.2
38	16	消防・救急	10.0
39	44	広域連携	9.6
40	17	消費生活	9.3
41	45	上水道	9.0
42	3	学校教育	8.7
↑	25	下水道	8.7
44	37	人権	7.8
45	30	農業	7.1
46	39	多文化共生	7.0
47	8	健康づくり	5.3

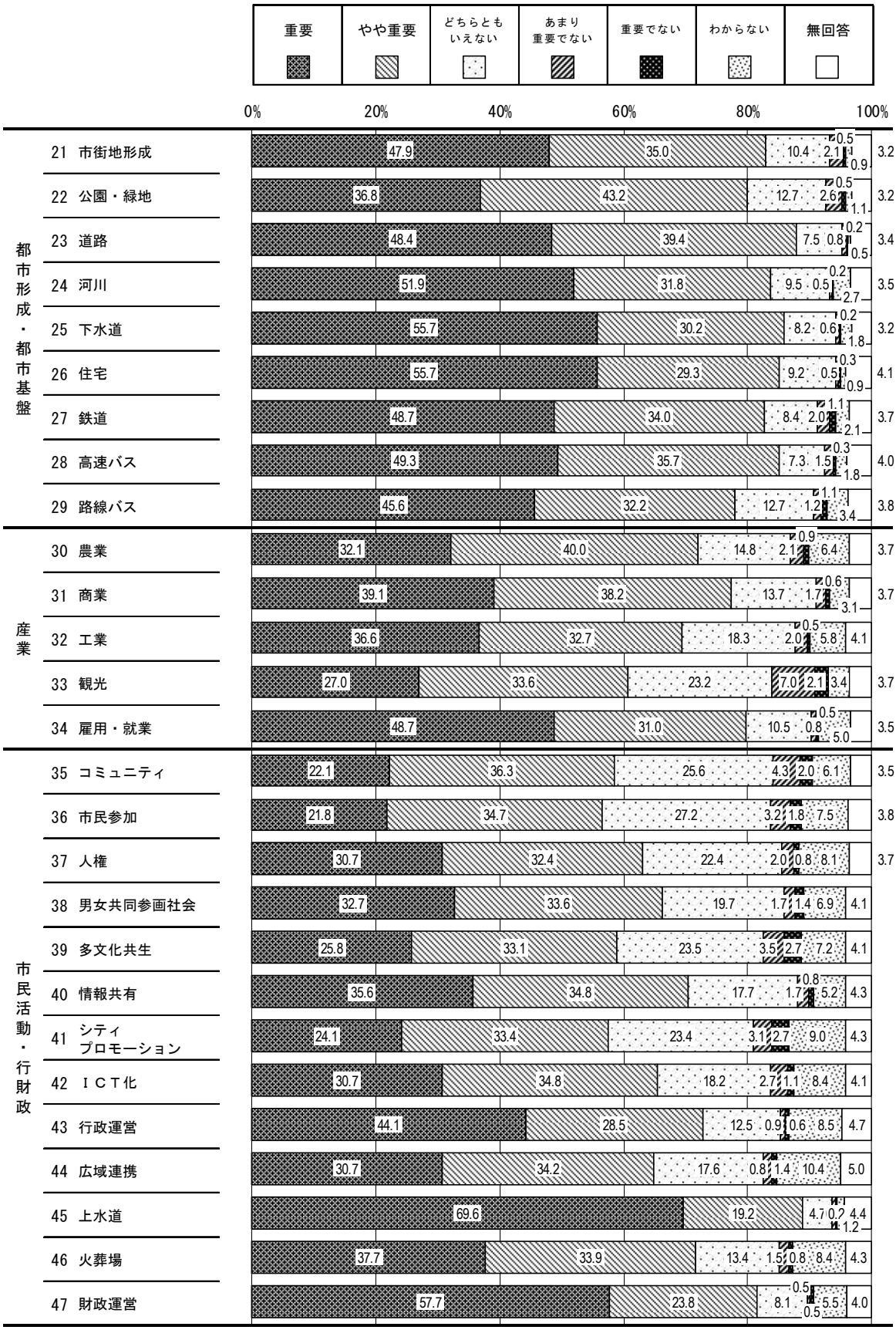
図表 56　満足度の「わからない」、「無回答」の割合（割合順）

順位	番号	項目	「わからない」、「無回答」の割合（%）
1	46	火葬場	37.2
2	44	広域連携	35.7
3	47	財政運営	30.2
4	12	障がい者福祉	29.6
5	41	シティプロモーション	29.5
6	39	多文化共生	29.3
7	42	ＩＣＴ化	28.7
8	2	幼児教育・保育サービス	28.5
9	37	人権	28.2
10	36	市民参加	26.7
↑	43	行政運営	26.7
12	3	学校教育	26.5
13	30	農業	26.3
14	5	青少年健全育成	25.5
15	7	文化芸術・文化財	23.8
16	34	雇用・就業	23.5
17	1	子育て支援	23.1
18	38	男女共同参画社会	22.9
19	11	高齢者福祉	21.9
20	35	コミュニティ	20.7
21	4	生涯学習	20.6
22	32	工業	19.5
23	10	地域福祉	18.2
24	40	情報共有	17.9
25	24	河川	17.6
26	6	スポーツ・レクリエーション	16.9
27	13	防災	15.1
↑	17	消費生活	15.1
29	25	下水道	13.0
30	29	路線バス	12.7
31	33	観光	12.5
32	31	商業	10.7
33	16	消防・救急	9.9
34	18	環境保全	8.7
35	45	上水道	7.4
36	14	防犯	6.2
37	15	交通安全	6.0
38	26	住宅	5.5
39	27	鉄道	5.4
40	28	高速バス	4.7
41	22	公園・緑地	4.2
42	8	健康づくり	4.1
↑	20	ごみ処理	4.1
44	23	道路	3.9
45	9	医療	3.5
46	19	環境美化	3.2
47	21	市街地形成	3.1

図表 57　重要度の選択肢別回答の割合（１／２）



図表 58　重要度の選択肢別回答の割合（２／２）



図表 59　重要視層、非重要視層の割合（割合順）

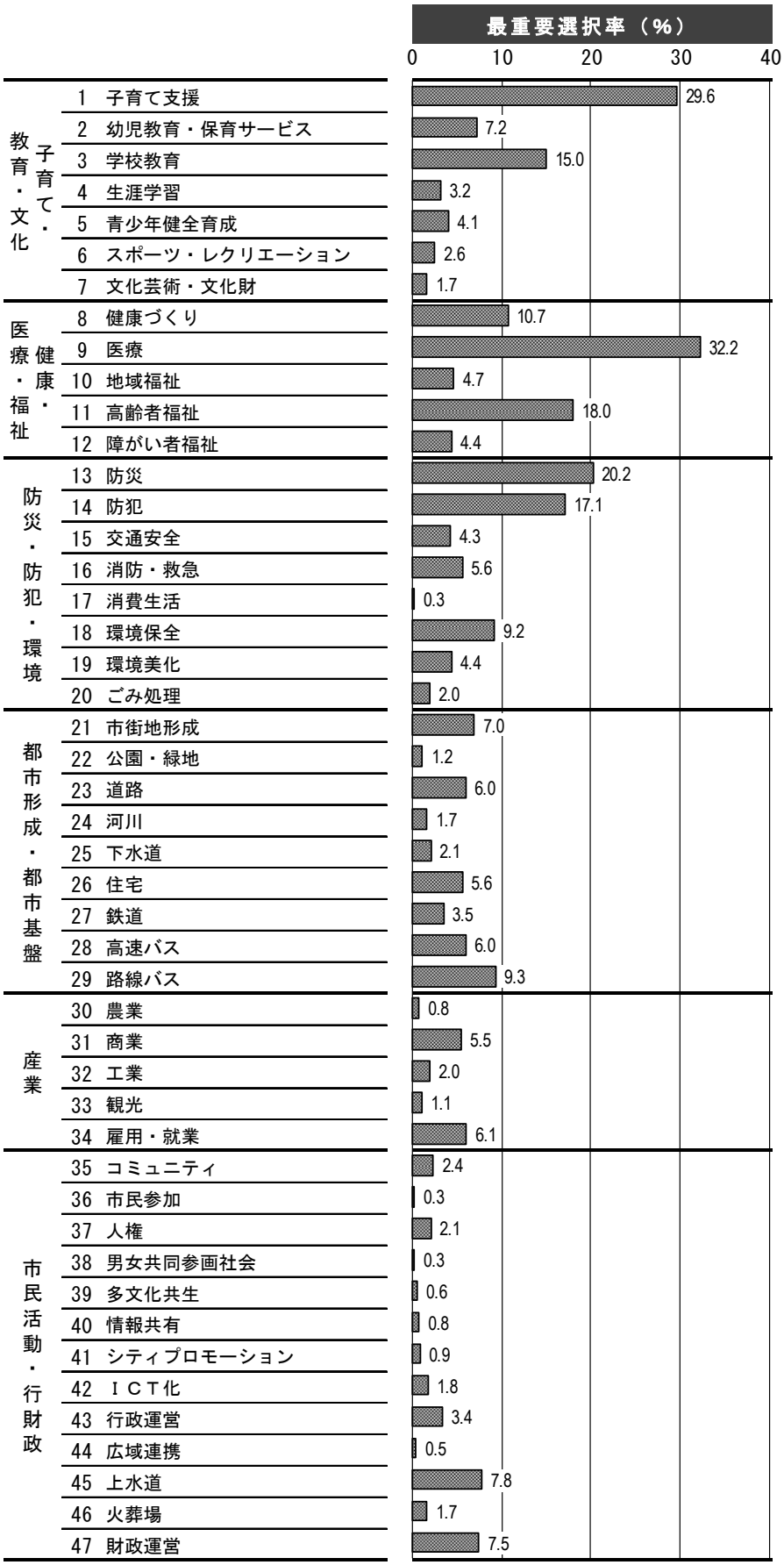
順位	番号	項目	「重要」、「やや重要」の割合（%）
1	9	医療	91.5
2	13	防災	90.9
↑	14	防犯	90.9
4	16	消防・救急	90.7
5	15	交通安全	89.8
6	8	健康づくり	89.5
7	18	環境保全	89.0
↑	19	環境美化	89.0
9	45	上水道	88.8
10	23	道路	87.8
11	20	ごみ処理	87.7
12	25	下水道	85.9
13	26	住宅	85.0
↑	28	高速バス	85.0
15	1	子育て支援	84.5
16	24	河川	83.7
17	21	市街地形成	82.9
18	27	鉄道	82.7
19	3	学校教育	82.6
20	47	財政運営	81.5
21	17	消費生活	81.2
22	10	地域福祉	80.8
23	11	高齢者福祉	80.0
↑	22	公園・緑地	80.0
25	34	雇用・就業	79.7
26	2	幼児教育・保育サービス	78.4
27	29	路線バス	77.8
28	31	商業	77.3
29	12	障がい者福祉	76.1
30	5	青少年健全育成	74.9
31	43	行政運営	72.6
32	30	農業	72.1
33	46	火葬場	71.6
34	40	情報共有	70.4
35	32	工業	69.3
36	38	男女共同参画社会	66.3
37	4	生涯学習	65.5
↑	42	ＩＣＴ化	65.5
39	44	広域連携	64.9
40	37	人権	63.1
41	6	スポーツ・レクリエーション	61.5
42	33	観光	60.6
43	39	多文化共生	58.9
44	35	コミュニティ	58.4
45	41	シティプロモーション	57.5
46	7	文化芸術・文化財	56.5
↑	36	市民参加	56.5

順位	番号	項目	「重要でない」、「あまり重要でない」の割合（%）
1	33	観光	9.1
2	6	スポーツ・レクリエーション	7.2
↑	7	文化芸術・文化財	7.2
4	35	コミュニティ	6.3
5	39	多文化共生	6.2
6	41	シティプロモーション	5.8
7	4	生涯学習	5.1
8	36	市民参加	5.0
9	42	ＩＣＴ化	3.8
10	22	公園・緑地	3.1
↑	27	鉄道	3.1
12	38	男女共同参画社会	3.1
13	30	農業	3.0
14	17	消費生活	2.9
15	37	人権	2.8
16	21	市街地形成	2.6
17	11	高齢者福祉	2.6
18	32	工業	2.5
↑	40	情報共有	2.5
20	29	路線バス	2.3
↑	31	商業	2.3
↑	46	火葬場	2.3
23	44	広域連携	2.2
24	28	高速バス	1.8
25	12	障がい者福祉	1.7
↑	20	ごみ処理	1.7
27	43	行政運営	1.5
28	2	幼児教育・保育サービス	1.3
↑	5	青少年健全育成	1.3
↑	34	雇用・就業	1.3
31	10	地域福祉	1.2
32	1	子育て支援	1.1
33	23	道路	1.0
↑	47	財政運営	1.0
35	19	環境美化	0.9
36	8	健康づくり	0.8
↑	25	下水道	0.8
↑	26	住宅	0.8
↑	45	上水道	0.8
40	3	学校教育	0.7
↑	9	医療	0.7
↑	24	河川	0.7
43	15	交通安全	0.5
↑	18	環境保全	0.5
45	13	防災	0.2
↑	14	防犯	0.2
↑	16	消防・救急	0.2

図表 60　重要度の「わからない」、「無回答」の割合（割合順）

順位	番号	項目	「わからない」、「無回答」の割合（%）
1	44	広域連携	15.4
2	41	シティプロモーション	13.3
3	43	行政運営	13.2
4	46	火葬場	12.7
5	42	ＩＣＴ化	12.5
6	3	学校教育	11.8
↑	37	人権	11.8
8	2	幼児教育・保育サービス	11.6
9	36	市民参加	11.3
↑	39	多文化共生	11.3
11	38	男女共同参画社会	11.0
12	7	文化芸術・文化財	10.8
13	5	青少年健全育成	10.7
14	12	障がい者福祉	10.2
15	30	農業	10.1
16	32	工業	9.9
17	35	コミュニティ	9.6
18	40	情報共有	9.5
↑	47	財政運営	9.5
20	6	スポーツ・レクリエーション	9.3
21	1	子育て支援	9.0
22	4	生涯学習	8.7
23	34	雇用・就業	8.5
24	11	高齢者福祉	7.9
25	29	路線バス	7.2
26	33	観光	7.1
27	10	地域福祉	7.0
28	31	商業	6.8
29	24	河川	6.2
30	27	鉄道	5.8
31	28	高速バス	5.8
32	45	上水道	5.6
33	18	環境保全	5.4
34	16	消防・救急	5.2
35	25	下水道	5.0
↑	26	住宅	5.0
37	8	健康づくり	4.9
↑	14	防犯	4.9
↑	17	消費生活	4.9
40	13	防災	4.8
41	9	医療	4.6
↑	15	交通安全	4.6
43	19	環境美化	4.5
↑	20	ごみ処理	4.5
45	22	公園・緑地	4.3
46	21	市街地形成	4.1
47	23	道路	3.9

図表 61　最重要選択率（項目順）



２．４．１．４ 市政へのニーズ

図表 62（散布図）は、問５の回答から算出した「満足度スコア」を横軸、「重要度スコア」を縦軸にとり、47 項目の施策に対する評価・意向を図化したものであり、座標平面上の右に行くほど「満足度」が高く、上に行くほど「重要度」が高い項目となる。図表中の「平均値」は、プロットされている全 47 項目の算術平均である。

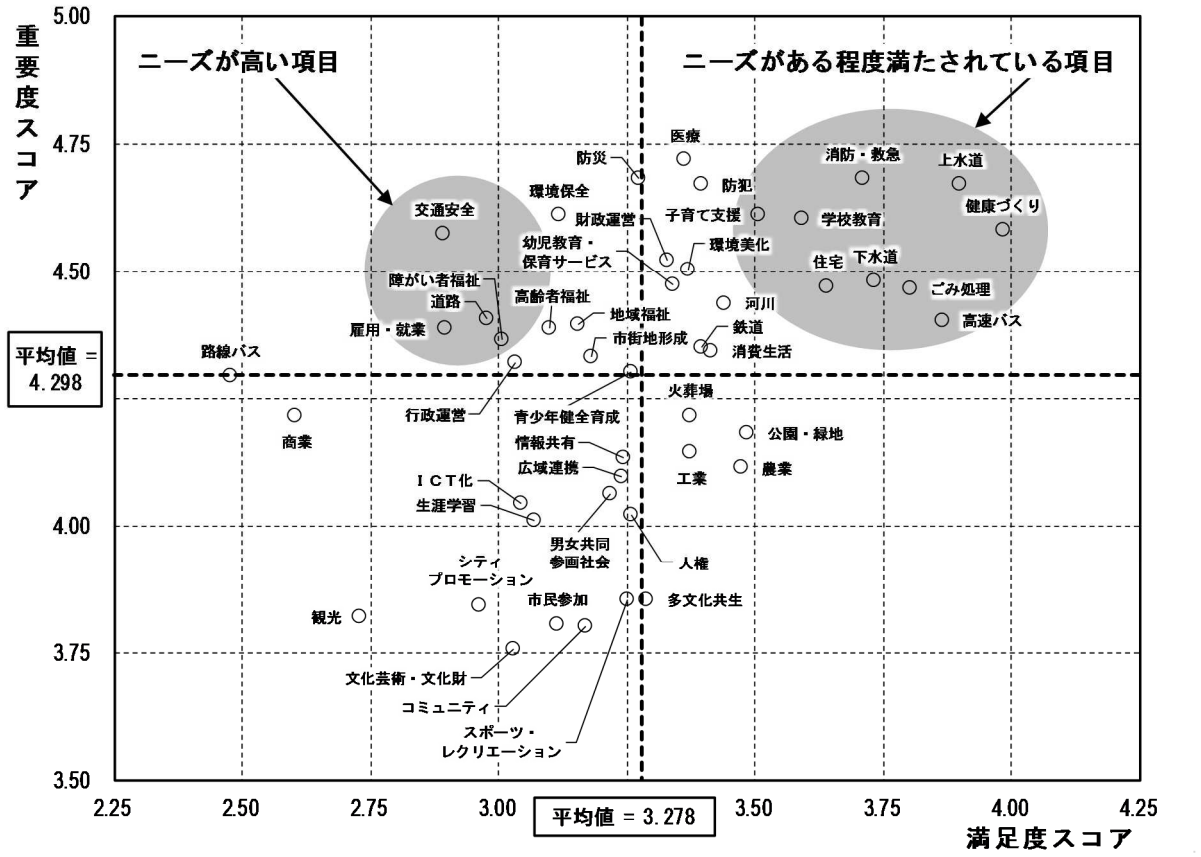
ここで、右上にプロットされる「満足度スコア」と「重要度スコア」が共に高い項目に注目すると、「学校教育」、「消防・救急」、「上水道」、「ごみ処理」、「健康づくり」などが挙げられる。これらは重要と考えられている施策であると同時に、「満足度」もある程度の水準に達している「ニーズがある程度満たされている項目」だと考えられる。

一方、左上にプロットされる「重要度」は高いが「満足度」が低い項目には「交通安全」、「雇用・就業」、「道路」、「障がい者福祉」がみられる。これらは重要と考えられている項目であるが、評価は十分とは言えず、対応・対策が望まれる「ニーズが高い項目」だと考えられる。

その他、下側にプロットされている項目は、相対的に「重要度」が低く、あまり需要が無いものや既に十分な対応・対策がされ「重要度」が下がったもの、対応・対策が見いだせないものなどと考えられる。

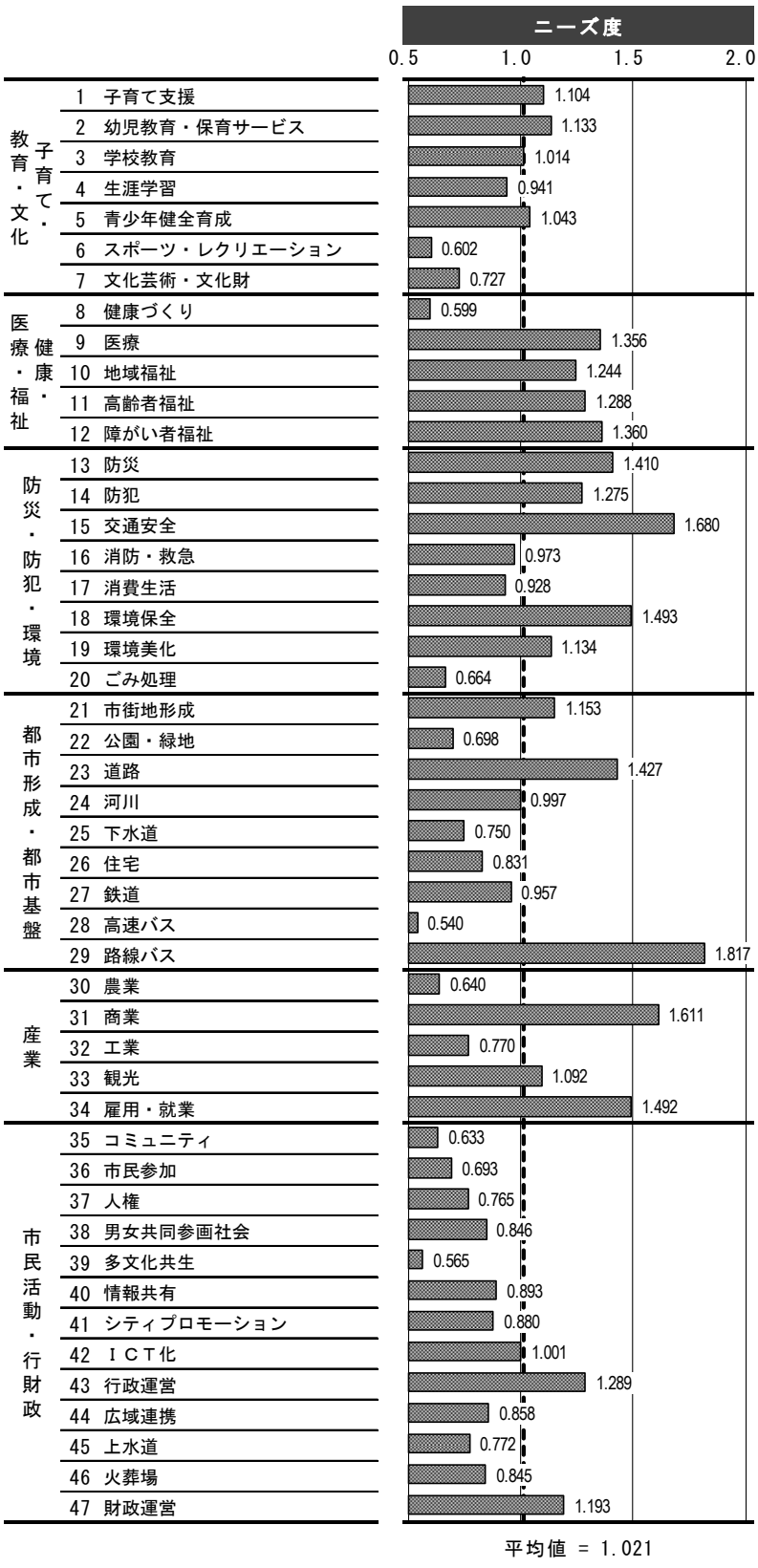
また、ここでは回答者全体の「満足度スコア」、「重要度スコア」をプロットしたものであるため、属性（性別、年齢、居住地区など）ごとに「ニーズが高い項目」が異なる可能性があることに留意する必要がある。

図表 62　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【全体】



「ニーズ度」が最も高い項目は「路線バス（1.817）」であり、「交通安全（1.680）」、「商業（1.611）」と続く一方、「ニーズ度」が最も低い項目は「高速バス（0.540）」であり、「多文化共生（0.565）」、「健康づくり（0.599）」と続いている。（図表 63、図表 65）

図表 63　項目別ニーズ度（重要度スコアー満足度スコア）



図表 64　満足度スコア、重要度スコア（スコア順）

順位	番号	項目	満足度スコア(S)
1	8	健康づくり	3.982
2	45	上水道	3.898
3	28	高速バス	3.864
4	20	ごみ処理	3.801
5	25	下水道	3.732
6	16	消防・救急	3.708
7	26	住宅	3.640
8	3	学校教育	3.590
9	1	子育て支援	3.508
10	22	公園・緑地	3.485
11	30	農業	3.474
12	24	河川	3.441
13	17	消費生活	3.415
14	14	防犯	3.396
15	27	鉄道	3.395
16	32	工業	3.374
17	46	火葬場	3.372
18	19	環境美化	3.369
19	9	医療	3.362
20	2	幼児教育・保育サービス	3.340
21	47	財政運営	3.330
22	39	多文化共生	3.289
23	13	防災	3.273
24	5	青少年健全育成	3.260
25	37	人権	3.257
26	6	スポーツ・レクリエーション	3.252
27	40	情報共有	3.242
28	44	広域連携	3.238
29	38	男女共同参画社会	3.216
30	21	市街地形成	3.180
31	35	コミュニティ	3.168
32	10	地域福祉	3.153
33	18	環境保全	3.117
34	36	市民参加	3.113
35	11	高齢者福祉	3.098
36	4	生涯学習	3.069
37	42	ＩＣＴ化	3.043
38	43	行政運営	3.033
39	7	文化芸術・文化財	3.030
40	12	障がい者福祉	3.007
41	23	道路	2.978
42	41	シティプロモーション	2.963
43	34	雇用・就業	2.894
44	15	交通安全	2.893
45	33	観光	2.729
46	31	商業	2.605
47	29	路線バス	2.477

順位	番号	項目	重要度スコア(I)
1	9	医療	4.718
2	13	防災	4.683
3	16	消防・救急	4.681
4	14	防犯	4.671
5	45	上水道	4.670
6	1	子育て支援	4.612
7	18	環境保全	4.610
8	3	学校教育	4.604
9	8	健康づくり	4.581
10	15	交通安全	4.573
11	47	財政運営	4.523
12	19	環境美化	4.503
13	25	下水道	4.482
14	2	幼児教育・保育サービス	4.473
15	26	住宅	4.471
16	20	ごみ処理	4.465
17	24	河川	4.438
18	23	道路	4.405
19	28	高速バス	4.404
20	10	地域福祉	4.397
21	11	高齢者福祉	4.386
↑	34	雇用・就業	4.386
23	12	障がい者福祉	4.367
24	27	鉄道	4.352
25	17	消費生活	4.343
26	21	市街地形成	4.333
27	43	行政運営	4.322
28	5	青少年健全育成	4.303
29	29	路線バス	4.294
30	46	火葬場	4.217
31	31	商業	4.216
32	22	公園・緑地	4.183
33	32	工業	4.144
34	40	情報共有	4.135
35	30	農業	4.114
36	44	広域連携	4.096
37	38	男女共同参画社会	4.062
38	42	ＩＣＴ化	4.044
39	37	人権	4.022
40	4	生涯学習	4.010
41	6	スポーツ・レクリエーション	3.854
↑	39	多文化共生	3.854
43	41	シティプロモーション	3.843
44	33	観光	3.821
45	36	市民参加	3.806
46	35	コミュニティ	3.801
47	7	文化芸術・文化財	3.757

図表 65　ニーズ度と重要と思う施策の選択率の比較（スコア順、割合順）

順位	番号	項目	ニーズ度（I-S）
1	29	路線バス	1.817
2	15	交通安全	1.680
3	31	商業	1.611
4	18	環境保全	1.493
5	34	雇用・就業	1.492
6	23	道路	1.427
7	13	防災	1.410
8	12	障がい者福祉	1.360
9	9	医療	1.356
10	43	行政運営	1.289
11	11	高齢者福祉	1.288
12	14	防犯	1.275
13	10	地域福祉	1.244
14	47	財政運営	1.193
15	21	市街地形成	1.153
16	19	環境美化	1.134
17	2	幼児教育・保育サービス	1.133
18	1	子育て支援	1.104
19	33	観光	1.092
20	5	青少年健全育成	1.043
21	3	学校教育	1.014
22	42	ＩＣＴ化	1.001
23	24	河川	0.997
24	16	消防・救急	0.973
25	27	鉄道	0.957
26	4	生涯学習	0.941
27	17	消費生活	0.928
28	40	情報共有	0.893
29	41	シティプロモーション	0.880
30	44	広域連携	0.858
31	38	男女共同参画社会	0.846
32	46	火葬場	0.845
33	26	住宅	0.831
34	45	上水道	0.772
35	32	工業	0.770
36	37	人権	0.765
37	25	下水道	0.750
38	7	文化芸術・文化財	0.727
39	22	公園・緑地	0.698
40	36	市民参加	0.693
41	20	ごみ処理	0.664
42	30	農業	0.640
43	35	コミュニティ	0.633
44	6	スポーツ・レクリエーション	0.602
45	8	健康づくり	0.599
46	39	多文化共生	0.565
47	28	高速バス	0.540

順位	番号	項目	重要施策選択率（%）
1	9	医療	32.2
2	1	子育て支援	29.6
3	13	防災	20.2
4	11	高齢者福祉	18.0
5	14	防犯	17.1
6	3	学校教育	15.0
7	8	健康づくり	10.7
8	29	路線バス	9.3
9	18	環境保全	9.2
10	45	上水道	7.8
11	47	財政運営	7.5
12	2	幼児教育・保育サービス	7.2
13	21	市街地形成	7.0
14	34	雇用・就業	6.1
15	23	道路	6.0
↑	28	高速バス	6.0
17	16	消防・救急	5.6
↑	26	住宅	5.6
19	31	商業	5.5
20	10	地域福祉	4.7
21	12	障がい者福祉	4.4
↑	19	環境美化	4.4
23	15	交通安全	4.3
24	5	青少年健全育成	4.1
25	27	鉄道	3.5
26	43	行政運営	3.4
27	4	生涯学習	3.2
28	6	スポーツ・レクリエーション	2.6
29	35	コミュニティ	2.4
30	25	下水道	2.1
↑	37	人権	2.1
32	20	ごみ処理	2.0
↑	32	工業	2.0
34	42	ＩＣＴ化	1.8
35	7	文化芸術・文化財	1.7
↑	24	河川	1.7
↑	46	火葬場	1.7
38	22	公園・緑地	1.2
39	33	観光	1.1
40	41	シティプロモーション	0.9
41	30	農業	0.8
↑	40	情報共有	0.8
43	39	多文化共生	0.6
44	44	広域連携	0.5
45	17	消費生活	0.3
↑	36	市民参加	0.3
↑	38	男女共同参画社会	0.3

２．４．２ 満足度と重要度の分析（属性別）

ここでは、満足度と重要度に特徴や差がみられた主な属性についての散布図（満足度スコア×重要度スコア）を示し、主に「ニーズが高い項目」に注目する。

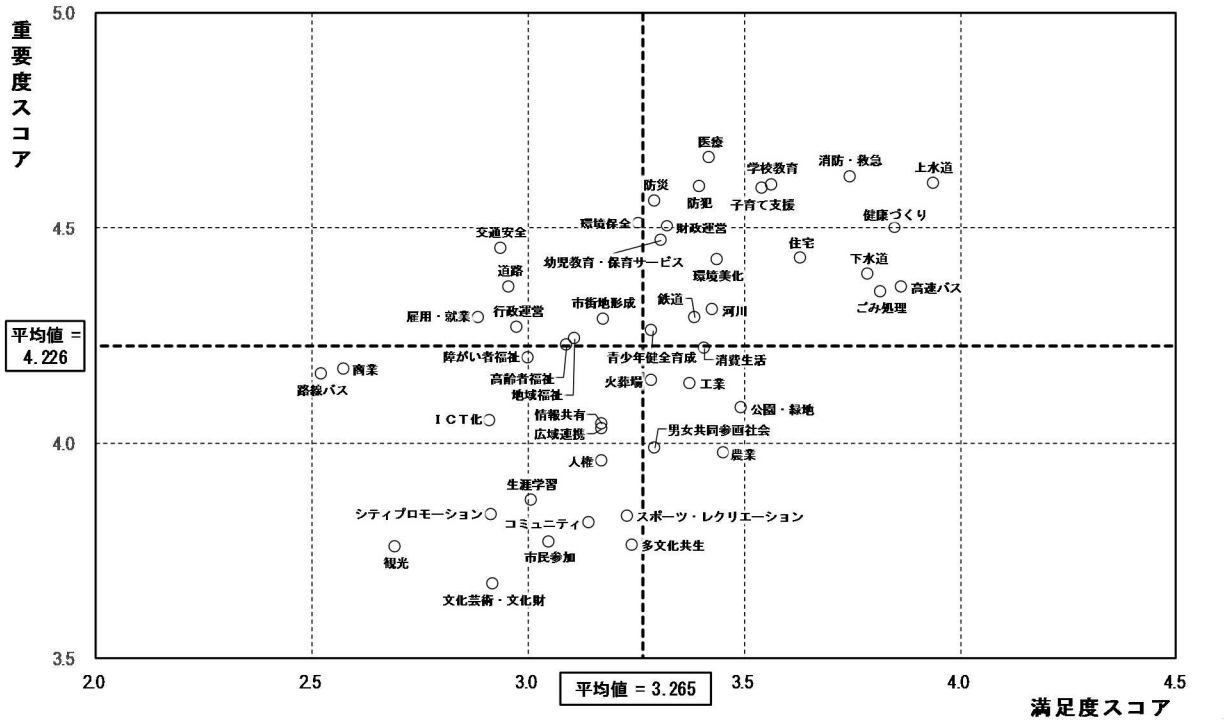
図表中の「平均値」は、プロットされている全 47 項目の算術平均である。なお、他の属性については資料編に集計表を掲載している。

２．４．２．１ 性別

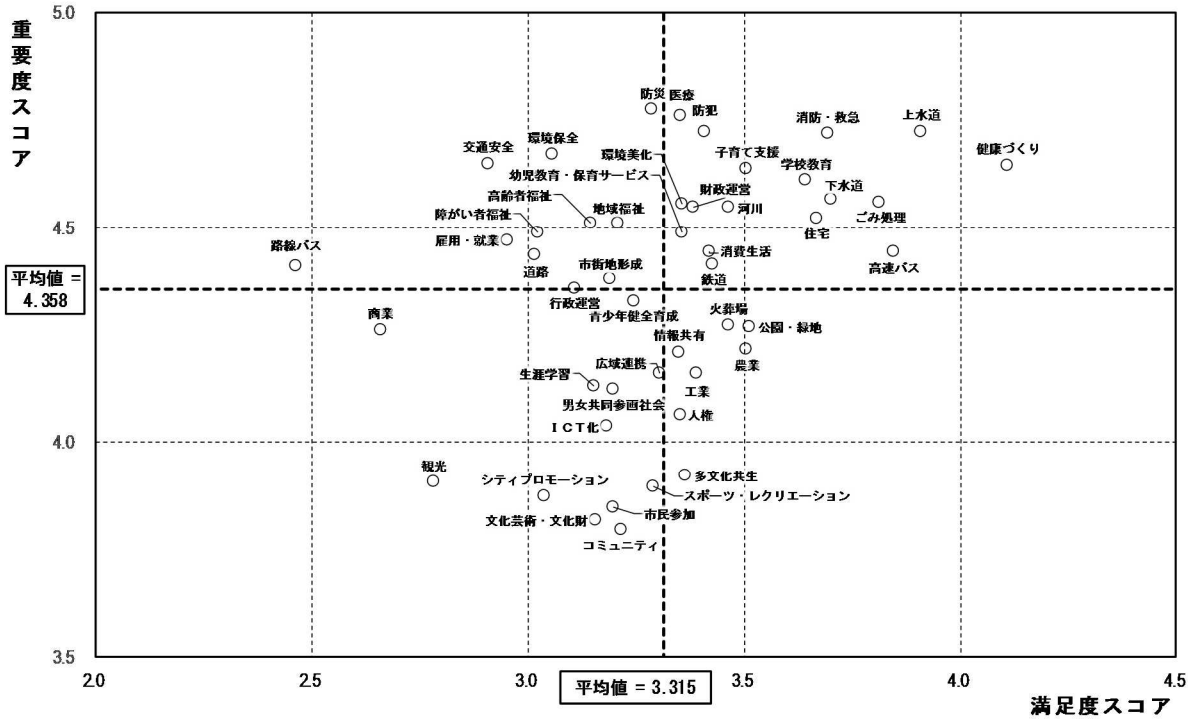
「ニーズが高い項目」としては、性別を問わず「交通安全」が挙げられるほか、「男性」は「道路」、「女性」では「環境保全」、「高齢者福祉」、「障がい者福祉」が加わる。

また、「満足度スコア」で差があるのは、男女ともに平均を上回る「健康づくり」、下回る「環境保全」、「ＩＣＴ化」などであり、「重要度スコア」においては、「障がい者福祉」、「路線バス」が、「女性」は平均を上回り、「男性」は下回っている。

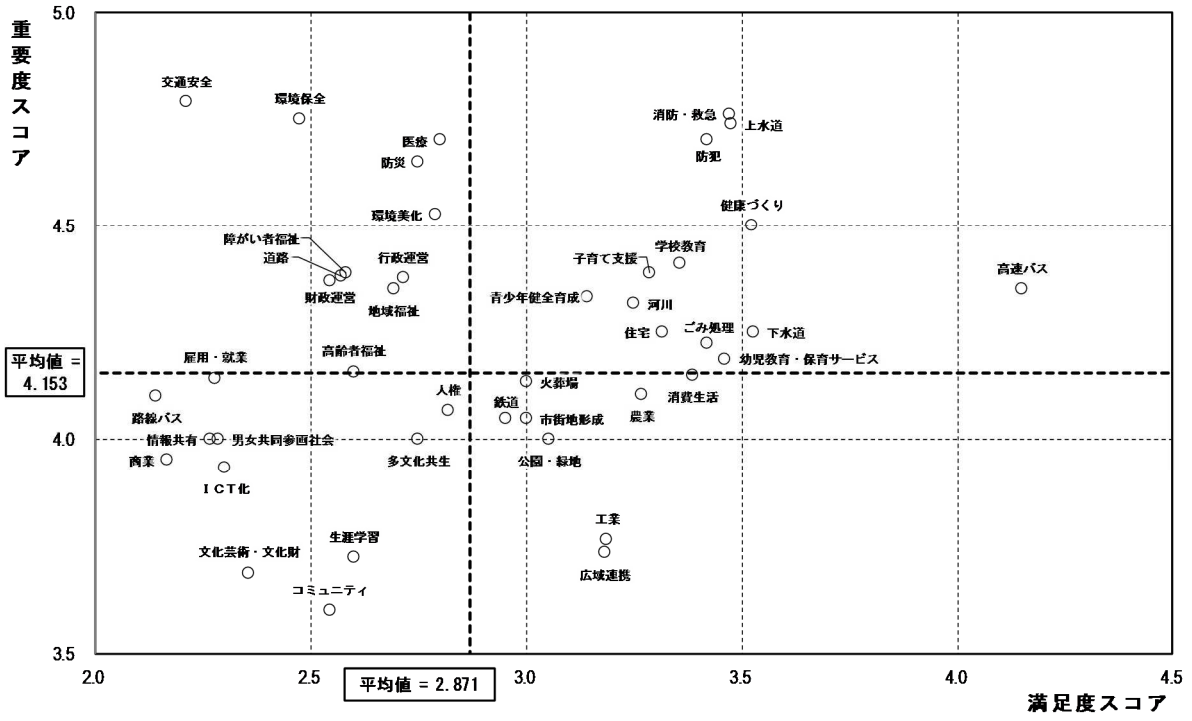
図表 66　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【性別：男性】



図表 67　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【性別：女性】



図表 68　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【性別：答えない】

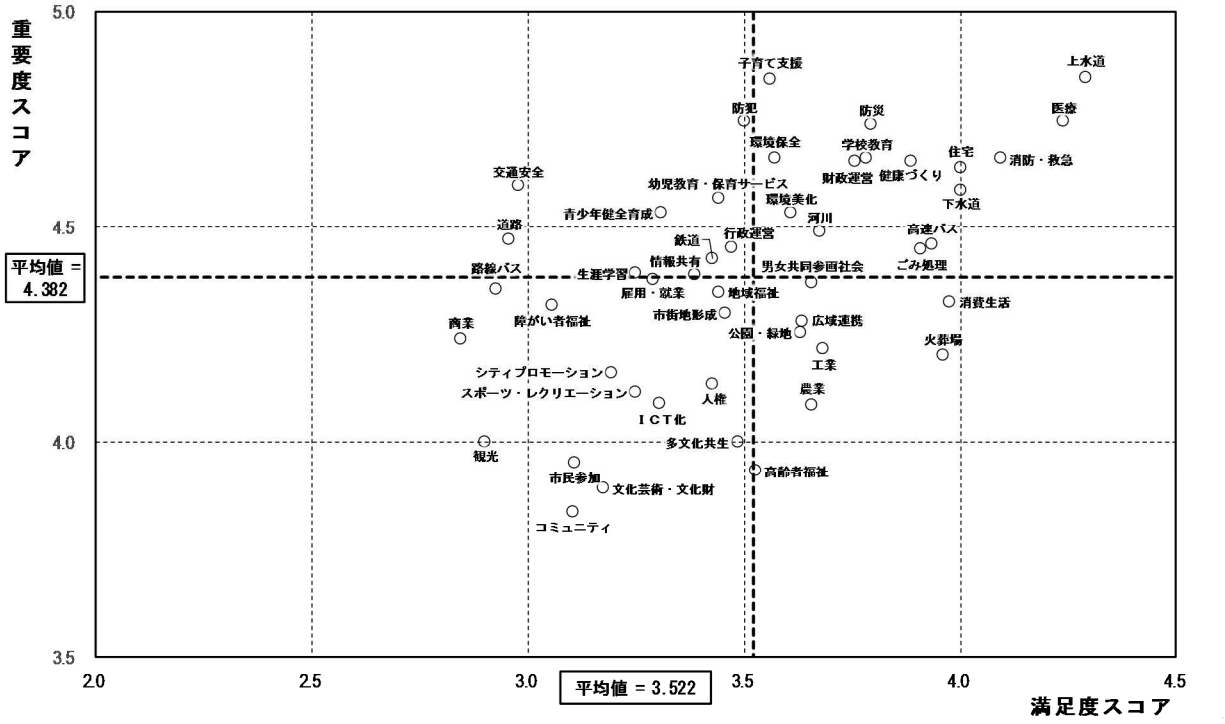


２．４．２．２ 年齢

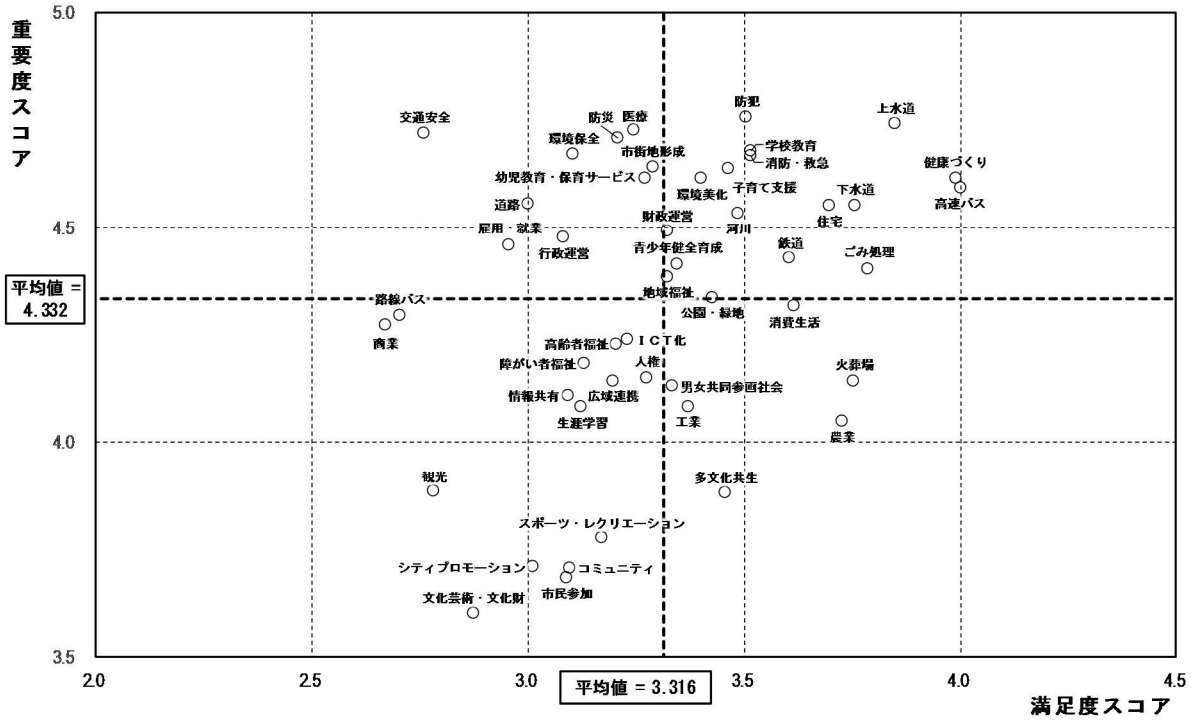
「ニーズが高い項目」としては、年代を問わず、全体と同様に「交通安全」がみられる。

年齢別にみると、「地域福祉」、「高齢者福祉」、「障がい者福祉」は４０歳台以上、「環境保全」、「雇用・就業」は「３０歳台」から「６０～６４歳」、「道路」は「１０・２０歳台」から「４０歳台」でみられる。

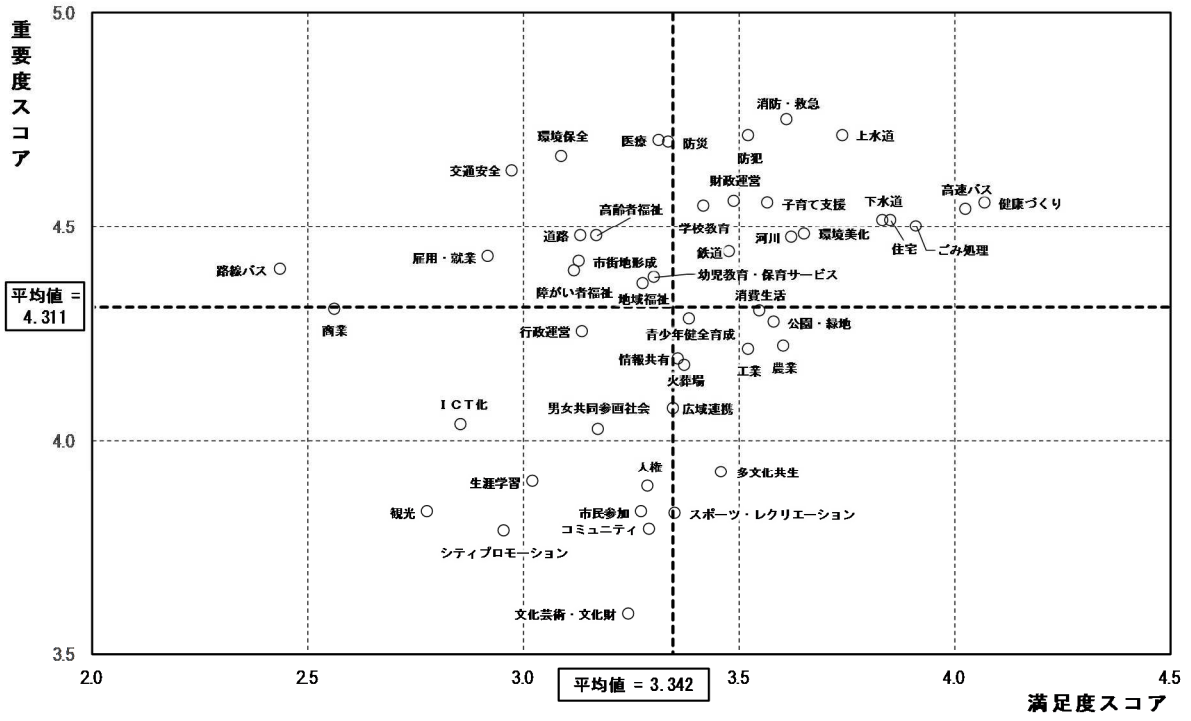
図表 69　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：１０・２０歳台】



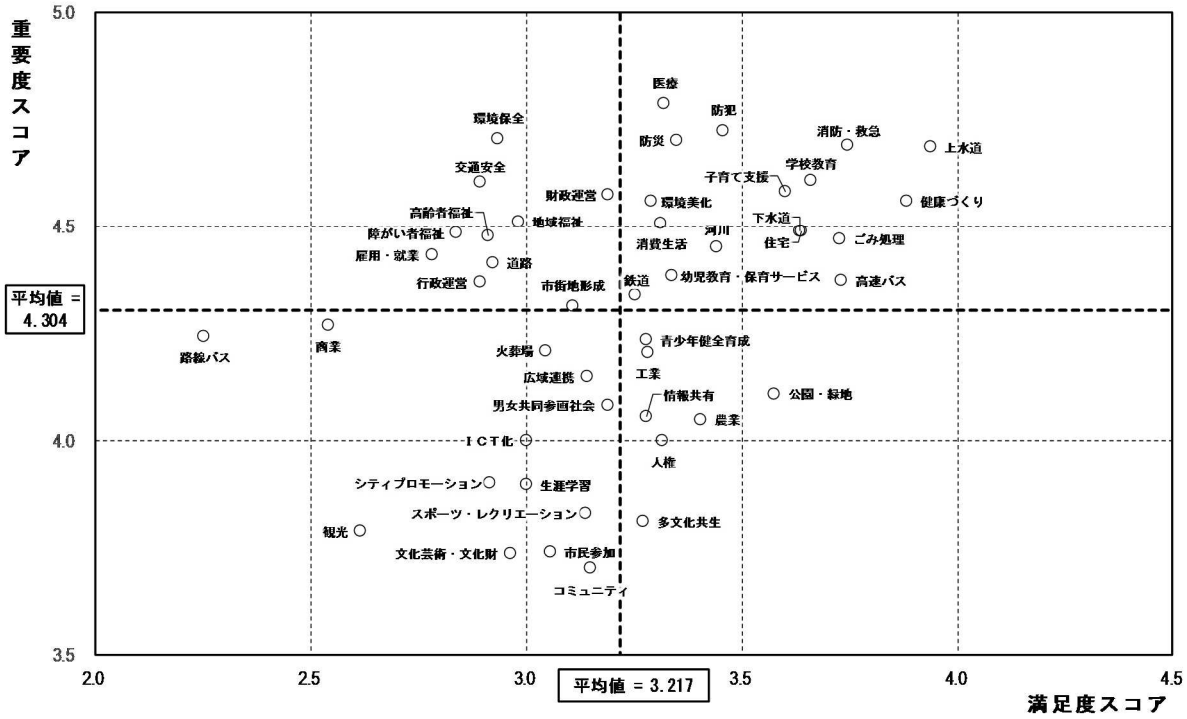
図表 70　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：３０歳台】



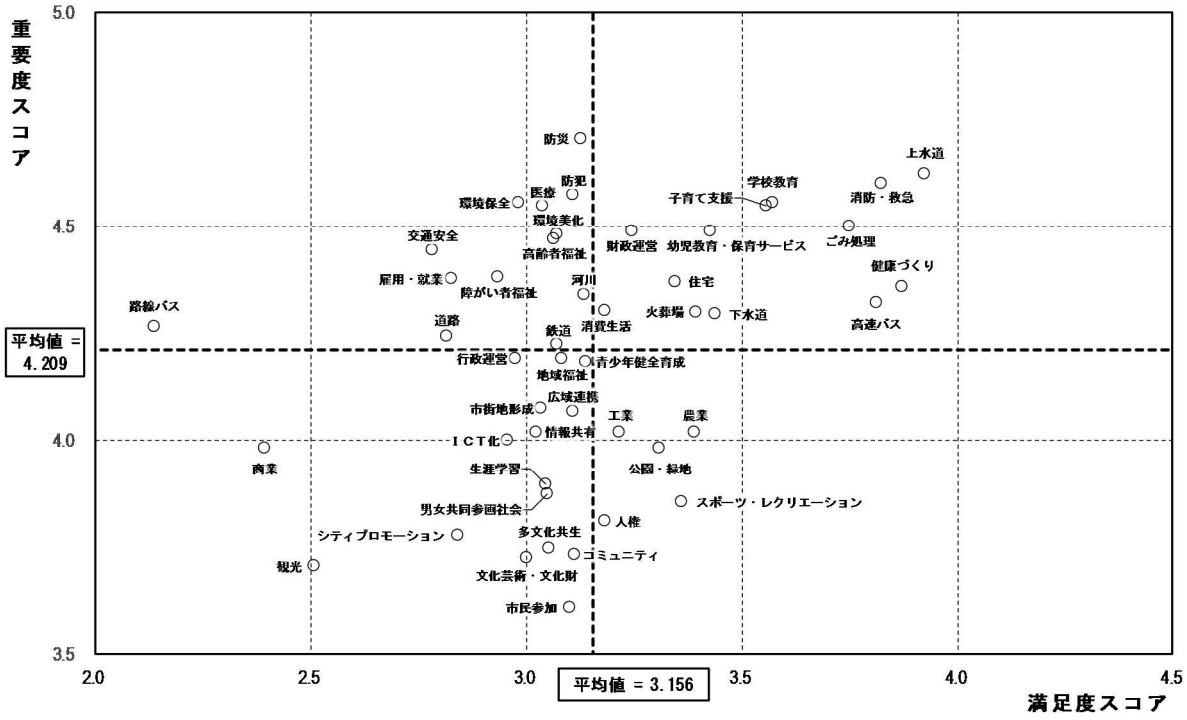
図表 71　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：４０歳台】



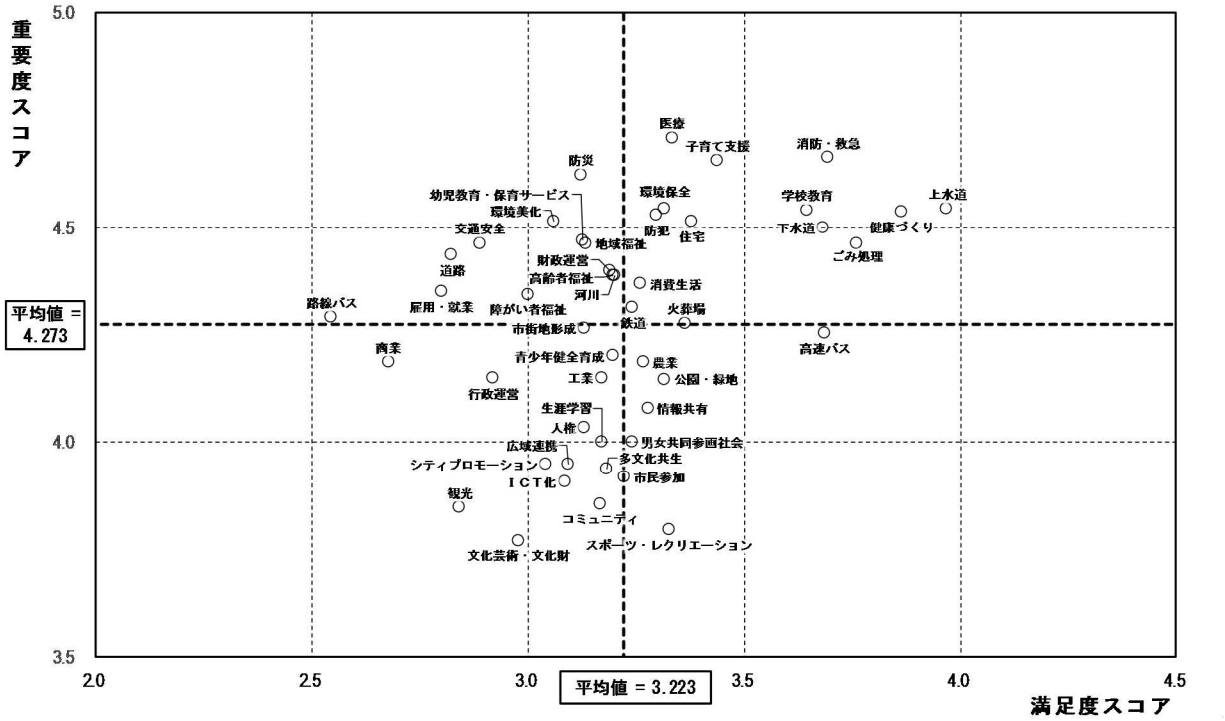
図表 72　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：５０歳台】



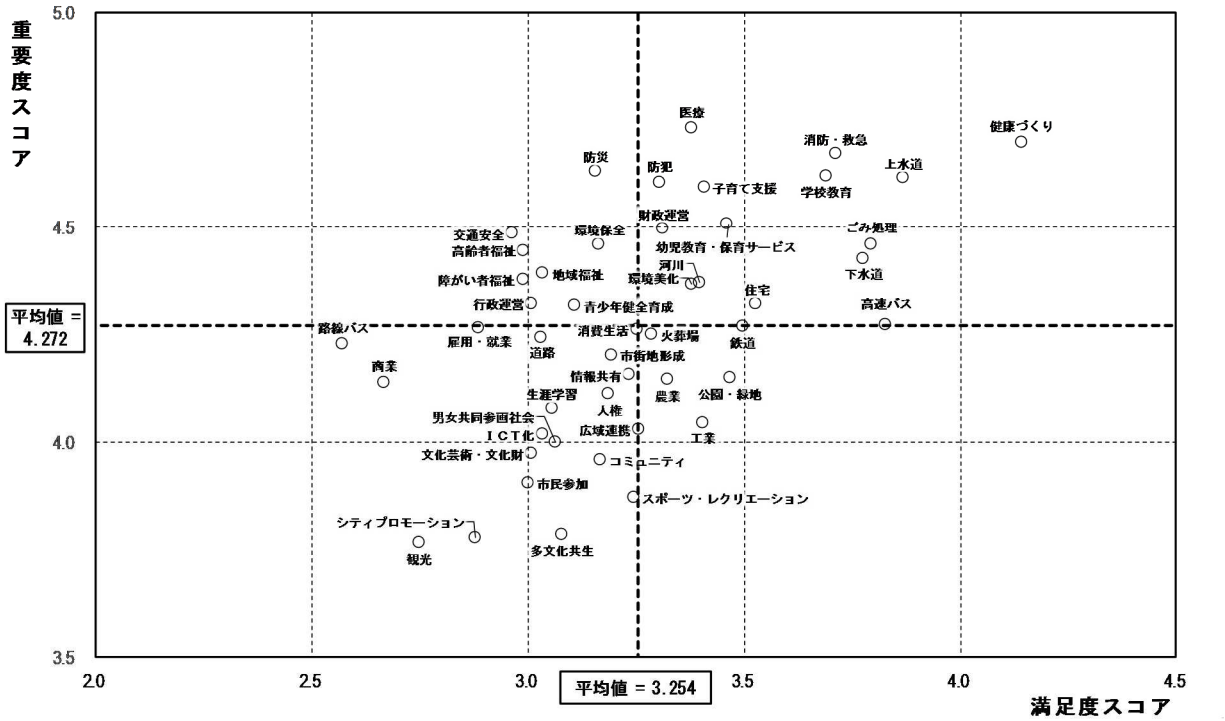
図表 73　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：６０～６４歳】



図表 74　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：６５～６９歳】



図表 75　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【年齢：７０歳以上】

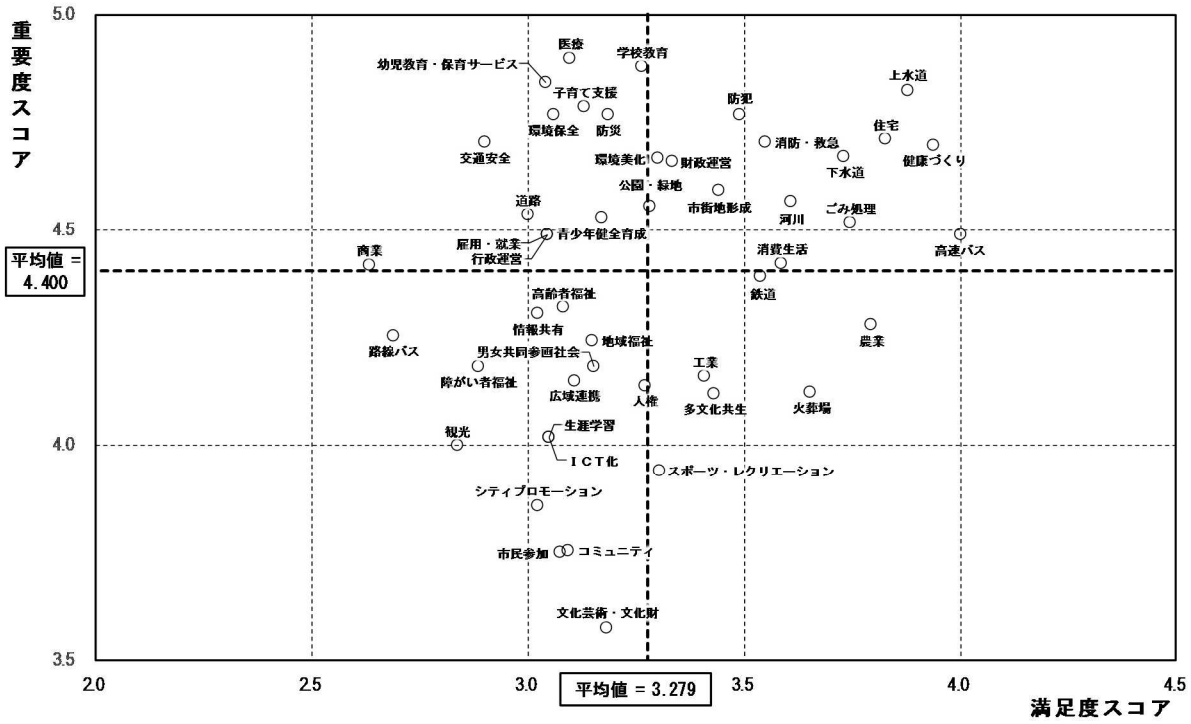


２．４．２．３ 就学状況

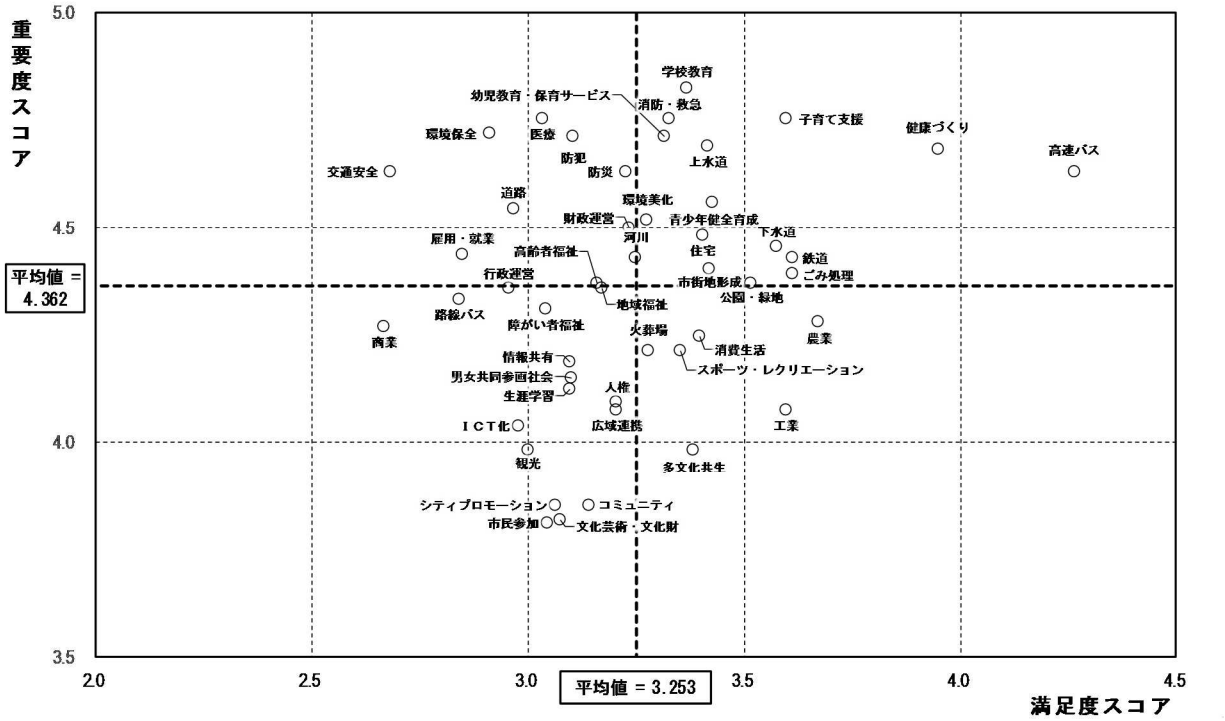
「ニーズが高い項目」としては、就学状況を問わず、全体と同様に「交通安全」がみられ、全体での「満足度スコア」は高めではあるが「環境保全」が加わる。

次いで、「高校生、専門学校・短大・大学（大学院）生」を除く「道路」、「小学校入学前、小学生、その他」を除く「雇用・就業」などがみられる。

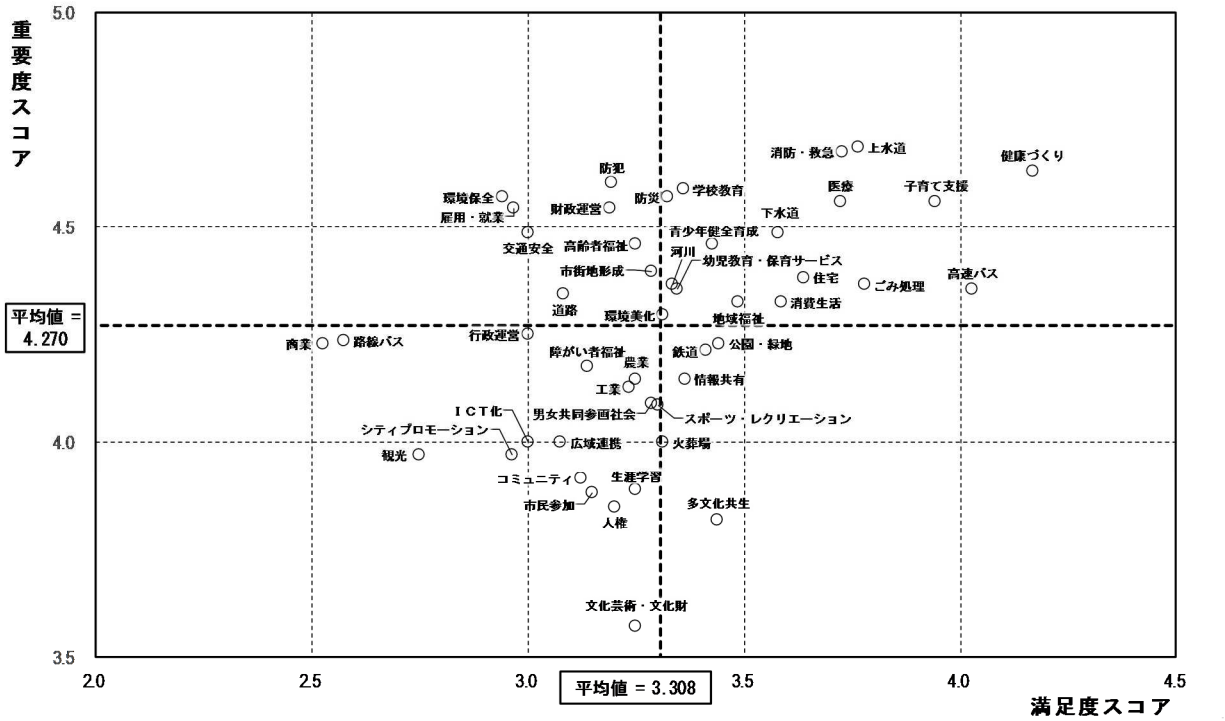
図表 76　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【就学状況：小学校入学前】



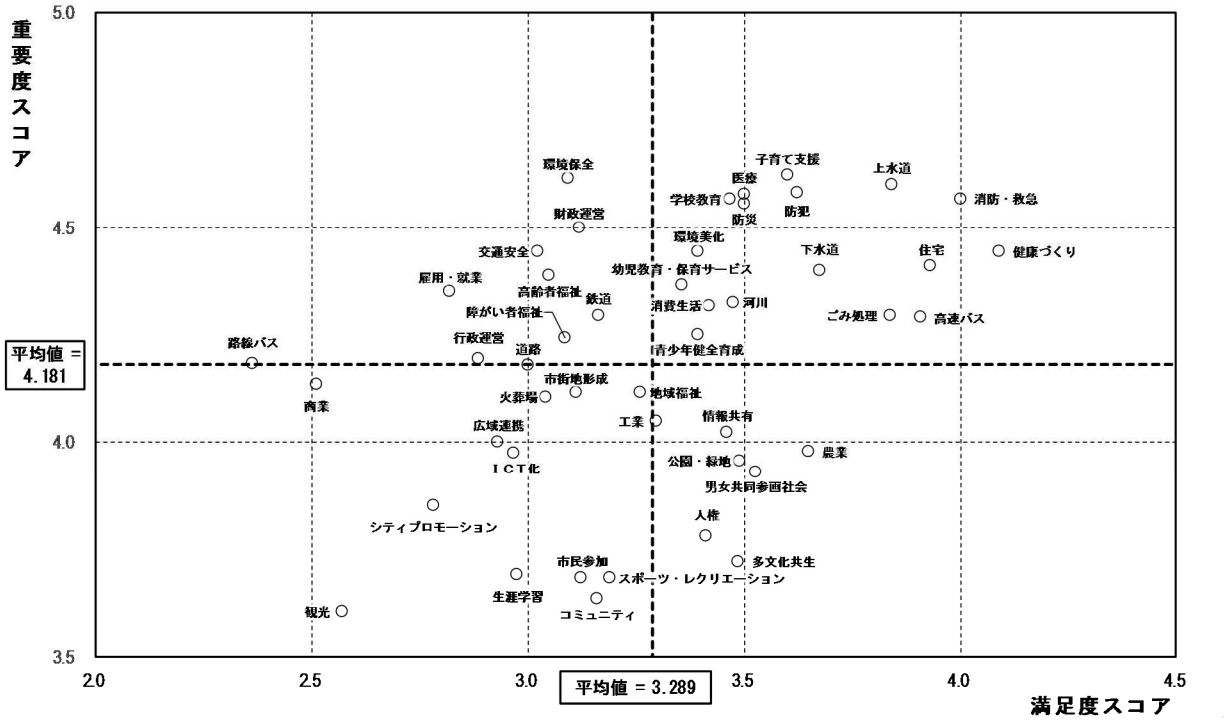
図表 77　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【就学状況：小学生】



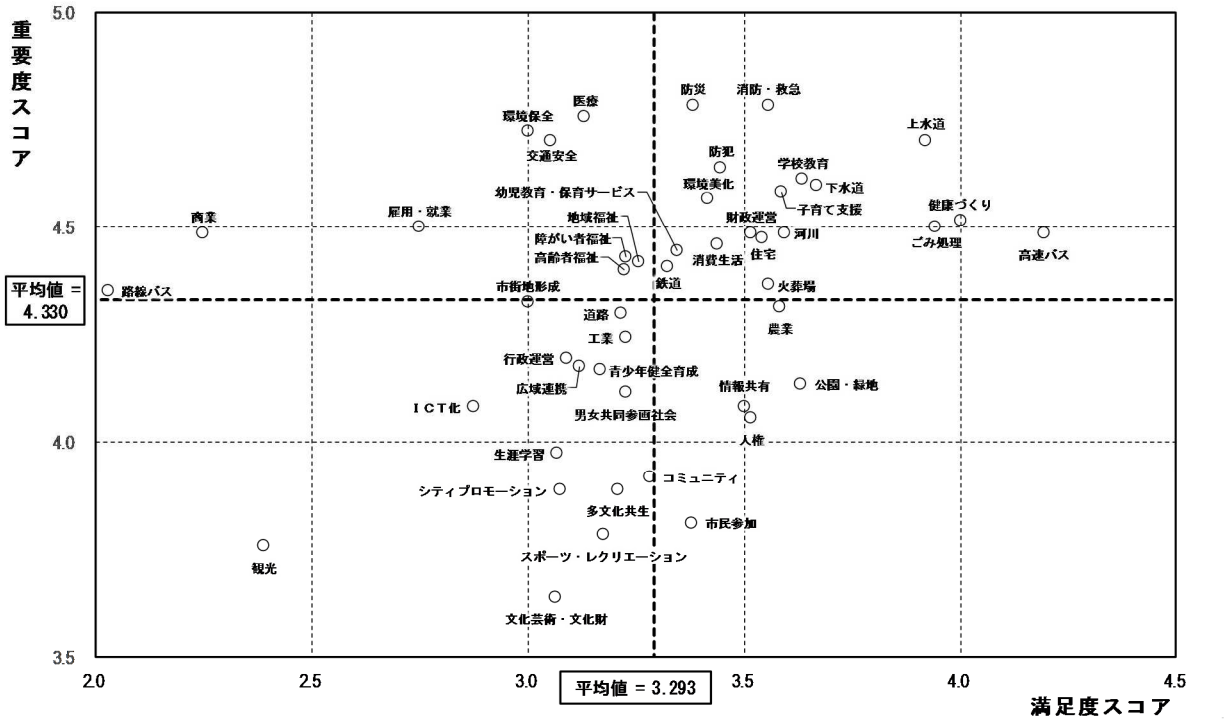
図表 78　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【就学状況：中学生】



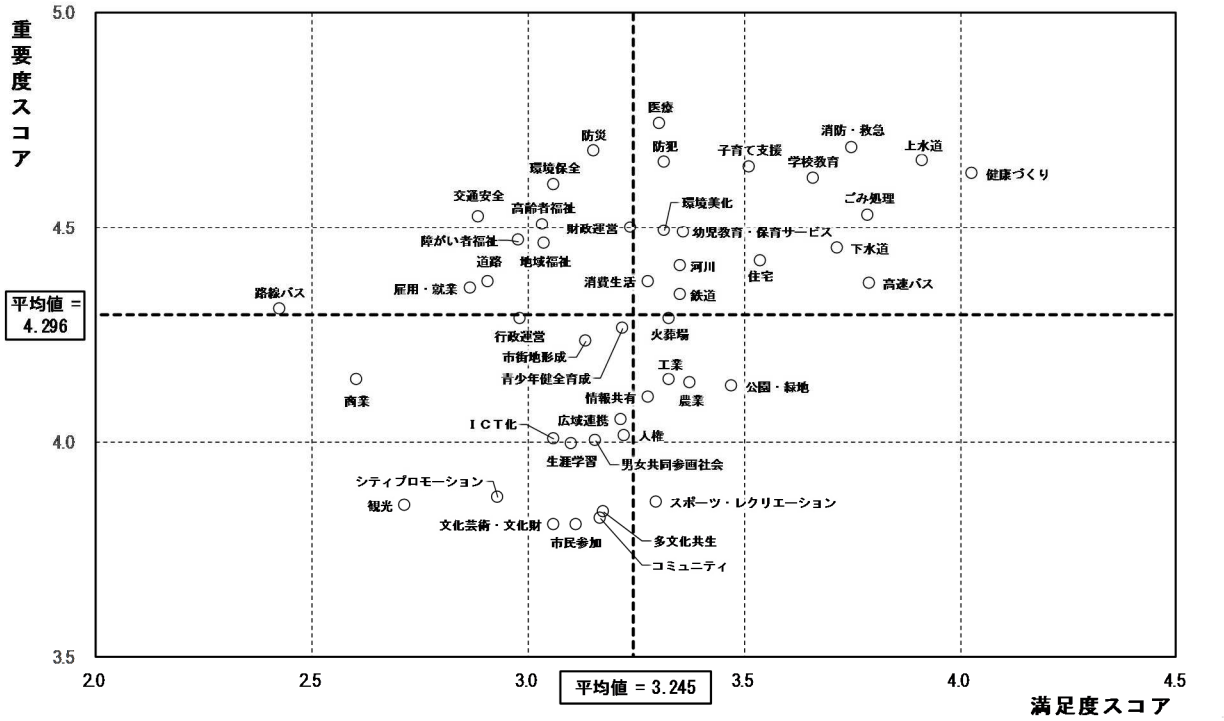
図表 79　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【就学状況：高校生】



図表 80　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【就学状況：専門学校・短大・大学（大学院）生】



図表 81　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【就学状況：その他】



※ 「その他」には、学校教育を修了している子どもを含む。

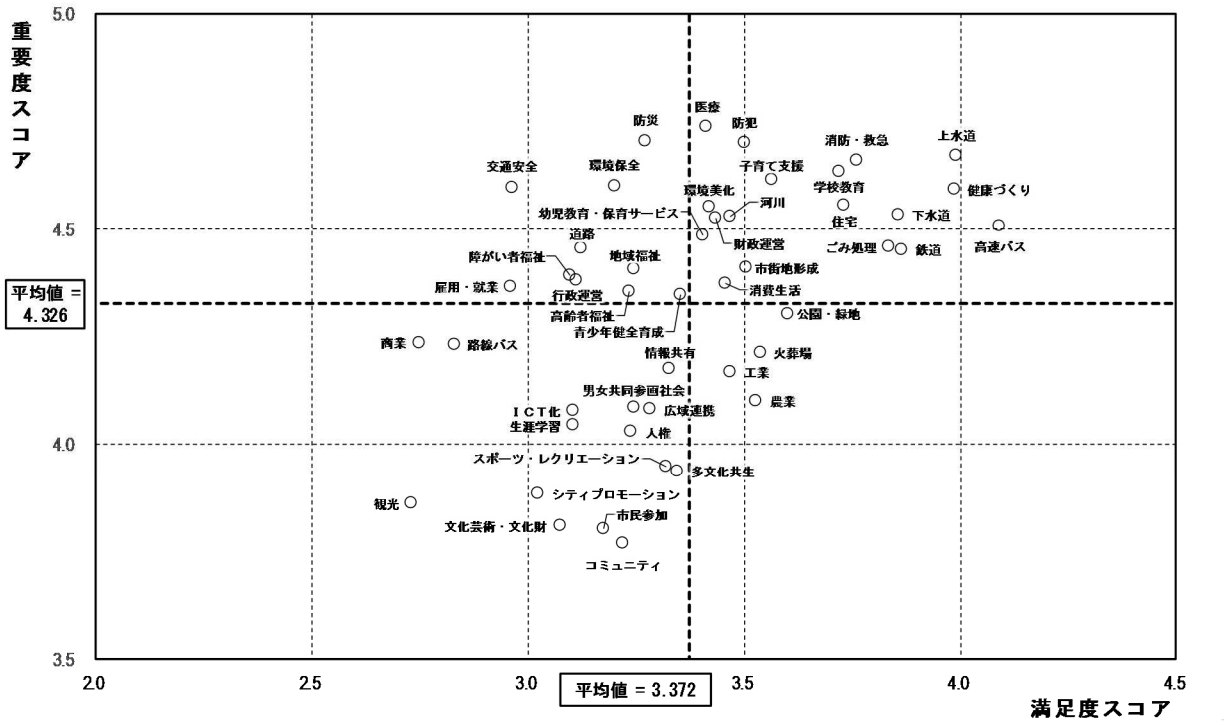
２．４．２．４ 居住地区

「ニーズが高い項目」としては、地区を問わず、全体と同様に「交通安全」がみられる。さらに、「昭和地区、長浦地区」は「道路」、「根形地区」は「鉄道」が加わる。

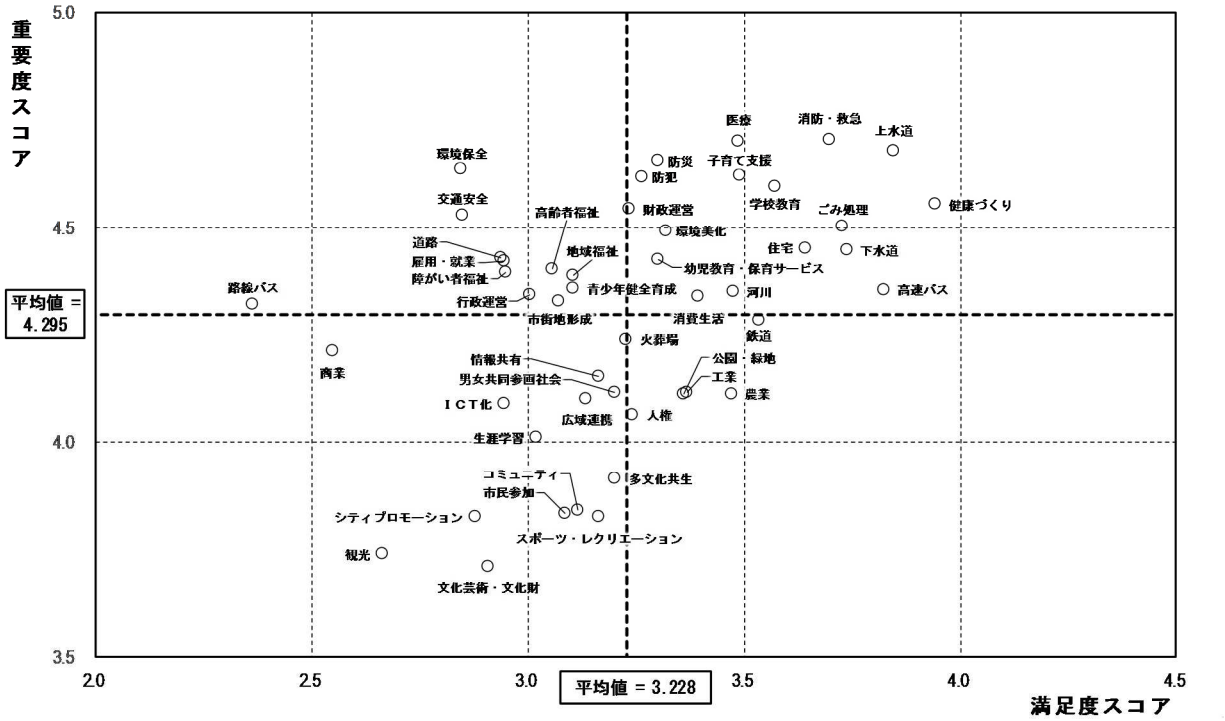
「鉄道」については、ＪＲ内房線の駅がある「昭和地区、長浦地区」を除き「満足度スコア」はとても低い。

また、「昭和地区、長浦地区」は「環境保全」、「長浦地区、根形地区、平岡地区、富岡地区」は「高齢者福祉」、「長浦地区、根形地区、富岡地区」は「雇用・就業」、「長浦地区、富岡地区」は「障がい者福祉」、「中川地区、富岡地区」は「医療」などがみられる。

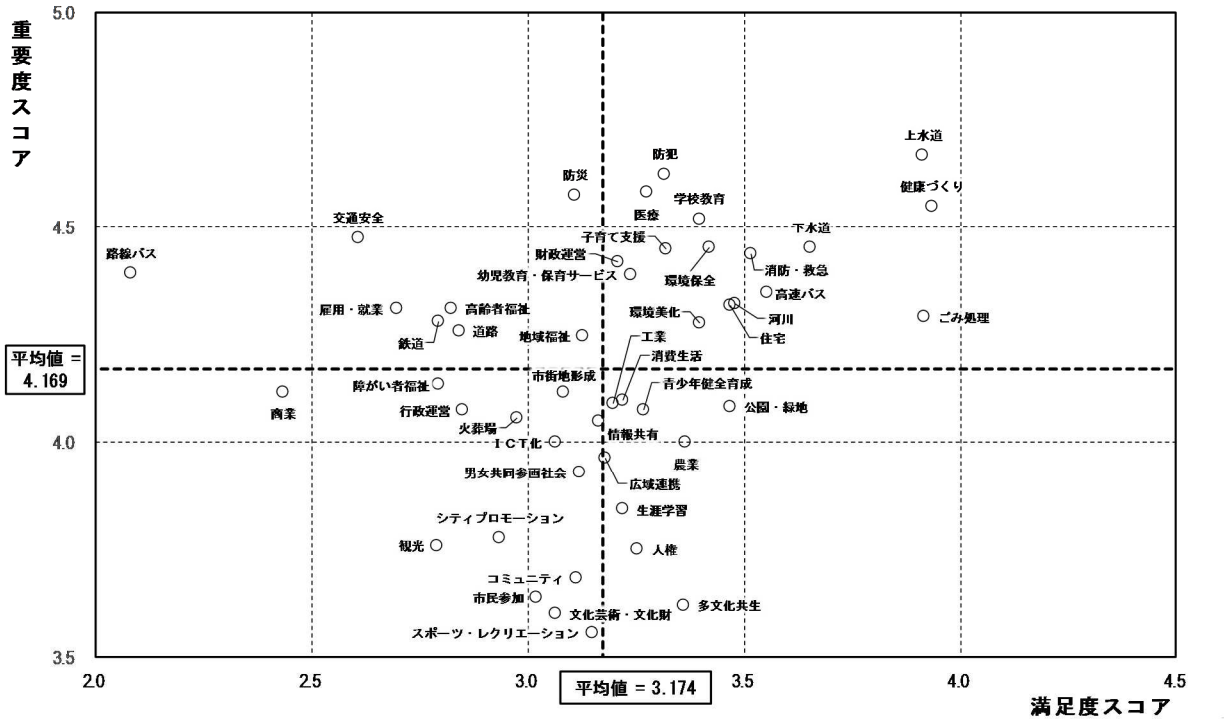
図表 82　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【居住地区：昭和地区】



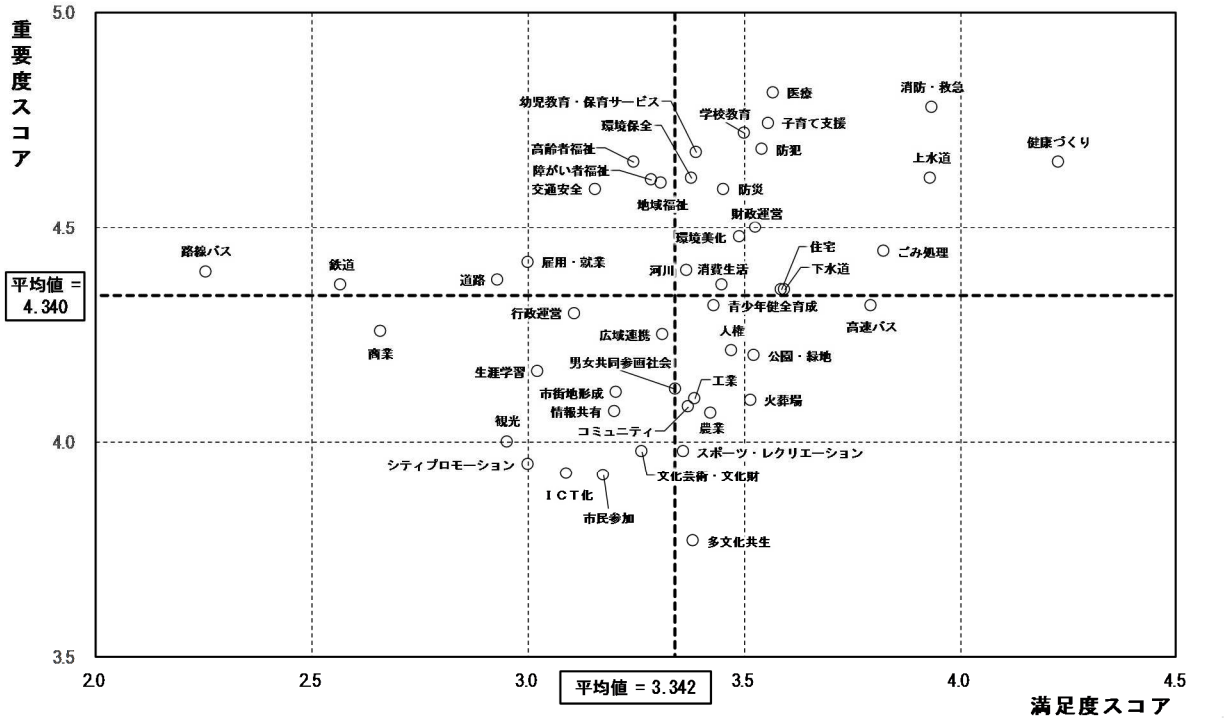
図表 83　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【居住地区：長浦地区】



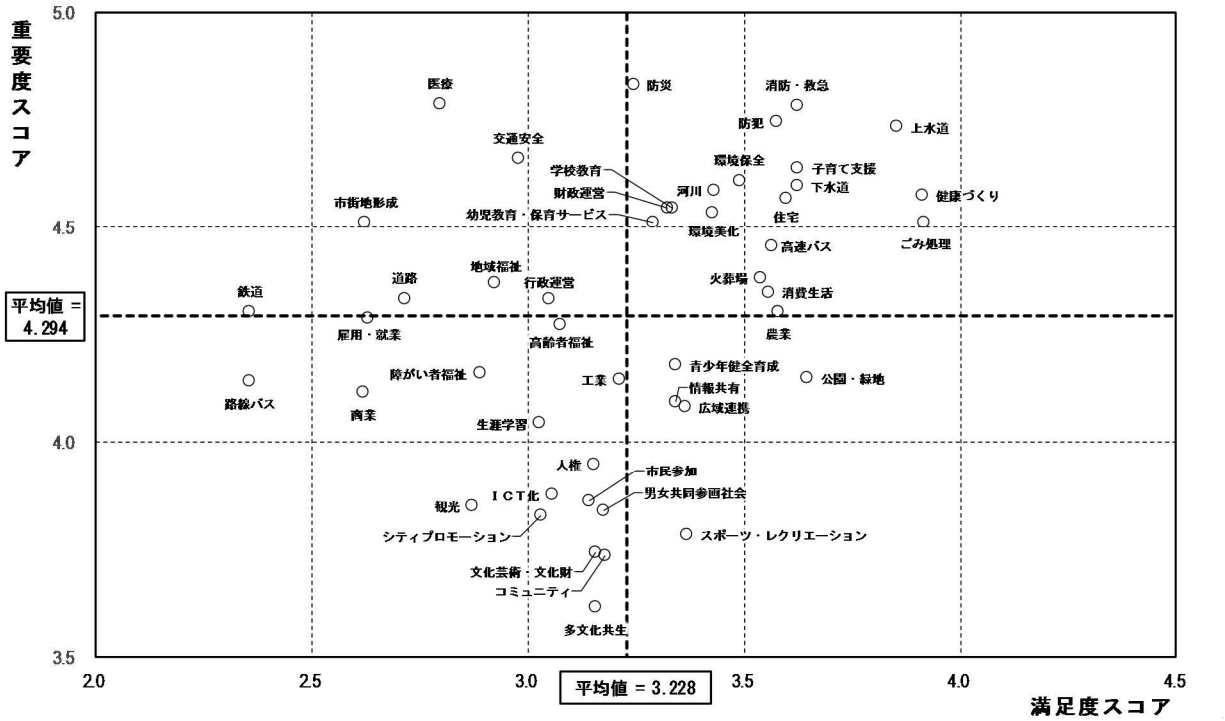
図表 84　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【居住地区：根形地区】



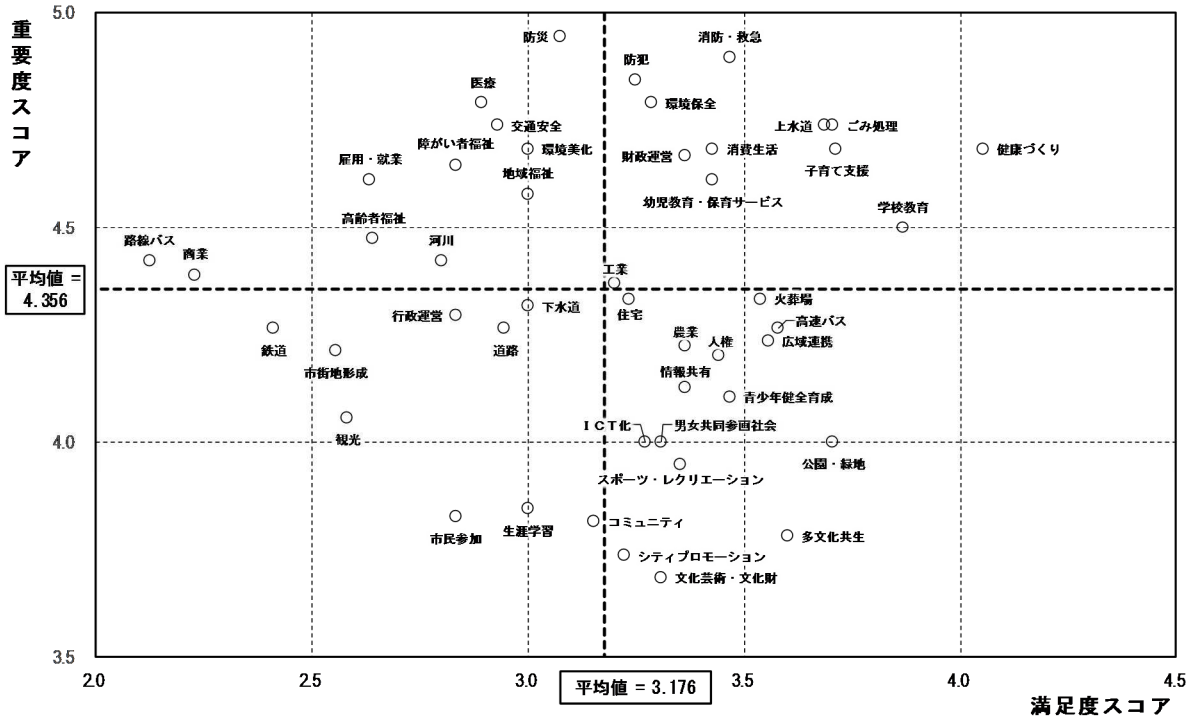
図表 85　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【居住地区：平岡地区】



図表 86　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【居住地区：中川地区】



図表 87　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【居住地区：富岡地区】



２．４．３ 満足度と重要度のクロス分析（項目別・属性別）

２．４．３．１ 年齢

ここでは、年齢別に満足度と重要度について、全体でのニーズ度の高かった項目や年齢別に特徴がみられた代表的な項目を散布図にした。図中の平均値は、散布図にプロットした各スコアの算術平均を示す。

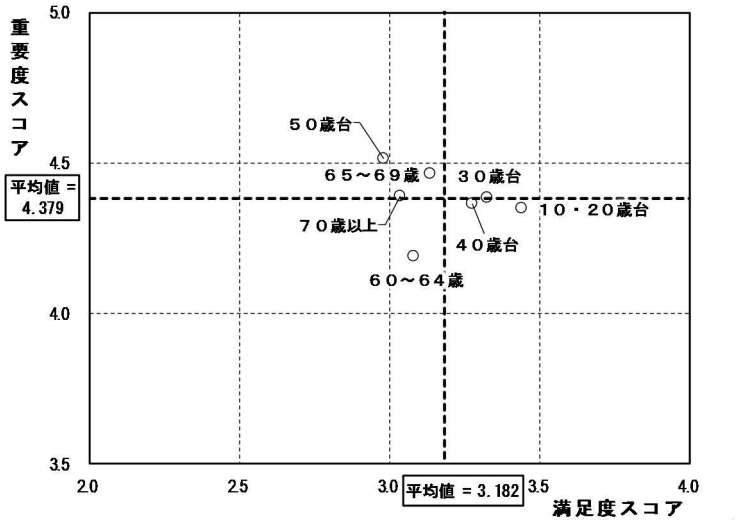
なお、資料編には全項目・全属性の集計表を掲載している。

１）地域福祉【10】

ニーズが高いのは「５０歳台」である。

満足度スコアは「４０歳台」を含め若い年代が平均を上回っている。

図表 88 散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「地域福祉」×年齢】

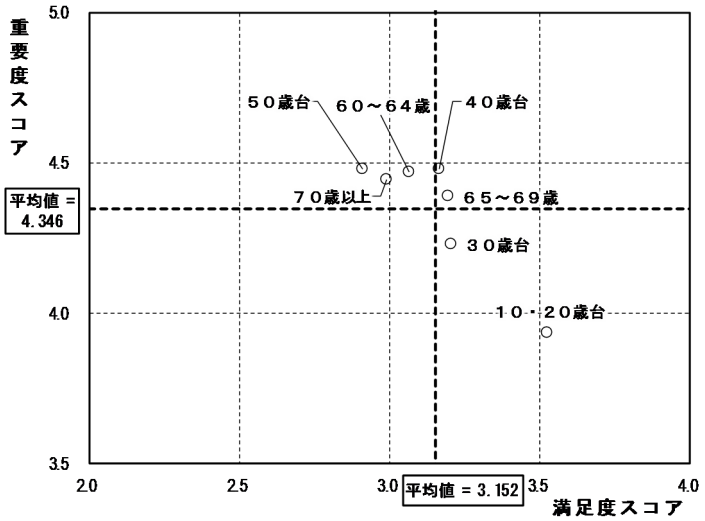


2）高齢者福祉【11】

ニーズが高いのは「５０歳台」、「７０歳以上」である。

満足度スコアは「１０・２０歳台」が高く、重要度スコアは「１０・２０歳台」、「３０歳台」が平均を下回っている。

図表 89　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「高齢者福祉」×年齢】

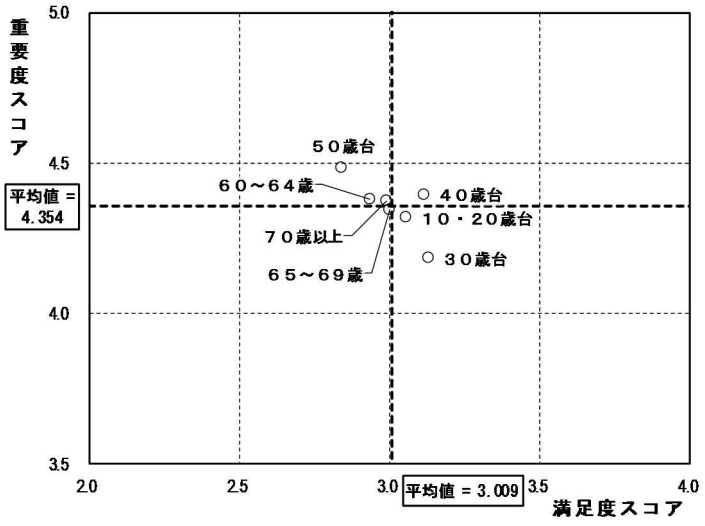


3）障がい者福祉【12】

ニーズが高いのは「５０歳台」である。

満足度スコアは「４０歳台」を含め若い年代が平均を上回っている。重要度スコアは「５０歳台」が最も高く、「３０歳台」が最も低い。

図表 90　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「障がい者福祉」×年齢】



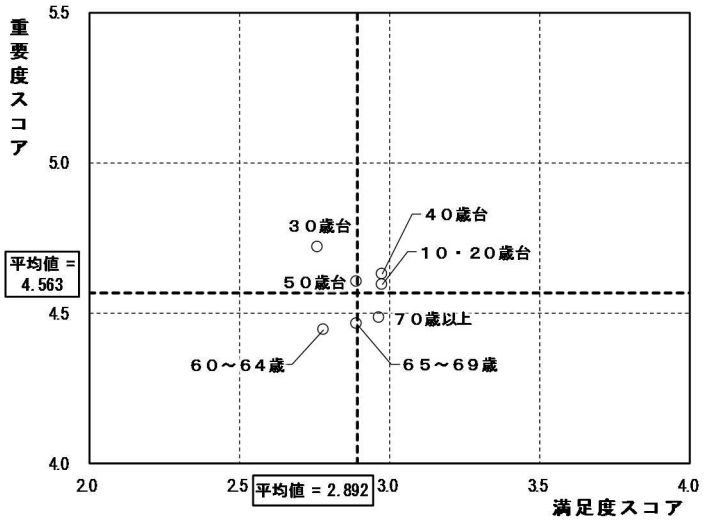
４）交通安全【15】

ニーズ度が全体で２位となった項目。

ニーズが高いのは「３０歳台」である。

重要度スコアは「１０・２０歳台」から「５０歳台」までが平均を上回っている。

図表 91　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「交通安全」×年齢】



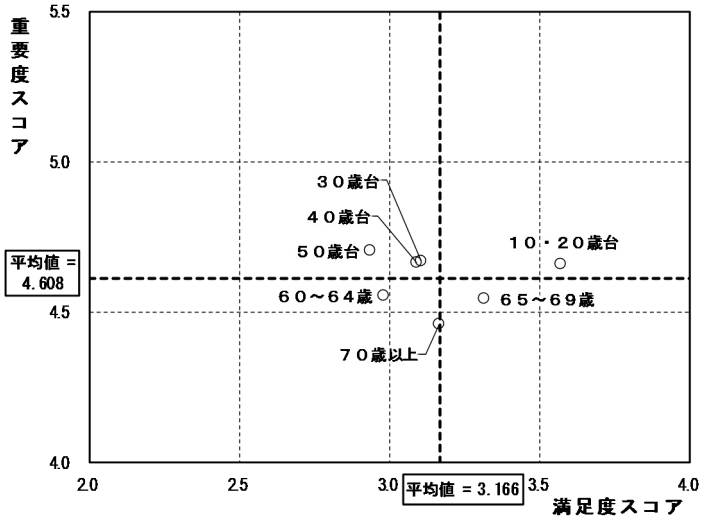
５）環境保全【18】

ニーズ度が全体で４位となった項目。

ニーズが高いのは「５０歳台」である。

満足度スコアは「１０・２０歳台」、「６５～６９歳」が平均を上回っている。重要度スコアは「１０・２０歳台」から「５０歳台」までが平均を上回っている。

図表 92　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「環境保全」×年齢】

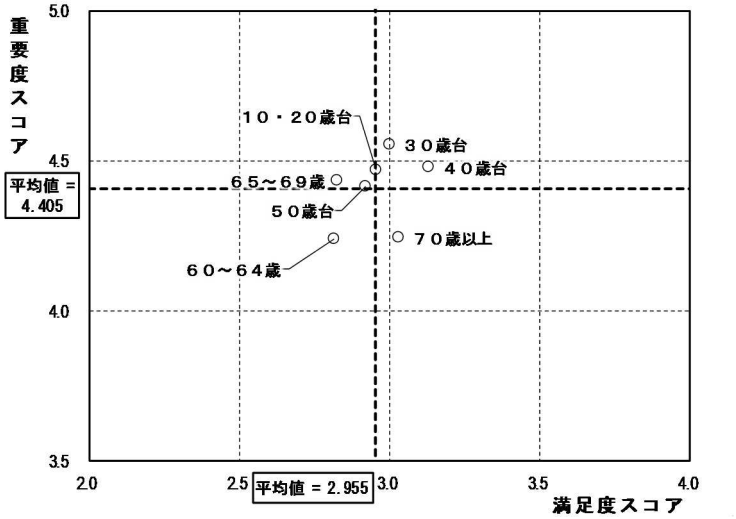


６）道路【23】

ニーズが目立って高いものはない。

重要度スコアは若い年代が高い傾向にある。

図表 93　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「道路」×年齢】



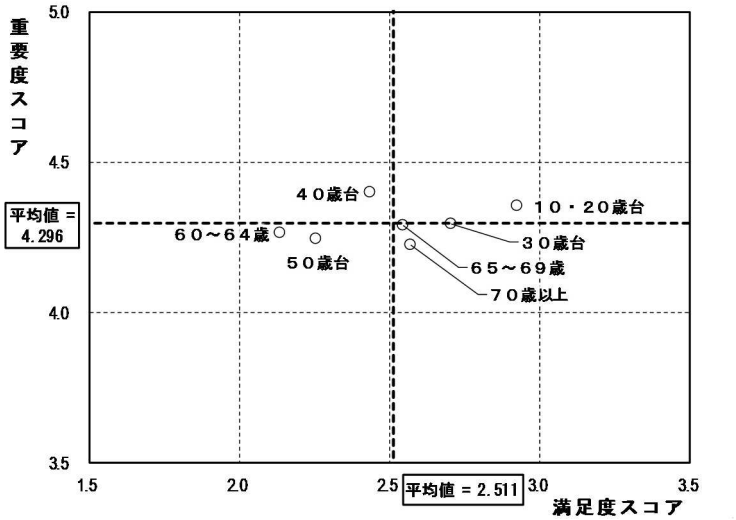
７）路線バス【29】

ニーズ度が全体で１位となった項目。

ニーズが高いのは「４０歳台」であり、満足度スコアが平均を下回り、重要度スコアが平均を上回るのはこの年齢だけである。

満足度スコアは「６０～６４歳」、「５０歳台」、「４０歳台」が平均を下回っている。重要度スコアに年齢に大きな差は見られない。

図表 94　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「路線バス」×年齢】



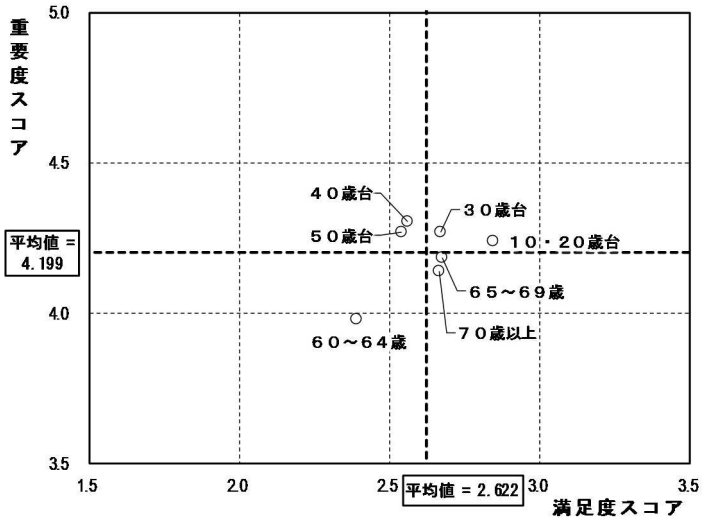
８）商業【31】

ニーズ度が全体で３位となった項目。

ニーズが高いのは「４０歳台」、「５０歳台」であり、満足度スコアが平均を下回り、重要度スコアが平均を上回るのはこの年齢だけである。

満足度スコアは「６０～６４歳」、「５０歳台」、「４０歳台」が平均を下回っている。重要度スコアは「１０・２０歳台」から「５０歳台」までが平均を上回っている。

図表 95　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「商業」×年齢】



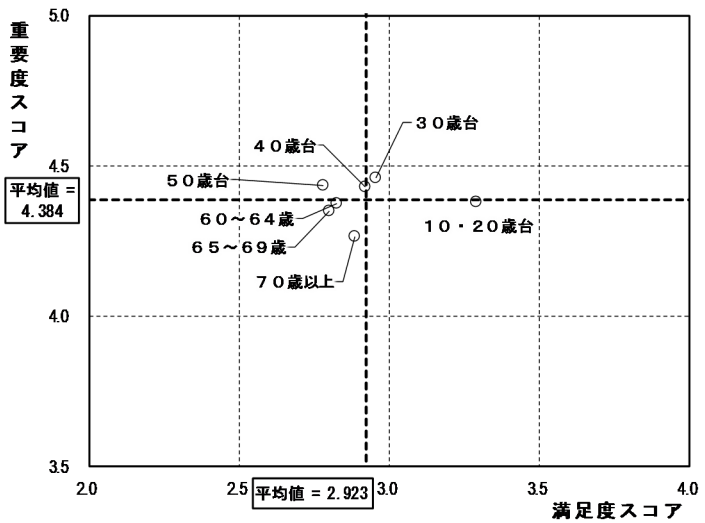
９）雇用・就業【34】

ニーズ度が全体で５位となった項目。

ニーズが高いのは「５０歳台」である。

満足度スコアは「１０・２０歳台」が飛び抜けて高く、重要度スコアは「７０歳以上」が最も低い。他の年齢に大きな差はみられない。

図表 96　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「雇用・就業」×年齢】



２．４．３．２ 居住地区

ここでは、居住地区別に満足度と重要度について、全体でのニーズ度の高かった項目や居住地区別に特徴がみられた代表的な項目を散布図にした。図中の平均値は、散布図にプロットした各スコアの算術平均を示す。

なお、資料編には全項目・全属性の集計表を掲載している。

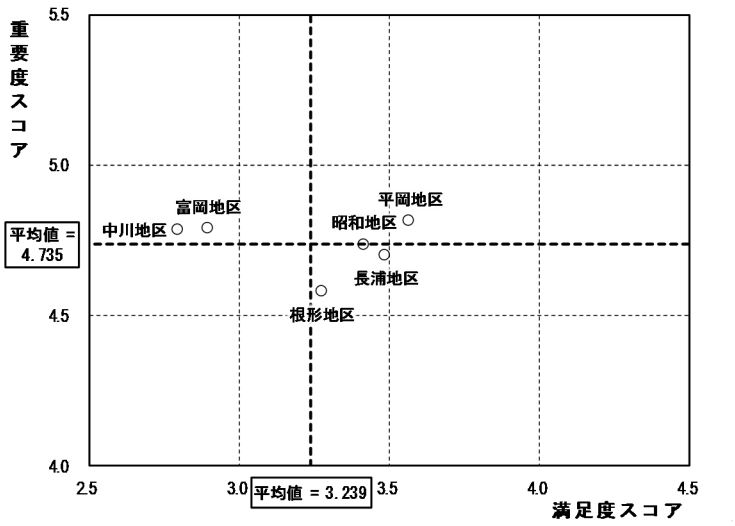
ただし、「富岡地区（n=19)」は他の地区に比べ、サンプル数が少ないことに留意する必要がある。

１）医療【9】

ニーズが目立って高いものはない。

満足度スコアは「中川地区」、「富岡地区」が平均を大きく下回っている。重要スコアは「根形地区」、「長浦地区」が平均を下回っている。

図表 97　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「医療」×居住地区】

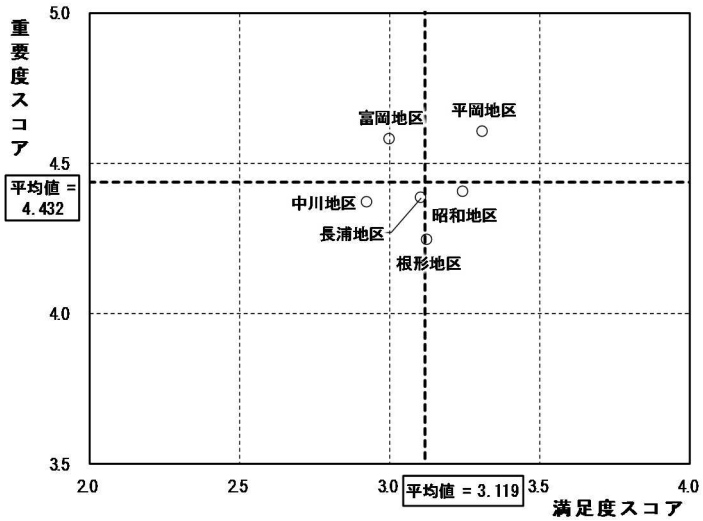


2）地域福祉【10】

ニーズが高いのは「富岡地区」であり、満足度スコアが平均を下回り、重要度スコアが平均を上回るのはこの地区だけである。

満足度スコアは「中川地区」が最も低い。重要度スコアは「平岡地区」、「富岡地区」が平均を上回っている。

図表 98　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「地域福祉」×居住地区】

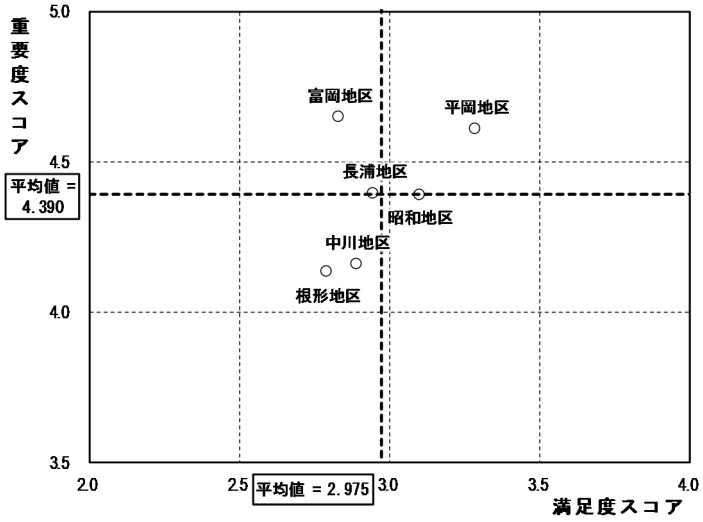


3）障がい者福祉【12】

ニーズが高いのは「富岡地区」である。

満足度スコアは「根形地区」、「富岡地区」が低い。重要度スコアは「富岡地区」、「平岡地区」が高い。

図表 99　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「障がい者福祉」×居住地区】



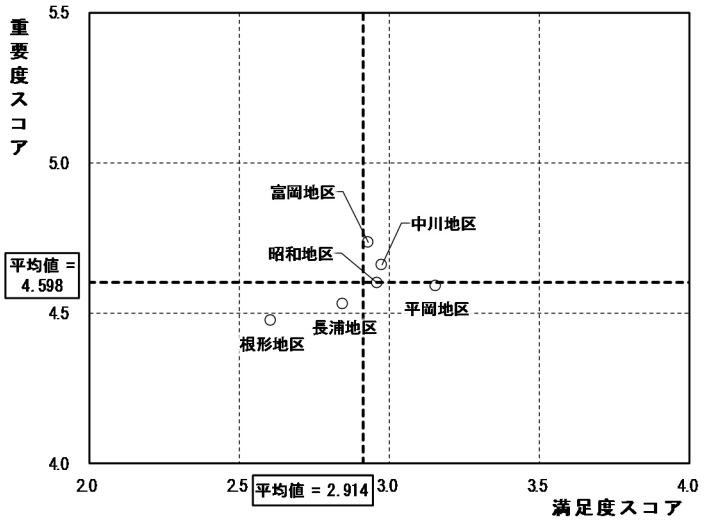
4）交通安全【15】

ニーズ度が全体で２位となった項目。

ニーズが目立って高いものはない。

満足度スコアは「平岡地区」が最も高く、「根形地区」が最も低い。

図表 100　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「交通安全」×居住地区】



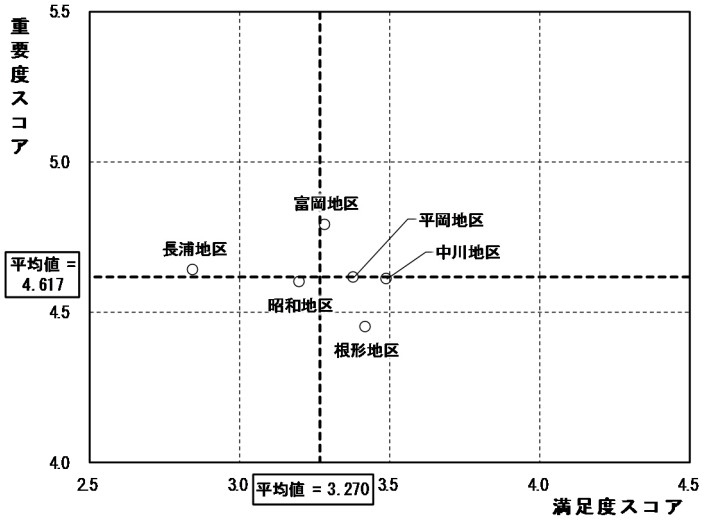
5）環境保全【18】

ニーズ度が全体で４位となった項目。

ニーズが目立って高いものはない。

満足度スコアは「長浦地区」、「昭和地区」が平均を下回っている。重要度スコアは「富岡地区」が最も高く、「根形地区」が最も低い。

図表 101　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「環境保全」×居住地区】

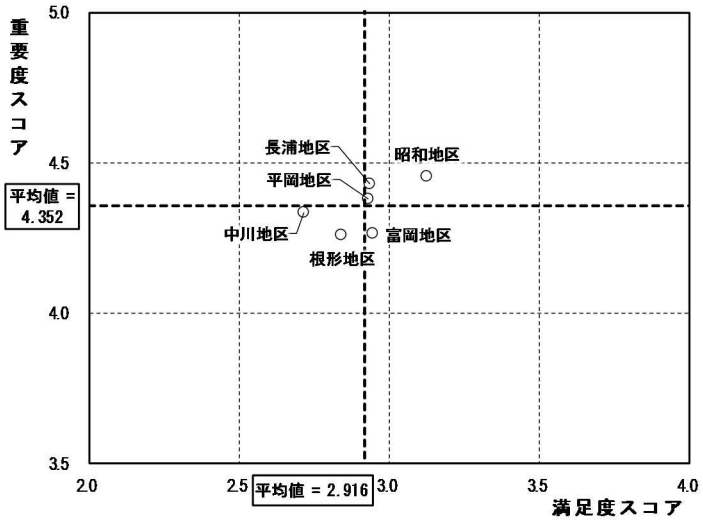


６）道路【23】

ニーズが目立って高いものはなく、満足度スコアが平均を下回り、重要度スコアが平均を上回るものはない。

満足度スコアは「昭和地区」が最も高く、「中川地区」が最も低い。

図表 102　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「道路」×居住地区】



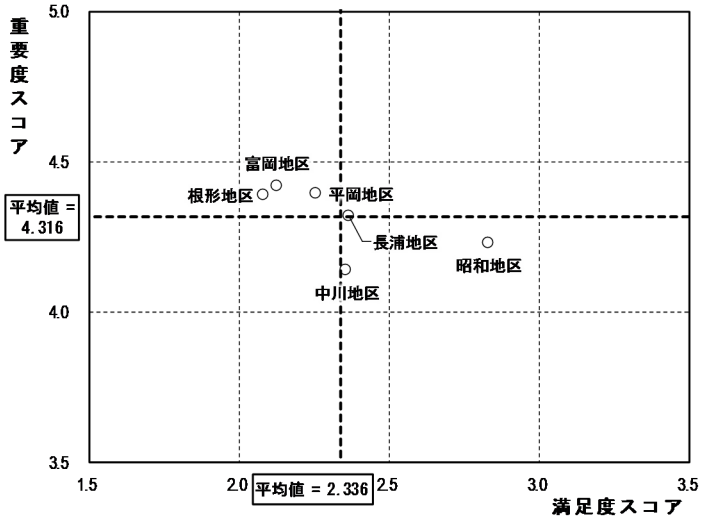
７）路線バス【29】

ニーズ度が全体で１位となった項目。

ニーズが高いのは「根形地区」、「富岡地区」である。

満足度スコアは「昭和地区」が最も高く、「根形地区」、「富岡地区」、「平岡地区」が平均を下回っている。重要度スコアは「中川地区」が最も低い。

図表 103　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「路線バス」×居住地区】



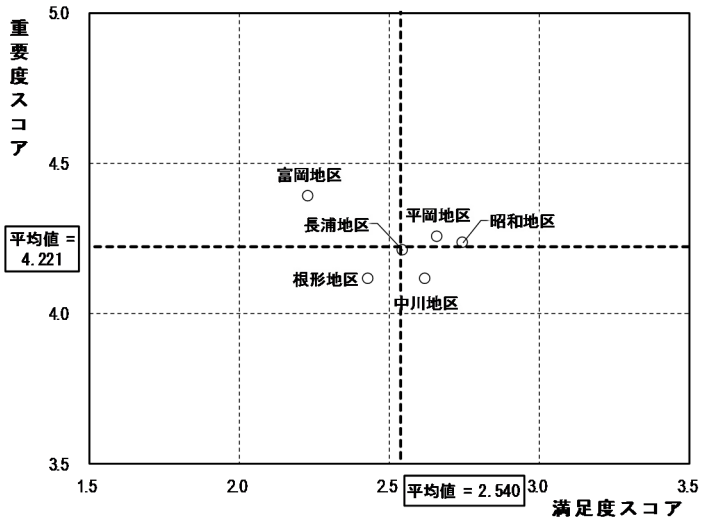
８）商業【31】

ニーズ度が全体で３位となった項目。

ニーズが高いのは「富岡地区」であり、満足度スコアが平均を下回り、重要度スコアが平均を上回るのはこの地区だけである。

満足度スコアは「富岡地区」、「根形地区」が平均を下回っている。

図表 104　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「商業」×居住地区】

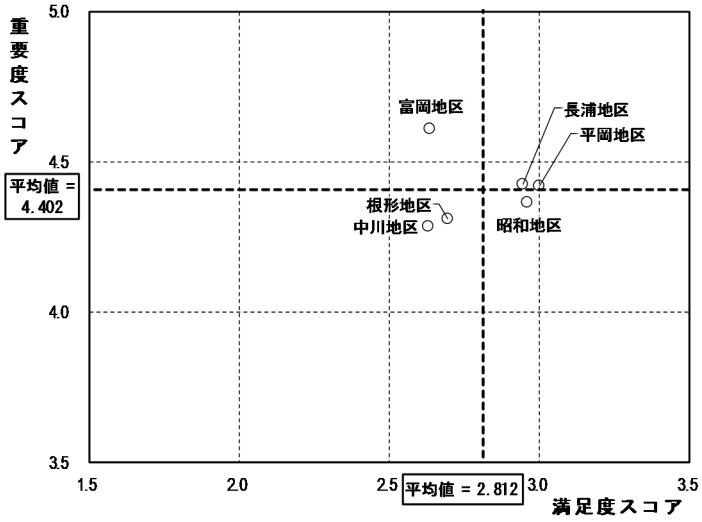


９）雇用・就業【34】

ニーズ度が全体で５位となった項目。

ニーズが高いのは「富岡地区」であり、満足度スコアが平均を下回り、重要度スコアが平均を上回るのはこの地区だけである。

図表 105　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「雇用・就業」×居住地区】



3．前回調査（令和3年度）との比較

3．1 回答者属性

各年度の回答者の属性は下表のとおりであり、前回調査（令和3年度）と比較可能な項目・選択肢で、無回答を除き構成比の差が+5ポイントを上回るのは「⑦居住地区：昭和地区（+5.4ポイント）」、-5ポイントを下回るのは「⑥子どもの就学状況：小学校入学前（-5.2ポイント）」がある。

図表 106　回答者の属性（１／２）

①性別

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
男性	268	40.9	631	41.1	-0.2
女性	357	54.5	869	56.5	-2.0
答えない ※R03に無い区分	21	3.2	－	－	－
（無回答）	9	1.4	37	2.4	-1.0
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

②年齢

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
１０・２０歳台	47	7.2	147	9.6	-2.4
３０歳台	92	14.0	204	13.3	0.7
４０歳台	117	17.9	286	18.6	-0.7
５０歳台	131	20.0	273	17.8	2.2
６０～６４歳	57	8.7	146	9.5	-0.8
６５～６９歳	69	10.5	178	11.6	-1.1
７０歳以上	133	20.3	267	17.4	2.9
（無回答）	9	1.4	36	2.3	-0.9
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

③職業

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
自営業主	31	4.7	81	5.3	-0.6
家族従業者	12	1.8	26	1.7	0.1
会社・団体役員	113	17.3	234	15.2	2.1
給与所得者	154	23.5	363	23.6	-0.1
アルバイト・パートタイム	121	18.5	264	17.2	1.3
学生	18	2.7	46	3.0	-0.3
専業主婦・主夫	97	14.8	288	18.7	-3.9
その他	8	1.2	12	0.8	0.4
無職	90	13.7	183	11.9	1.8
（無回答）	11	1.7	40	2.6	-0.9
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

④世帯人数

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
１人	56	8.5	120	7.8	0.7
２人	208	31.8	479	31.2	0.6
３人	173	26.4	390	25.4	1.0
４人	135	20.6	343	22.3	-1.7
５人以上	73	11.1	170	11.1	0.0
（無回答）	10	1.5	35	2.3	-0.8
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

⑤子どもの数

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
１人	100	15.3	224	14.6	0.7
２人	260	39.7	585	38.1	1.6
３人	105	16.0	226	14.7	1.3
４人	10	1.5	34	2.2	-0.7
５人以上	2	0.3	18	1.2	-0.9
子どもはいない	166	25.3	410	26.7	-1.4
（無回答）	12	1.8	40	2.6	-0.8
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

図表 107　回答者の属性（２／２）

⑥子どもの就学状況

【複数回答】
（⑤の回答で、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択）

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
小学校入学前	53	11.1	177	16.3	-5.2
小学生	58	12.2	163	15.0	-2.8
中学生	36	7.5	86	7.9	-0.4
高校生	45	9.4	98	9.0	0.4
専門学校・短大・大学（大学院）生	38	8.0	90	8.3	-0.3
その他	285	59.7	675	62.1	-2.4
（無回答）	11	2.3	17	1.6	0.7
回答者数	477	－	1,087	－	－

⑦居住地区

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
昭和地区	226	34.5	447	29.1	5.4
長浦地区	237	36.2	580	37.7	-1.5
根形地区	63	9.6	129	8.4	1.2
平岡地区	47	7.2	134	8.7	-1.5
中川地区	49	7.5	99	6.4	1.1
富岡地区	19	2.9	30	2.0	0.9
（無回答）	14	2.1	118	7.7	-5.6
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

⑧居住年数

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
３年未満	30	4.6	96	6.2	-1.6
３年以上５年未満	28	4.3	67	4.4	-0.1
５年以上１０年未満	53	8.1	104	6.8	1.3
１０年以上２０年未満	100	15.3	207	13.5	1.8
２０年以上	432	66.0	951	61.9	4.1
（無回答）	12	1.8	112	7.3	-5.5
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

⑨前住居

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
生まれたときから現在のところ	95	14.5	211	13.7	0.8
袖ケ浦市内の別のところ	119	18.2	258	16.8	1.4
袖ケ浦市以外の千葉県内	305	46.6	677	44.0	2.6
東京都内	43	6.6	74	4.8	1.8
神奈川県内	30	4.6	79	5.1	-0.5
その他	46	7.0	112	7.3	-0.3
（無回答）	17	2.6	126	8.2	-5.6
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

⑩通勤、通学場所

	令和6年度(R06)		令和3年度(R03)		構成比の差
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	(R06－R03)
袖ケ浦市内	175	26.7	337	21.9	4.8
木更津市内	84	12.8	164	10.7	2.1
市原市内	64	9.8	165	10.7	-0.9
君津市内	12	1.8	40	2.6	-0.8
千葉市内	35	5.3	92	6.0	-0.7
１～５以外の千葉県内	26	4.0	40	2.6	1.4
東京都内	34	5.2	83	5.4	-0.2
神奈川県内	8	1.2	10	0.7	0.5
その他	7	1.1	25	1.6	-0.5
通勤、通学はしていない	185	28.2	426	27.7	0.5
（無回答）	25	3.8	155	10.1	-6.3
合計	655	100.0	1,537	100.0	－

３．２ 袖ケ浦市に対する意識

３．２．１ 愛着

前回調査（令和３年度）との比較で、「愛着を感じている」の構成比は、全体（+4.4 ポイント）で多少増えている。

属性別にみて構成比の差が+10 ポイントを上回るのは「年齢：３０歳台（+16.7 ポイント）、７０歳以上（+12.3 ポイント）」、「職業：家族従業者（+21.8 ポイント）」、「居住地区：平岡地区（+25.1 ポイント）」、「居住年数：３年未満（+14.8 ポイント）、３年以上５年未満（+20.1 ポイント）、５年以上１０年未満（+10.4 ポイント）」、-10 ポイントを下回るのは「職業：その他（-33.3 ポイント）」である。

図表 108 「愛着を感じている」の構成比比較

		「愛着を感じている」の構成比（%）			
		令和6年度（R06）	令和3年度（R03）	構成比の差（R06-R03）	増減状況
全体		66.1	61.7	4.4	―
性別	男性	71.6	62.1	9.5	↗
	女性	63.6	62.3	1.3	―
	答えない（※R03に無い区分）	42.9	―	―	◇
年齢	１０・２０歳台	61.7	68.0	-6.3	↘
	３０歳台	69.6	52.9	16.7	↗
	４０歳台	64.1	64.3	-0.2	―
	５０歳台	61.1	65.9	-4.8	―
	６０～６４歳	68.4	61.6	6.8	↗
	６５～６９歳	71.0	66.9	4.1	―
	７０歳以上	69.2	56.9	12.3	↗
職業	自営業主	64.5	69.1	-4.6	―
	家族従業者	83.3	61.5	21.8	↗
	会社・団体役員	65.5	62.8	2.7	―
	給与所得者	72.1	65.3	6.8	↗
	アルバイト・パートタイム	62.8	61.7	1.1	―
	学生	72.2	69.6	2.6	―
	専業主婦・主夫	64.9	59.0	5.9	↗
	その他	25.0	58.3	-33.3	↘
	無職	65.6	55.7	9.9	↗
居住地区	昭和地区	70.4	64.2	6.2	↗
	長浦地区	59.9	64.0	-4.1	―
	根形地区	68.3	62.0	6.3	↗
	平岡地区	76.6	51.5	25.1	↗
	中川地区	67.3	62.6	4.7	―
	富岡地区	63.2	63.3	-0.1	―
居住年数	３年未満	53.3	38.5	14.8	↗
	３年以上５年未満	67.9	47.8	20.1	↗
	５年以上１０年未満	60.4	50.0	10.4	↗
	１０年以上２０年未満	57.0	56.0	1.0	―
	２０年以上	69.9	68.7	1.2	―

※ 【増減状況】構成比の差により分類 ↗：＋5.0%以上 ↘：－5.0%以下

３．２．２ 住みよさ

前回調査（令和３年度）との比較で、「とても住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよさ』の構成比は、全体（+1.1 ポイント）では大きな変化はみられない。

属性別にみて構成比の差が+10 ポイントを上回るのは「職業：家族従業者（+10.8 ポイント）、学生（+19.4 ポイント）」、「居住地区：平岡地区（+17.7 ポイント）」、「居住年数：１０年以上２０年未満（+13.5 ポイント）」、-10 ポイントを下回るのは「職業：その他（-41.6 ポイント）」、「居住地区：富岡地区（-15.4 ポイント）」である。

図表 109 「住みよい」の構成比比較

		「とても住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」の構成比（%）			
		令和6年度（R06）	令和3年度（R03）	構成比の差（R06-R03）	増減状況
全体		78.7	77.6	1.1	―
性別	男性	78.3	78.6	-0.3	―
	女性	80.6	77.1	3.5	―
	答えない（※R03に無い区分）	61.9	―	―	◇
年齢	１０・２０歳台	80.9	74.1	6.8	↗
	３０歳台	80.4	80.4	0.0	―
	４０歳台	84.6	80.4	4.2	―
	５０歳台	76.4	73.3	3.1	―
	６０～６４歳	71.9	76.7	-4.8	―
	６５～６９歳	79.7	78.6	1.1	―
	７０歳以上	77.4	79.4	-2.0	―
職業	自営業主	83.9	79.0	4.9	―
	家族従業者	91.6	80.8	10.8	↗
	会社・団体役員	74.4	78.6	-4.2	―
	給与所得者	83.1	78.2	4.9	―
	アルバイト・パートタイム	81.8	77.6	4.2	―
	学生	88.9	69.5	19.4	↗
	専業主婦・主夫	77.3	79.1	-1.8	―
	その他	50.0	91.6	-41.6	↘
	無職	73.4	73.2	0.2	―
居住地区	昭和地区	85.9	83.7	2.2	―
	長浦地区	77.7	78.6	-0.9	―
	根形地区	71.5	77.5	-6.0	↘
	平岡地区	74.4	56.7	17.7	↗
	中川地区	77.5	73.8	3.7	―
	富岡地区	57.9	73.3	-15.4	↘
居住年数	３年未満	80.0	75.0	5.0	↗
	３年以上５年未満	75.0	83.6	-8.6	↘
	５年以上１０年未満	77.4	79.8	-2.4	―
	１０年以上２０年未満	86.0	72.5	13.5	↗
	２０年以上	77.7	78.1	-0.4	―

※ 【増減状況】構成比の差により分類 ↗：＋5.0%以上 ↘：－5.0%以下

３．２．３ 居住意向

前回調査（令和３年度）との比較で、「これからもずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』の構成比は、全体（+1.4 ポイント）では大きな変化はみられない。

属性別にみて構成比の差が+10 ポイントを上回るのは「居住地区：平岡地区（+20.4 ポイント）」、-10 ポイントを下回るのは「居住年数：５年以上１０年未満（-10.1 ポイント）」である。

図表 110 「住み続けたい」の構成比比較

		「これからもずっと住み続けたい」＋「当分は住み続けたい」の構成比（%）			
		令和6年度（R06）	令和3年度（R03）	構成比の差（R06-R03）	増減状況
全体		80.6	79.2	1.4	―
性別	男性	84.3	81.2	3.1	―
	女性	80.1	78.5	1.6	―
	答えない（※R03に無い区分）	52.4	―	―	◇
年齢	１０・２０歳台	70.2	61.3	8.9	↗
	３０歳台	81.5	78.9	2.6	―
	４０歳台	81.2	83.5	-2.3	―
	５０歳台	78.6	78.7	-0.1	―
	６０～６４歳	86.0	79.5	6.5	↗
	６５～６９歳	84.1	82.6	1.5	―
	７０歳以上	82.7	84.6	-1.9	―
職業	自営業主	80.7	86.5	-5.8	↘
	家族従業者	91.7	84.6	7.1	↗
	会社・団体役員	81.4	78.2	3.2	―
	給与所得者	81.9	80.8	1.1	―
	アルバイト・パートタイム	83.5	81.1	2.4	―
	学生	66.7	58.7	8.0	↗
	専業主婦・主夫	80.4	82.3	-1.9	―
	その他	75.0	83.4	-8.4	↘
	無職	80.0	73.2	6.8	↗
居住地区	昭和地区	85.0	86.2	-1.2	―
	長浦地区	80.6	79.3	1.3	―
	根形地区	76.2	79.1	-2.9	―
	平岡地区	83.0	62.6	20.4	↗
	中川地区	73.5	79.8	-6.3	↘
	富岡地区	68.4	73.3	-4.9	―
居住年数	３年未満	76.7	76.1	0.6	―
	３年以上５年未満	71.4	80.6	-9.2	↘
	５年以上１０年未満	73.6	83.7	-10.1	↘
	１０年以上２０年未満	79.0	73.5	5.5	↗
	２０年以上	83.1	80.7	2.4	―

※ 【増減状況】構成比の差により分類 ↗：＋5.0%以上 ↘：－5.0%以下

３.３ 普段の暮らしで感じていること

前回調査（令和３年度）と「はい」と回答された構成比を比較したところ、構成比の差が+10 ポイントを上回るのは「市内外を問わず、この１年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか【6】(+24.2 ポイント)」だけであり、他の比較可能な項目は-8.1～+8.7 ポイントに収まっている。

なお、「市内外を問わず、この１年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか【6】」は前回調査（令和３年度）の際、新型コロナウイルス感染症流行の影響によると思われる「はい」の構成比の低下があった項目である。

図表 111 「はい」の構成比比較（１／２）

SEQ	項目（令和6年度）	「はい」の構成比（%）			
		令和6年度（R06）	令和3年度（R03）	構成比の差（R06-R03）	増減状況
1	安心して子育てができると思いますか	82.6	82.4	0.2	―
2	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると思いますか	76.8	75.8	1.0	―
3	身近に、年代に応じて学習ができる場や機会があると思いますか	51.5	46.0	5.5	↗
4	地域で青少年が健やかに育っていると思いますか	76.0	76.9	-0.9	―
5	身近に、スポーツやレクリエーションをする場や機会があると思いますか	61.1	58.1	3.0	―
6	市内外を問わず、この1年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか	39.1	14.9	24.2	↗
7	袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っていますか	45.5	47.5	-2.0	―
8	安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思いますか	57.9	61.1	-3.2	―
9	地域で支え合いながら安心して暮らせていると思いますか	61.4	63.9	-2.5	―
10	車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか	24.3	20.8	3.5	―
11	障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思いますか	31.0	28.7	2.3	―
12	災害に強いまちづくりができていると思いますか	34.2	29.7	4.5	―
13	あなたのご家庭では、日ごろから災害に備えていますか	63.8	60.1	3.7	―
14	災害時の避難所や避難場所を知っていますか	87.3	87.1	0.2	―
15	お住まいの地域の治安が良いと思いますか	80.8	75.9	4.9	―
16	消防・救急体制に安心感をもっていますか	78.9	71.2	7.7	↗
17	あなたの家庭では、火災への備えをしていますか	62.9	63.1	-0.2	―
18	商品やサービスを購入する際、詐欺などのトラブルにあわないよう日ごろから心掛けていますか	94.2	93.5	0.7	―
19	安心して商品やサービスを購入することができていると思いますか	81.1	82.6	-1.5	―
20	お住まいの地域の空気や水がきれいだと感じますか	58.8	60.5	-1.7	―

※ 【増減状況】構成比の差により分類　↗：＋5.0%以上　↘：－5.0%以下

図表 112 「はい」の構成比比較（２／２）

SEQ	項目（令和6年度）	「はい」の構成比（%）			
		令和6年度（R06）	令和3年度（R03）	構成比の差（R06-R03）	増減状況
21	お住まいの地域に緑が多いと感じますか	87.9	84.5	3.4	―
22	市内にごみがなく、まちがきれいだと感じていますか	64.7	56.0	8.7	↗
23	日ごろから省エネなど環境に配慮した行動に取り組んでいますか	79.8	80.0	-0.2	―
24	日ごろからリデュース、リユース、リサイクルの３Ｒを実践していますか	75.0	83.1	-8.1	↘
25	市街地の整備が適切になされていると思いますか	53.1	49.4	3.7	―
26	市内に良好なまち並みや景観が形成されていると思いますか	60.8	56.1	4.7	―
27	市内の公園が適切に管理されていると思いますか	62.4	65.1	-2.7	―
28	市内の道路環境は整っていると思いますか	50.1	49.4	0.7	―
29	適切に河川や雨水排水施設が整備されていると思いますか	63.2	57.6	5.6	↗
30	生活排水などの汚水が適切に処理されていると思いますか	80.8	75.9	4.9	―
31	市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか	29.9	―	―	◇
32	市内の鉄道交通に満足していますか	51.8	51.1	0.7	―
33	市内の高速バス交通に満足していますか	69.9	70.7	-0.8	―
34	市内の路線バス交通に満足していますか	28.4	29.9	-1.5	―
35	買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか	20.9	20.0	0.9	―
36	市内の商業環境に満足していますか	35.7	35.7	0.0	―
37	まちが観光客や市外からの来訪者で賑わっていると思いますか	26.3	23.9	2.4	―
38	市内の職場が働きやすい（または、働きやすそう）と感じますか	55.0	56.0	-1.0	―
39	まちづくりに関心がありますか	57.7	60.8	-3.1	―
40	地域活動に参加したことがありますか	51.5	50.7	0.8	―
41	地域社会の中で男女の地位が平等であると感じますか	49.2	50.1	-0.9	―
42	年齢、性別、障がいの有無、国籍などによる差別があると感じますか	38.6	37.6	1.0	―
43	本市は、外国人にとって、暮らしやすい環境にあると思いますか	46.6	46.3	0.3	―
44	市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいますか（ホームページやアプリなどを含む）	71.5	74.2	-2.7	―
45	市の広報・広聴活動が適切に行われていると思いますか	64.4	65.8	-1.4	―
46	あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか	84.3	84.8	-0.5	―
47	適切に市政運営が行われていると思いますか	62.3	64.9	-2.6	―
48	ＩＣＴ化により効率的な行政サービスが提供されていると思いますか	58.0	―	―	◇
49	ＳＤＧｓを知っていますか	81.5	―	―	◇
50	ＳＤＧｓを実践していますか	67.5	―	―	◇

※ 【増減状況】構成比の差により分類　↗：＋5.0%以上　↘：－5.0%以下

※ SEQ[31、48、49、50]は、令和６年度より追加された設問

※ 令和３年度でのSEQ[24]は「日ごろからリサイクルを実践していますか」

３．４ まちづくりにおける満足度・重要度

３．４．１ 満足度と重要度の比較分析（全体）

満足度と重要度について、各スコアの差がみられた項目について比較を行った。

１）満足度

今回調査と前回調査（令和3年度）の「満足度スコア」に差がみられる項目（0.1以上の差）をみると、スコアが上がったものが7項目、下がったものが3項目みられる（図表 113）。

各々上位3項目をみると（括弧内に「満足度スコア」の差、前回から今回の変動順位を示す）、満足度スコアが上がった項目は「火葬場（+0.375、17←38位）」、「ＩＣＴ化（+0.259、37←43位）」、「財政運営（+0.203、21←33位）」、下がった項目は「工業（-0.132、16←11位）」、「医療（-0.130、19←12位）」、「農業（-0.123、11←8位）」である。

このうち、「火葬場」、「ＩＣＴ化」は「満足度スコア」が2.00台から3.00台に上昇し、中位となる3.00（選択肢「どちらともいえない」に該当）を跨いて変動している。この他、3.00を跨いた変動があった項目は「行政運営（+0.064、38←39位）」がある。

２）重要度

今回調査と前回調査（令和3年度）の「重要度スコア」に差がみられる項目（0.1以上の差）をみると、スコアが上がったものは無く、下がったものが4項目みられる（図表 113）。

下がった項目をみると（括弧内に「重要度スコア」の差、前回から今回の変動順位を示す）、「高齢者福祉（-0.140、21←13位）」、「多文化共生（-0.110、41←41位）」、「障がい者福祉（-0.109、23←16位）」、「観光（-0.102、44←43位）」である。

図表 113　満足度と重要度の比較（項目別平均スコア）

番号	項目	満足度スコア			
		R06年度	R03年度	スコア差（R06－R03）	増減状況
1	子育て支援	3.508	3.399	0.109	↗
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.282	0.058	―
3	学校教育	3.590	3.537	0.053	―
4	生涯学習	3.069	3.093	-0.024	―
5	青少年健全育成	3.260	3.243	0.017	―
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.242	0.010	―
7	文化芸術・文化財	3.030	3.014	0.016	―
8	健康づくり	3.982	3.977	0.005	―
9	医療	3.362	3.492	-0.130	↘
10	地域福祉	3.153	3.163	-0.010	―
11	高齢者福祉	3.098	3.148	-0.050	―
12	障がい者福祉	3.007	3.035	-0.028	―
13	防災	3.273	3.231	0.042	―
14	防犯	3.396	3.325	0.071	―
15	交通安全	2.893	2.854	0.039	―
16	消防・救急	3.708	3.682	0.026	―
17	消費生活	3.415	3.445	-0.030	―
18	環境保全	3.117	3.212	-0.095	―
19	環境美化	3.369	3.215	0.154	↗
20	ごみ処理	3.801	3.708	0.093	―
21	市街地形成	3.180	3.155	0.025	―
22	公園・緑地	3.485	3.508	-0.023	―
23	道路	2.978	2.956	0.022	―
24	河川	3.441	3.286	0.155	↗
25	下水道	3.732	3.643	0.089	―
26	住宅	3.640	3.628	0.012	―
27	鉄道	3.395	3.385	0.010	―
28	高速バス	3.864	3.886	-0.022	―
29	路線バス	2.477	2.495	-0.018	―
30	農業	3.474	3.597	-0.123	↘
31	商業	2.605	2.575	0.030	―
32	工業	3.374	3.506	-0.132	↘
33	観光	2.729	2.774	-0.045	―
34	雇用・就業	2.894	2.773	0.121	↗
35	コミュニティ	3.168	3.180	-0.012	―
36	市民参加	3.113	3.089	0.024	―
37	人権	3.257	3.189	0.068	―
38	男女共同参画社会	3.216	3.164	0.052	―
39	多文化共生	3.289	3.196	0.093	―
40	情報共有	3.242	3.281	-0.039	―
41	シティプロモーション	2.963	2.949	0.014	―
42	ＩＣＴ化	3.043	2.784	0.259	↗
43	行政運営	3.033	2.969	0.064	―
44	広域連携	3.238	3.189	0.049	―
45	上水道	3.898	3.969	-0.071	―
46	火葬場	3.372	2.997	0.375	↗
47	財政運営	3.330	3.127	0.203	↗

※ 増減状況：スコア差0.1以上：↗、-0.1以下：↘

番号	項目	重要度スコア			
		R06年度	R03年度	スコア差（R06－R03）	増減状況
1	子育て支援	4.612	4.669	-0.057	―
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.551	-0.078	―
3	学校教育	4.604	4.627	-0.023	―
4	生涯学習	4.010	4.051	-0.041	―
5	青少年健全育成	4.303	4.242	0.061	―
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.953	-0.099	―
7	文化芸術・文化財	3.757	3.823	-0.066	―
8	健康づくり	4.581	4.672	-0.091	―
9	医療	4.718	4.751	-0.033	―
10	地域福祉	4.397	4.486	-0.089	―
11	高齢者福祉	4.386	4.526	-0.140	↘
12	障がい者福祉	4.367	4.476	-0.109	↘
13	防災	4.683	4.717	-0.034	―
14	防犯	4.671	4.689	-0.018	―
15	交通安全	4.573	4.596	-0.023	―
16	消防・救急	4.681	4.708	-0.027	―
17	消費生活	4.343	4.383	-0.040	―
18	環境保全	4.610	4.538	0.072	―
19	環境美化	4.503	4.462	0.041	―
20	ごみ処理	4.465	4.477	-0.012	―
21	市街地形成	4.333	4.287	0.046	―
22	公園・緑地	4.183	4.184	-0.001	―
23	道路	4.405	4.364	0.041	―
24	河川	4.438	4.393	0.045	―
25	下水道	4.482	4.428	0.054	―
26	住宅	4.471	4.424	0.047	―
27	鉄道	4.352	4.303	0.049	―
28	高速バス	4.404	4.312	0.092	―
29	路線バス	4.294	4.215	0.079	―
30	農業	4.114	4.099	0.015	―
31	商業	4.216	4.240	-0.024	―
32	工業	4.144	4.103	0.041	―
33	観光	3.821	3.923	-0.102	↘
34	雇用・就業	4.386	4.375	0.011	―
35	コミュニティ	3.801	3.820	-0.019	―
36	市民参加	3.806	3.842	-0.036	―
37	人権	4.022	4.053	-0.031	―
38	男女共同参画社会	4.062	4.057	0.005	―
39	多文化共生	3.854	3.964	-0.110	↘
40	情報共有	4.135	4.234	-0.099	―
41	シティプロモーション	3.843	3.911	-0.068	―
42	ＩＣＴ化	4.044	4.056	-0.012	―
43	行政運営	4.322	4.272	0.050	―
44	広域連携	4.096	4.099	-0.003	―
45	上水道	4.670	4.614	0.056	―
46	火葬場	4.217	4.216	0.001	―
47	財政運営	4.523	4.545	-0.022	―

※ 増減状況：スコア差0.1以上：↗、-0.1以下：↘

図表 114　満足度と重要度の比較（順位変動）

満足度スコア		項目
R06 年度	R03 年度	
1	1	健康づくり
2	2	上水道
3	3	高速バス
4	4	ごみ処理
5	6	下水道
6	5	消防・救急
7	7	住宅
8	9	学校教育
9	14	子育て支援
10	10	公園・緑地
11	8	農業
12	17	河川
13	13	消費生活
14	16	防犯
15	15	鉄道
16	11	工業
17	38	火葬場
18	23	環境美化
19	12	医療
20	18	幼児教育・保育サービス
21	33	財政運営
22	25	多文化共生
23	22	防災
24	20	青少年健全育成
25	26	人権
26	21	スポーツ・レクリエーション
27	19	情報共有
28	26	広域連携
29	29	男女共同参画社会
30	31	市街地形成
31	28	コミュニティ
32	30	地域福祉
33	24	環境保全
34	35	市民参加
35	32	高齢者福祉
36	34	生涯学習
37	43	ＩＣＴ化
38	39	行政運営
39	37	文化芸術・文化財
40	36	障がい者福祉
41	40	道路
42	41	シティプロモーション
43	45	雇用・就業
44	42	交通安全
45	44	観光
46	46	商業
47	47	路線バス

重要度スコア		項目
R06 年度	R03 年度	
1	1	医療
2	2	防災
3	3	消防・救急
4	4	防犯
5	8	上水道
6	6	子育て支援
7	12	環境保全
8	7	学校教育
9	5	健康づくり
10	9	交通安全
11	11	財政運営
12	17	環境美化
13	18	下水道
14	10	幼児教育・保育サービス
15	19	住宅
16	15	ごみ処理
17	20	河川
18	23	道路
19	24	高速バス
20	14	地域福祉
21	13	高齢者福祉
↑	22	雇用・就業
23	16	障がい者福祉
24	25	鉄道
25	21	消費生活
26	26	市街地形成
27	27	行政運営
28	28	青少年健全育成
29	32	路線バス
30	31	火葬場
31	29	商業
32	33	公園・緑地
33	34	工業
34	30	情報共有
35	35	農業
36	35	広域連携
37	37	男女共同参画社会
38	38	ＩＣＴ化
39	39	人権
40	40	生涯学習
41	42	スポーツ・レクリエーション
↑	41	多文化共生
43	44	シティプロモーション
44	43	観光
45	45	市民参加
46	47	コミュニティ
47	46	文化芸術・文化財

3．4．2 ニーズ度の比較分析（全体）

「重要度スコア」から「満足度スコア」を引いた差と定義した「ニーズ度」について、今回調査と前回調査（令和 3 年度）との間で変化がみられた項目について比較を行った。

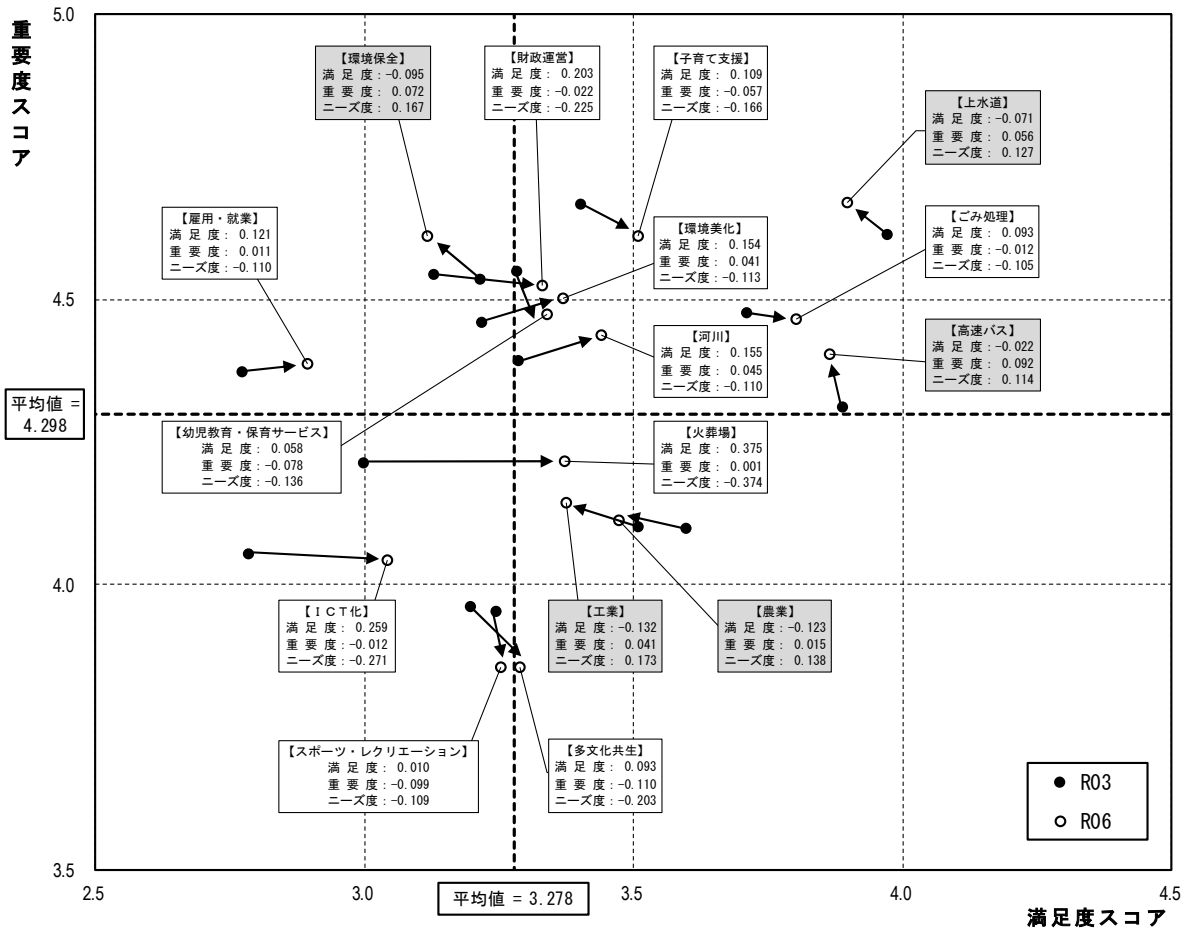
図表 115（散布図）は、図表 116（ニーズ度の変化）でスコア差の大きな項目（0.1 以上の差、「ニーズ度のスコア差増減状況」が「↗」もしくは「↘」）について、「満足度スコア」を横軸、「重要度スコア」を縦軸にとり図化したものである。なお、図表中の平均値は、プロットされている全 47 項目の算術平均である。

「ニーズ度」の差が最も上昇した項目（括弧内に「ニーズ度」の差、前回から今回の変動順位を示す）は「工業（+0.173、35←45 位）」であり、これは「満足度スコア」が低下したことによる。

一方、最も低下した項目は「火葬場（-0.374、32←19 位）」であり、これは「満足度スコア」が大きく上昇したためであり、同時に最も順位の変動があった項目でもある。

プロットされている中で、今回調査の「ニーズ度」の順位が最も高い項目は「環境保全（+0.167、4←11 位）」であり、「ニーズが高い項目」としてみることもできる。

図表 115　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【ニーズ度の変移】



※　枠内の塗り（灰色）：ニーズ度の差がプラスの項目

図表 116　ニーズ度の変化

番号	項目	R06年度		R03年度		順位増減状況	ニーズ度のスコア差（R06－R03）	ニーズ度のスコア差増減状況
		ニーズ度	順位	ニーズ度	順位			
1	子育て支援	1.104	18	1.270	15	－	-0.166	↘
2	幼児教育・保育サービス	1.133	17	1.269	16	－	-0.136	↘
3	学校教育	1.014	21	1.090	23	－	-0.076	－
4	生涯学習	0.941	26	0.958	27	－	-0.017	－
5	青少年健全育成	1.043	20	0.999	25	↗	0.044	－
6	スポーツ・レクリエーション	0.602	44	0.711	40	－	-0.109	↘
7	文化芸術・文化財	0.727	38	0.809	34	－	-0.082	－
8	健康づくり	0.599	45	0.695	41	－	-0.096	－
9	医療	1.356	9	1.259	17	↗	0.097	－
10	地域福祉	1.244	13	1.323	12	－	-0.079	－
11	高齢者福祉	1.288	11	1.378	9	－	-0.090	－
12	障がい者福祉	1.360	8	1.441	6	－	-0.081	－
13	防災	1.410	7	1.486	5	－	-0.076	－
14	防犯	1.275	12	1.364	10	－	-0.089	－
15	交通安全	1.680	2	1.742	1	－	-0.062	－
16	消防・救急	0.973	24	1.026	24	－	-0.053	－
17	消費生活	0.928	27	0.938	29	－	-0.010	－
18	環境保全	1.493	4	1.326	11	↗	0.167	↗
19	環境美化	1.134	16	1.247	18	－	-0.113	↘
20	ごみ処理	0.664	41	0.769	37	－	-0.105	↘
21	市街地形成	1.153	15	1.132	21	↗	0.021	－
22	公園・緑地	0.698	39	0.676	42	－	0.022	－
23	道路	1.427	6	1.408	8	－	0.019	－
24	河川	0.997	23	1.107	22	－	-0.110	↘
25	下水道	0.750	37	0.785	36	－	-0.035	－
26	住宅	0.831	33	0.796	35	－	0.035	－
27	鉄道	0.957	25	0.918	30	↗	0.039	－
28	高速バス	0.540	47	0.426	47	－	0.114	↗
29	路線バス	1.817	1	1.720	2	－	0.097	－
30	農業	0.640	42	0.502	46	－	0.138	↗
31	商業	1.611	3	1.665	3	－	-0.054	－
32	工業	0.770	35	0.597	45	↗	0.173	↗
33	観光	1.092	19	1.149	20	－	-0.057	－
34	雇用・就業	1.492	5	1.602	4	－	-0.110	↘
35	コミュニティ	0.633	43	0.640	44	－	-0.007	－
36	市民参加	0.693	40	0.753	39	－	-0.060	－
37	人権	0.765	36	0.864	33	－	-0.099	－
38	男女共同参画社会	0.846	31	0.893	32	－	-0.047	－
39	多文化共生	0.565	46	0.768	38	↘	-0.203	↘
40	情報共有	0.893	28	0.953	28	－	-0.060	－
41	シティプロモーション	0.880	29	0.962	26	－	-0.082	－
42	ＩＣＴ化	1.001	22	1.272	14	↘	-0.271	↘
43	行政運営	1.289	10	1.303	13	－	-0.014	－
44	広域連携	0.858	30	0.910	31	－	-0.052	－
45	上水道	0.772	34	0.645	43	↗	0.127	↗
46	火葬場	0.845	32	1.219	19	↘	-0.374	↘
47	財政運営	1.193	14	1.418	7	↘	-0.225	↘

※　【順位増減状況】↗：順位差が＋5位以上、↘：順位差が－5位以下
※　【スコア差増減状況】↗：スコア差が＋0.1以上、↘：スコア差が－0.1以下

図表 117　ニーズ度の順位比較（今回順位順）

ニーズ度		項目
R06 年度	R03 年度	
1	2	路線バス
2	1	交通安全
3	3	商業
4	11	環境保全
5	4	雇用・就業
6	8	道路
7	5	防災
8	6	障がい者福祉
9	17	医療
10	13	行政運営
11	9	高齢者福祉
12	10	防犯
13	12	地域福祉
14	7	財政運営
15	21	市街地形成
16	18	環境美化
17	16	幼児教育・保育サービス
18	15	子育て支援
19	20	観光
20	25	青少年健全育成
21	23	学校教育
22	14	ＩＣＴ化
23	22	河川
24	24	消防・救急
25	30	鉄道
26	27	生涯学習
27	29	消費生活
28	28	情報共有
29	26	シティプロモーション
30	31	広域連携
31	32	男女共同参画社会
32	19	火葬場
33	35	住宅
34	43	上水道
35	45	工業
36	33	人権
37	36	下水道
38	34	文化芸術・文化財
39	42	公園・緑地
40	39	市民参加
41	37	ごみ処理
42	46	農業
43	44	コミュニティ
44	40	スポーツ・レクリエーション
45	41	健康づくり
46	38	多文化共生
47	47	高速バス

３．４．３ 満足度と重要度の比較分析（居住地区別）

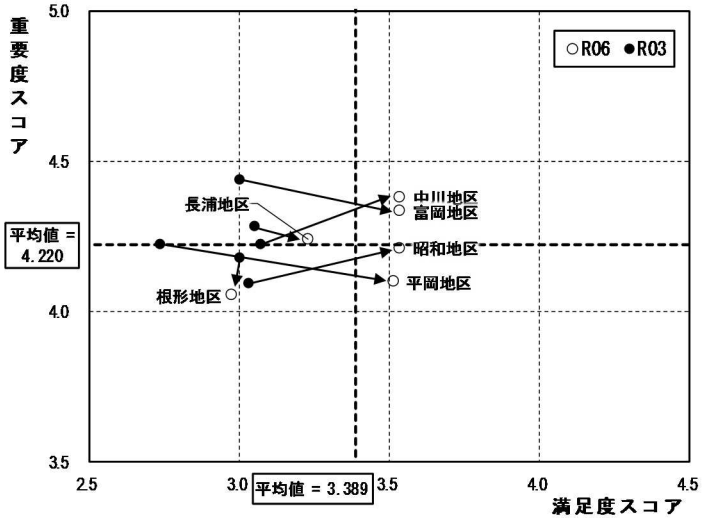
居住地区によって「満足度スコア」、「重要度スコア」、「ニーズ度」の各指標の変動が大きな項目を示す。なお、図中の平均値は、今回調査の６地区の算術平均である。

１）「満足度スコア」が最も上昇：火葬場【46】

「満足度スコア」が最も上昇したのは「火葬場：平岡地区」である。

「長浦地区」、「根形地区」の変動は他の地区に比べて小さく、これ以外は大きく上昇し平均を上回った。

図表 118　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「火葬場」×居住地区】

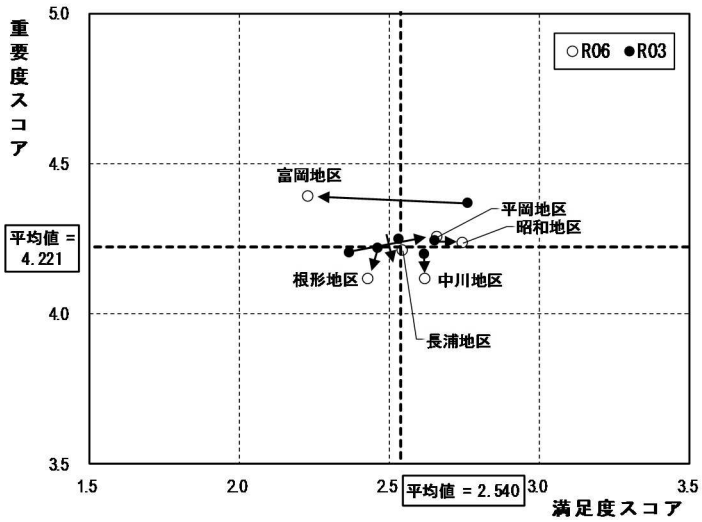


２）「満足度スコア」が最も低下：商業【31】

「満足度スコア」が最も低下したのは「商業：富岡地区」である。

他に変化が大きいものとしては、「平岡地区」が上昇し平均を上回った。

図表 119　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「商業」×居住地区】

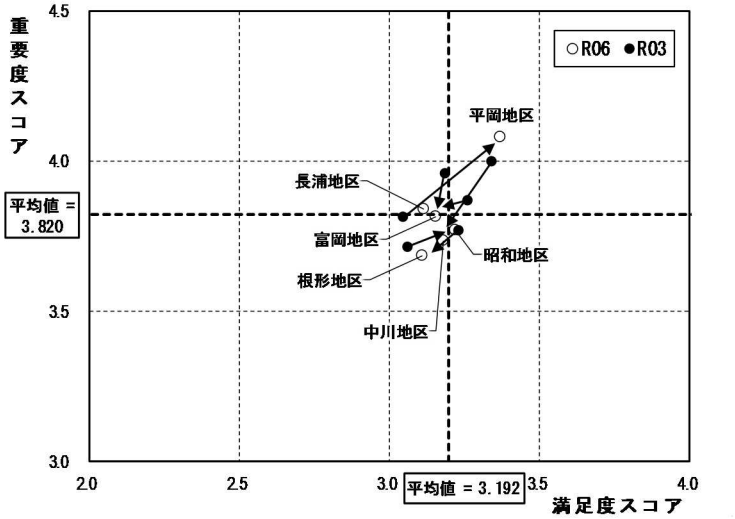


３）「重要度スコア」が最も上昇：コミュニティ【35】

「重要度スコア」が最も上昇したのは「コミュニティ：平岡地区」である。

他に変化が大きいものとしては、「中川地区」が低下し平均を下回った。

図表 120　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「コミュニティ」×居住地区】



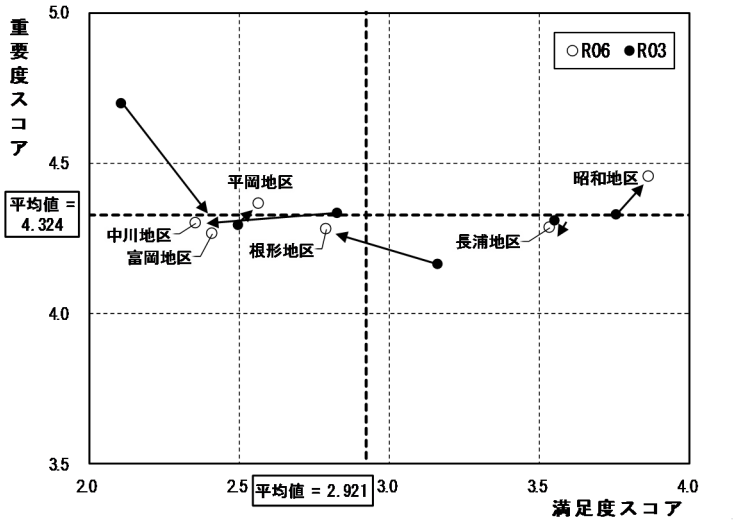
４）「重要度スコア」が最も低下：鉄道【27】

「重要度スコア」が最も低下したのは「鉄道：富岡地区」である。

「富岡地区」の「重要度スコア」は大きく低下するとともに「満足度スコア」も上昇したが平均を下回ったままである。

他に変化が大きいものとしては、「中川地区」、「根形地区」の「満足度スコア」が大きく低下している。

図表 121　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「鉄道」×居住地区】



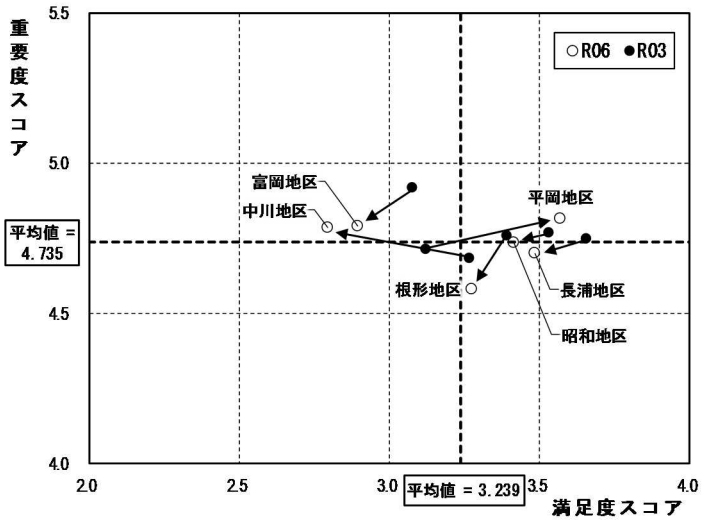
５）「ニーズ度」が最も上昇：医療【9】

「ニーズ度」が最も上昇したのは「医療：中川地区」である。

「中川地区」の「重要度スコア」はそれほど高くないのでニーズが高い項目とまでは言えないが、注視すべきものと考えられる。

他に変化が大きいものとしては、「平岡地区」の「満足度スコア」が上昇し平均を上回った。

図表 122　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「医療」×居住地区】



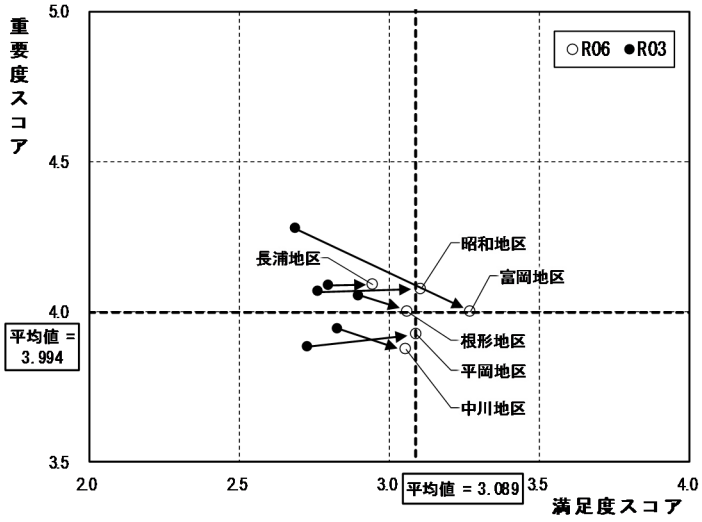
６）「ニーズ度」が最も低下：ＩＣＴ化【42】

「ニーズ度」が最も低下したのは「火葬場：平岡地区」であるが、「満足度スコア」も最も上昇していると重複するため、２番目に低下した「ＩＣＴ化：富岡地区」を掲載する。

「富岡地区」の「満足度スコア」は大きく上昇し平均を上回った。

「満足度スコア」は全ての地区で上昇している。

図表 123　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【「ＩＣＴ化」×居住地区】



４．資料編

４．１ 調査票

令和６年度袖ケ浦市まちづくりアンケート

― 皆さまの声をお聞かせください ―

日ごろ、市政にご協力いただきありがとうございます。

本市は、令和２年度からスタートした新たな総合計画における、市が目指す将来の姿である**「みんなでつくる　人つどい　緑かがやく　安心のまち　袖ケ浦」**の実現に向けて、計画的なまちづくりに努めています。

さて､市民の皆さまの日ごろの暮らしや生活上の意識についておたずねし、これからの市政を考える基礎的な資料とするため､「袖ケ浦市まちづくりアンケート」を行うこととしました。

今回､このアンケート票は､袖ケ浦市内にお住まいの１８歳以上の方から無作為に抽出した２，０００名の方にお送りしています。
アンケートの結果につきましては､統計的に処理をした上で､広報紙やホームページ等で公開させていただきます。

つきましては､お忙しいところ恐縮ですが､アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

令和６年８月

袖ケ浦市長　粕谷　智浩

＜記入にあたっての注意事項＞

1 所要時間は、１５分程度です。

2 令和６年８月１日を基準日として、お答えください。

3 アンケートへの回答は、①アンケート票の郵送による回答、②インターネットによる回答のどちらかを選択することができます。詳しくは、次頁をご覧ください。

4 回答は、あて名のご本人が行ってください。ご本人による回答が難しい場合は、ご家族などがご本人の意見を聞きながら回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

5 内容はすべて統計的に集計し、個人の考えが公表されることはありませんので、率直にお答えください。

6 ８月３０日（金）までにご回答くださいますようお願いいたします。

アンケートの回答のしかた

アンケートには、①アンケート票（この冊子）を郵送するか、②パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答するか、どちらか１つの方法を選択して、回答してください。

① 同封のアンケート票に記入し郵送で回答

1．アンケート票や返信用封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
2．記入は、あて名のご本人が行ってください。ご本による記入が難しい場合は、ご家族などの方が、ご本人の意見を聞きながら記入いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
3．ご回答は、黒色のボールペン・鉛筆などで記入してください。
4．各質問に対して、あなたが感じていることや行っていることを選び、**（１つ選び○印）**や**（２つまで選び○印）**にしたがって、あてはまる番号を○で囲んでください。
5．あなたが感じていることについて回答する際に、１つのテーマに対して、良い点・悪い点のどちらも考えつく場合があると思いますが、総合的に判断して、どちらにあてはまるかをお答えください。
6．「その他」を選択した場合は、カッコ内に具体的な内容をご記入ください。
7．**【問●で「１」とお答えの方に】**などの指示にしたがって進んでください。
8．ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、８月３０日（金）までに、郵便ポストに投函してください。

※返信用封筒に印刷されているバーコードは、郵便局の仕分け業務に必要なもので、住所・氏名等を特定するものではありません。

1

② パソコン・スマートフォン等を利用しインターネットで回答

【回答ページ】 https://logoform.jp/form/tSXa/623048

1．ブラウザのＵＲＬ欄に上記ＵＲＬを入力するか、スマートフォン等から右上のＱＲコードを読み取ってアクセスできます。
2．８月３０日（金）までに回答してください。
3．回答を送信すると、その後の修正はできませんのでご注意ください。

問い合わせ

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

袖ケ浦市役所　企画政策部　企画政策課
住　所：〒299-0292　袖ケ浦市坂戸市場１番地１
電　話：0438-62-2327
ＦＡＸ：0438-62-3034

※お電話でのご連絡は、平日の午前８時３０分～午後５時１５分にお願いいたします。

柚ケ浦市について

【問１】あなたは、柚ケ浦市に愛着を感じていますか。（あてはまる番号を１つ選び○印で囲んでください。）

1．愛着を感じている	2．どちらともいえない	3．あまり愛着を感じていない

問１で「１」を選んだ理由は何ですか。次の中からあてはまる番号を２つまで選び○印で囲んでください。その他の場合はカッコ内に具体的な内容を記入してください。	**問１で「３」を選んだ理由は何ですか。次の中からあてはまる番号を２つまで選び○印で囲んでください。その他の場合は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。**
1．生まれ育った場所だから	1．生まれ育った場所ではないから
2．親戚、友人、知人がいるから	2．親戚、友人、知人がいないから
3．生活環境が自分に合っているから	3．生活環境が自分に合っていないから
4．通勤、通学、買い物など生活が便利だから	4．通勤、通学、買い物など生活が不便だから
5．子育て環境が充実しているから	5．子育て環境が整っていないから
6．楽しく遊べる場所が多いから	6．遊べる場所が少ないから
7．地域の人間関係が良好だから	7．地域の人間関係が合わないから
8．地域の集まりや行事に参加してきたから	8．地域の集まりや行事と縁がないから
9．歴史や伝統が豊かだから	9．歴史や伝統を感じないから
10．その他 （　　）	10．その他 （　　）

3

【問２】あなたは、袖ケ浦市が住みよいまちだと思いますか。（あてはまる番号を１つ選び○印で囲んでください。）

1．とても住みよい	3．どちらともいえない	4．どちらかといえば住みにくい
2．どちらかといえば住みよい		5．とても住みにくい

【問３】あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号を１つ選び○印で囲んでください。）

1．これからもずっと住み続けたい	3．どちらともいえない	4．住み続けたくない
2．当分は住み続けたい		

問３で「１」または「２」を選んだ理由は何ですか。 次の中からあてはまる番号を２つまで選び○印で囲んでください。その他の場合は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。	**問３で「４」を選んだ理由は何ですか。 次の中からあてはまる番号を２つまで選び○印で囲んでください。その他の場合は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。**
1．生まれ育った場所だから	1．将来は故郷に帰るつもりだから
2．自然環境に恵まれているから	2．自然環境に恵まれていないから
3．公共施設（スポーツ施設、健康づくり施設、文化施設、公園等）が整っているから	3．公共施設（スポーツ施設、健康づくり施設、文化施設、公園等）が整っていないから
4．地域の人間関係が良好だから	4．地域の人間関係が合わないから
5．通勤、通学などの移動手段が便利だから	5．通勤、通学などの移動手段が不便だから
6．買い物に便利だから	6．買い物に不便だから
7．安心して子育てができる環境が整っているから	7．安心して子育てができる環境が整っていないから
8．病院、医療、福祉施設（サービス）が整っているから	8．病院、医療、福祉施設（サービス）が整っていないから
9．仕事や商売の関係	9．仕事や商売の関係
10．その他 （　　）	10．その他 （　　）

普段の暮らしで感じていること

【問４】あなたの暮らしについてお聞きしますので、各々の質問について、「はい」または「いいえ」をお選びください。（いずれかを１つ選び○印で囲んでください。）

回答例：「安心して子育てができると思いますか」の質問について、同意できる場合は「はい」を○印で囲みます。

【子育て・教育・文化について】			
1	安心して子育てができると思いますか	はい	いいえ

【子育て・教育・文化について】			
1	安心して子育てができると思いますか	はい	いいえ
2	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると思いますか	はい	いいえ
3	身近に、年代に応じて学習ができる場や機会があると思いますか	はい	いいえ
4	地域で青少年が健やかに育っていると思いますか	はい	いいえ
5	身近に、スポーツやレクリエーションをする場や機会があると思いますか	はい	いいえ
6	市内外を問わず、この 1 年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか	はい	いいえ
7	袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っていますか	はい	いいえ

【安全・安心や生活環境について】			
8	安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思いますか	はい	いいえ
9	地域で支え合いながら安心して暮らせていると思いますか	はい	いいえ
10	車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか	はい	いいえ
11	障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思いますか	はい	いいえ
12	災害に強いまちづくりができていると思いますか	はい	いいえ
13	あなたのご家庭では、日ごろから災害に備えていますか	はい	いいえ
14	災害時の避難所や避難場所を知っていますか	はい	いいえ
15	お住まいの地域の治安が良いと思いますか	はい	いいえ
16	消防・救急体制に安心感をもっていますか	はい	いいえ
17	あなたの家庭では、火災への備えをしていますか	はい	いいえ
18	商品やサービスを購入する際、詐欺などのトラブルにあわないよう日ごろから心掛けていますか	はい	いいえ
19	安心して商品やサービスを購入することができていると思いますか	はい	いいえ
20	お住まいの地域の空気や水がきれいだと感じますか	はい	いいえ
21	お住まいの地域に緑が多いと感じますか	はい	いいえ
22	市内にごみがなく、まちがきれいだと感じていますか	はい	いいえ
23	日ごろから省エネ（※1）など環境に配慮した行動に取り組んでいますか	はい	いいえ
24	日ごろからリデュース、リユース、リサイクルの３Ｒ（※2）を実践していますか	はい	いいえ

（※1）:「省エネ」とは、電灯のスイッチをこまめに切る、エアコンの設定温度に気を付けるなど、エネルギーを節約することをいいます。

（※2）：３Ｒの「リデュース」は無駄な物は買わない、「リユース」は不用品の再利用、「リサイクル」は資源物の再資源化をいいます。

【都市形成や産業について】			
25	市街地の整備が適切になされていると思いますか	はい	いいえ
26	市内に良好なまち並みや景観が形成されていると思いますか	はい	いいえ
27	市内の公園が適切に管理されていると思いますか	はい	いいえ
28	市内の道路環境は整っていると思いますか	はい	いいえ
29	適切に河川や雨水排水施設が整備されていると思いますか	はい	いいえ
30	生活排水などの汚水が適切に処理されていると思いますか	はい	いいえ
31	市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか	はい	いいえ
32	市内の鉄道交通に満足していますか	はい	いいえ
33	市内の高速バス交通に満足していますか	はい	いいえ
34	市内の路線バス交通に満足していますか	はい	いいえ
35	買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか	はい	いいえ
36	市内の商業環境に満足していますか	はい	いいえ
37	まちが観光客や市外からの来訪者で賑わっていると思いますか	はい	いいえ
38	市内の職場が働きやすい（または、働きやすそう）と感じますか	はい	いいえ

【市民活動や行政運営について】			
39	まちづくりに関心がありますか	はい	いいえ
40	地域活動（※3）に参加したことがありますか	はい	いいえ
41	地域社会の中で男女の地位が平等であると感じますか	はい	いいえ
42	年齢、性別、障がいの有無、国籍などによる差別があると感じますか	はい	いいえ
43	本市は、外国人にとって、暮らしやすい環境にあると思いますか	はい	いいえ
44	市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいますか（ホームページやアプリなどを含む）	はい	いいえ
45	市の広報・広聴活動（※4）が適切に行われていると思いますか	はい	いいえ
46	あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか	はい	いいえ
47	適切に市政運営が行われていると思いますか	はい	いいえ
48	ＩＣＴ（※5）化により効率的な行政サービスが提供されていると思いますか	はい	いいえ
49	ＳＤＧｓ（エスディージーズ）（※6）を知っていますか	はい	いいえ
50	ＳＤＧｓを実践していますか	はい	いいえ

（※3）:「地域活動」とは、市民相互の交流や自治会での活動、各種ボランティア活動などをいいます。

（※4）:「広報・広聴活動」とは、市が本市に関する様々な情報を発信したり、市民の意見や要望を聞き募る活動のことをいいます。

（※5）：ＩＣＴとは、Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略であり、日本語では一般に”情報通信技術”と訳されます。パソコンだけでなくスマートフォンやインターネットなど、様々な形式のコンピューターを使った情報処理や通信技術の総称です。

（※6）：ＳＤＧｓ（エスディージーズ）とは、Sustainable Development Goals（サスティナブル・ディベロップメント・ゴールズ）の略であり、日本語では一般に”持続可能な開発目標”と訳されます。2016 年から 2030 年の 15 年間で達成すべき世界共通の目標として、貧困・健康と衛生・エネルギー・環境・平和など 17 種類の目標が提示され、2015 年 9 月に国連で開催された持続可能な開発サミットで国連に加盟している全 193 カ国によって採択されました。個人でできる取組みとしては、節電・節水を心掛ける、マイバックやマイボトルを活用する、できるだけ公共交通機関を利用する、家事を平等に分担する、災害に対する備えをしておく等があります。

まちづくりにおける満足度・重要度

【問５】まちづくりにおける、『現在の満足度』（現在どのように感じているか）と、『今後の重要度』（今後の取組がどのくらい重要と思うか）をお聞きしますので、各々の質問について、それぞれあてはまるものをお選びください。（あてはまる番号を１つ選び○印で囲んでください。）

回答例：「子どもを産み育てやすい環境が整えられている」の質問について、現在、やや満足していると思われる場合は、『現在の満足度』の「やや満足」の番号「２」、今後、重要と思われる場合は、『今後の重要度』の「重要」の番号「１」を○印で囲みます。

※「『現在の満足度』の１～６」と「『今後の重要度』の１～６」のあてはまる番号を１つ選び○印で囲みます。

【子育て・教育・文化】		
番号	項目	内容
1	子育て支援	子どもを産み育てやすい環境が整えられている

【子育て・教育・文化】		
番号	項目	内容
1	子育て支援	子どもを産み育てやすい環境が整えられている
2	幼児教育・保育サービス	質の高い幼児教育や多様なニーズに対応する保育サービスが提供されている
3	学校教育	小中学校で充実した教育を受けることができる環境が整備されている
4	生涯学習	生涯を通して、いつでも、どこでも学ぶことができる場や機会が充実している
5	青少年健全育成	青少年が心身ともに、健やかに成長できる環境が整えられている
6	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション活動に親しめる場や機会が充実している
7	文化芸術・文化財	文化や芸術に触れることができる場や機会が充実し、文化財の価値を継承する取組が進められている

[redacted]

子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	(2)	3	4	5	6	(1)	2	3	4	5	6

子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【健康・医療・福祉】		
番号	項目	内容
8	健康づくり	健康診断や予防接種などの機会が充実し、健康な生活を送れている
9	医療	病気やけがの際に受診できる医療機関が整えられている
10	地域福祉	多様な福祉ニーズに応じた、誰もが暮らしやすい環境が整えられている
11	高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる支援ができている
12	障がい者福祉	障がい者が暮らしやすい生活環境や相談体制が整えられている

【防災・防犯・環境】		
番号	項目	内容
13	防災	地震などの災害に対する防災体制が整っている
14	防犯	犯罪がなく、安心して暮らしていける環境にある
15	交通安全	交通事故がなく、交通ルールやマナーが守られている
16	消防・救急	火災や急病の際に安心できる、消防・救急体制が整っている
17	消費生活	振り込め詐欺などの消費者問題がなく、安心して生活を送ることができている
18	環境保全	大気汚染や水質汚濁がなく、自然環境が保全されている
19	環境美化	ごみの散乱のない、きれいなまち並みが保たれている
20	ごみ処理	資源ごみが種類ごとに分類され、適切な処理、リサイクルがされている

支え合いと支援のもとで健やかに暮らせるまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

安全・安心で環境にやさしいまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【都市形成・都市基盤】		
番号	項目	内容
21	市街地形成	市街地（袖ケ浦駅周辺、長浦駅周辺、横田駅周辺）において、生活利便性の高い、良好な住環境が形成されている
22	公園・緑地	公園や緑地が整備され、適正に維持管理されている
23	道路	機能性が高く、誰もが快適と感じられる道路環境が整備されている
24	河川	河川や雨水排水施設等が適正に維持管理され、機能や安全性が保たれている
25	下水道	汚水が適正に処理され、衛生的な生活環境が確保されている
26	住宅	安全・安心して暮らすことができる住環境が整備されている
27	鉄道	駅や鉄道を快適に利用できる
28	高速バス	高速バスで都市部と結ばれ利便性が確保されている
29	路線バス	必要な路線バスが維持されている

【産業】		
番号	項目	内容
30	農業	都心に近い地域の特性を活かした農業が振興されている
31	商業	商店街に活気があり、魅力ある活動がなされている
32	工業	多くの企業が立地し、多様な企業活動（力強い操業）が行われている
33	観光	多様な資源を活かした観光地としての魅力がある
34	雇用・就業	働きたい人が働くことができる場が確保されている

都市と自然が調和した住みやすいまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【市民活動・行財政】		
番号	項目	内容
35	コミュニティ	地域の人々の交流やコミュニティ活動が活発で、市民による自主的な地域社会が形成されている
36	市民参加	市民主体によるまちづくりや地域課題を解決する取組が行われている
37	人権	市民一人ひとりが人権を尊重し、理解を深めている
38	男女共同参画社会	職場や家庭などあらゆる分野において、男女が平等な立場で参画できる社会となっている
39	多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が地域社会の中でともに暮らすことができている
40	情報共有	広報・広聴活動等の充実により、市民と行政との間で情報が共有されている
41	シティプロモーション	袖ケ浦市の魅力が市内外に発信され、本市に興味・関心を持つ人が増えている
42	ＩＣＴ化	ＡＩ等の新たな情報技術が導入され、より効果的、効率的な行政サービスが提供されている
43	行政運営	効果的・効率的な行政運営が行われている
44	広域連携	必要に応じ、他市との広域的な連携が図られている
45	上水道	安心して飲める水が安定して供給されている
46	火葬場	必要なときに火葬場を安心して利用できている
47	財政運営	計画的な財政運営により、安定した財政基盤が確立されている

みんながつながり参加する持続可能なまちづくり											
現在の満足度						今後の重要度					
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【問６】問５の表のすべての項目の中（番号１～４７）で、あなたが袖ケ浦市で生活する上で、特に重要だと思うものを３つ選んでください。（選んだ３つの番号を以下の枠に記入してください。）

□　□　□

自由意見

【問７】今後の袖ケ浦市のまちづくりについて、ご意見などお聞かせください。

「あなた自身のこと」についておうかがいします

【Ｆ１】あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

１．男性	２．女性	３．答えない

【Ｆ２】あなたの年齢（令和６年８月１日現在）をお答えください。（○は１つ）

１．１０・２０歳代	３．４０歳代	５．６０～６４歳	７．７０歳以上
２．３０歳代	４．５０歳代	６．６５～６９歳	

【Ｆ３】あなたの主な職業をお答えください。（○は１つ）

１．自営業主	６．学生
２．家族従業者（※）	７．専業主婦・主夫
３．会社・団体役員	８．その他
４．給与所得者	（　　）
５．アルバイト・パートタイム	９．無職

※　家族従業者：個人事業主の家族で、その事業を手伝っている方をいいます。

【Ｆ４】あなたを含めた世帯人数をお答えください。（○は１つ）

１．１人	３．３人	５．５人以上
２．２人	４．４人	

【Ｆ５】あなたの子ども（同居されていない方も含め）の人数をお答えください。（○は１つ）

１．１人	３．３人	５．５人以上
２．２人	４．４人	６．子どもはいない

【Ｆ６】（Ｆ５で１～５のいずれかとお答えの方）
あなたの子どもの就学状況（子どもが複数の場合はあてはまるものすべて）をお答えください。

１．小学校入学前	５．専門学校・短大・大学（大学院）生
２．小学生	６．その他
３．中学生	（　　）
４．高校生	

※　子どもが、すでに学校教育を修了している場合は、「６．その他」を選んでください。

【Ｆ７】あなたが現在お住まいの地区をお答えください。（○は１つ）

番　号	地区名	住　所
1	昭和地区	坂戸市場、奈良輪、奈良輪１～２丁目、袖ケ浦駅前１～２丁目、福王台１～４丁目、神納１～２丁目、神納、南袖
2	長浦地区	今井、今井１～３丁目、蔵波、蔵波台１～７丁目、久保田、久保田１～２丁目、代宿、久保田代宿入会地、椎の森、北袖、中袖、長浦、長浦駅前１～８丁目、
3	根形地区	飯富、下新田、三ツ作、大曽根、野田、勝、のぞみ野
4	平岡地区	永地、下泉、高谷、三箇、三箇錯綜、川原井、林、野里、上泉、永吉、岩井
5	中川地区	百目木、百目木飛地、百目木錯綜、横田、大鳥居、三黒、谷中、真理錯綜、下内橋錯綜、戸国飛地
6	富岡地区	下根岸、阿部、堂谷、打越、大竹、滝の口、吉野田、玉野、上宮田、下宮田

【Ｆ８】あなたが袖ケ浦市に住んでいる年数をお答えください。（○は１つ）

1．３年未満
2．３年以上～５年未満
3．５年以上～１０年未満
4．１０年以上～２０年未満
5．２０年以上

【Ｆ９】あなたが現在住んでいるところに住む前に住んでいたところをお答えください。（○は１つ）

1．生まれたときから現在のところ
2．袖ケ浦市内の別のところ
3．袖ケ浦市以外の千葉県内
4．東京都内
5．神奈川県内
6．その他
（　　）

【Ｆ１０】あなたが通勤、通学している場所をお答えください。（○は１つ）

1．袖ケ浦市内
2．木更津市内
3．市原市内
4．君津市内
5．千葉市内
6．１～５以外の千葉県内
7．東京都内
8．神奈川県内
9．その他
（　　）
10．通勤、通学はしていない

質問は以上です。お忙しいところご協力をいただき、まことにありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、

８月３０日（金）までに投函してください（切手は不要です）。

４．２ 自由意見

【問７】今後の袖ケ浦市のまちづくりについて、ご意見などお聞かせください。

自由意見に関して、記載内容とともに、回答者の属性（性別、年齢、居住地区)、47 項目の施策に該当する内容と判断できるものについてはその項目名、該当しない内容については「その他」を「意見の分類」に併記し、以下にまとめた。

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
1	駅周辺は開発が進んでいるが私の地域はバス停までの距離が有り交通の便の悪さを感じます。 障害者への支援が足りてないと思います。	男性 ５０歳台 平岡地区	障がい者福祉 路線バス
2	袖ヶ浦に住み始めて 30 年たちますが、ここでの暮しに大変満足しています。ちょっと車を走らせれば金田→都心、房総へと気軽にいけます。ただ、それは私が今車を運転できるからです。 車の運転ができなくなれば陸の孤島になってしまうのではないか。今まで気軽にいっていたカインズ、アウトレット、金田 BT もいけなくなってしまう。私が要望したいのは路線バスの充実です。 近い未来、無人の小型の路線バスが走っていて、どこにでも自由にいける町作りを作ってほしいです。	女性 ６５～６９歳 根形地区	路線バス
3	知人宅の畑の管理（草かり）をしています。 住人ナシの敷地内に不法投棄をされています。 小さなゴミは処分できますが引越後と見られる家電などは、クリーンセンターでも費用がかかるのでそのままです。 不法投棄のゴミを引き取ってほしいです。	－ － －	環境美化
4	・過疎が進む地域での若者の定着できる魅力ある町づくりを計画して欲しい ・一部農業者による鶏糞公害の対策を身近なものから実行して欲しい ・館山道の側道（市道）が大型車（ダンプ、トレーラー）が通行するために舗装が損傷が早く、他の通行する車両に当たり車をキズつける。（該当者多い）重量車は通行出来ないのでは。	男性 ７０歳以上 根形地区	環境美化 道路 その他
5	袖ケ浦に移り住んで以降、年々自然が減っていると感じる。 アクアラインを越え千葉県に入ってきた”緑が多い”という爽快さが薄れている。 住宅の開拓で仕方ない所も多いが単なる地方のベッドタウンになるのではなく、自然、景観を上手く残せる様区分けした街として欲しい。 都内からの観光入口（出口）となり、交通渋滞が多く、アンダーパス、県道 87 号と奈良輪北通りが重なる箇所はいつ事故が起きてもおかしくない。矢印付きの信号や青信号の間隔など検討をお願いしたい。 都心から移り住んで思うことは歩いて楽しめるポイントが「駅前」において極めて少ない所である。車社会のエリアとは言え、飲食店が他のエリアと比べ弱すぎる。館山の方が 100 倍店が良いし多いと思う位である。検討下さい。（土日のみの屋台街※みろく横丁の様な所だけでもいいと思う）	男性 ４０歳台 昭和地区	市街地形成 公園・緑地 道路 商業
6	・防災マップなど配られない ・個人所ゆうの山などのせいびをやっもらうようしどうしてほしい。 イノシシのがふえる。 ・個人宅でのゴミをもやすのをやめるようもっとしどうしてほしい。	女性 ６０～６４歳 平岡地区	防災 環境美化 ごみ処理
7	子育て支援をさらに充実させて欲しい ガウランドのプール教室の参加人数を増やす。または回数を増やして欲しい（参加希望者が多いため）	女性 ４０歳台 中川地区	子育て支援 文化芸術・文化財
8	ここで言って良いものなのか分かりませんが、●●病院の良い評判を聞きません。私も 25 年前に一度診て頂いた事がありましたが病名は分からないと言われましたが、別の個人病院（医院？）で診て頂いたら、すぐに診断してもらえました。私が今、病気やけがをしたとしても袖ケ浦にある大きい病院には頼らないと思います。防災と上下水道は元日にあった石川県での大きな地震でやっぱり皆様トイレの問題に関してはすごく困られていた様子でしたし、もし地震で被災したとしても、イタリアの避難所ぐらい安心できる市だと、すごく住みやすいし嬉しいです！！後は、長浦駅から袖ケ浦駅方面に向かう道路の草がすごいので、可能であればもう少しだけ短く刈ってもらえると助かります。	女性 ３０歳台 昭和地区	医療 防災 道路
9	病院が少なく通院するのが大変な為もっと病院を増やしてほしい。 道路にいつも穴があいていてデカい穴や草がおいしげっている為非常に運転しづらい。道路によくゴミが投げ捨ててあるが事故につながりかねないのでどうにかしてほしいと思う。 高い税金を治めているのだからもう少し環境整備してほしい。 交通の便も不便だと思う。 これからみんなが住みやすい袖ケ浦市に少しでもなっていったらいいと思います。	女性 ５０歳台 中川地区	医療 環境美化 道路 鉄道 高速バス 路線バス
10	1,アンケート結果について、袖ヶ浦市内に於いて 3 か所以上で説明会を開催する。 ・質問も受け付ける。 ・質問ごとの答えの実数の明示。 ・集計された数字から分析して出てきた答えの明示。チームリーダーの氏名（データ集計に誤りや、虚偽の数字が入らないように） ・市職員の人件費は含めずに経費がどの位の金額になったか。 2,「まちづくり」の「まち」をどういう設定にするかで答えが変わります。 ・安易に全てが増加している時代のイメージを借りて、人口や戸数が減少している中での「まちづくり」を単純な数字の合計比較で語るとウソになります。 3,生活する対象エリアが広がり、グローバルな社会で「稼ぎ」「消費」する中での傾向を探るには、年代別に調査することも面白いと思います。 ①18 才から 33 才、②34 才から 50 才、②51 才から 66 才、④67 才から 80 才、⑤80 才以上	男性 ７０歳以上 平岡地区	情報共有 その他

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
11	①子育て支援・・・生活苦家庭対応の充実必要 ②障害者福祉への対応早く確実に ③ライフラインの対応強化、安全確保	男性 ７０歳以上 長浦地区	子育て支援 障がい者福祉
12	市の都合の良い質問ばかり 市民が感じている底辺を拾って欲しい。	男性 ７０歳以上 中川地区	その他
13	今、住んでいる所は下水道が整備されていないので整備してほしい。 住まいまでの指導が狭いため車がすれちがい出来ないので市道を拡張してほしい。	男性 ５０歳台 昭和地区	道路 下水道
14	市が目指す基本構想について市長選挙毎に達成度を市民に公表して欲しい	男性 ７０歳以上 根形地区	情報共有
15	毎年の異常気象、温暖化、人類が今迄してきた結果です。地球が泣いています。市民が環境改善の意識を強くもち、市政運営に生かしてほしいです。人間がいてＡＩがあるように。	男性 ６５～６９歳 長浦地区	環境保全
16	・宅地を急に増やしすぎ（学校パンクしてる。増築しないで済む都市計画を！増築も校庭つぶすとか無し） ・外国人も急に増えたように思う。そして態度が悪い外国人多い ・多文化共生はルール、マナーを守って（守れる）初めて成り立つと思う。 市が責任持って教育・指導できないなら定住させるべきではない。 結局、地域の居住者が迷惑をうける（日本人でも守れない人がいますが） ・夜中、爆音でうるさい（騒音取り締まり等お願いします） ・小・中学校の社会見学修学旅行などの行事のコストカットはやめて欲しい。 ・教育には力を入れてほしい。学級崩壊・教員不足・教員待遇先生も生徒も大変。勉強したい子ができない。IT 化で効率良く！ ・観光はどうでもいい。企業誘致で税収増狙いで雇用の受け皿作り（人口増加分はせめて） ・家畜産業のブランド化促進で収入 UP、次代担う人達に魅力ある産業へ ・新エネルギーの深耕 袖ケ浦は、工業・農畜産等底力はあると思っています。 今のところは住みやすく、子育てもしやすい環境です。 他の市と異なってインパクトはありませんが、充分に魅力的です。 良いところは潰さず、SDGS な市政を期待しています。	男性 ４０歳台 長浦地区	学校教育 農業 工業 雇用・就業 多文化共生
17	①とにかく野焼きが多い。決まった時期とかではなく、年がら年中におう。体にも悪いし、カスは飛ぶ。見た目も悪い。本格的に禁止にしてほしい。 ②動物の放し飼いについて。犬・猫に限らず放し飼いにして、帰ってこなくて、そのままノラになる。というパターンがあるようです。 ホームページなんかでも見かけますが、しょっちゅう注意勧告を出すようにお願いします。	女性 ４０歳台 －	環境保全 ごみ処理 農業 その他
18	・今井野球場の木を切られたせいか自宅にスズメがすをつくってしまった。きちんと整備しないのなら木をやたらに切らないで欲しい。他カラスも多くなりハチもすをつくるようになった。 ・移住者が来て住宅が増えてるのはいいけれど店がとても少ない。自宅近くに本屋が 1 けんもないので本屋さんをつくって欲しい。 ・アウトレット行以外のバス運行本数増やして欲しい。 ・線路ぞい、駅前、学校前その他の雑草をこまめにかって欲しいタバコでも投げられたら火事になるし人が連れこまれてもわからない。	女性 ４０歳台 長浦地区	環境美化 公園・緑地 路線バス 商業
19	大通りからはずれた所にコミニティバスを運行してほしい	女性 ７０歳以上 長浦地区	路線バス
20	人つどいがあまりない私です。 たまたま、他人から優しくされたことがありました。 心から嬉しいと思いました。 それから、自然の緑が、大都会と違ってすがすがしく、ほっとした気持ちになります。 思いやりある人間関係、やさしく、緑が輝やく袖ケ浦であって欲しいと思います。	女性 ７０歳以上 富岡地区	公園・緑地 コミュニティ
21	・子供を産める病院が市内に無いのはどうかと思います。 ・ゆりまちは人が多いですが、駅の反対側は何も寄るところがない・・・。 ・水道水の汚染問題はどうなりましたか？ ・市のお知らせをＬＩＮＥの友達追加で毎回チェックしていますが、あまりパッとしないです。 ・ゆるキャラのガウラと女の子がかわいくないです。 ・高速バスがめちゃくちゃ便利です。 ・もっと子供が増えるような政策をお願いします。流山市のような。 ・2000 名ランダムもいいですが、もっとたくさんの人の意見を聞いてみるのはいかがでしょうか。	女性 ３０歳台 －	子育て支援 医療 市街地形成 高速バス 市民参加 情報共有 行政運営 上水道 その他
22	・小学生（高校生も）がバス通学できる程度の運行本数があるとありがたい。学校までの距離が長い為、車で送迎すると地域住民からクレームが入り困っている。子供も地域の方もお互いに困っている。 ・市内に本屋がないのも、文化的に低く感じる。	男性 ４０歳台 根形地区	路線バス 商業
23	障がい者にもっとやさしい町づくり バスの運転手のなり手がおらず路線バスの本数が少なくなったり路線がはいしされたりしているのでどうにかしてほしい（車を運てんできない為）	女性 ４０歳台 長浦地区	障がい者福祉 路線バス
24	商業施設に行く楽しみがない。→活気を感じない。 お魚の新鯖な物が無く、自分の出生地に戻りたくなる。 道路によく日常ゴミが捨てられていてマナーの悪さを感じる。（個人的な意見）	女性 ７０歳以上 長浦地区	環境美化 商業

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
25	・産婦人科がないのはおかしい ・水道水が味変があったりする時がある。 　上流で家畜飼育がされいる事で、汚染が流れ塩素で消毒した事による変水との事でしたが、汚水が流れ出て水質がおかしくなる事がおかしい。整備不足と思う。 ・長雨や多雨の際、下水から水があふれ道路に流れ出るのは整備がなっていないと思う。	女性 ７０歳以上 昭和地区	医療 下水道 上水道
26	このアンケートもランダムにと言っているが年令別でどう思っているのか聞いてもよいのでは 質問や解答も、もう少し深く「はい／いいえ」ではなくて意見を書くところもあってもよいのでは 問６も３ケではたりないです	女性 ６０～６４歳 根形地区	その他
27	・保育士の負担軽減や給料 up をしてあげてほしい（質を高めるためにも） ・部活動がなくなり、子供たちの運動格差、体験格差がひろがってきている気がする。	女性 ３０歳台 昭和地区	幼児教育・保育 サービス 学校教育
28	小学校の出席番号が男女別に振られているのには驚きました。前例を踏襲し続けて思考停止しているように感じられます。就学初期から男女差を植え付けるのはやめるべきと思います。性が必要な場面は本来、ごく少ないことに気づくべきです。	答えない ３０歳台 長浦地区	学校教育
29	30 年以上、市内で生まれ育ったため、近年の市内の発展にとまどう所もあります。子供はこれから小学生ですが、自身は人数が程よい教育現場でのびのびと過ごしてきましたが、今は人口増加と現場のキャパが比例していないのでは・・・と不安もあります。 小児科医なども欲を言えばもっと身近に多くあるとありがたいです。人口増加は市にとって、とても良い変化と思いますが、それを支える環境も発展していく動きを私自身も情報を得ようと思います。	女性 ３０歳台 長浦地区	学校教育 医療
30	空気が悪い　風の向きによって鳥くさい時も有り、煙突から黒い煙がモクモク出ているのを見ると気分が下がります↓↓ 長浦駅前で朝市等してはどうでしょうか？ 地元の農家さん野菜フリーマーケット的に？ 活気有る町に（日曜日市みたいに）	女性 ７０歳以上 長浦地区	環境美化 商業
31	バスの本数がとても少ない。 車運転できない人が不便！！ 公園の草がボーボーなのでマメに草刈りしてほしい。 ペット可の避難所をたくさん増やしてほしい！！！	女性 ５０歳台 長浦地区	防災 公園・緑地 路線バス
32	生き生きと活気ある市になって欲しい。 市内には若者が高校を卒業を期に他県、都会に進学、就職に出て行き、せっかく身につけた技能知識を生かす場なくＵタウンできず、老人世帯が増え過疎化がどんどん進む。空家、放置された土地、休耕田が広がりヤードばかりが広がる。若者が定住できる、若者の安心して勤ける会社の誘致を進めてほしい。 また、商業地の拡大公共交通の充実、医療期間も全科少なくとも１ヶ所はあって欲しい。 より楽しく明るく緑あふれる自慢できる市になって欲しいと願います。	女性 ７０歳以上 平岡地区	医療 商業 雇用・就業
33	近くにスーパーがあると嬉しいです。 高齢者が多いので	女性 ６５～６９歳 根形地区	商業
34	高速バス新宿線のアウトレット行きを増便して、袖ケ浦ＢＴ行きを減便するのはおかしいです。観光客を増やして、地元住民に不便を感じさせるのはいかがなものかと。 町の街灯が少ないので、増やしてほしいのと、ＬＥＤ式にして下さい（坂戸の森） 坂戸からアウトレットに行く道の草の整備をして下さい。 駅近くに、チェーン店のカフェが欲しいです。（コメダ、ドトール等）	女性 １０・２０歳台 昭和地区	道路 高速バス 商業
35	駅前周辺の商店街のさらなる誘致活性化を期待してます。	男性 ６０～６４歳 昭和地区	商業
36	街灯が少ないと思う。防犯的にも増やしてほしい（特に通学路）。 道路わきの雑草のせいで見えなかったり、中心線ギリギリによって走らないといけないほど危険。こまめに草をかってほしい。（長浦駅～姉崎までの線路沿いの道危ないです）	女性 ３０歳台 長浦地区	道路
37	袖ケ浦で生まれ育ち愛着はあるが、むかしからある全ての施設が傷んで病んでいる。市民会館や臨スポ、道路の痛みなどはひどい。（←多くの人が揺れると言っている） 見た目は良くなる駅前の開発や公園にお金を掛けるのは判るが生活のベースとなっている部分を直すべきと思う。 何をどうしたいのか、どうしていくべきか皆で考えていきたい。	男性 ５０歳台 長浦地区	道路 その他
38	路線バスが少ないので不自由です。本数が少ないのは利用者が少ない理由だと思いますが、なんとかお願いしたいです。	女性 ６０～６４歳 昭和地区	路線バス
39	・現在中川地区に住んでいるが、長浦地区にくらべ過疎化が進んでおり（子供達が住まない、学校に生徒がいない）問題である。 ・さらに病院がない。産業が育たないなど、なにか中核となる施設が必要と思う。 ・災害面　小櫃川・松川の整備を働きかけてほしい。今、想定外の大雨に早期の対応が必要に思います。	女性 ７０歳以上 中川地区	防災 市街地形成 河川
40	・旅行などに行って,住みやすそうな町などはすべて、ゴミや草かりなど整備されていて川などにはゴミも無く、浚渫がなされている。 水害などにも効果があり、土手などの草とり（草かり）をする事によって景観も良くなる。 川に木道などを整備し、カフェなどがあったらすてきです。 箱物などを作るより、街並みを良くすると住んでみたい街になり若者にとっても良く、人口が増える可能性あり、税収も上がる。	男性 ６５～６９歳 中川地区	河川
41	袖ケ浦駅北口（ゆりまち）、長浦駅（イオン）はあるが大型の店舗が無く木更津市での買物が多い。大型の店舗（生活用品、ファッション等）の誘致に力を入れて欲しい。（木更津、君津にある「アピタ」級店舗）	男性 ７０歳以上 根形地区	商業
42	・道路の整備	男性 ７０歳以上 中川地区	道路

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
43	ＩＣＴ化やＡＩを導入し市民と相互の情報交流を計り市政運営に役立て適切に効率の良い行政にする。 運営が機動にのって市民との交流が良くなったら市会議員（県議、国会議員）を少しづつでも減らす。	男性 ７０歳以上 平岡地区	情報共有 ＩＣＴ化 行政運営
44	袖ケ浦駅前、長浦駅前のちがいからわかるように、市内において色々な事が差がありすぎて、とてもとまどいます。市内全体が、それぞれの良さを出していけるようにして欲しいです。 以前、親の介護でとても困っている時に市役所の方々に親身になって相談でき、とても心強かったです。行政運営は効率的だけでなく、身近に感じる事ができるともっと住みごごちが良く安心して生活できるのでは、と思っています。 住民が増えて、交通量も多くなってきているので、公園、道路の整備は今までと同じようにするのではなく、少し見直しをしても良いのではないでしょうか。 特に道路の雑草はすごくてあぶないと感じる時があります。	女性 ５０歳台 長浦地区	市街地形成 公園・緑地 道路 行政運営
45	10 年先、20 年先を見すえた老若男女が平等に快適に暮らしてゆけるまちづくりをめざして欲しい。 教育はもちろん働きやすい職場、商業の活性化もしっかりと議論して皆でつくっていけるように行政指導よろしくお願いしたいです。 長浦駅周辺がとてもさびしい状態なのでなんとかして欲しい。 駅もせっかく作り直したのにとても使いにくいです。 今は車を利用していますが、この先車に乗れなくなったとき、どうしたらいいのか不安です。	女性 ６０～６４歳 長浦地区	学校教育 市街地形成 商業 雇用・就業 男女共同参画社会
46	・安心して子育てが出来るまちづくり・安心、安全なまちづくり ・高齢者にやさしいまちづくり ・市民と市との協働によるまちづくり ・都市基盤の整備、充実したまちづくり 以上地域住民と行政とが一体となって取組んで、活力ある袖ケ浦市となるよう袖ケ浦市総合計画を推進してください。	男性 ７０歳以上 長浦地区	子育て支援 高齢者福祉 市街地形成 公園・緑地 道路 河川 下水道 行政運営
47	・地域に個人商店（本屋・花屋等）がなくなり木更津市内を利用している。 ・袖ケ浦市の財政はうるおっているイメージがあったが（他市の住人から税金安くて良いと言われた）どうなのでしょうか？ ・もっと市独自で色々な支援ができるはずでは？（米 5kg では足りません） 千葉市ではインフルエンザの予防接種の補助を拡大してる→袖ケ浦市は高齢者だけ、小児は２回しなくてはいけないので補助して欲しい。	男性 ５０歳台 昭和地区	医療 商業 行政運営 財政運営
48	・横田周辺に住んでいます。国道 409 号が狭いし大型トラックもビュンビュン通るので、車の移動ですら怖いですが、子ども達の通学や遊びの際の移動が心配です。 人もいいし田園風景もとても好きですが、それが１番心配です。国道をどうにかは難しいとは思いますが念頭に置いて頂けると幸いです。 ・毎月広報誌見てます。とても楽しみにしてます。これからもよろしくお願いします。 ラインを用いた発信もとてもいいです。便利です。	女性 ３０歳台 中川地区	道路 情報共有
49	出産できる病院が少ない 保育園の待機児童が少なくなるようにととのえてほしい。 働きながら子育てしにくい。	女性 ３０歳台 昭和地区	幼児教育・保育 サービス 医療
50	最寄りのバス停から病院や市役所に直接いけるバスがあったら良いなと思う。	男性 ５０歳台 平岡地区	路線バス
51	路線バスが少なすぎる。	女性 ４０歳台 長浦地区	路線バス
52	現在保育園に通っている子供が将来小学生になった時、学童に入所できるかどうか懸念している。そのため、私立の小学校の受験や他市への引っ越し等も検討しているので、学童の枠や数を増やす、小学校等へ送迎サービスのある民間の学習塾のような放課後に子供を預けられる場を充実させて欲しい。	－ － －	子育て支援
53	※自治会のメリットは何ですか？市政がやるべき事を、自治会にお願いしている（公園清掃等や市内一斉清掃）のでは？ 募金活動→募金は正しく使われていますか？ 回覧物も不用な物ばかり、わざわざ次の人に届けるのが、めんどうで仕方ない。自治会を抜けたい！！ ※公園の遊具が危険のテープをまかれたまま放置されているのはなぜですか？危険なら早く何とかして下さい！ ※ふる里納税で収められるべき税金が他へ移り税収が減っているのなら（？）寄付金が集まる魅力ある市になる様努力して下さい。 ※市役所内の雰囲気がとてもいや！！ 悪い事をしていないけど、なぜか緊張する。（他の人も言っている） 市民に寄り添う気持ちが感じられないから。 そもそも税金で、お給料を貰っているのだから市民に奉仕するべき公務員さん達なのではないですか？ ※広報そでがうらで頑張っている人や方々にスポットを当て紹介する意味は何ですか？それを知って、どうしろと言うのですか？ ※市内数ヶ所にあると思われる住居表示板の劣化が著しい。不用なら処分して頂きたい。 ※高い税金を払っているのは義務なので仕方ないけど恩恵は感じられない。そんな国民が多いと思う。	女性 ５０歳台 長浦地区	情報共有 行政運営
54	袖ケ浦駅周辺だけに力を入れている感が強い 他の地域にも目を向けてほしい	女性 ５０歳台 根形地区	市街地形成
55	・路線バスの本数を増やして欲しい。 ・福祉の重要性を見直し、待遇の改善を図って欲しい。 ・スポーツの出来る環境を増やして欲しい。（バスケットコートや体育館）	男性 １０・２０歳台 根形地区	スポーツ・レクリエーション 地域福祉 高齢者福祉 障がい者福祉 路線バス

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
56	市内のあちらこちらの道路の停止線が消えているところが多くて分かりづらいので全部きちんと整備して欲しいです。 また、旧道を木更津方向に走行していると左側の草木が伸びてはみだしてきている為、それをよけようとして車線をはみ出してしまうことがあります。 長浦駅前の和食よへいの空店舗を早くなんとかしてほしいです。長浦駅がさびれたように思われてしまいます。	女性 ５０歳台 長浦地区	市街地形成 道路
57	袖ケ浦市が今後魅力ある街として、どの様にあるべきかをもう少し市民に判りやすくアピールする。 未来構想が不明（具体的に何をいつまでやるのかを明確にする。） 1つ1つを確実に成果を上げる。 外国人教育をしっかりする。（地域コミュニティーとしての重要性を認識してもらう。）	男性 ７０歳以上 昭和地区	コミュニティ 情報共有 行政運営 その他
58	高齢者にやさしい街づくりに心掛けて下さい。	男性 ７０歳以上 ー	高齢者福祉
59	子どもの医療費ですが、病院等1回かかるのに200円かかっています。君津、木更津は無料となっていますが、今後無料とする計画はありますか？ 子どもは病気やけがが多いので（と、いっても月に6回（？）も一機関にかかることはまれですが） 1回目から無料になってくれるとちょっとの病気でも病院にかかりやすいです。保育園にいっていてちょっとの風邪で休んでも「病院にはいかれましたか」ときかれます。もう少し病院にかかりやすくなってくれるとうれしいです。	女性 ３０歳台 昭和地区	子育て支援 医療
60	・通学路の危険な場所の確認をお願いしたいです。 ・グレーチングがはまっていない所 ・草がすごい所	女性 ４０歳台 長浦地区	道路
61	袖ケ浦駅前2丁目のT字路くらいから、抜け道として、高須会館に向けて朝の通勤時間帯にすごいスピードで走っている車を多数みかけています！！（車に、小さい子供のせてチャイルドシートにのせてない人もいます） 子供と駅前2丁目の横断歩道を渡ろうと、手を上げても、車は、止まらず無視、すごいスピードで通過する車が多すぎて、とても危険だと思います。いつ、死亡事故が起きてもおかしくないといつも感じています！！ 中には、歩行者がいて、止まってくれるドライバーもいますが、、、。 市の職員の方には、一度、朝の7時～8時すぎくらいまで、抜け道の車の状況など確認して頂きたいです！！ 高須地区に住んでいる住民が駅の方に車で行く時、大沢食堂らへんからくるドライバーがスピードだしてきて危ないと思っている方がたくさんいると思います。 子供が来年、小学生になるんですが、とてもじゃないけど、1人で小学校まで通学させてあげられる状況ではないです！！ とにかく、早く改善して頂きたいです！！！ よろしくお願いします！！！ 死亡事故のない袖ケ浦にして下さい。 子供がとにかく、犠牲にならない世の中にして下さい。	女性 ３０歳台 昭和地区	交通安全
62	夜間の道路の照明が少なく安心して歩けない。	男性 ７０歳以上 昭和地区	道路
63	田舎は今の時代送り迎えバスか車なので児童数少ない小・中学校は家から遠くなっても良いのでどんどん合併させてほしい。少ない児童数で学校生活する子供がかわいそう。根形と平川中はとくに	女性 ３０歳台 中川地区	学校教育
64	・とても住みやすく、おおむね満足しています。あえて、いうことですと路線バス等があげられます。本数の少なさもありますが、電車を利用する際に、リンクしない場合が多々あります。特に夜は、21時以降になるとバスは運行していない、そしてタクシーもないということもあり、不便だと感じます。駅の近くに住んでいる場合はよいのでしょうが、そこより遠い方々は帰宅する際にそれぞれの苦労を抱えていることが想像されます。何かしらの形で交通の利便性を高めていただければと思います。	男性 ５０歳台 根形地区	路線バス
65	若い世代の定住を促進してほしいので、市内から県外の大学等へ通学する学生を対象に高速バス通学定期券の購入費の一部を補助していただきたいです。袖ヶ浦バスターミナルは東京都だけではなく神奈川県までのアクセスが良いですが、定期券が高い為、通学を断念してしまう人も多いです。（君津市は月額20,000円の補助をしています。） せっかくアクセスが良いのに、利用できないのは残念です。 ぜひとも検討をお願いしたいです。	女性 ４０歳台 昭和地区	子育て支援 高速バス
66	若い人たちに住んでもらいたいと思う まちづくり、たとえば企業進出、電気自動車の充電基地、停電しないまち、プロスポーツ　マリーンズの2軍の誘致とか槇の実特別支援学校のとなりの福祉センターあと地の利用は、県との相談で警察所の誘致など 市としての目玉、アピールなど	男性 ６０～６４歳 長浦地区	スポーツ・レクリエーション 工業 シティプロモーション その他
67	中川、豊岡、平岡地区の商業施設を開発しほしい。 市内に総合病院を作って欲しい。 古い橋（堂谷橋）を修繕してほしい。	男性 ５０歳台 富岡地区	医療 道路 商業
68	袖ケ浦に越してきて感じたこと。 ・車を持たない、運転できない人には、不便で、道路でも危険な町。（車のスピード、マナー） ・子ども達が素直で優しく育っている町 ・野菜がとても美味しい ・未来が楽しみな町	女性 ４０歳台 根形地区	青少年健全育成 交通安全 農業

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
69	・旧平川地区の市街化調整区域の見直しによる商業街区の再形成（昭和 50 年代後半以降の過疎化と各種商店・飲食業の廃業）を促進させ農業を中心としながら、にぎわいのある街区創りに期待しています。 ・特に平川行政センターのある東横田駅から 409 号沿いの三高方面までは調整区域逃れ程度の店舗が点在程度有ったもののこの１０数年で廃業増加、新規参入無しで「袖ケ浦市のまちづくり」から見放された状態です。 ・是非バランス有る「まちづくり」をお願いしたいと希望します。 下水道整備から見放された住民より	男性 ６５～６９歳 中川地区	市街地形成 農業 商業
70	袖ヶ浦市は、東から西へ農業地区、商業地区、工業地区のかたちととっていると思います。農業地区（平川、中川富岡、根形）の発展をいろいろと考えてもらいたい	女性 ７０歳以上 平岡地区	農業
71	市街地以外の方が高齢者が多いのに路線バスなどがほとんどないので、だれも免許を返納したがらない。 あぶない運転や 20～30 キロの走行の車をよく見かける。 バスがむずかしいなら小型バンなど定期的に巡回する公共の乗物があった方が良いと思う。	男性 ４０歳台 平岡地区	交通安全 路線バス その他
72	災害時の避難所や備品（簡易トイレなど）がきちんと行き渡るのかを確認していただきたいと思います。また、消耗品など期限切れ近い品を配布（安価で）するなどして財政を圧迫せずに充実した備蓄ができる工夫をしていただけるとありがたいです。 また、各家庭での準備も大切ですので市として教育やガイドライン、自治体での取り組みなどの自助についての支援も大事かと思います。	男性 ４０歳台 昭和地区	防災 情報共有
73	本屋がほしい 蔵波小分散してほしい 市民まつり（ドイツ村無料開放・花火大会）を復活してほしい アレワイサノサ？？袖ヶ浦駅前の人しか楽しくないと思う 料理教室などガウランドのような破格で子ども向けにほしい 自治会に入るの強制みたいでいや　　負担が多い 図書館や市役所・公民館での子ども向けイベントはとてもありがたいがすぐに定員オーバーになってしまって予約するのが大変（ディキャンプなど）	女性 ３０歳台 長浦地区	子育て支援 コミュニティ その他
74	・産婦人科がない。 ・公園が汚い。（きれいな所もあるのが）草がのび放題、猫のフン等。 砂場に動物が入らないよう囲いが欲しい。更に屋根があり日陰になる所があると良い。 ・子ども館はあるが、室内だけでなく戸外でも遊べる子育て支援センターがあると嬉しい。保育園の園庭開放は園児中心。親子だけで遊べる所が増えると良い。木更津のゆりかもめのような。 ・ゴミ落き場が汚く、ゴミが散乱している所があり気になる。個人のマナーも悪い。 ・幼稚園の数も少ない。 ・保育士の給与 up。命を預かる大変な仕事だと思う。	女性 ３０歳台 昭和地区	子育て支援 幼児教育・保育 サービス 医療 環境美化 公園・緑地
75	平成通りの道路の整備をしてほしい。凸凹なので、、、 クスリのアオキの交差点が混む問題を解決してほしい！！	男性 ３０歳台 長浦地区	道路
76	スポーツを安全に楽しめるよう施設の整備をしてほしい。 テニスコートが多くてありがたいですが、コートのはがれが多いので、はりかえてほしい。	女性 ４０歳台 長浦地区	スポーツ・レクリエーション
77	・公共交通機関のない地域に住んでいる。特に高令者の移動手段の充実をお願いしたい。 （10 月から「チョイソコがうら」が始まりますが、運用して いく中でバージョンアップなり、新システム導入等、より良い、利便性の良いものを目指させるよう 検討お願いしたい。） ・上記に関し、自身も含め周辺では自動車を運転出来る内は良いが、子供と同居していないなどの家では引越しなければならないとの話題が多く出ている。	男性 ７０歳以上 平岡地区	高齢者福祉
78	いつも市政活動ありがとうございます。 袖ケ浦市は、近隣の市にくらべて、とても住みやすく、伸びしろのある地域と思ってます。 今後とも、大好きな袖ケ浦をよろしく、お願いします！	男性 ４０歳台 長浦地区	市街地形成
79	すみません 市政にあまり興味がありません 住みやすい市ではありますが、特長にうすい気がします。	女性 ５０歳台 長浦地区	市街地形成
80	今後 高齢化が増々進むことから高齢者が住み易い街が重要であると思います。 子育て支援が重要であることは言うまでもないですが、援助等は国の政治的課題と思います。 公園・緑地等の整備は、土地柄を基礎とした、海岸近辺の観光施設を含めて、近隣市、県、国との連携（働きかけ）が必要。市の活性化につながると思う。	男性 ７０歳以上 昭和地区	子育て支援 高齢者福祉 公園・緑地 広域連携
81	・3 駅の周辺の活性化を考慮した街づくり ・交通機関を整える・乗り合いもあるが路線バスの本数が減っていて利用しにくい ・自治会に入らない人が多くなってきている 入らなくてはいけないという同調圧力はないのだろうか？ AI やインターネットによる個人情報の管理をしているのであれば高令者のお祝いに関するお祝いは市で行うなど市民の負担を減らしたらよいのでは？他市では市からカタログやパンフレット お祝いの品が贈られている。結婚しても女性も働く時代なので自治会に担せる事の見直しは必要ではないですか？	女性 ５０歳台 昭和地区	市街地形成 路線バス コミュニティ ＩＣＴ化 行政運営
82	問５以外で問４の No. ３６市内の商業環境改善に期待します。	男性 ４０歳台 長浦地区	商業
83	道路にのびている枝の伐採をお願いします。 台風・大雨の時枝がたれさがって危険です。 長浦から袖ケ浦駅へ向かう君津信用組合の先の所です。 その他の所も枝が下がっているので早急に対応をお願いします。	男性 ７０歳以上 長浦地区	道路

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
84	道路脇の雑草特に歩道の雑草雑木じゃま美しくない 悪臭発生場所への指導し生活環境の良化	男性 ６５～６９歳 根形地区	環境美化 道路
85	各自治会活動も、若手を中心に活動出来る環境が必要と思われる。高齢者が運営する地域活動が、必要の参否を問う事が必須ではないでしょうか。 長浦駅前祭は、参加をためらいます。 （運営側として）	男性 ５０歳台 長浦地区	コミュニティ その他
86	・高齢ドライバーの免許返納→危険な運転が多い。 タクシー→コミュニティバスの充実又は無人電気バス ・高速バスの袖ケ浦駅停車→駅を中心とした、医療、スーパーなど徒歩での移動可能なコンパクトシティー（免許のない若者、車１台の家族、老人） ・上水道の料金高い、まずい、断水→カルキが多く、ステンレスなど、すぐに白くなる。東京の水もすごくおいしいとは思わないが、袖ケ浦の水道水はまずすぎる。料金は東京の 1.5 倍。 ・袖ケ浦の知名度向上、緑化　街が殺風景、駅前の活性化　空地の有効活用 ・全世代が住みたいと思える街づくり（偏った世代ではなく） ・頑張ってください	女性 ５０歳台 昭和地区	交通安全 市街地形成 公園・緑地 高速バス 路線バス シティプロモーション 上水道
87	隣の木更津・市原はコンビニでダンボールの回収を行っているところが多く、子育てしながら働く身としてはゴミの日に大きなダンボールを持って行けずに困ることがあるので袖ケ浦市でも実践してほしい。 （カンやビンの回収をしてくれるところも少ない） 市の管理する森林の伐採をなかなかやってもらえず車が通れないことがあった こちらが連絡して伐採しにきてもらうのではなく、定期的にやってもらえると助かる	女性 ３０歳台 長浦地区	ごみ処理 道路
88	市街化調整区域にこだわりすぎて、昔からなんら変わらない、発展の望めない地域には人は増えない、減る一方です。 田舎でも、若い人が、住みたいと思う物が、有ると良い。	男性 ６５～６９歳 富岡地区	シティプロモーション その他
89	・駅前の商店街が空きばかりでさみしいので誘致などできたらいいと感じる。夜暗くて怖いし。 　でもシャッターに落書きがないのは良いと思う。 ・公園の近くに住んでいますが定期的に草刈りがされて、保育園から遊びに来る子どもたちが楽しそうで何よりです。 ・ちょいそこがうらに期待！！	女性 １０・２０歳台 昭和地区	公園・緑地 商業 その他
90	下水道を市内全てにして欲しい 長浦駅前の環境がひどい。 袖ケ浦駅前だけ開発されて長浦駅前はさびれていくばかりだと思う。 閉店したままの華屋与兵衛の跡地だけでもどうにか活用できないものか…。 保育園？カフェ？Ⓟ代は時間で有料でいいから何か人と待ち合わせができるスペースにして欲しい。 市内に本屋がないのは終わってると思う。	女性 ４０歳台 昭和地区	市街地形成 下水道 商業 コミュニティ その他
91	高齢世帯です。車の運転が出来なくなったら、買物通院が困ります。公共交通機関はとても不便です。もっと便利な所へ引っ越すことを考えています。 市内いたる所で街路樹の管理が悪かったり除草がされていないため、交通事故につながるのではと思い、とても不安です。 「チョイソコがうら」は、会員登録、事前予約なのでハードルが高い。老人向きではないと思います。	女性 ６５～６９歳 富岡地区	高齢者福祉 公園・緑地
92	袖ケ浦市の中心地は物がそろっており、何の心配もなく、すごすことが出来ますが、市の外側に行けば行くほど毎日の生活が大変だなあと思う事があります。 子供達の通学も、雨の中、たくさん歩いての通学になるようなので、もうすこし、目を向けてあげてください。	女性 ６５～６９歳 昭和地区	交通安全 市街地形成
93	人を集めて税収を増やしたいのだろうが、集められる魅力があるとは思えない。アメフトやら女子サッカーやら、市外から呼んでいるが、ただうるさいだけ。割と静かなのが唯一の評価点だったが、移住者も多くなって、ただただ住みづらい。駅のホームにエスカレーターが設置されていないのは不便。袖ケ浦駅のホームから改札までは階段の段数が多い。エレベーターに乗るのは待たなくてはならない事が多く、なぜわざわざ高い位置に駅舎を設置して、不便にしたのか。ベンチの座面も高く、高齢者や障害者、子供は改札前のベンチには座るなと言わんばかり。「安心のまち」と掲げるのならば、考えた方が良い。	答えない ４０歳台 昭和地区	スポーツ・レクリエーション 鉄道 シティプロモーション その他
94	・子宮頸がんワクチン等、全員が無償か安く打てる様にして欲しい。 ・もっと住みやすい街にしてほしい。商業施設を増やす等。	女性 ３０歳台 長浦地区	健康づくり 商業
95	・市民の立場にたった行政をしてほしい。 ・もっと市民の意見を聞く事とです。 ・行政と市民が一緒になって、明るい未来の袖ケ浦市を！ ・箱もの作りで終わらない様に！	男性 ７０歳以上 昭和地区	市民参加
96	まちづくりではないのですが、行政関係の書類ですがもう少しわかりやすい言葉を使用していただけると理解しやすいのでお願いしたいです。 また、健康推進課の男性の声が小さく聞き取りずらいので大きな声での対応をお願いしたいです（特に電話）。 丁寧な対応をしてくださる方とそうでない方がいらっしゃるので（わからないことを何度もきく時など）できれば丁寧な対応でお願いしたいです。 まちづくりでは、道路に覆いかぶさる木（桜　はぎの石油）は台風後の道路や大型車通行時にあぶないので少し気をつけてほしいです。	女性 ５０歳台 根形地区	道路 その他

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
97	街路樹は落葉のない木にしてかたずけ等住民の負担を軽くして下さい。 公園を明るくし防犯カメラを設置して下さい。 ゴミステーションにも防犯カメラを設置して不法投棄を減らして頂きたい。 IT 化で QR コードを用いる様になりましたが老人にはむずかしいのでアナログと両方使えるとありがたいです。	女性 ６５～６９歳 長浦地区	高齢者福祉 防犯 公園・緑地
98	高齢化にともない昭和地区長浦地区は生活していてもまだいい、（スーパー、ホームセンター等）車が乗れるのなら。平岡、中川、富岡地区の高齢者の方は、免許返納世帯は、今後が心配。空家、空洞化が進む。大型スーパー等　生活、人が集まる地域に変えられないものかなぁ…と思う。「のぞみ野」が、今、ひとつだったから無理なのかもしれないが…	女性 ６５～６９歳 昭和地区	高齢者福祉 市街地形成
99	・火そう場の増設 ・ガウランド 　料金を下げろ	男性 ５０歳台 昭和地区	健康づくり 火葬場
100	子育て支援はとても大切だと思います。 税金を沢山支払いがんばっている中高年の人たちにもやさしい街であってほしいと思うこのごろです。	女性 ５０歳台 長浦地区	子育て支援 高齢者福祉
101	広報の声が聞きとりにくい。 市役所近くのアンダーパス交差点が、どこまで進入していいのか、わかりにくい。 子育て支援に力を入れるなら、給食の無償化をした方がよいと思う。 お忙しいと思いますが、よろしくお願い致します。	女性 ３０歳台 平岡地区	子育て支援 道路 その他
102	今ある施設や環境の充実に力を入れてほしい。道路の補修や、草刈りなど	男性 ６５～６９歳 昭和地区	公園・緑地 道路
103	・広域農道がまっ暗なので街灯を設置しほしい。 ・東京湾に鉄道を通してほしい。アクアラインは万年渋滞で時間が読めず、袖ケ浦市のますますの発展の為には東京湾横断道路が必要。	男性 ６０～６４歳 根形地区	道路 鉄道
104	住宅開発が進み人口は増すが学校、公園、プールなどの設備の補修がされず学びや遊ぶ場が不自由に感じています。 また、商業施設も満足できるものが無く、隣接市に行くほかありません。住宅開発ばかりが進み、生活に必要な病院や商業施設が増えるどころか減っている事にも不安を感じます。その辺りも併せた都市計画を進めていくことを願っています。 それから、袖ケ浦市の大気汚染、水質についても心配です。安全に生活できる様、注視してまいりたいと思っています。	女性 ４０歳台 長浦地区	学校教育 スポーツ・レクリエーション 医療 環境保全 公園・緑地 商業
105	食品関連の話ですが、より安心とした食生活を送りたいため、なるべく無添加の食材を増やしてくださると良いなと思っております。 またカーブミラーが必要だと思う部分にミラーが設置されておらず、下手したら事故になりかねないと思っているので、道路状況を確かめていただきたいと思います。	女性 １０・２０歳台 長浦地区	道路 その他
106	「国、県、他市町村の動向を注視し、調査・研究」が多すぎる。 自分で考え、自分で行動しよう。 「全課題を万遍なく」ではなくて、優先順位をつけ、一点集中して解決していこう	答えない ７０歳以上 長浦地区	行政運営
107	僕は、過去はたち代車の免許取りたかったのに、現在 61 歳で年れいにがされた仕方ない、長浦駅バスもタクシーも無く困まっている、バスを 1 時間に、4 便位の 10 時まで都会なみ増やさないの困まるストレスたまる 頭のかた過ぎるいいかげんなのも厳しいくらい話しもだめ当たりの良くない人に囲まれストレスたまり過ぎノイローゼ気味俺ストレスたまりノイローゼ気味長浦の●●●●●●●●●の●●●●●●●●●の●●●●●人間めんど見話しについていかれないし●●の●●●●は、世権話しすごく難かしいとか意知悪な聞き答たえ頭かたい、ストレスたまる ●●●●もいいかげんめんど見対人関係についていかれない頭悪るいかたい人ばっかり	男性 ６０～６４歳 長浦地区	路線バス
108	現在、のぞみ野に住んでいます。クスリのアオキには大変たすけられています。欲を言うなら、もう一つくらい、小さな子供を連れて買い物に寄ることができる店があるとうれしいです。	男性 ３０歳台 根形地区	地域福祉 商業
109	・幼稚園が少ない ・病院（小児科）が増えるといいです。 ・学童が足りません。 　働いていなくても、子供を預ける場所があれば、急用の際など、助かります。（たよる人がいないため）	女性 ４０歳台 昭和地区	子育て支援 幼児教育・保育サービス 医療
110	・家が増加し、森林が減少している。 ・人口が増えて、学校の敷地が狭くなっている。 ・運動会の規模も少なくなり、思うような教育が出来ていないと感じる。 ・野球・サッカーなどの人口は増えるがやれる環境か少ない。 ・小児科が少なすぎる。	男性 ３０歳台 昭和地区	学校教育 スポーツ・レクリエーション 医療 環境保全
111	・医療ケア児も受け入れてくれる保育園つくってほしい。誰でも受け入れてくれる保育園	女性 ４０歳台 長浦地区	幼児教育・保育サービス 医療
112	昔、空き巣に入られ、木更津から警察が来ました。遅かったです。袖ケ浦にも警察が出きたら、もっと安心できる町になると思う。特に北口が開発され、外から色んな人が入ってきてるので、少し不安です。 ICT 化とありますが、年寄りにはなかなか分からない事が多いです。	女性 ７０歳以上 昭和地区	防犯 ＩＣＴ化 その他
113	高齢者の住みやすい町を望みます。	女性 ７０歳以上 長浦地区	高齢者福祉
114	久保田代宿バスの時刻表が少なくもう少し出してもらいたい	男性 ４０歳台 長浦地区	路線バス
115	家の近くに整備されていない森があり、虫が大量発生しているので、整備してほしい。	男性 ４０歳台 長浦地区	公園・緑地

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
116	免許返納後のサービス充実化 通勤快速の復活必要 路線バスの充実化	男性 ５０歳台 長浦地区	高齢者福祉 鉄道 路線バス
117	小学生の子どもがいます。私が小さい頃は、登校・下校は子どもだけで歩いていきましたが、現在は周囲から「危ない」からと、それができない状況です。 父母共働きのため、朝も帰りも付きそう事は不可能です。防犯のためとはいえ、嫌な時代になってしまったと感じています。 もっと子どもを自由に遊ばせられるようになればと本当に思います。難しいのですが… それでも、私は袖ケ浦市で生まれ育ったので、この市が大好きです。	女性 ３０歳台 中川地区	青少年健全育成 防犯
118	・防災上危険な場所を早急にてこ入れして欲しい。 ・免許返納（車）した後の交通の確保、バス、コミニティーバス、配車等の検討、実施。 ・サークル（趣味）の広報化を進めて、体験や講習でオープンにした方が参加しやすく、市民の為にもなる。（市原市のように公報でサークル活動を発表、体験者も増加し、活性化する）	女性 ７０歳以上 長浦地区	高齢者福祉 防災 路線バス コミュニティ その他
119	私は令和元年に神戸から転入して来た 75 才の老人です。来た年には、赤トンボも見受けましたが今は全く見かけません。川には、全く小魚も見当たりません。神戸の都会にあっても、街中では、ホタルも飛び交います。町の小川には、魚も泳いでおります。袖ケ浦に来て全く自然がないのにびっくりしております。東京湾に魚つりも出来ません。現在大阪道頓堀川の水質改善されてアユも住んでいる様です。袖ケ浦の川は死んでおります。原因は農薬です。稲の苗を育てる時に、昔はパダン今はホクコーのプリンスを使用、トンボのヤゴは全て死滅してしまう。自分の故里を想う時子供の頃遊んだ小川や川での遊びを思いだしその思い出があるから愛せるのである。その思い出をもっているかどうかで袖ケ浦を愛せるかが決まる。 自然を大切にする心が生まれるかどうかは大人の心がけで良くなる事。自動車に乗って他県に行く時神戸ナンバーと袖ケ浦ナンバーでは大分違う。袖ケ浦はどこのうら淋しいナンバーかと思う。日本一の自然豊かな町にしませんかこれが一番大事な事。	－ － －	環境保全 農業
120	富川橋や小坪橋から望む川の土手から竹（？）が迫り出していて川幅が狭くなっており今後心配です。キレイにしていただきたいです。	女性 ５０歳台 富岡地区	河川
121	しょうがい者の施設をふやしてほしい。 ４７才の子をもつ親より	女性 ７０歳以上 長浦地区	障がい者福祉
122	1. JR 線路脇の雑草見ぐるしい。（枯れる時期は火災危険有り） 2. この地区は、外国人が住んでいるアパート（共同住宅）は、ゴミの分別が出きていない為、状況は良くない。	女性 ７０歳以上 昭和地区	環境美化 ごみ処理
123	・安心して共働きできる保育園等の充実 ・街灯が少ない ・公園がすぐに雑草でいっぱいになり子どもが遊べない ・駅前の商業施設をもう少し充実してほしい ・昭和小前の歩道の幅が狭く、子どもが歩くとトラックとの距離が近く危ない	女性 ３０歳台 昭和地区	幼児教育・保育 サービス 公園・緑地 道路 商業
124	のぞみ野は水道水が消毒くさく、直接使えません。（料理などに） インターネットでこのアンケートをやろうとしましたが、一時保存をしていたのに時間がたって初めからになり、面倒でこちらにしました。二度手間でした。	女性 ３０歳台 根形地区	上水道 その他
125	①「チョイそこガウラ」の取組は良いと思う。 ②小中学校の教員不足を感じる。教育の内容も、いかに子どもに問題を起こさせずに（←トラブルの原因になりそうなことは禁止する等のやり方が多い）、やらせるべきことをやらせるか、ということに教員が必死になっていて、自ら考えて行動できる人を育てる教育ができていないと感じる。 ③農業も盛んな市なので、畑や田の上にソーラーパネルを設置する営農型太陽光発電を、市として推進してはどうか。C02 削減に積極的な取組をすることは、未来（次世代）のことをちゃんと考えているというアピールにもなる。 ④（②に関連する。）学校が、とてもストレスの大きい場になっていて、合わない子や、現状に疑問を感じる子は、登校するのが辛くなりやすいと思う。 学区の見直し、通学方法の多様化（スクールバス）、カリキュラムの見直し、放課後の学校の開放、など、新しい運営のし方を検討して、ぜひ、子どもたち（先生たちに）にとって居心地の良い場所になってほしい。	女性 ４０歳台 長浦地区	学校教育 環境保全 農業
126	雑草などの撤去を定期的にお願いしたい。遠くに旧道を車で走行時気になります。	女性 ７０歳以上 長浦地区	環境美化
127	・毎年、防災訓練を実施していただき、知らなかった知識を得ることができ、とても勉強になりました。今後も防災に力を入れたまちづくりに期待しています。	女性 ４０歳台 長浦地区	防災
128	公共交通手段が未発達なので、車移動が多くなります。 それなのに、主要道路が、混むことが多く、ウラ道は細くて通行しづらさを感じます。 そのせいか、市内で買い物をするより、市外に出て買い物をする方が便利さを感じています。 現代に合った道路整備と、高齢化社会に合った交通手段の確保を期待します。 地区の役員や消防団員の確保も、現代に合った人員（要,不要）刷新も希望します。	女性 ５０歳台 中川地区	道路 行政運営
129	現在、息子がお世話になっている福祉作業所うぐいす園について。 建物の老朽化に伴い閉鎖の可能性があると耳にしました。大変お世話になっているので閉鎖されると困ります。 何とか存続させていただきますようなにとぞよろしくお願い申し上げます。	女性 ５０歳台 昭和地区	障がい者福祉
130	良いまちづくりのためのご努力に感謝しています。 今後も特に①安全、防災、防犯への対策について向上していく様にお願いします。 ②又、高齢化社会への医療施設やアクセス方法の向上についても充実にむけて対策をとっていただきたいと思います。	男性 ７０歳以上 根形地区	医療 高齢者福祉 防災 防犯

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
131	平岡地区に住んでいるが、自動車の運転が出来なくなったら、生活していけるかどうか大変心配している。対策を含めた、都市計画を進めてほしい。	男性 ７０歳以上 平岡地区	高齢者福祉
132	・高齢の親が免許返納したがその際の優待は住む場所によって使えない事もある事を知ってほしいです（そもそもバス乗り場が遠い）（本数もない） ・なぜ袖ケ浦市には警察署がないのでしょうか？そこそこ人口もいそうなのにないのが疑問です ・近隣の市（三市）に住んだ事がありますがゴミの処理方法は袖ケ浦が一番楽です（プラスチック分けなくても OK ） 　裏をかえせばもっと分別した方が良いのかな？？とも思いました	答えない ４０歳台 平岡地区	高齢者福祉 防犯 ごみ処理
133	高校までの授業料の無償化が実現してくれると助かります。 誰かが全力で取り組んで無償化になったらみんなが袖ケ浦市を大好きになると思います。 子供達の未来を素晴らしい生活になる様に私も協力出来る事は頑張りますので皆様も頑張って下さい！	男性 ４０歳台 －	学校教育
134	高校入試のための学習塾は充実していると思いますが、大学受験のための塾が君津四市を通して不足していると思います。アクアラインを通して都心よりこちらに住む人が増えていると思うので大手の塾、予備校が来てくれたらと期待しています。	女性 ６０～６４歳 昭和地区	その他
135	・袖ケ浦駅前に大きな商業施設ができたので、長浦駅前にも作ってほしいです。しかし予算の都合上厳しいところもあると思いますのでそんなに検討して頂かなくても大丈夫です。 ・長浦駅前ユーザーとしていくつか要望があります。 　◦まず駅前（臨海スポーツセンターとは逆）の通りがかなり狭く、車道の方を自転車で通っていると駐輪場前の道でガードレールと車の間を通ることになり大変危ないので、ガードレールを一部取るなどの対策を　　講じて頂きたいです。 　◦絶対に市原市や木更津市とは合併しないで下さい。	男性 １０・２０歳台 長浦地区	道路 商業 その他
136	袖ケ浦駅周辺ばかりに税金を投入し平岡地区などおきざりにされている感じが強いです。	女性 ６５～６９歳 平岡地区	その他
137	医療機関（小児科）が少ないようだ。 観光地が少ない。人を呼べる場所がほしい。	女性 ６５～６９歳 昭和地区	医療 観光
138	もう少し街灯など増やしたり、道路などの防犯カメラなども、増やして頂きたいです。	女性 ５０歳台 昭和地区	防犯 道路
139	ガウラにかよってます。（健康のため） いろいろな行事が一部の人のひとりよがりで実施されていると思う。末端の高れい者はおきざり 一人で行動はできない。	男性 ７０歳以上 昭和地区	高齢者福祉 コミュニティ
140	道路や物を作る（整備する）だけではなく除草なども適性に行う環境整備が重要だと思う。	男性 ６５～６９歳 昭和地区	環境美化 道路
141	「コンパクトシティ」のまちづくり、防災・医療の充実のまちづくり、に引き続き、力を入れて欲しいです。8/21	女性 ７０歳以上 根形地区	医療 防災 市街地形成
142	4 年程前に袖ケ浦市に移住してきました。元々大阪で産まれ育ち、松戸市に 2 年住み、こちらに来ました。田舎の良さもありながら、都内へのアクセスの良さが決め手でした。観光や商業施設は、ほぼ木更津（金田）頼りなところがあり、そこにもう少し力を入れてほしいと思います。正直ゆりまちモールだけでは物足りません。どんどん大手に向けて誘致してほしいです。子育て面については、高校生まで医療費補助の対象となり、手厚くてありがたい限りです。産院や、小児科、夜間救急など、市内にあればより安心できます。 袖ケ浦 IC 付近の木更津ほたる野方面へ向かう側道の雑草どうにかしてほしいです。とにかく千葉は雑草だらけで初めはビックリしました。車の通行が困難になる前に対応いただきたいです。 このような機会をありがとうございました。	女性 ３０歳台 昭和地区	医療 環境美化 道路 商業 観光
143	税金が高い。（何に使っているのか？よく分からん）	男性 ５０歳台 長浦地区	財政運営
144	とにかくむずかしかったです。身近に小さな子供がいるわけでもなく、空家なども適正に管理されているのか全くわからず。などなど。駅前の電線の地中化など防災が進んでいるところもあれば少し外れると小さな電柱がまばらにあるだけの暗い道…。自分も高齢になって来るとこの先歩くのが困難になって（←介護の認定まで行かない‥）免許も返納し、果たして日々の買物などどうすればよいのか‥。 アンケートも面倒くさい質問ばかりでした。 何とも答えようのないものが多くて降参です！	女性 ７０歳以上 昭和地区	高齢者福祉 その他
145	幼児から高齢者まで安心して暮らせる町や市であって欲しいこと小子化により人数が減ったり、災害などで備えが一般家庭でも準備をすることは大切だと思いますが　市など行政からもこんなことが役だったとか　日々の暮らしの中の良かった知恵や困った時の方々から得られた話の中にも良くしていくヒントがあると思います。そんなガイドブックなどを作ってみてはどうですか。良かったら皆の生活向上になっていけばと思います 少しでも安心して暮らせる良い市であり続けて下さい。	女性 ６０～６４歳 根形地区	防災
146	ここ数年県道の朝夕の混みがひどくなっていて困ることがある。（大囲戸交差点、16 号のガード下） 長浦～16 号ガード下県道のわきの草や枝がのびていて山側の自動車が中央線をはみだして危険だと思う事があるのと木の枝がのびていて電線等にかかっていて強風や台風の時停電にならないか心配。（がけがくずれないかも心配）時々長浦駅のあたりが臭い時がある 住み良い袖ケ浦市になると良いですね	女性 ６０～６４歳 長浦地区	環境美化 道路
147	活気を持ったまちづくりには盛り上げ役が必要だと思います。	男性 ３０歳台 長浦地区	その他

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
148	身近かにある中央図書館についてお願いしたい。入口が旧道から車で行くしかないけど図書館のまわりをもう少し充実させて頂きたい。坂戸山の方から気持ち良く歩いていける道や、涼める場所、遊べる（子供）場所、おしゃべりできる場所、木陰とベンチ 色んな年令の人がふらっと立ち寄れる環境を図書館の周りに整のえていただけると、もっと気軽に図書館を利用することが出来ると思う。	女性 ７０歳以上 昭和地区	文化芸術・文化財
149	自宅周辺の道路の雑草が長い間放置されています。交通安全上の問題もあるので早急な対応をお願いします。住宅が多数あるにもかかわらず、草を燃やす家があります。せんたく物を外に干せないので、市役所に何度か電話しましたが何回もくり返している状態です。広報的に、大々と周知してもらえるように工夫をお願いします。	女性 ６０～６４歳 昭和地区	環境美化
150	平岡・中川・富岡地区は人口の減少に伴い、日常生活に負の連鎖を感じている。特に、公共交通機関の存続、医療機関（開業医）の増をお願いしたい。医療機関の多くは袖ケ浦地区に存在している。何をやるにしても袖ケ浦地区に重点を置いている気がする。平川地区の過疎化について考えて下さい。	女性 ６５～６９歳 中川地区	医療 路線バス
151	・内房線の便数少ないうえ、バスと連携していない ・近くの本屋がなくなり又買い物や外食など市原市や木更津市千葉市の店を利用することが多い ・遊水池の管理が以前よりひどくなり、以前のようにしてほしい（草を刈り水路を整備して散歩や運動ができていた）と市に訴えても、遊水池だからという答えしか返ってこない	女性 ７０歳以上 長浦地区	環境美化 公園・緑地 鉄道 商業
152	道路におけるバイクなどの騒音がここ最近いちじるしいと感じます。	女性 ３０歳台 昭和地区	その他
153	農家の方は、高くて高性能の機械をたくさん所持しています。例えば草刈り機一つとっても楽にあっという間に草を刈ってしまう機械を持っている方も多いのに年間使用回数も少なく寝かせたままにしています。―こんなもったいない話はないですよ― 市内いたる所のじゃまな雑草は農機具をお持ちの農家さんを登録制にしてきれいにして頂くというのはどうでしょうか。 学校がお休みになると学校給食がなく一日２食しか食べられない子供が多くいるそうです。子供食堂とか、各家庭の余った食料をいつでも受け付けてくれる窓口を設けて頂けませんか。誰もが認知できるまでその事を PR していただきたいです。子供だけでなく生活困窮者にも同様です。	女性 ７０歳以上 昭和地区	子育て支援 環境美化 その他
154	環境保全、農林業を維持するには、有害鳥獣の駆除捕獲が必要だと思います。 山を背負う地区では、田畑を荒され農作業者は高齢者のため（後継者もいない）段々作らなくなり動物が増える一方です。箱ワナは一時的なものです。電気柵も、最近役に立たなくなってきてます。 長浦、蔵波地区に比べ、内陸平川地区は、医療機関が少ない。不便・交通手段もない高齢者がこれから増える。サポートにも予約が必要だったり面倒なんだと言う声を聞きます。 もう少しスムーズにできたらうれしいです。	女性 ６５～６９歳 平岡地区	医療 路線バス 農業
155	・古くなってきた市街地のインフラ設備（上下水道管・ガス管・電柱や道路の縁石など）の更新スピードアップ ・“平成通り”の木更津市延伸の早期化 ・16 号バイパスや平成通り沿いへの商業施設の誘致（大型商業施設とは言わないが、せめて飲食チェーン店ぐらい欲しい） ・自然災害（地震・豪雨・台風）に対する防災・減災（特に旧 16 号線沿いの斜面の樹木、小櫃川堤防など） ・観光資源としてドイツ村や潮干狩り場は成功していると思うが、海浜公園や袖ケ浦公園、百目木公園など既存の公園をもっと魅力的にできないだろうか（ゆりの里などの商業施設を造るなど）。 ・海釣り公園的な施設を造ることは難かしいのだろうか？ ・市内全体的に防犯カメラが少ないように思う（大型商業施設も少ないので）　以上。	男性 ６０～６４歳 長浦地区	防犯 公園・緑地 道路 下水道 商業 上水道
156	福王台交差点の時差式化　学生の登下校時（特に朝）学生の横断がとぎれない為車が進行できず渋滞している。 ゴミ収集　月曜日に収集のある地域　祝日が多く捨てられる日が少ない（金曜日収集から水曜日までゴミが捨てられないのは不便を感じます。）特に暑い時期。	女性 ５０歳台 昭和地区	ごみ処理 道路
157	・昭和小学区ですが、学童が 3 年生以降別の場所になるため、子どもを迎えにいくのに不便です。３ヶ所回らなくてはいけない。	男性 ４０歳台 昭和地区	子育て支援 学校教育
158	市の東側は過疎化が高齢化が進んでいて、市の運営から、見捨てられている感がある。どんどん住みにくくなっていくようだ。	女性 ７０歳以上 富岡地区	市街地形成 その他
159	1. 産婦人科の病院の誘致を望みます。袖ケ浦市には産婦人科の病院が一つも無い。 2. 自治会への加入率が年々低下している状況です。抜本的な取り組みが必要と思います。自治会は地域でのふれあいの輪を広げ、お互いに助け合いながら身近な生活環境を良くしていく為に重要なツールだと思います。このままでは分断化（会員と非会員）も懸念される。	女性 ７０歳以上 長浦地区	医療 コミュニティ
160	水道料の値上げ理由が節水で収入が減ったとありました。民間企業は利益を目的としているので集金業務はともかく維持管理は委託するものではないと思います。 外国人については宗教で土葬をゴリ押ししたり、素行の良くない人が集って治安が悪くなったり、ベジタリアンがどうのとゴネたり、そういうものをきぜんと断れないのなら受け入れないで下さい。川口市はひどい。 病院については精密検査を受ける大きい病院が欲しい。木更津中央病院は混みすぎて予約がとれない。 色々なワクチンの補助が欲しい。帯状疱疹は必要。 自治会必要ですか？ゴミも各自宅前回収にすれば不要では？	女性 ５０歳台 昭和地区	医療 コミュニティ 多文化共生 上水道
161	袖ケ浦市の施設の見直しを行い、統廃合を進めていく時期にあると考える。 財政収入が伸び悩み、将来人口も 65,000 人から減少していく見込みであれば、それに沿った施設及び職員の配置を考えて、歳出予算の抑制を図らないといけないのではないか。 今後、道路、河川、橋梁等の老朽化に対応するための財源を、市は確保していかなければならないと思う。	男性 ６０～６４歳 長浦地区	行政運営 財政運営

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
162	老人が多くなる町なので、もっと老後を楽しめる様な設備と補助を考えて欲しいです。	女性 ７０歳以上 長浦地区	高齢者福祉
163	台風、津波、地震、年々増悪する災害に対し、命を守る対策の強化を押し進めていっていただきたい。 施設に入居、又は在宅で生活される高令者が年々増加しています。高令者の病院への受け入れが難しくなる事は容易に想像がつきます。在宅医を増やし、必要時は病院とも連携をとりながら苦痛なく最期を迎えられるような医療が受けられる様なまちづくりをお願いします。	女性 ６０～６４歳 昭和地区	医療 高齢者福祉 防災
164	子育て支援は大切だが、すでに国の支援でもなされている。しかし 40 代以降の子どものいない世帯が増えている現状でその世代が高齢となる時、年金も減り、身寄りが無く、生活を維持していくのは難しくなると考えられる。健康や、生活全般で相談できる窓口を１つにわかりやすくしたり、通院や買い物に気軽に利用できる金額でコミュニティバスなども必要になるのではないか。子どもだけではなく、そういった方々の支援や対策もお願いしたい。	女性 ４０歳台 長浦地区	子育て支援 高齢者福祉
165	この数年で袖ケ浦駅前（海側）に多くの家が建てられ、保育所や小中学校は生徒増となってきました。ギリギリ教育が保たれている状態のように思います。大きい学校にも目を行き届く教育を望みます。逆に根形や平川では地域が高齢化し、交通の便（バスの本数減）が減ってきています。地域のタクシー？（青い札ののり場）がもっと高齢の方が使いやすくなるといいと思います。特に高齢の方はスマホで予約とは難しく…（コロナの時のワクチン接種の時そう思いました）。私の住んでいる地域は高齢の方が多く在宅の方も多いので昼間でも治安がよいです。ゴミ出しの時にも声をかけてくださったり、何かあると声をかけてくださいます。そういうご近所の方が住みやすい地域にこれからもなってもらいたいです。袖ケ浦は他市や他県からも多くの市が移住してくるので、とてもすみやすい地域なのだと思います。	女性 ５０歳台 昭和地区	幼児教育・保育 サービス 路線バス コミュニティ
166	・市の LINE に登録しております。6 月頃？一部地域に断水の時間があったと思いますが、解消のお知らせ等もなく驚きました。ライフラインについては、放送のみではなく、LINE でもお知らせいただくことは難しいのでしょうか？ ・駅からの高速バスをもっと充実させてほしいです。（羽田空港行、東京便の増加等…）	女性 ３０歳台 昭和地区	高速バス 情報共有
167	町場ばかりじゃなく農村部又山のほうにもっと力を入れて下さい　土地わたくさんあります。町場の狭い場所に無理に公共事業や病院（お店）など立てないで もっと袖ケ浦市を大きくつかって下さい	男性 ６５～６９歳 富岡地区	その他
168	市街地や周辺でも、道路の街路灯が少なく暗い場所がある。 歩道が草木で通行しにくい場所もある。 治安は良いと思うが、防犯カメラ等設置増やせば、さらに安心な街。	男性 ４０歳台 長浦地区	防犯 道路
169	広域農道の整備、センターラインが消えている場所や草でガードレールの位置がわかりずらく、特に夜間とても危険を感じています。	女性 ５０歳台 昭和地区	道路
170	袖ケ浦バスターミナルへ迎えに行くことが多いです。その時に、「このバスはどこから来たバスなのかが、不明です」到着するバスは全て「木更津東口行」ですよね。 そこで、横浜↔木更津東口とバスのどこか記載されていれば、助かります。 小さい孫を連れてバスから降りる娘を乗降口まで、迎えてあげたいと思うだけです。	男性 ７０歳以上 根形地区	高速バス
171	数年前に婦人科系の病気になり、現在も木更津と市原の病院に通院しています。市内に婦人科の病院が出来ると有難いです。	女性 ４０歳台 根形地区	医療
172	“多文化共生”などというまやかしのマスゴミ用語に踊らされて、不法滞在外国人を導入することのなきよう切望！ 日本人が本来持っている寛容性を思い起こし、とってつけたような外国かぶれの浅薄な思想に捉われず、毅然とした行政態度で臨んでいただきたい。 どこぞの○○市のような無法地帯にならないために、“不法”の意味を良く考えていただきたい。	男性 ７０歳以上 根形地区	多文化共生
173	・私は、袖ケ浦市に住み３６年となります。台風など災害により行政を頼る際、助成金等の制度を情報共有できず。受け取ることができませんでした。市民と行政の情報共有をしっかりとしてください。 ・子育てにも不満も有ります。子育てにおける１番の問題は、不安ではないでしょうか。施設利用料、物価高騰、ヤードの増加、人口減少。どれも子育てするには不安を感じざるおえません。安心。あんしんが袖ケ浦市には、市民には、１番欲しいものです。長くなりましたが、私の意見とします。	男性 ３０歳台 中川地区	子育て支援 情報共有
174	ミニパークの草刈は定期的に行なわれていると思いますがまわりの木（つつじの木など）を短かく切ってほしい。道路から見えないので不安です。	男性 ７０歳以上 長浦地区	環境美化
175	袖ケ浦駅北口は大きな開発で大変発展し若い世代の人も増えています。一方、長浦駅前は、駅前の飲食店や商店も、数年の間になくなり衰退の一方です。街の整備、防犯の面では、長浦駅前通りの暗いこと。夜８、９時すぎには特にローソン～さつき台病院までの通りは、時間帯的に若い女性や、塾帰りの中・高生がいるにもかかわらず真っ暗になります。最近では不審者や不審なバイクがその暗い木陰にいるところを目撃されています。袖ケ浦駅前近隣の通りのような明るい防犯灯を是非つけていただきたいです。 高齢者が多いですが、病院や大きなスーパーなどには結局自動車が必要で危険な運転が目立ちます。路線バスやチョイソコの充実を願います。環境のためにも自動車にたよらずに快適に住める環境を望みます。	女性 ５０歳台 長浦地区	防犯 路線バス
176	袖ケ浦市に来て４０年近く経ちます。町から市に変わり大きく発展したと感じています。今は環境もよく便利で人も親切で、大変暮らし易い街です。 ただ、袖ケ浦市は大変広いので、様々な面で地域格差が大きいように思います。駅近くに越してきたご家族は入れる保育園さがしが大変だと言いますし、私ども農村部の家庭では、「車の免許返納したら、お店も病院も遠すぎるね。あと 20 年でネットスーパーももっと身近になるかな。」などと話しています。どの地域どの年代も安心してくらせる袖ケ浦であり続けてほしいです。	女性 ５０歳台 中川地区	子育て支援
177	有害鳥類駆除の時こちらにカラスが移動して農作物をあらすので来ないようにしてほしい。 住宅地は今の静かな環境をキープしてほしい。	男性 ４０歳台 昭和地区	市街地形成 住宅 農業

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
178	・大型車（特にダンプ）が通っている道路の修繕を大通りだけでなく、こまかい道路でもしてほしい。 ・内房線の上り方面の道路（287 号線）の保全をして下さい。雑草等が道路にはみ出していて車を中央によせる場合があり、対向車とぶつかりそうになる。 ・公共工事の見積額以上に費用がかかるからといって追加で支払うのは見通しがあまいのではないでしょうか？ ・不法投棄されている家電の回収と処理	女性 ３０歳台 根形地区	環境美化 道路 行政運営 財政運営
179	・自然災害に強いまちづくりを期待しております。 ・雨の日の朝、長浦駅前ロータリー（イオン側）の渋滞がひどいように思います。電車で通勤・通学する家族を送る車が増えたのではないかと思うのですが、バスのルートや、本数を増やしていただくとか、今一度、ロータリーの拡張等ご検討いただけないでしょうか。	女性 ５０歳台 長浦地区	防災 道路 路線バス
180	道がせまくなるくらい草がはえてる所をこの時期よく見かけて、危ないと思うことがあるので、特に道路にはみ出す草の除草作業はこまめにやっていただきたい。事故の原因にもなりかねないので。 特に感じるのは、袖ケ浦教習所近くの交差点からゲート下近辺が危ないです。	女性 ４０歳台 昭和地区	環境美化
181	ガウラ号をまわしてほしいです	女性 ７０歳以上 長浦地区	路線バス
182	・大型商業施設が少なく他市に行く必要がある ・長浦、袖ケ浦両駅周辺も閑散としている。魅力のある所が少ない ・図書館も、もう少し違った形で利用できれば。静かなのはよいがハードルが高い気がする ・アレワイサ祭りも以前のドイツ村の方がとても行きやすく楽しむ事ができた	女性 ３０歳台 長浦地区	市街地形成 商業 その他
183	国道 287 号、セブンイレブン市原椎津店から木更津方面に向かう道で何ｋｍにも渡って草木雑草が茂っており、中央車線を跨がないと通れない箇所だらけで大変危険です！以前に（数年前から）除草を依頼し担当の方にお伝えしたので間違いなく把握しているはずなのですが、、、 対応して下さったかと思えば数ヶ所の除草作業（草刈り）のみで「えっ。これで終？」と思うほど短い区間だけでした。市長は、この危険を把握しておられるのでしょうか、、、担当者任せになっており、見過ごしていませんでしょうか？ 朝 6 時 30 分～8 時頃、夕方の時間帯がとても混んでいる道ですし過去に自転車と自動車の事故もあった道です！！！ 自転車の通行も多く、かなり危険な状態が続いております。 市原市と袖ケ浦市の間の道路だと思うので協力しながら市民の安全を守って下さい、、、！！！ 毎日、通学、通勤に使っている方がとても多いので早急に対応して下さい。 よろしくお願いいたします。	女性 ３０歳台 長浦地区	環境美化
184	袖ケ浦に住むようになってから早 40 年。最初はとても田舎すぎて交通も不便でしたが、アクアラインができてから随分、多方面での開発、発展がめざましく交通の面でもだいぶ整備され住みやすくなって来ました。けれど、60 才を過ぎて大病をし障害者になってしまってから感じる事は、障害者はおいてきぼりのところがあるのを感じています。 どうしても外に出ることがむずかしくなり、社会とのつながりがむずかしく、内にこもってしまう事が増しました。 例えば障害者も気軽にリハビリができるような運動施設駐車場にある車イスマークはあるけれど、そこから先の整備などなど障害者の意見が反映された整備される事を望みます	女性 ６５～６９歳 長浦地区	障がい者福祉
185	1. 蔵波台地区では側溝に蓋がなく大変危険です。早期に設置していただきたいです。 2. 食品や日用品の買い物は近くで出来ますが、それ以外の物（衣類家電書籍など）は市原市や木更津市まで行く必要があります。高齢化も進みますので、地区区で買えるようになると便利だと思います。 3. まちづくりとは別かもしれませんが、警察署を作って欲しいです。人口も増加していますし、事件事故に迅速に対応してもらえると安心です。運転免許の更新の際にもぼ便利だと思います。 4. 近隣の市ではコンサートや落語、バレエなど市民会館でのイベントが多く開催されていますが本市では少ないと思います。文化や娯楽イベントを増やして欲しいです。 5. 長浦駅から蔵波台へ行く県道周辺の整備をお願いしたいと思います。車でも徒歩でも通る度に悲しい気持ちになります。道路も歩道も狭く樹木や草も伸び放題でおよそ駅前通りとは思えません。 6. 個人の商店、例えばパン屋、カフェ、花屋、書店などを誘致したら住民が楽しめて人通りも多くなり、魅力ある街になるのではと期待します。	女性 ６０～６４歳 長浦地区	文化芸術・文化財 防犯 道路 河川 商業
186	おしゃれなカフェが少ない 自治会活動を縮小して欲しい 交通マナーが悪い	答えない ６０～６４歳 昭和地区	交通安全 商業 コミュニティ
187	袖ヶ浦市で商売とか事業ができるような相談や空き家・貸店舗等の活用が出来れば良いと思ってます。	男性 ３０歳台 根形地区	住宅 商業
188	図書館の予算を増やして欲しい。	女性 ６０～６４歳 昭和地区	文化芸術・文化財 財政運営
189	ここ数年、駅北口周辺を中心として市民の活動や経済を盛り上がるようなイベントが行われたり、南部では地域の農業を広めるような体験型の催しが行われたりし、活気が感じられるようになった。 17～8 年くらい前からだと思うが、市の各種助成金が減額され、周辺の市と大きく逆転しているように感じる。 小さいことかもしれないが、資源ごみの収集日が月曜日に当たっている地域は振替休日になることが多く、特に 9 月は 2 週続けて休みになる。そこに台風や荒天で急に休みがただいた年もあり、大変困った。収集業者は急に休んだ場合、代わりの収集日を設けるべきだと思うがどうなのか。	女性 ６５～６９歳 昭和地区	ごみ処理 財政運営

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
190	新しい市街地に住んでおり、道路等整っているので運転が苦手な人でも過ごしやすい。 公園もたくさんあり、定期的な草刈り等安全に利用できる環境が整っている。 ただ、核家族化かつ他地域からの移住家族が増えているため地域の人との関わりが一切ない。自治体のような形で関わる人の負担を増やすのではなく、地域ごとのイベント(祭り等)や公民館でのサークル活動(子供が参加できるリトミックや工作教室)、子供会など、子育て世帯が多いからこその地域活動を増やして欲しい。 また少子化に対応し子供を産みやすい環境を整えるため、妊婦健診費の補助金、出産後のケアホテルの充実、すこやか相談時に担当の職員をつける(毎回違う職員の対応でその都度悩み事を一から話さないといけないので大変)など妊娠及び出産後のケアを充実させてほしい。	女性 ３０歳台 昭和地区	子育て支援 道路 コミュニティ
191	知的障害を伴わない発達障害を持った方など近年増えてきているのでその方たちが上手く社会と人と付き合っていける、環境、支援を広げていってほしいです。	女性 ３０歳台 昭和地区	障がい者福祉
192	幼いうちから、集団生活をすることが当たり前になりつつある昨今。子どもの持つ特性に合わない事が多々出てくると思います。現状の子育て支援システムだけでなく、一歩進んだシステムの構築。外国籍の方も生活しやすい環境整備を望みます。	女性 ４０歳台 長浦地区	子育て支援 学校教育 多文化共生
193	・暴走族のうるさい音が頻繁に聞こえる。防犯カメラ等でとらえるなどして取り締まってほしい ・朝早くから草刈り機の音で寝ていられないときがある。時間帯を制限したり、エンジン草刈り機の使用できる地域を制限（駅周辺は禁止とか）したりしてほしい ・市からの問い合わせの返信は、今回のように郵送とネットを併用してほしい。その方が投函の手間・返信料金の節約、市役所職員の人件費の節約になる ・市から送られてくる書類の手続きがわかりにくい。民間のように最初にガイドを設けるなどして市役所に問い合わせしなくてもいいように工夫してほしい。「原則的には」という表現は、使わないで具体的に「○の場合は、・・・。そうでない場合は・・・。」と明示してほしい ・もっと市役所 HP を充実してほしい。広報そでがうらに「くわしくは HP へ」と書かれていても全然詳しく説明していない	男性 ７０歳以上 昭和地区	防犯 情報共有 行政運営 その他
194	①長浦地区に居住しており、自宅周辺が小学校の通学路に関わらず、側溝の整備がされておらず、子供が側溝に落ちないか不安に思って生活している。市が整備して側溝に蓋があり歩きやすい道と、ない道で格差があり、今後は、小中学校から１㎞以内の側溝には、蓋を必ず設置するなど対策してもらいたい。子育て世帯の安心・安全に繋がるかと思う。②市の手続きについて、ロゴフォームなど電子申請できるのはとてもよい。給付金の支払なども近隣市町村と比べても迅速だったと思う。一方で、保育幼稚園課など、未だに紙書類のみ申請受付可、郵送不可、窓口申請のみ可の部署があり不便に感じている。電子申請できる部署を増やし、効率的な行政サービスを安定して提供してほしい。③袖ケ浦市は子育て世帯の流入が多いかと思うが、子供用品(服、おもちゃ)を買えるお店がしまむらくらいで、市外に出かけないと必要なものが揃わないのを残念に感じている。西松屋、赤ちゃん本舗、トイザらス、バースディなど、子供用品の商業施設を誘致してほしい。	女性 ３０歳台 長浦地区	子育て支援 河川 商業 行政運営
195	子供が健やかに育ち、高齢者に優しいまちづくりを希望します。 ・公共施設の再配置等により泳げるプールがなくなり学校を含めた子供のプールの機会が減少し泳げるようになるにはスイミングスクールしかなくなった。 ・公園は整備されているが遊具の数が昔と比べて減ってしまった。 ・シニアカーが安全に通行できるように配慮した道路の計画　※主に歩道を走っているようなので歩道切り下げ部分を横断すると転びそうだったり、信号や障害物があり通行しづらそうな個所がある。歩道なしの場所は路肩に草が茂って走れないなど…	男性 ４０歳台 平岡地区	スポーツ・レクリエーション 公園・緑地 道路
196	交通網の充実、健全な市政運営をお願いします	女性 ５０歳台 長浦地区	鉄道 高速バス 路線バス
197	小中学校の弁当の日を無くして欲しい。給食費の完全無償化。	男性 ５０歳台 長浦地区	学校教育
198	個人のモラルの問題も大きいと思いますが、道路や小さい公園などでタバコの吸い殻などのポイ捨てや犬のフンの放置がされており、子供が触ろうとしてしまって困っています。 　また暑い日が続いているとなかなか外で出られないので、室内で子供を遊びに行かせる場所が市内にあるとありがたいです。	女性 ３０歳台 昭和地区	子育て支援 その他
199	袖ケ浦駅前周辺の子ども増加による、中学校の過密化を懸念しています。 中央図書館の書架の充実と、自習室の増築を希望します。 奈良輪小周辺の用水路はなぜ地下化できないのでしょうか。そのうち他市のように水難事故になるのではと心配しています。	女性 ３０歳台 昭和地区	学校教育 文化芸術・文化財 河川
200	公共の教育施設が他の４市より古く現代的でない。建替が必要だと感じる。 大人になったら子どもを育てるのにはすごく適した環境だと感じるが、子どもの頃を思い出すと娯楽がなく、市外を出るしかない。また、公園など昔より年寄り向けになってしまい、管理も悪くなってきた。住宅特区を建設してしまったがために、自然に触れて遊べる環境も減少し、より家でゲームせざる負えない状況だなと感じる。もっと小中学生ががのびのび遊べる環境を設ければ言うことはない素敵な市になると感じる。 また、ここ近年外国人が増えている。悪いこととは思わないが自転車のマナーが悪かったり、生活を共存する側としては治安が悪くなったと思うほど外国人の生活態度がよろしくない。何でも受け入れずにもう少し内房民のために住みやすい街を目指してほしい。	男性 １０・２０歳台 長浦地区	学校教育 青少年健全育成 多文化共生

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
201	程良く便利で、程良く田舎、程良く自然もある袖ヶ浦に魅力を感じて移り住みました。 アクアラインを活かした高速バスがあるのは非常に大きな強みです。しかし、バスターミナルの立地の不便さから、バスターミナルへのアクセスに難があります。ここの利便性がもう少し向上するとより魅力は増すと考えます。 また、袖ヶ浦駅の開発には注力しているように感じますが、長浦駅にも一考の余地はあると考えます。駅前のテナントがいつまでも空いているのは非常にもったいないです。市内の拠点を分散させることで選択肢が増え、より転入者を呼び込むキッカケになると考えます。	男性 ３０歳台 長浦地区	市街地形成 高速バス 商業
202	袖ヶ浦市は人口が少ないですが、市としての対応は他の市と比較し充実していると思います。JR や高速バスを活用し、東京方面への移動も便利です。住環境も都心よりは緑も多く、ゆったりとした生活が可能です。但し、以下の３点に課題があると思います。 ①医療体制が不十分で、大きな病院ではさつき台病院しかなく、大病となった場合は市外の君津中央病院か千葉労災病院しかありません（市原市の帝京大学病院は数年後市原市から転出します）。個人医院による主治医とした対応は必要ですが、万が一の時に掛かることが出来る総合病院が必要です（なお、個人病院でもコロナ後前日予約をしない限り受診してもらません。これは非常に不便です）。 ②教育の充実が不十分です。袖ヶ浦高校の学力は多少上がっているかと思いますが、全国的に学力が低下傾向で、他市へ優秀な学生が出て行きます。また、市内には大学も無いことから、学生が集まる活気のある街とはなっていません。大学誘致を含めた学生を集める施策が必要です。 ③JR 袖ヶ浦駅前はやっと「ゆめタウン」として商業施設を完備した体制となりましたが、三井アウトレットやイオンモールの様な大型のショッピングモールが有りません。同じことをしても集客が出来ませんので、何か工夫をした商業施設の設置をすることで、より市民の利便性と共に市の活性化を図ることが出来ます。 以上３点のご検討を頂くことで、少子高齢化で空家が増え、学生や労働者が都会に人が流れていくことで地方都市の人口減少することに歯止めを掛け、袖ヶ浦市が更に発展出来るのではと思われます。	男性 ６５～６９歳 昭和地区	学校教育 医療 商業
203	もっと路線バスを増便して市民が移動しやすい環境を整えると良いと思う	男性 ３０歳台 昭和地区	路線バス
204	西松屋などの赤ちゃん洋品店が増えて欲しい	男性 ３０歳台 中川地区	子育て支援
205	わたしは都内から袖ヶ浦へ引越しました。車の運転できません。駅周りに婦人科や産婦人科がなく、これから妊娠出産子育てを考えると不安です。 歯医者はたくさんありますが、妊娠出産を助けてくれる医療機関がなく、そこが都内との違いだなと感じています。	女性 ３０歳台 昭和地区	医療
206	わからないところは「いいえ」と回答しています。	女性 ５０歳台 昭和地区	その他
207	袖ケ浦のケは大きい表記でいいのでしょうか？市で正式に決めたそうなので、変更はできないのかもしれませんが、鎌ヶ谷姉ヶ崎等と違っていいのでしょうか？	男性 ５０歳台 昭和地区	その他
208	高齢化が進む中、コミュニティバスなどの充実が必要、高齢者でも対応できる様な手続きなどが必要	男性 ５０歳台 昭和地区	高齢者福祉 路線バス
209	駅前地区では町内会を作ろうとする動きがありますが、１人親で仕事をしている方もいて、お父さんが単身赴任でお母さん１人で子供を育てる家もあり、老夫婦２人で住んでいる家もあり、時代に合わせた町内会を作るとうたっていますが、今の時代に町内会を作る必要はあるのでしょうか。町内会を作ったら役員も必要になり、やる人やらない人が出て来ます。町内会がないから引っ越して来た方もいます。それだけ負担になるのに町内会の必要性が分かりません。	女性 ３０歳台 昭和地区	コミュニティ
210	住宅地域周辺から駅へのバスが少ない不便でもっと市の方で実態調査して改善してほしい。	男性 ６５～６９歳 根形地区	路線バス
211	広い通りだけ、必要以上に明るく街灯を付けて、比較的利用されているにも関わらず通りより 1.2 本奥の細い道(北口線路沿い)には街灯が一つも付いてなく、真っ暗でいつも子供の帰りが心配です。表だけ綺麗に整備するのではなく、ちゃんと全体を整備して欲しい。	女性 ５０歳台 昭和地区	市街地形成
212	都市基盤をしっかりつくる。魅力的な都市基盤が人口増をうみ、都市としての活力が生まれる。 核ができることで周辺地域も活性化する。	男性 ５０歳台 昭和地区	市街地形成
213	都心からのアクセスが良く移住者が増えているのは良い事だとは思うが、駅前のコンビニや公園、ゆりまちモールは時間関係なく座り込んでお酒を飲んでいたり、話し込んで居座って、汚いし、子供を安心して遊ばせられない。元々ここで子育てをしているが都内で仕事をしている人間は賃金がこの辺りより高い分土地や家賃が安いからある程度の金額を出すだろうと、その人間達基準なのか家賃が毎年上がっている。元々ここで仕事し子育てし生活している人間はとてもじゃないが支払える家賃の限度を超えていると思う。地元民の事はなにも考えていない様に思う。数年前は 2LDK65000 円でそこそこ綺麗で住めました。今は築年数 15 年でも 70000 円～120000 円です。余所者歓迎するのはいいが子供の頃からここで育って今自分が子育てしているのにとても残念に思います。 夜のゆりまちモールの敷地内、店舗内などしっかり見られたら、治安が悪くなった、袖ヶ浦の良さ無くなったと感じるはずです	女性 ３０歳台 昭和地区	子育て支援 青少年健全育成 防犯 その他
214	アンケートが長すぎ。暇な高齢者しかやらないのでは。無駄な質問が多い。汚染の話など、データとして事実を出せばわかることなのに市民の意見を聞いても仕方ない。障害者が良いかどうかを健常者が自分の基準で判断しても意味がない。市民の感覚が必要になることと事実でわかることを分けてやるべき。	男性 １０・２０歳台 中川地区	環境保全 その他
215	交通機関の充実、不景気による価格の値下げ等	女性 ５０歳台 昭和地区	鉄道 路線バス
216	自然豊かで、都心からのアクセスも悪くなく 住みやすい市と感じています。 交通量が増えて来たので、今以上に道路整備に力を入れて頂けると幸いです。	男性 １０・２０歳台 中川地区	道路

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
217	いつも通勤している経路だが、線路横の道が雑草だらけになり道がほとんど雑草に覆われている。誰が管理しているのかわからず問い合わせにも困っている。また空き家かどうかわからないが木が徐々に倒れてきているところがあり、いつ倒れてもおかしくない状態のため雑草と合わせて処理をしてほしい。こちらは税金を多く払っている年収のためそれなりに対応してほしい。また排水処理がなくどんな雨の量でも水没してしまう道があるのでそれもどうにかしてほしい。全て線路横の道です。	女性 １０・２０歳台 昭和地区	道路
218	・長浦や蔵波地域には本を購入できる場がないので、可能であれば本屋などを設置して欲しい ・袖ケ浦市の行政や政策について詳しく知る機会を若年層が得ることができるような取り組みがあれば良いと思う(スマホ等を利用した政策の広報など) ・袖ケ浦市が開催するイベントについてより簡単に知れるようにしてほしい(スマホ等によるメールでの広報など)	男性 １０・２０歳台 長浦地区	商業 情報共有
219	袖ヶ浦駅周辺の開発には目を見張るばかりですが、長浦駅周辺のわびしさが住民としては切ないです。市としては市役所のある袖ヶ浦をメインにしたいんだろうなぁと思いますが、長浦の街ももう少しなんとかならないですかね？？	女性 ５０歳台 長浦地区	市街地形成
220	市民まつりは袖ケ浦駅周辺だけ重きを置かれててつまらない 新住民しか行かないのでは？ ドイツ村の時の方が広々と花火が見れて楽しかった	女性 ５０歳台 長浦地区	その他
221	奈良輪小、昭和中を卒業したが当時は教師による生徒への暴行が日常だった 今はわからないが過去そのような犯罪行為で教育した気になっていた悪質な教師は今後教職に関わらせないでほしい 交通が発達している分、道路の劣化が激しく穴や轍が目立つ 田舎道は老朽化が激しい 少子高齢化進行に伴い自治会の消滅は間違いないため自治会などに頼った地域活動は徐々に減らしていった方がいい	男性 ３０歳台 長浦地区	学校教育 道路 コミュニティ
222	国は子育て支援に対しては真剣に考えて行動していますが 老老介護や老人福祉についてはあまり関心を持たれず支援が無いので 袖ヶ浦市では子育て支援と同じように 高齢者が住み良い街づくりや支援を行って欲しいです。	女性 ６５～６９歳 昭和地区	子育て支援 高齢者福祉
223	旧道の歩道をもっと広くして整備していただきたいです。	女性 ４０歳台 長浦地区	道路
224	袖ヶ浦駅の周辺だけじゃなく，横田地区の方の環境整備も充実させて欲しい。	女性 ５０歳台 中川地区	市街地形成
225	教育にお金をかけることで、住みたい、住み続けたい、という人が増え、袖ケ浦市の大きな魅力になると思う。町から市になった頃に比べると、明らかに教育に力を入れていないことがわかる。目先のことだけではなく、20 年 30 年後の袖ケ浦市を見据えて、市政を進めていってほしい。	男性 ５０歳台 長浦地区	学校教育
226	自然環境の保全を目指すためにも、むやみな埋め立てによる水質汚染や地形への影響が及ばないよう市として取り組んでいただきたいと思います。	女性 ７０歳以上 長浦地区	環境保全
227	アンケートが長すぎる	女性 １０・２０歳台 昭和地区	その他
228	海外の観光客などへ訴求できるような魅力的なコンテンツと電車・アクアラインバスなどのインフラの拡充が重要だと感じます。	男性 ４０歳台 長浦地区	鉄道 高速バス シティプロモーション
229	都心へのアクセスもでき、自然豊かでとても住みやすい場所と思います。	男性 ３０歳台 昭和地区	環境保全 鉄道
230	火葬場は近隣にあるのでいりません。	女性 ４０歳台 長浦地区	火葬場
231	日本全体を見れば人口減／高齢化の流れがある中で、袖ケ浦市は東京郊外の通勤可能圏として人口が増加する傾向にある。若い労働人口の増加に対応する市制／サービス向上に努められたい（情報一元化とセキュリティー強化は必須）。生活関連インフラの維持・管理・向上は必要だが、将来の需要予測に基づき、適切な費用対効果を見込める案件に重点投資して欲しい。	男性 ６０～６４歳 長浦地区	行政運営 その他
232	周辺住民の監視が強く、とても不快。時に、名指しで学校に通報され苦痛を感じながら生活している。	答えない ４０歳台 昭和地区	コミュニティ
233	のべ１５年程度居住していますが、その間にも快適性は向上していると感じます。あえて懸念点を挙げるならば、書店がない（古書店はありますが）、また袖ヶ浦駅北は商店街が活発ですが駅南は少々寂しい感が、と感じます。	男性 ５０歳台 昭和地区	商業
234	医療機関が少ないため積極的に誘致して欲しい。（特に産婦人科、内科） 学童を拡充して欲しい。	男性 ４０歳台 昭和地区	子育て支援 医療
235	これまであまり活用されていなくて残念だった袖ケ浦駅北側が整備されてとても満足です。 しかし、電線が地中化されなかったことが一つだけ残念な点です。 衣食住バランスが良く暮らしやすい街です。	男性 ５０歳台 昭和地区	市街地形成
236	長浦駅から袖ヶ浦駅にかけての旧道の歩道が狭く、夏場は雑草で覆われてしまい特に危険を感じます。 定期的な除草をお願い致します。 樹木が電線に掛かっている箇所も散見されますので、こちらも定期的な管理を希望致します。	女性 ５０歳台 昭和地区	道路

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
237	日頃の活動、まちづくりに尽力ありがとうございます。 アンケートで知りましたが、広報のアプリがあること自体、知りませんでした。 袖ケ浦駅前のみ盛んですが、郊外は商業施設もなく、あまり変わっていないのが現状です。 道路状況は、40キロ規制の道路でもスピードを出していて、大型車などが走行し、とても危険な道路もあります。寝ていても、早朝から大型車の走行で家が揺れ、何度も起きたり、安心して住めない家もあります。草木が生い茂っていて、危険な箇所もたくさんあります。 道路交通整備が足りていない、またはそのようの状況を行政は把握されているのでしょうか。 SNSなどこんなに溢れている中、周知、募集などにも、さらに活用されても良いと思います。 今回のアンケートの形でも良いので、自治体に参加していなくても、情報の共有と意見をひろうなど、要望が挙げられる機会があると良いと思います。 難しいこともあるかもしれませんが、よろしくお願いします。	答えない ４０歳台 根形地区	交通安全 道路 商業 情報共有
238	市民に平等により良く	男性 ７０歳以上 昭和地区	行政運営
239	袖ヶ浦市に総合的な医療を受けられる大きな病院がない。姉ヶ崎の帝京病院が何年後かに無くなるらしいので、救急時にタライ回しにされたり、遠くまで通わなくてはいけなくなるのではないかと不安である。また、チョイソコガウラが市内全域施行になるが、アプリなどは作らないのか？出前館などのデリバリーように、今どこを走っているかリアルタイムで確認できると、待ってる間安心できると思う。 Suicaが使えるうだが、クレジットカードや、paypayなどのコード決済にも対応して欲しい。	男性 ５０歳台 昭和地区	医療 ＩＣＴ化
240	道路の植樹、緑化	男性 ４０歳台 昭和地区	道路
241	気軽に呑みに行ける店がなさすぎる スナック一件ない街なんてありえない	男性 ５０歳台 昭和地区	商業
242	子どもを安心して育てられるような環境をもっと整えてほしい。 袖ケ浦には警察署がないため、治安面において迅速性や安全性において不安な面があるため、整備をお願いしたい。	男性 ３０歳台 長浦地区	子育て支援 防犯
243	大きな商業施設がなく、食料以外の買い物は他所の市へ買い物に行かないといけないので、不便。 海側は道路や交通など整備もされ整ってますが山側は交通機関や病院も少なくお年寄りなど車も持ってないと不便。 地域によっては塾もなく、地域の学力差も出ると思う。 可燃ゴミ回収日が月曜日だと、祝日と重なる事が多く火曜日回収日の地域と収集回収の差が出ると思う。	女性 ４０歳台 平岡地区	医療 ごみ処理 鉄道 路線バス 商業 その他
244	駅前に潰れたお店があるのは治安的にもよくないし、市が有効利用したらいいと思う。	女性 ５０歳台 長浦地区	商業
245	駅周辺などは便利かもしれませんが、離れたところは結構不便が多く大変なとかがある 体調が悪くて買い物が行けなくてそんな時近くに何もなく買いに行けないとか、少し不便てす。車がないと動けない	女性 ５０歳台 富岡地区	その他
246	自分も他県から引越ししてきたが今後そのような人が多くなると思われるので自治会の充実やゴミ捨て等生活していく上で困らないようにして欲しい	女性 ５０歳台 昭和地区	ごみ処理 コミュニティ
247	?多くの人が来るイベントを沢山開催して欲しい。 ②色々な企業を誘致し働く場を増やしてほしい。	男性 １０・２０歳台 長浦地区	雇用・就業 その他
248	アンケートに『わからない』の項目があると良い(今回はどちらともいえないを選びました) あとゴミ問題ですが、プラスチックゴミの分別をすれば、かなりゴミは減ると思います あと自治体と市と資源ごみが分かれていますが、自治体・市と関係なく資源ごみを分別で回収してくれると助かります	女性 ４０歳台 昭和地区	ごみ処理 その他
249	夏に泳げるプールがほしいです。	男性 １０・２０歳台 昭和地区	スポーツ・レクリエーション
250	公園の中低木（つつじ、つばきなど、人の背丈以下のもの）は全て撤去していただきたいです。不審者が隠れることができ、犯罪につながることと、子供を見守る際、視界が開けていないと見失うからです。剪定の維持費もかかるかと思うので、公園の外からも中からも、子供を見守れるか？という視点で、中低木の抜去をしていただければと思います。 光化学スモッグ注意報が令和になってもあること、残念に思います ゴミ分別の先、どのようにリサイクルされてるか、広報などで詳しく教えていただければ嬉しいです。例えば、古着や油など、どうされてるのかわからないです 小中学校の弁当の日の廃止を望みます。１人親で子供が多い人の朝は、本当に大変です。病気の方もいます。 小さな車でもいいので、路線バスの本数を増やしてほしいです。特に、高速バスターミナル行きや駅行き。	答えない ４０歳台 長浦地区	環境保全 ごみ処理 公園・緑地 路線バス 情報共有 その他

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
251	少子高齢化の時代、未来を見据えた子供が健全に育つことのできる環境づくりに力を入れて頂ければと思います。 子育て世帯の負担を軽減し手当を充実させて頂き、人口ピラミッドが正三角形に近づくような取り組みを期待しています。 財源は有限です。高齢者はもとより現役世代が多少不利益を被ってでも、子供やその次の世代の為になる様な財源の使い方をして頂ければ、一納税者としてこれ以上嬉しいことはありません。	男性 １０・２０歳台 昭和地区	子育て支援 青少年健全育成 財政運営
252	正直、年功序列がありすぎる。 袖ヶ浦で産まれ育っていてもいなくても、同じ様に扱われ議論出来る場がない。 議論したとしても地元とそれ以外での差が激しい。 とても綺麗で住みやすく、都心にもアクアラインで直ぐに行ける利便性があるのでとても良い街であるし、ポテンシャルも高い。 だが、そのポテンシャルを上手く使えていない。と言うか使う気が無い人が地元民には多いと自分は思う。保守的と言うか、変革を怖がるというか。 勿体ないと。思う。 立場や性別、年齢なく発言、議論出来る場が少ない。年長者が頭ごなしに話を進めて行く場面が圧倒的に多い。 自分はここで育って 40 数年だが、立地も含めたせっかくのポテンシャルを使いこなせていないのが残念で勿体ないと凄く思う。 各組織に於いて、暗黙の了解の順番制ではなく、早急な世代交代が起こって欲しいと願っています。	男性 ４０歳台 昭和地区	市民参加 シティプロモーション その他
253	外国の輸入材によるバイオ発電所について、市民はどのような思いがあるのでしょうか。 　放棄農地、空家、道路脇、竹藪、放置林が隣接地域ては、猪、キョン、ハクビシンと共存です。 緑は輝いているけど、持続可能な循環型都市作りに力を入れて欲しいです。 間伐材や雑草を利用した事業こそ民間企業ではなかなかできないもの、市政の出番だと思います。	答えない ６０～６４歳 長浦地区	環境保全 その他
254	救急車は直ぐに来てくださるのに、対応してくれる病院が無い。 隣接市は　子ども館ができたり、公園パークやスケボー、バスケが出来る所があり、子ども、若者にも目を向けている努力を感じるが、袖ヶ浦には　それが無い！ 臨海スポーツセンターはプールもなく活気もなく　入りづらくなったし、テニス場は　常連らしき年配チームが飲食物広げてやりたい放題！ ご年配への配慮は理解しますが、ルールを守って　どんな年齢でも気持ち良く使用出来る様な施設を希望します。 暮らし安く変化をしてるのは袖ヶ浦駅と市役所の周辺のみ。他は　廃れて行くばかり。	女性 ４０歳台 長浦地区	スポーツ・レクリエーション 医療 市街地形成
255	アクアライン高速バスで袖ケ浦駅経由の本数が増えると良いと感じます。	男性 ３０歳台 昭和地区	高速バス
256	長浦周辺がもう少し賑わいがあればいいなと思う。 袖ヶ浦駅の方に色々集中してるイメージ。 長浦駅近くにも子育て広場のような親子で遊べる施設や小さなコーナーでもいいからできて欲しい。長浦イオンも過疎っていて、なにかもっと場所を工夫できないかなと思う。	女性 １０・２０歳台 長浦地区	子育て支援 市街地形成
257	飲み屋など駅前にもう少し活気が欲しい	男性 ４０歳台 昭和地区	商業
258	子供がもう大人な事と、近所のお付き合いがないのでわからない事が多くわからない等の回答が多いです 普通にくらせています	女性 ５０歳台 平岡地区	コミュニティ その他
259	公園に木が少なく木陰で休むことが出来ない。年々暑くなってこれでは公園に行くこともためらわれる。日陰ができる公園をもっと増やしてください。袖ケ浦駅北口から羽田空港行のバスを設定してもらいたい。	男性 ６５～６９歳 昭和地区	公園・緑地 路線バス
260	街灯を増やして欲しいです。	男性 １０・２０歳台 長浦地区	道路
261	坂戸市場の信号の周辺の歩道が草に覆われていて歩行できないので除草してほしい。	男性 ３０歳台 昭和地区	道路
262	商店街に活気がない。五井や木更津によくでかける。君津や木更津のようなコンサートができる施設が必要。臨スポのプールをなぜ再開させないか。市原アリオではバスケやスケボーで楽しんでいるのを見ると羨ましい。火力発電所の建設をみすみす放棄したのが残念。	男性 ４０歳台 長浦地区	スポーツ・レクリエーション 文化芸術・文化財 商業 その他
263	以下のような設備や環境ができたらいいなー、と思います。 ・高速バス待合所に券売機、IC チャージできる機械の設置 ・ガウライナーの増便 ・市街地周辺だけでなく、より広範囲で自転車と歩行者が安心して交通できる道路環境の整備 ・未就学児を連れて屋内、屋根のある場所で体を動かして遊ぶことのできる施設(併せて子育てしている親やご老人、学生がお茶をするような、簡易的なフードコートなどがあると素敵だと思います)	女性 ３０歳台 昭和地区	道路 高速バス その他
264	蔵波方面の最終バスが、長浦駅発 19:17 分で電車で学校に行ってる子供が帰ってこれない	女性 ５０歳台 長浦地区	路線バス

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
265	臨海スポーツセンターのプールを閉鎖？してしまうと伺いました。 やはり採算が取れないからなのでしょうか？？ 小学生の頃からお世話になっていたので少しだけ寂しい気持ちがあります。	男性 １０・２０歳台 長浦地区	スポーツ・レクリエーション
266	袖ヶ浦に住んで55年が過ぎました。年々、地域の人口が減ってきており、子供も減っています。コミュニティも希薄になりつつあります。自分の子供が地域に戻ってきたいと思える環境づくりが重要だと思います。働きやすいこと。職場があること。通勤に便利なこと。子育てしやすいこと。教育環境が良いこと。図書館が充実していること。交通が便利であること（特に、子供と高齢者の移動手段が確保できること）が重要であり、今の袖ケ浦市に不足している点です。 また、市民目線で施策が進めてられていない事業も多くあります。 例えば、ちょいそこガウラ、免許を返納した高齢者が病院に行くのも、銀行に行くのも、買い物行くのも困っている状態であり、需要は多くあります。しかし、今のちょいそこガウラの事業形態は市民ニーズにあっていません。免許を返納している高齢者は、出かけたくても歩くことが難しく、乗り換えもなかなか理解しずらいところです。 社会福祉協議会のボランティア移動サービスは、君津中央病院までの移動をドアからドアでの援助してくれます。高齢者希望する行き先でサービスを提供しています。しかし、市は、市外には行かない。タクシーや鉄道を競合すると、市民に寄り添った事業は展開しません。このちょいそこガウラは、市民ニーズに合っていないことから、平川地区の利用は少ないと想像しています。しかし、市役所は、利用が少ないからニーズが無いので、事業を中止しますと説明するのではないかと想像しています。これは大きな間違えで、ニーズに合っていない事業だから利用が少ないので、困っている高齢者の移動手段を希望するニーズはたくさんあり、ニーズに合った事業を進めれば、多くの利用者があると思っています。 市民に寄り添った事業展開を求めます。	男性 ５０歳台 平岡地区	子育て支援 学校教育 高齢者福祉 雇用・就業 コミュニティ その他
267	外食店を誘致して欲しい	男性 ５０歳台 昭和地区	商業
268	自治会の高齢化と無加入者の増加について、自治会の存続も含めて行政でも検討してほしい	女性 ６０～６４歳 昭和地区	コミュニティ
269	住民同士のどおしのコミュニティづくりが必要ですが、自治会がその能力にかけています。	男性 ５０歳台 長浦地区	コミュニティ
270	もっと商業施設を誘致して欲しい 市外へ買い物行く機会が多い	男性 ５０歳台 根形地区	商業
271	新しく区画整理で住宅が建つ箇所も、人口も増えているのに対し道路の整備が全く追いついていないと感じます。 住宅街の狭く見通しの悪い道で事故に遭いそうになった事や狭い道を大型車が通るのですれ違えない等、普段の生活に支障や危険を感じる事が多々あります。 人口が増え市が活性化するのは大変喜ばしいですが、道路の整備・安全な環境の確保は最優先に考えて頂きたいです。	女性 ３０歳台 長浦地区	道路
272	木更津市のように、オーガニック給食や自然環境、無添加食生活への興味づけや街づくりをしてもらいたいです。 環境をいくら整えても、人が健全でなければ意味がないと思うからです。	女性 ４０歳台 長浦地区	環境保全 その他
273	年配者の多い地域だからこそ、それを支える20歳～40歳の上京した若者が積極的に戻ってくる街にすることが必要だと思う。主に企業誘致などによる職の質と量の確保、交通機関や自家用車への支援など若い世代への投資が必要なのではないか。	男性 ６０～６４歳 中川地区	鉄道 路線バス 雇用・就業 その他
274	市民会館など公民館のトイレや備品、バリアフリー化など、設備の改善を是非お願いします。	女性 １０・２０歳台 昭和地区	その他
275	車道沿いの雑草の処理を早めにやってほしい、車に擦るし、見通しが悪くて怖い 特に旧道。	女性 ４０歳台 長浦地区	道路
276	①今現在子育てをしていますが他の市に比べて、子育て支援等が不足している様に思います。もっと子育て世帯を増やしたいのであればそこも考えるべき 確かに保育園誘致、建設等でお金が必要なのは分かりますが2人目からの保育料については、第一子が小学校入学後第二子からまた満額を払わなきゃ行けないと考えると働きながらこの市に住むことは考えられないです。やはり、第一子が小学校入学した後も保育園料計算時に第一子とカウントすべきでは？と思います。 ②わかりにくいホームページで必死に探しても必要なことがわからずに終わることも多いです。 今、この情報が必要なのに出てこないのはよくないです。 ③また、お年寄りの世帯では近くにスーパーなどがある方はいいと思いますがその他の方々についてはスーパーもコンビニも近くになく車が必要になってしまい免許返納が必要な方が運転することもあり危険だと思います。 そこをカバーをする政策も必要と私は考えています。 免許返納したからといって、タクシーを使うのに莫大なお金がかかる（割引されてるとはいえ）バスは本数が減らされてないこれは死活では。	女性 １０・２０歳台 長浦地区	子育て支援 幼児教育・保育 サービス 路線バス 情報共有 その他
277	大学を誘致したらどうでしょうか。 勝浦に行くとアルバイトの大学生がたくさんいて、活気を感じます 大学時代に住んだ町が袖ケ浦市ならばきっと良さがわかり、東京へ就職しても、家庭を持っても、そのまま住み続けるのではないでしょうか。 大学が難関大学であればあるほど、長い目でみて袖ケ浦市の繁栄に繋がるものと思います。	女性 ６０～６４歳 昭和地区	その他
278	子供を産み育てやすい環境。（手当て等）の増額 駅周辺に商店街ができたらもっと街が良くなる気がする	男性 １０・２０歳台 昭和地区	子育て支援 商業

SEQ	自由記述内容	属性 上段：性　別 中段：年　齢 下段：居住地区	意見の分類
279	ハローワークが無い。近隣市から引っ越してきたのですが、袖ケ浦市にはハローワークが有りません。木更津市まで出向かないといけません。ハローワークが有ると便利だと思います。 ゴミの回収日が少ない。袖ケ浦市は回収を委託してないからでしょうか、ゴミの回収日が少ないです。	女性 ４０歳台 長浦地区	ごみ処理 雇用・就業
280	交通面での不安が多い。（特に通学路）R16 を渡る箇所の安全性を確保してほしい。	女性 ３０歳台 昭和地区	交通安全
281	夜中にエンジンを改造した集団の爆音がうるさい時が頻繁にあります。袖ケ浦に限った話ではないと思いますが千葉といえば暴走族というイメージもありますし未だに身近に感じるので取り締まってほしいです。久留里線の踏切の一時停止などを取締るよりよほど重要だと思います。	女性 ３０歳台 平岡地区	防犯
282	小中学生の給食費無償化は絶対必須です。高校生までの医療費も無償化も絶対必須です。この二つをやらずに、子育てしやすい街とは思えません。妊娠中から産後までの検診の少なさも近隣の市に比較してもダントツで子育てしにくい街です。 保育料の基準も対して他の市に比較しても安いわけでもないのに、保育料が安いと以前市の方から返答があり疑問でした。 シングル世帯に対しても制限が多く、子育てしやすいのは一部の駅周辺に住まいの方だけではありませんか？ また蔵波のヤマト運輸付近からまきのみ支援学校までは通学路とのことですが、歩道の整備がなされず通学路としての機能を果たしていません。いずれ子どもが犠牲にならないと通学路に歩道は設置しないのでしょうか？ 公園も雑草に生い茂り全く整備されず危険な状態なところも複数ありますが、市は把握していますか？また整備を該当の地区にお金を渡して任せて不正に使われず本当に整備がされているのか確認しているのでしょうか？公園は一括して市が管理すべきだと思います。 久保田不渡あたりの雑草も刈られず危険な状態が続いたり、16 号に抜ける道に大量のゴミが捨てられたままなのも、全く都市整備されているとは思えません。 駅周辺や住宅地だけを中心に捉えた整備は差別的だと考えますので、改善を要求します。	答えない ４０歳台 長浦地区	子育て支援 交通安全 環境美化 公園・緑地

4.3 普段の暮らしで感じていること

4.3.1 属性別クロス集計表

付図表 1 属性別クロス集計表（1／17）

属性		合計	1 安心して子育てができると思いますか						2 家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると思いますか						3 身近に、年代に応じて学習ができる場や機会があると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	541	82.6	88	13.4	26	4.0	503	76.8	120	18.3	32	4.9	337	51.5	291	44.4	27	4.1
性別	男性	268	226	84.3	33	12.3	9	3.4	212	79.1	46	17.2	10	3.7	137	51.1	119	44.4	12	4.5
	女性	357	298	83.5	47	13.2	12	3.4	276	77.3	63	17.6	18	5.0	189	52.9	157	44.0	11	3.1
	答えない	21	14	66.7	7	33.3	0	0.0	11	52.4	10	47.6	0	0.0	9	42.9	12	57.1	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	35	74.5	12	25.5	0	0.0	38	80.9	9	19.1	0	0.0	28	59.6	18	38.3	1	2.1
	３０歳台	92	72	78.3	19	20.7	1	1.1	70	76.1	22	23.9	0	0.0	48	52.2	44	47.8	0	0.0
	４０歳台	117	103	88.0	13	11.1	1	0.9	91	77.8	23	19.7	3	2.6	57	48.7	58	49.6	2	1.7
	５０歳台	131	114	87.0	15	11.5	2	1.5	104	79.4	23	17.6	4	3.1	75	57.3	54	41.2	2	1.5
	６０～６４歳	57	44	77.2	7	12.3	6	10.5	42	73.7	10	17.5	5	8.8	29	50.9	24	42.1	4	7.0
	６５～６９歳	69	56	81.2	12	17.4	1	1.4	53	76.8	13	18.8	3	4.3	42	60.9	24	34.8	3	4.3
	７０歳以上	133	114	85.7	9	6.8	10	7.5	101	75.9	19	14.3	13	9.8	56	42.1	66	49.6	11	8.3
職業	自営業主	31	25	80.6	6	19.4	0	0.0	24	77.4	6	19.4	1	3.2	14	45.2	17	54.8	0	0.0
	家族従業者	12	12	100.0	0	0.0	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0
	会社・団体役員	113	91	80.5	20	17.7	2	1.8	92	81.4	19	16.8	2	1.8	58	51.3	53	46.9	2	1.8
	給与所得者	149	130	87.2	15	10.1	4	2.7	113	75.8	31	20.8	5	3.4	77	51.7	66	44.3	6	4.0
	アルバイト・パートタイム	121	96	79.3	22	18.2	3	2.5	92	76.0	24	19.8	5	4.1	74	61.2	43	35.5	4	3.3
	学生	18	16	88.9	2	11.1	0	0.0	15	83.3	2	11.1	1	5.6	12	66.7	5	27.8	1	5.6
	専業主婦・主夫	97	83	85.6	9	9.3	5	5.2	76	78.4	14	14.4	7	7.2	47	48.5	47	48.5	3	3.1
	その他	13	7	53.8	5	38.5	1	7.7	7	53.8	6	46.2	0	0.0	7	53.8	6	46.2	0	0.0
	無職	90	76	84.4	8	8.9	6	6.7	68	75.6	15	16.7	7	7.8	37	41.1	46	51.1	7	7.8
世帯人数	１人	56	40	71.4	11	19.6	5	8.9	31	55.4	18	32.1	7	12.5	23	41.1	29	51.8	4	7.1
	２人	208	177	85.1	23	11.1	8	3.8	165	79.3	32	15.4	11	5.3	119	57.2	81	38.9	8	3.8
	３人	173	147	85.0	23	13.3	3	1.7	139	80.3	28	16.2	6	3.5	87	50.3	79	45.7	7	4.0
	４人	135	108	80.0	24	17.8	3	2.2	103	76.3	29	21.5	3	2.2	70	51.9	63	46.7	2	1.5
	５人以上	73	66	90.4	6	8.2	1	1.4	61	83.6	11	15.1	1	1.4	37	50.7	34	46.6	2	2.7
子どもの数	１人	100	85	85.0	14	14.0	1	1.0	80	80.0	19	19.0	1	1.0	46	46.0	53	53.0	1	1.0
	２人	260	220	84.6	30	11.5	10	3.8	208	80.0	37	14.2	15	5.8	137	52.7	109	41.9	14	5.4
	３人	105	87	82.9	15	14.3	3	2.9	77	73.3	24	22.9	4	3.8	54	51.4	49	46.7	2	1.9
	４人	10	9	90.0	0	0.0	1	10.0	7	70.0	2	20.0	1	10.0	8	80.0	1	10.0	1	10.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	132	80.0	28	17.0	5	3.0	121	73.3	37	22.4	7	4.2	87	52.7	73	44.2	5	3.0
就学状況※1	小学校入学前	51	42	82.4	9	17.6	0	0.0	39	76.5	11	21.6	1	2.0	26	51.0	24	47.1	1	2.0
	小学生	58	48	82.8	10	17.2	0	0.0	44	75.9	14	24.1	0	0.0	35	60.3	23	39.7	0	0.0
	中学生	36	32	88.9	3	8.3	1	2.8	29	80.6	6	16.7	1	2.8	19	52.8	16	44.4	1	2.8
	高校生	45	40	88.9	5	11.1	0	0.0	38	84.4	7	15.6	0	0.0	22	48.9	23	51.1	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	30	78.9	7	18.4	1	2.6	30	78.9	6	15.8	2	5.3	17	44.7	19	50.0	2	5.3
	その他	287	244	85.0	31	10.8	12	4.2	228	79.4	42	14.6	17	5.9	154	53.7	118	41.1	15	5.2
居住地区	昭和地区	226	199	88.1	23	10.2	4	1.8	180	79.6	39	17.3	7	3.1	116	51.3	103	45.6	7	3.1
	長浦地区	237	192	81.0	32	13.5	13	5.5	180	75.9	44	18.6	13	5.5	124	52.3	103	43.5	10	4.2
	根形地区	63	52	82.5	9	14.3	2	3.2	48	76.2	12	19.0	3	4.8	30	47.6	31	49.2	2	3.2
	平岡地区	47	36	76.6	8	17.0	3	6.4	33	70.2	10	21.3	4	8.5	25	53.2	18	38.3	4	8.5
	中川地区	49	37	75.5	10	20.4	2	4.1	36	73.5	10	20.4	3	6.1	27	55.1	20	40.8	2	4.1
	富岡地区	19	15	78.9	4	21.1	0	0.0	16	84.2	3	15.8	0	0.0	9	47.4	10	52.6	0	0.0
居住年数	３年未満	30	27	90.0	3	10.0	0	0.0	26	86.7	4	13.3	0	0.0	18	60.0	11	36.7	1	3.3
	３年以上５年未満	28	22	78.6	6	21.4	0	0.0	22	78.6	5	17.9	1	3.6	15	53.6	12	42.9	1	3.6
	５年以上10年未満	53	42	79.2	9	17.0	2	3.8	38	71.7	13	24.5	2	3.8	30	56.6	22	41.5	1	1.9
	10年以上20年未満	100	85	85.0	11	11.0	4	4.0	80	80.0	17	17.0	3	3.0	52	52.0	44	44.0	4	4.0
	20年以上	432	357	82.6	57	13.2	18	4.2	329	76.2	79	18.3	24	5.6	218	50.5	196	45.4	18	4.2
前住居	生まれたときから現在のところ	95	76	80.0	17	17.9	2	2.1	71	74.7	22	23.2	2	2.1	49	51.6	43	45.3	3	3.2
	袖ケ浦市内の別のところ	119	101	84.9	13	10.9	5	4.2	92	77.3	19	16.0	8	6.7	56	47.1	59	49.6	4	3.4
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	256	85.0	37	12.3	8	2.7	237	78.7	52	17.3	12	4.0	170	56.5	121	40.2	10	3.3
	東京都内	43	37	86.0	5	11.6	1	2.3	34	79.1	8	18.6	1	2.3	17	39.5	25	58.1	1	2.3
	神奈川県内	30	23	76.7	5	16.7	2	6.7	23	76.7	5	16.7	2	6.7	19	63.3	8	26.7	3	10.0
	その他	51	38	74.5	8	15.7	5	9.8	37	72.5	10	19.6	4	7.8	21	41.2	27	52.9	3	5.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	140	80.5	29	16.7	5	2.9	126	72.4	43	24.7	5	2.9	95	54.6	74	42.5	5	2.9
	木更津市内	84	73	86.9	9	10.7	2	2.4	66	78.6	15	17.9	3	3.6	45	53.6	35	41.7	4	4.8
	市原市内	64	53	82.8	8	12.5	3	4.7	49	76.6	11	17.2	4	6.3	35	54.7	26	40.6	3	4.7
	君津市内	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	5	41.7	6	50.0	1	8.3
	千葉市内	35	33	94.3	2	5.7	0	0.0	34	97.1	1	2.9	0	0.0	19	54.3	16	45.7	0	0.0
	千葉県内※２	25	16	64.0	8	32.0	1	4.0	18	72.0	6	24.0	1	4.0	15	60.0	10	40.0	0	0.0
	東京都内	34	29	85.3	5	14.7	0	0.0	27	79.4	6	17.6	1	2.9	18	52.9	15	44.1	1	2.9
	神奈川県内	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	10	9	90.0	1	10.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	0	0.0	4	40.0	6	60.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	154	83.7	20	10.9	10	5.4	143	77.7	27	14.7	14	7.6	84	45.7	91	49.5	9	4.9

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 2　属性別クロス集計表（２／１７）

属性		合計	4 地域で青少年が健やかに育っていると思いますか						5 身近に、スポーツやレクリエーションをする場や機会があると思いますか						6 市内外を問わず、この1年間に美術、音楽、演劇などの芸術鑑賞をしましたか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	498	76.0	122	18.6	35	5.3	400	61.1	237	36.2	18	2.7	256	39.1	388	59.2	11	1.7
性別	男性	268	205	76.5	53	19.8	10	3.7	166	61.9	99	36.9	3	1.1	78	29.1	188	70.1	2	0.7
	女性	357	272	76.2	64	17.9	21	5.9	220	61.6	126	35.3	11	3.1	173	48.5	179	50.1	5	1.4
	答えない	21	16	76.2	5	23.8	0	0.0	10	47.6	11	52.4	0	0.0	5	23.8	16	76.2	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	38	80.9	9	19.1	0	0.0	28	59.6	19	40.4	0	0.0	20	42.6	27	57.4	0	0.0
	３０歳台	92	69	75.0	20	21.7	3	3.3	47	51.1	45	48.9	0	0.0	38	41.3	54	58.7	0	0.0
	４０歳台	117	93	79.5	23	19.7	1	0.9	72	61.5	44	37.6	1	0.9	44	37.6	73	62.4	0	0.0
	５０歳台	131	105	80.2	24	18.3	2	1.5	80	61.1	49	37.4	2	1.5	63	48.1	67	51.1	1	0.8
	６０～６４歳	57	40	70.2	13	22.8	4	7.0	36	63.2	20	35.1	1	1.8	21	36.8	35	61.4	1	1.8
	６５～６９歳	69	57	82.6	8	11.6	4	5.8	46	66.7	21	30.4	2	2.9	22	31.9	47	68.1	0	0.0
	７０歳以上	133	91	68.4	25	18.8	17	12.8	87	65.4	38	28.6	8	6.0	48	36.1	80	60.2	5	3.8
職業	自営業主	31	23	74.2	7	22.6	1	3.2	16	51.6	15	48.4	0	0.0	10	32.3	21	67.7	0	0.0
	家族従業者	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	6	50.0	6	50.0	0	0.0	9	75.0	3	25.0	0	0.0
	会社・団体役員	113	86	76.1	26	23.0	1	0.9	67	59.3	45	39.8	1	0.9	41	36.3	71	62.8	1	0.9
	給与所得者	149	124	83.2	22	14.8	3	2.0	89	59.7	59	39.6	1	0.7	61	40.9	88	59.1	0	0.0
	アルバイト・パートタイム	121	92	76.0	24	19.8	5	4.1	78	64.5	42	34.7	1	0.8	42	34.7	78	64.5	1	0.8
	学生	18	14	77.8	3	16.7	1	5.6	11	61.1	6	33.3	1	5.6	14	77.8	4	22.2	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	74	76.3	13	13.4	10	10.3	64	66.0	30	30.9	3	3.1	48	49.5	47	48.5	2	2.1
	その他	13	7	53.8	5	38.5	1	7.7	9	69.2	4	30.8	0	0.0	4	30.8	9	69.2	0	0.0
	無職	90	61	67.8	20	22.2	9	10.0	55	61.1	28	31.1	7	7.8	25	27.8	62	68.9	3	3.3
世帯人数	１人	56	41	73.2	10	17.9	5	8.9	31	55.4	23	41.1	2	3.6	24	42.9	30	53.6	2	3.6
	２人	208	154	74.0	39	18.8	15	7.2	137	65.9	66	31.7	5	2.4	80	38.5	125	60.1	3	1.4
	３人	173	134	77.5	32	18.5	7	4.0	112	64.7	57	32.9	4	2.3	68	39.3	104	60.1	1	0.6
	４人	135	106	78.5	27	20.0	2	1.5	74	54.8	60	44.4	1	0.7	49	36.3	85	63.0	1	0.7
	５人以上	73	58	79.5	14	19.2	1	1.4	41	56.2	30	41.1	2	2.7	35	47.9	38	52.1	0	0.0
子どもの数	１人	100	77	77.0	20	20.0	3	3.0	57	57.0	42	42.0	1	1.0	37	37.0	63	63.0	0	0.0
	２人	260	199	76.5	45	17.3	16	6.2	168	64.6	85	32.7	7	2.7	92	35.4	163	62.7	5	1.9
	３人	105	81	77.1	21	20.0	3	2.9	61	58.1	42	40.0	2	1.9	46	43.8	58	55.2	1	1.0
	４人	10	8	80.0	1	10.0	1	10.0	7	70.0	2	20.0	1	10.0	5	50.0	5	50.0	0	0.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0
	子どもはいない	165	124	75.2	34	20.6	7	4.2	99	60.0	63	38.2	3	1.8	74	44.8	90	54.5	1	0.6
就学状況※１	小学校入学前	51	41	80.4	8	15.7	2	3.9	26	51.0	25	49.0	0	0.0	10	19.6	41	80.4	0	0.0
	小学生	58	48	82.8	10	17.2	0	0.0	38	65.5	20	34.5	0	0.0	23	39.7	35	60.3	0	0.0
	中学生	36	28	77.8	8	22.2	0	0.0	20	55.6	16	44.4	0	0.0	20	55.6	16	44.4	0	0.0
	高校生	45	35	77.8	10	22.2	0	0.0	28	62.2	17	37.8	0	0.0	21	46.7	24	53.3	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	25	65.8	10	26.3	3	7.9	24	63.2	12	31.6	2	5.3	21	55.3	17	44.7	0	0.0
	その他	287	221	77.0	48	16.7	18	6.3	188	65.5	90	31.4	9	3.1	108	37.6	173	60.3	6	2.1
居住地区	昭和地区	226	185	81.9	36	15.9	5	2.2	140	61.9	81	35.8	5	2.2	96	42.5	128	56.6	2	0.9
	長浦地区	237	168	70.9	53	22.4	16	6.8	153	64.6	78	32.9	6	2.5	94	39.7	138	58.2	5	2.1
	根形地区	63	49	77.8	11	17.5	3	4.8	34	54.0	28	44.4	1	1.6	23	36.5	39	61.9	1	1.6
	平岡地区	47	36	76.6	7	14.9	4	8.5	25	53.2	20	42.6	2	4.3	17	36.2	29	61.7	1	2.1
	中川地区	49	36	73.5	9	18.4	4	8.2	32	65.3	15	30.6	2	4.1	15	30.6	34	69.4	0	0.0
	富岡地区	19	13	68.4	5	26.3	1	5.3	10	52.6	9	47.4	0	0.0	5	26.3	14	73.7	0	0.0
居住年数	３年未満	30	27	90.0	3	10.0	0	0.0	16	53.3	14	46.7	0	0.0	10	33.3	20	66.7	0	0.0
	３年以上５年未満	28	21	75.0	5	17.9	2	7.1	17	60.7	10	35.7	1	3.6	7	25.0	21	75.0	0	0.0
	５年以上10年未満	53	42	79.2	10	18.9	1	1.9	26	49.1	26	49.1	1	1.9	24	45.3	28	52.8	1	1.9
	10年以上20年未満	100	74	74.0	24	24.0	2	2.0	69	69.0	30	30.0	1	1.0	47	47.0	52	52.0	1	1.0
	20年以上	432	325	75.2	79	18.3	28	6.5	266	61.6	153	35.4	13	3.0	163	37.7	262	60.6	7	1.6
前住居	生まれたときから現在のところ	95	70	73.7	21	22.1	4	4.2	49	51.6	45	47.4	1	1.1	35	36.8	60	63.2	0	0.0
	袖ケ浦市内の別のところ	119	91	76.5	20	16.8	8	6.7	69	58.0	45	37.8	5	4.2	49	41.2	68	57.1	2	1.7
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	233	77.4	55	18.3	13	4.3	205	68.1	92	30.6	4	1.3	115	38.2	183	60.8	3	1.0
	東京都内	43	35	81.4	7	16.3	1	2.3	29	67.4	14	32.6	0	0.0	19	44.2	24	55.8	0	0.0
	神奈川県内	30	24	80.0	3	10.0	3	10.0	16	53.3	12	40.0	2	6.7	11	36.7	17	56.7	2	6.7
	その他	51	35	68.6	13	25.5	3	5.9	25	49.0	23	45.1	3	5.9	21	41.2	29	56.9	1	2.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	134	77.0	36	20.7	4	2.3	100	57.5	71	40.8	3	1.7	64	36.8	109	62.6	1	0.6
	木更津市内	84	66	78.6	14	16.7	4	4.8	55	65.5	27	32.1	2	2.4	37	44.0	47	56.0	0	0.0
	市原市内	64	47	73.4	17	26.6	0	0.0	37	57.8	27	42.2	0	0.0	22	34.4	41	64.1	1	1.6
	君津市内	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0	3	25.0	9	75.0	0	0.0
	千葉市内	35	33	94.3	2	5.7	0	0.0	24	68.6	11	31.4	0	0.0	16	45.7	19	54.3	0	0.0
	千葉県内※２	25	17	68.0	7	28.0	1	4.0	15	60.0	9	36.0	1	4.0	11	44.0	13	52.0	1	4.0
	東京都内	34	27	79.4	6	17.6	1	2.9	24	70.6	10	29.4	0	0.0	13	38.2	21	61.8	0	0.0
	神奈川県内	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0	2	25.0	6	75.0	0	0.0
	その他	10	6	60.0	3	30.0	1	10.0	6	60.0	4	40.0	0	0.0	4	40.0	6	60.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	135	73.4	30	16.3	19	10.3	116	63.0	60	32.6	8	4.3	78	42.4	102	55.4	4	2.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 3　属性別クロス集計表（３／１７）

属性		合計	7 袖ケ浦市の歴史や伝統文化に興味や関心を持っていますか						8 安心して利用できる医療機関や医療体制が整っていると思いますか						9 地域で支え合いながら安心して暮らせていると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	298	45.5	341	52.1	16	2.4	379	57.9	263	40.2	13	2.0	402	61.4	236	36.0	17	2.6
性別	男性	268	140	52.2	124	46.3	4	1.5	171	63.8	96	35.8	1	0.4	165	61.6	99	36.9	4	1.5
	女性	357	150	42.0	199	55.7	8	2.2	196	54.9	153	42.9	8	2.2	226	63.3	121	33.9	10	2.8
	答えない	21	6	28.6	15	71.4	0	0.0	8	38.1	13	61.9	0	0.0	5	23.8	16	76.2	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	19	40.4	28	59.6	0	0.0	40	85.1	6	12.8	1	2.1	29	61.7	18	38.3	0	0.0
	３０歳台	92	32	34.8	59	64.1	1	1.1	53	57.6	38	41.3	1	1.1	60	65.2	31	33.7	1	1.1
	４０歳台	117	41	35.0	76	65.0	0	0.0	66	56.4	51	43.6	0	0.0	68	58.1	49	41.9	0	0.0
	５０歳台	131	63	48.1	67	51.1	1	0.8	75	57.3	56	42.7	0	0.0	78	59.5	52	39.7	1	0.8
	６０～６４歳	57	25	43.9	31	54.4	1	1.8	22	38.6	32	56.1	3	5.3	33	57.9	22	38.6	2	3.5
	６５～６９歳	69	39	56.5	28	40.6	2	2.9	39	56.5	29	42.0	1	1.4	48	69.6	20	29.0	1	1.4
	７０歳以上	133	76	57.1	50	37.6	7	5.3	79	59.4	50	37.6	4	3.0	80	60.2	44	33.1	9	6.8
職業	自営業主	31	22	71.0	9	29.0	0	0.0	14	45.2	17	54.8	0	0.0	19	61.3	12	38.7	0	0.0
	家族従業者	12	8	66.7	4	33.3	0	0.0	6	50.0	6	50.0	0	0.0	11	91.7	1	8.3	0	0.0
	会社・団体役員	113	46	40.7	65	57.5	2	1.8	67	59.3	46	40.7	0	0.0	69	61.1	44	38.9	0	0.0
	給与所得者	149	68	45.6	80	53.7	1	0.7	93	62.4	54	36.2	2	1.3	90	60.4	58	38.9	1	0.7
	アルバイト・パートタイム	121	45	37.2	74	61.2	2	1.7	60	49.6	59	48.8	2	1.7	75	62.0	43	35.5	3	2.5
	学生	18	9	50.0	9	50.0	0	0.0	15	83.3	3	16.7	0	0.0	14	77.8	4	22.2	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	48	49.5	47	48.5	2	2.1	56	57.7	38	39.2	3	3.1	60	61.9	33	34.0	4	4.1
	その他	13	4	30.8	9	69.2	0	0.0	9	69.2	4	30.8	0	0.0	5	38.5	8	61.5	0	0.0
	無職	90	45	50.0	40	44.4	5	5.6	53	58.9	34	37.8	3	3.3	51	56.7	33	36.7	6	6.7
世帯人数	１人	56	26	46.4	29	51.8	1	1.8	37	66.1	18	32.1	1	1.8	27	48.2	26	46.4	3	5.4
	２人	208	107	51.4	98	47.1	3	1.4	125	60.1	78	37.5	5	2.4	134	64.4	68	32.7	6	2.9
	３人	173	77	44.5	90	52.0	6	3.5	100	57.8	72	41.6	1	0.6	110	63.6	61	35.3	2	1.2
	４人	135	52	38.5	82	60.7	1	0.7	74	54.8	59	43.7	2	1.5	73	54.1	61	45.2	1	0.7
	５人以上	73	33	45.2	39	53.4	1	1.4	39	53.4	33	45.2	1	1.4	53	72.6	19	26.0	1	1.4
子どもの数	１人	100	36	36.0	62	62.0	2	2.0	60	60.0	40	40.0	0	0.0	66	66.0	33	33.0	1	1.0
	２人	260	123	47.3	132	50.8	5	1.9	145	55.8	110	42.3	5	1.9	157	60.4	96	36.9	7	2.7
	３人	105	48	45.7	55	52.4	2	1.9	51	48.6	53	50.5	1	1.0	66	62.9	37	35.2	2	1.9
	４人	10	5	50.0	4	40.0	1	10.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0	6	60.0	4	40.0	0	0.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	79	47.9	84	50.9	2	1.2	108	65.5	55	33.3	2	1.2	97	58.8	65	39.4	3	1.8
就学状況※１	小学校入学前	51	18	35.3	31	60.8	2	3.9	28	54.9	22	43.1	1	2.0	34	66.7	16	31.4	1	2.0
	小学生	58	23	39.7	35	60.3	0	0.0	33	56.9	25	43.1	0	0.0	33	56.9	25	43.1	0	0.0
	中学生	36	13	36.1	23	63.9	0	0.0	24	66.7	12	33.3	0	0.0	24	66.7	12	33.3	0	0.0
	高校生	45	16	35.6	29	64.4	0	0.0	25	55.6	20	44.4	0	0.0	27	60.0	18	40.0	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	15	39.5	22	57.9	1	2.6	17	44.7	21	55.3	0	0.0	22	57.9	16	42.1	0	0.0
	その他	287	149	51.9	132	46.0	6	2.1	158	55.1	125	43.6	4	1.4	190	66.2	89	31.0	8	2.8
居住地区	昭和地区	226	96	42.5	126	55.8	4	1.8	137	60.6	85	37.6	4	1.8	132	58.4	88	38.9	6	2.7
	長浦地区	237	106	44.7	125	52.7	6	2.5	150	63.3	84	35.4	3	1.3	150	63.3	82	34.6	5	2.1
	根形地区	63	36	57.1	27	42.9	0	0.0	38	60.3	25	39.7	0	0.0	38	60.3	24	38.1	1	1.6
	平岡地区	47	28	59.6	17	36.2	2	4.3	25	53.2	19	40.4	3	6.4	33	70.2	12	25.5	2	4.3
	中川地区	49	22	44.9	25	51.0	2	4.1	17	34.7	31	63.3	1	2.0	33	67.3	15	30.6	1	2.0
	富岡地区	19	8	42.1	11	57.9	0	0.0	7	36.8	12	63.2	0	0.0	9	47.4	10	52.6	0	0.0
居住年数	３年未満	30	14	46.7	15	50.0	1	3.3	22	73.3	8	26.7	0	0.0	23	76.7	6	20.0	1	3.3
	３年以上５年未満	28	11	39.3	17	60.7	0	0.0	17	60.7	11	39.3	0	0.0	19	67.9	9	32.1	0	0.0
	５年以上10年未満	53	15	28.3	38	71.7	0	0.0	28	52.8	24	45.3	1	1.9	27	50.9	25	47.2	1	1.9
	10年以上20年未満	100	38	38.0	61	61.0	1	1.0	68	68.0	31	31.0	1	1.0	63	63.0	34	34.0	3	3.0
	20年以上	432	218	50.5	202	46.8	12	2.8	239	55.3	184	42.6	9	2.1	265	61.3	157	36.3	10	2.3
前住居	生まれたときから現在のところ	95	59	62.1	35	36.8	1	1.1	55	57.9	39	41.1	1	1.1	58	61.1	35	36.8	2	2.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	57	47.9	58	48.7	4	3.4	67	56.3	50	42.0	2	1.7	72	60.5	44	37.0	3	2.5
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	126	41.9	169	56.1	6	2.0	191	63.5	104	34.6	6	2.0	201	66.8	92	30.6	8	2.7
	東京都内	43	17	39.5	26	60.5	0	0.0	18	41.9	24	55.8	1	2.3	24	55.8	19	44.2	0	0.0
	神奈川県内	30	12	40.0	17	56.7	1	3.3	14	46.7	15	50.0	1	3.3	14	46.7	15	50.0	1	3.3
	その他	51	25	49.0	25	49.0	1	2.0	27	52.9	24	47.1	0	0.0	26	51.0	24	47.1	1	2.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	77	44.3	95	54.6	2	1.1	99	56.9	74	42.5	1	0.6	106	60.9	67	38.5	1	0.6
	木更津市内	84	37	44.0	45	53.6	2	2.4	43	51.2	40	47.6	1	1.2	53	63.1	31	36.9	0	0.0
	市原市内	64	24	37.5	40	62.5	0	0.0	38	59.4	26	40.6	0	0.0	39	60.9	24	37.5	1	1.6
	君津市内	12	4	33.3	8	66.7	0	0.0	7	58.3	4	33.3	1	8.3	3	25.0	8	66.7	1	8.3
	千葉市内	35	19	54.3	16	45.7	0	0.0	26	74.3	9	25.7	0	0.0	26	74.3	9	25.7	0	0.0
	千葉県内※２	25	10	40.0	14	56.0	1	4.0	17	68.0	7	28.0	1	4.0	20	80.0	5	20.0	0	0.0
	東京都内	34	15	44.1	18	52.9	1	2.9	21	61.8	12	35.3	1	2.9	21	61.8	12	35.3	1	2.9
	神奈川県内	8	7	87.5	1	12.5	0	0.0	6	75.0	2	25.0	0	0.0	6	75.0	2	25.0	0	0.0
	その他	10	6	60.0	4	40.0	0	0.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0	4	40.0	6	60.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	92	50.0	86	46.7	6	3.3	103	56.0	76	41.3	5	2.7	113	61.4	61	33.2	10	5.4

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 4　属性別クロス集計表（４／１７）

属性		合計	10 車いすの方など障がいのある方にとって、安心して外出できる環境にあると思いますか						11 障がいを持つ方が、安心して暮らせていると思いますか						12 災害に強いまちづくりができていると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	159	24.3	470	71.8	26	4.0	203	31.0	424	64.7	28	4.3	224	34.2	404	61.7	27	4.1
性別	男性	268	71	26.5	189	70.5	8	3.0	81	30.2	177	66.0	10	3.7	100	37.3	159	59.3	9	3.4
	女性	357	82	23.0	262	73.4	13	3.6	115	32.2	228	63.9	14	3.9	115	32.2	228	63.9	14	3.9
	答えない	21	3	14.3	17	81.0	1	4.8	4	19.0	17	81.0	0	0.0	6	28.6	15	71.4	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	25	53.2	22	46.8	0	0.0	24	51.1	23	48.9	0	0.0	20	42.6	27	57.4	0	0.0
	３０歳台	92	33	35.9	58	63.0	1	1.1	40	43.5	51	55.4	1	1.1	29	31.5	63	68.5	0	0.0
	４０歳台	117	35	29.9	82	70.1	0	0.0	36	30.8	81	69.2	0	0.0	47	40.2	69	59.0	1	0.9
	５０歳台	131	23	17.6	104	79.4	4	3.1	46	35.1	83	63.4	2	1.5	49	37.4	80	61.1	2	1.5
	６０～６４歳	57	10	17.5	43	75.4	4	7.0	10	17.5	42	73.7	5	8.8	18	31.6	35	61.4	4	7.0
	６５～６９歳	69	11	15.9	56	81.2	2	2.9	18	26.1	49	71.0	2	2.9	21	30.4	47	68.1	1	1.4
	７０歳以上	133	19	14.3	104	78.2	10	7.5	25	18.8	94	70.7	14	10.5	37	27.8	81	60.9	15	11.3
職業	自営業主	31	7	22.6	24	77.4	0	0.0	9	29.0	22	71.0	0	0.0	11	35.5	20	64.5	0	0.0
	家族従業者	12	3	25.0	9	75.0	0	0.0	4	33.3	8	66.7	0	0.0	5	41.7	6	50.0	1	8.3
	会社・団体役員	113	28	24.8	84	74.3	1	0.9	32	28.3	80	70.8	1	0.9	36	31.9	76	67.3	1	0.9
	給与所得者	149	42	28.2	104	69.8	3	2.0	55	36.9	91	61.1	3	2.0	64	43.0	80	53.7	5	3.4
	アルバイト・パートタイム	121	26	21.5	91	75.2	4	3.3	34	28.1	84	69.4	3	2.5	37	30.6	81	66.9	3	2.5
	学生	18	13	72.2	5	27.8	0	0.0	13	72.2	5	27.8	0	0.0	9	50.0	9	50.0	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	16	16.5	75	77.3	6	6.2	27	27.8	62	63.9	8	8.2	26	26.8	66	68.0	5	5.2
	その他	13	6	46.2	7	53.8	0	0.0	7	53.8	6	46.2	0	0.0	6	46.2	7	53.8	0	0.0
	無職	90	15	16.7	67	74.4	8	8.9	18	20.0	63	70.0	9	10.0	25	27.8	57	63.3	8	8.9
世帯人数	１人	56	14	25.0	39	69.6	3	5.4	15	26.8	37	66.1	4	7.1	15	26.8	38	67.9	3	5.4
	２人	208	48	23.1	151	72.6	9	4.3	63	30.3	134	64.4	11	5.3	76	36.5	122	58.7	10	4.8
	３人	173	44	25.4	124	71.7	5	2.9	59	34.1	110	63.6	4	2.3	53	30.6	116	67.1	4	2.3
	４人	135	31	23.0	100	74.1	4	3.0	38	28.1	93	68.9	4	3.0	49	36.3	83	61.5	3	2.2
	５人以上	73	18	24.7	54	74.0	1	1.4	24	32.9	48	65.8	1	1.4	28	38.4	42	57.5	3	4.1
子どもの数	１人	100	26	26.0	72	72.0	2	2.0	35	35.0	63	63.0	2	2.0	27	27.0	71	71.0	2	2.0
	２人	260	49	18.8	196	75.4	15	5.8	63	24.2	182	70.0	15	5.8	86	33.1	160	61.5	14	5.4
	３人	105	14	13.3	88	83.8	3	2.9	25	23.8	76	72.4	4	3.8	33	31.4	70	66.7	2	1.9
	４人	10	2	20.0	8	80.0	0	0.0	4	40.0	6	60.0	0	0.0	6	60.0	3	30.0	1	10.0
	５人以上	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0
	子どもはいない	165	62	37.6	101	61.2	2	1.2	70	42.4	92	55.8	3	1.8	68	41.2	94	57.0	3	1.8
就学状況※１	小学校入学前	51	16	31.4	33	64.7	2	3.9	18	35.3	32	62.7	1	2.0	13	25.5	37	72.5	1	2.0
	小学生	58	17	29.3	41	70.7	0	0.0	15	25.9	43	74.1	0	0.0	20	34.5	37	63.8	1	1.7
	中学生	36	9	25.0	27	75.0	0	0.0	10	27.8	26	72.2	0	0.0	12	33.3	23	63.9	1	2.8
	高校生	45	10	22.2	35	77.8	0	0.0	15	33.3	30	66.7	0	0.0	17	37.8	27	60.0	1	2.2
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	6	15.8	31	81.6	1	2.6	9	23.7	29	76.3	0	0.0	14	36.8	22	57.9	2	5.3
	その他	287	40	13.9	231	80.5	16	5.6	68	23.7	201	70.0	18	6.3	86	30.0	186	64.8	15	5.2
居住地区	昭和地区	226	65	28.8	152	67.3	9	4.0	79	35.0	139	61.5	8	3.5	65	28.8	151	66.8	10	4.4
	長浦地区	237	55	23.2	174	73.4	8	3.4	69	29.1	158	66.7	10	4.2	93	39.2	137	57.8	7	3.0
	根形地区	63	10	15.9	51	81.0	2	3.2	18	28.6	42	66.7	3	4.8	17	27.0	43	68.3	3	4.8
	平岡地区	47	12	25.5	33	70.2	2	4.3	14	29.8	31	66.0	2	4.3	22	46.8	23	48.9	2	4.3
	中川地区	49	9	18.4	37	75.5	3	6.1	12	24.5	35	71.4	2	4.1	17	34.7	30	61.2	2	4.1
	富岡地区	19	4	21.1	15	78.9	0	0.0	5	26.3	13	68.4	1	5.3	6	31.6	12	63.2	1	5.3
居住年数	３年未満	30	12	40.0	15	50.0	3	10.0	9	30.0	18	60.0	3	10.0	12	40.0	16	53.3	2	6.7
	３年以上５年未満	28	9	32.1	19	67.9	0	0.0	12	42.9	16	57.1	0	0.0	14	50.0	14	50.0	0	0.0
	５年以上10年未満	53	18	34.0	33	62.3	2	3.8	20	37.7	31	58.5	2	3.8	20	37.7	31	58.5	2	3.8
	10年以上20年未満	100	31	31.0	66	66.0	3	3.0	37	37.0	61	61.0	2	2.0	48	48.0	49	49.0	3	3.0
	20年以上	432	86	19.9	330	76.4	16	3.7	120	27.8	293	67.8	19	4.4	127	29.4	287	66.4	18	4.2
前住居	生まれたときから現在のところ	95	28	29.5	66	69.5	1	1.1	38	40.0	56	58.9	1	1.1	32	33.7	62	65.3	1	1.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	20	16.8	94	79.0	5	4.2	35	29.4	79	66.4	5	4.2	36	30.3	78	65.5	5	4.2
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	81	26.9	207	68.8	13	4.3	92	30.6	196	65.1	13	4.3	110	36.5	180	59.8	11	3.7
	東京都内	43	13	30.2	30	69.8	0	0.0	13	30.2	29	67.4	1	2.3	15	34.9	27	62.8	1	2.3
	神奈川県内	30	6	20.0	21	70.0	3	10.0	7	23.3	19	63.3	4	13.3	10	33.3	16	53.3	4	13.3
	その他	51	7	13.7	42	82.4	2	3.9	12	23.5	37	72.5	2	3.9	17	33.3	31	60.8	3	5.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	42	24.1	129	74.1	3	1.7	57	32.8	114	65.5	3	1.7	63	36.2	106	60.9	5	2.9
	木更津市内	84	28	33.3	53	63.1	3	3.6	35	41.7	48	57.1	1	1.2	29	34.5	52	61.9	3	3.6
	市原市内	64	10	15.6	52	81.3	2	3.1	17	26.6	45	70.3	2	3.1	25	39.1	39	60.9	0	0.0
	君津市内	12	4	33.3	7	58.3	1	8.3	4	33.3	7	58.3	1	8.3	4	33.3	7	58.3	1	8.3
	千葉市内	35	14	40.0	21	60.0	0	0.0	13	37.1	22	62.9	0	0.0	18	51.4	17	48.6	0	0.0
	千葉県内※２	25	8	32.0	17	68.0	0	0.0	9	36.0	15	60.0	1	4.0	11	44.0	14	56.0	0	0.0
	東京都内	34	12	35.3	20	58.8	2	5.9	13	38.2	20	58.8	1	2.9	11	32.4	22	64.7	1	2.9
	神奈川県内	8	2	25.0	6	75.0	0	0.0	4	50.0	3	37.5	1	12.5	4	50.0	3	37.5	1	12.5
	その他	10	3	30.0	7	70.0	0	0.0	5	50.0	5	50.0	0	0.0	3	30.0	6	60.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	29	15.8	142	77.2	13	7.1	37	20.1	131	71.2	16	8.7	52	28.3	120	65.2	12	6.5

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 5　属性別クロス集計表（５／１７）

属性		合計	13 あなたのご家庭では、日ごろから災害に備えていますか						14 災害時の避難所や避難場所を知っていますか						15 お住まいの地域の治安が良いと思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	418	63.8	224	34.2	13	2.0	572	87.3	74	11.3	9	1.4	529	80.8	113	17.3	13	2.0
性別	男性	268	172	64.2	93	34.7	3	1.1	232	86.6	33	12.3	3	1.1	212	79.1	53	19.8	3	1.1
	女性	357	227	63.6	124	34.7	6	1.7	317	88.8	37	10.4	3	0.8	299	83.8	51	14.3	7	2.0
	答えない	21	14	66.7	6	28.6	1	4.8	18	85.7	3	14.3	0	0.0	14	66.7	7	33.3	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	27	57.4	20	42.6	0	0.0	37	78.7	10	21.3	0	0.0	36	76.6	11	23.4	0	0.0
	３０歳台	92	64	69.6	28	30.4	0	0.0	80	87.0	12	13.0	0	0.0	78	84.8	14	15.2	0	0.0
	４０歳台	117	75	64.1	42	35.9	0	0.0	107	91.5	10	8.5	0	0.0	95	81.2	22	18.8	0	0.0
	５０歳台	131	82	62.6	48	36.6	1	0.8	114	87.0	17	13.0	0	0.0	111	84.7	20	15.3	0	0.0
	６０～６４歳	57	43	75.4	13	22.8	1	1.8	51	89.5	4	7.0	2	3.5	41	71.9	15	26.3	1	1.8
	６５～６９歳	69	41	59.4	26	37.7	2	2.9	61	88.4	7	10.1	1	1.4	58	84.1	9	13.0	2	2.9
	７０歳以上	133	81	60.9	46	34.6	6	4.5	117	88.0	13	9.8	3	2.3	105	78.9	21	15.8	7	5.3
職業	自営業主	31	22	71.0	9	29.0	0	0.0	30	96.8	1	3.2	0	0.0	23	74.2	8	25.8	0	0.0
	家族従業者	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	8	66.7	3	25.0	1	8.3
	会社・団体役員	113	71	62.8	42	37.2	0	0.0	93	82.3	19	16.8	1	0.9	92	81.4	21	18.6	0	0.0
	給与所得者	149	99	66.4	49	32.9	1	0.7	131	87.9	18	12.1	0	0.0	126	84.6	23	15.4	0	0.0
	アルバイト・パートタイム	121	77	63.6	44	36.4	0	0.0	110	90.9	11	9.1	0	0.0	97	80.2	23	19.0	1	0.8
	学生	18	11	61.1	7	38.9	0	0.0	16	88.9	2	11.1	0	0.0	13	72.2	5	27.8	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	64	66.0	31	32.0	2	2.1	88	90.7	8	8.2	1	1.0	81	83.5	13	13.4	3	3.1
	その他	13	9	69.2	4	30.8	0	0.0	12	92.3	1	7.7	0	0.0	11	84.6	2	15.4	0	0.0
	無職	90	49	54.4	34	37.8	7	7.8	77	85.6	9	10.0	4	4.4	71	78.9	14	15.6	5	5.6
世帯人数	１人	56	31	55.4	22	39.3	3	5.4	47	83.9	7	12.5	2	3.6	44	78.6	9	16.1	3	5.4
	２人	208	130	62.5	74	35.6	4	1.9	179	86.1	28	13.5	1	0.5	172	82.7	33	15.9	3	1.4
	３人	173	118	68.2	54	31.2	1	0.6	156	90.2	16	9.2	1	0.6	149	86.1	21	12.1	3	1.7
	４人	135	83	61.5	50	37.0	2	1.5	119	88.1	15	11.1	1	0.7	103	76.3	31	23.0	1	0.7
	５人以上	73	52	71.2	21	28.8	0	0.0	65	89.0	7	9.6	1	1.4	56	76.7	17	23.3	0	0.0
子どもの数	１人	100	62	62.0	37	37.0	1	1.0	87	87.0	13	13.0	0	0.0	86	86.0	14	14.0	0	0.0
	２人	260	175	67.3	79	30.4	6	2.3	227	87.3	28	10.8	5	1.9	205	78.8	47	18.1	8	3.1
	３人	105	61	58.1	43	41.0	1	1.0	95	90.5	10	9.5	0	0.0	85	81.0	19	18.1	1	1.0
	４人	10	9	90.0	1	10.0	0	0.0	10	100.0	0	0.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	0	0.0
	５人以上	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	104	63.0	59	35.8	2	1.2	142	86.1	22	13.3	1	0.6	135	81.8	29	17.6	1	0.6
就学状況※１	小学校入学前	51	36	70.6	14	27.5	1	2.0	42	82.4	9	17.6	0	0.0	42	82.4	8	15.7	1	2.0
	小学生	58	35	60.3	23	39.7	0	0.0	51	87.9	7	12.1	0	0.0	42	72.4	16	27.6	0	0.0
	中学生	36	21	58.3	15	41.7	0	0.0	33	91.7	3	8.3	0	0.0	28	77.8	8	22.2	0	0.0
	高校生	45	30	66.7	15	33.3	0	0.0	41	91.1	3	6.7	1	2.2	38	84.4	7	15.6	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	24	63.2	14	36.8	0	0.0	36	94.7	2	5.3	0	0.0	30	78.9	8	21.1	0	0.0
	その他	287	186	64.8	95	33.1	6	2.1	253	88.2	30	10.5	4	1.4	237	82.6	43	15.0	7	2.4
居住地区	昭和地区	226	144	63.7	78	34.5	4	1.8	197	87.2	27	11.9	2	0.9	184	81.4	37	16.4	5	2.2
	長浦地区	237	157	66.2	78	32.9	2	0.8	211	89.0	24	10.1	2	0.8	192	81.0	42	17.7	3	1.3
	根形地区	63	38	60.3	25	39.7	0	0.0	54	85.7	8	12.7	1	1.6	50	79.4	13	20.6	0	0.0
	平岡地区	47	27	57.4	18	38.3	2	4.3	40	85.1	6	12.8	1	2.1	38	80.9	8	17.0	1	2.1
	中川地区	49	34	69.4	12	24.5	3	6.1	43	87.8	5	10.2	1	2.0	38	77.6	9	18.4	2	4.1
	富岡地区	19	12	63.2	7	36.8	0	0.0	17	89.5	2	10.5	0	0.0	17	89.5	2	10.5	0	0.0
居住年数	３年未満	30	18	60.0	12	40.0	0	0.0	20	66.7	10	33.3	0	0.0	26	86.7	4	13.3	0	0.0
	３年以上５年未満	28	24	85.7	4	14.3	0	0.0	24	85.7	4	14.3	0	0.0	25	89.3	3	10.7	0	0.0
	５年以上10年未満	53	35	66.0	17	32.1	1	1.9	41	77.4	11	20.8	1	1.9	45	84.9	7	13.2	1	1.9
	10年以上20年未満	100	64	64.0	33	33.0	3	3.0	87	87.0	12	12.0	1	1.0	79	79.0	20	20.0	1	1.0
	20年以上	432	271	62.7	154	35.6	7	1.6	392	90.7	35	8.1	5	1.2	346	80.1	77	17.8	9	2.1
前住居	生まれたときから現在のところ	95	62	65.3	32	33.7	1	1.1	89	93.7	5	5.3	1	1.1	73	76.8	22	23.2	0	0.0
	袖ケ浦市内の別のところ	119	66	55.5	50	42.0	3	2.5	108	90.8	10	8.4	1	0.8	95	79.8	20	16.8	4	3.4
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	200	66.4	96	31.9	5	1.7	260	86.4	38	12.6	3	1.0	250	83.1	46	15.3	5	1.7
	東京都内	43	28	65.1	15	34.9	0	0.0	36	83.7	7	16.3	0	0.0	38	88.4	5	11.6	0	0.0
	神奈川県内	30	22	73.3	7	23.3	1	3.3	26	86.7	3	10.0	1	3.3	23	76.7	6	20.0	1	3.3
	その他	51	31	60.8	19	37.3	1	2.0	41	80.4	9	17.6	1	2.0	40	78.4	10	19.6	1	2.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	113	64.9	60	34.5	1	0.6	156	89.7	16	9.2	2	1.1	139	79.9	34	19.5	1	0.6
	木更津市内	84	56	66.7	28	33.3	0	0.0	76	90.5	8	9.5	0	0.0	71	84.5	13	15.5	0	0.0
	市原市内	64	42	65.6	22	34.4	0	0.0	55	85.9	9	14.1	0	0.0	51	79.7	13	20.3	0	0.0
	君津市内	12	6	50.0	6	50.0	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0
	千葉市内	35	20	57.1	15	42.9	0	0.0	28	80.0	7	20.0	0	0.0	31	88.6	4	11.4	0	0.0
	千葉県内※２	25	16	64.0	9	36.0	0	0.0	20	80.0	5	20.0	0	0.0	19	76.0	6	24.0	0	0.0
	東京都内	34	21	61.8	12	35.3	1	2.9	26	76.5	8	23.5	0	0.0	27	79.4	6	17.6	1	2.9
	神奈川県内	8	6	75.0	2	25.0	0	0.0	7	87.5	1	12.5	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	10	5	50.0	5	50.0	0	0.0	10	100.0	0	0.0	0	0.0	7	70.0	2	20.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	121	65.8	54	29.3	9	4.9	164	89.1	15	8.2	5	2.7	146	79.3	30	16.3	8	4.3

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 6　属性別クロス集計表（６／１７）

属性		合計	16 消防・救急体制に安心感をもっていますか						17 あなたの家庭では、火災への備えをしていますか						18 商品やサービスを購入する際、詐欺などのトラブルにあわないよう日ごろから心掛けていますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	517	78.9	125	19.1	13	2.0	412	62.9	232	35.4	11	1.7	617	94.2	29	4.4	9	1.4
性別	男性	268	222	82.8	42	15.7	4	1.5	174	64.9	91	34.0	3	1.1	253	94.4	13	4.9	2	0.7
	女性	357	279	78.2	72	20.2	6	1.7	222	62.2	130	36.4	5	1.4	337	94.4	16	4.5	4	1.1
	答えない	21	12	57.1	9	42.9	0	0.0	12	57.1	9	42.9	0	0.0	21	100.0	0	0.0	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	40	85.1	7	14.9	0	0.0	24	51.1	23	48.9	0	0.0	42	89.4	3	6.4	2	4.3
	３０歳台	92	68	73.9	24	26.1	0	0.0	54	58.7	37	40.2	1	1.1	87	94.6	5	5.4	0	0.0
	４０歳台	117	93	79.5	24	20.5	0	0.0	62	53.0	54	46.2	1	0.9	109	93.2	8	6.8	0	0.0
	５０歳台	131	104	79.4	27	20.6	0	0.0	82	62.6	49	37.4	0	0.0	125	95.4	6	4.6	0	0.0
	６０～６４歳	57	47	82.5	9	15.8	1	1.8	37	64.9	19	33.3	1	1.8	53	93.0	3	5.3	1	1.8
	６５～６９歳	69	57	82.6	11	15.9	1	1.4	51	73.9	17	24.6	1	1.4	67	97.1	2	2.9	0	0.0
	７０歳以上	133	104	78.2	21	15.8	8	6.0	98	73.7	31	23.3	4	3.0	128	96.2	2	1.5	3	2.3
職業	自営業主	31	27	87.1	4	12.9	0	0.0	22	71.0	9	29.0	0	0.0	30	96.8	1	3.2	0	0.0
	家族従業者	12	11	91.7	0	0.0	1	8.3	7	58.3	4	33.3	1	8.3	12	100.0	0	0.0	0	0.0
	会社・団体役員	113	92	81.4	20	17.7	1	0.9	67	59.3	45	39.8	1	0.9	105	92.9	8	7.1	0	0.0
	給与所得者	149	114	76.5	35	23.5	0	0.0	84	56.4	65	43.6	0	0.0	143	96.0	5	3.4	1	0.7
	アルバイト・パートタイム	121	91	75.2	30	24.8	0	0.0	68	56.2	53	43.8	0	0.0	114	94.2	7	5.8	0	0.0
	学生	18	17	94.4	1	5.6	0	0.0	10	55.6	8	44.4	0	0.0	17	94.4	0	0.0	1	5.6
	専業主婦・主夫	97	78	80.4	16	16.5	3	3.1	70	72.2	26	26.8	1	1.0	95	97.9	1	1.0	1	1.0
	その他	13	11	84.6	2	15.4	0	0.0	10	76.9	2	15.4	1	7.7	11	84.6	2	15.4	0	0.0
	無職	90	71	78.9	14	15.6	5	5.6	69	76.7	17	18.9	4	4.4	83	92.2	4	4.4	3	3.3
世帯人数	１人	56	40	71.4	14	25.0	2	3.6	32	57.1	22	39.3	2	3.6	50	89.3	4	7.1	2	3.6
	２人	208	172	82.7	32	15.4	4	1.9	148	71.2	57	27.4	3	1.4	198	95.2	9	4.3	1	0.5
	３人	173	139	80.3	32	18.5	2	1.2	109	63.0	62	35.8	2	1.2	167	96.5	5	2.9	1	0.6
	４人	135	101	74.8	33	24.4	1	0.7	74	54.8	60	44.4	1	0.7	128	94.8	6	4.4	1	0.7
	５人以上	73	62	84.9	10	13.7	1	1.4	45	61.6	28	38.4	0	0.0	67	91.8	5	6.8	1	1.4
子どもの数	１人	100	79	79.0	21	21.0	0	0.0	61	61.0	39	39.0	0	0.0	97	97.0	3	3.0	0	0.0
	２人	260	202	77.7	51	19.6	7	2.7	162	62.3	93	35.8	5	1.9	246	94.6	11	4.2	3	1.2
	３人	105	84	80.0	20	19.0	1	1.0	76	72.4	29	27.6	0	0.0	103	98.1	2	1.9	0	0.0
	４人	10	8	80.0	1	10.0	1	10.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0	10	100.0	0	0.0	0	0.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	子どもはいない	165	135	81.8	29	17.6	1	0.6	99	60.0	63	38.2	3	1.8	149	90.3	13	7.9	3	1.8
就学状況※１	小学校入学前	51	37	72.5	14	27.5	0	0.0	26	51.0	25	49.0	0	0.0	49	96.1	2	3.9	0	0.0
	小学生	58	41	70.7	17	29.3	0	0.0	31	53.4	27	46.6	0	0.0	55	94.8	3	5.2	0	0.0
	中学生	36	28	77.8	8	22.2	0	0.0	16	44.4	20	55.6	0	0.0	32	88.9	4	11.1	0	0.0
	高校生	45	38	84.4	7	15.6	0	0.0	28	62.2	17	37.8	0	0.0	42	93.3	3	6.7	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	28	73.7	10	26.3	0	0.0	24	63.2	14	36.8	0	0.0	38	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	287	234	81.5	45	15.7	8	2.8	202	70.4	80	27.9	5	1.7	276	96.2	8	2.8	3	1.0
居住地区	昭和地区	226	180	79.6	41	18.1	5	2.2	141	62.4	81	35.8	4	1.8	215	95.1	9	4.0	2	0.9
	長浦地区	237	189	79.7	44	18.6	4	1.7	150	63.3	84	35.4	3	1.3	221	93.2	12	5.1	4	1.7
	根形地区	63	48	76.2	15	23.8	0	0.0	41	65.1	22	34.9	0	0.0	60	95.2	3	4.8	0	0.0
	平岡地区	47	42	89.4	4	8.5	1	2.1	32	68.1	14	29.8	1	2.1	43	91.5	3	6.4	1	2.1
	中川地区	49	37	75.5	11	22.4	1	2.0	30	61.2	18	36.7	1	2.0	48	98.0	1	2.0	0	0.0
	富岡地区	19	13	68.4	6	31.6	0	0.0	14	73.7	5	26.3	0	0.0	19	100.0	0	0.0	0	0.0
居住年数	３年未満	30	24	80.0	6	20.0	0	0.0	15	50.0	15	50.0	0	0.0	30	100.0	0	0.0	0	0.0
	３年以上５年未満	28	22	78.6	6	21.4	0	0.0	17	60.7	10	35.7	1	3.6	24	85.7	4	14.3	0	0.0
	５年以上10年未満	53	38	71.7	14	26.4	1	1.9	29	54.7	23	43.4	1	1.9	51	96.2	1	1.9	1	1.9
	10年以上20年未満	100	76	76.0	23	23.0	1	1.0	60	60.0	38	38.0	2	2.0	94	94.0	5	5.0	1	1.0
	20年以上	432	350	81.0	73	16.9	9	2.1	289	66.9	138	31.9	5	1.2	409	94.7	18	4.2	5	1.2
前住居	生まれたときから現在のところ	95	78	82.1	17	17.9	0	0.0	59	62.1	36	37.9	0	0.0	88	92.6	5	5.3	2	2.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	95	79.8	20	16.8	4	3.4	68	57.1	49	41.2	2	1.7	111	93.3	7	5.9	1	0.8
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	239	79.4	58	19.3	4	1.3	198	65.8	99	32.9	4	1.3	285	94.7	14	4.7	2	0.7
	東京都内	43	33	76.7	10	23.3	0	0.0	28	65.1	15	34.9	0	0.0	41	95.3	2	4.7	0	0.0
	神奈川県内	30	19	63.3	9	30.0	2	6.7	22	73.3	7	23.3	1	3.3	29	96.7	0	0.0	1	3.3
	その他	51	45	88.2	5	9.8	1	2.0	31	60.8	18	35.3	2	3.9	50	98.0	0	0.0	1	2.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	136	78.2	36	20.7	2	1.1	107	61.5	65	37.4	2	1.1	160	92.0	12	6.9	2	1.1
	木更津市内	84	66	78.6	18	21.4	0	0.0	48	57.1	35	41.7	1	1.2	81	96.4	3	3.6	0	0.0
	市原市内	64	54	84.4	10	15.6	0	0.0	38	59.4	26	40.6	0	0.0	62	96.9	2	3.1	0	0.0
	君津市内	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	7	58.3	5	41.7	0	0.0	11	91.7	1	8.3	0	0.0
	千葉市内	35	31	88.6	4	11.4	0	0.0	19	54.3	16	45.7	0	0.0	33	94.3	2	5.7	0	0.0
	千葉県内※２	25	20	80.0	5	20.0	0	0.0	16	64.0	9	36.0	0	0.0	22	88.0	2	8.0	1	4.0
	東京都内	34	25	73.5	9	26.5	0	0.0	16	47.1	18	52.9	0	0.0	32	94.1	2	5.9	0	0.0
	神奈川県内	8	5	62.5	3	37.5	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	10	7	70.0	2	20.0	1	10.0	4	40.0	5	50.0	1	10.0	9	90.0	1	10.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	146	79.3	30	16.3	8	4.3	140	76.1	39	21.2	5	2.7	178	96.7	2	1.1	4	2.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 7 属性別クロス集計表（7／17）

属性		合計	19 安心して商品やサービスを購入することができていると思いますか						20 お住まいの地域の空気や水がきれいだと感じますか						21 お住まいの地域に緑が多いと感じますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	531	81.1	109	16.6	15	2.3	385	58.8	259	39.5	11	1.7	576	87.9	72	11.0	7	1.1
性別	男性	268	215	80.2	49	18.3	4	1.5	164	61.2	101	37.7	3	1.1	239	89.2	28	10.4	1	0.4
	女性	357	295	82.6	54	15.1	8	2.2	210	58.8	142	39.8	5	1.4	314	88.0	40	11.2	3	0.8
	答えない	21	16	76.2	5	23.8	0	0.0	7	33.3	14	66.7	0	0.0	18	85.7	3	14.3	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	43	91.5	3	6.4	1	2.1	35	74.5	12	25.5	0	0.0	46	97.9	1	2.1	0	0.0
	３０歳台	92	83	90.2	9	9.8	0	0.0	47	51.1	45	48.9	0	0.0	81	88.0	11	12.0	0	0.0
	４０歳台	117	101	86.3	16	13.7	0	0.0	58	49.6	59	50.4	0	0.0	99	84.6	18	15.4	0	0.0
	５０歳台	131	100	76.3	31	23.7	0	0.0	69	52.7	61	46.6	1	0.8	116	88.5	15	11.5	0	0.0
	６０～６４歳	57	39	68.4	16	28.1	2	3.5	34	59.6	23	40.4	0	0.0	50	87.7	6	10.5	1	1.8
	６５～６９歳	69	56	81.2	11	15.9	2	2.9	49	71.0	20	29.0	0	0.0	63	91.3	6	8.7	0	0.0
	７０歳以上	133	104	78.2	22	16.5	7	5.3	89	66.9	37	27.8	7	5.3	116	87.2	14	10.5	3	2.3
職業	自営業主	31	27	87.1	4	12.9	0	0.0	16	51.6	15	48.4	0	0.0	27	87.1	4	12.9	0	0.0
	家族従業者	12	9	75.0	1	8.3	2	16.7	10	83.3	1	8.3	1	8.3	11	91.7	1	8.3	0	0.0
	会社・団体役員	113	97	85.8	16	14.2	0	0.0	62	54.9	51	45.1	0	0.0	103	91.2	10	8.8	0	0.0
	給与所得者	149	126	84.6	22	14.8	1	0.7	80	53.7	69	46.3	0	0.0	128	85.9	21	14.1	0	0.0
	アルバイト・パートタイム	121	99	81.8	22	18.2	0	0.0	71	58.7	47	38.8	3	2.5	108	89.3	13	10.7	0	0.0
	学生	18	16	88.9	2	11.1	0	0.0	14	77.8	4	22.2	0	0.0	17	94.4	1	5.6	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	74	76.3	20	20.6	3	3.1	58	59.8	38	39.2	1	1.0	87	89.7	8	8.2	2	2.1
	その他	13	10	76.9	3	23.1	0	0.0	8	61.5	5	38.5	0	0.0	10	76.9	3	23.1	0	0.0
	無職	90	66	73.3	18	20.0	6	6.7	61	67.8	26	28.9	3	3.3	79	87.8	9	10.0	2	2.2
世帯人数	１人	56	41	73.2	13	23.2	2	3.6	31	55.4	23	41.1	2	3.6	47	83.9	8	14.3	1	1.8
	２人	208	165	79.3	37	17.8	6	2.9	132	63.5	72	34.6	4	1.9	188	90.4	18	8.7	2	1.0
	３人	173	148	85.5	23	13.3	2	1.2	88	50.9	84	48.6	1	0.6	155	89.6	18	10.4	0	0.0
	４人	135	109	80.7	24	17.8	2	1.5	89	65.9	45	33.3	1	0.7	114	84.4	20	14.8	1	0.7
	５人以上	73	63	86.3	10	13.7	0	0.0	42	57.5	31	42.5	0	0.0	67	91.8	6	8.2	0	0.0
子どもの数	１人	100	87	87.0	12	12.0	1	1.0	46	46.0	54	54.0	0	0.0	87	87.0	13	13.0	0	0.0
	２人	260	202	77.7	51	19.6	7	2.7	167	64.2	90	34.6	3	1.2	227	87.3	31	11.9	2	0.8
	３人	105	88	83.8	16	15.2	1	1.0	56	53.3	45	42.9	4	3.8	96	91.4	8	7.6	1	1.0
	４人	10	7	70.0	3	30.0	0	0.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	0	0.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	子どもはいない	165	138	83.6	25	15.2	2	1.2	103	62.4	61	37.0	1	0.6	148	89.7	16	9.7	1	0.6
就学状況※1	小学校入学前	51	48	94.1	3	5.9	0	0.0	28	54.9	22	43.1	1	2.0	45	88.2	6	11.8	0	0.0
	小学生	58	53	91.4	5	8.6	0	0.0	20	34.5	38	65.5	0	0.0	51	87.9	7	12.1	0	0.0
	中学生	36	31	86.1	5	13.9	0	0.0	18	50.0	18	50.0	0	0.0	29	80.6	7	19.4	0	0.0
	高校生	45	36	80.0	9	20.0	0	0.0	25	55.6	20	44.4	0	0.0	41	91.1	4	8.9	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	29	76.3	9	23.7	0	0.0	20	52.6	18	47.4	0	0.0	32	84.2	6	15.8	0	0.0
	その他	287	222	77.4	58	20.2	7	2.4	179	62.4	103	35.9	5	1.7	258	89.9	27	9.4	2	0.7
居住地区	昭和地区	226	184	81.4	36	15.9	6	2.7	132	58.4	90	39.8	4	1.8	192	85.0	32	14.2	2	0.9
	長浦地区	237	194	81.9	38	16.0	5	2.1	111	46.8	122	51.5	4	1.7	202	85.2	33	13.9	2	0.8
	根形地区	63	48	76.2	15	23.8	0	0.0	46	73.0	16	25.4	1	1.6	62	98.4	1	1.6	0	0.0
	平岡地区	47	35	74.5	10	21.3	2	4.3	39	83.0	8	17.0	0	0.0	44	93.6	2	4.3	1	2.1
	中川地区	49	46	93.9	3	6.1	0	0.0	39	79.6	10	20.4	0	0.0	47	95.9	2	4.1	0	0.0
	富岡地区	19	14	73.7	5	26.3	0	0.0	14	73.7	5	26.3	0	0.0	19	100.0	0	0.0	0	0.0
居住年数	３年未満	30	24	80.0	5	16.7	1	3.3	20	66.7	10	33.3	0	0.0	25	83.3	5	16.7	0	0.0
	３年以上５年未満	28	26	92.9	2	7.1	0	0.0	12	42.9	16	57.1	0	0.0	25	89.3	3	10.7	0	0.0
	５年以上10年未満	53	47	88.7	5	9.4	1	1.9	24	45.3	28	52.8	1	1.9	46	86.8	7	13.2	0	0.0
	10年以上20年未満	100	81	81.0	18	18.0	1	1.0	58	58.0	41	41.0	1	1.0	87	87.0	12	12.0	1	1.0
	20年以上	432	345	79.9	77	17.8	10	2.3	267	61.8	158	36.6	7	1.6	385	89.1	43	10.0	4	0.9
前住居	生まれたときから現在のところ	95	79	83.2	13	13.7	3	3.2	64	67.4	31	32.6	0	0.0	89	93.7	6	6.3	0	0.0
	袖ケ浦市内の別のところ	119	96	80.7	20	16.8	3	2.5	63	52.9	55	46.2	1	0.8	104	87.4	13	10.9	2	1.7
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	245	81.4	52	17.3	4	1.3	184	61.1	112	37.2	5	1.7	262	87.0	37	12.3	2	0.7
	東京都内	43	34	79.1	9	20.9	0	0.0	22	51.2	20	46.5	1	2.3	35	81.4	8	18.6	0	0.0
	神奈川県内	30	25	83.3	4	13.3	1	3.3	21	70.0	8	26.7	1	3.3	28	93.3	1	3.3	1	3.3
	その他	51	41	80.4	8	15.7	2	3.9	25	49.0	25	49.0	1	2.0	46	90.2	5	9.8	0	0.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	141	81.0	31	17.8	2	1.1	104	59.8	69	39.7	1	0.6	154	88.5	19	10.9	1	0.6
	木更津市内	84	72	85.7	12	14.3	0	0.0	50	59.5	33	39.3	1	1.2	74	88.1	10	11.9	0	0.0
	市原市内	64	57	89.1	7	10.9	0	0.0	31	48.4	33	51.6	0	0.0	57	89.1	7	10.9	0	0.0
	君津市内	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0
	千葉市内	35	27	77.1	8	22.9	0	0.0	28	80.0	7	20.0	0	0.0	34	97.1	1	2.9	0	0.0
	千葉県内※2	25	22	88.0	3	12.0	0	0.0	14	56.0	11	44.0	0	0.0	23	92.0	2	8.0	0	0.0
	東京都内	34	30	88.2	4	11.8	0	0.0	18	52.9	15	44.1	1	2.9	29	85.3	5	14.7	0	0.0
	神奈川県内	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	10	6	60.0	3	30.0	1	10.0	6	60.0	4	40.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	141	76.6	34	18.5	9	4.9	109	59.2	69	37.5	6	3.3	164	89.1	16	8.7	4	2.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 8　属性別クロス集計表（８／１７）

属性		合計	22 市内にごみがなく、まちがきれいだと感じていますか						23 日ごろから省エネなど環境に配慮した行動に取り組んでいますか						24 日ごろからリデュース、リユース、リサイクルの３Ｒを実践していますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	424	64.7	215	32.8	16	2.4	523	79.8	124	18.9	8	1.2	491	75.0	154	23.5	10	1.5
性別	男性	268	183	68.3	83	31.0	2	0.7	219	81.7	47	17.5	2	0.7	204	76.1	61	22.8	3	1.1
	女性	357	227	63.6	119	33.3	11	3.1	283	79.3	71	19.9	3	0.8	267	74.8	86	24.1	4	1.1
	答えない	21	10	47.6	11	52.4	0	0.0	16	76.2	5	23.8	0	0.0	15	71.4	6	28.6	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	31	66.0	14	29.8	2	4.3	34	72.3	13	27.7	0	0.0	32	68.1	15	31.9	0	0.0
	３０歳台	92	57	62.0	34	37.0	1	1.1	62	67.4	29	31.5	1	1.1	59	64.1	33	35.9	0	0.0
	４０歳台	117	86	73.5	30	25.6	1	0.9	88	75.2	29	24.8	0	0.0	90	76.9	27	23.1	0	0.0
	５０歳台	131	83	63.4	46	35.1	2	1.5	113	86.3	18	13.7	0	0.0	101	77.1	30	22.9	0	0.0
	６０～６４歳	57	32	56.1	24	42.1	1	1.8	50	87.7	5	8.8	2	3.5	44	77.2	11	19.3	2	3.5
	６５～６９歳	69	41	59.4	28	40.6	0	0.0	61	88.4	8	11.6	0	0.0	50	72.5	18	26.1	1	1.4
	７０歳以上	133	89	66.9	38	28.6	6	4.5	110	82.7	21	15.8	2	1.5	110	82.7	19	14.3	4	3.0
職業	自営業主	31	23	74.2	8	25.8	0	0.0	29	93.5	2	6.5	0	0.0	28	90.3	3	9.7	0	0.0
	家族従業者	12	7	58.3	5	41.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	9	75.0	3	25.0	0	0.0
	会社・団体役員	113	73	64.6	40	35.4	0	0.0	86	76.1	26	23.0	1	0.9	80	70.8	33	29.2	0	0.0
	給与所得者	154	112	72.7	41	26.6	1	0.6	125	81.2	29	18.8	0	0.0	113	73.4	41	26.6	0	0.0
	アルバイト・パートタイム	121	72	59.5	46	38.0	3	2.5	95	78.5	26	21.5	0	0.0	92	76.0	29	24.0	0	0.0
	学生	18	11	61.1	5	27.8	2	11.1	16	88.9	2	11.1	0	0.0	15	83.3	3	16.7	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	62	63.9	32	33.0	3	3.1	86	88.7	10	10.3	1	1.0	80	82.5	14	14.4	3	3.1
	その他	8	3	37.5	5	62.5	0	0.0	3	37.5	4	50.0	1	12.5	4	50.0	3	37.5	1	12.5
	無職	90	56	62.2	30	33.3	4	4.4	69	76.7	19	21.1	2	2.2	65	72.2	22	24.4	3	3.3
世帯人数	１人	56	34	60.7	20	35.7	2	3.6	40	71.4	15	26.8	1	1.8	42	75.0	13	23.2	1	1.8
	２人	208	140	67.3	64	30.8	4	1.9	180	86.5	27	13.0	1	0.5	169	81.3	36	17.3	3	1.4
	３人	173	112	64.7	59	34.1	2	1.2	143	82.7	30	17.3	0	0.0	127	73.4	45	26.0	1	0.6
	４人	135	86	63.7	45	33.3	4	3.0	105	77.8	28	20.7	2	1.5	94	69.6	39	28.9	2	1.5
	５人以上	73	47	64.4	25	34.2	1	1.4	49	67.1	23	31.5	1	1.4	54	74.0	19	26.0	0	0.0
子どもの数	１人	100	66	66.0	34	34.0	0	0.0	85	85.0	15	15.0	0	0.0	78	78.0	22	22.0	0	0.0
	２人	260	171	65.8	81	31.2	8	3.1	218	83.8	40	15.4	2	0.8	202	77.7	54	20.8	4	1.5
	３人	105	62	59.0	41	39.0	2	1.9	85	81.0	19	18.1	1	1.0	84	80.0	20	19.0	1	1.0
	４人	10	8	80.0	2	20.0	0	0.0	10	100.0	0	0.0	0	0.0	10	100.0	0	0.0	0	0.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	166	109	65.7	54	32.5	3	1.8	118	71.1	46	27.7	2	1.2	109	65.7	55	33.1	2	1.2
就学状況※１	小学校入学前	53	33	62.3	19	35.8	1	1.9	39	73.6	14	26.4	0	0.0	33	62.3	20	37.7	0	0.0
	小学生	58	34	58.6	24	41.4	0	0.0	40	69.0	17	29.3	1	1.7	44	75.9	14	24.1	0	0.0
	中学生	36	23	63.9	12	33.3	1	2.8	28	77.8	8	22.2	0	0.0	26	72.2	10	27.8	0	0.0
	高校生	45	33	73.3	12	26.7	0	0.0	38	84.4	7	15.6	0	0.0	36	80.0	9	20.0	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	22	57.9	16	42.1	0	0.0	32	84.2	6	15.8	0	0.0	31	81.6	7	18.4	0	0.0
	その他	285	187	65.6	91	31.9	7	2.5	251	88.1	32	11.2	2	0.7	232	81.4	49	17.2	4	1.4
居住地区	昭和地区	226	147	65.0	73	32.3	6	2.7	175	77.4	50	22.1	1	0.4	169	74.8	55	24.3	2	0.9
	長浦地区	237	157	66.2	76	32.1	4	1.7	190	80.2	43	18.1	4	1.7	181	76.4	52	21.9	4	1.7
	根形地区	63	43	68.3	19	30.2	1	1.6	54	85.7	9	14.3	0	0.0	47	74.6	16	25.4	0	0.0
	平岡地区	47	31	66.0	13	27.7	3	6.4	38	80.9	8	17.0	1	2.1	38	80.9	8	17.0	1	2.1
	中川地区	49	30	61.2	19	38.8	0	0.0	41	83.7	8	16.3	0	0.0	32	65.3	16	32.7	1	2.0
	富岡地区	19	9	47.4	10	52.6	0	0.0	17	89.5	2	10.5	0	0.0	16	84.2	3	15.8	0	0.0
居住年数	３年未満	30	22	73.3	8	26.7	0	0.0	24	80.0	6	20.0	0	0.0	20	66.7	10	33.3	0	0.0
	３年以上５年未満	28	21	75.0	7	25.0	0	0.0	21	75.0	7	25.0	0	0.0	19	67.9	9	32.1	0	0.0
	５年以上10年未満	53	34	64.2	18	34.0	1	1.9	34	64.2	19	35.8	0	0.0	42	79.2	11	20.8	0	0.0
	10年以上20年未満	100	66	66.0	33	33.0	1	1.0	81	81.0	18	18.0	1	1.0	78	78.0	21	21.0	1	1.0
	20年以上	432	276	63.9	144	33.3	12	2.8	356	82.4	71	16.4	5	1.2	325	75.2	100	23.1	7	1.6
前住居	生まれたときから現在のところ	95	57	60.0	35	36.8	3	3.2	75	78.9	20	21.1	0	0.0	69	72.6	26	27.4	0	0.0
	袖ケ浦市内の別のところ	119	73	61.3	42	35.3	4	3.4	96	80.7	22	18.5	1	0.8	91	76.5	26	21.8	2	1.7
	袖ケ浦市以外の千葉県内	305	211	69.2	91	29.8	3	1.0	247	81.0	55	18.0	3	1.0	230	75.4	72	23.6	3	1.0
	東京都内	43	28	65.1	14	32.6	1	2.3	34	79.1	9	20.9	0	0.0	30	69.8	13	30.2	0	0.0
	神奈川県内	30	18	60.0	10	33.3	2	6.7	26	86.7	3	10.0	1	3.3	24	80.0	4	13.3	2	6.7
	その他	46	29	63.0	16	34.8	1	2.2	35	76.1	11	23.9	0	0.0	37	80.4	9	19.6	0	0.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	175	107	61.1	64	36.6	4	2.3	133	76.0	40	22.9	2	1.1	136	77.7	37	21.1	2	1.1
	木更津市内	84	57	67.9	26	31.0	1	1.2	69	82.1	15	17.9	0	0.0	63	75.0	21	25.0	0	0.0
	市原市内	64	44	68.8	20	31.3	0	0.0	53	82.8	10	15.6	1	1.6	45	70.3	19	29.7	0	0.0
	君津市内	12	9	75.0	3	25.0	0	0.0	7	58.3	5	41.7	0	0.0	2	16.7	10	83.3	0	0.0
	千葉市内	35	28	80.0	7	20.0	0	0.0	28	80.0	7	20.0	0	0.0	26	74.3	9	25.7	0	0.0
	千葉県内※２	26	17	65.4	8	30.8	1	3.8	18	69.2	8	30.8	0	0.0	16	61.5	10	38.5	0	0.0
	東京都内	34	22	64.7	11	32.4	1	2.9	28	82.4	6	17.6	0	0.0	26	76.5	8	23.5	0	0.0
	神奈川県内	8	5	62.5	3	37.5	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	7	5	71.4	2	28.6	0	0.0	4	57.1	3	42.9	0	0.0	7	100.0	0	0.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	185	120	64.9	58	31.4	7	3.8	158	85.4	24	13.0	3	1.6	146	78.9	33	17.8	6	3.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 9　属性別クロス集計表（９／１７）

属性		合計	25 市街地の整備が適切になされていると思いますか						26 市内に良好なまち並みや景観が形成されていると思いますか						27 市内の公園が適切に管理されていると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	348	53.1	292	44.6	15	2.3	398	60.8	238	36.3	19	2.9	409	62.4	231	35.3	15	2.3
性別	男性	268	139	51.9	127	47.4	2	0.7	161	60.1	103	38.4	4	1.5	170	63.4	95	35.4	3	1.1
	女性	357	197	55.2	149	41.7	11	3.1	223	62.5	122	34.2	12	3.4	224	62.7	123	34.5	10	2.8
	答えない	21	9	42.9	12	57.1	0	0.0	9	42.9	11	52.4	1	4.8	10	47.6	11	52.4	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	31	66.0	16	34.0	0	0.0	35	74.5	11	23.4	1	2.1	34	72.3	12	25.5	1	2.1
	３０歳台	92	59	64.1	32	34.8	1	1.1	74	80.4	17	18.5	1	1.1	54	58.7	35	38.0	3	3.3
	４０歳台	117	74	63.2	43	36.8	0	0.0	86	73.5	31	26.5	0	0.0	78	66.7	38	32.5	1	0.9
	５０歳台	131	67	51.1	64	48.9	0	0.0	78	59.5	51	38.9	2	1.5	81	61.8	49	37.4	1	0.8
	６０～６４歳	57	25	43.9	30	52.6	2	3.5	24	42.1	31	54.4	2	3.5	32	56.1	24	42.1	1	1.8
	６５～６９歳	69	33	47.8	35	50.7	1	1.4	35	50.7	33	47.8	1	1.4	43	62.3	25	36.2	1	1.4
	７０歳以上	133	55	41.4	69	51.9	9	6.8	60	45.1	63	47.4	10	7.5	82	61.7	46	34.6	5	3.8
職業	自営業主	31	13	41.9	18	58.1	0	0.0	20	64.5	11	35.5	0	0.0	18	58.1	12	38.7	1	3.2
	家族従業者	12	7	58.3	5	41.7	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0	9	75.0	3	25.0	0	0.0
	会社・団体役員	113	59	52.2	54	47.8	0	0.0	64	56.6	47	41.6	2	1.8	65	57.5	46	40.7	2	1.8
	給与所得者	149	99	66.4	49	32.9	1	0.7	111	74.5	36	24.2	2	1.3	101	67.8	44	29.5	4	2.7
	アルバイト・パートタイム	121	68	56.2	53	43.8	0	0.0	75	62.0	45	37.2	1	0.8	79	65.3	42	34.7	0	0.0
	学生	18	13	72.2	5	27.8	0	0.0	14	77.8	4	22.2	0	0.0	14	77.8	4	22.2	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	45	46.4	46	47.4	6	6.2	51	52.6	40	41.2	6	6.2	60	61.9	33	34.0	4	4.1
	その他	13	3	23.1	10	76.9	0	0.0	5	38.5	8	61.5	0	0.0	5	38.5	8	61.5	0	0.0
	無職	90	36	40.0	48	53.3	6	6.7	43	47.8	41	45.6	6	6.7	53	58.9	35	38.9	2	2.2
世帯人数	１人	56	28	50.0	26	46.4	2	3.6	26	46.4	27	48.2	3	5.4	32	57.1	21	37.5	3	5.4
	２人	208	105	50.5	95	45.7	8	3.8	118	56.7	83	39.9	7	3.4	137	65.9	66	31.7	5	2.4
	３人	173	100	57.8	72	41.6	1	0.6	109	63.0	63	36.4	1	0.6	109	63.0	62	35.8	2	1.2
	４人	135	75	55.6	58	43.0	2	1.5	92	68.1	39	28.9	4	3.0	80	59.3	53	39.3	2	1.5
	５人以上	73	37	50.7	36	49.3	0	0.0	47	64.4	24	32.9	2	2.7	46	63.0	26	35.6	1	1.4
子どもの数	１人	100	57	57.0	42	42.0	1	1.0	62	62.0	38	38.0	0	0.0	62	62.0	36	36.0	2	2.0
	２人	260	142	54.6	112	43.1	6	2.3	156	60.0	96	36.9	8	3.1	166	63.8	91	35.0	3	1.2
	３人	105	42	40.0	59	56.2	4	3.8	51	48.6	49	46.7	5	4.8	53	50.5	50	47.6	2	1.9
	４人	10	6	60.0	4	40.0	0	0.0	6	60.0	3	30.0	1	10.0	6	60.0	3	30.0	1	10.0
	５人以上	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	97	58.8	67	40.6	1	0.6	115	69.7	48	29.1	2	1.2	114	69.1	46	27.9	5	3.0
就学状況※１	小学校入学前	51	32	62.7	19	37.3	0	0.0	39	76.5	11	21.6	1	2.0	27	52.9	23	45.1	1	2.0
	小学生	58	36	62.1	21	36.2	1	1.7	40	69.0	17	29.3	1	1.7	36	62.1	21	36.2	1	1.7
	中学生	36	24	66.7	11	30.6	1	2.8	24	66.7	11	30.6	1	2.8	20	55.6	15	41.7	1	2.8
	高校生	45	28	62.2	17	37.8	0	0.0	34	75.6	11	24.4	0	0.0	29	64.4	16	35.6	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	17	44.7	21	55.3	0	0.0	21	55.3	17	44.7	0	0.0	23	60.5	14	36.8	1	2.6
	その他	287	132	46.0	146	50.9	9	3.1	146	50.9	130	45.3	11	3.8	175	61.0	108	37.6	4	1.4
居住地区	昭和地区	226	140	61.9	79	35.0	7	3.1	150	66.4	70	31.0	6	2.7	139	61.5	81	35.8	6	2.7
	長浦地区	237	116	48.9	117	49.4	4	1.7	130	54.9	101	42.6	6	2.5	139	58.6	94	39.7	4	1.7
	根形地区	63	29	46.0	34	54.0	0	0.0	43	68.3	18	28.6	2	3.2	44	69.8	19	30.2	0	0.0
	平岡地区	47	27	57.4	18	38.3	2	4.3	30	63.8	15	31.9	2	4.3	31	66.0	15	31.9	1	2.1
	中川地区	49	21	42.9	28	57.1	0	0.0	29	59.2	19	38.8	1	2.0	34	69.4	13	26.5	2	4.1
	富岡地区	19	9	47.4	10	52.6	0	0.0	9	47.4	10	52.6	0	0.0	15	78.9	4	21.1	0	0.0
居住年数	３年未満	30	18	60.0	12	40.0	0	0.0	24	80.0	6	20.0	0	0.0	21	70.0	9	30.0	0	0.0
	３年以上５年未満	28	19	67.9	9	32.1	0	0.0	21	75.0	7	25.0	0	0.0	14	50.0	13	46.4	1	3.6
	５年以上10年未満	53	32	60.4	19	35.8	2	3.8	38	71.7	12	22.6	3	5.7	34	64.2	18	34.0	1	1.9
	10年以上20年未満	100	62	62.0	36	36.0	2	2.0	72	72.0	26	26.0	2	2.0	70	70.0	29	29.0	1	1.0
	20年以上	432	212	49.1	211	48.8	9	2.1	238	55.1	182	42.1	12	2.8	265	61.3	157	36.3	10	2.3
前住居	生まれたときから現在のところ	95	46	48.4	47	49.5	2	2.1	61	64.2	32	33.7	2	2.1	61	64.2	32	33.7	2	2.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	68	57.1	47	39.5	4	3.4	78	65.5	37	31.1	4	3.4	75	63.0	39	32.8	5	4.2
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	168	55.8	128	42.5	5	1.7	185	61.5	108	35.9	8	2.7	196	65.1	102	33.9	3	1.0
	東京都内	43	23	53.5	20	46.5	0	0.0	23	53.5	20	46.5	0	0.0	32	74.4	11	25.6	0	0.0
	神奈川県内	30	17	56.7	13	43.3	0	0.0	19	63.3	10	33.3	1	3.3	15	50.0	14	46.7	1	3.3
	その他	51	20	39.2	29	56.9	2	3.9	25	49.0	24	47.1	2	3.9	23	45.1	26	51.0	2	3.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	98	56.3	75	43.1	1	0.6	109	62.6	63	36.2	2	1.1	99	56.9	71	40.8	4	2.3
	木更津市内	84	48	57.1	35	41.7	1	1.2	58	69.0	25	29.8	1	1.2	57	67.9	25	29.8	2	2.4
	市原市内	64	41	64.1	23	35.9	0	0.0	43	67.2	21	32.8	0	0.0	40	62.5	24	37.5	0	0.0
	君津市内	12	6	50.0	6	50.0	0	0.0	7	58.3	4	33.3	1	8.3	9	75.0	3	25.0	0	0.0
	千葉市内	35	23	65.7	12	34.3	0	0.0	24	68.6	11	31.4	0	0.0	24	68.6	10	28.6	1	2.9
	千葉県内※２	25	13	52.0	12	48.0	0	0.0	16	64.0	9	36.0	0	0.0	16	64.0	8	32.0	1	4.0
	東京都内	34	21	61.8	13	38.2	0	0.0	24	70.6	8	23.5	2	5.9	24	70.6	10	29.4	0	0.0
	神奈川県内	8	6	75.0	2	25.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	10	4	40.0	5	50.0	1	10.0	6	60.0	4	40.0	0	0.0	7	70.0	2	20.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	79	42.9	96	52.2	9	4.9	93	50.5	81	44.0	10	5.4	112	60.9	68	37.0	4	2.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 10　属性別クロス集計表（１０／１７）

属性		合計	28						29						30					
			市内の道路環境は整っていると思いますか						適切に河川や雨水排水施設が整備されていると思いますか						生活排水などの汚水が適切に処理されていると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	328	50.1	311	47.5	16	2.4	414	63.2	217	33.1	24	3.7	529	80.8	105	16.0	21	3.2
性別	男性	268	127	47.4	137	51.1	4	1.5	168	62.7	95	35.4	5	1.9	217	81.0	46	17.2	5	1.9
	女性	357	190	53.2	158	44.3	9	2.5	229	64.1	112	31.4	16	4.5	292	81.8	52	14.6	13	3.6
	答えない	21	8	38.1	13	61.9	0	0.0	14	66.7	7	33.3	0	0.0	16	76.2	5	23.8	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	22	46.8	25	53.2	0	0.0	36	76.6	9	19.1	2	4.3	43	91.5	4	8.5	0	0.0
	３０歳台	92	48	52.2	41	44.6	3	3.3	61	66.3	30	32.6	1	1.1	78	84.8	12	13.0	2	2.2
	４０歳台	117	70	59.8	47	40.2	0	0.0	80	68.4	34	29.1	3	2.6	102	87.2	14	12.0	1	0.9
	５０歳台	131	62	47.3	69	52.7	0	0.0	84	64.1	42	32.1	5	3.8	109	83.2	21	16.0	1	0.8
	６０～６４歳	57	23	40.4	31	54.4	3	5.3	32	56.1	24	42.1	1	1.8	43	75.4	13	22.8	1	1.8
	６５～６９歳	69	29	42.0	40	58.0	0	0.0	43	62.3	26	37.7	0	0.0	56	81.2	12	17.4	1	1.4
	７０歳以上	133	70	52.6	56	42.1	7	5.3	74	55.6	50	37.6	9	6.8	93	69.9	28	21.1	12	9.0
職業	自営業主	31	15	48.4	16	51.6	0	0.0	21	67.7	9	29.0	1	3.2	23	74.2	8	25.8	0	0.0
	家族従業者	12	4	33.3	8	66.7	0	0.0	5	41.7	6	50.0	1	8.3	9	75.0	2	16.7	1	8.3
	会社・団体役員	113	57	50.4	56	49.6	0	0.0	70	61.9	39	34.5	4	3.5	98	86.7	13	11.5	2	1.8
	給与所得者	149	82	55.0	65	43.6	2	1.3	103	69.1	42	28.2	4	2.7	130	87.2	18	12.1	1	0.7
	アルバイト・パートタイム	121	69	57.0	52	43.0	0	0.0	76	62.8	45	37.2	0	0.0	98	81.0	23	19.0	0	0.0
	学生	18	10	55.6	8	44.4	0	0.0	15	83.3	3	16.7	0	0.0	18	100.0	0	0.0	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	53	54.6	41	42.3	3	3.1	65	67.0	25	25.8	7	7.2	78	80.4	13	13.4	6	6.2
	その他	13	3	23.1	9	69.2	1	7.7	7	53.8	6	46.2	0	0.0	8	61.5	5	38.5	0	0.0
	無職	90	31	34.4	52	57.8	7	7.8	47	52.2	39	43.3	4	4.4	63	70.0	19	21.1	8	8.9
世帯人数	１人	56	23	41.1	31	55.4	2	3.6	28	50.0	23	41.1	5	8.9	43	76.8	11	19.6	2	3.6
	２人	208	112	53.8	88	42.3	8	3.8	136	65.4	65	31.3	7	3.4	169	81.3	31	14.9	8	3.8
	３人	173	93	53.8	79	45.7	1	0.6	122	70.5	49	28.3	2	1.2	145	83.8	25	14.5	3	1.7
	４人	135	61	45.2	72	53.3	2	1.5	82	60.7	48	35.6	5	3.7	110	81.5	21	15.6	4	3.0
	５人以上	73	35	47.9	38	52.1	0	0.0	43	58.9	28	38.4	2	2.7	57	78.1	15	20.5	1	1.4
子どもの数	１人	100	46	46.0	53	53.0	1	1.0	67	67.0	32	32.0	1	1.0	81	81.0	17	17.0	2	2.0
	２人	260	139	53.5	116	44.6	5	1.9	169	65.0	84	32.3	7	2.7	212	81.5	41	15.8	7	2.7
	３人	105	47	44.8	55	52.4	3	2.9	58	55.2	41	39.0	6	5.7	77	73.3	23	21.9	5	4.8
	４人	10	6	60.0	4	40.0	0	0.0	7	70.0	2	20.0	1	10.0	6	60.0	2	20.0	2	20.0
	５人以上	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	子どもはいない	165	84	50.9	78	47.3	3	1.8	107	64.8	52	31.5	6	3.6	143	86.7	20	12.1	2	1.2
就学状況※１	小学校入学前	51	28	54.9	23	45.1	0	0.0	37	72.5	14	27.5	0	0.0	44	86.3	6	11.8	1	2.0
	小学生	58	30	51.7	27	46.6	1	1.7	34	58.6	23	39.7	1	1.7	47	81.0	10	17.2	1	1.7
	中学生	36	21	58.3	14	38.9	1	2.8	24	66.7	10	27.8	2	5.6	30	83.3	5	13.9	1	2.8
	高校生	45	24	53.3	21	46.7	0	0.0	27	60.0	17	37.8	1	2.2	34	75.6	11	24.4	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	23	60.5	15	39.5	0	0.0	27	71.1	11	28.9	0	0.0	37	97.4	1	2.6	0	0.0
	その他	287	136	47.4	144	50.2	7	2.4	181	63.1	95	33.1	11	3.8	223	77.7	51	17.8	13	4.5
居住地区	昭和地区	226	112	49.6	109	48.2	5	2.2	143	63.3	72	31.9	11	4.9	186	82.3	33	14.6	7	3.1
	長浦地区	237	130	54.9	100	42.2	7	3.0	158	66.7	72	30.4	7	3.0	199	84.0	32	13.5	6	2.5
	根形地区	63	33	52.4	30	47.6	0	0.0	38	60.3	23	36.5	2	3.2	47	74.6	15	23.8	1	1.6
	平岡地区	47	22	46.8	23	48.9	2	4.3	29	61.7	17	36.2	1	2.1	39	83.0	5	10.6	3	6.4
	中川地区	49	15	30.6	34	69.4	0	0.0	30	61.2	18	36.7	1	2.0	36	73.5	11	22.4	2	4.1
	富岡地区	19	11	57.9	8	42.1	0	0.0	11	57.9	8	42.1	0	0.0	12	63.2	7	36.8	0	0.0
居住年数	３年未満	30	13	43.3	17	56.7	0	0.0	22	73.3	8	26.7	0	0.0	24	80.0	6	20.0	0	0.0
	３年以上５年未満	28	14	50.0	13	46.4	1	3.6	21	75.0	7	25.0	0	0.0	24	85.7	4	14.3	0	0.0
	５年以上10年未満	53	28	52.8	23	43.4	2	3.8	34	64.2	16	30.2	3	5.7	45	84.9	6	11.3	2	3.8
	10年以上20年未満	100	60	60.0	39	39.0	1	1.0	64	64.0	33	33.0	3	3.0	81	81.0	16	16.0	3	3.0
	20年以上	432	209	48.4	213	49.3	10	2.3	269	62.3	147	34.0	16	3.7	346	80.1	72	16.7	14	3.2
前住居	生まれたときから現在のところ	95	38	40.0	54	56.8	3	3.2	60	63.2	34	35.8	1	1.1	77	81.1	17	17.9	1	1.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	60	50.4	56	47.1	3	2.5	75	63.0	35	29.4	9	7.6	97	81.5	16	13.4	6	5.0
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	166	55.1	129	42.9	6	2.0	204	67.8	89	29.6	8	2.7	251	83.4	42	14.0	8	2.7
	東京都内	43	23	53.5	20	46.5	0	0.0	25	58.1	18	41.9	0	0.0	33	76.7	9	20.9	1	2.3
	神奈川県内	30	12	40.0	18	60.0	0	0.0	18	60.0	11	36.7	1	3.3	24	80.0	6	20.0	0	0.0
	その他	51	24	47.1	25	49.0	2	3.9	27	52.9	21	41.2	3	5.9	37	72.5	11	21.6	3	5.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	88	50.6	83	47.7	3	1.7	109	62.6	56	32.2	9	5.2	140	80.5	30	17.2	4	2.3
	木更津市内	84	41	48.8	41	48.8	2	2.4	56	66.7	27	32.1	1	1.2	71	84.5	12	14.3	1	1.2
	市原市内	64	43	67.2	21	32.8	0	0.0	43	67.2	20	31.3	1	1.6	56	87.5	8	12.5	0	0.0
	君津市内	12	7	58.3	5	41.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0
	千葉市内	35	24	68.6	11	31.4	0	0.0	25	71.4	9	25.7	1	2.9	34	97.1	1	2.9	0	0.0
	千葉県内※２	25	8	32.0	17	68.0	0	0.0	14	56.0	11	44.0	0	0.0	21	84.0	4	16.0	0	0.0
	東京都内	34	15	44.1	19	55.9	0	0.0	22	64.7	11	32.4	1	2.9	26	76.5	8	23.5	0	0.0
	神奈川県内	8	4	50.0	4	50.0	0	0.0	7	87.5	1	12.5	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0
	その他	10	4	40.0	6	60.0	0	0.0	5	50.0	4	40.0	1	10.0	8	80.0	1	10.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	85	46.2	92	50.0	7	3.8	116	63.0	61	33.2	7	3.8	138	75.0	34	18.5	12	6.5

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 11　属性別クロス集計表（１１／１７）

属性		合計	31 市内にある空き家が適切に管理されていると思いますか						32 市内の鉄道交通に満足していますか						33 市内の高速バス交通に満足していますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	196	29.9	432	66.0	27	4.1	339	51.8	298	45.5	18	2.7	458	69.9	182	27.8	15	2.3
性別	男性	268	80	29.9	180	67.2	8	3.0	141	52.6	120	44.8	7	2.6	190	70.9	73	27.2	5	1.9
	女性	357	107	30.0	234	65.5	16	4.5	185	51.8	164	45.9	8	2.2	247	69.2	102	28.6	8	2.2
	答えない	21	8	38.1	13	61.9	0	0.0	10	47.6	11	52.4	0	0.0	15	71.4	6	28.6	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	16	34.0	31	66.0	0	0.0	24	51.1	23	48.9	0	0.0	35	74.5	11	23.4	1	2.1
	３０歳台	92	35	38.0	55	59.8	2	2.2	52	56.5	39	42.4	1	1.1	69	75.0	22	23.9	1	1.1
	４０歳台	117	46	39.3	67	57.3	4	3.4	68	58.1	47	40.2	2	1.7	91	77.8	26	22.2	0	0.0
	５０歳台	131	39	29.8	88	67.2	4	3.1	59	45.0	71	54.2	1	0.8	85	64.9	46	35.1	0	0.0
	６０～６４歳	57	9	15.8	45	78.9	3	5.3	24	42.1	32	56.1	1	1.8	39	68.4	17	29.8	1	1.8
	６５～６９歳	69	14	20.3	55	79.7	0	0.0	39	56.5	30	43.5	0	0.0	47	68.1	22	31.9	0	0.0
	７０歳以上	133	35	26.3	87	65.4	11	8.3	70	52.6	54	40.6	9	6.8	86	64.7	37	27.8	10	7.5
職業	自営業主	31	8	25.8	23	74.2	0	0.0	20	64.5	11	35.5	0	0.0	22	71.0	9	29.0	0	0.0
	家族従業者	12	2	16.7	10	83.3	0	0.0	4	33.3	8	66.7	0	0.0	5	41.7	7	58.3	0	0.0
	会社・団体役員	113	37	32.7	74	65.5	2	1.8	56	49.6	56	49.6	1	0.9	75	66.4	36	31.9	2	1.8
	給与所得者	149	42	28.2	101	67.8	6	4.0	76	51.0	71	47.7	2	1.3	110	73.8	38	25.5	1	0.7
	アルバイト・パートタイム	121	32	26.4	87	71.9	2	1.7	66	54.5	54	44.6	1	0.8	89	73.6	30	24.8	2	1.7
	学生	18	7	38.9	10	55.6	1	5.6	11	61.1	6	33.3	1	5.6	11	61.1	7	38.9	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	31	32.0	59	60.8	7	7.2	45	46.4	49	50.5	3	3.1	68	70.1	26	26.8	3	3.1
	その他	13	6	46.2	7	53.8	0	0.0	7	53.8	6	46.2	0	0.0	9	69.2	4	30.8	0	0.0
	無職	90	30	33.3	54	60.0	6	6.7	50	55.6	33	36.7	7	7.8	64	71.1	21	23.3	5	5.6
世帯人数	１人	56	19	33.9	35	62.5	2	3.6	28	50.0	26	46.4	2	3.6	33	58.9	20	35.7	3	5.4
	２人	208	58	27.9	135	64.9	15	7.2	114	54.8	86	41.3	8	3.8	148	71.2	55	26.4	5	2.4
	３人	173	51	29.5	120	69.4	2	1.2	98	56.6	75	43.4	0	0.0	128	74.0	45	26.0	0	0.0
	４人	135	40	29.6	92	68.1	3	2.2	61	45.2	71	52.6	3	2.2	92	68.1	39	28.9	4	3.0
	５人以上	73	27	37.0	44	60.3	2	2.7	35	47.9	36	49.3	2	2.7	51	69.9	21	28.8	1	1.4
子どもの数	１人	100	36	36.0	62	62.0	2	2.0	57	57.0	42	42.0	1	1.0	74	74.0	26	26.0	0	0.0
	２人	260	72	27.7	174	66.9	14	5.4	134	51.5	118	45.4	8	3.1	181	69.6	72	27.7	7	2.7
	３人	105	27	25.7	74	70.5	4	3.8	48	45.7	53	50.5	4	3.8	78	74.3	25	23.8	2	1.9
	４人	10	4	40.0	6	60.0	0	0.0	4	40.0	5	50.0	1	10.0	6	60.0	2	20.0	2	20.0
	５人以上	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	55	33.3	106	64.2	4	2.4	90	54.5	74	44.8	1	0.6	112	67.9	51	30.9	2	1.2
就学状況※１	小学校入学前	51	24	47.1	26	51.0	1	2.0	32	62.7	19	37.3	0	0.0	38	74.5	13	25.5	0	0.0
	小学生	58	21	36.2	35	60.3	2	3.4	35	60.3	21	36.2	2	3.4	46	79.3	11	19.0	1	1.7
	中学生	36	10	27.8	24	66.7	2	5.6	15	41.7	19	52.8	2	5.6	25	69.4	10	27.8	1	2.8
	高校生	45	12	26.7	32	71.1	1	2.2	20	44.4	24	53.3	1	2.2	34	75.6	11	24.4	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	11	28.9	24	63.2	3	7.9	17	44.7	20	52.6	1	2.6	30	78.9	7	18.4	1	2.6
	その他	287	73	25.4	198	69.0	16	5.6	146	50.9	130	45.3	11	3.8	196	68.3	82	28.6	9	3.1
居住地区	昭和地区	226	78	34.5	135	59.7	13	5.8	151	66.8	69	30.5	6	2.7	174	77.0	47	20.8	5	2.2
	長浦地区	237	76	32.1	154	65.0	7	3.0	129	54.4	102	43.0	6	2.5	164	69.2	70	29.5	3	1.3
	根形地区	63	16	25.4	46	73.0	1	1.6	23	36.5	39	61.9	1	1.6	43	68.3	20	31.7	0	0.0
	平岡地区	47	9	19.1	36	76.6	2	4.3	15	31.9	31	66.0	1	2.1	27	57.4	17	36.2	3	6.4
	中川地区	49	11	22.4	36	73.5	2	4.1	9	18.4	39	79.6	1	2.0	29	59.2	19	38.8	1	2.0
	富岡地区	19	2	10.5	17	89.5	0	0.0	7	36.8	12	63.2	0	0.0	13	68.4	5	26.3	1	5.3
居住年数	３年未満	30	12	40.0	16	53.3	2	6.7	14	46.7	15	50.0	1	3.3	22	73.3	8	26.7	0	0.0
	３年以上５年未満	28	15	53.6	12	42.9	1	3.6	16	57.1	11	39.3	1	3.6	22	78.6	6	21.4	0	0.0
	５年以上10年未満	53	22	41.5	28	52.8	3	5.7	37	69.8	15	28.3	1	1.9	41	77.4	10	18.9	2	3.8
	10年以上20年未満	100	34	34.0	62	62.0	4	4.0	61	61.0	37	37.0	2	2.0	74	74.0	25	25.0	1	1.0
	20年以上	432	110	25.5	307	71.1	15	3.5	208	48.1	214	49.5	10	2.3	293	67.8	129	29.9	10	2.3
前住居	生まれたときから現在のところ	95	25	26.3	68	71.6	2	2.1	43	45.3	50	52.6	2	2.1	69	72.6	24	25.3	2	2.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	32	26.9	84	70.6	3	2.5	63	52.9	53	44.5	3	2.5	84	70.6	32	26.9	3	2.5
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	98	32.6	190	63.1	13	4.3	169	56.1	125	41.5	7	2.3	209	69.4	86	28.6	6	2.0
	東京都内	43	9	20.9	33	76.7	1	2.3	19	44.2	24	55.8	0	0.0	23	53.5	20	46.5	0	0.0
	神奈川県内	30	8	26.7	20	66.7	2	6.7	12	40.0	18	60.0	0	0.0	21	70.0	8	26.7	1	3.3
	その他	51	20	39.2	27	52.9	4	7.8	28	54.9	20	39.2	3	5.9	43	84.3	7	13.7	1	2.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	51	29.3	119	68.4	4	2.3	95	54.6	76	43.7	3	1.7	123	70.7	48	27.6	3	1.7
	木更津市内	84	24	28.6	54	64.3	6	7.1	44	52.4	36	42.9	4	4.8	62	73.8	21	25.0	1	1.2
	市原市内	64	23	35.9	40	62.5	1	1.6	41	64.1	23	35.9	0	0.0	46	71.9	18	28.1	0	0.0
	君津市内	12	2	16.7	10	83.3	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0	9	75.0	3	25.0	0	0.0
	千葉市内	35	9	25.7	24	68.6	2	5.7	14	40.0	21	60.0	0	0.0	26	74.3	9	25.7	0	0.0
	千葉県内※２	25	10	40.0	15	60.0	0	0.0	14	56.0	11	44.0	0	0.0	17	68.0	8	32.0	0	0.0
	東京都内	34	9	26.5	25	73.5	0	0.0	16	47.1	18	52.9	0	0.0	20	58.8	13	38.2	1	2.9
	神奈川県内	8	4	50.0	4	50.0	0	0.0	2	25.0	6	75.0	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0
	その他	10	6	60.0	3	30.0	1	10.0	6	60.0	4	40.0	0	0.0	8	80.0	1	10.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	51	27.7	122	66.3	11	6.0	91	49.5	85	46.2	8	4.3	131	71.2	46	25.0	7	3.8

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 12　属性別クロス集計表（１２／１７）

属性		合計	34 市内の路線バス交通に満足していますか						35 買い物や通院などで、公共交通での移動手段が充実していると思いますか						36 市内の商業環境に満足していますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	186	28.4	451	68.9	18	2.7	137	20.9	501	76.5	17	2.6	234	35.7	400	61.1	21	3.2
性別	男性	268	83	31.0	181	67.5	4	1.5	58	21.6	206	76.9	4	1.5	93	34.7	171	63.8	4	1.5
	女性	357	97	27.2	249	69.7	11	3.1	77	21.6	270	75.6	10	2.8	131	36.7	211	59.1	15	4.2
	答えない	21	3	14.3	18	85.7	0	0.0	0	0.0	21	100.0	0	0.0	6	28.6	15	71.4	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	19	40.4	28	59.6	0	0.0	16	34.0	31	66.0	0	0.0	25	53.2	21	44.7	1	2.1
	３０歳台	92	38	41.3	52	56.5	2	2.2	28	30.4	63	68.5	1	1.1	33	35.9	56	60.9	3	3.3
	４０歳台	117	30	25.6	85	72.6	2	1.7	30	25.6	85	72.6	2	1.7	33	28.2	83	70.9	1	0.9
	５０歳台	131	27	20.6	103	78.6	1	0.8	18	13.7	112	85.5	1	0.8	48	36.6	82	62.6	1	0.8
	６０～６４歳	57	13	22.8	44	77.2	0	0.0	7	12.3	50	87.7	0	0.0	22	38.6	34	59.6	1	1.8
	６５～６９歳	69	23	33.3	46	66.7	0	0.0	16	23.2	53	76.8	0	0.0	23	33.3	46	66.7	0	0.0
	７０歳以上	133	33	24.8	90	67.7	10	7.5	20	15.0	103	77.4	10	7.5	47	35.3	74	55.6	12	9.0
職業	自営業主	31	15	48.4	16	51.6	0	0.0	12	38.7	19	61.3	0	0.0	9	29.0	22	71.0	0	0.0
	家族従業者	12	4	33.3	8	66.7	0	0.0	3	25.0	9	75.0	0	0.0	6	50.0	5	41.7	1	8.3
	会社・団体役員	113	34	30.1	77	68.1	2	1.8	23	20.4	90	79.6	0	0.0	32	28.3	79	69.9	2	1.8
	給与所得者	149	40	26.8	107	71.8	2	1.3	26	17.4	122	81.9	1	0.7	47	31.5	100	67.1	2	1.3
	アルバイト・パートタイム	121	38	31.4	82	67.8	1	0.8	25	20.7	94	77.7	2	1.7	46	38.0	74	61.2	1	0.8
	学生	18	7	38.9	10	55.6	1	5.6	8	44.4	9	50.0	1	5.6	10	55.6	7	38.9	1	5.6
	専業主婦・主夫	97	21	21.6	72	74.2	4	4.1	16	16.5	77	79.4	4	4.1	38	39.2	52	53.6	7	7.2
	その他	13	3	23.1	10	76.9	0	0.0	5	38.5	8	61.5	0	0.0	5	38.5	8	61.5	0	0.0
	無職	90	21	23.3	64	71.1	5	5.6	17	18.9	67	74.4	6	6.7	38	42.2	47	52.2	5	5.6
世帯人数	１人	56	16	28.6	38	67.9	2	3.6	12	21.4	42	75.0	2	3.6	19	33.9	36	64.3	1	1.8
	２人	208	57	27.4	144	69.2	7	3.4	42	20.2	160	76.9	6	2.9	82	39.4	116	55.8	10	4.8
	３人	173	45	26.0	124	71.7	4	2.3	38	22.0	132	76.3	3	1.7	66	38.2	107	61.8	0	0.0
	４人	135	41	30.4	93	68.9	1	0.7	29	21.5	103	76.3	3	2.2	43	31.9	85	63.0	7	5.2
	５人以上	73	24	32.9	48	65.8	1	1.4	13	17.8	60	82.2	0	0.0	20	27.4	52	71.2	1	1.4
子どもの数	１人	100	26	26.0	73	73.0	1	1.0	21	21.0	79	79.0	0	0.0	37	37.0	63	63.0	0	0.0
	２人	260	74	28.5	177	68.1	9	3.5	48	18.5	201	77.3	11	4.2	82	31.5	167	64.2	11	4.2
	３人	105	28	26.7	75	71.4	2	1.9	16	15.2	87	82.9	2	1.9	36	34.3	65	61.9	4	3.8
	４人	10	2	20.0	7	70.0	1	10.0	2	20.0	8	80.0	0	0.0	5	50.0	5	50.0	0	0.0
	５人以上	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	50	30.3	113	68.5	2	1.2	45	27.3	119	72.1	1	0.6	68	41.2	93	56.4	4	2.4
就学状況※１	小学校入学前	51	20	39.2	29	56.9	2	3.9	13	25.5	37	72.5	1	2.0	16	31.4	35	68.6	0	0.0
	小学生	58	23	39.7	34	58.6	1	1.7	17	29.3	40	69.0	1	1.7	18	31.0	39	67.2	1	1.7
	中学生	36	11	30.6	24	66.7	1	2.8	8	22.2	27	75.0	1	2.8	15	41.7	20	55.6	1	2.8
	高校生	45	13	28.9	32	71.1	0	0.0	9	20.0	36	80.0	0	0.0	13	28.9	31	68.9	1	2.2
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	5	13.2	31	81.6	2	5.3	4	10.5	32	84.2	2	5.3	8	21.1	30	78.9	0	0.0
	その他	287	70	24.4	208	72.5	9	3.1	45	15.7	232	80.8	10	3.5	103	35.9	172	59.9	12	4.2
居住地区	昭和地区	226	86	38.1	132	58.4	8	3.5	66	29.2	152	67.3	8	3.5	89	39.4	131	58.0	6	2.7
	長浦地区	237	59	24.9	172	72.6	6	2.5	51	21.5	183	77.2	3	1.3	83	35.0	146	61.6	8	3.4
	根形地区	63	11	17.5	52	82.5	0	0.0	4	6.3	59	93.7	0	0.0	22	34.9	41	65.1	0	0.0
	平岡地区	47	7	14.9	39	83.0	1	2.1	8	17.0	38	80.9	1	2.1	18	38.3	26	55.3	3	6.4
	中川地区	49	15	30.6	33	67.3	1	2.0	5	10.2	42	85.7	2	4.1	14	28.6	34	69.4	1	2.0
	富岡地区	19	3	15.8	16	84.2	0	0.0	1	5.3	18	94.7	0	0.0	7	36.8	12	63.2	0	0.0
居住年数	３年未満	30	11	36.7	19	63.3	0	0.0	7	23.3	23	76.7	0	0.0	10	33.3	20	66.7	0	0.0
	３年以上５年未満	28	14	50.0	12	42.9	2	7.1	11	39.3	16	57.1	1	3.6	12	42.9	16	57.1	0	0.0
	５年以上10年未満	53	24	45.3	28	52.8	1	1.9	17	32.1	35	66.0	1	1.9	21	39.6	31	58.5	1	1.9
	10年以上20年未満	100	32	32.0	65	65.0	3	3.0	29	29.0	69	69.0	2	2.0	36	36.0	63	63.0	1	1.0
	20年以上	432	101	23.4	321	74.3	10	2.3	72	16.7	350	81.0	10	2.3	154	35.6	262	60.6	16	3.7
前住居	生まれたときから現在のところ	95	32	33.7	61	64.2	2	2.1	23	24.2	70	73.7	2	2.1	36	37.9	55	57.9	4	4.2
	袖ケ浦市内の別のところ	119	26	21.8	91	76.5	2	1.7	19	16.0	97	81.5	3	2.5	40	33.6	76	63.9	3	2.5
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	81	26.9	212	70.4	8	2.7	69	22.9	226	75.1	6	2.0	113	37.5	178	59.1	10	3.3
	東京都内	43	13	30.2	30	69.8	0	0.0	6	14.0	37	86.0	0	0.0	17	39.5	26	60.5	0	0.0
	神奈川県内	30	10	33.3	20	66.7	0	0.0	9	30.0	21	70.0	0	0.0	12	40.0	17	56.7	1	3.3
	その他	51	19	37.3	28	54.9	4	7.8	9	17.6	39	76.5	3	5.9	14	27.5	37	72.5	0	0.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	53	30.5	117	67.2	4	2.3	40	23.0	131	75.3	3	1.7	52	29.9	115	66.1	7	4.0
	木更津市内	84	28	33.3	54	64.3	2	2.4	19	22.6	63	75.0	2	2.4	29	34.5	54	64.3	1	1.2
	市原市内	64	18	28.1	46	71.9	0	0.0	12	18.8	52	81.3	0	0.0	24	37.5	40	62.5	0	0.0
	君津市内	12	4	33.3	8	66.7	0	0.0	1	8.3	11	91.7	0	0.0	3	25.0	9	75.0	0	0.0
	千葉市内	35	12	34.3	22	62.9	1	2.9	9	25.7	26	74.3	0	0.0	15	42.9	20	57.1	0	0.0
	千葉県内※２	25	10	40.0	15	60.0	0	0.0	6	24.0	19	76.0	0	0.0	10	40.0	15	60.0	0	0.0
	東京都内	34	7	20.6	26	76.5	1	2.9	8	23.5	25	73.5	1	2.9	14	41.2	20	58.8	0	0.0
	神奈川県内	8	1	12.5	7	87.5	0	0.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	4	50.0	4	50.0	0	0.0
	その他	10	3	30.0	7	70.0	0	0.0	4	40.0	5	50.0	1	10.0	6	60.0	4	40.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	44	23.9	134	72.8	6	3.3	35	19.0	144	78.3	5	2.7	72	39.1	103	56.0	9	4.9

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 13　属性別クロス集計表（１３／１７）

属性		合計	37 まちが観光客や市外からの来訪者で賑わっていると思いますか						38 市内の職場が働きやすい（または、働きやすそう）と感じますか						39 まちづくりに関心がありますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	172	26.3	468	71.5	15	2.3	360	55.0	266	40.6	29	4.4	378	57.7	258	39.4	19	2.9
性別	男性	268	54	20.1	210	78.4	4	1.5	146	54.5	113	42.2	9	3.4	177	66.0	87	32.5	4	1.5
	女性	357	109	30.5	239	66.9	9	2.5	200	56.0	139	38.9	18	5.0	189	52.9	155	43.4	13	3.6
	答えない	21	5	23.8	16	76.2	0	0.0	10	47.6	11	52.4	0	0.0	9	42.9	12	57.1	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	18	38.3	29	61.7	0	0.0	30	63.8	17	36.2	0	0.0	27	57.4	20	42.6	0	0.0
	３０歳台	92	30	32.6	60	65.2	2	2.2	46	50.0	43	46.7	3	3.3	49	53.3	42	45.7	1	1.1
	４０歳台	117	38	32.5	79	67.5	0	0.0	71	60.7	45	38.5	1	0.9	64	54.7	53	45.3	0	0.0
	５０歳台	131	33	25.2	98	74.8	0	0.0	81	61.8	49	37.4	1	0.8	68	51.9	59	45.0	4	3.1
	６０～６４歳	57	15	26.3	41	71.9	1	1.8	28	49.1	27	47.4	2	3.5	35	61.4	21	36.8	1	1.8
	６５～６９歳	69	17	24.6	52	75.4	0	0.0	33	47.8	35	50.7	1	1.4	46	66.7	23	33.3	0	0.0
	７０歳以上	133	16	12.0	107	80.5	10	7.5	67	50.4	47	35.3	19	14.3	85	63.9	37	27.8	11	8.3
職業	自営業主	31	8	25.8	22	71.0	1	3.2	16	51.6	14	45.2	1	3.2	21	67.7	10	32.3	0	0.0
	家族従業者	12	4	33.3	8	66.7	0	0.0	10	83.3	2	16.7	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0
	会社・団体役員	113	20	17.7	93	82.3	0	0.0	61	54.0	51	45.1	1	0.9	70	61.9	42	37.2	1	0.9
	給与所得者	149	45	30.2	103	69.1	1	0.7	90	60.4	56	37.6	3	2.0	76	51.0	69	46.3	4	2.7
	アルバイト・パートタイム	121	35	28.9	86	71.1	0	0.0	69	57.0	50	41.3	2	1.7	60	49.6	60	49.6	1	0.8
	学生	18	8	44.4	10	55.6	0	0.0	11	61.1	6	33.3	1	5.6	12	66.7	6	33.3	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	28	28.9	64	66.0	5	5.2	48	49.5	40	41.2	9	9.3	58	59.8	34	35.1	5	5.2
	その他	13	1	7.7	11	84.6	1	7.7	5	38.5	7	53.8	1	7.7	7	53.8	6	46.2	0	0.0
	無職	90	19	21.1	66	73.3	5	5.6	45	50.0	37	41.1	8	8.9	62	68.9	22	24.4	6	6.7
世帯人数	１人	56	12	21.4	41	73.2	3	5.4	27	48.2	26	46.4	3	5.4	31	55.4	22	39.3	3	5.4
	２人	208	43	20.7	158	76.0	7	3.4	114	54.8	81	38.9	13	6.3	124	59.6	77	37.0	7	3.4
	３人	173	50	28.9	122	70.5	1	0.6	106	61.3	61	35.3	6	3.5	105	60.7	66	38.2	2	1.2
	４人	135	40	29.6	93	68.9	2	1.5	72	53.3	61	45.2	2	1.5	74	54.8	57	42.2	4	3.0
	５人以上	73	22	30.1	51	69.9	0	0.0	37	50.7	33	45.2	3	4.1	39	53.4	33	45.2	1	1.4
子どもの数	１人	100	24	24.0	75	75.0	1	1.0	64	64.0	34	34.0	2	2.0	56	56.0	43	43.0	1	1.0
	２人	260	66	25.4	186	71.5	8	3.1	140	53.8	104	40.0	16	6.2	145	55.8	105	40.4	10	3.8
	３人	105	20	19.0	83	79.0	2	1.9	46	43.8	53	50.5	6	5.7	64	61.0	36	34.3	5	4.8
	４人	10	2	20.0	8	80.0	0	0.0	6	60.0	3	30.0	1	10.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0
	５人以上	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	53	32.1	110	66.7	2	1.2	97	58.8	66	40.0	2	1.2	97	58.8	67	40.6	1	0.6
就学状況※１	小学校入学前	51	12	23.5	39	76.5	0	0.0	27	52.9	22	43.1	2	3.9	28	54.9	23	45.1	0	0.0
	小学生	58	20	34.5	37	63.8	1	1.7	33	56.9	24	41.4	1	1.7	28	48.3	29	50.0	1	1.7
	中学生	36	13	36.1	22	61.1	1	2.8	17	47.2	18	50.0	1	2.8	15	41.7	19	52.8	2	5.6
	高校生	45	11	24.4	34	75.6	0	0.0	24	53.3	21	46.7	0	0.0	25	55.6	18	40.0	2	4.4
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	7	18.4	31	81.6	0	0.0	24	63.2	13	34.2	1	2.6	25	65.8	13	34.2	0	0.0
	その他	287	59	20.6	219	76.3	9	3.1	152	53.0	114	39.7	21	7.3	173	60.3	102	35.5	12	4.2
居住地区	昭和地区	226	75	33.2	147	65.0	4	1.8	125	55.3	90	39.8	11	4.9	131	58.0	88	38.9	7	3.1
	長浦地区	237	46	19.4	186	78.5	5	2.1	138	58.2	89	37.6	10	4.2	130	54.9	102	43.0	5	2.1
	根形地区	63	21	33.3	42	66.7	0	0.0	34	54.0	28	44.4	1	1.6	36	57.1	26	41.3	1	1.6
	平岡地区	47	13	27.7	31	66.0	3	6.4	27	57.4	17	36.2	3	6.4	29	61.7	16	34.0	2	4.3
	中川地区	49	11	22.4	37	75.5	1	2.0	21	42.9	26	53.1	2	4.1	31	63.3	16	32.7	2	4.1
	富岡地区	19	4	21.1	15	78.9	0	0.0	9	47.4	10	52.6	0	0.0	14	73.7	5	26.3	0	0.0
居住年数	３年未満	30	8	26.7	22	73.3	0	0.0	17	56.7	13	43.3	0	0.0	16	53.3	13	43.3	1	3.3
	３年以上５年未満	28	7	25.0	20	71.4	1	3.6	14	50.0	12	42.9	2	7.1	20	71.4	8	28.6	0	0.0
	５年以上10年未満	53	20	37.7	32	60.4	1	1.9	29	54.7	22	41.5	2	3.8	28	52.8	24	45.3	1	1.9
	10年以上20年未満	100	32	32.0	67	67.0	1	1.0	66	66.0	31	31.0	3	3.0	57	57.0	40	40.0	3	3.0
	20年以上	432	103	23.8	319	73.8	10	2.3	229	53.0	183	42.4	20	4.6	250	57.9	170	39.4	12	2.8
前住居	生まれたときから現在のところ	95	35	36.8	57	60.0	3	3.2	48	50.5	44	46.3	3	3.2	62	65.3	31	32.6	2	2.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	30	25.2	86	72.3	3	2.5	74	62.2	39	32.8	6	5.0	66	55.5	47	39.5	6	5.0
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	75	24.9	221	73.4	5	1.7	169	56.1	120	39.9	12	4.0	169	56.1	124	41.2	8	2.7
	東京都内	43	7	16.3	36	83.7	0	0.0	24	55.8	17	39.5	2	4.7	27	62.8	16	37.2	0	0.0
	神奈川県内	30	12	40.0	17	56.7	1	3.3	14	46.7	14	46.7	2	6.7	19	63.3	11	36.7	0	0.0
	その他	51	10	19.6	40	78.4	1	2.0	25	49.0	24	47.1	2	3.9	25	49.0	25	49.0	1	2.0
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	59	33.9	114	65.5	1	0.6	113	64.9	57	32.8	4	2.3	86	49.4	86	49.4	2	1.1
	木更津市内	84	18	21.4	64	76.2	2	2.4	45	53.6	36	42.9	3	3.6	45	53.6	37	44.0	2	2.4
	市原市内	64	15	23.4	49	76.6	0	0.0	33	51.6	30	46.9	1	1.6	38	59.4	25	39.1	1	1.6
	君津市内	12	3	25.0	9	75.0	0	0.0	7	58.3	5	41.7	0	0.0	3	25.0	9	75.0	0	0.0
	千葉市内	35	8	22.9	27	77.1	0	0.0	19	54.3	15	42.9	1	2.9	23	65.7	11	31.4	1	2.9
	千葉県内※２	25	6	24.0	19	76.0	0	0.0	12	48.0	13	52.0	0	0.0	15	60.0	10	40.0	0	0.0
	東京都内	34	11	32.4	23	67.6	0	0.0	17	50.0	16	47.1	1	2.9	21	61.8	13	38.2	0	0.0
	神奈川県内	8	4	50.0	4	50.0	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0	4	50.0	4	50.0	0	0.0
	その他	10	2	20.0	8	80.0	0	0.0	6	60.0	3	30.0	1	10.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	41	22.3	133	72.3	10	5.4	95	51.6	75	40.8	14	7.6	120	65.2	54	29.3	10	5.4

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 14　属性別クロス集計表（１４／１７）

属性		合計	40 地域活動に参加したことがありますか						41 地域社会の中で男女の地位が平等であると感じますか						42 年齢、性別、障がいの有無、国籍などによる差別があると感じますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	337	51.5	310	47.3	8	1.2	322	49.2	306	46.7	27	4.1	253	38.6	372	56.8	30	4.6
性別	男性	268	166	61.9	101	37.7	1	0.4	158	59.0	102	38.1	8	3.0	91	34.0	166	61.9	11	4.1
	女性	357	156	43.7	196	54.9	5	1.4	158	44.3	186	52.1	13	3.6	147	41.2	195	54.6	15	4.2
	答えない	21	12	57.1	9	42.9	0	0.0	3	14.3	16	76.2	2	9.5	14	66.7	7	33.3	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	20	42.6	27	57.4	0	0.0	32	68.1	14	29.8	1	2.1	16	34.0	31	66.0	0	0.0
	３０歳台	92	28	30.4	63	68.5	1	1.1	43	46.7	48	52.2	1	1.1	28	30.4	63	68.5	1	1.1
	４０歳台	117	52	44.4	65	55.6	0	0.0	52	44.4	63	53.8	2	1.7	50	42.7	67	57.3	0	0.0
	５０歳台	131	63	48.1	68	51.9	0	0.0	67	51.1	61	46.6	3	2.3	56	42.7	71	54.2	4	3.1
	６０～６４歳	57	42	73.7	14	24.6	1	1.8	30	52.6	26	45.6	1	1.8	24	42.1	31	54.4	2	3.5
	６５～６９歳	69	47	68.1	22	31.9	0	0.0	35	50.7	32	46.4	2	2.9	24	34.8	42	60.9	3	4.3
	７０歳以上	133	83	62.4	46	34.6	4	3.0	60	45.1	60	45.1	13	9.8	54	40.6	63	47.4	16	12.0
職業	自営業主	31	23	74.2	8	25.8	0	0.0	16	51.6	15	48.4	0	0.0	19	61.3	12	38.7	0	0.0
	家族従業者	12	9	75.0	3	25.0	0	0.0	5	41.7	6	50.0	1	8.3	7	58.3	4	33.3	1	8.3
	会社・団体役員	113	62	54.9	51	45.1	0	0.0	53	46.9	60	53.1	0	0.0	40	35.4	73	64.6	0	0.0
	給与所得者	149	68	45.6	80	53.7	1	0.7	86	57.7	57	38.3	6	4.0	55	36.9	90	60.4	4	2.7
	アルバイト・パートタイム	121	51	42.1	70	57.9	0	0.0	54	44.6	65	53.7	2	1.7	47	38.8	72	59.5	2	1.7
	学生	18	10	55.6	8	44.4	0	0.0	15	83.3	3	16.7	0	0.0	8	44.4	10	55.6	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	48	49.5	47	48.5	2	2.1	45	46.4	47	48.5	5	5.2	35	36.1	54	55.7	8	8.2
	その他	13	6	46.2	7	53.8	0	0.0	8	61.5	5	38.5	0	0.0	7	53.8	6	46.2	0	0.0
	無職	90	57	63.3	30	33.3	3	3.3	38	42.2	44	48.9	8	8.9	32	35.6	47	52.2	11	12.2
世帯人数	１人	56	22	39.3	32	57.1	2	3.6	24	42.9	28	50.0	4	7.1	22	39.3	31	55.4	3	5.4
	２人	208	116	55.8	90	43.3	2	1.0	102	49.0	97	46.6	9	4.3	86	41.3	108	51.9	14	6.7
	３人	173	85	49.1	88	50.9	0	0.0	90	52.0	79	45.7	4	2.3	69	39.9	100	57.8	4	2.3
	４人	135	70	51.9	63	46.7	2	1.5	70	51.9	62	45.9	3	2.2	45	33.3	86	63.7	4	3.0
	５人以上	73	42	57.5	31	42.5	0	0.0	33	45.2	37	50.7	3	4.1	29	39.7	43	58.9	1	1.4
子どもの数	１人	100	45	45.0	55	55.0	0	0.0	42	42.0	57	57.0	1	1.0	45	45.0	52	52.0	3	3.0
	２人	260	152	58.5	105	40.4	3	1.2	131	50.4	116	44.6	13	5.0	89	34.2	154	59.2	17	6.5
	３人	105	63	60.0	40	38.1	2	1.9	50	47.6	51	48.6	4	3.8	46	43.8	55	52.4	4	3.8
	４人	10	8	80.0	2	20.0	0	0.0	4	40.0	5	50.0	1	10.0	3	30.0	7	70.0	0	0.0
	５人以上	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	65	39.4	99	60.0	1	0.6	90	54.5	71	43.0	4	2.4	66	40.0	97	58.8	2	1.2
就学状況※１	小学校入学前	51	13	25.5	38	74.5	0	0.0	20	39.2	29	56.9	2	3.9	17	33.3	33	64.7	1	2.0
	小学生	58	27	46.6	30	51.7	1	1.7	23	39.7	34	58.6	1	1.7	22	37.9	34	58.6	2	3.4
	中学生	36	21	58.3	14	38.9	1	2.8	14	38.9	20	55.6	2	5.6	13	36.1	22	61.1	1	2.8
	高校生	45	25	55.6	20	44.4	0	0.0	27	60.0	17	37.8	1	2.2	17	37.8	27	60.0	1	2.2
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	24	63.2	14	36.8	0	0.0	19	50.0	18	47.4	1	2.6	20	52.6	17	44.7	1	2.6
	その他	287	186	64.8	98	34.1	3	1.0	142	49.5	132	46.0	13	4.5	112	39.0	157	54.7	18	6.3
居住地区	昭和地区	226	92	40.7	130	57.5	4	1.8	121	53.5	98	43.4	7	3.1	79	35.0	136	60.2	11	4.9
	長浦地区	237	115	48.5	121	51.1	1	0.4	110	46.4	116	48.9	11	4.6	96	40.5	130	54.9	11	4.6
	根形地区	63	49	77.8	14	22.2	0	0.0	30	47.6	33	52.4	0	0.0	31	49.2	31	49.2	1	1.6
	平岡地区	47	29	61.7	17	36.2	1	2.1	25	53.2	19	40.4	3	6.4	13	27.7	32	68.1	2	4.3
	中川地区	49	29	59.2	20	40.8	0	0.0	20	40.8	26	53.1	3	6.1	17	34.7	30	61.2	2	4.1
	富岡地区	19	14	73.7	5	26.3	0	0.0	9	47.4	9	47.4	1	5.3	12	63.2	6	31.6	1	5.3
居住年数	３年未満	30	5	16.7	25	83.3	0	0.0	13	43.3	15	50.0	2	6.7	5	16.7	23	76.7	2	6.7
	３年以上５年未満	28	5	17.9	23	82.1	0	0.0	12	42.9	16	57.1	0	0.0	11	39.3	17	60.7	0	0.0
	５年以上10年未満	53	13	24.5	39	73.6	1	1.9	24	45.3	27	50.9	2	3.8	19	35.8	32	60.4	2	3.8
	10年以上20年未満	100	50	50.0	49	49.0	1	1.0	58	58.0	39	39.0	3	3.0	39	39.0	58	58.0	3	3.0
	20年以上	432	256	59.3	172	39.8	4	0.9	208	48.1	206	47.7	18	4.2	176	40.7	235	54.4	21	4.9
前住居	生まれたときから現在のところ	95	57	60.0	37	38.9	1	1.1	49	51.6	43	45.3	3	3.2	36	37.9	56	58.9	3	3.2
	袖ケ浦市内の別のところ	119	52	43.7	65	54.6	2	1.7	54	45.4	62	52.1	3	2.5	49	41.2	64	53.8	6	5.0
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	164	54.5	135	44.9	2	0.7	152	50.5	138	45.8	11	3.7	121	40.2	168	55.8	12	4.0
	東京都内	43	20	46.5	23	53.5	0	0.0	22	51.2	18	41.9	3	7.0	16	37.2	25	58.1	2	4.7
	神奈川県内	30	15	50.0	15	50.0	0	0.0	12	40.0	15	50.0	3	10.0	10	33.3	17	56.7	3	10.0
	その他	51	19	37.3	31	60.8	1	2.0	26	51.0	23	45.1	2	3.9	14	27.5	35	68.6	2	3.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	92	52.9	81	46.6	1	0.6	80	46.0	89	51.1	5	2.9	76	43.7	94	54.0	4	2.3
	木更津市内	84	33	39.3	50	59.5	1	1.2	41	48.8	41	48.8	2	2.4	34	40.5	48	57.1	2	2.4
	市原市内	64	27	42.2	37	57.8	0	0.0	35	54.7	29	45.3	0	0.0	20	31.3	43	67.2	1	1.6
	君津市内	12	6	50.0	6	50.0	0	0.0	5	41.7	7	58.3	0	0.0	5	41.7	7	58.3	0	0.0
	千葉市内	35	20	57.1	15	42.9	0	0.0	20	57.1	14	40.0	1	2.9	13	37.1	22	62.9	0	0.0
	千葉県内※２	25	13	52.0	12	48.0	0	0.0	13	52.0	12	48.0	0	0.0	11	44.0	14	56.0	0	0.0
	東京都内	34	14	41.2	20	58.8	0	0.0	24	70.6	8	23.5	2	5.9	11	32.4	21	61.8	2	5.9
	神奈川県内	8	6	75.0	2	25.0	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0	1	12.5	7	87.5	0	0.0
	その他	10	3	30.0	7	70.0	0	0.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0	4	40.0	5	50.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	109	59.2	71	38.6	4	2.2	82	44.6	88	47.8	14	7.6	70	38.0	97	52.7	17	9.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 15　属性別クロス集計表（１５／１７）

属性		合計	43 本市は、外国人にとって、暮らしやすい環境にあると思いますか						44 市が発行する広報紙「広報そでがうら」を読んでいますか（ホームページやアプリなどを含む）						45 市の広報・広聴活動が適切に行われていると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	305	46.6	308	47.0	42	6.4	468	71.5	179	27.3	8	1.2	422	64.4	201	30.7	32	4.9
性別	男性	268	127	47.4	132	49.3	9	3.4	196	73.1	71	26.5	1	0.4	166	61.9	93	34.7	9	3.4
	女性	357	168	47.1	158	44.3	31	8.7	254	71.1	98	27.5	5	1.4	241	67.5	96	26.9	20	5.6
	答えない	21	4	19.0	17	81.0	0	0.0	13	61.9	8	38.1	0	0.0	10	47.6	11	52.4	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	29	61.7	18	38.3	0	0.0	17	36.2	30	63.8	0	0.0	34	72.3	13	27.7	0	0.0
	３０歳台	92	46	50.0	44	47.8	2	2.2	46	50.0	45	48.9	1	1.1	56	60.9	35	38.0	1	1.1
	４０歳台	117	59	50.4	53	45.3	5	4.3	81	69.2	35	29.9	1	0.9	77	65.8	40	34.2	0	0.0
	５０歳台	131	62	47.3	65	49.6	4	3.1	103	78.6	27	20.6	1	0.8	89	67.9	40	30.5	2	1.5
	６０～６４歳	57	18	31.6	33	57.9	6	10.5	40	70.2	17	29.8	0	0.0	33	57.9	20	35.1	4	7.0
	６５～６９歳	69	30	43.5	36	52.2	3	4.3	59	85.5	10	14.5	0	0.0	46	66.7	21	30.4	2	2.9
	７０歳以上	133	56	42.1	57	42.9	20	15.0	117	88.0	13	9.8	3	2.3	82	61.7	31	23.3	20	15.0
職業	自営業主	31	16	51.6	15	48.4	0	0.0	24	77.4	7	22.6	0	0.0	21	67.7	8	25.8	2	6.5
	家族従業者	12	5	41.7	6	50.0	1	8.3	11	91.7	1	8.3	0	0.0	8	66.7	2	16.7	2	16.7
	会社・団体役員	113	49	43.4	61	54.0	3	2.7	68	60.2	44	38.9	1	0.9	63	55.8	48	42.5	2	1.8
	給与所得者	149	68	45.6	74	49.7	7	4.7	105	70.5	43	28.9	1	0.7	101	67.8	45	30.2	3	2.0
	アルバイト・パートタイム	121	60	49.6	53	43.8	8	6.6	89	73.6	31	25.6	1	0.8	88	72.7	32	26.4	1	0.8
	学生	18	13	72.2	5	27.8	0	0.0	5	27.8	13	72.2	0	0.0	14	77.8	4	22.2	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	43	44.3	41	42.3	13	13.4	81	83.5	16	16.5	0	0.0	59	60.8	27	27.8	11	11.3
	その他	13	5	38.5	8	61.5	0	0.0	7	53.8	6	46.2	0	0.0	6	46.2	7	53.8	0	0.0
	無職	90	40	44.4	42	46.7	8	8.9	71	78.9	16	17.8	3	3.3	56	62.2	26	28.9	8	8.9
世帯人数	１人	56	24	42.9	26	46.4	6	10.7	40	71.4	14	25.0	2	3.6	29	51.8	23	41.1	4	7.1
	２人	208	88	42.3	103	49.5	17	8.2	159	76.4	48	23.1	1	0.5	132	63.5	61	29.3	15	7.2
	３人	173	78	45.1	88	50.9	7	4.0	118	68.2	54	31.2	1	0.6	117	67.6	52	30.1	4	2.3
	４人	135	71	52.6	58	43.0	6	4.4	97	71.9	36	26.7	2	1.5	87	64.4	44	32.6	4	3.0
	５人以上	73	38	52.1	31	42.5	4	5.5	48	65.8	25	34.2	0	0.0	52	71.2	19	26.0	2	2.7
子どもの数	１人	100	50	50.0	47	47.0	3	3.0	68	68.0	32	32.0	0	0.0	65	65.0	34	34.0	1	1.0
	２人	260	115	44.2	123	47.3	22	8.5	208	80.0	48	18.5	4	1.5	167	64.2	74	28.5	19	7.3
	３人	105	44	41.9	51	48.6	10	9.5	81	77.1	23	21.9	1	1.0	71	67.6	29	27.6	5	4.8
	４人	10	3	30.0	6	60.0	1	10.0	9	90.0	1	10.0	0	0.0	8	80.0	1	10.0	1	10.0
	５人以上	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	子どもはいない	165	84	50.9	77	46.7	4	2.4	92	55.8	72	43.6	1	0.6	102	61.8	62	37.6	1	0.6
就学状況※１	小学校入学前	51	23	45.1	27	52.9	1	2.0	33	64.7	18	35.3	0	0.0	31	60.8	19	37.3	1	2.0
	小学生	58	30	51.7	27	46.6	1	1.7	35	60.3	22	37.9	1	1.7	35	60.3	22	37.9	1	1.7
	中学生	36	17	47.2	17	47.2	2	5.6	25	69.4	10	27.8	1	2.8	24	66.7	11	30.6	1	2.8
	高校生	45	26	57.8	17	37.8	2	4.4	37	82.2	7	15.6	1	2.2	33	73.3	11	24.4	1	2.2
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	13	34.2	23	60.5	2	5.3	27	71.1	11	28.9	0	0.0	29	76.3	9	23.7	0	0.0
	その他	287	126	43.9	132	46.0	29	10.1	239	83.3	45	15.7	3	1.0	189	65.9	75	26.1	23	8.0
居住地区	昭和地区	226	111	49.1	102	45.1	13	5.8	164	72.6	58	25.7	4	1.8	145	64.2	72	31.9	9	4.0
	長浦地区	237	110	46.4	111	46.8	16	6.8	160	67.5	76	32.1	1	0.4	148	62.4	78	32.9	11	4.6
	根形地区	63	28	44.4	32	50.8	3	4.8	48	76.2	15	23.8	0	0.0	36	57.1	22	34.9	5	7.9
	平岡地区	47	20	42.6	23	48.9	4	8.5	35	74.5	11	23.4	1	2.1	34	72.3	10	21.3	3	6.4
	中川地区	49	27	55.1	20	40.8	2	4.1	35	71.4	14	28.6	0	0.0	36	73.5	12	24.5	1	2.0
	富岡地区	19	4	21.1	13	68.4	2	10.5	15	78.9	4	21.1	0	0.0	14	73.7	4	21.1	1	5.3
居住年数	３年未満	30	18	60.0	11	36.7	1	3.3	17	56.7	13	43.3	0	0.0	21	70.0	7	23.3	2	6.7
	３年以上５年未満	28	11	39.3	17	60.7	0	0.0	16	57.1	12	42.9	0	0.0	19	67.9	9	32.1	0	0.0
	５年以上10年未満	53	30	56.6	22	41.5	1	1.9	32	60.4	20	37.7	1	1.9	36	67.9	16	30.2	1	1.9
	10年以上20年未満	100	46	46.0	46	46.0	8	8.0	59	59.0	39	39.0	2	2.0	63	63.0	36	36.0	1	1.0
	20年以上	432	196	45.4	206	47.7	30	6.9	335	77.5	94	21.8	3	0.7	275	63.7	131	30.3	26	6.0
前住居	生まれたときから現在のところ	95	54	56.8	37	38.9	4	4.2	62	65.3	32	33.7	1	1.1	60	63.2	31	32.6	4	4.2
	袖ケ浦市内の別のところ	119	49	41.2	59	49.6	11	9.2	91	76.5	27	22.7	1	0.8	72	60.5	37	31.1	10	8.4
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	149	49.5	132	43.9	20	6.6	212	70.4	86	28.6	3	1.0	201	66.8	93	30.9	7	2.3
	東京都内	43	16	37.2	27	62.8	0	0.0	31	72.1	12	27.9	0	0.0	28	65.1	13	30.2	2	4.7
	神奈川県内	30	12	40.0	15	50.0	3	10.0	25	83.3	5	16.7	0	0.0	19	63.3	7	23.3	4	13.3
	その他	51	20	39.2	29	56.9	2	3.9	35	68.6	15	29.4	1	2.0	33	64.7	15	29.4	3	5.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	87	50.0	80	46.0	7	4.0	118	67.8	53	30.5	3	1.7	111	63.8	57	32.8	6	3.4
	木更津市内	84	37	44.0	41	48.8	6	7.1	59	70.2	24	28.6	1	1.2	56	66.7	26	31.0	2	2.4
	市原市内	64	32	50.0	31	48.4	1	1.6	45	70.3	19	29.7	0	0.0	47	73.4	17	26.6	0	0.0
	君津市内	12	3	25.0	9	75.0	0	0.0	6	50.0	6	50.0	0	0.0	8	66.7	4	33.3	0	0.0
	千葉市内	35	16	45.7	18	51.4	1	2.9	20	57.1	15	42.9	0	0.0	20	57.1	15	42.9	0	0.0
	千葉県内※２	25	13	52.0	12	48.0	0	0.0	12	48.0	13	52.0	0	0.0	18	72.0	7	28.0	0	0.0
	東京都内	34	19	55.9	14	41.2	1	2.9	21	61.8	13	38.2	0	0.0	22	64.7	11	32.4	1	2.9
	神奈川県内	8	4	50.0	3	37.5	1	12.5	6	75.0	2	25.0	0	0.0	6	75.0	1	12.5	1	12.5
	その他	10	5	50.0	5	50.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	0	0.0	6	60.0	3	30.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	78	42.4	85	46.2	21	11.4	157	85.3	25	13.6	2	1.1	115	62.5	52	28.3	17	9.2

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

付図表 16　属性別クロス集計表（１６／１７）

属性		合計	46 あなたは、これからも袖ケ浦市に住み続けたいと思いますか						47 適切に市政運営が行われていると思いますか						48 ＩＣＴ化により効率的な行政サービスが提供されていると思いますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	552	84.3	79	12.1	24	3.7	408	62.3	212	32.4	35	5.3	380	58.0	233	35.6	42	6.4
性別	男性	268	236	88.1	26	9.7	6	2.2	160	59.7	99	36.9	9	3.4	141	52.6	117	43.7	10	3.7
	女性	357	298	83.5	43	12.0	16	4.5	236	66.1	99	27.7	22	6.2	225	63.0	105	29.4	27	7.6
	答えない	21	12	57.1	9	42.9	0	0.0	8	38.1	13	61.9	0	0.0	10	47.6	10	47.6	1	4.8
年齢	１０・２０歳台	47	38	80.9	9	19.1	0	0.0	36	76.6	11	23.4	0	0.0	32	68.1	14	29.8	1	2.1
	３０歳台	92	80	87.0	11	12.0	1	1.1	59	64.1	30	32.6	3	3.3	57	62.0	33	35.9	2	2.2
	４０歳台	117	98	83.8	15	12.8	4	3.4	76	65.0	40	34.2	1	0.9	67	57.3	47	40.2	3	2.6
	５０歳台	131	102	77.9	24	18.3	5	3.8	82	62.6	49	37.4	0	0.0	82	62.6	46	35.1	3	2.3
	６０～６４歳	57	50	87.7	4	7.0	3	5.3	36	63.2	18	31.6	3	5.3	35	61.4	19	33.3	3	5.3
	６５～６９歳	69	64	92.8	4	5.8	1	1.4	43	62.3	23	33.3	3	4.3	40	58.0	24	34.8	5	7.2
	７０歳以上	133	114	85.7	11	8.3	8	6.0	72	54.1	40	30.1	21	15.8	63	47.4	49	36.8	21	15.8
職業	自営業主	31	25	80.6	4	12.9	2	6.5	19	61.3	11	35.5	1	3.2	19	61.3	11	35.5	1	3.2
	家族従業者	12	10	83.3	1	8.3	1	8.3	7	58.3	4	33.3	1	8.3	9	75.0	2	16.7	1	8.3
	会社・団体役員	113	95	84.1	18	15.9	0	0.0	63	55.8	49	43.4	1	0.9	57	50.4	54	47.8	2	1.8
	給与所得者	149	126	84.6	19	12.8	4	2.7	107	71.8	39	26.2	3	2.0	89	59.7	55	36.9	5	3.4
	アルバイト・パートタイム	121	110	90.9	10	8.3	1	0.8	83	68.6	34	28.1	4	3.3	81	66.9	34	28.1	6	5.0
	学生	18	14	77.8	3	16.7	1	5.6	15	83.3	3	16.7	0	0.0	13	72.2	4	22.2	1	5.6
	専業主婦・主夫	97	78	80.4	12	12.4	7	7.2	57	58.8	29	29.9	11	11.3	55	56.7	28	28.9	14	14.4
	その他	13	10	76.9	3	23.1	0	0.0	6	46.2	7	53.8	0	0.0	7	53.8	6	46.2	0	0.0
	無職	90	77	85.6	8	8.9	5	5.6	48	53.3	32	35.6	10	11.1	47	52.2	35	38.9	8	8.9
世帯人数	１人	56	43	76.8	10	17.9	3	5.4	31	55.4	22	39.3	3	5.4	27	48.2	26	46.4	3	5.4
	２人	208	178	85.6	22	10.6	8	3.8	127	61.1	62	29.8	19	9.1	116	55.8	71	34.1	21	10.1
	３人	173	146	84.4	24	13.9	3	1.7	116	67.1	53	30.6	4	2.3	102	59.0	67	38.7	4	2.3
	４人	135	115	85.2	15	11.1	5	3.7	84	62.2	48	35.6	3	2.2	82	60.7	47	34.8	6	4.4
	５人以上	73	63	86.3	7	9.6	3	4.1	47	64.4	25	34.2	1	1.4	48	65.8	21	28.8	4	5.5
子どもの数	１人	100	83	83.0	15	15.0	2	2.0	55	55.0	40	40.0	5	5.0	54	54.0	44	44.0	2	2.0
	２人	260	224	86.2	24	9.2	12	4.6	173	66.5	73	28.1	14	5.4	151	58.1	88	33.8	21	8.1
	３人	105	85	81.0	16	15.2	4	3.8	57	54.3	42	40.0	6	5.7	63	60.0	35	33.3	7	6.7
	４人	10	9	90.0	0	0.0	1	10.0	6	60.0	2	20.0	2	20.0	6	60.0	2	20.0	2	20.0
	５人以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	139	84.2	23	13.9	3	1.8	111	67.3	52	31.5	2	1.2	100	60.6	60	36.4	5	3.0
就学状況※１	小学校入学前	51	46	90.2	5	9.8	0	0.0	33	64.7	17	33.3	1	2.0	31	60.8	18	35.3	2	3.9
	小学生	58	52	89.7	5	8.6	1	1.7	31	53.4	26	44.8	1	1.7	33	56.9	24	41.4	1	1.7
	中学生	36	25	69.4	8	22.2	3	8.3	21	58.3	13	36.1	2	5.6	23	63.9	12	33.3	1	2.8
	高校生	45	39	86.7	6	13.3	0	0.0	29	64.4	16	35.6	0	0.0	28	62.2	17	37.8	0	0.0
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	32	84.2	5	13.2	1	2.6	28	73.7	9	23.7	1	2.6	21	55.3	17	44.7	0	0.0
	その他	287	242	84.3	29	10.1	16	5.6	176	61.3	88	30.7	23	8.0	165	57.5	95	33.1	27	9.4
居住地区	昭和地区	226	196	86.7	21	9.3	9	4.0	156	69.0	59	26.1	11	4.9	140	61.9	71	31.4	15	6.6
	長浦地区	237	198	83.5	32	13.5	7	3.0	137	57.8	85	35.9	15	6.3	127	53.6	97	40.9	13	5.5
	根形地区	63	53	84.1	9	14.3	1	1.6	36	57.1	25	39.7	2	3.2	39	61.9	22	34.9	2	3.2
	平岡地区	47	40	85.1	4	8.5	3	6.4	30	63.8	13	27.7	4	8.5	25	53.2	18	38.3	4	8.5
	中川地区	49	39	79.6	9	18.4	1	2.0	31	63.3	17	34.7	1	2.0	32	65.3	13	26.5	4	8.2
	富岡地区	19	15	78.9	3	15.8	1	5.3	11	57.9	8	42.1	0	0.0	11	57.9	6	31.6	2	10.5
居住年数	３年未満	30	24	80.0	6	20.0	0	0.0	21	70.0	8	26.7	1	3.3	20	66.7	9	30.0	1	3.3
	３年以上５年未満	28	23	82.1	4	14.3	1	3.6	21	75.0	7	25.0	0	0.0	20	71.4	7	25.0	1	3.6
	５年以上10年未満	53	44	83.0	8	15.1	1	1.9	34	64.2	18	34.0	1	1.9	35	66.0	16	30.2	2	3.8
	10年以上20年未満	100	84	84.0	12	12.0	4	4.0	67	67.0	30	30.0	3	3.0	61	61.0	36	36.0	3	3.0
	20年以上	432	368	85.2	48	11.1	16	3.7	259	60.0	145	33.6	28	6.5	238	55.1	161	37.3	33	7.6
前住居	生まれたときから現在のところ	95	84	88.4	9	9.5	2	2.1	58	61.1	31	32.6	6	6.3	58	61.1	32	33.7	5	5.3
	袖ケ浦市内の別のところ	119	103	86.6	10	8.4	6	5.0	68	57.1	43	36.1	8	6.7	68	57.1	43	36.1	8	6.7
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	260	86.4	35	11.6	6	2.0	198	65.8	93	30.9	10	3.3	179	59.5	106	35.2	16	5.3
	東京都内	43	33	76.7	7	16.3	3	7.0	21	48.8	19	44.2	3	7.0	17	39.5	22	51.2	4	9.3
	神奈川県内	30	23	76.7	4	13.3	3	10.0	19	63.3	8	26.7	3	10.0	19	63.3	8	26.7	3	10.0
	その他	51	38	74.5	11	21.6	2	3.9	37	72.5	11	21.6	3	5.9	31	60.8	16	31.4	4	7.8
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	149	85.6	21	12.1	4	2.3	113	64.9	54	31.0	7	4.0	104	59.8	60	34.5	10	5.7
	木更津市内	84	69	82.1	11	13.1	4	4.8	52	61.9	31	36.9	1	1.2	56	66.7	25	29.8	3	3.6
	市原市内	64	57	89.1	7	10.9	0	0.0	44	68.8	20	31.3	0	0.0	38	59.4	25	39.1	1	1.6
	君津市内	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	9	75.0	3	25.0	0	0.0	7	58.3	4	33.3	1	8.3
	千葉市内	35	29	82.9	5	14.3	1	2.9	21	60.0	14	40.0	0	0.0	13	37.1	21	60.0	1	2.9
	千葉県内※２	25	20	80.0	5	20.0	0	0.0	14	56.0	10	40.0	1	4.0	18	72.0	7	28.0	0	0.0
	東京都内	34	30	88.2	4	11.8	0	0.0	25	73.5	8	23.5	1	2.9	19	55.9	13	38.2	2	5.9
	神奈川県内	8	7	87.5	0	0.0	1	12.5	7	87.5	1	12.5	0	0.0	5	62.5	3	37.5	0	0.0
	その他	10	9	90.0	1	10.0	0	0.0	10	100.0	0	0.0	0	0.0	7	70.0	2	20.0	1	10.0
	通勤、通学はしていない	184	152	82.6	20	10.9	12	6.5	104	56.5	60	32.6	20	10.9	102	55.4	63	34.2	19	10.3

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

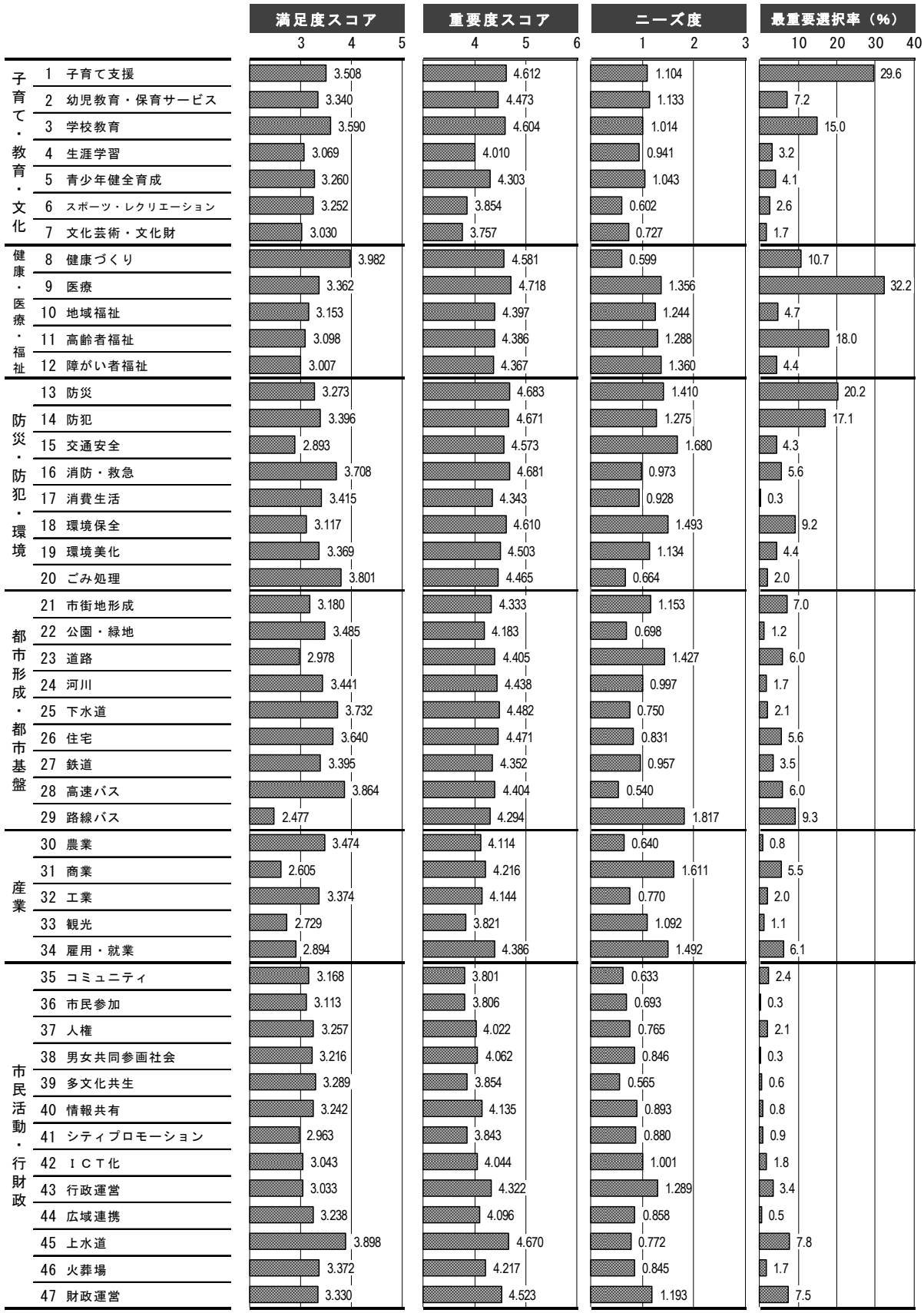
付図表 17　属性別クロス集計表（１７／１７）

属性		合計	49						50					
			ＳＤＧｓを知っていますか						ＳＤＧｓを実践していますか					
			はい		いいえ		（無回答）		はい		いいえ		（無回答）	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体		655	534	81.5	109	16.6	12	1.8	442	67.5	195	29.8	18	2.7
性別	男性	268	219	81.7	48	17.9	1	0.4	166	61.9	100	37.3	2	0.7
	女性	357	293	82.1	56	15.7	8	2.2	257	72.0	88	24.6	12	3.4
	答えない	21	18	85.7	3	14.3	0	0.0	17	81.0	4	19.0	0	0.0
年齢	１０・２０歳台	47	44	93.6	3	6.4	0	0.0	34	72.3	12	25.5	1	2.1
	３０歳台	92	81	88.0	10	10.9	1	1.1	61	66.3	30	32.6	1	1.1
	４０歳台	117	105	89.7	11	9.4	1	0.9	80	68.4	35	29.9	2	1.7
	５０歳台	131	110	84.0	20	15.3	1	0.8	93	71.0	36	27.5	2	1.5
	６０～６４歳	57	41	71.9	15	26.3	1	1.8	38	66.7	18	31.6	1	1.8
	６５～６９歳	69	54	78.3	14	20.3	1	1.4	49	71.0	20	29.0	0	0.0
	７０歳以上	133	94	70.7	35	26.3	4	3.0	84	63.2	41	30.8	8	6.0
職業	自営業主	31	22	71.0	9	29.0	0	0.0	17	54.8	14	45.2	0	0.0
	家族従業者	12	11	91.7	1	8.3	0	0.0	7	58.3	4	33.3	1	8.3
	会社・団体役員	113	95	84.1	17	15.0	1	0.9	72	63.7	40	35.4	1	0.9
	給与所得者	149	133	89.3	14	9.4	2	1.3	109	73.2	39	26.2	1	0.7
	アルバイト・パートタイム	121	102	84.3	19	15.7	0	0.0	78	64.5	40	33.1	3	2.5
	学生	18	17	94.4	1	5.6	0	0.0	16	88.9	2	11.1	0	0.0
	専業主婦・主夫	97	71	73.2	22	22.7	4	4.1	74	76.3	18	18.6	5	5.2
	その他	13	11	84.6	2	15.4	0	0.0	9	69.2	4	30.8	0	0.0
	無職	90	68	75.6	20	22.2	2	2.2	58	64.4	28	31.1	4	4.4
世帯人数	１人	56	45	80.4	10	17.9	1	1.8	32	57.1	23	41.1	1	1.8
	２人	208	164	78.8	40	19.2	4	1.9	149	71.6	53	25.5	6	2.9
	３人	173	144	83.2	28	16.2	1	0.6	121	69.9	50	28.9	2	1.2
	４人	135	118	87.4	15	11.1	2	1.5	90	66.7	40	29.6	5	3.7
	５人以上	73	58	79.5	14	19.2	1	1.4	47	64.4	25	34.2	1	1.4
子どもの数	１人	100	84	84.0	16	16.0	0	0.0	73	73.0	26	26.0	1	1.0
	２人	260	210	80.8	46	17.7	4	1.5	178	68.5	77	29.6	5	1.9
	３人	105	84	80.0	18	17.1	3	2.9	73	69.5	26	24.8	6	5.7
	４人	10	8	80.0	2	20.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	0	0.0
	５人以上	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
	子どもはいない	165	140	84.8	23	13.9	2	1.2	105	63.6	57	34.5	3	1.8
就学状況※１	小学校入学前	51	44	86.3	7	13.7	0	0.0	33	64.7	18	35.3	0	0.0
	小学生	58	48	82.8	9	15.5	1	1.7	40	69.0	17	29.3	1	1.7
	中学生	36	32	88.9	3	8.3	1	2.8	25	69.4	10	27.8	1	2.8
	高校生	45	43	95.6	2	4.4	0	0.0	34	75.6	10	22.2	1	2.2
	専門学校・短大・大学（大学院）生	38	32	84.2	5	13.2	1	2.6	29	76.3	9	23.7	0	0.0
	その他	287	226	78.7	56	19.5	5	1.7	201	70.0	77	26.8	9	3.1
居住地区	昭和地区	226	192	85.0	30	13.3	4	1.8	153	67.7	68	30.1	5	2.2
	長浦地区	237	190	80.2	43	18.1	4	1.7	159	67.1	71	30.0	7	3.0
	根形地区	63	55	87.3	7	11.1	1	1.6	41	65.1	20	31.7	2	3.2
	平岡地区	47	35	74.5	11	23.4	1	2.1	34	72.3	12	25.5	1	2.1
	中川地区	49	39	79.6	10	20.4	0	0.0	36	73.5	12	24.5	1	2.0
	富岡地区	19	15	78.9	4	21.1	0	0.0	13	68.4	6	31.6	0	0.0
居住年数	３年未満	30	25	83.3	5	16.7	0	0.0	15	50.0	15	50.0	0	0.0
	３年以上５年未満	28	26	92.9	2	7.1	0	0.0	22	78.6	6	21.4	0	0.0
	５年以上10年未満	53	45	84.9	8	15.1	0	0.0	39	73.6	13	24.5	1	1.9
	10年以上20年未満	100	91	91.0	8	8.0	1	1.0	74	74.0	23	23.0	3	3.0
	20年以上	432	341	78.9	82	19.0	9	2.1	288	66.7	132	30.6	12	2.8
前住居	生まれたときから現在のところ	95	73	76.8	19	20.0	3	3.2	58	61.1	36	37.9	1	1.1
	袖ケ浦市内の別のところ	119	99	83.2	18	15.1	2	1.7	84	70.6	32	26.9	3	2.5
	袖ケ浦市以外の千葉県内	301	250	83.1	49	16.3	2	0.7	212	70.4	81	26.9	8	2.7
	東京都内	43	37	86.0	6	14.0	0	0.0	29	67.4	14	32.6	0	0.0
	神奈川県内	30	27	90.0	2	6.7	1	3.3	18	60.0	10	33.3	2	6.7
	その他	51	38	74.5	11	21.6	2	3.9	34	66.7	15	29.4	2	3.9
通勤、通学場所	袖ケ浦市内	174	146	83.9	25	14.4	3	1.7	115	66.1	54	31.0	5	2.9
	木更津市内	84	73	86.9	10	11.9	1	1.2	64	76.2	18	21.4	2	2.4
	市原市内	64	49	76.6	15	23.4	0	0.0	37	57.8	27	42.2	0	0.0
	君津市内	12	9	75.0	2	16.7	1	8.3	6	50.0	6	50.0	0	0.0
	千葉市内	35	32	91.4	3	8.6	0	0.0	24	68.6	11	31.4	0	0.0
	千葉県内※２	25	22	88.0	3	12.0	0	0.0	14	56.0	10	40.0	1	4.0
	東京都内	34	33	97.1	1	2.9	0	0.0	27	79.4	7	20.6	0	0.0
	神奈川県内	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	6	75.0	2	25.0	0	0.0
	その他	10	8	80.0	2	20.0	0	0.0	7	70.0	3	30.0	0	0.0
	通勤、通学はしていない	184	141	76.6	40	21.7	3	1.6	133	72.3	45	24.5	6	3.3

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。
※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

4.4 まちづくりにおける満足度・重要度

付図表 18　満足度スコア、ニーズ度等の平均ポイント図（項目順）



付図表 19　満足度スコア、重要度スコア（スコア順）【再掲】

順位	番号	項目	満足度スコア(S)
1	8	健康づくり	3.982
2	45	上水道	3.898
3	28	高速バス	3.864
4	20	ごみ処理	3.801
5	25	下水道	3.732
6	16	消防・救急	3.708
7	26	住宅	3.640
8	3	学校教育	3.590
9	1	子育て支援	3.508
10	22	公園・緑地	3.485
11	30	農業	3.474
12	24	河川	3.441
13	17	消費生活	3.415
14	14	防犯	3.396
15	27	鉄道	3.395
16	32	工業	3.374
17	46	火葬場	3.372
18	19	環境美化	3.369
19	9	医療	3.362
20	2	幼児教育・保育サービス	3.340
21	47	財政運営	3.330
22	39	多文化共生	3.289
23	13	防災	3.273
24	5	青少年健全育成	3.260
25	37	人権	3.257
26	6	スポーツ・レクリエーション	3.252
27	40	情報共有	3.242
28	44	広域連携	3.238
29	38	男女共同参画社会	3.216
30	21	市街地形成	3.180
31	35	コミュニティ	3.168
32	10	地域福祉	3.153
33	18	環境保全	3.117
34	36	市民参加	3.113
35	11	高齢者福祉	3.098
36	4	生涯学習	3.069
37	42	ＩＣＴ化	3.043
38	43	行政運営	3.033
39	7	文化芸術・文化財	3.030
40	12	障がい者福祉	3.007
41	23	道路	2.978
42	41	シティプロモーション	2.963
43	34	雇用・就業	2.894
44	15	交通安全	2.893
45	33	観光	2.729
46	31	商業	2.605
47	29	路線バス	2.477

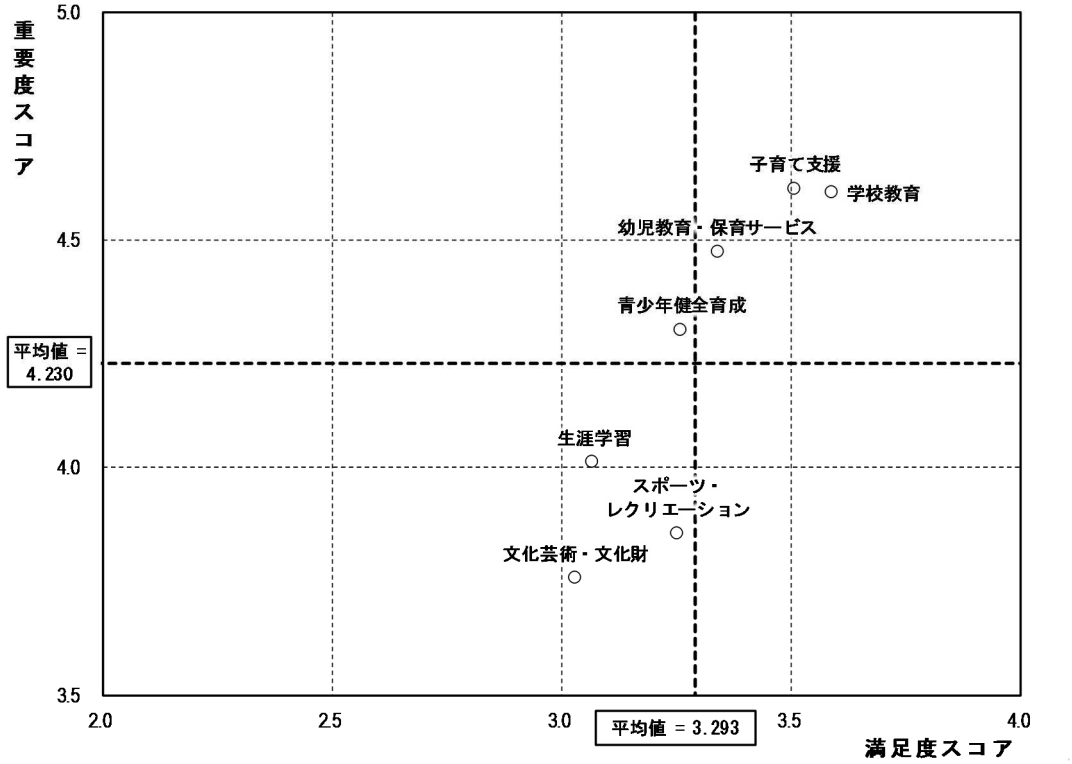
順位	番号	項目	重要度スコア(I)
1	9	医療	4.718
2	13	防災	4.683
3	16	消防・救急	4.681
4	14	防犯	4.671
5	45	上水道	4.670
6	1	子育て支援	4.612
7	18	環境保全	4.610
8	3	学校教育	4.604
9	8	健康づくり	4.581
10	15	交通安全	4.573
11	47	財政運営	4.523
12	19	環境美化	4.503
13	25	下水道	4.482
14	2	幼児教育・保育サービス	4.473
15	26	住宅	4.471
16	20	ごみ処理	4.465
17	24	河川	4.438
18	23	道路	4.405
19	28	高速バス	4.404
20	10	地域福祉	4.397
21	11	高齢者福祉	4.386
↑	34	雇用・就業	4.386
23	12	障がい者福祉	4.367
24	27	鉄道	4.352
25	17	消費生活	4.343
26	21	市街地形成	4.333
27	43	行政運営	4.322
28	5	青少年健全育成	4.303
29	29	路線バス	4.294
30	46	火葬場	4.217
31	31	商業	4.216
32	22	公園・緑地	4.183
33	32	工業	4.144
34	40	情報共有	4.135
35	30	農業	4.114
36	44	広域連携	4.096
37	38	男女共同参画社会	4.062
38	42	ＩＣＴ化	4.044
39	37	人権	4.022
40	4	生涯学習	4.010
41	6	スポーツ・レクリエーション	3.854
↑	39	多文化共生	3.854
43	41	シティプロモーション	3.843
44	33	観光	3.821
45	36	市民参加	3.806
46	35	コミュニティ	3.801
47	7	文化芸術・文化財	3.757

付図表 20　ニーズ度、重要施策選択率（スコア順、選択率順）

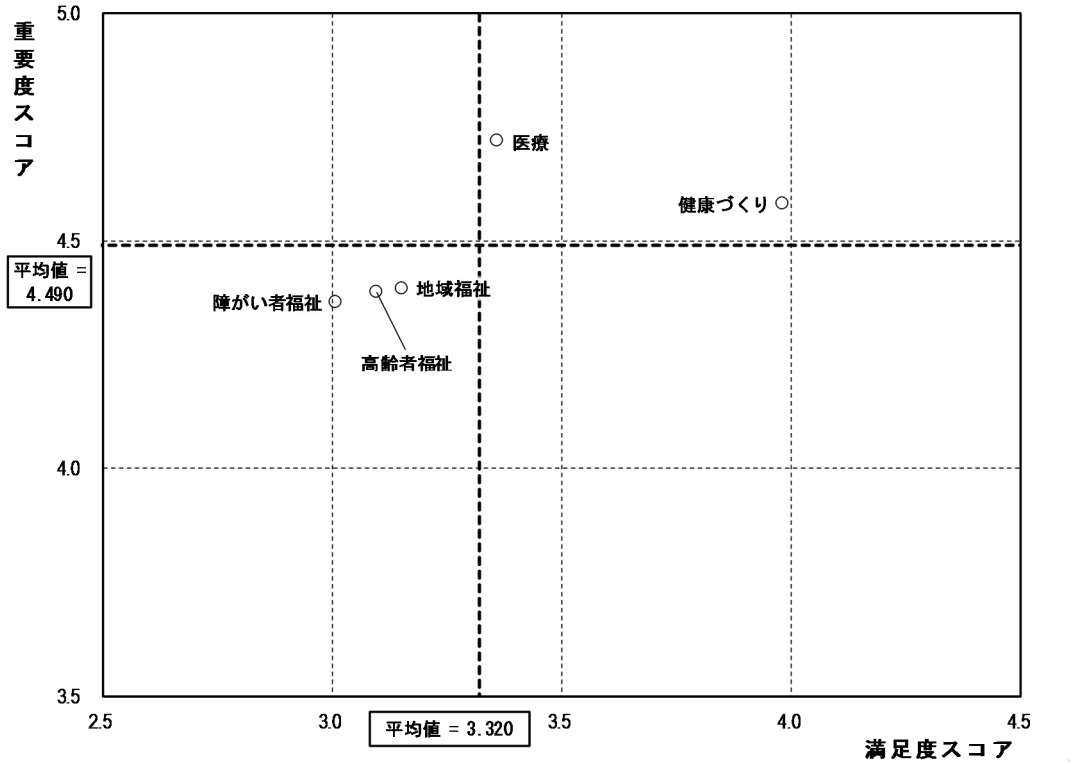
順位	番号	項目	ニーズ度（I-S）
1	29	路線バス	1.817
2	15	交通安全	1.680
3	31	商業	1.611
4	18	環境保全	1.493
5	34	雇用・就業	1.492
6	23	道路	1.427
7	13	防災	1.410
8	12	障がい者福祉	1.360
9	9	医療	1.356
10	43	行政運営	1.289
11	11	高齢者福祉	1.288
12	14	防犯	1.275
13	10	地域福祉	1.244
14	47	財政運営	1.193
15	21	市街地形成	1.153
16	19	環境美化	1.134
17	2	幼児教育・保育サービス	1.133
18	1	子育て支援	1.104
19	33	観光	1.092
20	5	青少年健全育成	1.043
21	3	学校教育	1.014
22	42	ＩＣＴ化	1.001
23	24	河川	0.997
24	16	消防・救急	0.973
25	27	鉄道	0.957
26	4	生涯学習	0.941
27	17	消費生活	0.928
28	40	情報共有	0.893
29	41	シティプロモーション	0.880
30	44	広域連携	0.858
31	38	男女共同参画社会	0.846
32	46	火葬場	0.845
33	26	住宅	0.831
34	45	上水道	0.772
35	32	工業	0.770
36	37	人権	0.765
37	25	下水道	0.750
38	7	文化芸術・文化財	0.727
39	22	公園・緑地	0.698
40	36	市民参加	0.693
41	20	ごみ処理	0.664
42	30	農業	0.640
43	35	コミュニティ	0.633
44	6	スポーツ・レクリエーション	0.602
45	8	健康づくり	0.599
46	39	多文化共生	0.565
47	28	高速バス	0.540

順位	番号	項目	重要施策選択率（%）
1	9	医療	32.2
2	1	子育て支援	29.6
3	13	防災	20.2
4	11	高齢者福祉	18.0
5	14	防犯	17.1
6	3	学校教育	15.0
7	8	健康づくり	10.7
8	29	路線バス	9.3
9	18	環境保全	9.2
10	45	上水道	7.8
11	47	財政運営	7.5
12	2	幼児教育・保育サービス	7.2
13	21	市街地形成	7.0
14	34	雇用・就業	6.1
15	23	道路	6.0
↑	28	高速バス	6.0
17	16	消防・救急	5.6
↑	26	住宅	5.6
19	31	商業	5.5
20	10	地域福祉	4.7
21	12	障がい者福祉	4.4
↑	19	環境美化	4.4
23	15	交通安全	4.3
24	5	青少年健全育成	4.1
25	27	鉄道	3.5
26	43	行政運営	3.4
27	4	生涯学習	3.2
28	6	スポーツ・レクリエーション	2.6
29	35	コミュニティ	2.4
30	25	下水道	2.1
↑	37	人権	2.1
32	20	ごみ処理	2.0
↑	32	工業	2.0
34	42	ＩＣＴ化	1.8
35	7	文化芸術・文化財	1.7
↑	24	河川	1.7
↑	46	火葬場	1.7
38	22	公園・緑地	1.2
39	33	観光	1.1
40	41	シティプロモーション	0.9
41	30	農業	0.8
↑	40	情報共有	0.8
43	39	多文化共生	0.6
44	44	広域連携	0.5
45	17	消費生活	0.3
↑	36	市民参加	0.3
↑	38	男女共同参画社会	0.3

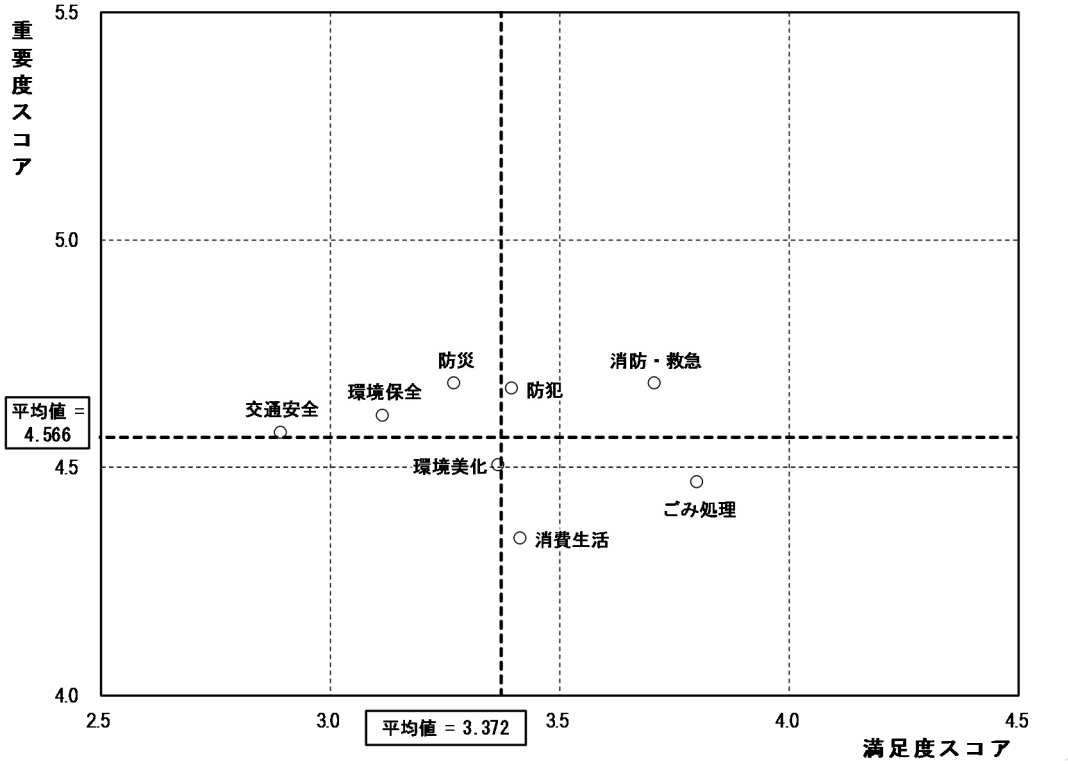
付図表 21　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【施策分類：子育て・教育・文化】



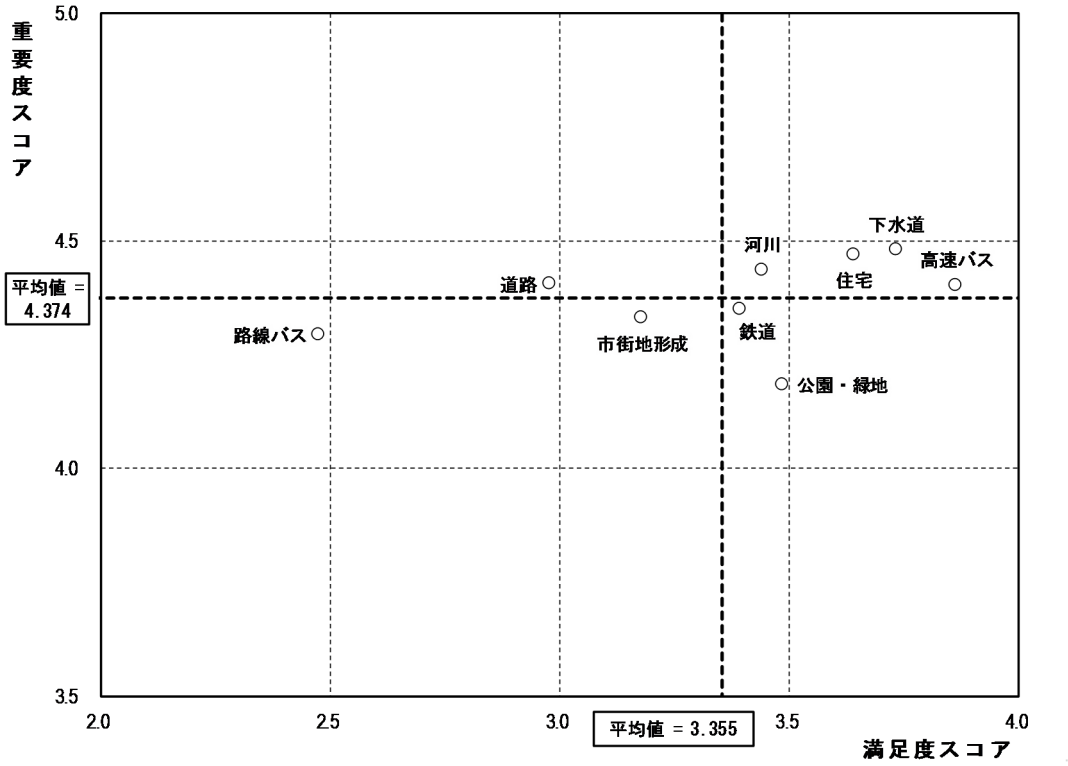
付図表 22　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【施策分類：健康・医療・福祉】



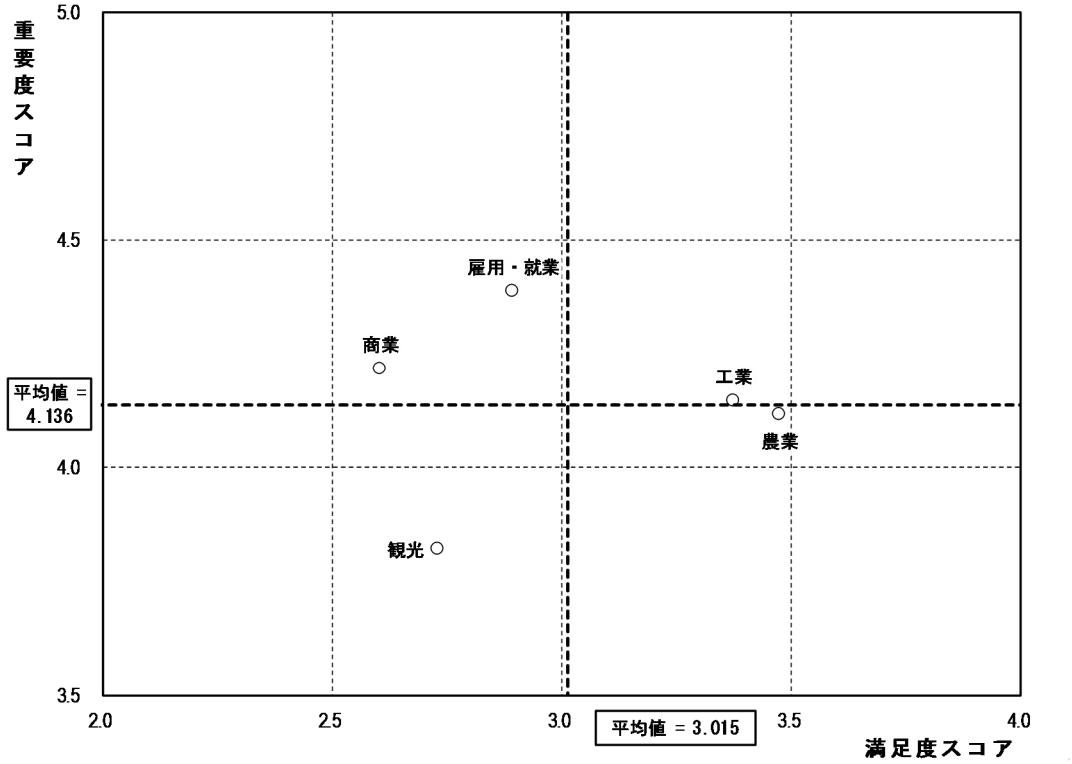
付図表 23　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【施策分類：防災・防犯・環境】



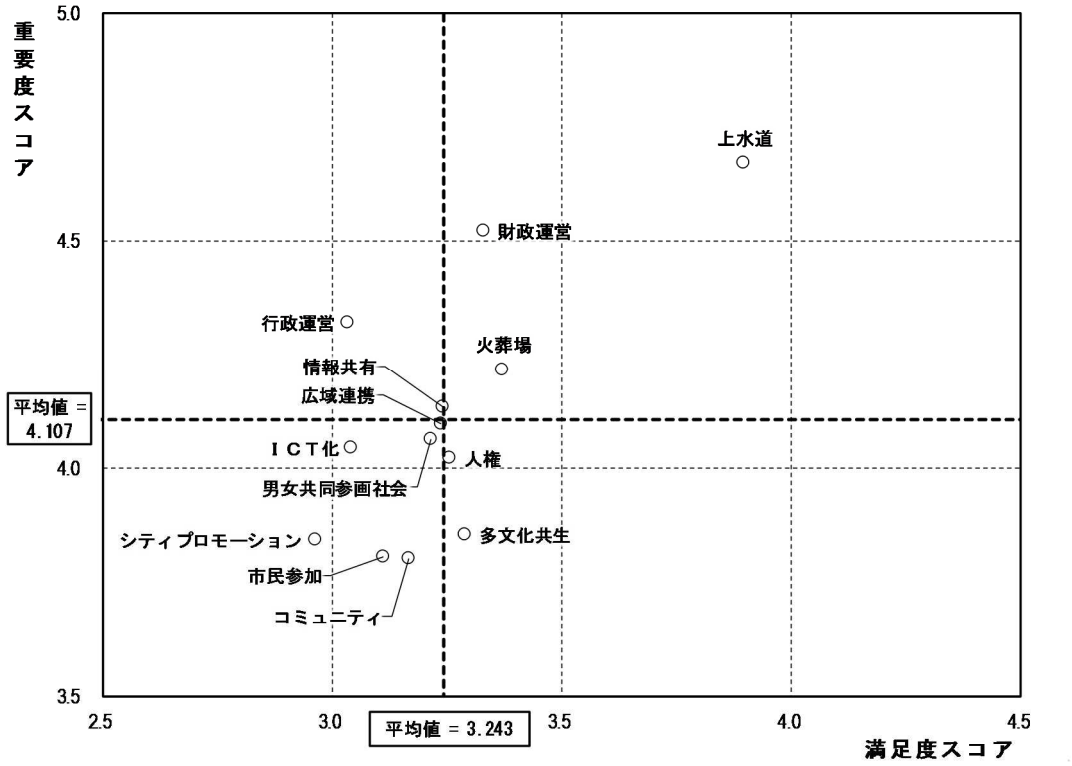
付図表 24　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【施策分類：都市形成・都市基盤】



付図表 25　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【施策分類：産業】



付図表 26　散布図（満足度スコア×重要度スコア）【施策分類：市民活動・行財政】



付図表 27　単純集計表（満足度）

番号	項目	件数（人）								比率（%）						
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	（無回答）	合計	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	（無回答）
1	子育て支援	62	221	153	47	21	131	20	655	9.5	33.7	23.4	7.2	3.2	20.0	3.1
2	幼児教育・保育サービス	51	152	195	45	25	162	25	655	7.8	23.2	29.8	6.9	3.8	24.7	3.8
3	学校教育	83	195	146	37	20	149	25	655	12.7	29.8	22.3	5.6	3.1	22.7	3.8
4	生涯学習	22	135	258	67	38	110	25	655	3.4	20.6	39.4	10.2	5.8	16.8	3.8
5	青少年健全育成	35	152	228	51	22	136	31	655	5.3	23.2	34.8	7.8	3.4	20.8	4.7
6	スポーツ・レクリエーション	43	183	212	80	26	84	27	655	6.6	27.9	32.4	12.2	4.0	12.8	4.1
7	文化芸術・文化財	26	123	238	64	48	131	25	655	4.0	18.8	36.3	9.8	7.3	20.0	3.8
8	健康づくり	176	310	107	25	10	14	13	655	26.9	47.3	16.3	3.8	1.5	2.1	2.0
9	医療	110	241	106	118	57	7	16	655	16.8	36.8	16.2	18.0	8.7	1.1	2.4
10	地域福祉	34	149	253	65	35	102	17	655	5.2	22.7	38.6	9.9	5.3	15.6	2.6
11	高齢者福祉	34	138	224	74	41	128	16	655	5.2	21.1	34.2	11.3	6.3	19.5	2.4
12	障がい者福祉	22	93	245	68	33	176	18	655	3.4	14.2	37.4	10.4	5.0	26.9	2.7
13	防災	40	193	233	59	31	89	10	655	6.1	29.5	35.6	9.0	4.7	13.6	1.5
14	防犯	69	244	193	77	31	29	12	655	10.5	37.3	29.5	11.8	4.7	4.4	1.8
15	交通安全	31	158	226	116	85	26	13	655	4.7	24.1	34.5	17.7	13.0	4.0	2.0
16	消防・救急	111	281	133	45	20	53	12	655	16.9	42.9	20.3	6.9	3.1	8.1	1.8
17	消費生活	71	168	256	43	18	86	13	655	10.8	25.6	39.1	6.6	2.7	13.1	2.0
18	環境保全	58	187	187	99	67	46	11	655	8.9	28.5	28.5	15.1	10.2	7.0	1.7
19	環境美化	87	256	145	96	50	6	15	655	13.3	39.1	22.1	14.7	7.6	0.9	2.3
20	ごみ処理	145	298	114	57	14	14	13	655	22.1	45.5	17.4	8.7	2.1	2.1	2.0
21	市街地形成	72	233	138	121	71	11	9	655	11.0	35.6	21.1	18.5	10.8	1.7	1.4
22	公園・緑地	92	277	135	89	34	18	10	655	14.0	42.3	20.6	13.6	5.2	2.7	1.5
23	道路	42	199	160	159	69	10	16	655	6.4	30.4	24.4	24.3	10.5	1.5	2.4
24	河川	71	206	176	64	23	104	11	655	10.8	31.5	26.9	9.8	3.5	15.9	1.7
25	下水道	121	254	138	35	22	74	11	655	18.5	38.8	21.1	5.3	3.4	11.3	1.7
26	住宅	100	284	164	54	17	24	12	655	15.3	43.4	25.0	8.2	2.6	3.7	1.8
27	鉄道	116	224	135	79	66	24	11	655	17.7	34.2	20.6	12.1	10.1	3.7	1.7
28	高速バス	196	257	93	46	32	17	14	655	29.9	39.2	14.2	7.0	4.9	2.6	2.1
29	路線バス	38	79	161	134	160	72	11	655	5.8	12.1	24.6	20.5	24.4	11.0	1.7
30	農業	61	164	211	37	10	161	11	655	9.3	25.0	32.2	5.6	1.5	24.6	1.7
31	商業	28	90	203	151	113	58	12	655	4.3	13.7	31.0	23.1	17.3	8.9	1.8
32	工業	69	170	207	51	30	112	16	655	10.5	26.0	31.6	7.8	4.6	17.1	2.4
33	観光	29	92	236	127	89	66	16	655	4.4	14.0	36.0	19.4	13.6	10.1	2.4
34	雇用・就業	30	104	220	77	70	140	14	655	4.6	15.9	33.6	11.8	10.7	21.4	2.1
35	コミュニティ	27	144	262	61	25	124	12	655	4.1	22.0	40.0	9.3	3.8	18.9	1.8
36	市民参加	26	102	278	48	26	159	16	655	4.0	15.6	42.4	7.3	4.0	24.3	2.4
37	人権	33	123	263	34	17	168	17	655	5.0	18.8	40.2	5.2	2.6	25.6	2.6
38	男女共同参画社会	43	142	232	57	31	132	18	655	6.6	21.7	35.4	8.7	4.7	20.2	2.7
39	多文化共生	36	126	255	28	18	175	17	655	5.5	19.2	38.9	4.3	2.7	26.7	2.6
40	情報共有	46	175	211	75	31	98	19	655	7.0	26.7	32.2	11.5	4.7	15.0	2.9
41	シティプロモーション	30	88	225	73	46	172	21	655	4.6	13.4	34.4	11.1	7.0	26.3	3.2
42	ＩＣＴ化	22	120	226	54	45	171	17	655	3.4	18.3	34.5	8.2	6.9	26.1	2.6
43	行政運営	19	125	233	59	44	159	16	655	2.9	19.1	35.6	9.0	6.7	24.3	2.4
44	広域連携	31	122	205	42	21	213	21	655	4.7	18.6	31.3	6.4	3.2	32.5	3.2
45	上水道	192	243	112	35	24	31	18	655	29.3	37.1	17.1	5.3	3.7	4.7	2.7
46	火葬場	72	111	157	40	31	226	18	655	11.0	16.9	24.0	6.1	4.7	34.5	2.7
47	財政運営	46	149	195	44	23	179	19	655	7.0	22.7	29.8	6.7	3.5	27.3	2.9

付図表 28　単純集計表（重要度）

番号	項目	件数（人）								比率（%）						
		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	（無回答）	合計	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない	（無回答）
1	子育て支援	419	134	36	3	4	28	31	655	64.0	20.5	5.5	0.5	0.6	4.3	4.7
2	幼児教育・保育サービス	352	162	57	3	5	42	34	655	53.7	24.7	8.7	0.5	0.8	6.4	5.2
3	学校教育	391	150	33	3	1	41	36	655	59.7	22.9	5.0	0.5	0.2	6.3	5.5
4	生涯学習	209	220	136	32	1	24	33	655	31.9	33.6	20.8	4.9	0.2	3.7	5.0
5	青少年健全育成	280	211	86	7	1	30	40	655	42.7	32.2	13.1	1.1	0.2	4.6	6.1
6	スポーツ・レクリエーション	160	243	144	38	9	26	35	655	24.4	37.1	22.0	5.8	1.4	4.0	5.3
7	文化芸術・文化財	126	244	167	40	7	35	36	655	19.2	37.3	25.5	6.1	1.1	5.3	5.5
8	健康づくり	406	180	32	3	2	6	26	655	62.0	27.5	4.9	0.5	0.3	0.9	4.0
9	医療	480	119	22	3	1	4	26	655	73.3	18.2	3.4	0.5	0.2	0.6	4.0
10	地域福祉	332	197	72	6	2	17	29	655	50.7	30.1	11.0	0.9	0.3	2.6	4.4
11	高齢者福祉	338	186	62	8	9	19	33	655	51.6	28.4	9.5	1.2	1.4	2.9	5.0
12	障がい者福祉	322	176	79	6	5	35	32	655	49.2	26.9	12.1	0.9	0.8	5.3	4.9
13	防災	457	138	28	0	1	9	22	655	69.8	21.1	4.3	0.0	0.2	1.4	3.4
14	防犯	447	149	26	0	1	7	25	655	68.2	22.7	4.0	0.0	0.2	1.1	3.8
15	交通安全	399	189	34	2	1	8	22	655	60.9	28.9	5.2	0.3	0.2	1.2	3.4
16	消防・救急	451	143	26	1	0	9	25	655	68.9	21.8	4.0	0.2	0.0	1.4	3.8
17	消費生活	329	203	72	14	5	8	24	655	50.2	31.0	11.0	2.1	0.8	1.2	3.7
18	環境保全	419	164	34	2	1	9	26	655	64.0	25.0	5.2	0.3	0.2	1.4	4.0
19	環境美化	364	219	37	6	0	3	26	655	55.6	33.4	5.6	0.9	0.0	0.5	4.0
20	ごみ処理	358	216	41	7	4	3	26	655	54.7	33.0	6.3	1.1	0.6	0.5	4.0
21	市街地形成	314	229	68	14	3	6	21	655	47.9	35.0	10.4	2.1	0.5	0.9	3.2
22	公園・緑地	241	283	83	17	3	7	21	655	36.8	43.2	12.7	2.6	0.5	1.1	3.2
23	道路	317	258	49	5	1	3	22	655	48.4	39.4	7.5	0.8	0.2	0.5	3.4
24	河川	340	208	62	3	1	18	23	655	51.9	31.8	9.5	0.5	0.2	2.7	3.5
25	下水道	365	198	54	4	1	12	21	655	55.7	30.2	8.2	0.6	0.2	1.8	3.2
26	住宅	365	192	60	3	2	6	27	655	55.7	29.3	9.2	0.5	0.3	0.9	4.1
27	鉄道	319	223	55	13	7	14	24	655	48.7	34.0	8.4	2.0	1.1	2.1	3.7
28	高速バス	323	234	48	10	2	12	26	655	49.3	35.7	7.3	1.5	0.3	1.8	4.0
29	路線バス	299	211	83	8	7	22	25	655	45.6	32.2	12.7	1.2	1.1	3.4	3.8
30	農業	210	262	97	14	6	42	24	655	32.1	40.0	14.8	2.1	0.9	6.4	3.7
31	商業	256	250	90	11	4	20	24	655	39.1	38.2	13.7	1.7	0.6	3.1	3.7
32	工業	240	214	120	13	3	38	27	655	36.6	32.7	18.3	2.0	0.5	5.8	4.1
33	観光	177	220	152	46	14	22	24	655	27.0	33.6	23.2	7.0	2.1	3.4	3.7
34	雇用・就業	319	203	69	5	3	33	23	655	48.7	31.0	10.5	0.8	0.5	5.0	3.5
35	コミュニティ	145	238	168	28	13	40	23	655	22.1	36.3	25.6	4.3	2.0	6.1	3.5
36	市民参加	143	227	178	21	12	49	25	655	21.8	34.7	27.2	3.2	1.8	7.5	3.8
37	人権	201	212	147	13	5	53	24	655	30.7	32.4	22.4	2.0	0.8	8.1	3.7
38	男女共同参画社会	214	220	129	11	9	45	27	655	32.7	33.6	19.7	1.7	1.4	6.9	4.1
39	多文化共生	169	217	154	23	18	47	27	655	25.8	33.1	23.5	3.5	2.7	7.2	4.1
40	情報共有	233	228	116	11	5	34	28	655	35.6	34.8	17.7	1.7	0.8	5.2	4.3
41	シティプロモーション	158	219	153	20	18	59	28	655	24.1	33.4	23.4	3.1	2.7	9.0	4.3
42	ＩＣＴ化	201	228	119	18	7	55	27	655	30.7	34.8	18.2	2.7	1.1	8.4	4.1
43	行政運営	289	187	82	6	4	56	31	655	44.1	28.5	12.5	0.9	0.6	8.5	4.7
44	広域連携	201	224	115	9	5	68	33	655	30.7	34.2	17.6	1.4	0.8	10.4	5.0
45	上水道	456	126	31	4	1	8	29	655	69.6	19.2	4.7	0.6	0.2	1.2	4.4
46	火葬場	247	222	88	10	5	55	28	655	37.7	33.9	13.4	1.5	0.8	8.4	4.3
47	財政運営	378	156	53	3	3	36	26	655	57.7	23.8	8.1	0.5	0.5	5.5	4.0

付図表 29　特に重要な施策（複数回答）

番号	項目	件数（人）	比率（%）
1	子育て支援	194	29.6
2	幼児教育・保育サービス	47	7.2
3	学校教育	98	15.0
4	生涯学習	21	3.2
5	青少年健全育成	27	4.1
6	スポーツ・レクリエーション	17	2.6
7	文化芸術・文化財	11	1.7
8	健康づくり	70	10.7
9	医療	211	32.2
10	地域福祉	31	4.7
11	高齢者福祉	118	18.0
12	障がい者福祉	29	4.4
13	防災	132	20.2
14	防犯	112	17.1
15	交通安全	28	4.3
16	消防・救急	37	5.6
17	消費生活	2	0.3
18	環境保全	60	9.2
19	環境美化	29	4.4
20	ごみ処理	13	2.0
21	市街地形成	46	7.0
22	公園・緑地	8	1.2
23	道路	39	6.0
24	河川	11	1.7
25	下水道	14	2.1
26	住宅	37	5.6
27	鉄道	23	3.5
28	高速バス	39	6.0
29	路線バス	61	9.3
30	農業	5	0.8
31	商業	36	5.5
32	工業	13	2.0
33	観光	7	1.1
34	雇用・就業	40	6.1
35	コミュニティ	16	2.4
36	市民参加	2	0.3
37	人権	14	2.1
38	男女共同参画社会	2	0.3
39	多文化共生	4	0.6
40	情報共有	5	0.8
41	シティプロモーション	6	0.9
42	ＩＣＴ化	12	1.8
43	行政運営	22	3.4
44	広域連携	3	0.5
45	上水道	51	7.8
46	火葬場	11	1.7
47	財政運営	49	7.5
（無回答）		29	4.4
回答者数		655	－

４．４．１ 属性別クロス集計表

４．４．１．１ 満足度スコア

付図表 30　属性別クロス集計表（満足度スコア）（１／６）

番号	項目	全体	性別			年齢						
			男性	女性	答えない	１０・２０歳台	３０歳台	４０歳台	５０歳台	６０～６４歳	６５～６９歳	７０歳以上
1	子育て支援	3.508	3.542	3.506	3.286	3.559	3.463	3.566	3.600	3.556	3.438	3.407
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.307	3.356	3.462	3.441	3.270	3.303	3.337	3.429	3.128	3.459
3	学校教育	3.590	3.565	3.644	3.357	3.784	3.515	3.417	3.660	3.571	3.646	3.690
4	生涯学習	3.069	3.009	3.152	2.600	3.250	3.125	3.021	3.000	3.045	3.173	3.055
5	青少年健全育成	3.260	3.286	3.245	3.143	3.308	3.347	3.385	3.280	3.140	3.196	3.109
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.232	3.292	2.750	3.250	3.171	3.351	3.138	3.362	3.327	3.245
7	文化芸術・文化財	3.030	2.921	3.158	2.357	3.175	2.875	3.244	2.963	3.000	2.978	3.010
8	健康づくり	3.982	3.849	4.111	3.524	3.886	3.989	4.069	3.883	3.873	3.864	4.142
9	医療	3.362	3.421	3.355	2.800	4.239	3.247	3.313	3.321	3.038	3.333	3.378
10	地域福祉	3.153	3.110	3.209	2.692	3.442	3.324	3.276	2.982	3.082	3.135	3.036
11	高齢者福祉	3.098	3.090	3.144	2.600	3.526	3.206	3.168	2.911	3.065	3.196	2.991
12	障がい者福祉	3.007	3.000	3.025	2.583	3.056	3.131	3.116	2.839	2.935	3.000	2.989
13	防災	3.273	3.295	3.288	2.750	3.795	3.208	3.336	3.350	3.128	3.123	3.157
14	防犯	3.396	3.396	3.408	3.421	3.500	3.506	3.522	3.457	3.109	3.297	3.305
15	交通安全	2.893	2.938	2.907	2.211	2.978	2.761	2.974	2.892	2.782	2.889	2.965
16	消防・救急	3.708	3.745	3.693	3.471	4.093	3.518	3.611	3.746	3.824	3.694	3.711
17	消費生活	3.415	3.407	3.419	3.385	3.976	3.616	3.546	3.313	3.184	3.262	3.252
18	環境保全	3.117	3.258	3.057	2.474	3.571	3.106	3.089	2.935	2.981	3.317	3.165
19	環境美化	3.369	3.439	3.356	2.789	3.609	3.402	3.652	3.292	3.073	3.060	3.379
20	ごみ処理	3.801	3.815	3.814	3.421	3.909	3.787	3.912	3.727	3.750	3.761	3.794
21	市街地形成	3.180	3.174	3.191	3.000	3.457	3.289	3.129	3.108	3.036	3.130	3.194
22	公園・緑地	3.485	3.494	3.512	3.053	3.630	3.427	3.579	3.577	3.309	3.318	3.467
23	道路	2.978	2.958	3.017	2.571	2.956	3.000	3.132	2.923	2.815	2.824	3.032
24	河川	3.441	3.429	3.464	3.250	3.675	3.486	3.623	3.442	3.133	3.200	3.396
25	下水道	3.732	3.787	3.700	3.526	4.000	3.756	3.832	3.636	3.438	3.683	3.775
26	住宅	3.640	3.632	3.668	3.316	4.000	3.697	3.851	3.639	3.345	3.379	3.529
27	鉄道	3.395	3.388	3.429	2.952	3.426	3.607	3.478	3.254	3.073	3.242	3.496
28	高速バス	3.864	3.865	3.847	4.150	3.935	4.000	4.026	3.732	3.811	3.687	3.829
29	路線バス	2.477	2.525	2.463	2.143	2.927	2.705	2.434	2.254	2.137	2.547	2.573
30	農業	3.474	3.452	3.506	3.267	3.657	3.727	3.602	3.406	3.391	3.267	3.322
31	商業	2.605	2.574	2.659	2.167	2.846	2.671	2.560	2.540	2.392	2.677	2.667
32	工業	3.374	3.377	3.390	3.188	3.683	3.370	3.520	3.281	3.217	3.170	3.404
33	観光	2.729	2.695	2.781	2.263	2.902	2.783	2.776	2.616	2.509	2.842	2.748
34	雇用・就業	2.894	2.887	2.952	2.278	3.289	2.958	2.919	2.781	2.826	2.800	2.888
35	コミュニティ	3.168	3.143	3.215	2.545	3.105	3.096	3.293	3.150	3.111	3.167	3.168
36	市民参加	3.113	3.050	3.199	2.500	3.108	3.090	3.274	3.057	3.100	3.224	3.000
37	人権	3.257	3.171	3.354	2.818	3.429	3.275	3.289	3.316	3.184	3.130	3.187
38	男女共同参画社会	3.216	3.294	3.198	2.286	3.658	3.333	3.172	3.189	3.049	3.241	3.064
39	多文化共生	3.289	3.241	3.363	2.750	3.486	3.457	3.459	3.272	3.053	3.184	3.079
40	情報共有	3.242	3.172	3.350	2.267	3.385	3.092	3.357	3.278	3.022	3.278	3.236
41	シティプロモーション	2.963	2.915	3.039	2.357	3.194	3.014	2.953	2.917	2.841	3.043	2.878
42	ＩＣＴ化	3.043	2.914	3.184	2.300	3.306	3.232	2.855	3.000	2.957	3.085	3.034
43	行政運営	3.033	2.977	3.108	2.714	3.471	3.082	3.136	2.893	2.975	2.920	3.010
44	広域連携	3.238	3.171	3.304	3.182	3.636	3.197	3.346	3.141	3.108	3.093	3.257
45	上水道	3.898	3.937	3.909	3.474	4.289	3.849	3.738	3.937	3.923	3.969	3.867
46	火葬場	3.372	3.285	3.463	3.000	3.960	3.755	3.373	3.046	3.395	3.365	3.286
47	財政運営	3.330	3.322	3.382	2.545	3.758	3.323	3.488	3.192	3.244	3.189	3.313

付図表 31　属性別クロス集計表（満足度スコア）（２／６）

番号	項目	全体	職業								
			自営業主	家族従業者	会社・団体役員	給与所得者	アルバイト・パートタイム	学生	専業主婦・主夫	その他	無職
1	子育て支援	3.508	3.619	3.667	3.538	3.610	3.475	3.769	3.394	3.444	3.410
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.158	3.222	3.348	3.306	3.351	3.583	3.406	3.222	3.357
3	学校教育	3.590	3.227	3.500	3.663	3.582	3.554	3.800	3.703	3.600	3.619
4	生涯学習	3.069	2.652	3.700	2.926	3.113	3.240	3.438	3.013	3.000	3.045
5	青少年健全育成	3.260	3.263	3.625	3.404	3.282	3.266	3.500	3.077	3.222	3.111
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.269	3.800	3.122	3.283	3.340	3.375	3.213	3.091	3.221
7	文化芸術・文化財	3.030	2.810	3.375	3.053	3.000	3.113	3.353	3.058	2.889	2.887
8	健康づくり	3.982	4.100	4.545	3.784	3.880	4.127	4.235	4.105	3.583	3.941
9	医療	3.362	3.161	3.727	3.234	3.406	3.314	4.278	3.436	3.385	3.267
10	地域福祉	3.153	3.077	3.091	3.092	3.103	3.297	3.800	3.125	3.300	3.041
11	高齢者福祉	3.098	2.960	3.182	3.021	3.162	3.160	3.714	3.162	3.091	2.958
12	障がい者福祉	3.007	2.909	3.625	2.885	2.982	3.126	3.385	3.016	2.800	2.897
13	防災	3.273	3.240	3.889	3.243	3.389	3.200	3.625	3.211	3.556	3.132
14	防犯	3.396	3.286	3.455	3.370	3.651	3.250	3.500	3.477	3.667	3.123
15	交通安全	2.893	2.821	2.909	2.789	2.993	2.861	3.222	3.000	2.750	2.785
16	消防・救急	3.708	3.920	4.100	3.547	3.790	3.573	4.278	3.775	3.636	3.654
17	消費生活	3.415	3.423	3.667	3.455	3.504	3.396	4.000	3.388	3.900	3.014
18	環境保全	3.117	3.000	3.333	3.064	3.107	3.108	3.529	3.000	3.833	3.216
19	環境美化	3.369	3.483	3.364	3.446	3.538	3.319	3.611	3.167	2.846	3.321
20	ごみ処理	3.801	3.852	3.727	3.697	3.972	3.798	3.833	3.747	3.923	3.686
21	市街地形成	3.180	2.767	3.636	2.973	3.315	3.202	3.278	3.118	3.000	3.345
22	公園・緑地	3.485	3.533	4.000	3.432	3.623	3.509	3.833	3.278	2.846	3.471
23	道路	2.978	2.900	3.000	2.891	3.138	3.026	2.882	2.979	3.000	2.788
24	河川	3.441	3.520	4.000	3.310	3.575	3.353	3.867	3.417	3.909	3.289
25	下水道	3.732	3.857	3.429	3.728	3.763	3.591	4.111	3.679	3.900	3.848
26	住宅	3.640	3.571	3.909	3.627	3.801	3.491	4.222	3.709	3.538	3.381
27	鉄道	3.395	3.692	3.500	3.264	3.448	3.377	3.471	3.376	3.308	3.412
28	高速バス	3.864	3.893	4.300	3.739	3.959	3.939	3.778	3.796	3.769	3.855
29	路線バス	2.477	2.783	2.500	2.495	2.439	2.538	3.143	2.326	2.462	2.455
30	農業	3.474	3.565	3.250	3.484	3.571	3.398	4.000	3.477	3.143	3.274
31	商業	2.605	2.310	3.250	2.600	2.504	2.703	3.000	2.494	2.700	2.750
32	工業	3.374	3.080	4.167	3.365	3.451	3.304	3.857	3.368	3.300	3.333
33	観光	2.729	2.846	3.111	2.583	2.734	2.762	3.133	2.793	2.364	2.689
34	雇用・就業	2.894	2.650	3.429	2.845	2.952	2.931	3.417	2.887	3.222	2.719
35	コミュニティ	3.168	2.897	3.667	3.208	3.120	3.235	3.467	3.123	3.400	3.088
36	市民参加	3.113	2.960	3.333	3.117	3.047	3.213	3.308	3.099	3.300	3.034
37	人権	3.257	3.095	3.500	3.278	3.269	3.258	3.769	3.426	3.500	2.968
38	男女共同参画社会	3.216	2.957	3.444	3.274	3.286	3.130	3.800	3.087	3.636	3.068
39	多文化共生	3.289	2.864	3.500	3.409	3.312	3.316	3.563	3.241	3.455	3.056
40	情報共有	3.242	3.000	3.900	3.258	3.202	3.314	3.588	3.269	3.300	3.104
41	シティプロモーション	2.963	2.826	3.571	2.922	2.963	3.032	3.357	2.867	3.400	2.750
42	ＩＣＴ化	3.043	2.478	4.000	2.967	3.118	3.167	3.188	3.058	3.300	2.845
43	行政運営	3.033	2.783	3.714	3.011	3.121	3.076	3.533	2.879	3.400	2.879
44	広域連携	3.238	2.944	3.833	3.129	3.268	3.198	3.929	3.259	3.333	3.208
45	上水道	3.898	3.370	4.000	3.860	3.971	3.921	4.556	3.770	4.000	3.976
46	火葬場	3.372	3.450	4.375	3.364	3.346	3.210	4.154	3.357	3.714	3.266
47	財政運営	3.330	3.650	3.714	3.193	3.421	3.318	3.867	3.186	3.400	3.233

付図表 32　属性別クロス集計表（満足度スコア）（３／６）

番号	項目	全体	世帯人数					子どもの数					
			1人	2人	3人	4人	5人以上	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいない
1	子育て支援	3.508	3.452	3.441	3.600	3.476	3.588	3.620	3.573	3.271	3.500	2.000	3.505
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.667	3.362	3.341	3.248	3.323	3.298	3.370	3.175	3.333	3.000	3.433
3	学校教育	3.590	3.600	3.676	3.703	3.424	3.544	3.613	3.616	3.338	3.667	4.000	3.721
4	生涯学習	3.069	3.026	3.134	3.000	3.070	3.109	3.058	3.130	2.943	3.500	3.000	3.055
5	青少年健全育成	3.260	3.276	3.201	3.282	3.268	3.343	3.321	3.250	3.185	3.429	4.000	3.259
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.250	3.325	3.183	3.179	3.343	3.200	3.291	3.149	3.625	4.000	3.258
7	文化芸術・文化財	3.030	2.722	3.020	3.113	3.026	3.098	3.108	3.087	2.880	3.500	4.000	2.961
8	健康づくり	3.982	3.712	4.114	3.928	3.954	3.973	3.990	4.068	3.804	4.500	4.500	3.911
9	医療	3.362	3.491	3.418	3.325	3.318	3.310	3.293	3.314	3.078	3.625	4.000	3.652
10	地域福祉	3.153	3.075	3.138	3.115	3.147	3.353	3.163	3.213	2.860	3.375	3.500	3.223
11	高齢者福祉	3.098	3.079	3.051	3.232	2.973	3.238	3.074	3.130	2.924	3.375	2.500	3.190
12	障がい者福祉	3.007	2.971	2.963	3.071	2.873	3.220	2.986	3.017	2.916	3.143	2.500	3.053
13	防災	3.273	3.136	3.249	3.284	3.347	3.290	3.140	3.231	3.170	3.889	2.000	3.464
14	防犯	3.396	3.392	3.358	3.476	3.432	3.361	3.479	3.381	3.149	3.667	4.000	3.542
15	交通安全	2.893	2.824	2.876	2.976	2.848	2.972	2.781	2.950	2.812	3.500	4.000	2.918
16	消防・救急	3.708	3.773	3.691	3.758	3.634	3.783	3.611	3.680	3.656	4.222	4.000	3.823
17	消費生活	3.415	3.261	3.304	3.467	3.492	3.531	3.378	3.366	3.194	4.000	4.000	3.624
18	環境保全	3.117	3.154	3.108	3.118	3.188	3.044	2.732	3.149	3.000	3.444	3.500	3.407
19	環境美化	3.369	3.288	3.365	3.380	3.409	3.370	3.210	3.408	3.146	4.000	4.000	3.534
20	ごみ処理	3.801	3.792	3.741	3.843	3.829	3.808	3.732	3.821	3.733	4.000	4.500	3.836
21	市街地形成	3.180	3.127	3.248	3.213	3.098	3.113	3.310	3.237	2.922	3.200	4.000	3.156
22	公園・緑地	3.485	3.353	3.503	3.485	3.496	3.556	3.371	3.560	3.291	4.000	4.000	3.557
23	道路	2.978	2.902	3.035	2.953	3.083	2.726	2.810	3.092	2.714	3.500	2.500	3.051
24	河川	3.441	3.413	3.419	3.529	3.467	3.270	3.482	3.445	3.092	3.778	4.000	3.600
25	下水道	3.732	3.761	3.804	3.698	3.705	3.636	3.674	3.718	3.473	3.875	4.000	3.943
26	住宅	3.640	3.460	3.636	3.645	3.736	3.616	3.649	3.665	3.277	3.889	4.000	3.813
27	鉄道	3.395	3.315	3.538	3.360	3.295	3.271	3.480	3.364	3.265	3.333	4.000	3.453
28	高速バス	3.864	3.784	3.885	3.806	3.818	4.057	4.061	3.831	3.814	4.111	4.000	3.815
29	路線バス	2.477	2.565	2.525	2.409	2.408	2.594	2.471	2.504	2.376	2.778	3.000	2.480
30	農業	3.474	3.184	3.503	3.414	3.533	3.617	3.570	3.492	3.247	3.857	4.000	3.512
31	商業	2.605	2.535	2.665	2.638	2.579	2.514	2.667	2.657	2.296	2.800	3.000	2.679
32	工業	3.374	3.293	3.362	3.392	3.383	3.403	3.388	3.333	3.227	3.625	4.000	3.515
33	観光	2.729	2.578	2.734	2.756	2.728	2.729	2.652	2.722	2.674	2.778	3.000	2.799
34	雇用・就業	2.894	2.925	2.939	2.914	2.815	2.873	3.060	2.856	2.700	3.333	4.000	2.935
35	コミュニティ	3.168	3.028	3.261	3.152	3.035	3.286	3.136	3.209	3.069	3.286	2.500	3.177
36	市民参加	3.113	2.943	3.151	3.109	3.083	3.236	3.000	3.170	3.049	3.167	3.500	3.122
37	人権	3.257	2.944	3.292	3.323	3.194	3.344	3.162	3.299	3.205	3.625	4.000	3.248
38	男女共同参画社会	3.216	3.132	3.239	3.167	3.219	3.323	3.077	3.220	3.143	3.429	5.000	3.298
39	多文化共生	3.289	3.171	3.244	3.171	3.433	3.483	3.105	3.291	3.293	3.500	3.500	3.361
40	情報共有	3.242	3.154	3.281	3.164	3.224	3.431	2.953	3.404	3.054	3.750	3.500	3.250
41	シティプロモーション	2.963	2.971	2.902	2.912	2.980	3.170	2.705	3.040	2.883	3.600	3.000	3.000
42	ＩＣＴ化	3.043	3.061	3.113	2.992	3.000	3.070	2.846	3.125	2.897	3.250	4.000	3.096
43	行政運営	3.033	3.057	3.095	2.977	3.019	3.086	2.810	3.073	2.800	3.571	4.000	3.241
44	広域連携	3.238	3.037	3.367	3.214	3.137	3.294	3.042	3.283	3.000	4.000	4.000	3.407
45	上水道	3.898	3.979	3.913	3.809	3.984	3.957	3.604	3.971	3.680	4.333	5.000	4.104
46	火葬場	3.372	3.194	3.257	3.339	3.519	3.585	3.339	3.417	3.164	3.429	4.000	3.449
47	財政運営	3.330	3.324	3.348	3.298	3.356	3.352	3.070	3.353	3.125	3.429	4.000	3.551

付図表 33　属性別クロス集計表（満足度スコア）（４／６）

番号	項目	全体	就学状況　※１						居住地区					
			小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校・短大・大学（大学院）生	その他	昭和地区	長浦地区	根形地区	平岡地区	中川地区	富岡地区
1	子育て支援	3.508	3.196	3.596	3.943	3.600	3.588	3.493	3.563	3.489	3.320	3.556	3.625	3.714
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.109	3.316	3.344	3.357	3.344	3.342	3.405	3.301	3.239	3.389	3.289	3.429
3	学校教育	3.590	3.303	3.368	3.361	3.467	3.636	3.652	3.720	3.571	3.396	3.500	3.333	3.867
4	生涯学習	3.069	3.049	3.098	3.250	2.976	3.069	3.100	3.106	3.021	3.220	3.024	3.028	3.000
5	青少年健全育成	3.260	3.154	3.429	3.429	3.395	3.167	3.223	3.353	3.105	3.267	3.432	3.342	3.467
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.273	3.352	3.303	3.190	3.176	3.303	3.320	3.165	3.149	3.359	3.368	3.353
7	文化芸術・文化財	3.030	3.222	3.077	3.250	3.025	3.065	3.057	3.074	2.908	3.064	3.263	3.156	3.308
8	健康づくり	3.982	3.958	3.948	4.167	4.091	4.000	4.025	3.986	3.943	3.934	4.227	3.913	4.053
9	医療	3.362	3.102	3.034	3.722	3.500	3.132	3.304	3.414	3.487	3.274	3.568	2.796	2.895
10	地域福祉	3.153	3.184	3.170	3.486	3.262	3.258	3.034	3.247	3.104	3.127	3.310	2.925	3.000
11	高齢者福祉	3.098	3.088	3.160	3.250	3.050	3.222	3.035	3.234	3.056	2.825	3.244	3.077	2.643
12	障がい者福祉	3.007	2.879	3.041	3.138	3.088	3.227	2.980	3.099	2.948	2.792	3.286	2.889	2.833
13	防災	3.273	3.268	3.226	3.324	3.500	3.382	3.138	3.272	3.302	3.109	3.455	3.244	3.077
14	防犯	3.396	3.521	3.105	3.194	3.622	3.447	3.311	3.500	3.265	3.317	3.543	3.574	3.250
15	交通安全	2.893	2.958	2.684	3.000	3.022	3.054	2.876	2.963	2.848	2.607	3.156	2.978	2.929
16	消防・救急	3.708	3.553	3.327	3.727	4.000	3.556	3.749	3.760	3.697	3.517	3.935	3.622	3.467
17	消費生活	3.415	3.591	3.396	3.586	3.421	3.438	3.280	3.457	3.393	3.220	3.450	3.556	3.429
18	環境保全	3.117	3.082	2.912	2.941	3.093	3.000	3.057	3.200	2.847	3.419	3.381	3.489	3.286
19	環境美化	3.369	3.353	3.276	3.314	3.395	3.417	3.306	3.419	3.320	3.397	3.489	3.429	3.000
20	ごみ処理	3.801	3.714	3.614	3.778	3.837	3.943	3.793	3.836	3.727	3.917	3.822	3.918	3.706
21	市街地形成	3.180	3.420	3.421	3.286	3.111	3.000	3.139	3.505	3.073	3.083	3.205	2.625	2.556
22	公園・緑地	3.485	3.333	3.517	3.444	3.489	3.632	3.462	3.600	3.360	3.468	3.523	3.646	3.706
23	道路	2.978	3.020	2.966	3.083	3.000	3.216	2.906	3.124	2.938	2.841	2.930	2.714	2.947
24	河川	3.441	3.615	3.250	3.333	3.476	3.594	3.356	3.467	3.474	3.481	3.368	3.432	2.800
25	下水道	3.732	3.744	3.574	3.581	3.674	3.667	3.713	3.856	3.737	3.654	3.595	3.622	3.000
26	住宅	3.640	3.860	3.404	3.639	3.933	3.543	3.533	3.731	3.643	3.467	3.587	3.596	3.235
27	鉄道	3.395	3.520	3.614	3.412	3.163	3.324	3.360	3.866	3.533	2.793	2.568	2.356	2.412
28	高速バス	3.864	3.980	4.263	4.029	3.909	4.194	3.795	4.092	3.824	3.552	3.795	3.565	3.579
29	路線バス	2.477	2.725	2.842	2.576	2.364	2.029	2.422	2.829	2.364	2.083	2.256	2.357	2.125
30	農業	3.474	3.811	3.673	3.250	3.649	3.583	3.378	3.529	3.470	3.365	3.425	3.579	3.364
31	商業	2.605	2.638	2.667	2.528	2.511	2.250	2.603	2.748	2.548	2.433	2.659	2.619	2.231
32	工業	3.374	3.429	3.596	3.233	3.297	3.226	3.325	3.468	3.368	3.196	3.385	3.211	3.200
33	観光	2.729	2.851	3.000	2.750	2.571	2.389	2.715	2.732	2.665	2.789	2.952	2.872	2.583
34	雇用・就業	2.894	3.073	2.849	2.969	2.821	2.750	2.864	2.962	2.947	2.696	3.000	2.632	2.636
35	コミュニティ	3.168	3.075	3.143	3.125	3.162	3.281	3.169	3.220	3.117	3.113	3.371	3.179	3.154
36	市民参加	3.113	3.054	3.044	3.148	3.125	3.379	3.114	3.174	3.088	3.021	3.176	3.143	2.833
37	人権	3.257	3.286	3.205	3.200	3.412	3.517	3.222	3.240	3.243	3.255	3.471	3.152	3.444
38	男女共同参画社会	3.216	3.135	3.102	3.286	3.528	3.226	3.159	3.244	3.201	3.120	3.342	3.175	3.308
39	多文化共生	3.289	3.444	3.383	3.440	3.486	3.207	3.174	3.346	3.202	3.360	3.382	3.156	3.600
40	情報共有	3.242	3.048	3.098	3.364	3.462	3.500	3.273	3.328	3.163	3.164	3.200	3.341	3.364
41	シティプロモーション	2.963	3.025	3.065	2.963	2.781	3.074	2.932	3.024	2.880	2.935	3.000	3.029	3.222
42	ＩＣＴ化	3.043	3.054	2.978	3.000	2.969	2.875	3.059	3.105	2.947	3.063	3.091	3.056	3.273
43	行政運営	3.033	3.024	2.955	3.000	2.886	3.091	2.986	3.114	3.006	2.851	3.108	3.049	2.833
44	広域連携	3.238	3.143	3.205	3.077	2.931	3.120	3.209	3.283	3.136	3.179	3.313	3.364	3.556
45	上水道	3.898	3.894	3.415	3.765	3.841	3.919	3.911	3.990	3.845	3.914	3.933	3.854	3.688
46	火葬場	3.372	3.556	3.278	3.313	3.042	3.556	3.343	3.537	3.229	2.977	3.515	3.538	3.538
47	財政運営	3.330	3.378	3.234	3.190	3.118	3.516	3.231	3.436	3.235	3.209	3.529	3.325	3.364

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。

付図表 34　属性別クロス集計表（満足度スコア）（５／６）

番号	項目	全体	居住年数					前住居					
			３年未満	３年以上５年未満	５年以上１０年未満	１０年以上２０年未満	２０年以上	生まれたときから現在のところ	袖ケ浦市内の別のところ	袖ケ浦市以外の千葉県内	東京都内	神奈川県内	その他
1	子育て支援	3.508	3.550	3.375	3.442	3.561	3.521	3.556	3.523	3.539	3.765	3.304	3.281
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.167	3.227	3.395	3.380	3.339	3.394	3.267	3.358	3.563	3.450	3.067
3	学校教育	3.590	3.462	3.650	3.590	3.537	3.607	3.632	3.583	3.604	3.633	3.636	3.394
4	生涯学習	3.069	2.947	3.091	3.262	3.207	3.023	3.208	2.910	3.118	3.086	3.409	2.722
5	青少年健全育成	3.260	3.167	3.429	3.357	3.277	3.241	3.240	3.189	3.332	3.633	3.150	2.839
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.273	3.333	3.404	3.318	3.209	3.158	3.118	3.364	3.361	3.360	3.000
7	文化芸術・文化財	3.030	3.000	3.400	3.093	3.084	2.994	2.973	2.856	3.134	3.161	2.818	3.030
8	健康づくり	3.982	4.074	3.962	4.000	3.990	3.969	3.989	3.982	4.024	3.674	4.250	3.896
9	医療	3.362	3.429	3.308	3.157	3.563	3.347	3.591	3.348	3.457	2.884	3.069	3.174
10	地域福祉	3.153	3.300	3.286	3.348	3.365	3.062	3.215	3.010	3.263	2.917	3.091	3.075
11	高齢者福祉	3.098	3.467	3.100	3.317	3.179	3.037	3.338	2.904	3.174	2.865	3.143	2.844
12	障がい者福祉	3.007	3.077	2.947	3.237	3.053	2.961	3.123	2.878	3.073	2.900	3.000	2.714
13	防災	3.273	3.190	3.462	3.364	3.467	3.213	3.345	3.215	3.329	3.229	3.120	3.225
14	防犯	3.396	3.667	3.667	3.574	3.378	3.351	3.272	3.432	3.444	3.610	3.370	3.205
15	交通安全	2.893	3.286	2.778	2.681	3.010	2.887	2.933	2.774	3.000	2.762	2.759	2.826
16	消防・救急	3.708	3.696	3.667	3.667	3.697	3.719	3.767	3.743	3.734	3.583	3.538	3.659
17	消費生活	3.415	3.696	4.000	3.614	3.494	3.326	3.398	3.295	3.476	3.583	3.087	3.523
18	環境保全	3.117	3.571	3.077	3.250	3.043	3.099	3.293	3.018	3.190	3.095	3.067	2.851
19	環境美化	3.369	3.621	3.679	3.346	3.357	3.352	3.326	3.385	3.457	3.395	2.931	3.313
20	ごみ処理	3.801	4.071	4.038	3.804	3.707	3.800	3.914	3.746	3.815	3.814	3.893	3.696
21	市街地形成	3.180	3.607	3.536	3.519	3.357	3.055	3.055	3.179	3.322	2.930	3.267	2.939
22	公園・緑地	3.485	3.517	3.536	3.451	3.619	3.476	3.667	3.448	3.514	3.619	3.414	3.229
23	道路	2.978	3.179	2.963	2.922	3.222	2.913	2.833	2.940	3.082	2.929	2.724	2.979
24	河川	3.441	3.692	3.636	3.545	3.609	3.360	3.346	3.390	3.484	3.600	3.625	3.359
25	下水道	3.732	3.963	3.696	3.766	3.773	3.697	3.638	3.777	3.781	3.622	3.923	3.605
26	住宅	3.640	4.071	4.036	3.588	3.758	3.558	3.500	3.739	3.717	3.512	3.533	3.500
27	鉄道	3.395	3.593	4.000	3.717	3.443	3.291	3.258	3.345	3.547	3.000	3.321	3.326
28	高速バス	3.864	4.036	3.964	4.212	3.939	3.789	3.831	3.867	3.914	3.405	4.207	3.913
29	路線バス	2.477	2.696	2.917	3.083	2.505	2.352	2.463	2.346	2.590	2.308	2.269	2.488
30	農業	3.474	3.556	4.125	3.659	3.579	3.379	3.289	3.483	3.546	3.455	3.684	3.467
31	商業	2.605	2.542	2.833	2.958	2.667	2.548	2.500	2.435	2.799	2.375	2.500	2.439
32	工業	3.374	3.455	3.696	3.659	3.469	3.288	3.241	3.319	3.475	3.108	3.278	3.463
33	観光	2.729	2.840	2.692	2.755	2.857	2.696	2.714	2.560	2.889	2.553	2.577	2.548
34	雇用・就業	2.894	3.158	3.136	3.415	3.084	2.758	2.684	2.871	3.079	2.486	2.765	2.771
35	コミュニティ	3.168	3.182	3.238	3.316	3.253	3.136	3.143	3.072	3.278	3.172	3.091	2.917
36	市民参加	3.113	3.333	3.238	3.237	3.192	3.059	3.075	3.066	3.209	3.179	3.048	2.842
37	人権	3.257	3.467	3.714	3.421	3.382	3.166	3.239	3.124	3.321	3.241	3.368	3.257
38	男女共同参画社会	3.216	3.533	3.636	3.561	3.259	3.124	3.187	3.115	3.270	3.367	3.056	3.265
39	多文化共生	3.289	3.538	3.600	3.829	3.351	3.180	3.209	3.375	3.320	3.167	3.118	3.276
40	情報共有	3.242	3.333	3.333	3.439	3.239	3.205	3.099	3.267	3.293	3.162	3.333	3.211
41	シティプロモーション	2.963	2.864	3.350	3.000	2.987	2.936	2.954	2.963	3.074	2.724	2.909	2.657
42	ＩＣＴ化	3.043	3.278	3.190	3.179	3.027	3.003	2.913	3.095	3.114	2.656	3.100	3.088
43	行政運営	3.033	3.048	3.333	3.216	3.222	2.953	3.111	3.000	3.083	2.971	2.571	3.121
44	広域連携	3.238	3.643	3.400	3.538	3.313	3.146	3.226	3.211	3.265	3.192	3.316	3.207
45	上水道	3.898	4.036	3.893	3.638	3.867	3.933	4.046	4.027	3.951	3.425	4.034	3.523
46	火葬場	3.372	3.667	3.643	3.542	3.327	3.346	3.757	3.360	3.219	3.655	3.462	3.208
47	財政運営	3.330	3.250	3.647	3.441	3.368	3.303	3.472	3.293	3.317	3.364	3.368	3.290

付図表 35　属性別クロス集計表（満足度スコア）（６／６）

番号	項目	全体	通勤、通学場所									
			袖ケ浦市内	木更津市内	市原市内	君津市内	千葉市内	千葉県内 ※２	東京都内	神奈川県内	その他	通勤、通学はしていない
1	子育て支援	3.508	3.496	3.597	3.528	3.727	3.625	3.526	3.379	4.000	3.000	3.492
2	幼児教育・保育サービス	3.340	3.272	3.348	3.250	3.800	3.733	3.250	3.231	3.143	2.600	3.393
3	学校教育	3.590	3.435	3.719	3.574	3.900	3.900	3.500	3.414	3.714	3.250	3.662
4	生涯学習	3.069	3.142	3.110	2.902	3.333	3.063	3.105	3.185	3.375	2.714	3.035
5	青少年健全育成	3.260	3.322	3.243	3.075	3.556	3.727	3.368	3.429	3.667	3.167	3.087
6	スポーツ・レクリエーション	3.252	3.286	3.274	2.982	3.600	3.531	3.174	3.290	3.286	3.444	3.220
7	文化芸術・文化財	3.030	3.136	2.970	3.061	3.222	3.121	2.857	3.065	3.286	3.143	2.946
8	健康づくり	3.982	4.097	3.863	3.810	3.500	3.914	3.833	4.000	4.000	4.222	4.056
9	医療	3.362	3.321	3.296	3.460	3.500	3.471	3.391	3.676	3.625	3.500	3.311
10	地域福祉	3.153	3.206	3.246	3.167	3.167	3.219	3.211	3.148	3.500	3.000	3.033
11	高齢者福祉	3.098	3.128	3.191	2.963	3.250	3.250	3.056	3.333	3.714	3.375	2.934
12	障がい者福祉	3.007	3.057	3.138	2.900	3.100	3.032	2.944	2.917	3.667	3.000	2.901
13	防災	3.273	3.403	3.000	3.356	3.500	3.500	3.130	3.633	3.286	3.200	3.152
14	防犯	3.396	3.426	3.378	3.300	3.417	3.686	3.542	3.706	3.500	3.300	3.284
15	交通安全	2.893	2.891	2.963	2.833	2.917	3.114	2.917	3.000	2.875	2.778	2.887
16	消防・救急	3.708	3.735	3.570	3.661	3.750	3.886	3.565	3.867	3.875	4.125	3.705
17	消費生活	3.415	3.594	3.521	3.393	3.455	3.375	3.190	3.517	3.500	3.625	3.217
18	環境保全	3.117	3.163	3.143	3.067	3.167	3.600	3.000	3.188	2.750	3.000	3.043
19	環境美化	3.369	3.396	3.422	3.587	3.417	3.571	3.542	3.441	3.500	3.300	3.219
20	ごみ処理	3.801	3.814	3.878	3.951	3.500	3.943	3.783	3.879	4.250	4.000	3.713
21	市街地形成	3.180	3.229	3.232	3.141	3.000	3.206	3.240	3.441	2.625	3.200	3.169
22	公園・緑地	3.485	3.576	3.578	3.452	3.667	3.543	3.292	3.853	3.875	3.600	3.341
23	道路	2.978	3.084	2.988	3.063	3.333	3.061	2.667	3.029	2.625	2.900	2.899
24	河川	3.441	3.524	3.478	3.368	3.727	3.559	3.450	3.370	3.714	3.750	3.363
25	下水道	3.732	3.735	3.662	3.776	3.333	4.030	3.870	3.667	3.571	4.000	3.707
26	住宅	3.640	3.679	3.675	3.683	3.417	3.829	3.667	3.824	3.625	3.700	3.535
27	鉄道	3.395	3.387	3.304	3.629	3.364	3.371	3.417	3.441	3.000	3.900	3.377
28	高速バス	3.864	3.881	4.013	3.917	3.273	3.771	3.792	3.824	4.375	4.100	3.867
29	路線バス	2.477	2.567	2.507	2.518	2.700	2.588	2.714	2.267	2.000	2.556	2.367
30	農業	3.474	3.477	3.552	3.490	3.182	3.735	3.556	3.440	3.333	3.571	3.431
31	商業	2.605	2.615	2.564	2.621	2.833	2.971	2.696	2.593	2.571	3.000	2.521
32	工業	3.374	3.475	3.274	3.316	2.833	3.697	3.350	3.231	3.429	3.000	3.375
33	観光	2.729	2.809	2.564	2.845	2.583	2.909	2.783	2.552	2.429	3.000	2.703
34	雇用・就業	2.894	3.148	2.667	2.981	2.750	2.968	2.944	2.720	2.400	3.143	2.767
35	コミュニティ	3.168	3.252	3.171	3.125	3.250	3.500	2.952	3.115	3.167	3.000	3.116
36	市民参加	3.113	3.148	3.197	3.118	3.300	3.387	2.850	3.083	3.167	3.000	3.055
37	人権	3.257	3.362	3.338	3.096	3.182	3.500	3.111	3.174	3.333	3.143	3.193
38	男女共同参画社会	3.216	3.279	3.250	3.164	3.167	3.516	2.950	3.458	3.714	3.333	3.094
39	多文化共生	3.289	3.416	3.269	3.365	2.900	3.387	3.100	3.435	3.333	3.143	3.150
40	情報共有	3.242	3.333	3.197	3.193	3.167	3.355	3.048	3.481	3.333	3.556	3.171
41	シティプロモーション	2.963	3.074	3.136	2.857	3.091	3.000	2.667	2.875	3.600	3.143	2.835
42	ＩＣＴ化	3.043	3.111	3.162	3.021	3.273	2.929	3.000	2.960	2.800	3.833	2.960
43	行政運営	3.033	3.076	3.169	3.196	3.182	3.200	2.700	3.240	3.000	3.375	2.840
44	広域連携	3.238	3.179	3.377	3.146	3.300	3.310	3.133	3.304	3.500	3.400	3.274
45	上水道	3.898	3.956	4.012	3.690	3.750	4.200	4.045	3.879	4.000	4.000	3.842
46	火葬場	3.372	3.440	3.404	3.282	3.444	3.462	2.733	3.696	3.333	3.286	3.359
47	財政運営	3.330	3.431	3.333	3.115	3.400	3.500	3.300	3.615	3.500	3.333	3.284

※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

４．４．１．２ 重要度スコア

付図表 36　属性別クロス集計表（重要度スコア）（１／６）

番号	項目	全体	性別			年齢						
			男性	女性	答えない	１０・２０歳台	３０歳台	４０歳台	５０歳台	６０～６４歳	６５～６９歳	７０歳以上
1	子育て支援	4.612	4.592	4.638	4.389	4.844	4.636	4.555	4.583	4.549	4.656	4.593
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.471	4.490	4.188	4.568	4.614	4.379	4.383	4.489	4.468	4.509
3	学校教育	4.604	4.602	4.610	4.412	4.659	4.678	4.547	4.608	4.556	4.541	4.618
4	生涯学習	4.010	3.864	4.129	3.722	4.391	4.080	3.901	3.894	3.894	4.000	4.078
5	青少年健全育成	4.303	4.260	4.329	4.333	4.533	4.414	4.284	4.233	4.184	4.200	4.315
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.829	3.894	3.222	4.116	3.775	3.827	3.829	3.854	3.794	3.868
7	文化芸術・文化財	3.757	3.671	3.816	3.688	3.891	3.602	3.594	3.736	3.723	3.770	3.973
8	健康づくり	4.581	4.498	4.646	4.500	4.652	4.614	4.556	4.560	4.358	4.537	4.697
9	医療	4.718	4.664	4.760	4.700	4.745	4.727	4.702	4.787	4.547	4.710	4.730
10	地域福祉	4.397	4.243	4.512	4.350	4.348	4.384	4.366	4.512	4.189	4.463	4.390
11	高齢者福祉	4.386	4.226	4.512	4.158	3.933	4.229	4.478	4.479	4.471	4.388	4.445
12	障がい者福祉	4.367	4.197	4.489	4.389	4.318	4.183	4.396	4.483	4.380	4.344	4.377
13	防災	4.683	4.564	4.774	4.650	4.739	4.708	4.696	4.701	4.706	4.623	4.631
14	防犯	4.671	4.596	4.725	4.700	4.745	4.756	4.712	4.724	4.574	4.529	4.603
15	交通安全	4.573	4.452	4.650	4.789	4.596	4.719	4.632	4.606	4.444	4.464	4.483
16	消防・救急	4.681	4.620	4.719	4.762	4.659	4.667	4.750	4.690	4.600	4.662	4.672
17	消費生活	4.343	4.220	4.445	4.150	4.326	4.315	4.301	4.508	4.302	4.368	4.260
18	環境保全	4.610	4.512	4.671	4.750	4.660	4.670	4.664	4.704	4.556	4.545	4.459
19	環境美化	4.503	4.425	4.557	4.526	4.532	4.614	4.482	4.558	4.481	4.515	4.366
20	ごみ処理	4.465	4.351	4.560	4.222	4.447	4.404	4.500	4.469	4.500	4.463	4.460
21	市街地形成	4.333	4.288	4.380	4.048	4.298	4.640	4.416	4.313	4.074	4.265	4.202
22	公園・緑地	4.183	4.080	4.268	4.000	4.255	4.337	4.274	4.109	3.982	4.147	4.148
23	道路	4.405	4.363	4.437	4.381	4.468	4.556	4.478	4.414	4.241	4.435	4.244
24	河川	4.438	4.308	4.547	4.316	4.489	4.534	4.473	4.452	4.340	4.388	4.368
25	下水道	4.482	4.390	4.566	4.250	4.587	4.551	4.513	4.488	4.294	4.500	4.426
26	住宅	4.471	4.427	4.522	4.250	4.638	4.551	4.513	4.488	4.370	4.515	4.319
27	鉄道	4.352	4.291	4.414	4.048	4.426	4.430	4.439	4.339	4.222	4.313	4.267
28	高速バス	4.404	4.362	4.442	4.350	4.457	4.593	4.540	4.373	4.321	4.254	4.273
29	路線バス	4.294	4.160	4.409	4.100	4.356	4.294	4.398	4.244	4.264	4.290	4.227
30	農業	4.114	3.976	4.215	4.105	4.087	4.048	4.221	4.049	4.020	4.186	4.144
31	商業	4.216	4.173	4.261	3.950	4.239	4.271	4.307	4.270	3.982	4.185	4.139
32	工業	4.144	4.139	4.159	3.765	4.217	4.083	4.213	4.206	4.019	4.150	4.046
33	観光	3.821	3.757	3.905	3.250	4.000	3.885	3.830	3.786	3.704	3.846	3.763
34	雇用・就業	4.386	4.292	4.470	4.143	4.378	4.460	4.427	4.433	4.377	4.350	4.265
35	コミュニティ	3.801	3.813	3.795	3.600	3.837	3.706	3.792	3.700	3.731	3.855	3.958
36	市民参加	3.806	3.770	3.846	3.308	3.953	3.682	3.830	3.739	3.608	3.917	3.903
37	人権	4.022	3.960	4.064	4.067	4.133	4.149	3.890	4.000	3.809	4.034	4.110
38	男女共同参画社会	4.062	3.988	4.122	4.000	4.370	4.129	4.027	4.083	3.872	4.000	4.000
39	多文化共生	3.854	3.762	3.920	4.000	4.000	3.881	3.926	3.808	3.745	3.937	3.782
40	情報共有	4.135	4.044	4.210	4.000	4.386	4.108	4.191	4.057	4.020	4.079	4.155
41	シティプロモーション	3.843	3.831	3.872	3.375	4.159	3.707	3.787	3.898	3.776	3.947	3.774
42	ＩＣＴ化	4.044	4.053	4.036	3.933	4.089	4.238	4.037	4.000	4.000	3.905	4.018
43	行政運営	4.322	4.268	4.359	4.375	4.452	4.476	4.255	4.368	4.191	4.148	4.321
44	広域連携	4.096	4.033	4.159	3.733	4.279	4.143	4.076	4.148	4.068	3.947	4.029
45	上水道	4.670	4.604	4.725	4.737	4.848	4.744	4.714	4.685	4.623	4.544	4.615
46	火葬場	4.217	4.144	4.271	4.133	4.200	4.141	4.176	4.209	4.300	4.277	4.248
47	財政運営	4.523	4.502	4.547	4.368	4.651	4.494	4.560	4.574	4.490	4.400	4.496

付図表 37　属性別クロス集計表（重要度スコア）（２／６）

番号	項目	全体	職業								
			自営業主	家族従業者	会社・団体役員	給与所得者	アルバイト・パートタイム	学生	専業主婦・主夫	その他	無職
1	子育て支援	4.612	4.556	4.727	4.544	4.606	4.618	4.944	4.655	4.700	4.568
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.407	4.545	4.490	4.355	4.481	4.722	4.554	4.700	4.468
3	学校教育	4.604	4.741	4.800	4.505	4.601	4.617	4.824	4.646	4.444	4.577
4	生涯学習	4.010	4.037	4.400	3.895	3.874	4.018	4.833	4.218	4.222	3.872
5	青少年健全育成	4.303	4.500	4.333	4.359	4.199	4.250	4.778	4.373	4.667	4.154
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.964	4.300	3.858	3.732	3.868	3.941	3.905	4.222	3.782
7	文化芸術・文化財	3.757	3.962	4.222	3.721	3.593	3.679	4.167	3.854	4.000	3.818
8	健康づくり	4.581	4.414	4.909	4.523	4.507	4.588	4.889	4.736	4.500	4.553
9	医療	4.718	4.633	4.909	4.679	4.701	4.661	4.889	4.849	4.917	4.674
10	地域福祉	4.397	4.207	4.636	4.359	4.345	4.313	4.556	4.674	4.583	4.298
11	高齢者福祉	4.386	4.194	4.636	4.337	4.380	4.278	4.235	4.612	4.455	4.405
12	障がい者福祉	4.367	4.194	4.600	4.255	4.369	4.261	4.667	4.580	4.455	4.350
13	防災	4.683	4.645	4.600	4.585	4.639	4.737	4.824	4.791	4.909	4.640
14	防犯	4.671	4.710	4.636	4.648	4.710	4.626	4.889	4.714	4.615	4.595
15	交通安全	4.573	4.484	4.636	4.570	4.571	4.538	4.833	4.693	4.692	4.442
16	消防・救急	4.681	4.613	4.700	4.686	4.662	4.658	4.722	4.739	4.833	4.647
17	消費生活	4.343	3.935	4.455	4.267	4.356	4.390	4.500	4.506	4.417	4.256
18	環境保全	4.610	4.548	4.600	4.566	4.671	4.590	4.833	4.730	4.417	4.440
19	環境美化	4.503	4.387	4.364	4.500	4.444	4.513	4.889	4.604	4.692	4.419
20	ごみ処理	4.465	4.226	4.364	4.339	4.451	4.487	4.722	4.600	4.462	4.488
21	市街地形成	4.333	4.483	4.400	4.426	4.286	4.325	4.222	4.366	4.231	4.221
22	公園・緑地	4.183	3.903	4.273	4.183	4.162	4.129	4.444	4.315	4.154	4.141
23	道路	4.405	4.400	4.273	4.486	4.399	4.356	4.667	4.457	4.385	4.259
24	河川	4.438	4.357	4.556	4.389	4.452	4.416	4.667	4.659	4.250	4.264
25	下水道	4.482	4.429	4.667	4.444	4.466	4.431	4.889	4.626	4.364	4.379
26	住宅	4.471	4.448	4.455	4.528	4.435	4.435	4.778	4.591	4.308	4.360
27	鉄道	4.352	4.407	4.500	4.430	4.257	4.316	4.444	4.511	4.250	4.226
28	高速バス	4.404	4.667	4.500	4.533	4.435	4.291	4.647	4.389	4.000	4.253
29	路線バス	4.294	4.385	4.500	4.279	4.233	4.274	4.333	4.444	3.923	4.244
30	農業	4.114	4.107	4.222	4.105	4.000	4.087	4.389	4.407	4.000	3.975
31	商業	4.216	4.172	4.375	4.349	4.203	4.189	4.389	4.292	4.000	3.988
32	工業	4.144	4.207	4.250	4.147	4.147	4.179	4.444	4.193	3.833	3.935
33	観光	3.821	3.714	4.333	3.843	3.747	3.938	4.111	3.898	4.000	3.566
34	雇用・就業	4.386	4.357	4.500	4.311	4.372	4.447	4.556	4.476	4.300	4.268
35	コミュニティ	3.801	4.000	4.000	3.726	3.699	3.714	4.167	3.905	4.200	3.866
36	市民参加	3.806	4.000	4.000	3.769	3.739	3.713	4.056	3.813	4.100	3.850
37	人権	4.022	4.038	4.000	3.922	3.986	3.944	4.500	4.013	4.600	4.111
38	男女共同参画社会	4.062	3.815	4.444	4.009	4.106	3.973	4.611	4.091	4.300	4.013
39	多文化共生	3.854	3.643	4.000	3.886	3.823	3.798	4.056	3.961	4.091	3.808
40	情報共有	4.135	4.133	4.444	4.000	4.107	4.054	4.611	4.354	4.111	4.086
41	シティプロモーション	3.843	3.464	4.375	3.824	3.867	3.906	4.222	3.867	3.800	3.671
42	ＩＣＴ化	4.044	4.207	4.000	3.972	4.153	3.954	4.500	4.062	4.111	3.833
43	行政運営	4.322	4.536	4.625	4.290	4.401	4.120	4.706	4.481	4.200	4.150
44	広域連携	4.096	4.036	4.333	4.090	4.044	4.057	4.611	4.225	4.333	3.932
45	上水道	4.670	4.733	4.909	4.648	4.690	4.640	4.944	4.744	4.545	4.553
46	火葬場	4.217	4.036	4.000	4.194	4.137	4.231	4.444	4.415	4.400	4.123
47	財政運営	4.523	4.655	4.625	4.524	4.514	4.434	4.944	4.639	4.545	4.367

付図表 38　属性別クロス集計表（重要度スコア）（３／６）

番号	項目	全体	世帯人数					子どもの数					
			1人	2人	3人	4人	5人以上	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいない
1	子育て支援	4.612	4.378	4.525	4.663	4.702	4.696	4.582	4.644	4.670	4.700	5.000	4.524
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.476	4.399	4.438	4.563	4.603	4.454	4.504	4.594	4.700	4.000	4.328
3	学校教育	4.604	4.452	4.522	4.570	4.770	4.652	4.573	4.675	4.653	4.700	4.000	4.453
4	生涯学習	4.010	3.979	3.984	3.957	4.119	4.014	4.010	3.979	3.969	4.222	3.000	4.060
5	青少年健全育成	4.303	4.111	4.227	4.231	4.492	4.420	4.281	4.260	4.479	4.500	3.000	4.253
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.646	3.828	3.783	4.016	3.913	3.796	3.878	4.031	4.000	4.000	3.701
7	文化芸術・文化財	3.757	3.911	3.833	3.679	3.710	3.667	3.656	3.695	3.849	4.111	4.000	3.816
8	健康づくり	4.581	4.423	4.593	4.533	4.646	4.634	4.592	4.619	4.569	4.600	5.000	4.516
9	医療	4.718	4.519	4.725	4.713	4.838	4.629	4.788	4.754	4.641	4.600	5.000	4.679
10	地域福祉	4.397	4.240	4.425	4.354	4.528	4.271	4.316	4.446	4.333	4.300	4.500	4.410
11	高齢者福祉	4.386	4.176	4.442	4.372	4.419	4.329	4.427	4.496	4.366	4.400	4.500	4.191
12	障がい者福祉	4.367	4.340	4.400	4.325	4.392	4.324	4.333	4.400	4.361	4.400	4.500	4.329
13	防災	4.683	4.648	4.675	4.696	4.680	4.690	4.735	4.637	4.670	4.600	5.000	4.722
14	防犯	4.671	4.537	4.636	4.675	4.763	4.676	4.711	4.650	4.608	4.600	5.000	4.715
15	交通安全	4.573	4.453	4.520	4.623	4.629	4.563	4.691	4.555	4.422	4.500	5.000	4.616
16	消防・救急	4.681	4.654	4.631	4.713	4.713	4.686	4.742	4.672	4.660	4.500	4.500	4.677
17	消費生活	4.343	4.231	4.315	4.323	4.424	4.406	4.286	4.350	4.373	4.500	4.000	4.331
18	環境保全	4.610	4.434	4.548	4.648	4.677	4.671	4.694	4.596	4.610	4.600	4.000	4.570
19	環境美化	4.503	4.404	4.450	4.518	4.623	4.471	4.576	4.532	4.390	4.400	4.500	4.472
20	ごみ処理	4.465	4.283	4.487	4.530	4.447	4.412	4.566	4.474	4.416	4.444	4.000	4.409
21	市街地形成	4.333	4.308	4.282	4.300	4.496	4.235	4.323	4.297	4.270	4.300	4.500	4.416
22	公園・緑地	4.183	4.173	4.126	4.171	4.295	4.157	4.186	4.181	4.194	4.300	4.000	4.151
23	道路	4.405	4.346	4.398	4.347	4.485	4.437	4.394	4.363	4.388	4.500	5.000	4.459
24	河川	4.438	4.415	4.456	4.401	4.531	4.309	4.427	4.428	4.350	4.600	4.000	4.494
25	下水道	4.482	4.423	4.485	4.452	4.569	4.423	4.505	4.476	4.406	4.667	4.000	4.506
26	住宅	4.471	4.385	4.492	4.401	4.562	4.471	4.412	4.464	4.420	4.556	5.000	4.535
27	鉄道	4.352	4.151	4.315	4.319	4.577	4.246	4.173	4.467	4.260	4.300	4.000	4.338
28	高速バス	4.404	4.196	4.365	4.345	4.636	4.377	4.357	4.465	4.301	4.444	4.000	4.403
29	路線バス	4.294	4.146	4.241	4.264	4.488	4.232	4.101	4.404	4.198	4.333	5.000	4.289
30	農業	4.114	3.872	4.059	4.131	4.190	4.235	4.121	4.104	4.216	4.556	5.000	4.019
31	商業	4.216	4.021	4.154	4.230	4.395	4.129	4.186	4.194	4.222	4.200	4.000	4.265
32	工業	4.144	4.000	4.132	4.156	4.222	4.062	4.129	4.159	4.032	4.300	4.000	4.179
33	観光	3.821	3.680	3.749	3.785	4.078	3.750	3.813	3.854	3.816	3.900	4.000	3.764
34	雇用・就業	4.386	4.347	4.319	4.349	4.544	4.358	4.277	4.424	4.365	4.000	5.000	4.412
35	コミュニティ	3.801	3.612	3.854	3.777	3.840	3.743	3.745	3.812	3.848	4.000	4.000	3.755
36	市民参加	3.806	3.761	3.849	3.724	3.779	3.896	3.674	3.758	3.898	4.000	3.500	3.870
37	人権	4.022	3.863	4.039	3.961	4.050	4.152	3.957	3.995	4.031	4.222	5.000	4.066
38	男女共同参画社会	4.062	3.860	4.117	3.987	4.163	4.030	3.944	4.057	4.031	4.200	5.000	4.133
39	多文化共生	3.854	3.740	3.871	3.761	3.992	3.853	3.778	3.886	3.833	4.250	3.500	3.840
40	情報共有	4.135	4.040	4.117	4.151	4.163	4.147	4.118	4.121	4.083	3.900	3.500	4.216
41	シティプロモーション	3.843	3.690	3.865	3.747	4.000	3.821	3.681	3.918	3.813	4.100	3.500	3.811
42	ＩＣＴ化	4.044	3.891	4.098	4.045	4.110	3.862	4.011	4.035	3.938	4.100	4.000	4.124
43	行政運営	4.322	4.217	4.343	4.348	4.308	4.273	4.344	4.284	4.260	4.300	4.000	4.401
44	広域連携	4.096	3.773	4.086	4.163	4.154	4.032	4.060	4.057	4.074	3.889	4.000	4.188
45	上水道	4.670	4.580	4.606	4.677	4.766	4.761	4.691	4.681	4.588	4.600	5.000	4.708
46	火葬場	4.217	4.065	4.206	4.276	4.283	4.092	4.221	4.253	4.232	4.000	4.000	4.153
47	財政運営	4.523	4.447	4.436	4.601	4.556	4.552	4.527	4.519	4.480	4.100	4.000	4.587

付図表 39　属性別クロス集計表（重要度スコア）（４／６）

番号	項目	全体	就学状況　※１						居住地区					
			小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校・短大・大学（大学院）生	その他	昭和地区	長浦地区	根形地区	平岡地区	中川地区	富岡地区
1	子育て支援	4.612	4.780	4.754	4.559	4.622	4.583	4.646	4.615	4.624	4.448	4.744	4.638	4.684
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.837	4.714	4.353	4.364	4.444	4.494	4.485	4.425	4.389	4.674	4.511	4.611
3	学校教育	4.604	4.875	4.825	4.588	4.568	4.611	4.619	4.635	4.597	4.519	4.721	4.545	4.500
4	生涯学習	4.010	3.980	4.123	3.886	3.689	3.972	4.004	4.043	4.010	3.842	4.163	4.043	3.842
5	青少年健全育成	4.303	4.510	4.561	4.457	4.250	4.167	4.269	4.346	4.357	4.074	4.317	4.178	4.105
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.940	4.214	4.086	3.682	3.784	3.858	3.948	3.824	3.556	3.976	3.783	3.947
7	文化芸術・文化財	3.757	3.520	3.818	3.571	3.488	3.639	3.815	3.809	3.710	3.600	3.976	3.744	3.684
8	健康づくり	4.581	4.708	4.684	4.629	4.444	4.514	4.624	4.593	4.554	4.548	4.651	4.574	4.684
9	医療	4.718	4.898	4.754	4.559	4.578	4.757	4.744	4.737	4.702	4.581	4.814	4.787	4.789
10	地域福祉	4.397	4.213	4.357	4.324	4.116	4.417	4.466	4.405	4.386	4.246	4.605	4.370	4.579
11	高齢者福祉	4.386	4.333	4.370	4.457	4.386	4.400	4.504	4.354	4.404	4.311	4.651	4.273	4.474
12	障がい者福祉	4.367	4.213	4.308	4.176	4.244	4.429	4.461	4.392	4.396	4.133	4.610	4.159	4.647
13	防災	4.683	4.760	4.632	4.571	4.556	4.784	4.679	4.706	4.655	4.574	4.591	4.833	4.944
14	防犯	4.671	4.760	4.714	4.606	4.581	4.639	4.653	4.700	4.619	4.623	4.682	4.745	4.842
15	交通安全	4.573	4.694	4.632	4.486	4.444	4.703	4.529	4.598	4.529	4.475	4.591	4.660	4.737
16	消防・救急	4.681	4.694	4.754	4.676	4.568	4.784	4.690	4.659	4.706	4.435	4.778	4.783	4.895
17	消費生活	4.343	4.400	4.246	4.324	4.318	4.459	4.377	4.374	4.338	4.098	4.364	4.348	4.684
18	環境保全	4.610	4.760	4.719	4.571	4.614	4.722	4.604	4.601	4.639	4.452	4.614	4.609	4.789
19	環境美化	4.503	4.653	4.518	4.294	4.444	4.568	4.495	4.553	4.493	4.274	4.477	4.532	4.684
20	ごみ処理	4.465	4.540	4.393	4.364	4.295	4.500	4.527	4.457	4.504	4.290	4.442	4.511	4.737
21	市街地形成	4.333	4.580	4.404	4.394	4.114	4.324	4.240	4.409	4.327	4.117	4.114	4.511	4.211
22	公園・緑地	4.183	4.560	4.368	4.229	3.956	4.135	4.132	4.303	4.112	4.083	4.200	4.149	4.000
23	道路	4.405	4.520	4.544	4.343	4.178	4.297	4.375	4.455	4.427	4.258	4.378	4.333	4.263
24	河川	4.438	4.551	4.429	4.364	4.326	4.486	4.414	4.530	4.349	4.322	4.400	4.587	4.421
25	下水道	4.482	4.660	4.456	4.486	4.400	4.595	4.456	4.534	4.447	4.450	4.356	4.596	4.316
26	住宅	4.471	4.700	4.482	4.382	4.409	4.472	4.426	4.554	4.452	4.317	4.356	4.565	4.333
27	鉄道	4.352	4.408	4.429	4.212	4.295	4.405	4.340	4.452	4.283	4.281	4.364	4.302	4.263
28	高速バス	4.404	4.469	4.632	4.353	4.289	4.486	4.374	4.509	4.356	4.345	4.318	4.455	4.263
29	路線バス	4.294	4.265	4.333	4.235	4.182	4.351	4.306	4.232	4.320	4.390	4.395	4.140	4.421
30	農業	4.114	4.292	4.278	4.147	3.977	4.314	4.137	4.100	4.112	4.000	4.068	4.302	4.222
31	商業	4.216	4.396	4.268	4.229	4.133	4.486	4.152	4.236	4.211	4.117	4.256	4.114	4.389
32	工業	4.144	4.167	4.074	4.125	4.048	4.243	4.146	4.167	4.114	4.088	4.100	4.146	4.368
33	観光	3.821	4.000	3.982	3.971	3.605	3.757	3.852	3.860	3.737	3.759	4.000	3.850	4.056
34	雇用・就業	4.386	4.469	4.436	4.545	4.349	4.500	4.362	4.366	4.422	4.310	4.419	4.286	4.611
35	コミュニティ	3.801	3.745	3.849	3.914	3.634	3.917	3.822	3.769	3.841	3.684	4.081	3.733	3.813
36	市民参加	3.806	3.696	3.811	3.879	3.683	3.811	3.815	3.801	3.832	3.638	3.921	3.860	3.824
37	人権	4.022	4.104	4.094	3.848	3.780	4.056	4.024	4.028	4.063	3.750	4.211	3.949	4.200
38	男女共同参画社会	4.062	4.191	4.148	4.091	3.930	4.114	4.004	4.087	4.117	3.929	4.122	3.841	4.000
39	多文化共生	3.854	4.128	3.981	3.818	3.721	3.889	3.835	3.936	3.913	3.621	3.767	3.614	3.778
40	情報共有	4.135	4.277	4.185	4.147	4.023	4.083	4.111	4.175	4.153	4.050	4.071	4.093	4.125
41	シティプロモーション	3.843	3.833	3.852	3.971	3.850	3.886	3.873	3.883	3.824	3.774	3.947	3.829	3.733
42	ＩＣＴ化	4.044	4.022	4.038	4.000	3.974	4.081	4.008	4.077	4.088	4.000	3.925	3.875	4.000
43	行政運営	4.322	4.468	4.358	4.250	4.195	4.194	4.293	4.382	4.343	4.074	4.300	4.333	4.294
44	広域連携	4.096	4.159	4.075	4.000	4.000	4.176	4.051	4.080	4.102	3.962	4.250	4.081	4.235
45	上水道	4.670	4.816	4.691	4.686	4.600	4.703	4.661	4.670	4.677	4.667	4.614	4.733	4.737
46	火葬場	4.217	4.109	4.212	4.000	4.105	4.364	4.289	4.212	4.240	4.054	4.098	4.381	4.333
47	財政運営	4.523	4.688	4.500	4.545	4.500	4.486	4.494	4.526	4.543	4.418	4.500	4.543	4.667

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。

付図表 40　属性別クロス集計表（重要度スコア）（５／６）

番号	項目	全体	居住年数					前住居					
			３年未満	３年以上５年未満	５年以上１０年未満	１０年以上２０年未満	２０年以上	生まれたときから現在のところ	袖ケ浦市内の別のところ	袖ケ浦市以外の千葉県内	東京都内	神奈川県内	その他
1	子育て支援	4.612	4.667	4.917	4.609	4.585	4.598	4.681	4.617	4.599	4.564	4.760	4.575
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.560	4.958	4.630	4.360	4.442	4.427	4.415	4.487	4.475	4.696	4.475
3	学校教育	4.604	4.692	4.958	4.638	4.511	4.590	4.589	4.587	4.609	4.600	4.696	4.600
4	生涯学習	4.010	3.815	4.200	4.174	3.968	4.003	4.056	3.936	4.025	4.167	3.920	3.953
5	青少年健全育成	4.303	4.111	4.680	4.326	4.340	4.273	4.333	4.292	4.294	4.244	4.458	4.244
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.846	4.040	3.792	3.840	3.855	3.761	3.769	3.852	3.951	4.042	4.091
7	文化芸術・文化財	3.757	3.654	3.680	3.646	3.649	3.804	3.793	3.771	3.713	3.872	3.750	3.791
8	健康づくり	4.581	4.444	4.826	4.686	4.582	4.558	4.478	4.619	4.636	4.476	4.741	4.404
9	医療	4.718	4.714	4.920	4.647	4.714	4.714	4.689	4.704	4.763	4.738	4.786	4.543
10	地域福祉	4.397	4.107	4.696	4.451	4.253	4.429	4.315	4.467	4.402	4.333	4.500	4.444
11	高齢者福祉	4.386	3.960	4.565	4.163	4.271	4.451	4.174	4.557	4.378	4.476	4.607	4.279
12	障がい者福祉	4.367	4.000	4.583	4.292	4.247	4.419	4.165	4.495	4.380	4.439	4.500	4.341
13	防災	4.683	4.690	4.885	4.750	4.667	4.667	4.689	4.640	4.692	4.762	4.889	4.609
14	防犯	4.671	4.571	4.808	4.750	4.606	4.671	4.714	4.658	4.664	4.659	4.857	4.617
15	交通安全	4.573	4.370	4.769	4.686	4.573	4.554	4.598	4.548	4.563	4.619	4.786	4.532
16	消防・救急	4.681	4.621	4.800	4.608	4.638	4.692	4.725	4.667	4.693	4.619	4.793	4.543
17	消費生活	4.343	4.148	4.538	4.240	4.406	4.338	4.267	4.333	4.401	4.341	4.345	4.213
18	環境保全	4.610	4.571	4.800	4.765	4.589	4.584	4.560	4.637	4.632	4.690	4.655	4.468
19	環境美化	4.503	4.517	4.769	4.588	4.432	4.487	4.467	4.482	4.550	4.619	4.536	4.250
20	ごみ処理	4.465	4.393	4.731	4.451	4.378	4.482	4.429	4.470	4.486	4.550	4.571	4.388
21	市街地形成	4.333	4.286	4.808	4.627	4.250	4.288	4.416	4.304	4.339	4.381	4.310	4.229
22	公園・緑地	4.183	4.222	4.692	4.420	4.113	4.137	4.098	4.188	4.247	4.000	4.286	4.043
23	道路	4.405	4.222	4.769	4.620	4.398	4.369	4.370	4.504	4.403	4.381	4.621	4.208
24	河川	4.438	4.407	4.840	4.558	4.463	4.392	4.333	4.443	4.475	4.450	4.741	4.292
25	下水道	4.482	4.444	4.846	4.481	4.495	4.457	4.461	4.547	4.470	4.634	4.724	4.224
26	住宅	4.471	4.519	4.692	4.451	4.485	4.457	4.505	4.530	4.454	4.643	4.607	4.265
27	鉄道	4.352	4.222	4.720	4.320	4.268	4.360	4.400	4.316	4.362	4.571	4.464	4.104
28	高速バス	4.404	4.222	4.640	4.521	4.402	4.400	4.467	4.377	4.437	4.500	4.714	4.104
29	路線バス	4.294	4.385	4.480	4.286	4.216	4.294	4.276	4.281	4.273	4.537	4.593	4.178
30	農業	4.114	3.840	4.280	4.063	4.126	4.121	4.000	4.181	4.131	4.051	4.357	4.023
31	商業	4.216	4.115	4.480	4.078	4.281	4.203	4.200	4.312	4.196	4.220	4.241	4.167
32	工業	4.144	4.038	4.360	4.041	4.185	4.137	4.135	4.238	4.128	4.103	4.269	4.067
33	観光	3.821	3.926	3.962	3.902	3.832	3.795	3.761	3.755	3.887	3.634	4.000	3.826
34	雇用・就業	4.386	4.393	4.577	4.540	4.394	4.352	4.337	4.371	4.390	4.450	4.630	4.356
35	コミュニティ	3.801	3.808	3.958	3.766	3.699	3.817	3.776	3.731	3.822	3.895	3.929	3.822
36	市民参加	3.806	3.880	3.917	3.688	3.708	3.826	3.835	3.806	3.799	3.872	3.893	3.756
37	人権	4.022	4.037	4.250	4.020	3.989	4.011	4.048	4.065	4.008	4.079	4.115	3.933
38	男女共同参画社会	4.062	4.000	4.304	4.082	4.196	4.018	3.989	4.162	4.093	3.900	4.320	3.886
39	多文化共生	3.854	4.000	4.087	3.870	3.956	3.804	3.679	3.972	3.875	3.575	4.240	3.881
40	情報共有	4.135	4.385	4.208	4.021	4.234	4.110	4.047	4.234	4.146	4.146	4.250	4.044
41	シティプロモーション	3.843	4.000	3.808	3.809	3.914	3.828	3.843	3.861	3.898	3.513	4.080	3.744
42	ＩＣＴ化	4.044	4.130	4.417	4.087	4.100	4.000	3.904	4.077	4.079	4.132	4.231	3.933
43	行政運営	4.322	4.455	4.720	4.277	4.311	4.301	4.341	4.390	4.289	4.526	4.462	4.167
44	広域連携	4.096	3.957	4.385	4.000	4.135	4.087	4.125	4.140	4.100	3.974	4.346	3.921
45	上水道	4.670	4.714	4.800	4.688	4.737	4.650	4.703	4.693	4.689	4.659	4.828	4.489
46	火葬場	4.217	3.960	4.318	4.089	4.153	4.254	4.131	4.296	4.227	4.054	4.375	4.233
47	財政運営	4.523	4.458	4.808	4.438	4.609	4.500	4.483	4.604	4.489	4.500	4.769	4.558

付図表 41　属性別クロス集計表（重要度スコア）（６／６）

番号	項目	全体	通勤、通学場所									
			袖ケ浦市内	木更津市内	市原市内	君津市内	千葉市内	千葉県内 ※２	東京都内	神奈川県内	その他	通勤、通学はしていない
1	子育て支援	4.612	4.568	4.679	4.450	4.778	4.714	4.750	4.606	4.875	4.667	4.637
2	幼児教育・保育サービス	4.473	4.429	4.514	4.345	4.900	4.343	4.318	4.563	4.625	4.556	4.512
3	学校教育	4.604	4.582	4.589	4.483	4.700	4.571	4.636	4.781	4.625	4.444	4.626
4	生涯学習	4.010	4.083	4.000	3.867	3.700	4.029	3.583	4.063	4.125	4.000	4.060
5	青少年健全育成	4.303	4.285	4.177	4.333	4.600	4.514	4.167	4.323	4.375	4.556	4.288
6	スポーツ・レクリエーション	3.854	3.880	3.671	3.850	4.333	4.206	3.609	4.000	3.750	3.889	3.836
7	文化芸術・文化財	3.757	3.745	3.564	3.559	4.100	3.857	3.625	3.788	3.750	4.000	3.864
8	健康づくり	4.581	4.560	4.600	4.443	4.600	4.657	4.400	4.576	4.625	4.778	4.653
9	医療	4.718	4.669	4.788	4.633	4.700	4.771	4.583	4.853	4.500	4.600	4.787
10	地域福祉	4.397	4.356	4.316	4.333	4.500	4.514	4.333	4.394	4.000	4.222	4.526
11	高齢者福祉	4.386	4.350	4.329	4.317	4.400	4.559	4.167	4.242	4.143	5.000	4.488
12	障がい者福祉	4.367	4.376	4.325	4.254	4.333	4.500	4.083	4.424	4.000	4.625	4.475
13	防災	4.683	4.644	4.790	4.571	4.500	4.714	4.560	4.794	4.857	4.778	4.719
14	防犯	4.671	4.640	4.704	4.629	4.700	4.686	4.625	4.794	4.625	4.800	4.682
15	交通安全	4.573	4.586	4.630	4.492	4.500	4.543	4.167	4.735	4.500	4.778	4.594
16	消防・救急	4.681	4.634	4.695	4.683	4.800	4.800	4.542	4.727	4.750	4.667	4.691
17	消費生活	4.343	4.337	4.305	4.361	4.400	4.343	4.042	4.471	4.500	4.625	4.352
18	環境保全	4.610	4.605	4.588	4.656	4.600	4.600	4.458	4.794	4.750	4.889	4.598
19	環境美化	4.503	4.476	4.513	4.419	4.600	4.543	4.458	4.758	4.625	4.556	4.480
20	ごみ処理	4.465	4.506	4.400	4.468	4.000	4.571	4.125	4.647	4.625	4.333	4.486
21	市街地形成	4.333	4.351	4.284	4.306	4.700	4.382	4.320	4.500	4.125	4.222	4.337
22	公園・緑地	4.183	4.158	4.198	4.097	4.400	4.343	4.000	4.324	4.250	4.000	4.195
23	道路	4.405	4.456	4.402	4.323	4.600	4.457	4.417	4.529	4.625	4.444	4.345
24	河川	4.438	4.395	4.506	4.377	4.700	4.400	4.417	4.606	4.750	4.444	4.428
25	下水道	4.482	4.467	4.500	4.410	4.600	4.441	4.375	4.765	4.625	4.556	4.475
26	住宅	4.471	4.428	4.549	4.417	4.600	4.600	4.458	4.647	4.625	4.444	4.440
27	鉄道	4.352	4.380	4.225	4.180	4.333	4.800	4.333	4.588	4.375	3.889	4.341
28	高速バス	4.404	4.428	4.425	4.295	4.556	4.629	4.417	4.697	4.500	4.444	4.339
29	路線バス	4.294	4.239	4.273	4.164	4.111	4.657	4.042	4.294	4.375	4.111	4.374
30	農業	4.114	4.119	4.179	3.934	4.200	4.265	3.560	4.061	4.125	3.875	4.220
31	商業	4.216	4.247	4.272	4.197	4.300	4.571	3.917	4.147	4.250	4.000	4.166
32	工業	4.144	4.185	4.286	4.067	4.300	4.400	3.875	4.029	4.375	4.000	4.069
33	観光	3.821	3.925	3.924	3.689	4.200	4.171	3.583	3.824	3.375	3.667	3.706
34	雇用・就業	4.386	4.398	4.432	4.356	4.200	4.529	4.292	4.412	4.143	3.875	4.405
35	コミュニティ	3.801	3.752	3.636	3.797	3.600	4.000	3.800	3.844	3.500	3.429	3.928
36	市民参加	3.806	3.796	3.740	3.763	3.700	3.938	3.833	3.903	3.625	3.333	3.839
37	人権	4.022	4.046	4.115	3.828	3.900	4.097	3.667	4.032	4.000	4.000	4.063
38	男女共同参画社会	4.062	4.058	4.141	3.814	4.200	4.273	3.875	4.273	4.125	3.667	4.070
39	多文化共生	3.854	3.903	3.789	3.705	3.800	4.031	3.667	3.939	3.375	3.625	3.911
40	情報共有	4.135	4.101	4.263	3.917	3.900	4.176	3.875	4.094	4.250	4.250	4.248
41	シティプロモーション	3.843	3.893	4.026	3.583	3.800	4.212	3.708	3.875	3.750	3.875	3.750
42	ＩＣＴ化	4.044	4.060	4.156	3.885	4.000	4.333	4.042	4.226	3.571	4.000	3.981
43	行政運営	4.322	4.275	4.280	4.155	4.100	4.625	4.455	4.567	4.125	4.375	4.371
44	広域連携	4.096	4.160	4.052	3.932	4.000	4.273	3.955	4.200	3.750	4.000	4.122
45	上水道	4.670	4.640	4.713	4.617	4.700	4.743	4.708	4.853	4.500	4.556	4.682
46	火葬場	4.217	4.242	4.173	4.037	4.556	4.235	4.130	4.323	4.375	3.750	4.258
47	財政運営	4.523	4.469	4.557	4.467	4.400	4.618	4.625	4.677	4.500	4.125	4.565

※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

４．４．１．３ 特に重要な施策

付図表 42　属性別クロス集計表（特に重要な施策）（１／６）

番号	項目	全体	重要だと思う施策の選択率（%）									
			性別			年齢						
			男性	女性	女性	１０・２０歳台	３０歳台	４０歳台	５０歳台	６０～６４歳	６５～６９歳	７０歳以上
	属性別基数（人）	655	268	357	21	47	92	117	131	57	69	133
1	子育て支援	29.6	30.6	30.3	9.5	57.4	54.3	34.2	19.8	21.1	20.3	18.0
2	幼児教育・保育サービス	7.2	6.3	7.6	9.5	10.6	17.4	9.4	3.8	1.8	2.9	4.5
3	学校教育	15.0	17.9	11.8	28.6	17.0	26.1	23.1	13.0	8.8	10.1	6.8
4	生涯学習	3.2	2.6	3.9	0.0	8.5	5.4	1.7	3.8	1.8	2.9	1.5
5	青少年健全育成	4.1	4.9	3.6	4.8	6.4	6.5	9.4	2.3	1.8	0.0	2.3
6	スポーツ・レクリエーション	2.6	3.0	2.5	0.0	8.5	1.1	3.4	2.3	5.3	1.4	0.8
7	文化芸術・文化財	1.7	1.9	1.7	0.0	4.3	0.0	2.6	0.8	1.8	0.0	3.0
8	健康づくり	10.7	11.9	10.4	4.8	10.6	7.6	8.5	10.7	10.5	14.5	13.5
9	医療	32.2	26.9	37.0	33.3	23.4	23.9	32.5	39.7	31.6	42.0	30.8
10	地域福祉	4.7	4.1	5.6	0.0	4.3	4.3	5.1	5.3	5.3	5.8	3.8
11	高齢者福祉	18.0	14.9	20.4	19.0	4.3	4.3	14.5	22.9	21.1	24.6	27.1
12	障がい者福祉	4.4	3.7	5.3	0.0	2.1	3.3	4.3	8.4	1.8	1.4	5.3
13	防災	20.2	17.2	23.8	4.8	12.8	15.2	14.5	26.0	19.3	27.5	22.6
14	防犯	17.1	22.8	13.4	14.3	21.3	18.5	18.8	22.1	10.5	10.1	15.8
15	交通安全	4.3	3.4	4.5	14.3	10.6	7.6	2.6	5.3	1.8	2.9	2.3
16	消防・救急	5.6	5.6	5.6	9.5	2.1	4.3	8.5	3.8	3.5	8.7	6.8
17	消費生活	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	1.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
18	環境保全	9.2	9.3	9.5	4.8	6.4	3.3	12.8	10.7	15.8	5.8	9.0
19	環境美化	4.4	6.0	2.8	9.5	8.5	4.3	1.7	6.1	1.8	5.8	3.8
20	ごみ処理	2.0	1.1	2.0	9.5	0.0	1.1	0.9	2.3	1.8	4.3	2.3
21	市街地形成	7.0	6.7	7.6	4.8	6.4	9.8	8.5	6.9	3.5	7.2	5.3
22	公園・緑地	1.2	1.1	1.1	4.8	0.0	3.3	0.9	1.5	1.8	1.4	0.0
23	道路	6.0	5.6	6.4	0.0	8.5	6.5	5.1	5.3	8.8	5.8	4.5
24	河川	1.7	1.9	1.7	0.0	4.3	3.3	0.9	0.8	1.8	1.4	1.5
25	下水道	2.1	2.2	2.0	4.8	0.0	0.0	0.9	3.8	0.0	7.2	2.3
26	住宅	5.6	5.6	5.6	9.5	6.4	6.5	4.3	2.3	14.0	8.7	4.5
27	鉄道	3.5	3.7	3.6	0.0	8.5	2.2	6.8	3.8	3.5	1.4	0.8
28	高速バス	6.0	8.6	3.9	9.5	2.1	10.9	6.8	6.9	7.0	0.0	4.5
29	路線バス	9.3	8.2	10.6	4.8	4.3	4.3	7.7	13.0	12.3	8.7	12.0
30	農業	0.8	1.1	0.6	0.0	0.0	1.1	2.6	0.0	1.8	0.0	0.0
31	商業	5.5	6.3	5.0	4.8	0.0	8.7	6.8	5.3	5.3	4.3	5.3
32	工業	2.0	3.0	1.4	0.0	0.0	2.2	2.6	1.5	7.0	0.0	1.5
33	観光	1.1	0.4	1.4	4.8	0.0	2.2	1.7	0.0	0.0	1.4	1.5
34	雇用・就業	6.1	5.6	6.2	14.3	4.3	4.3	5.1	8.4	7.0	7.2	6.0
35	コミュニティ	2.4	2.6	2.2	4.8	0.0	4.3	1.7	2.3	1.8	0.0	4.5
36	市民参加	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.8
37	人権	2.1	3.0	1.7	0.0	8.5	1.1	1.7	0.8	3.5	1.4	2.3
38	男女共同参画社会	0.3	0.0	0.0	9.5	0.0	1.1	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
39	多文化共生	0.6	0.4	0.8	0.0	2.1	0.0	1.7	0.8	0.0	0.0	0.0
40	情報共有	0.8	0.7	0.6	4.8	0.0	3.3	0.9	0.0	0.0	1.4	0.0
41	シティプロモーション	0.9	2.2	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9	2.3	1.8	0.0	0.0
42	ＩＣＴ化	1.8	3.4	0.8	0.0	6.4	0.0	1.7	0.0	3.5	2.9	2.3
43	行政運営	3.4	5.6	1.4	9.5	6.4	0.0	0.0	3.1	7.0	2.9	6.8
44	広域連携	0.5	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.9	1.5	0.0	0.0	0.0
45	上水道	7.8	6.7	8.7	9.5	8.5	2.2	5.1	4.6	10.5	15.9	12.0
46	火葬場	1.7	0.7	2.2	4.8	0.0	2.2	0.0	1.5	1.8	5.8	1.5
47	財政運営	7.5	9.3	6.2	9.5	2.1	3.3	8.5	9.9	5.3	8.7	9.8
－	無回答	4.4	3.0	4.2	0.0	0.0	1.1	0.9	1.5	7.0	2.9	9.8

付図表 43　属性別クロス集計表（特に重要な施策）（２／６）

番号	項目	全体	重要だと思う施策の選択率（%）								
			職業								
			自営業主	家族従業者	会社・団体役員	給与所得者	アルバイト・パートタイム	学生	専業主婦・主夫	その他	無職
	属性別基数（人）	655	31	12	113	154	121	18	97	8	90
1	子育て支援	29.6	12.9	33.3	36.3	34.4	37.2	38.9	21.6	12.5	17.8
2	幼児教育・保育サービス	7.2	0.0	16.7	10.6	11.0	6.6	0.0	3.1	0.0	4.4
3	学校教育	15.0	12.9	16.7	23.9	21.4	14.0	11.1	6.2	0.0	6.7
4	生涯学習	3.2	3.2	0.0	3.5	2.6	5.8	16.7	1.0	0.0	1.1
5	青少年健全育成	4.1	6.5	0.0	2.7	7.8	2.5	11.1	3.1	0.0	2.2
6	スポーツ・レクリエーション	2.6	0.0	0.0	4.4	2.6	5.0	5.6	1.0	0.0	0.0
7	文化芸術・文化財	1.7	3.2	0.0	1.8	2.6	0.8	0.0	2.1	0.0	1.1
8	健康づくり	10.7	9.7	16.7	8.8	12.3	7.4	11.1	12.4	25.0	12.2
9	医療	32.2	25.8	41.7	31.0	27.3	30.6	33.3	36.1	37.5	43.3
10	地域福祉	4.7	3.2	0.0	1.8	6.5	8.3	0.0	5.2	0.0	3.3
11	高齢者福祉	18.0	12.9	25.0	17.7	11.0	23.1	0.0	23.7	12.5	22.2
12	障がい者福祉	4.4	6.5	0.0	4.4	1.9	5.0	0.0	6.2	12.5	4.4
13	防災	20.2	22.6	8.3	11.5	20.8	20.7	16.7	25.8	25.0	25.6
14	防犯	17.1	29.0	8.3	13.3	20.8	15.7	33.3	11.3	0.0	20.0
15	交通安全	4.3	0.0	0.0	2.7	3.9	7.4	11.1	5.2	12.5	2.2
16	消防・救急	5.6	12.9	0.0	2.7	8.4	5.0	11.1	4.1	0.0	5.6
17	消費生活	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.1
18	環境保全	9.2	9.7	0.0	7.1	7.8	10.7	11.1	15.5	0.0	7.8
19	環境美化	4.4	0.0	8.3	6.2	5.8	3.3	5.6	1.0	0.0	5.6
20	ごみ処理	2.0	0.0	0.0	1.8	1.9	2.5	0.0	3.1	0.0	1.1
21	市街地形成	7.0	16.1	8.3	10.6	5.2	3.3	5.6	9.3	12.5	5.6
22	公園・緑地	1.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	2.1	0.0	1.1
23	道路	6.0	9.7	0.0	10.6	5.8	4.1	0.0	4.1	12.5	4.4
24	河川	1.7	6.5	0.0	2.7	1.3	1.7	0.0	1.0	0.0	1.1
25	下水道	2.1	0.0	0.0	0.9	3.2	0.8	0.0	4.1	12.5	2.2
26	住宅	5.6	12.9	8.3	3.5	5.8	5.8	0.0	4.1	25.0	6.7
27	鉄道	3.5	0.0	0.0	6.2	3.2	5.0	11.1	2.1	0.0	1.1
28	高速バス	6.0	3.2	0.0	9.7	10.4	2.5	5.6	2.1	0.0	5.6
29	路線バス	9.3	3.2	16.7	9.7	6.5	8.3	0.0	13.4	12.5	13.3
30	農業	0.8	0.0	0.0	1.8	0.6	0.8	0.0	1.0	0.0	0.0
31	商業	5.5	6.5	8.3	8.0	5.2	5.0	0.0	8.2	0.0	2.2
32	工業	2.0	3.2	0.0	2.7	2.6	0.8	0.0	3.1	0.0	1.1
33	観光	1.1	0.0	8.3	0.0	1.3	1.7	0.0	0.0	12.5	1.1
34	雇用・就業	6.1	0.0	16.7	5.3	7.8	9.1	0.0	6.2	0.0	3.3
35	コミュニティ	2.4	9.7	16.7	3.5	0.0	1.7	0.0	2.1	12.5	2.2
36	市民参加	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
37	人権	2.1	6.5	0.0	0.9	1.3	2.5	16.7	1.0	12.5	1.1
38	男女共同参画社会	0.3	3.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
39	多文化共生	0.6	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	5.6	1.0	0.0	0.0
40	情報共有	0.8	3.2	0.0	0.0	1.3	0.8	0.0	1.0	0.0	0.0
41	シティプロモーション	0.9	3.2	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
42	ＩＣＴ化	1.8	9.7	0.0	0.0	0.6	1.7	11.1	1.0	0.0	3.3
43	行政運営	3.4	3.2	0.0	0.0	3.2	1.7	16.7	1.0	0.0	11.1
44	広域連携	0.5	0.0	0.0	0.9	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
45	上水道	7.8	3.2	16.7	7.1	5.8	4.1	5.6	11.3	0.0	15.6
46	火葬場	1.7	3.2	0.0	2.7	0.6	2.5	0.0	3.1	0.0	0.0
47	財政運営	7.5	3.2	0.0	10.6	7.1	8.3	5.6	7.2	0.0	7.8
－	無回答	4.4	6.5	8.3	2.7	0.6	4.1	0.0	5.2	0.0	6.7

付図表 44　属性別クロス集計表（特に重要な施策）（３／６）

番号	項目	全体	重要だと思う施策の選択率（%）										
			世帯人数					子どもの数					
			1人	2人	3人	4人	5人以上	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいない
	属性別基数（人）	655	56	208	173	135	73	100	260	105	10	2	166
1	子育て支援	29.6	17.9	19.2	35.3	34.1	49.3	34.0	28.8	30.5	20.0	50.0	28.3
2	幼児教育・保育サービス	7.2	3.6	4.3	9.2	8.9	9.6	15.0	7.3	7.6	0.0	0.0	2.4
3	学校教育	15.0	8.9	5.8	17.9	18.5	32.9	24.0	16.2	16.2	20.0	0.0	6.6
4	生涯学習	3.2	1.8	3.4	1.7	3.7	6.8	3.0	2.7	2.9	0.0	0.0	4.8
5	青少年健全育成	4.1	7.1	1.4	2.9	5.2	11.0	4.0	3.1	5.7	10.0	0.0	4.8
6	スポーツ・レクリエーション	2.6	5.4	2.4	2.9	3.0	0.0	3.0	2.3	0.0	0.0	0.0	4.8
7	文化芸術・文化財	1.7	8.9	1.9	0.6	0.0	1.4	1.0	1.5	1.9	0.0	0.0	2.4
8	健康づくり	10.7	16.1	14.4	8.7	8.1	6.8	12.0	12.3	7.6	0.0	0.0	10.2
9	医療	32.2	25.0	37.5	32.9	33.3	23.3	32.0	33.1	30.5	30.0	50.0	33.7
10	地域福祉	4.7	5.4	4.8	5.2	5.2	2.7	3.0	6.2	5.7	0.0	0.0	3.6
11	高齢者福祉	18.0	19.6	21.6	17.9	15.6	13.7	12.0	21.5	21.9	10.0	50.0	15.1
12	障がい者福祉	4.4	7.1	5.8	1.7	3.0	6.8	2.0	3.8	6.7	0.0	50.0	5.4
13	防災	20.2	26.8	23.1	18.5	16.3	19.2	22.0	21.5	14.3	20.0	50.0	21.1
14	防犯	17.1	16.1	20.2	10.4	21.5	19.2	11.0	16.9	14.3	20.0	0.0	24.1
15	交通安全	4.3	3.6	2.9	4.0	6.7	5.5	5.0	4.2	3.8	0.0	0.0	4.8
16	消防・救急	5.6	10.7	5.8	5.8	5.2	2.7	4.0	6.5	4.8	0.0	0.0	6.6
17	消費生活	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
18	環境保全	9.2	3.6	8.7	11.0	10.4	9.6	12.0	10.8	9.5	10.0	0.0	5.4
19	環境美化	4.4	7.1	4.3	2.3	6.7	2.7	5.0	4.6	2.9	10.0	50.0	3.6
20	ごみ処理	2.0	0.0	4.3	1.2	0.7	0.0	2.0	1.5	3.8	10.0	0.0	0.6
21	市街地形成	7.0	10.7	5.8	7.5	6.7	8.2	7.0	5.0	11.4	10.0	0.0	7.8
22	公園・緑地	1.2	0.0	1.0	2.3	0.7	1.4	2.0	0.4	2.9	10.0	0.0	0.6
23	道路	6.0	12.5	5.8	4.0	5.2	6.8	5.0	6.2	5.7	0.0	0.0	6.6
24	河川	1.7	5.4	1.9	0.6	2.2	0.0	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0	3.0
25	下水道	2.1	3.6	3.8	1.2	1.5	0.0	2.0	1.5	3.8	0.0	0.0	2.4
26	住宅	5.6	1.8	7.2	6.4	5.9	1.4	7.0	5.4	3.8	20.0	0.0	5.4
27	鉄道	3.5	1.8	2.4	3.5	5.2	5.5	3.0	2.3	4.8	0.0	0.0	5.4
28	高速バス	6.0	3.6	5.3	6.4	8.9	4.1	6.0	6.5	4.8	10.0	0.0	6.0
29	路線バス	9.3	7.1	10.1	11.6	8.9	5.5	9.0	10.0	11.4	20.0	0.0	7.2
30	農業	0.8	0.0	0.0	0.6	2.2	1.4	1.0	0.4	1.9	0.0	0.0	0.6
31	商業	5.5	0.0	6.3	8.1	5.2	2.7	7.0	5.4	4.8	10.0	0.0	5.4
32	工業	2.0	5.4	1.4	2.9	1.5	0.0	2.0	1.2	2.9	0.0	0.0	3.0
33	観光	1.1	0.0	0.5	1.7	2.2	0.0	0.0	1.2	1.0	0.0	0.0	1.8
34	雇用・就業	6.1	7.1	6.3	7.5	5.9	2.7	6.0	6.2	6.7	0.0	0.0	6.6
35	コミュニティ	2.4	0.0	1.0	2.9	3.7	4.1	1.0	2.7	1.9	20.0	0.0	1.8
36	市民参加	0.3	0.0	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0
37	人権	2.1	1.8	1.9	1.7	1.5	2.7	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0	6.0
38	男女共同参画社会	0.3	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
39	多文化共生	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	2.7	1.0	0.0	1.0	10.0	0.0	0.6
40	情報共有	0.8	0.0	0.5	1.2	1.5	0.0	2.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.2
41	シティプロモーション	0.9	0.0	0.5	0.6	1.5	2.7	0.0	0.8	1.9	0.0	0.0	1.2
42	ＩＣＴ化	1.8	1.8	3.4	1.2	1.5	0.0	0.0	1.9	0.0	10.0	0.0	3.6
43	行政運営	3.4	7.1	3.8	2.9	3.0	1.4	1.0	2.7	6.7	0.0	0.0	4.2
44	広域連携	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	2.7	0.0	0.4	1.0	0.0	0.0	0.6
45	上水道	7.8	7.1	12.0	8.7	3.0	4.1	12.0	6.9	6.7	10.0	0.0	7.8
46	火葬場	1.7	3.6	2.9	1.7	0.0	0.0	3.0	0.4	2.9	0.0	0.0	2.4
47	財政運営	7.5	10.7	6.7	7.5	9.6	4.1	6.0	9.2	5.7	10.0	0.0	7.2
－	無回答	4.4	3.6	4.8	4.0	1.5	2.7	2.0	3.8	4.8	0.0	0.0	3.0

付図表 45　属性別クロス集計表（特に重要な施策）（４／６）

番号	項目	全体	重要だと思う施策の選択率（%）											
			就学状況　※１						居住地区					
			小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校・短大・大学（大学院）生	その他	昭和地区	長浦地区	根形地区	平岡地区	中川地区	富岡地区
	属性別基数（人）	655	53	58	36	45	38	285	226	237	63	47	49	19
1	子育て支援	29.6	60.4	48.3	50.0	35.6	26.3	20.7	29.2	31.6	17.5	36.2	32.7	21.1
2	幼児教育・保育サービス	7.2	34.0	17.2	8.3	2.2	0.0	4.2	10.6	5.1	1.6	4.3	10.2	10.5
3	学校教育	15.0	43.4	43.1	44.4	22.2	2.6	8.4	16.8	11.4	17.5	14.9	18.4	10.5
4	生涯学習	3.2	3.8	5.2	5.6	0.0	2.6	1.8	1.8	4.6	3.2	4.3	4.1	0.0
5	青少年健全育成	4.1	9.4	8.6	11.1	6.7	5.3	1.4	4.0	5.5	1.6	6.4	2.0	0.0
6	スポーツ・レクリエーション	2.6	0.0	3.4	0.0	0.0	5.3	2.1	1.8	3.0	3.2	4.3	2.0	5.3
7	文化芸術・文化財	1.7	0.0	0.0	2.8	2.2	0.0	1.8	2.2	1.3	1.6	0.0	2.0	0.0
8	健康づくり	10.7	3.8	6.9	11.1	2.2	10.5	13.7	10.2	11.0	6.3	21.3	6.1	15.8
9	医療	32.2	26.4	24.1	16.7	28.9	44.7	35.8	30.1	32.1	34.9	38.3	38.8	31.6
10	地域福祉	4.7	1.9	6.9	8.3	0.0	10.5	5.6	6.2	4.2	4.8	2.1	0.0	15.8
11	高齢者福祉	18.0	3.8	6.9	5.6	17.8	13.2	24.9	15.5	17.3	23.8	21.3	22.4	26.3
12	障がい者福祉	4.4	5.7	6.9	2.8	6.7	2.6	3.9	4.9	4.6	6.3	2.1	4.1	0.0
13	防災	20.2	11.3	8.6	16.7	20.0	31.6	23.2	23.9	19.4	20.6	19.1	10.2	15.8
14	防犯	17.1	11.3	17.2	19.4	24.4	10.5	13.7	18.6	16.9	22.2	21.3	8.2	0.0
15	交通安全	4.3	9.4	10.3	2.8	0.0	7.9	2.8	4.9	3.0	3.2	6.4	10.2	0.0
16	消防・救急	5.6	3.8	6.9	2.8	2.2	7.9	6.7	7.1	5.1	6.3	2.1	4.1	5.3
17	消費生活	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	2.0	0.0
18	環境保全	9.2	3.8	12.1	16.7	15.6	10.5	10.9	11.1	9.3	6.3	10.6	0.0	10.5
19	環境美化	4.4	3.8	3.4	0.0	6.7	2.6	4.9	6.2	3.0	4.8	0.0	6.1	5.3
20	ごみ処理	2.0	1.9	3.4	5.6	2.2	0.0	2.8	2.7	2.1	0.0	0.0	0.0	5.3
21	市街地形成	7.0	5.7	5.2	5.6	11.1	10.5	6.0	8.0	6.3	3.2	8.5	10.2	10.5
22	公園・緑地	1.2	3.8	1.7	2.8	2.2	0.0	1.1	1.8	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
23	道路	6.0	3.8	1.7	2.8	4.4	2.6	7.4	6.2	5.1	4.8	2.1	10.2	15.8
24	河川	1.7	3.8	0.0	0.0	2.2	0.0	1.1	2.2	1.7	1.6	0.0	0.0	0.0
25	下水道	2.1	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	2.8	1.8	2.5	1.6	2.1	2.0	0.0
26	住宅	5.6	5.7	1.7	2.8	4.4	0.0	7.0	6.2	3.8	9.5	6.4	6.1	10.5
27	鉄道	3.5	0.0	1.7	0.0	6.7	7.9	2.5	2.7	3.0	3.2	4.3	8.2	5.3
28	高速バス	6.0	7.5	6.9	5.6	8.9	5.3	4.9	9.7	4.2	6.3	0.0	0.0	10.5
29	路線バス	9.3	3.8	3.4	2.8	6.7	23.7	11.2	5.8	9.3	20.6	12.8	4.1	21.1
30	農業	0.8	3.8	3.4	0.0	0.0	2.6	0.4	0.4	0.8	1.6	0.0	2.0	0.0
31	商業	5.5	5.7	1.7	8.3	4.4	10.5	5.3	4.9	5.5	9.5	0.0	2.0	10.5
32	工業	2.0	0.0	1.7	0.0	0.0	2.6	2.1	2.2	2.1	1.6	0.0	2.0	5.3
33	観光	1.1	0.0	0.0	0.0	2.2	2.6	1.1	1.3	0.8	0.0	2.1	0.0	0.0
34	雇用・就業	6.1	1.9	3.4	5.6	8.9	5.3	7.0	7.1	5.9	6.3	4.3	6.1	5.3
35	コミュニティ	2.4	0.0	3.4	5.6	4.4	2.6	2.5	1.3	3.0	1.6	8.5	2.0	0.0
36	市民参加	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.6	0.0	2.0	0.0
37	人権	2.1	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	1.1	2.2	3.0	0.0	0.0	2.0	5.3
38	男女共同参画社会	0.3	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	2.1	0.0	0.0
39	多文化共生	0.6	0.0	0.0	0.0	2.2	5.3	0.0	0.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
40	情報共有	0.8	1.9	1.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.8	0.0	2.1	2.0	0.0
41	シティプロモーション	0.9	1.9	5.2	2.8	2.2	0.0	0.4	1.3	0.8	1.6	0.0	0.0	0.0
42	ＩＣＴ化	1.8	0.0	0.0	0.0	2.2	5.3	1.4	2.2	2.1	0.0	2.1	0.0	5.3
43	行政運営	3.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	2.7	3.0	3.2	4.3	10.2	0.0
44	広域連携	0.5	0.0	0.0	0.0	2.2	5.3	0.4	0.0	0.8	0.0	0.0	2.0	0.0
45	上水道	7.8	0.0	1.7	5.6	6.7	2.6	11.2	6.6	8.4	4.8	10.6	12.2	10.5
46	火葬場	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.4	2.1	1.6	2.1	4.1	0.0
47	財政運営	7.5	5.7	3.4	8.3	11.1	7.9	8.4	6.2	8.4	12.7	2.1	6.1	5.3
－	無回答	4.4	1.9	3.4	2.8	2.2	0.0	4.9	2.7	6.8	3.2	2.1	6.1	0.0

※１：「就学状況」は、子どもがいる方のみを対象として、あてはまるものすべてを選択。

付図表 46　属性別クロス集計表（特に重要な施策）（５／６）

番号	項目	全体	重要だと思う施策の選択率（%）										
			居住年数					前住居					
			３年未満	３年以上５年未満	５年以上１０年未満	１０年以上２０年未満	２０年以上	生まれたときから現在のところ	袖ケ浦市内の別のところ	袖ケ浦市以外の千葉県内	東京都内	神奈川県内	その他
	属性別基数（人）	655	30	28	53	100	432	95	119	305	43	30	46
1	子育て支援	29.6	40.0	60.7	47.2	32.0	24.1	34.7	27.7	32.1	16.3	26.7	21.7
2	幼児教育・保育サービス	7.2	10.0	28.6	15.1	5.0	5.1	5.3	7.6	8.5	2.3	3.3	8.7
3	学校教育	15.0	16.7	28.6	20.8	17.0	12.3	18.9	15.1	13.8	11.6	20.0	10.9
4	生涯学習	3.2	3.3	0.0	5.7	9.0	1.9	3.2	2.5	3.9	2.3	3.3	2.2
5	青少年健全育成	4.1	6.7	0.0	7.5	8.0	3.0	6.3	3.4	3.6	2.3	3.3	8.7
6	スポーツ・レクリエーション	2.6	3.3	0.0	0.0	4.0	2.8	4.2	2.5	2.6	0.0	0.0	4.3
7	文化芸術・文化財	1.7	6.7	0.0	1.9	1.0	1.4	2.1	2.5	0.7	0.0	0.0	6.5
8	健康づくり	10.7	16.7	0.0	11.3	13.0	10.4	7.4	10.1	13.1	11.6	0.0	10.9
9	医療	32.2	33.3	35.7	28.3	30.0	33.6	27.4	33.6	32.1	39.5	33.3	39.1
10	地域福祉	4.7	6.7	7.1	7.5	3.0	4.6	0.0	4.2	7.2	4.7	3.3	2.2
11	高齢者福祉	18.0	10.0	3.6	11.3	10.0	22.5	9.5	24.4	19.7	11.6	23.3	13.0
12	障がい者福祉	4.4	3.3	3.6	3.8	3.0	5.1	3.2	6.7	5.2	0.0	0.0	4.3
13	防災	20.2	16.7	17.9	11.3	21.0	21.5	20.0	19.3	22.0	11.6	16.7	23.9
14	防犯	17.1	13.3	14.3	13.2	18.0	17.8	26.3	14.3	13.8	27.9	16.7	19.6
15	交通安全	4.3	6.7	10.7	5.7	3.0	3.9	6.3	3.4	4.3	2.3	6.7	4.3
16	消防・救急	5.6	0.0	7.1	3.8	5.0	6.3	4.2	5.0	5.9	7.0	3.3	8.7
17	消費生活	0.3	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
18	環境保全	9.2	6.7	3.6	3.8	13.0	9.5	5.3	13.4	8.9	9.3	6.7	10.9
19	環境美化	4.4	6.7	3.6	3.8	6.0	3.9	4.2	5.9	4.9	2.3	3.3	0.0
20	ごみ処理	2.0	0.0	3.6	1.9	0.0	2.3	1.1	2.5	2.0	2.3	3.3	0.0
21	市街地形成	7.0	10.0	10.7	3.8	6.0	7.4	11.6	5.9	5.9	9.3	10.0	4.3
22	公園・緑地	1.2	0.0	7.1	1.9	0.0	1.2	2.1	0.8	1.3	0.0	3.3	0.0
23	道路	6.0	0.0	7.1	11.3	4.0	6.0	6.3	5.0	5.2	2.3	10.0	8.7
24	河川	1.7	3.3	7.1	1.9	2.0	0.9	3.2	1.7	1.3	0.0	0.0	2.2
25	下水道	2.1	3.3	3.6	1.9	4.0	1.4	0.0	3.4	1.3	9.3	3.3	0.0
26	住宅	5.6	3.3	3.6	1.9	6.0	6.5	8.4	4.2	5.9	0.0	10.0	4.3
27	鉄道	3.5	3.3	0.0	0.0	3.0	4.2	6.3	5.9	2.0	2.3	0.0	4.3
28	高速バス	6.0	13.3	7.1	9.4	5.0	5.1	7.4	5.9	4.9	7.0	10.0	6.5
29	路線バス	9.3	6.7	7.1	5.7	6.0	10.9	5.3	13.4	7.9	11.6	16.7	8.7
30	農業	0.8	3.3	0.0	0.0	2.0	0.5	2.1	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
31	商業	5.5	3.3	0.0	7.5	3.0	6.0	6.3	5.0	3.6	9.3	6.7	8.7
32	工業	2.0	0.0	0.0	1.9	3.0	2.1	2.1	2.5	2.3	2.3	0.0	0.0
33	観光	1.1	0.0	0.0	1.9	1.0	0.9	0.0	0.8	1.6	0.0	0.0	0.0
34	雇用・就業	6.1	6.7	7.1	7.5	5.0	6.3	4.2	6.7	6.9	9.3	3.3	4.3
35	コミュニティ	2.4	0.0	0.0	3.8	2.0	2.8	4.2	1.7	2.0	2.3	6.7	0.0
36	市民参加	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
37	人権	2.1	0.0	0.0	1.9	3.0	2.3	6.3	0.8	1.6	0.0	0.0	2.2
38	男女共同参画社会	0.3	0.0	0.0	1.9	0.0	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
39	多文化共生	0.6	0.0	0.0	0.0	3.0	0.2	0.0	0.0	1.0	0.0	3.3	0.0
40	情報共有	0.8	0.0	3.6	1.9	0.0	0.7	2.1	0.8	0.3	0.0	3.3	0.0
41	シティプロモーション	0.9	0.0	0.0	3.8	1.0	0.7	1.1	0.8	0.7	2.3	0.0	0.0
42	ＩＣＴ化	1.8	6.7	0.0	0.0	3.0	1.6	2.1	0.0	1.3	7.0	6.7	2.2
43	行政運営	3.4	6.7	0.0	0.0	3.0	3.9	3.2	4.2	3.0	7.0	0.0	4.3
44	広域連携	0.5	0.0	3.6	0.0	1.0	0.2	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
45	上水道	7.8	6.7	0.0	7.5	3.0	9.7	8.4	8.4	7.2	14.0	3.3	8.7
46	火葬場	1.7	0.0	0.0	3.8	1.0	1.6	1.1	1.7	1.6	2.3	0.0	2.2
47	財政運営	7.5	6.7	3.6	1.9	11.0	7.4	5.3	9.2	7.2	9.3	3.3	8.7
－	無回答	4.4	3.3	0.0	1.9	5.0	4.9	3.2	1.7	4.3	9.3	6.7	6.5

付図表 47　属性別クロス集計表（特に重要な施策）（６／６）

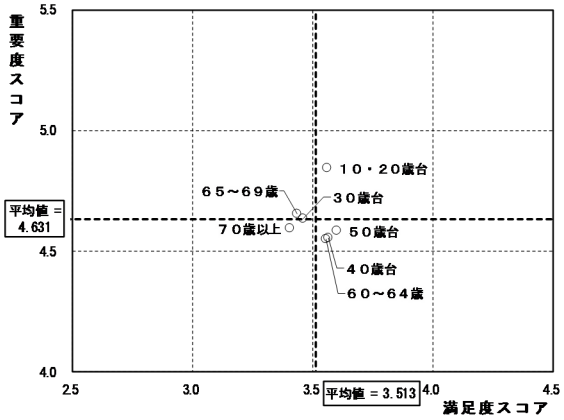
番号	項目	全体	重要だと思う施策の選択率（%） 通勤、通学場所									
			袖ケ浦市内	木更津市内	市原市内	君津市内	千葉市内	千葉県内 ※２	東京都内	神奈川県内	その他	通勤、通学はしていない
	属性別基数（人）	655	175	84	64	12	35	26	34	8	7	185
1	子育て支援	29.6	32.0	34.5	34.4	41.7	45.7	42.3	20.6	50.0	28.6	19.5
2	幼児教育・保育サービス	7.2	6.9	10.7	7.8	8.3	8.6	11.5	14.7	0.0	14.3	3.8
3	学校教育	15.0	18.9	15.5	25.0	8.3	11.4	19.2	26.5	25.0	0.0	5.9
4	生涯学習	3.2	4.6	4.8	3.1	0.0	14.3	0.0	2.9	0.0	0.0	0.5
5	青少年健全育成	4.1	4.6	4.8	9.4	0.0	2.9	0.0	8.8	0.0	14.3	2.2
6	スポーツ・レクリエーション	2.6	4.6	1.2	4.7	8.3	2.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.5
7	文化芸術・文化財	1.7	1.1	1.2	1.6	0.0	2.9	0.0	2.9	12.5	0.0	1.6
8	健康づくり	10.7	9.7	9.5	14.1	8.3	20.0	0.0	2.9	12.5	0.0	12.4
9	医療	32.2	31.4	41.7	28.1	16.7	28.6	11.5	17.6	25.0	28.6	40.5
10	地域福祉	4.7	6.3	6.0	4.7	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	14.3	3.2
11	高齢者福祉	18.0	17.1	15.5	17.2	8.3	20.0	19.2	8.8	12.5	28.6	22.7
12	障がい者福祉	4.4	6.3	3.6	4.7	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	4.9
13	防災	20.2	17.7	16.7	23.4	16.7	2.9	30.8	11.8	12.5	14.3	27.6
14	防犯	17.1	16.6	14.3	21.9	8.3	14.3	26.9	26.5	12.5	0.0	16.8
15	交通安全	4.3	4.0	7.1	3.1	0.0	5.7	7.7	2.9	12.5	0.0	3.8
16	消防・救急	5.6	5.7	4.8	4.7	0.0	11.4	19.2	0.0	12.5	0.0	4.3
17	消費生活	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
18	環境保全	9.2	9.7	6.0	9.4	25.0	2.9	3.8	5.9	12.5	0.0	11.9
19	環境美化	4.4	6.3	3.6	0.0	8.3	2.9	0.0	11.8	25.0	28.6	2.2
20	ごみ処理	2.0	1.1	4.8	1.6	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	14.3	1.6
21	市街地形成	7.0	6.9	7.1	4.7	33.3	5.7	3.8	2.9	0.0	0.0	9.2
22	公園・緑地	1.2	1.1	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	14.3	1.1
23	道路	6.0	6.9	4.8	3.1	0.0	5.7	7.7	8.8	25.0	14.3	3.8
24	河川	1.7	1.7	3.6	0.0	0.0	0.0	7.7	2.9	0.0	0.0	0.5
25	下水道	2.1	2.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	3.2
26	住宅	5.6	8.6	6.0	4.7	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	28.6	4.9
27	鉄道	3.5	5.7	2.4	3.1	0.0	8.6	7.7	2.9	0.0	0.0	1.1
28	高速バス	6.0	2.9	6.0	6.3	8.3	8.6	11.5	23.5	25.0	0.0	3.2
29	路線バス	9.3	6.9	11.9	6.3	0.0	11.4	0.0	5.9	0.0	0.0	13.5
30	農業	0.8	0.0	2.4	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
31	商業	5.5	3.4	7.1	4.7	16.7	2.9	3.8	5.9	0.0	14.3	6.5
32	工業	2.0	3.4	0.0	1.6	8.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	2.2
33	観光	1.1	1.1	0.0	1.6	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
34	雇用・就業	6.1	9.7	6.0	6.3	0.0	5.7	0.0	5.9	0.0	0.0	5.4
35	コミュニティ	2.4	1.1	3.6	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	4.3
36	市民参加	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
37	人権	2.1	1.7	2.4	3.1	0.0	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	1.6
38	男女共同参画社会	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
39	多文化共生	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	2.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.5
40	情報共有	0.8	0.0	1.2	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
41	シティプロモーション	0.9	1.7	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0
42	ＩＣＴ化	1.8	1.1	0.0	0.0	0.0	8.6	0.0	5.9	0.0	0.0	2.7
43	行政運営	3.4	1.1	1.2	0.0	0.0	5.7	3.8	8.8	12.5	0.0	5.9
44	広域連携	0.5	0.6	1.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
45	上水道	7.8	3.4	7.1	6.3	8.3	11.4	7.7	5.9	0.0	0.0	14.1
46	火葬場	1.7	2.3	1.2	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
47	財政運営	7.5	5.1	7.1	10.9	16.7	2.9	11.5	11.8	12.5	0.0	7.0
－	無回答	4.4	4.0	2.4	1.6	16.7	0.0	7.7	2.9	0.0	14.3	4.9

※２：「通勤、通学場所：千葉県内」は、袖ケ浦市、木更津市、市原市、君津市、千葉市を除く千葉県内すべて。

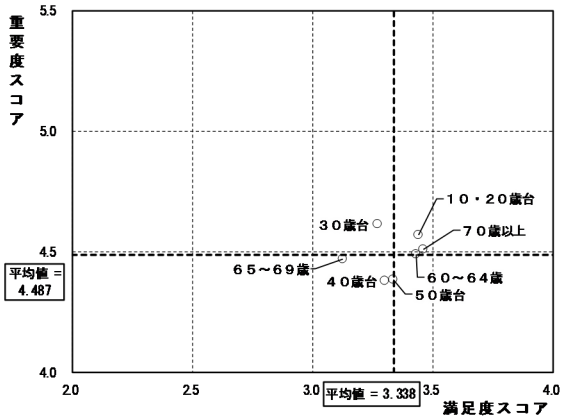
４．４．２ 満足度スコアと重要度スコアの散布図（項目別・属性別）

４．４．２．１ 年齢

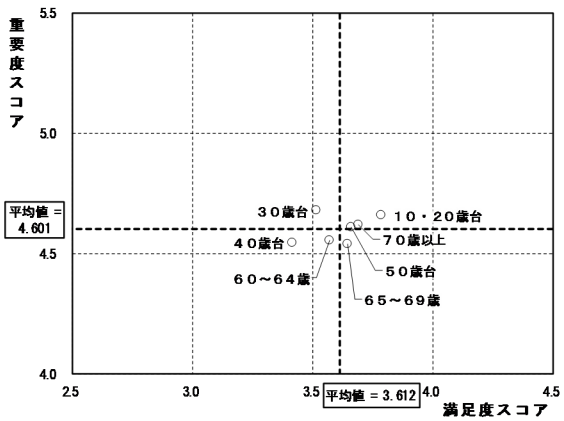
１）子育て支援



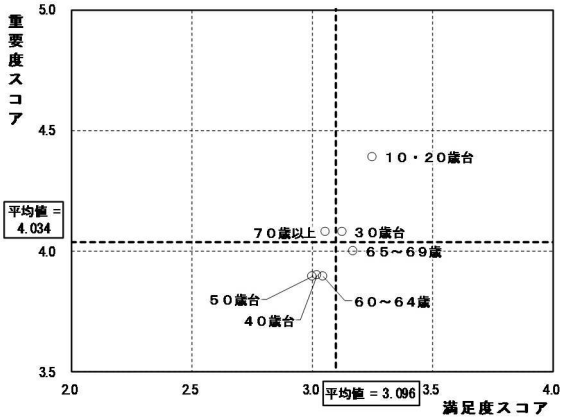
２）幼児教育・保育サービス



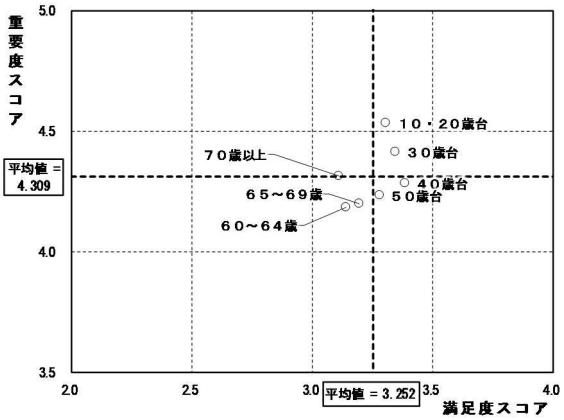
３）学校教育



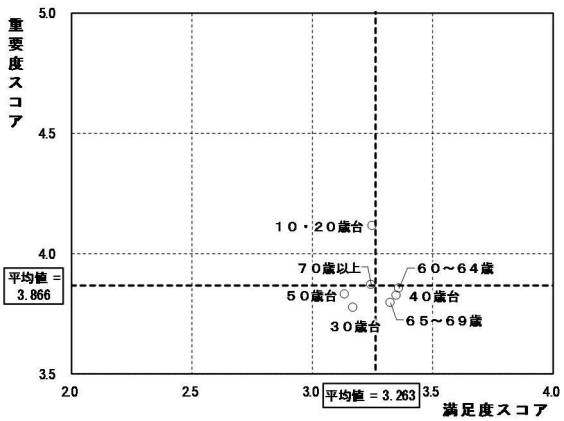
４）生涯学習



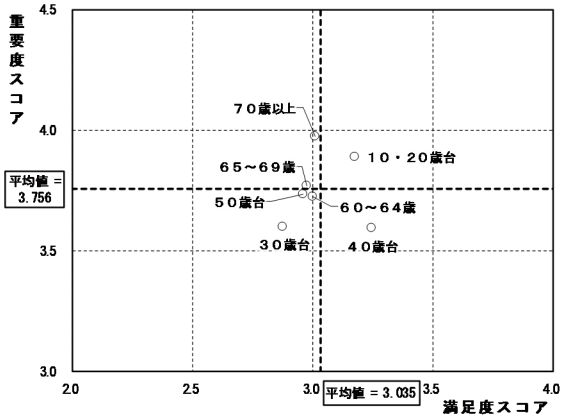
５）青少年健全育成



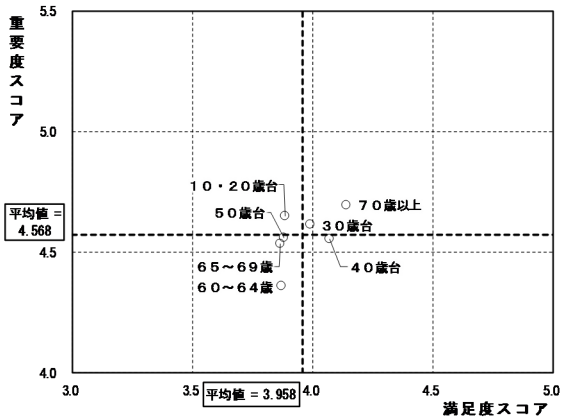
６）スポーツ・レクリエーション



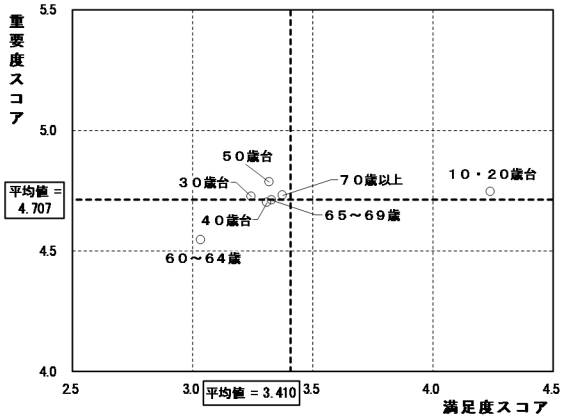
7）文化芸術・文化財



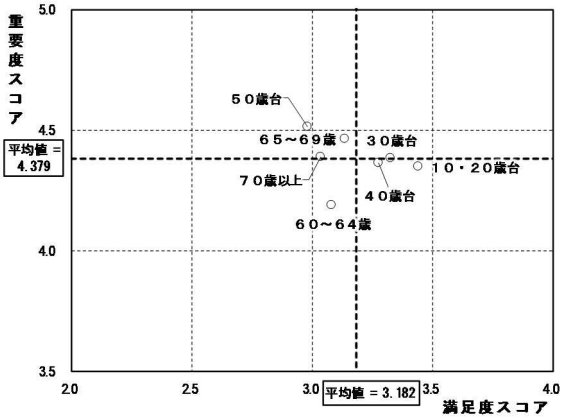
8）健康づくり



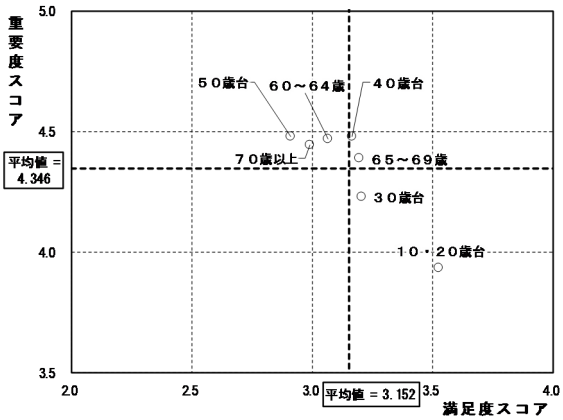
9）医療



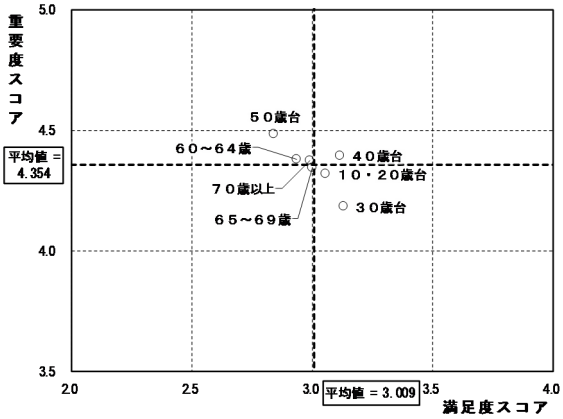
10）地域福祉



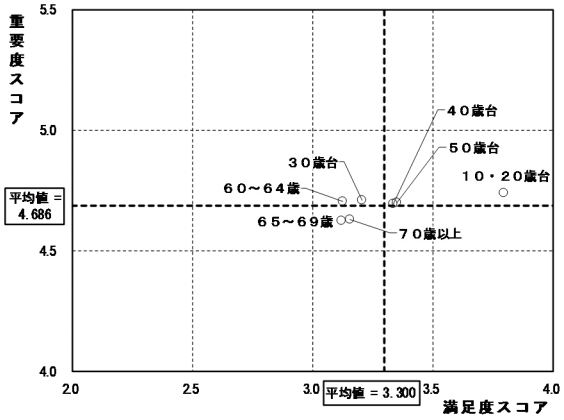
11）高齢者福祉



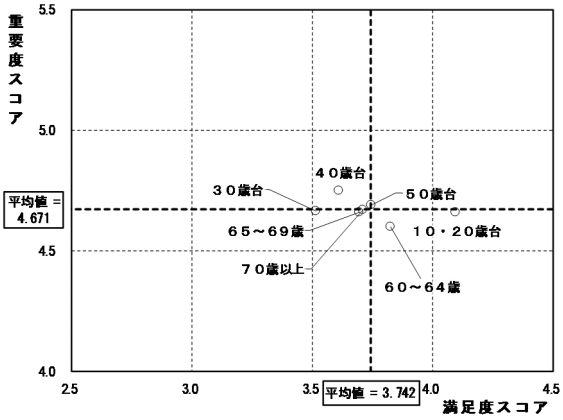
12）障がい者福祉



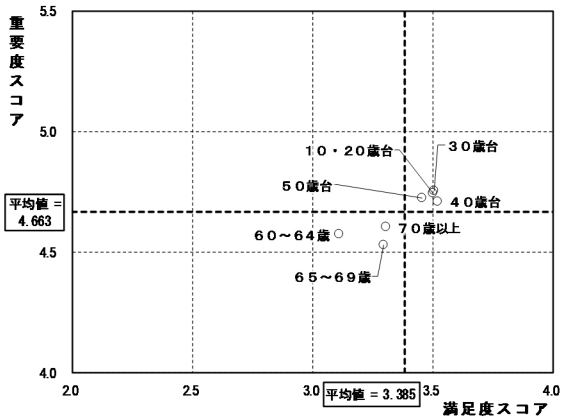
１３）防災



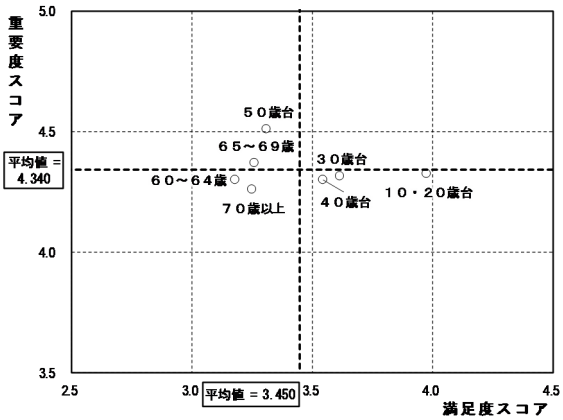
１６）消防・救急



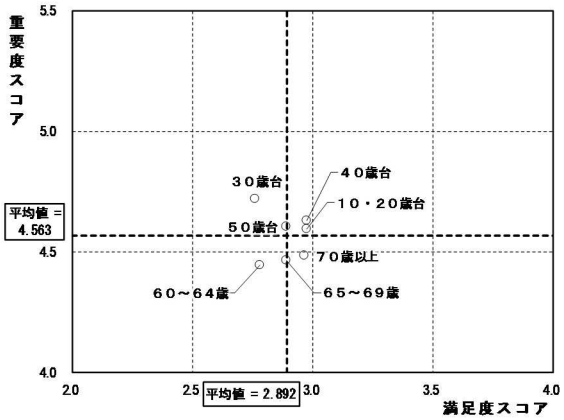
１４）防犯



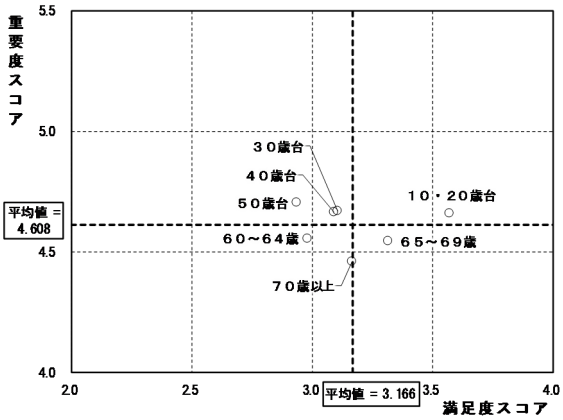
１７）消費生活



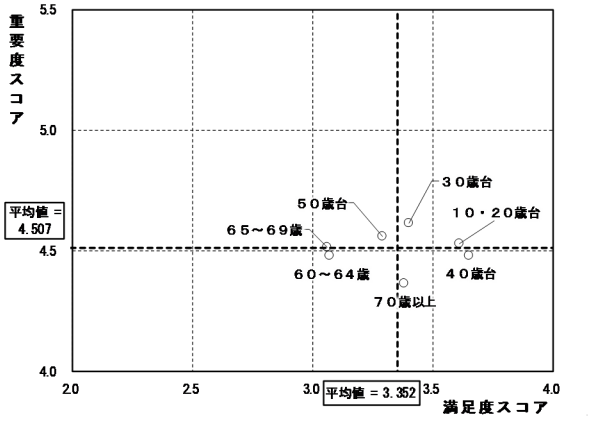
１５）交通安全



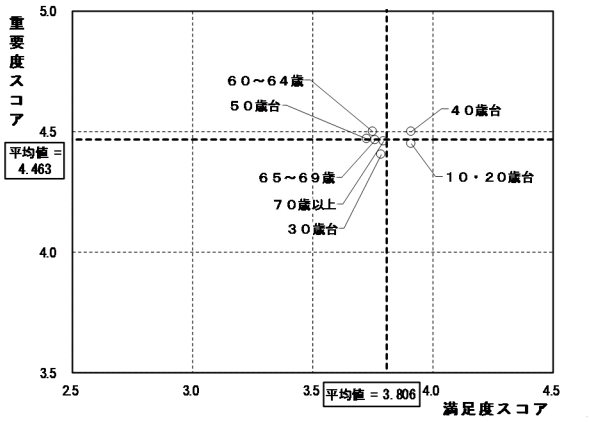
１８）環境保全



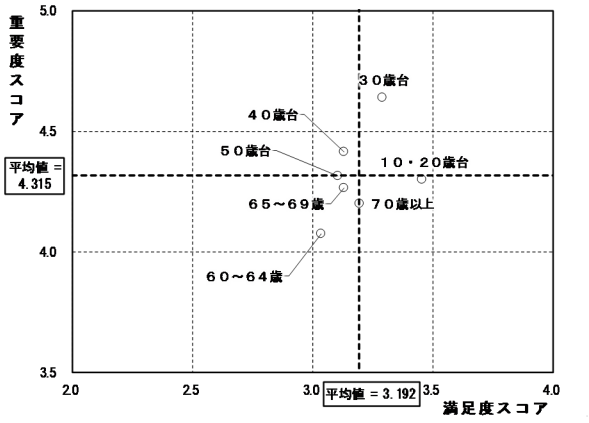
１９）環境美化



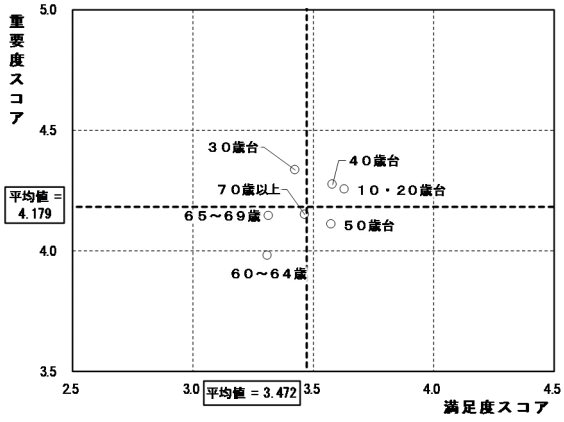
２０）ごみ処理



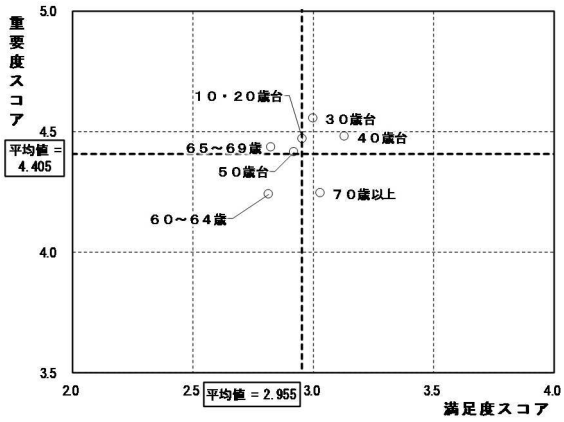
２１）市街地形成



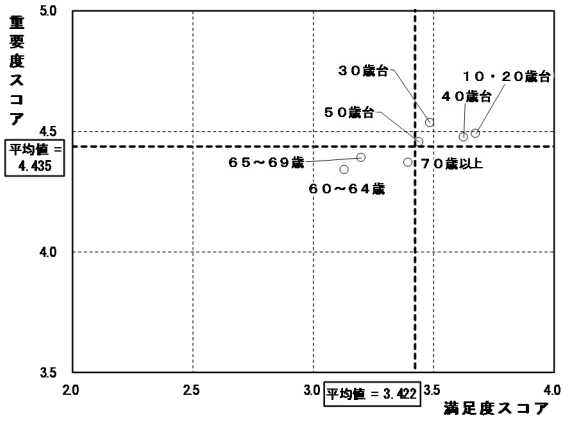
２２）公園・緑地



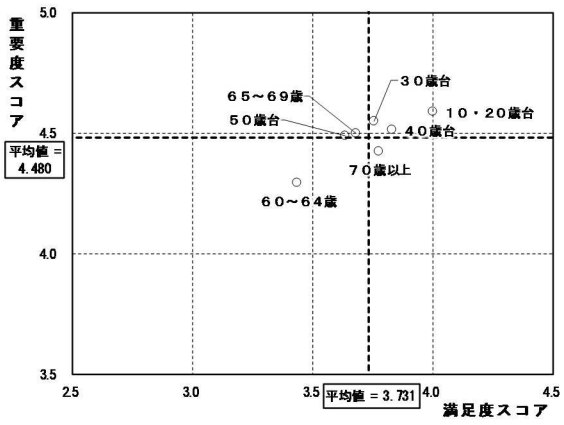
２３）道路



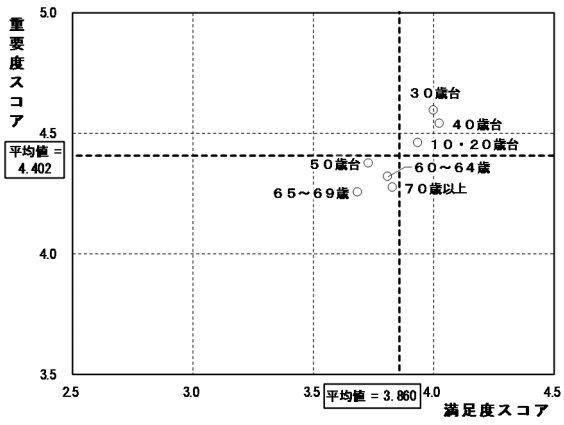
２４）河川



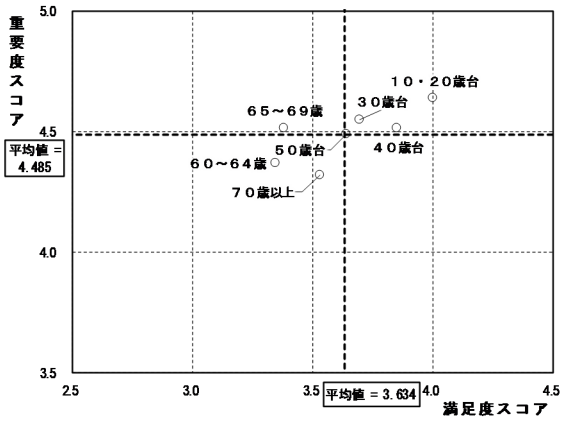
２５）下水道



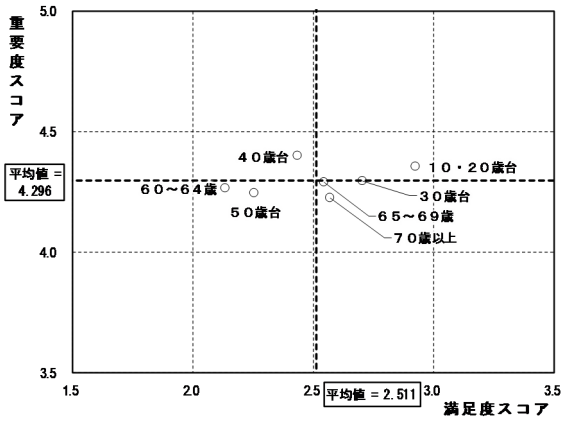
２８）高速バス



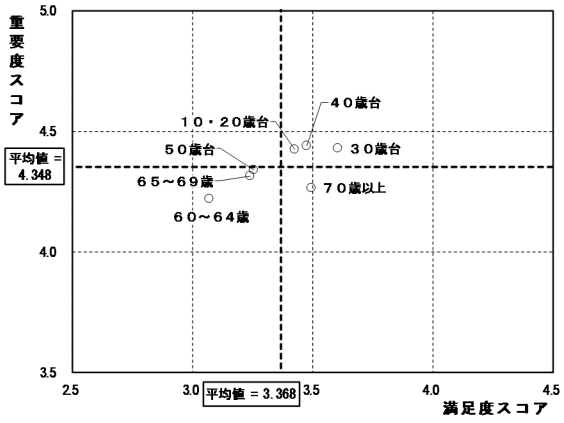
２６）住宅



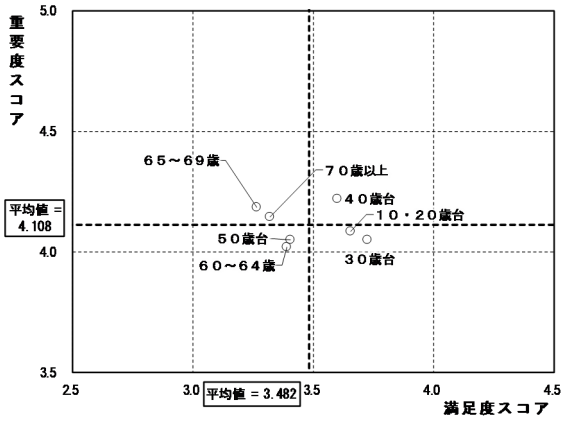
２９）路線バス



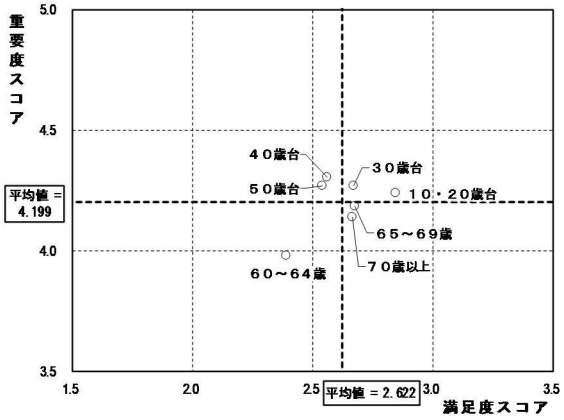
２７）鉄道



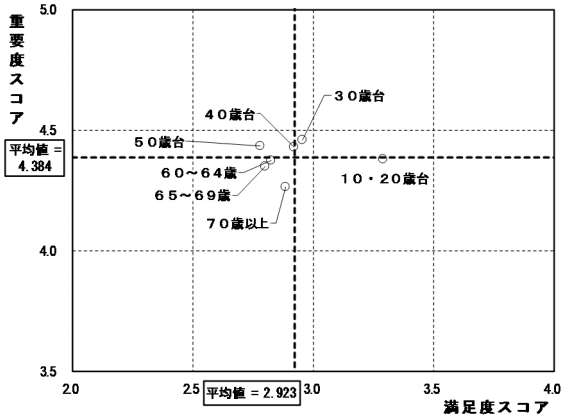
３０）農業



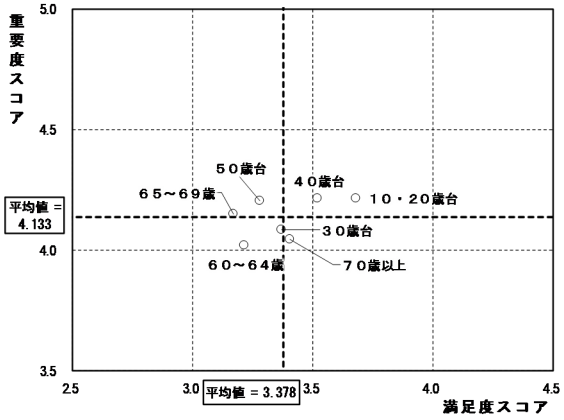
３１）商業



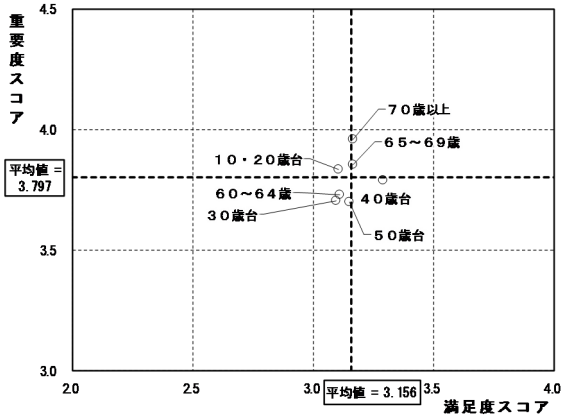
３４）雇用・就業



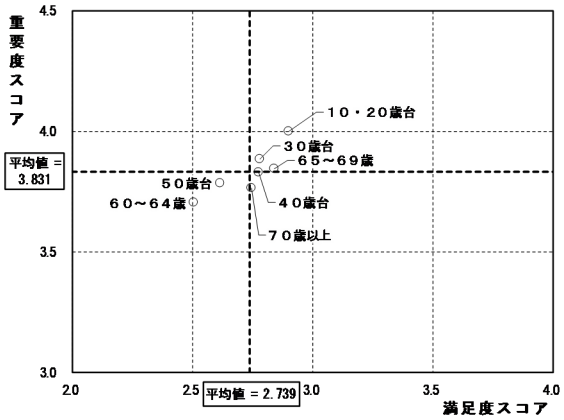
３２）工業



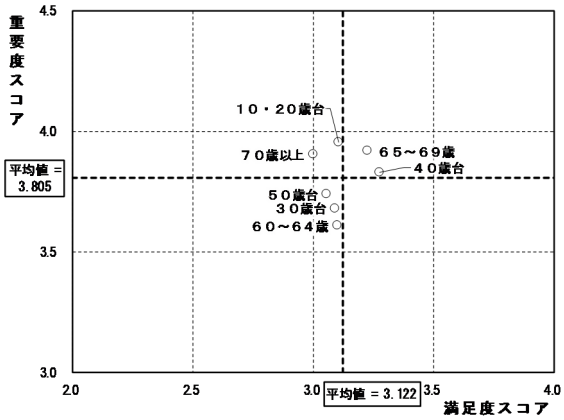
３５）コミュニティ



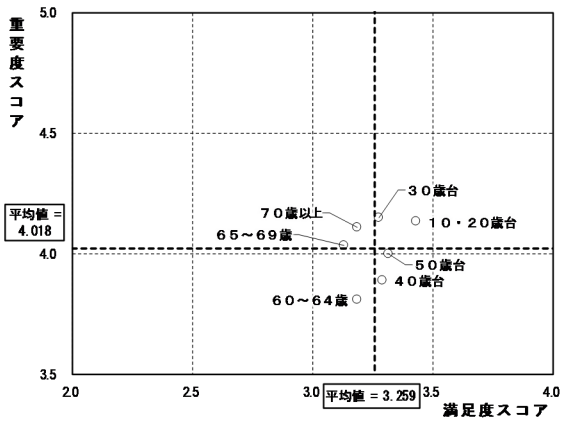
３３）観光



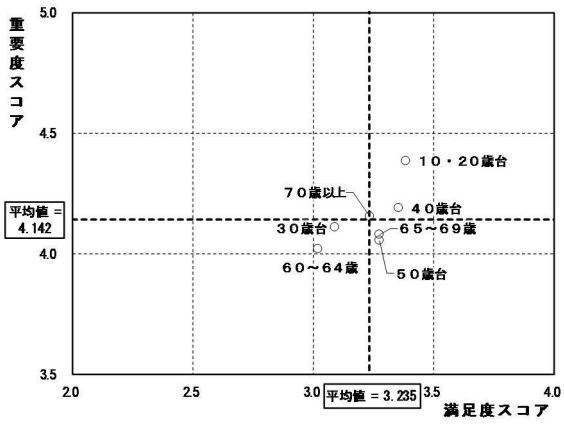
３６）市民参加



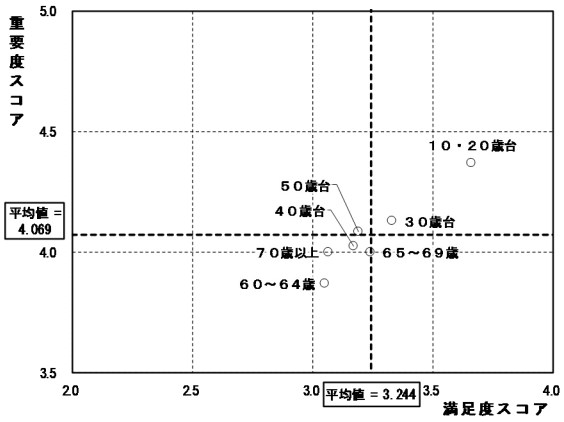
３７）人権



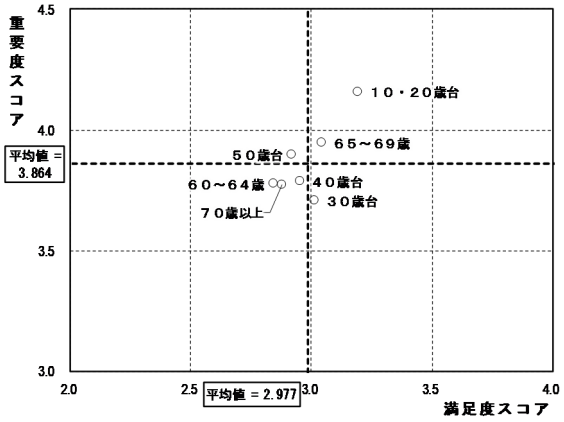
４０）情報共有



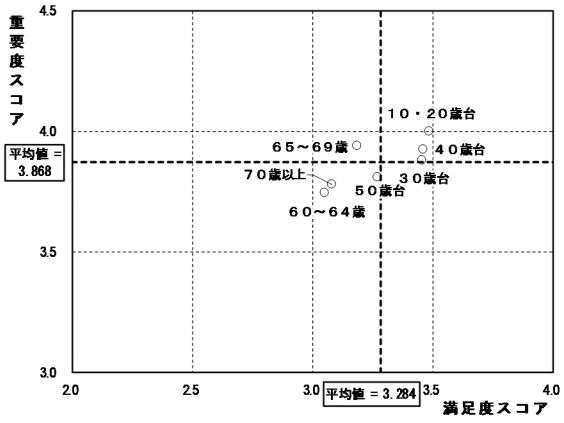
３８）男女共同参画社会



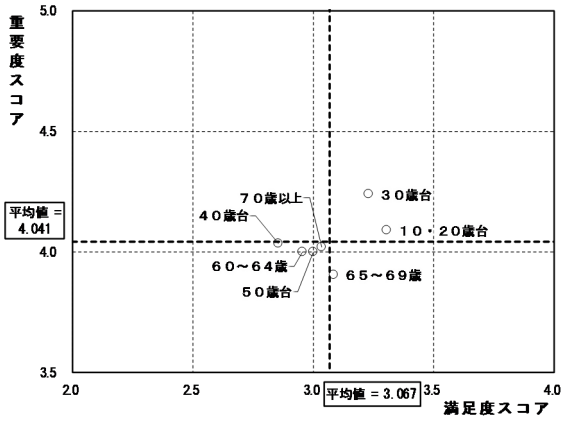
４１）シティプロモーション



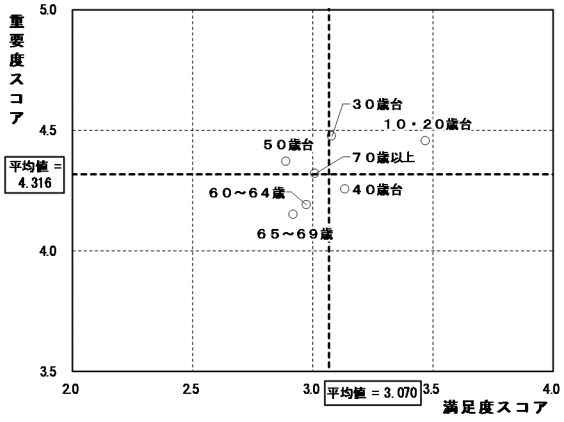
３９）多文化共生



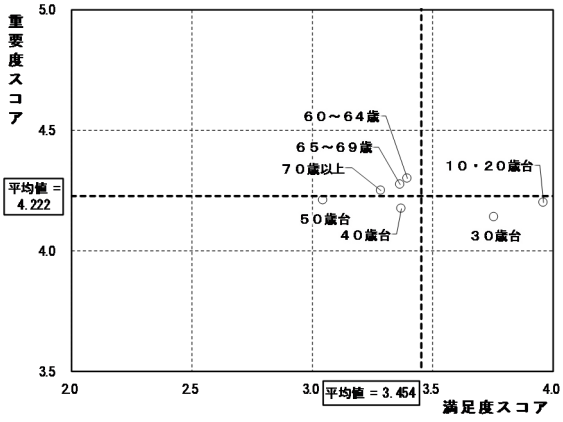
４２）ＩＣＴ化



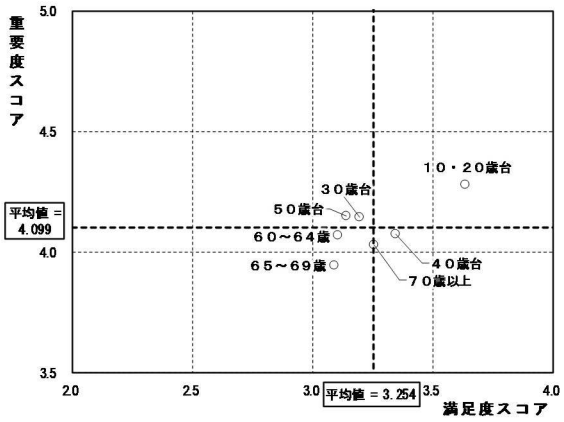
４３）行政運営



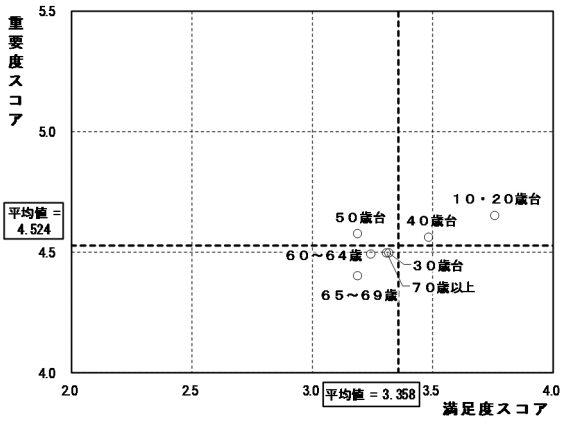
４６）火葬場



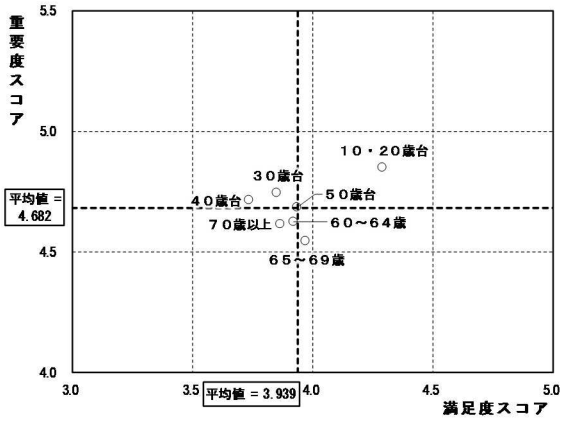
４４）広域連携



４７）財政運営

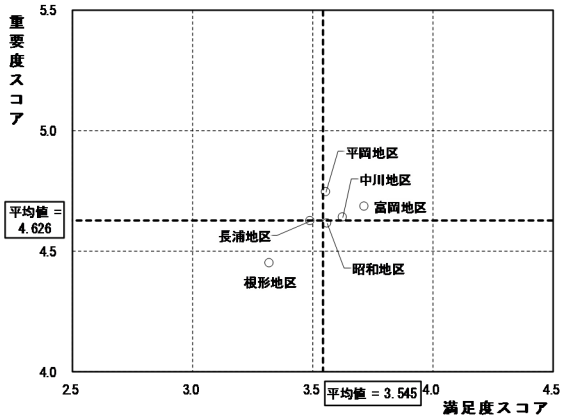


４５）上水道

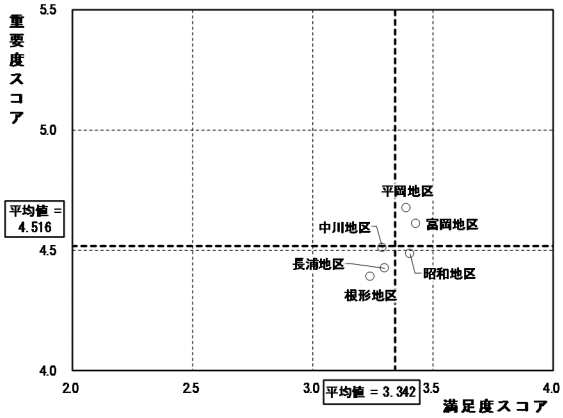


４．４．２．２ 居住地区

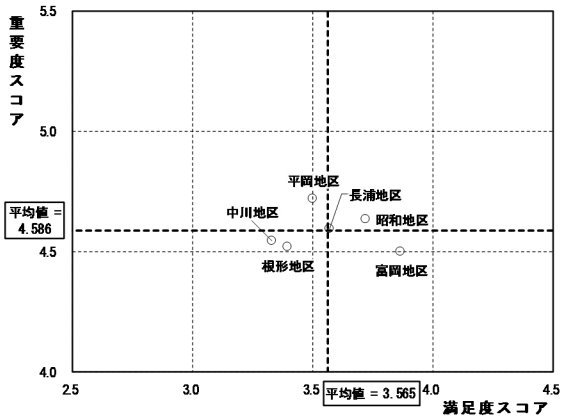
１）子育て支援



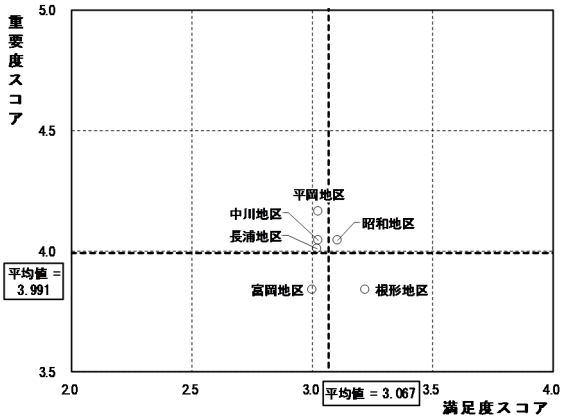
２）幼児教育・保育サービス



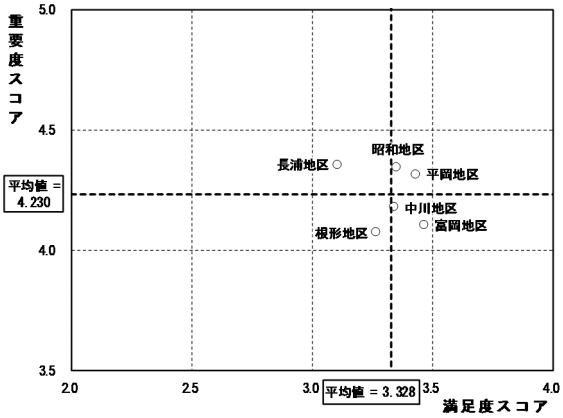
３）学校教育



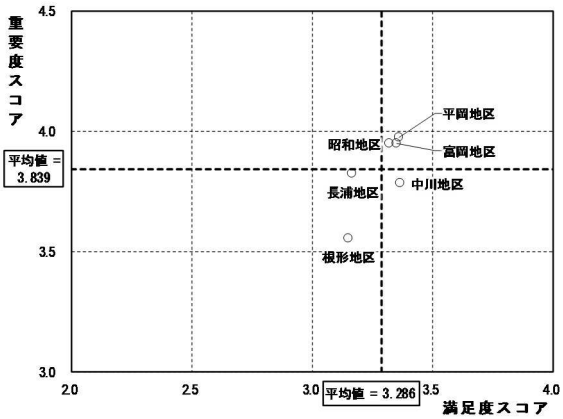
４）生涯学習



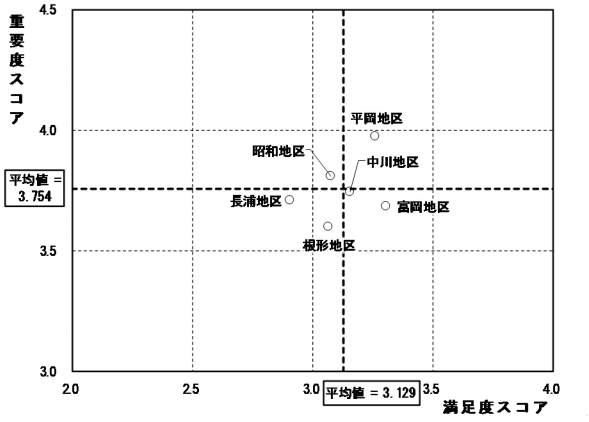
５）青少年健全育成



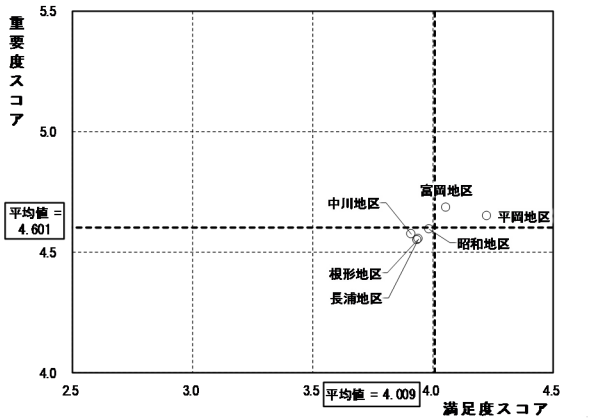
６）スポーツ・レクリエーション



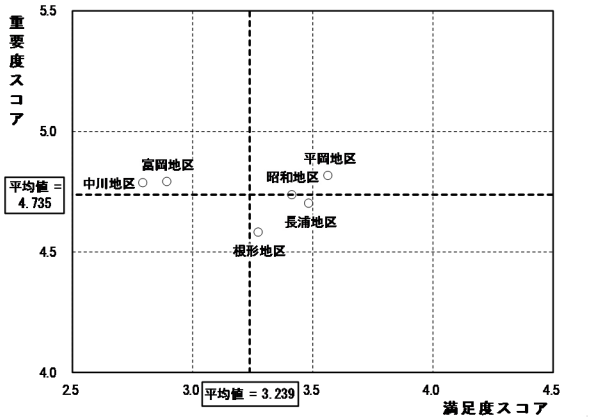
7）文化芸術・文化財



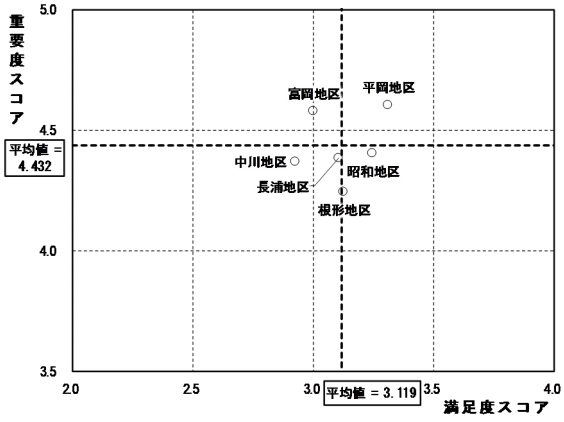
8）健康づくり



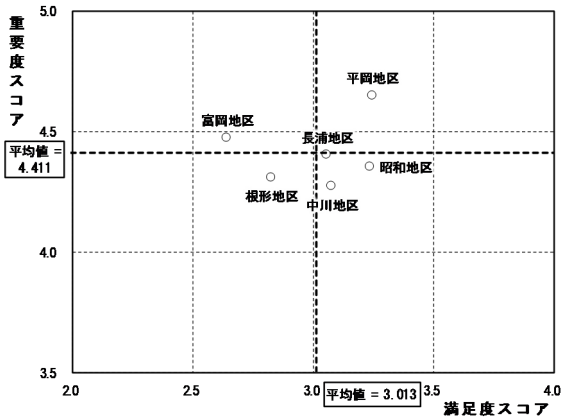
9）医療



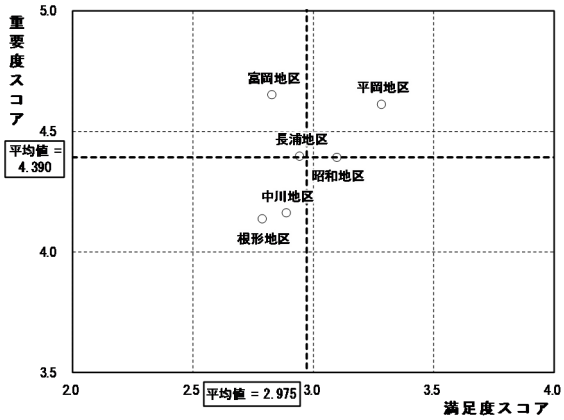
10）地域福祉



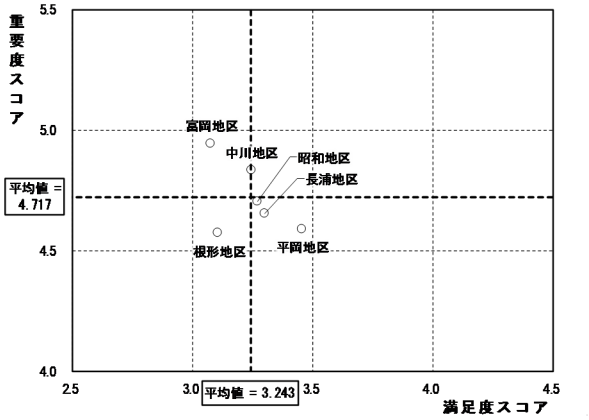
11）高齢者福祉



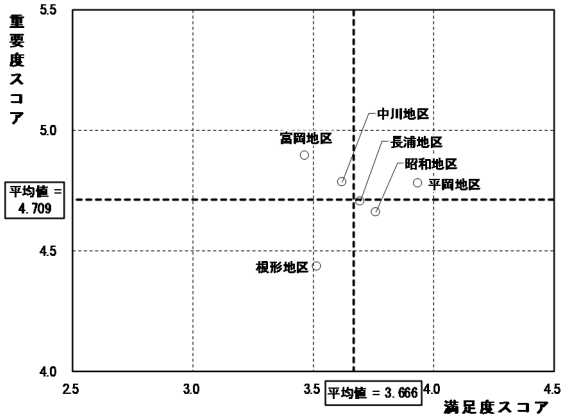
12）障がい者福祉



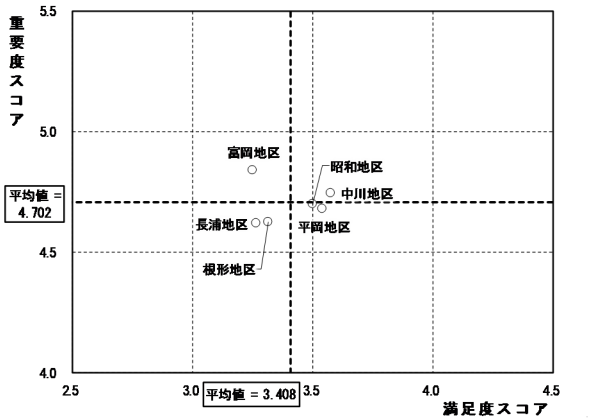
１３）防災



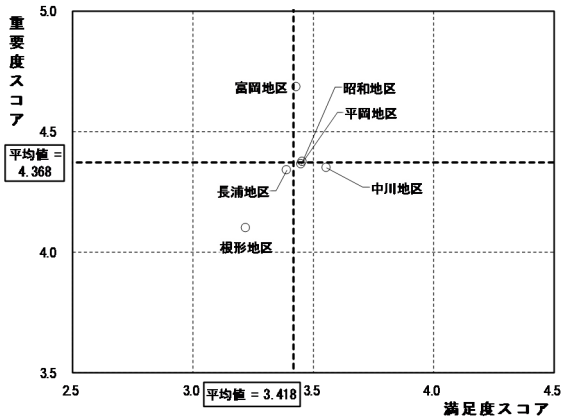
１６）消防・救急



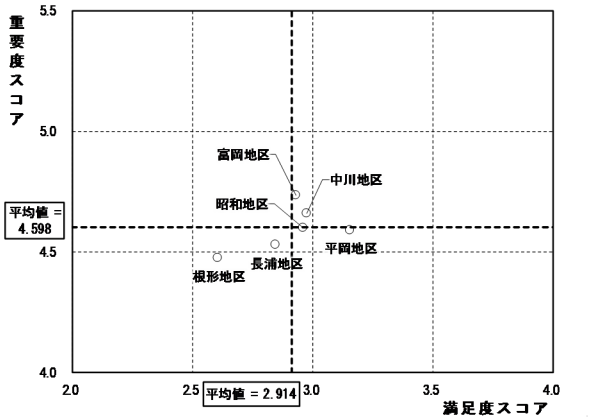
１４）防犯



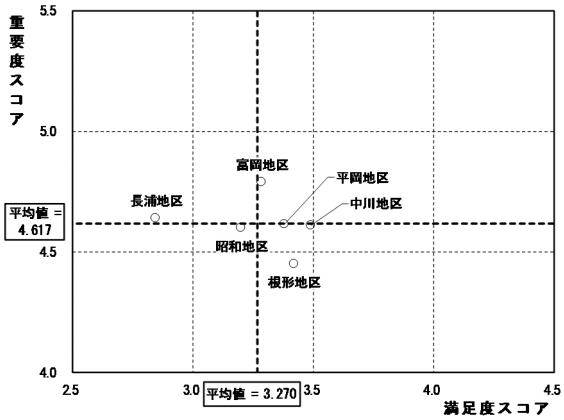
１７）消費生活



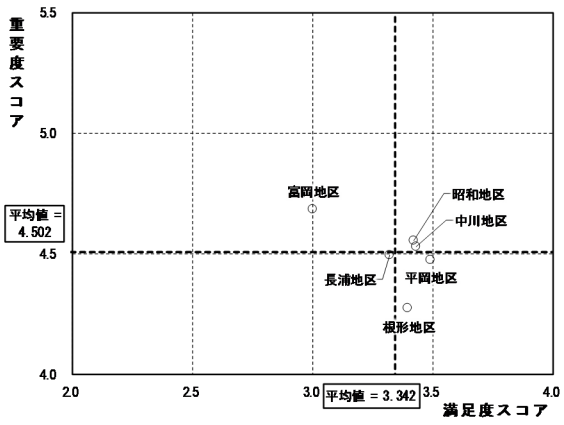
１５）交通安全



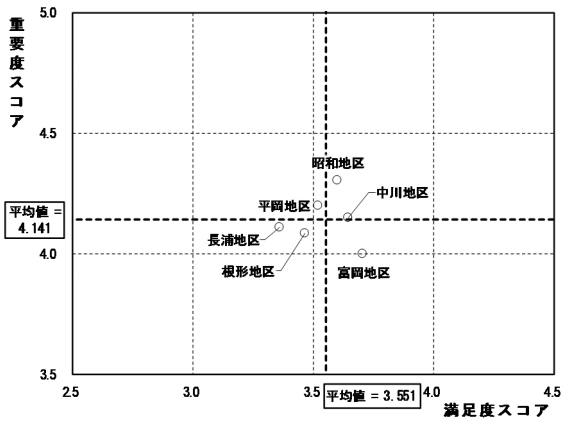
１８）環境保全



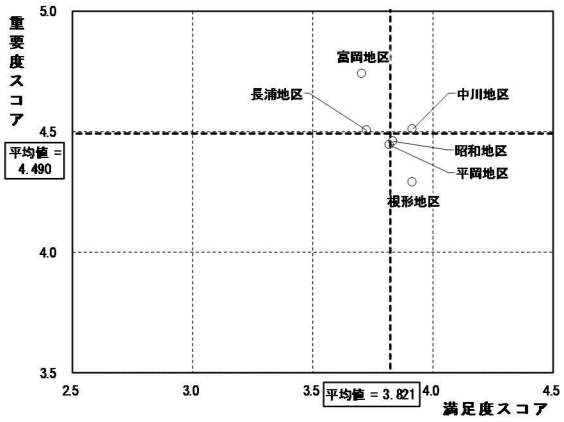
１９）環境美化



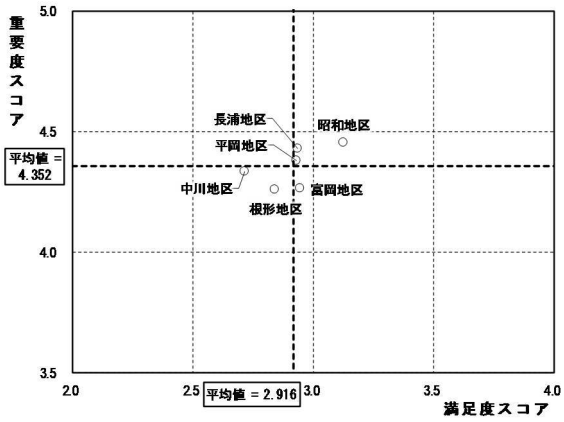
２２）公園・緑地



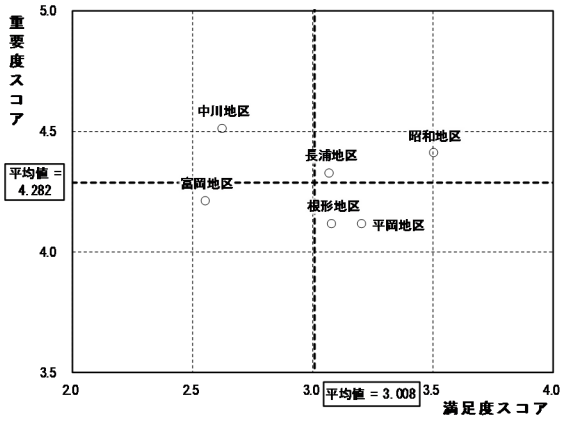
２０）ごみ処理



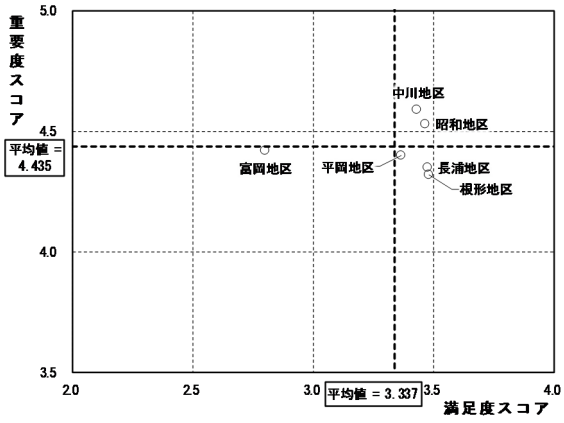
２３）道路



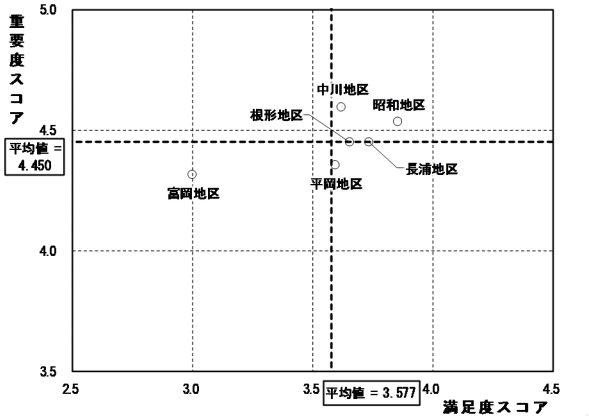
２１）市街地形成



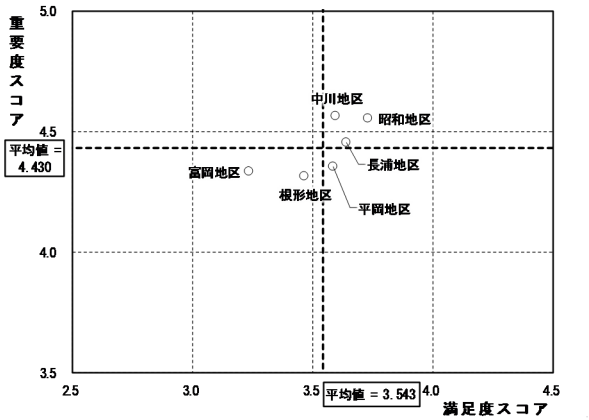
２４）河川



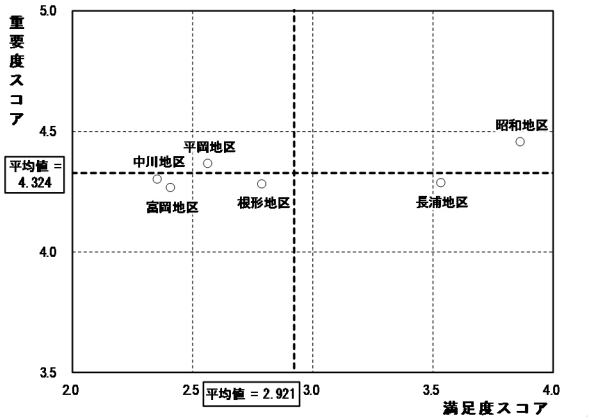
２５）下水道



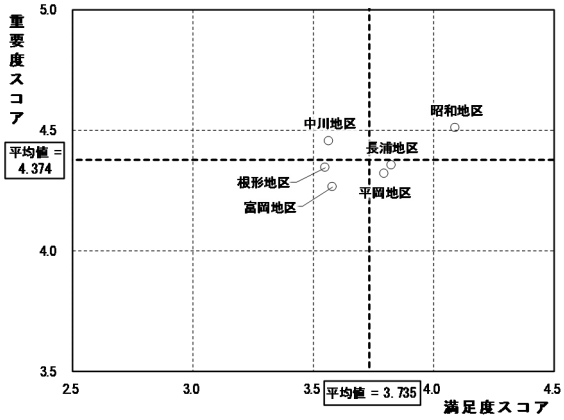
２６）住宅



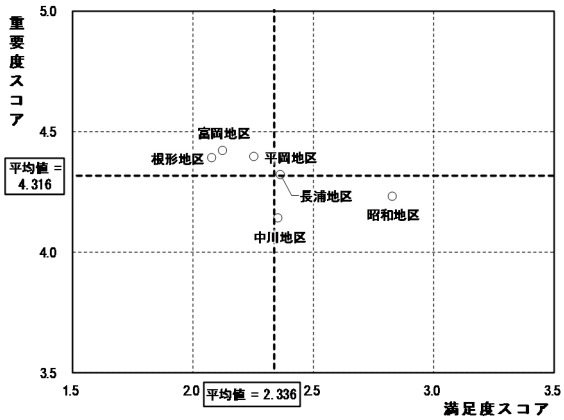
２７）鉄道



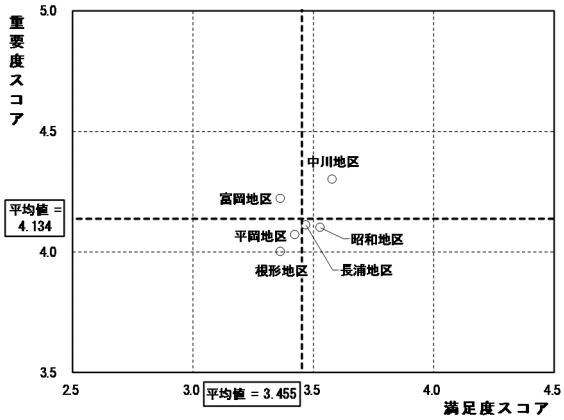
２８）高速バス



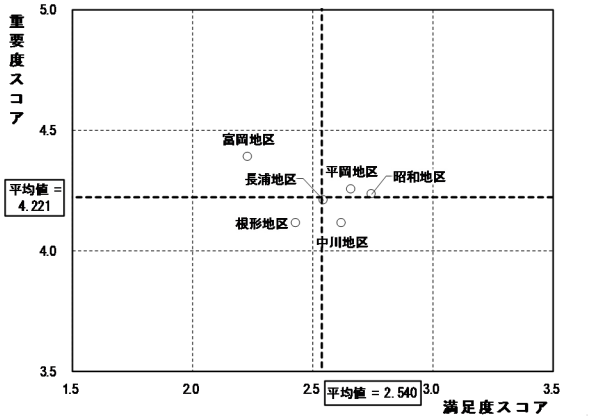
２９）路線バス



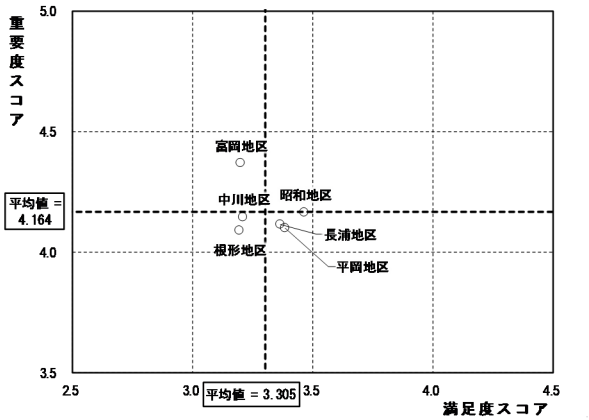
３０）農業



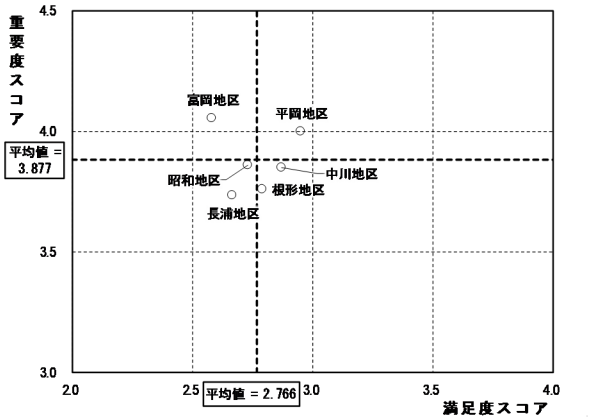
３１）商業



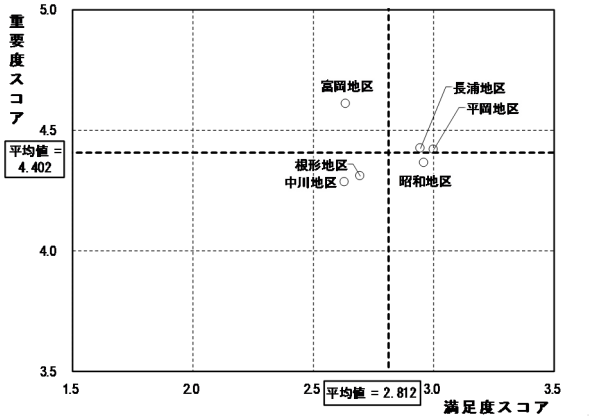
３２）工業



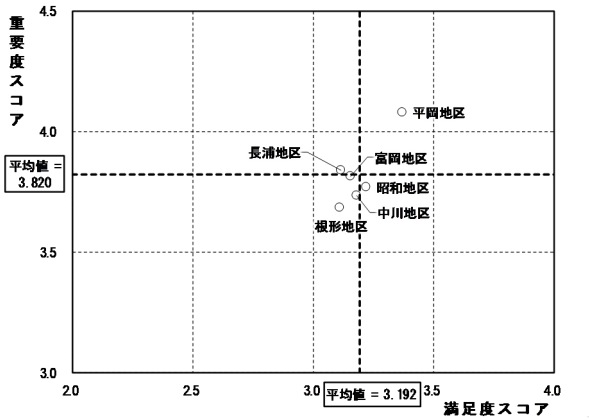
３３）観光



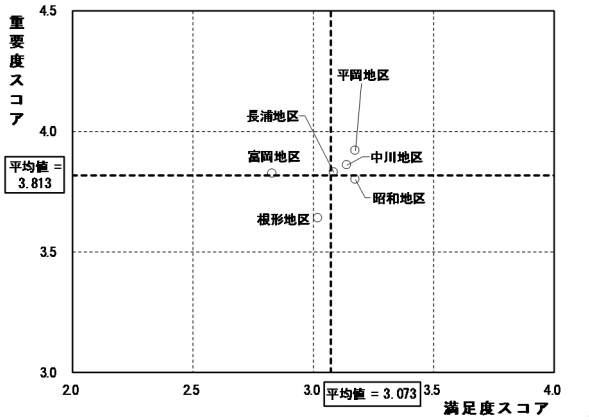
３４）雇用・就業



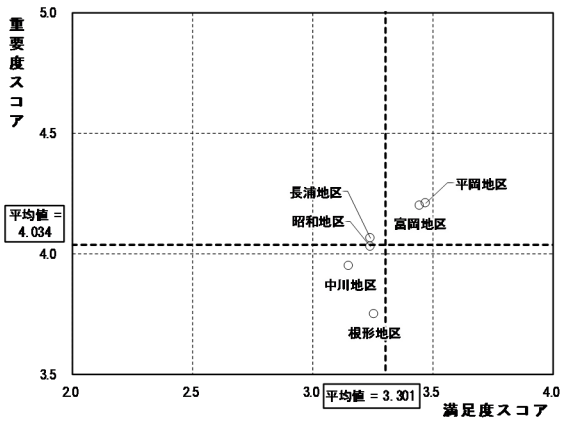
３５）コミュニティ



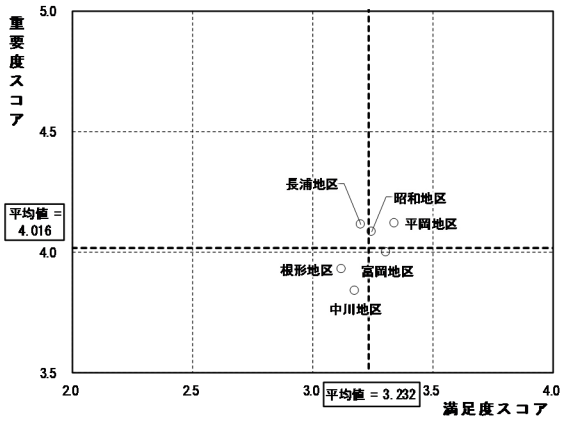
３６）市民参加



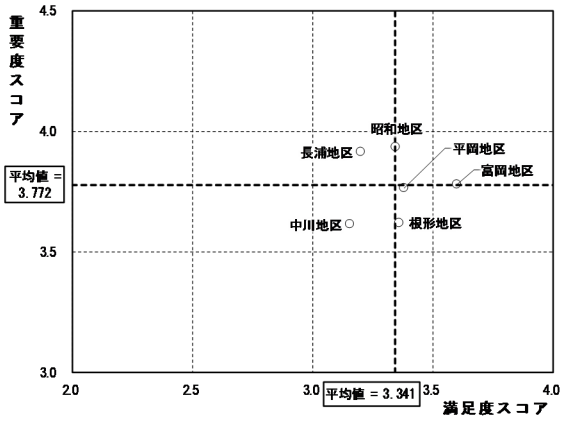
３７）人権



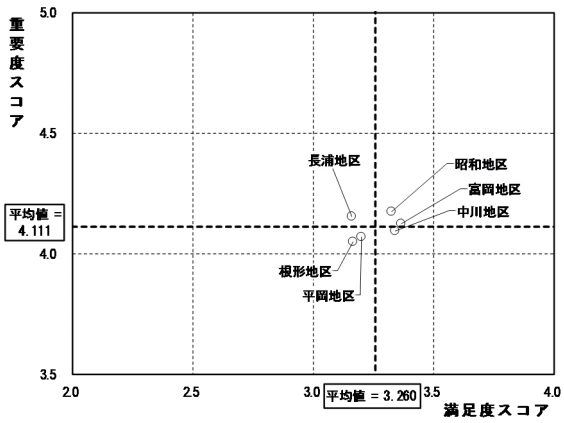
３８）男女共同参画社会



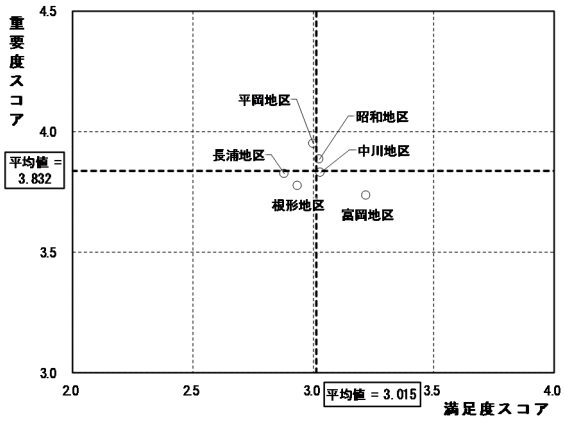
３９）多文化共生



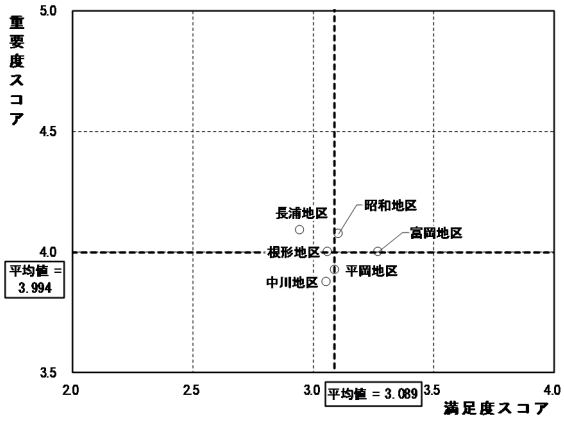
４０）情報共有



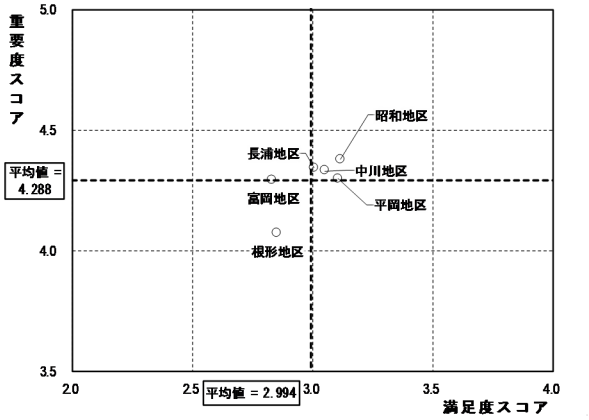
４１）シティプロモーション



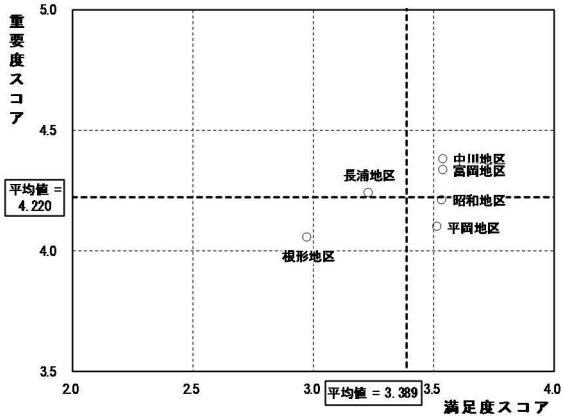
４２）ＩＣＴ化



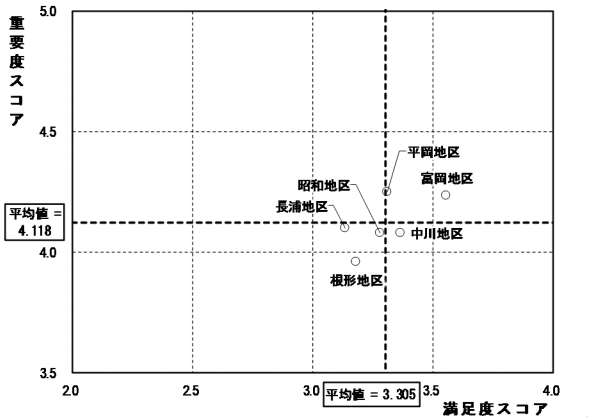
４３）行政運営



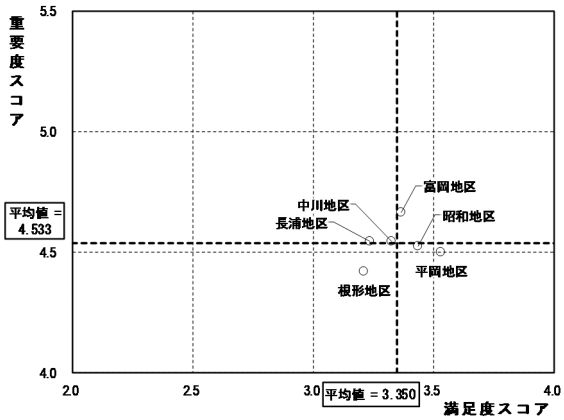
４６）火葬場



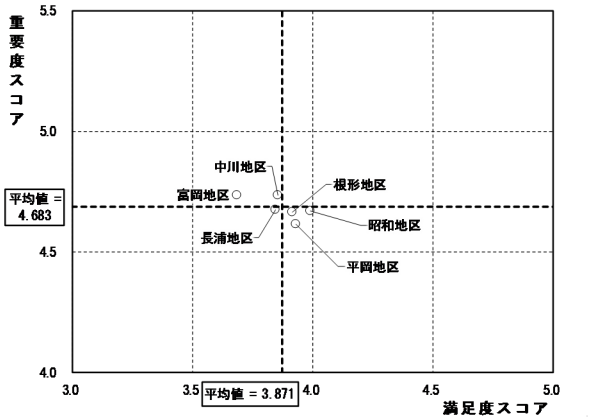
４４）広域連携



４７）財政運営



４５）上水道



令和６年度
袖ケ浦市まちづくりアンケート報告書

2024 年（令和６年）11 月発行

発行：袖ケ浦市企画政策部企画政策課
袖ケ浦市坂戸市場１番地１
電話　0438(62)2327

議題２

袖ケ浦市総合計画
後期基本計画策定方針（案）

目　　次

Ⅰ．策定方針の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
Ⅱ．総合計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
Ⅲ．後期基本計画における策定の考え方・・・・・・・・・・P4
Ⅳ．後期基本計画における施策の考え方・・・・・・・・・・P8
Ⅴ．策定体制等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15

Ⅰ.　策定方針の趣旨

本市では、令和２年に策定した総合計画の基本構想において、市が目指す将来の姿を「みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ケ浦」と定め、計画期間である１２年間をそれぞれ６年間ずつに前期と後期に分け、基本計画を策定し、各種施策を展開することで、まちづくりを進めてきました。

今般、令和７年度に前期基本計画の計画期間が満了することから、令和８年度を始期とする後期基本計画を策定するため、基礎調査の結果を基にその基本的な方針を定めるものです。

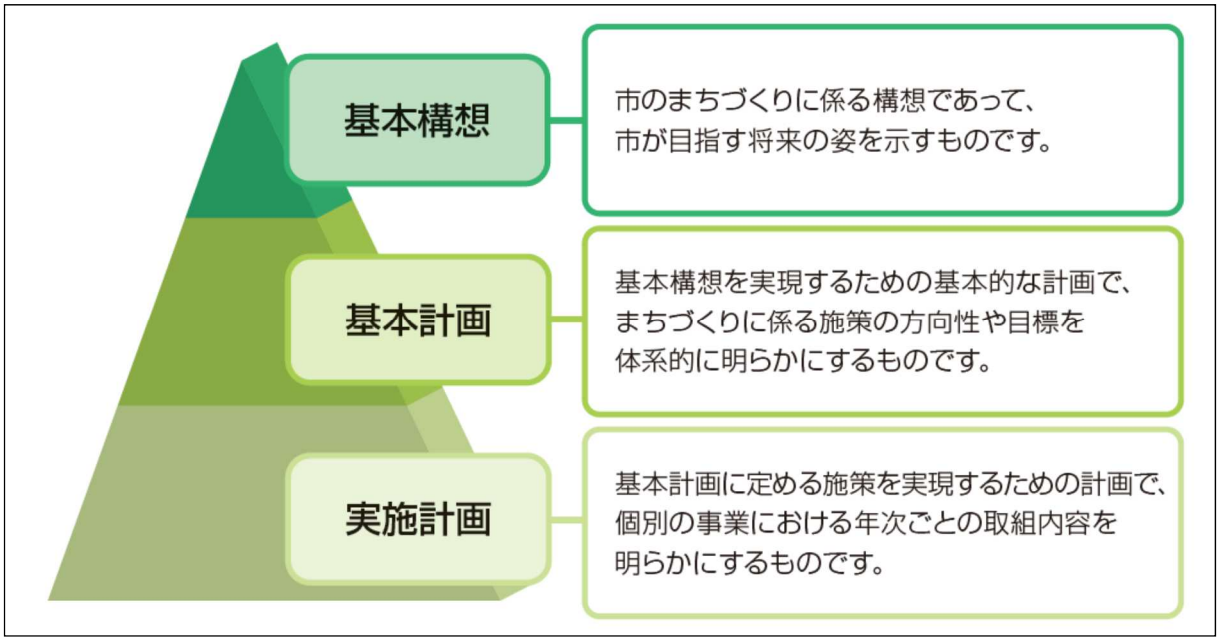
なお、本基本方針は、後期基本計画の策定にあたり各視点等の整理を行うものであり、施策の方向性については後期基本計画の策定作業を通じて検討します。

Ⅱ.　総合計画の概要

１．位置づけ及び構成

総合計画は、今後のまちづくりの指針として、本市が目指す将来の姿を明らかにするとともに、その実現のための方策を示すものであり、本市のまちづくりにおける最上位の計画です。

その構成は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層構造としています。



２．計画期間

総合計画における「基本構想」は、今後の社会経済情勢の変化を見据えながら長期的視点に立ったまちづくりを行うため、令和２年度から１３年度までの１２年間を計画期間としています。

「基本計画」は、「基本構想」の計画期間である１２年間を前期と後期に分け、それぞれ６年間の計画期間としています。

今般策定する後期基本計画の計画期間は、令和８年度から令和１３年度とし、令和６～７年度に策定作業を行います。

「実施計画」は、予算編成の指針として適切に管理できる期間として３年間を計画期間とするとともに、必要に応じて見直しを行うものとします。



３．基本構想

基本構想は、本市が目指す長期的なビジョンや理念に基づいており、時代の変化に対応できる普遍的な内容となっています。このことから、基本構想自体は、一時的な流行や社会の変動に左右されることはなく、長期的な目標として「市の目指す将来の姿」と、目標を「実現するための視点」を掲げています。

しかしながら、本市を取り巻く社会経済情勢をはじめ、市が抱える課題や多様化する市民のニーズは年々変化しており、それらに対応するため、基本計画ではそれぞれの分野において、基本構想の理念のもと、施策の方向性や優先順位を見直すことで、時代の要請にあった市政運営を実現しています。

基本構想については、総合計画の計画期間において内容を堅持し、後期基本計画の策定にあたっては、各分野での目指すべき方向性を施策として定め、現状と課題を明確にし、具体的な対応策を実施計画として事業化していきます。

（１） 市が目指す将来の姿

総合計画の目標年次である令和１３年度までに実現を目指す将来のまちの姿を示しています。

みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ケ浦

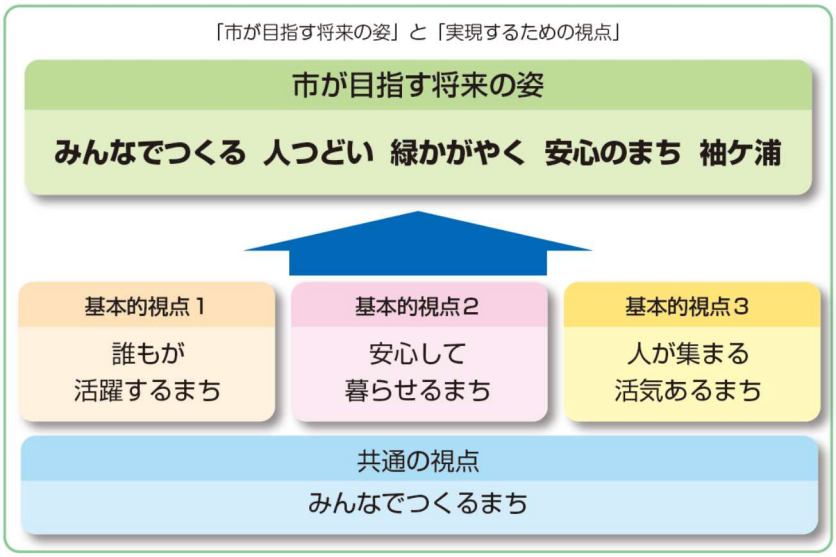
○子育て･教育の充実、産業の活性化、交通アクセスや多様な地域資源など、本市の魅力を発揮することにより、「住みたいまち」「働きたいまち」「訪れたいまち」として**人が集うまち**を目指します。

○豊かな自然環境と、都市機能や住みやすい生活環境とが調和した、**緑が広がる美しいまち**を目指します。

○市民一人ひとりが住み慣れた地域で健やかに**安心して暮らし続けることができるまち**を目指します。

○これらを実現するため、市民一人ひとりの個性や知恵、人のつながりを活かしながら、地域社会を構成する様々な主体が互いに協力する、**みんなでつくるまち**を目指します。

（２） 市が目指す将来の姿を実現するための視点



視点1　誰もが活躍するまち

将来の発展に向けて、今後の担い手となる人々を育むとともに、市民が知識･能力･経験等を十分に活かすことができる、誰もが活躍するまちづくりを進めます。

視点2　安心して暮らせるまち

すべての市民が健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

視点3　人が集まる活気あるまち

市民生活や各産業における多様な波及効果を創出し、人が集まる活気あるまちづくりを進めます。

共通の視点　みんなでつくるまち

地域における人のつながりを深め、市民相互の交流による活力あふれるコミュニティを形成するとともに、市民・地域・事業者・行政など地域社会を構成する様々な主体が連携・協力しながら、みんなで力を合わせたまちづくりを進めます。

（３） 将来の目標人口

令和１３年度末の目標人口は、総合計画に基づく効果的な施策の展開を図ることにより、６５，０００人以上を維持することとします。

III. 後期基本計画における策定の考え方

１．基本的な考え方（策定の視点）

後期基本計画については、次の基本的な視点に沿って策定します。

（１） 市民と将来のまちづくりの方向性を共有できる、わかりやすい計画

計画策定の初期段階から積極的に市民参加を推進し、市民と将来のまちづくりの方向性を共有し、ともに実行できる、わかりやすい計画とします。

（２） 社会経済情勢を的確に把握し、時代のニーズに対応した計画

人口減少や更なる少子高齢化の進行、地域コミュニティの変化、防災意識の高まりなどの社会経済情勢を的確に把握するとともに、多様化する市民ニーズに対応した計画とします。

（３） 前期基本計画の成果と課題を踏まえた計画

前期基本計画の施策の達成度や課題を検証し、その結果を後期基本計画に反映していく計画とします。

（４） 施策分野ごとの個別計画の上位計画としての計画

総合計画は、行政全ての分野を総合的・体系的に示す上位の計画であるため、施策分野ごとの個別計画は、総合計画と整合・連携・連動を図っていくこととします。

（５） 実現性及び実効性の高い計画

限られた財源の中で、実現可能な計画づくりを行うとともに、行政評価等による見直しや改善を図りながら、適切に事業を展開できる計画とします。

（６） 分野横断的な施策の推進

課題の複雑化や多様化に対応するため、各分野の連携を強化し、総合的かつ効果的な施策の展開を図ります。

２．計画策定において意識する事項

（１） 時流の反映

後期基本計画の策定にあたっては、次の事項に留意しながら計画づくりを進めていきます。

① 人口減少・少子高齢化の進行

総合計画基本構想における目標人口である６５，０００人以上を維持できる計画とします。また、本格的な少子高齢化の進行に対応した計画とします。

② 自然災害の発生と激甚化

南海トラフ地震などの大地震や、頻発する風水害など、近年激甚化している自然災害の脅威から市民の生命と財産を守ることができる計画とします。

③ 環境意識の高まりと脱炭素・循環型社会の実現

近年の環境意識の高まりを受け、本市が表明した「袖ケ浦市カーボンニュートラル宣言」に基づき、地球温暖化と気候変動への対策、及び脱炭素・循環型社会の実現を目指す計画とします。

④ 個人の価値観やライフスタイルの多様化

社会の成熟化による個人の価値観や、コロナ禍を経たことによるライフスタイルの変化・多様化を踏まえた計画とします。

⑤ ＤＸ[1]の進展

市民生活をより良くするために、デジタル技術やデータを活用し、行政サービスの利便性向上を図るとともに、地域課題の解決や新たな価値の創出を目指す計画とします。

⑥ 地方創生

地域資源を活用して本市の魅力を向上させるとともに、地方創生を意識した持続可能なまちづくりを目指す計画とします。

⑦ ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の取組みの深化

２０３０年までに持続可能でよりよい世界を目指すＳＤＧｓの理念を踏まえ、本市が行う各施策との関連性を明確にし、ＳＤＧｓの考え方を浸透させることで、ＳＤＧｓ達成に貢献する計画とします。

---

[1] DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す。

（２） 市民等の意識の反映

後期基本計画を市民等のニーズに沿ったものとするためには、市民や関連団体から意見を伺うことが重要です。

後期基本計画策定に係る基礎調査において行ったアンケート調査などの意見等を基本に、これまで策定してきた施策ごとの個別計画でのアンケート結果、総合計画審議会での審議内容やパブリックコメントでいただいたご意見なども含め、より市民等の意見を反映させるような計画づくりを進めていきます。

※意見等は、「袖ケ浦市総合計画後期基本計画策定に係る基礎調査報告書」を参照

【実施した取組】

① まちづくりアンケート調査

施策に対する市民の満足度、重要度等を測ることを目的に、無作為に抽出した市民を対象にアンケート調査を実施しました。

② 各種団体別アンケート調査

地域コミュニティの活性化と市民協働を推進するにあたり、地域活動を担う各種団体から意見を収集するため、アンケート調査を実施しました。

③ 市民ワークショップ

市民の市政への関心・興味を高めるとともに、市政に対する意見・要望やまちづくりに対する課題・提案を幅広く引き出し、計画策定の参考とするため、まちづくりに関心のある市民を募り、ワークショップを開催しました。

（グループ）○１５歳から２４歳までの方　○子育て中の方
　　○近年の転入者　　○６５歳以上の方

④ 分野別ワークショップ

各分野で活躍する団体から市政に対する意見・要望やまちづくりに対する課題・提案を幅広く引き出し、計画策定の参考とするため、ワークショップを開催しました。

（グループ）○子育て・教育・文化 分野　○保健・医療・福祉 分野
　　○防災・防犯・環境 分野　　○産業 分野

⑤ 工場連絡会ワークショップ

袖ケ浦市工場連絡会会員企業から本市の工業における強み・弱み（不安）を幅広く引き出し、計画策定の参考とするため、ワークショップを開催しました。

【今後実施する取組】

⑥ パブリックコメント

策定した計画案について、市民の市政参画の機会を拡大し、市政の公正の確保及び透明性の向上を図り、もって市民との協働による開かれた市政の推進するため、パブリックコメントを実施します。

（３） 総合戦略との関係

総合戦略は、人口減少対策及び地方創生を目的とするもので、本市では、令和２年３月に「第２期　袖ケ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。同戦略の計画期間は、総合計画前期基本計画と整合を図るべく、令和２年度から令和７年度までの６か年としており、前期基本計画と同じ令和７年度に計画期間が満了します。

令和８年度を初年度とする後期基本計画の策定にあたっては、将来見込まれる人口減少への対策や地域経済・地域社会への課題に対して取り組む必要があり、総合戦略における施策や目標と一致する点が多くあります。

また、国が令和４年１２月に策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」におけるデジタルの力の活用という点においても、限られた資源で多様な市民ニーズに対応し、市が目指す将来の姿を実現するためには、デジタル技術は必要不可欠なものとなっています。

これらを踏まえ、後期基本計画とデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した総合戦略の策定のタイミングで２つの計画を一体的に策定し、総合的かつ効率的に施策を推進し、本市の持続的な発展を目指すこととします。

Ⅳ.　後期基本計画における施策の考え方

１．施策体系について

後期基本計画の施策体系については、原則、前期基本計画のとおりとし、策定過程において、社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズ等により、優先的に取り組むべき施策がある場合は、変更することとします。

また、施策タイトルについては、基本的な施策の趣旨を変更することはありませんが、施策の意図や目的をより明確に伝えるため、時代に即した表現へと修正することを検討します。

○前期基本計画施策体系



※原則、前期基本計画の施策のとおりとするが、以下の場合は変更を検討する。
【変更を検討する例】
①優先して取り組む施策がある場合は、追加等を検討
②時代に即した表現への修正

２．施策の方向性を検討するうえで留意する視点

令和４年度施策評価や令和６年度事務事業評価、その他各種基礎調査からみえる施策の方向性を検討するうえでの留意する視点は次のとおりです。

なお、検討にあたっては、令和７年度に実施する施策評価及び事務事業評価についても適宜反映させることとします。

※分野（章）ごとに留意する視点を整理をしています。なお、記載されている順番は、優先順位を示すものではありません。

第１章　子育て・教育・文化

番号	施策	留意する視点
1-1	**子育て支援**	・少子化対策の充実（結婚や妊娠、出産に向けた支援等） ・子育て世帯のニーズに応じた多様な支援（相談体制の充実、交流促進、情報発信等） ・将来を見据えた幼児教育・保育施設等の適正な確保 ・学童保育（放課後児童クラブ）の充実 ・こどもまんなか社会の実現 ・情操教育の充実
1-2	**学校教育**	・きめ細やかな教育体制の確保（教員確保、支援員の拡充、不登校支援の充実等） ・学校教育における ICT 環境整備の推進（情報端末の活用、情報セキュリティの充実、情報モラル教育等） ・学校施設等の整備・適正管理 ・安全安心な学校生活の実現（交通安全教育、防犯教育、地域連携による見守り等）
1-3	**生涯学習**	・ニーズに合った生涯学習機会の提供 ・生涯学習活動団体の支援 ・社会教育施設の適正管理 ・青少年の健全育成の推進
1-4	**スポーツ**	・スポーツ団体の育成・活動支援 ・各種スポーツ活動の推進 ・スポーツ施設の適正管理 ・地域でのスポーツ活動の支援
1-5	**文化芸術・文化財**	・文化芸術活動の推進及び育成（イベント開催支援、体験教室の開催等） ・文化財の保存・活用 ・ボランティアの育成・活動支援

第２章　健康・医療・福祉

番号	施策	留意する視点
2-1	**健康づくり・医療**	・健康づくりへの支援（健康習慣の定着や継続支援等） ・疾病の予防・早期発見・早期治療に向けた取組の充実 ・感染症予防対策の充実 ・災害時における医療体制の整備（医療機関との連携等） ・医療提供体制の維持・充実（医療人材の確保等）
2-2	**地域福祉**	・地域の連携・交流促進 ・重層的支援体制の充実 ・各地区における福祉活動への支援
2-3	**高齢者福祉**	・介護予防の推進 ・地域包括支援センターにおける支援の充実 ・地域の見守り・支え合い体制の構築（単身高齢者、認知症高齢等） ・介護人材の確保・定着に向けた支援（費用助成等） ・介護保険サービスの充実
2-4	**障がい者福祉**	・障がい者支援の充実（相談支援、生活支援、就労支援等） ・障がいに対する理解促進・権利擁護 ・障がい児支援の充実（療育支援等） ・まちのバリアフリー化の推進

第３章　防災・防犯・環境

番号	施策	留意する視点
3-1	**防災**	・発災時におけるスムーズな避難誘導（避難行動要支援者の避難体制の整備等） ・避難所運営に向けた体制の整備、備蓄の充実 ・国・県・他市町村・企業との連携強化 ・地元企業の災害時の事業継続体制の構築（ＢＣＰ）支援 ・自助・共助の意識の醸成（災害への備えや防災・減災に向けた住民意識の醸成、災害ボランティア・災害対策コーディネーターの確保・育成等）
3-2	**防犯・交通安全**	・防犯対策の推進（防犯意識の醸成、自主防犯組織の活動支援等） ・安全安心な日常生活の確保（防犯カメラの設置、防犯灯の設置等） ・交通安全対策の推進（交通安全教育の実施、交通安全団体の活動支援、高齢者の免許証自主返納の促進等）
3-3	**消防・救急**	・消防体制の充実（消防車両及び資機材の整備、消防団の活動支援、消防庁舎のあり方検討、消防広域化の検討等） ・救急体制の充実（救急車両及び資機材の整備、救急救命士の確保等） ・市民における適正な救急利用に向けた意識の醸成や防火思想の普及（住宅用火災報知器の設置促進、消防訓練の実施等）
3-4	**消費生活**	・消費者保護対策の推進（相談体制の充実、専門家との連携等） ・消費者意識の醸成（消費者教室、情報提供の充実等）
3-5	**環境保全**	・自然環境の保全に向けた活動の推進（環境教育の実施、市民等との連携等） ・地球温暖化対策及び気候変動適応に向けた取組の推進 ・良好な生活環境の確保に向けた対策の推進（まち美化、公害対策等）
3-6	**廃棄物・リサイクル**	・資源循環の一層の促進 ・ごみの減量・再資源化の意識醸成 ・不法投棄等に対する監視活動の推進 ・ごみ処理施設の適正管理

第４章　都市形成・都市基盤

番号	施策	留意する視点
4-1	**市街地形成**	・計画的な土地利用の誘導 ・地域の特性と特徴を活かしたまちづくりの推進
4-2	**公園・緑地**	・魅力ある公園・緑地の整備（適正管理、バリアフリー化等） ・公園を活用した賑わいの創出（イベントの実施等）
4-3	**道路**	・都市計画道路の整備促進 ・安全に配慮した市道整備の推進（道路拡幅、バリアフリー化、交差点改良等） ・安心して利用できる道路施設の適正管理（道路、橋梁などの補修、長寿命化等） ・良好な道路環境の保全（植栽の手入れ、雑草除去等）
4-4	**河川**	・水害から市民を守る施設の適正管理（河川施設、雨水排水施設、海岸・護岸施設等）
4-5	**下水道**	・将来を見据えた下水道施設の整備・適正管理 ・下水道事業の健全運営
4-6	**住宅**	・木造住宅の耐震化の促進 ・市営住宅の適正な維持管理 ・空き家等対策の推進（空き家等所有者への指導、空き家バンクの周知・登録促進、移住定住への対応等）
4-7	**公共交通**	・市内公共交通（路線バス、タクシー）の維持・確保 ・デマンド交通等の地域内移動手段の検討・実証・導入 ・広域幹線公共交通（高速バス、鉄道）の維持・確保 ・地域特性に応じた持続可能な移動手段の確保

第５章　産業

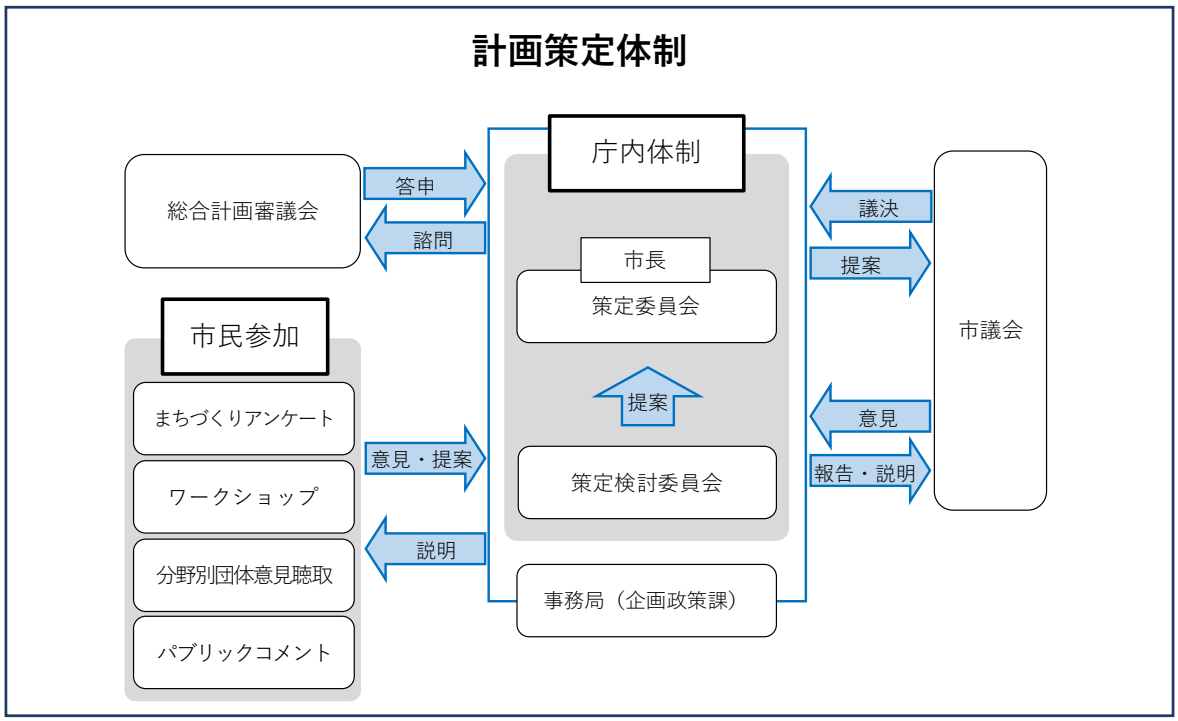
番号	施策	留意する視点
5-1	**農林業**	・地域に適した農業経営基盤の強化 ・持続可能な農業の推進（担い手確保、新規就農者の支援、スマート農業の推進等） ・農業収益向上のための支援の推進（有機農業の推進、高付加価値化、販路拡大支援等） ・効果的な有害鳥獣対策の推進 ・都市住民の農業に触れ合う機会の拡大 ・森林の適正管理
5-2	**商工業**	・商店街の活性化に向けた支援（イベント開催、新商品開発、ＩＣＴ活用の支援等） ・創業希望者に対する相談体制の充実 ・地元事業者の経営力強化（専門家とのマッチング支援、融資・利子補給等） ・新規立地・設備投資に対する支援 ・新商品開発やビジネスチャンス創出に向けた異業種（農商工観光）連携の促進
5-3	**観光**	・地域資源や観光情報の発信・充実 ・交流人口増加に向けた観光事業の推進（イベントの開催、事業者連携に係る支援、広域的な地域回遊の促進、新たな地域資源の発掘等）
5-4	**雇用・就業**	・地元企業・事業者の人材確保に向けた支援（セミナー開催、相談支援等） ・就業環境の充実に向けた啓発活動の推進（高齢者の就業機会確保、育休取得や女性活躍・ハラスメント防止の啓発等）

第６章　市民活動・行財政

番号	施策	留意する視点
6-1	**市民活動**	・地域活性化に向けた支援（地域コミュニティへの参加促進、リーダーの育成等） ・持続可能な地域コミュニティへの改善 ・各種団体の活動支援（活動場所の提供、活動の支援等）
6-2	**人権・男女共同参画**	・人権擁護の推進（意識啓発、相談対応、犯罪被害者支援等） ・多様性が尊重される社会の推進
6-3	**多文化共生**	・多文化共生に向けた環境整備の推進（日本語学習支援、地域交流の場への参加促進等） ・市民活動団体の活動支援
6-4	**情報共有・発信**	・魅力発信によるシティプロモーションの推進 ・多様な手法を用いた情報発信の充実 ・市政情報発信の適切な運用 ・多様な手法による市民意見の収集
6-5	**行政運営**	・自治体フロントヤード改革（ＤＸによる行政と住民との接点）の推進 ・デジタル技術を活用した、効率的な行政サービスの実現 ・職員の人材育成、デジタル教育 ・広域行政の推進
6-6	**財政運営**	・公共施設の適正管理・統廃合・長寿命化 ・持続可能な財政運営

Ⅴ.　策定体制等について

１．計画の策定体制



【庁内体制】

策定委員会

【構成】	市長をトップとし、副市長、教育長及び部長職で構成（政策会議構成員）
【役割】	計画の策定に関しての総合調整を行い後期基本計画案及び第３期実施計画を決定する。

策定検討委員会

【構成】	企画政策部長をトップとし、各部等の次長職で構成（政策調整会議構成員）
【役割】	計画案について調整を行い策定委員会へ提案する。

各部課等

【役割】	策定段階に応じて、企画政策課から依頼される調査等への対応を行う。

【総合計画審議会】

・総合計画後期基本計画等策定の進捗状況に対し意見を付す。
・諮問された計画案について答申を行う。

【議会】

後期基本計画

・計画の策定について報告・説明する機会を設ける。
・計画について議案として上程する。

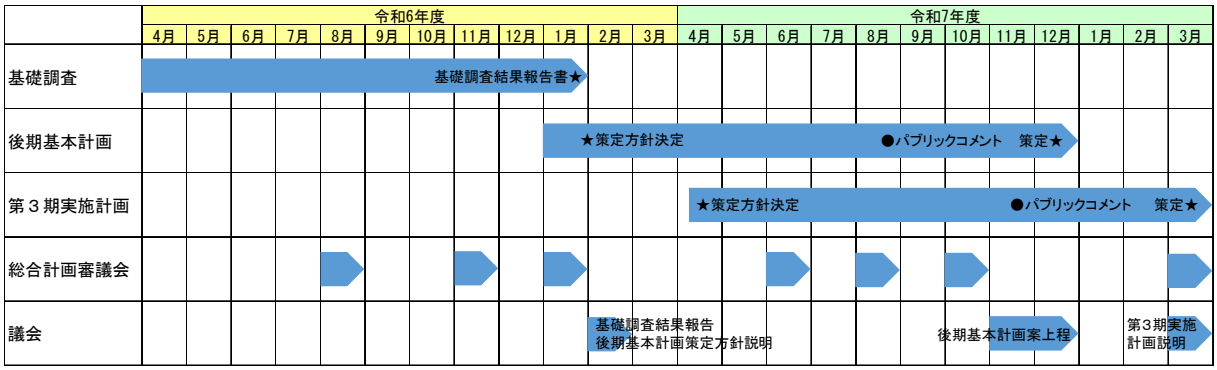
第３期実施計画

・計画の策定について説明する機会を設ける。

２．計画の策定スケジュール

（１）令和６年度：基礎調査、市民意見聴取、後期基本計画策定方針策定

（２）令和７年度：後期基本計画策定、第３期実施計画策定



議題３

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

１　実施計画の位置付け等

第２期実施計画は、袖ケ浦市総合計画条例に基づき、前期基本計画に定める施策を実現するための計画であり、個別の事業における年次ごとの取組内容を明らかにするものです。

計画期間中であっても、社会経済情勢や市民ニーズの変化などに対応するため、必要に応じて見直しを行うこととしていることから、第２期実施計画における令和７年度計画事業の計画内容の変更状況について、報告するものです。

２　実施計画事業数

区　分		事業数
① 概ね計画どおり実施する（している）事業数		１１９
② 計画を変更する（している）事業数	計画時期	7
	計画内容	２９
③ 第２期実施計画総事業数（①＋②）		１５５

※「②計画を変更する（している）事業」の詳細は資料２のとおり

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

１．計画時期を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
1	3	47	災害情報等伝達手段確保事業	災害対応支援システム等を導入し、災害時の意思決定や情報伝達の円滑化を図ります。 固定系防災行政無線、IP無線等の情報伝達ツールの適切な保守・運用を行います。	一部延期	災害対応支援システム運用 被災者支援システム運用 防災行政無線、IP無線維持管理	被災者支援システム運用 防災行政無線、IP無線維持管理	令和6年能登半島地震を契機に災害対応のDX化が進展し、防災システムや通信インフラの大きな変化が見込まれることから、予定していたシステム導入を見送り、標準仕様見直し後に適合するシステムを導入する方針としたため。 それまでの間は、現行の取り組みを継続しつつ、データ連携基盤の整備など条件が整った段階で再検討を行う予定である。	防災安全課
2	4	63	飯富29号線・代宿横田線建設事業	通学路の安全と交通利便性の向上を図るため、飯富29号線及び代宿横田線の歩行帯整備工事を実施します。	延期	用地買収（公社買戻し） 歩行帯整備工事	―	千葉県が実施する浮戸川上流Ⅲ期地区農地整備事業の遅延に伴い、市町村界の境界確定に絡む地図訂正に時間を要したことから、事業が遅延しているため。 なお、令和7年度中に換地計画が決定する見込みであり、令和8年度以降に用地買収を実施する予定である。	土木建設課
3	4	64	雨水下水道施設長寿命化修繕事業	雨水下水道施設（雨水管渠・ポンプ場・水門等）について、計画的な点検と長寿命化計画の策定を行います。	延期	奈良輪雨水ポンプ場点検調査委託	奈良輪雨水ポンプ場ストックマネジメント実施方針策定 雨水管渠点検調査委託	令和6年度に実施予定であった奈良輪雨水ポンプ場ストックマネジメント実施方針策定及び雨水管渠点検調査委託の実施時期を令和7年度に延期したため、奈良輪雨水ポンプ場点検調査委託について、実施時期を延期する。	土木管理課
4	4	64	雨水幹線管渠建設改良事業	市街化区域内の雨水排除を適正に行い、良好な住環境を図るため、下水道（雨水）全体計画の見直しを行い、幹線管渠の建設を促進します。 また、水防法の改正に伴い求められている、内水ハザードマップを作成するため、雨水浸水想定区域図を作成します。	一部延期	雨水浸水想定区域図策定委託 奈良輪第一排水区雨水管整備工事	雨水浸水想定区域図策定委託 奈良輪第一排水区雨水排水基本設計委託	令和6年度に実施予定であった奈良輪第一排水区雨水実施設計委託の実施時期を国の交付金の減額に伴い実施時期を令和7年度に延期したため、奈良輪第一排水区雨水管整備工事について、実施時期を延期する。	土木管理課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

１．計画時期を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
5	4	65	海岸・護岸維持管理事業	本市の管理する海岸・護岸施設について適正な維持管理を行います。	一部延期	長浦、蔵波水門点検調査委託 今井水門改修工事 護岸の点検	護岸の点検	長浦、蔵波水門の点検調査委託については、実施時期を延期したため。 今井水門改修工事については、令和5年度に実施した点検調査結果を踏まえ、改修工事を延期したため。	土木管理課
6	5	72	県営経営体育成基盤整備事業（大鳥居地区）	農業経営の合理化を図るため、ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うとともに、担い手の育成や農地の集積を促進します。	延期	県営工事負担金（区画整理工事6.1ha）	県営工事負担金（換地原案に必要な図面の作成、地質調査業務、従前地調査）	国補助金の減額に伴い、工事着手前の測量・調査等が実施できていないため。	農林振興課
7	5	72	県営経営体育成基盤整備事業（武田川下流地区）	農業経営の合理化を図るため、ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うとともに、担い手の育成や農地の集積を促進します。	延期	小花頭首工改修工事（工事）	小花頭首工改修工事（実施設計）	武田川下流地区全体計画変更による費用対効果算出のため、高収益作物作付け面積拡大等の営農計画の見直しに時間を要し、遅延が生じているため。	農林振興課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
1	1	22	子育て世代包括支援事業	子育て世代の市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行います。	内容変更	子育て世代総合サポートセンターでの妊娠から出産、子育てまでの相談受付及び支援、子ども家庭総合支援拠点との連携	子育て世代総合サポートセンターをこども家庭センターに移行し、妊娠から出産、子育ての相談受付及び児童虐待の防止等を一体的に行うための体制整備及び運用を行う	令和４年６月改正児童福祉法に基づき、令和6年４月からこども家庭センターを設置したため。	子育て支援課
2	1	22	平川地区幼保連携推進事業	平川地区における幼児教育・保育サービスの質の向上と持続的な提供を行うとともに地域での子ども・子育て支援を総合的に推進するため、「平川地区幼児教育・保育施設整備計画」に基づき、既存施設を段階的に集約するとともに、新設の認定こども園の整備を推進します。	内容変更	認定こども園の開園 吉野田保育所の解体 平川保育所の規模縮小 中川幼稚園の閉園（年度末）	認定こども園の開園 吉野田保育所の解体 中川幼稚園の閉園（年度末）	平川保育所の規模の縮小を予定していたが、市内の保育ニーズが増加しているため。	子育て支援課
3	1	22	私立保育施設等整備助成事業	増加する保育ニーズに対応するため、民間事業者による認可保育所等の施設整備費の一部を助成することで、子育て環境の整備を推進します。	内容変更	児童数の確認等	小規模保育事業所の整備 児童数の確認等	策定中の子育て応援プラン（第3期）（計画期間：令和7年～11年度）に基づき、令和8年4月の開設に向け、小規模保育事業所の整備を行うため。	子育て支援課
4	1	23	地域子育て支援拠点事業	児童を持つ保護者が安心して子育てできるよう、子育て支援センターを運営する私立保育施設へ助成、「そでがうらこども館」の運営を行います。また、平川地区の幼保連携と併せて子育て支援センターの設置を検討します。	内容変更	そでがうらこども館での子育て支援 私立5箇所での子育て支援センターの運営支援 平川地区での開設	そでがうらこども館での子育て支援 私立6箇所での子育て支援センターの運営支援 平川地区での開設	子育て支援センターの実施施設が増加したため。	保育幼稚園課
5	1	25	小中学校情報教育推進事業	児童生徒の学習の基盤となる情報活用能力の育成を図るため、コンピュータや情報通信ネットワークなど学校のICT環境整備を行い、教科横断的に学習活動の充実に取り組みます。	内容変更	教育情報化推進計画に基づく情報教育機器の整備 小学校児童用タブレット更新	教育情報化推進計画に基づく情報教育機器の整備 小学校児童用タブレット更新、中学校生徒用タブレット端末更新、教師用タブレット端末更新	計画策定時は国庫補助金が未定であったため、令和7年度に小学校児童用タブレット端末、令和8年度に中学校生徒用タブレット端末を一般財源で更新する予定であったが、公立学校情報機器整備事業費補助金を活用できる見込みとなったことから、契約から5年が経過する令和7年度に小学校児童用タブレット端末に併せ中学校生徒用タブレット端末を更新するため。	学校教育課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
6	1	26	外国語教育支援事業	外国語指導助手の派遣により、外国語（英語）によるコミュニケーションの機会を児童生徒に確保します。 ALTコーディネーター派遣による適切な授業支援を行います。	内容変更	外国語指導助手の直接派遣 ALTコーディネーター派遣による授業支援 先進校の視察やALTの研修等による指導力向上	外国語指導助手の直接派遣 ALTコーディネーター派遣による授業支援 ALTの研修等による指導力向上	先進校の視察は行わず、内部研修の実施により指導力向上を目指すため。	総合教育センター
7	1	27	学校環境整備事業	老朽化したトイレの更新、洋式便器への改修及び乾式化を行うことにより、良好な教育環境を整備します。また、災害時の避難所としての機能強化を図ります。	内容変更	－	長浦小学校トイレの改修 長浦中学校トイレの改修 蔵波中学校トイレの改修（2棟のうち1棟）	学校における児童・生徒の衛生環境を早期に改善する必要があることから、トイレが未改修である長浦小学校、長浦中学校及び蔵波中学校（2棟のうちの1棟）を実施するため。	教育総務課
8	1	31	山野貝塚保存活用事業	国民共有の財産であり、本市の重要な文化財でもある国史跡山野貝塚を確実に保存し、適切に活用するために整備を行い、後世に継承します。 また、市民ボランティア等との協働による管理運営体制の構築を図ります。	内容変更	地権者交渉 保存活用計画の点検・検証 シンポジウムの開催 整備工事 ボランティア活動の実施 史跡の維持管理	地権者交渉 保存活用計画の点検・検証 シンポジウムの開催 整備基本設計・実施設計 整備関連工事 ボランティア活動の実施 史跡の維持管理	令和4年度策定予定であった整備基本計画を令和5年度策定したことに伴い、整備基本設計、整備実施設計及び整備工事等の業務を見直したため。	生涯学習課
9	2	35	幼児・児童生徒歯科指導事業	市内保育所（園）、幼稚園、小中学校で歯科指導を実施し、幼児及び児童生徒のむし歯や歯周疾患を減少させ、健康な成長発達を促します。 新たにフッ化物洗口を市内の施設で実施します。	内容変更	3歳児、小学校1年生、中学校1年生を対象とした歯科指導の実施 フッ化物洗口さらに1カ所開始（公立保育所） 本事業の施設数拡大に向けた検討	3歳児、小学校1年生、中学校1年生を対象とした歯科指導の実施 フッ化物洗口1カ所開始（公立保育所） 本事業の施設数拡大に向けた検討	令和6年度に実施を延期した公立保育所1カ所でのフッ化物洗口を実施するため。	健康推進課
10	2	39	介護保険サービス事業所整備事業	要介護認定者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護サービス基盤を整備します。	内容変更	－	認知症対応型共同生活介護の整備（1施設・定員18人）	袖ケ浦市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（計画期間：令和6～8年度）に基づき、令和8年度中の開設に向け、認知症対応型共同生活介護の整備を行うため。	介護保険課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
11	2	40	介護人材確保育成支援事業	介護サービス等に従事する人材の確保・定着を図ることを目的に、介護人材確保と育成を支援します。	内容変更	補助金の交付 介護職員初任者研修受講費用補助 介護支援専門員資格取得費用補助 主任介護支援専門員研修受講費用補助	補助金の交付 介護職員初任者研修受講費用補助 介護支援専門員資格取得費用補助 主任介護支援専門員研修受講費用補助 主任介護支援専門員及び介護支援専門員更新研修費用補助 介護支援専門員再研修費用補助	新たに主任介護支援専門員及び介護支援専門員更新研修並びに介護支援専門員再研修費用の補助を実施するため。	介護保険課
12	2	40	高齢者移動支援事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、公共交通機関での移動が困難な高齢者の移動を支援します。	内容変更	事業周知 高齢者タクシー利用券の助成 活動団体へ補助金を交付	事業周知 高齢者タクシー利用券の助成	NPO法人が運営する事業が令和6年度で終了するため。	高齢者支援課
13	3	48	宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地の地震に伴う滑動崩落対策の推進を図るため、市内45箇所の大規模盛土造成地を対象に行った現地踏査に基づき、簡易地盤調査や第二次スクリーニングによる詳細調査を行い、盛土の安定性の検討とパトロール等による現地確認により安全性の把握を実施します。	内容変更	第二次スクリーニング（安定性の検討） （詳細調査、滑動崩落の安定計算） 安全確認パトロール	調査結果の公開・周知 関係機関との協議 安全確認パトロール	令和5年度の簡易地盤調査データを活用することにより、当初2カ年で予定していた第二次スクリーニング調査を単年（令和6年度）で完了させることができたため。 令和7年度は安全性が確認された大規模盛土造成地の公開・周知を行うとともに、関係機関との協議及び安全確認パトロールを行う。	開発指導準備室
14	3	50	無線県域及び共同指令センター運営事業	指令システムは365日、24時間安定したシステム稼働が条件であり、現行システムは平成25年4月に運用開始しています。令和6年度から令和7年度で全部更新し、令和8年4月から運用開始を目指し指令システムの安定化を図ります。	一部延期	指令システム改修事業工事負担金支出	指令システム改修事業工事負担金支出 消防救急無線設備再整備負担金支出 千葉県防災行政無線再整備負担金支出	消防救急無線設備再整備負担金支出について、令和10年度の運用に向け整備が必要となるため。 千葉県防災行政無線再整備負担金支出について、令和6年度に予定していた工事施工箇所が令和7年3月までに工事を完了させ検査確認を行うことが困難であり、負担金支出時期が来年度に変更となるため。	警防課
15	3	51	消防団詰所建設事業	消防団の拠点施設である詰所を計画的に整備します。	内容変更	第18分団詰所解体 第18分団詰所建設 第15分団詰所測量調査、石綿調査、土壌調査	第18分団詰所解体 第18分団詰所建設 第18分団詰所地質調査 第15分団詰所石綿調査、土壌調査	第18分団詰所の地質調査が必要となったため。 また、第15分団詰所の測量調査について、地積測量図で確認が取れたことにより測量調査を中止したため。	警防課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
16	3	54	地球温暖化対策事業	地球温暖化の防止対策を進めるため、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入を促進する設備の設置について、県の交付要綱に従って補助金を交付します。 「袖ケ浦市太陽光発電設備の設置及び管理に関するガイドライン」の適切な運用を行い、再生可能エネルギーの利用を推進します。 市域全体の温室効果ガス削減のため、必要な計画を策定します。	内容変更	住宅用省エネルギー設備等設置に係る補助金の交付 緑のカーテンの推進及び啓発活動の実施 市所管施設からの温室効果ガス排出量の算出 袖ケ浦市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）及び袖ケ浦市気候変動適応計画）に沿った取組の実施	住宅用省エネルギー設備等設置に係る補助金の交付 緑のカーテンの推進及び啓発活動の実施 市所管施設からの温室効果ガス排出量の算出 袖ケ浦市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）及び袖ケ浦市気候変動適応計画）に沿った取組の実施 地球温暖化対策アクションプランの策定及び実施	地球温暖化対策アクションプランを策定し、取り組んでいくため。	環境管理課
17	3	55	ごみ資源化推進事業	資源循環を推進するため、排出時点での分別を啓発するとともに、資源化対象品目の拡充の検討を行います。	内容変更	生ごみ、剪定枝等の排出抑制 資源回収を実施する団体への支援 プラスチックリサイクルの調査、検討 資源化対象品目拡大のための調査、検討、実施 子ども服リユースの実施、雑がみ回収ボックスの設置	生ごみ、剪定枝等の排出抑制 資源回収を実施する団体への支援 プラスチックリサイクルの調査、検討 資源化対象品目拡大のための調査、検討、実施 プラスチックリサイクルに係るモデル実証事業 子ども服リユースの実施、雑がみ回収ボックスの設置	市内3地区でプラスチックリサイクルに係るモデル実証事業を実施するため。	廃棄物対策課
18	4	59	地籍調査事業	一筆ごとの土地所有者、地番及び地目を調査し、境界及び地籍に関する測量を行います。その調査結果から地籍図及び地籍簿を作成し、登記所へ備え付けます。	内容変更	坂戸市場1-②工区 （一筆地測量（FⅡ-1）工程、地籍図原図（FⅡ-2）工程、地籍測定（G）工程、地籍簿案、閲覧、修正、地籍図、地籍簿（H）工程）	坂戸市場1-②工区 （一筆地測量（FⅡ-1）工程、地籍図原図（FⅡ-2）工程、地籍測定（G）工程、地籍簿案、閲覧、修正、地籍図、地籍簿（H）工程） 坂戸市場2工区 （地籍図根三角測量（C）、一筆地調査（E2）、現況測量（FR）、細部図根測量（F1）、一筆地測量（FⅡ-1）	地籍調査事業を円滑に推進するため作業サイクルを見直したため。	土木管理課
19	4	62	西内河根場線建設事業	県が実施する都市計画道路西内河根場線は、袖ケ浦駅海側特定土地区画整理地区と木更津市金田地区を結び、地域の連携や経済の活性化を目的としており、県と調整を図りながら整備に対して地元負担金を支出し早期完成を目指します。	内容変更	-	橋梁上部工事に伴う負担金	千葉県の事業計画変更に伴い、事業期間が延長されたため。	土木建設課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
20	4	62	三箇横田線建設工事	通学路の安全と交通利便性の向上を図るため、広域農道から県道長浦上総線を通り、市道代宿横田線間の交差点改良及び道路改良工事を実施します。	内容変更	道路改良工事（市道代宿横田線）	交差点改良工事（広域農道南側、市道三箇横田線） 信号機移設工事 道路改良工事（市道代宿横田線）	交差点改良工事（広域農道南側、市道三箇横田線）について、工事隣接地地権者との工事調整や関係機関との協議に時間を要したため。	土木建設課
21	4	63	橋梁長寿命化修繕事業	市道の橋梁について、適切な点検と修繕により、長寿命化を図りつつ適正な維持管理を実施します。	内容変更	定期点検委託 橋梁補修設計委託 橋梁耐震補強補修工事 歩道橋長寿命化計画策定委託	定期点検委託 橋梁補修設計委託	橋梁耐震補強補修工事については、令和5年度の耐震補強補修検討の結果、耐震補強は不要との結論となり、工事を実施をしないこととしたため。 歩道橋長寿命化計画策定委託（久保田跨道橋）については、歩道橋の利用状況が少ないため、長寿命化ありきではなく、廃止も含め検討することとしたため。	土木建設課
22	4	64	河川維持管理費	近年頻発する大雨等に備え、市管理河川の浚渫や整備を実施し、市民の生命と財産を守る災害に強いまちを目指します。	内容変更	－	用地測量委託（準用河川大月川） 路線測量委託（準用河川大月川） 護岸改修工事（準用河川大月川）	準用河川大月川の護岸改修を実施するため。	土木建設課
23	5	72	土地改良推進事業	農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化やパイプライン化・ICT化等の整備を行い、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、高収益作物の導入、水利用の効率化・水管理の省力化等の推進を支援します。	内容変更	野里大和田地区 促進計画作成業務、説明会等	野里大和田地区 換地等調整業務 促進計画作成業務、説明会等 地区編入承認申請書作成委託	令和6年度に実施した換地等調整業務において、想定を上回る筆数があったことから、令和7年度も引き続き換地等調整業務を実施することとしたため。	農林振興課
24	5	72	農地農村環境保全事業	農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成等）の維持・発揮を図るため、地域で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の維持補修、花の植栽による景観形成等に支援を行い、自然環境の保全及び良好な景観の形成等の地域資源の適切な保全管理を推進します。	内容変更	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付	農地・水保全会管理協議会の運営について、令和5年度の協議会で代替組織の活動で担えると判断し、管理協議会を廃止したため。	農林振興課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容		令和7年度計画事業の計画内容変更状況		計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
25	5	76	地域回遊促進事業	観光客の市内回遊を促進するため、主要拠点から観光施設までの移動手段の拡充による利便性の向上、新たな観光資源の発掘等により、来訪者の増加と観光地としての魅力を向上させます。	内容変更	観光協会と連携した情報の発信 以下、観光協会実施事業 （レンタサイクルの運営、新たな拠点開設検討、レンタサイクルを活用した周遊企画の実施、レンタカーを活用した周遊企画の検討、サイクルツーリズムの推進施策の検討）	観光協会と連携した情報の発信 以下、観光協会実施事業 （レンタサイクルの運営、レンタサイクルを活用した周遊企画の実施、レンタカーを活用した周遊企画の検討、サイクルツーリズムの推進施策の検討）	令和５年１１月に新規開設した平川地区の拠点にて令和6年１０月まで実証実験を行った結果、引き続き当拠点にてレンタサイクル事業を実施することとしたため。	商工観光課
26	6	83	まちづくり活動促進事業	地域コミュニティで活動する担い手を養成するため、地域づくりに役立つ知識を学ぶ「まちづくり講座」を開催します。 様々な分野で活動する人材を活用するとともに担い手との連携を図り、地域コミュニティ等の活性化を図ります。	内容変更	まちづくり講座の開催 人材活用制度の運用	まちづくり講座の開催	第2次袖ケ浦市協働のまちづくり推進計画（計画期間：令和6年度～令和１３年度）において、人材活用制度の運用は実施しないこととしたため。	市民協働推進課
27	6	84	地域づくり官学連携事業	県内大学と本市において、包括連携協定を締結し、地域活性化に資する取組を連携して実施します。	内容変更	協定締結大学との共同によるまちづくり参加促進 協定締結大学生のインターンシップの受入	協定の締結に向けた取組内容の整理	協定の締結に向け大学と調整を行っていたが、テーマや課題の調整がつかず、締結に至らなかった。今後はまちづくりに関連した取り組みだけではなく、広い分野での調整を検討することとしたため。	市民協働推進課
28	6	85	人権擁護事業	市民みんなが人権を尊重し合い、お互いの人権を尊重しながら共生できる社会に向けて、人権擁護委員と連携して子どもから大人までを対象とした人権に関する意識啓発を行います。 また、人権に関する諸問題の解決を図るための相談体制を整えます。	内容変更	人権相談の実施 小中学校での人権教室の開催 成人向け講話の実施 袖ケ浦市人権擁護委員協議会への補助金交付	人権相談の実施 小中学校での人権教室の開催 成人向け講話の実施 袖ケ浦市人権擁護委員協議会への補助金交付 犯罪被害者等の支援	令和7年度より新たに条例を制定し、犯罪被害者等の支援を行う予定であるため。	市民協働推進課

第２期実施計画における令和７年度計画事業の変更について

２．計画内容を変更する（している）事業

No.	章	実施計画ページ	事　業　名	事業内容	令和7年度計画事業の計画内容変更状況			計画事業との差異理由	課等名
						変更前 （変更箇所に下線部）	変更後 （変更箇所に下線部）		
29	6	88	標準化対応基幹情報システム導入事業	令和３年度に公布された地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により、令和7年度末までに国の示す標準仕様に基づいた住民情報系システムを導入することが義務付けられたことを受け、現在運用している基幹情報システム及び個別システムについて、法定期限までに更新を図ります。	内容変更	個別システムにおけるシステム構築 個別システムにおける新システム稼働	<u>基幹情報システムにおけるシステム構築</u> <u>基幹情報システムにおける新システム稼働</u> 個別システムにおけるシステム構築 個別システムにおける新システム稼働	基幹情報システムの構築及び稼働については、令和6年度に実施する予定であったが、法令改正等の影響により現行システム事業者より令和6年度中の標準化システムの稼働が困難であるとの申し出があり、再度システム調達に係るRFIを実施したため。	行政管理課